

新東京国際空港 埋蔵文化財発掘調査報告書 X

— 天神峰奥之台遺跡（空港No.65遺跡） —

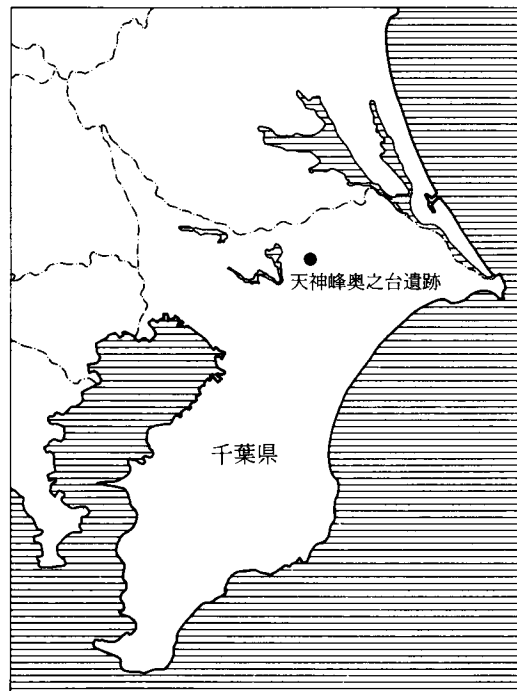
平成 9 年 3 月

新東京国際空港公団

財団法人 千葉県文化財センター

新東京国際空港 埋蔵文化財発掘調査報告書 X

— てんじんみねおくの だい 天神峰奥之台遺跡（空港No.65遺跡） —



序 文

財団法人千葉県文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立されて以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県文化財センター調査報告第304集として、新東京国際空港公団の新東京国際空港建設事業に伴って実施した成田市天神峰奥之台遺跡（空港No.65遺跡）の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、旧石器時代の石器や縄文土器が出土するなど、この地域の旧石器時代から縄文時代の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。この報告書が、学術資料として、また文化財の保護、普及のための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理まで御苦勞をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

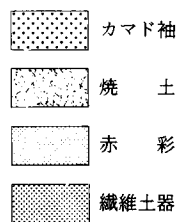
平成9年3月31日

財団法人千葉県文化財センター

理事長 中村 好成

凡 例

- 1 本書は、新東京国際空港公団による新東京国際空港建設及び防音堤（BR/W）建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 本書に収録した遺跡は、千葉県成田市天神峰字奥之台17ほかに所在する天神峰奥之台遺跡（空港No65遺跡）＜遺跡コード211-024＞である。
- 3 発掘調査から報告書作成に至る業務は、新東京国際空港公団の委託を受け、財団法人千葉県文化財センターが実施した。
- 4 発掘調査及び整理作業の担当者、実施期間は本文中に記載した。
- 5 本書の執筆は、主任技師 矢本節朗が第1章第2節の2、第2章、第5章第1節を担当し、空港調査室長 横山仁がその他を担当した。
- 6 鉄滓等の鑑定に当たっては、穴澤義功氏に御指導、御教示を得た。
- 7 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、千葉県教育庁生涯学習部文化課、成田市教育委員会の御指導御協力を得た。
- 8 本書で使用した地形図は、下記のとおりである。
第2図 国土地理院発行 1/25,000地形図「五辻」(NI-54-19-10-1)
第3図 新東京国際空港公団発行 1/2,500新東京国際空港平面図8・9
- 9 本書で使用した図面の方位は、すべて座標北である。
- 10 本書で呼称した遺構番号は、編集の都合上、調査時の番号と異なる。
- 11 挿図に使用したスクリーントーンの用例は、次のとおりである。



本文目次

第1章	はじめに	1
第1節	調査の概要	1
1	調査の経緯と経過	1
2	調査の方法	3
第2節	遺跡の位置と環境	3
1	遺跡の位置と地理的環境	3
2	層序区分	9
第2章	旧石器時代	13
第1節	概要	13
第2節	第I文化層	13
1	第1ブロック	14
2	第2ブロック	16
3	第3ブロック	19
4	第4ブロック	22
5	第5ブロック	25
6	第6ブロック	30
7	第7ブロック	34
8	第8ブロック	36
9	第9ブロック	39
10	第10ブロック	42
11	第11ブロック	61
12	第12ブロック	64
13	第13ブロック	67
第3節	第II文化層	69
1	第14ブロック	70
2	第15ブロック	74
3	第16ブロック	79
第4節	第III文化層	80
1	第17ブロック	82
2	第18ブロック	86
3	第19ブロック	87
4	第20ブロック	90
5	第21ブロック	92
6	第22ブロック	97

7	第23ブロック	99
8	第24ブロック	102
9	第25ブロック	111
10	第26ブロック	117
11	第27ブロック	121
12	第28ブロック	125
13	第29ブロック	133
14	第30ブロック	140
15	第31ブロック	145
第5節 ブロック外		152
1	ブロック外1	152
2	ブロック外2	153
3	ブロック外3	154
4	ブロック外4	154
5	ブロック外5	155
6	表面採集石器	155
第6節 礫群		156
1	第1礫群	156
2	第2礫群	157
3	第3礫群	157
4	第4礫群	159
5	第5礫群	159
6	第6礫群	161
7	第7礫群	162
8	第8礫群	164
9	第9礫群	164
10	第10礫群	165
11	第11礫群	166
12	第12礫群	166
第3章 縄文時代		171
第1節 遺構とその遺物		171
1	陥穴	171
2	土坑	173
第2節 グリッド出土遺物		173
1	土器	173
2	石器	184
第4章 歴史時代		185

第1節 遺構とその遺物	185
1 竪穴住居跡	185
2 溝	185
第2節 グリッド出土遺物	188
1 土器	188
2 製鉄関連遺物	188
第5章 まとめ	191
第1節 旧石器時代	191
第2節 縄文時代	195
第3節 歴史時代	195
報告書抄録	巻末

挿図目次

第 1 図	グリッド呼称図…………… 3	第 35 図	第 9 ブロック器種別分布…………… 39
第 2 図	天神峰奥之台遺跡(空港No.65遺跡)地形図… 4	第 36 図	第 9 ブロック母岩別分布…………… 40
第 3 図	周辺遺跡分布図…………… 5	第 37 図	第 9 ブロック出土石器 1 …………… 41
第 4 図	旧石器時代調査範囲図…………… 7	第 38 図	第 9 ブロック出土石器 2 …………… 42
第 5 図	縄文時代以降調査範囲及び遺構配置図 …… 8	第 39 図	第10ブロック器種別分布 1 …………… 43
第 6 図	基本層序…………… 10	第 40 図	第10ブロック器種別分布 2 …………… 44
第 7 図	ブロック・礫群の分布状況…………… 11	第 41 図	第10ブロック母岩別分布 1 …………… 45
第 8 図	第 1 ブロック器種別分布…………… 14	第 42 図	第10ブロック母岩別分布 2 …………… 45
第 9 図	第 1 ブロック母岩別分布…………… 15	第 43 図	第10ブロック母岩別分布 3 …………… 46
第 10 図	第 1 ブロック出土石器…………… 15	第 44 図	第10ブロック母岩別分布 4 …………… 46
第 11 図	第 2 ブロック器種別分布…………… 16	第 45 図	第10ブロック出土石器 1 …………… 47
第 12 図	第 2 ブロック母岩別分布…………… 17	第 46 図	第10ブロック出土石器 2 …………… 48
第 13 図	第 2 ブロック出土石器…………… 18	第 47 図	第10ブロック出土石器 3 …………… 49
第 14 図	第 3 ブロック器種別分布…………… 19	第 48 図	第10ブロック出土石器 4 …………… 51
第 15 図	第 3 ブロック母岩別分布…………… 20	第 49 図	第10ブロック出土石器 5 …………… 52
第 16 図	第 3 ブロック出土石器…………… 21	第 50 図	第10ブロック出土石器 6 …………… 53
第 17 図	第 4 ブロック器種別分布…………… 22	第 51 図	第10ブロック出土石器 7 …………… 54
第 18 図	第 4 ブロック母岩別分布…………… 23	第 52 図	第10ブロック出土石器 8 …………… 56
第 19 図	第 4 ブロック出土石器…………… 24	第 53 図	第10ブロック出土石器 9 …………… 57
第 20 図	第 5 ブロック器種別分布…………… 25	第 54 図	第10ブロック出土石器10…………… 58
第 21 図	第 5 ブロック母岩別分布…………… 26	第 55 図	第10ブロック出土石器11…………… 59
第 22 図	第 5 ブロック出土石器 1 …………… 27	第 56 図	第10ブロック出土石器12…………… 60
第 23 図	第 5 ブロック出土石器 2 …………… 28	第 57 図	第11ブロック器種別分布…………… 61
第 24 図	第 5 ブロック出土石器 3 …………… 29	第 58 図	第11ブロック母岩別分布…………… 62
第 25 図	第 6 ブロック器種別分布…………… 30	第 59 図	第11ブロック出土石器…………… 63
第 26 図	第 6 ブロック母岩別分布…………… 31	第 60 図	第12ブロック器種別分布…………… 64
第 27 図	第 6 ブロック出土石器 1 …………… 32	第 61 図	第12ブロック母岩別分布…………… 65
第 28 図	第 6 ブロック出土石器 2 …………… 33	第 62 図	第12ブロック出土石器…………… 66
第 29 図	第 7 ブロック器種別分布…………… 34	第 63 図	第13ブロック器種別分布…………… 67
第 30 図	第 7 ブロック母岩別分布…………… 35	第 64 図	第13ブロック母岩別分布…………… 68
第 31 図	第 7 ブロック出土石器…………… 35	第 65 図	第13ブロック出土石器…………… 68
第 32 図	第 8 ブロック器種別分布…………… 36	第 66 図	第14ブロック器種別分布…………… 69
第 33 図	第 8 ブロック母岩別分布…………… 37	第 67 図	第14ブロック母岩別分布…………… 70
第 34 図	第 8 ブロック出土石器…………… 38	第 68 図	第14ブロック出土石器 1 …………… 71

第 69図	第14ブロック出土石器 2	72	第106図	第24ブロック出土石器 2	106
第 70図	第14ブロック出土石器 3	73	第107図	第24ブロック出土石器 3	107
第 71図	第15ブロック器種別分布	75	第108図	第24ブロック出土石器 4	108
第 72図	第15ブロック母岩別分布	76	第109図	第24ブロック出土石器 5	109
第 73図	第15ブロック出土石器 1	77	第110図	第24ブロック出土石器 6	110
第 74図	第15ブロック出土石器 2	78	第111図	第25ブロック器種別分布	111
第 75図	第16ブロック器種別分布	79	第112図	第25ブロック母岩別分布	112
第 76図	第16ブロック母岩別分布	80	第113図	第25ブロック出土石器 1	113
第 77図	第16ブロック出土石器	81	第114図	第25ブロック出土石器 2	114
第 78図	第17ブロック器種別分布	82	第115図	第25ブロック出土石器 3	115
第 79図	第17ブロック母岩別分布	82	第116図	第25ブロック出土石器 4	116
第 80図	第17ブロック出土石器 1	83	第117図	第26ブロック器種別分布	117
第 81図	第17ブロック出土石器 2	84	第118図	第26ブロック母岩別分布	117
第 82図	第18ブロック器種別分布	85	第119図	第26ブロック出土石器 1	118
第 83図	第18ブロック母岩別分布	85	第120図	第26ブロック出土石器 2	119
第 84図	第18ブロック出土石器	86	第121図	第27ブロック器種別分布	120
第 85図	第19ブロック器種別分布	87	第122図	第27ブロック母岩別分布	121
第 86図	第19ブロック母岩別分布	88	第123図	第27ブロック出土石器 1	122
第 87図	第19ブロック出土石器	89	第124図	第27ブロック出土石器 2	123
第 88図	第20ブロック器種別分布	90	第125図	第27ブロック出土石器 3	124
第 89図	第20ブロック母岩別分布	90	第126図	第28ブロック器種別分布	125
第 90図	第20ブロック出土石器	91	第127図	第28ブロック母岩別分布	127
第 91図	第21ブロック器種別分布	93	第128図	第28ブロック出土石器 1	127
第 92図	第21ブロック母岩別分布	94	第129図	第28ブロック出土石器 2	128
第 93図	第21ブロック出土石器 1	94	第130図	第28ブロック出土石器 3	129
第 94図	第21ブロック出土石器 2	95	第131図	第28ブロック出土石器 4	130
第 95図	第21ブロック出土石器 3	96	第132図	第28ブロック出土石器 5	131
第 96図	第22ブロック器種別分布	97	第133図	第28ブロック出土石器 6	132
第 97図	第22ブロック母岩別分布	98	第134図	第29ブロック器種別分布	133
第 98図	第22ブロック出土石器	98	第135図	第29ブロック母岩別分布	134
第 99図	第23ブロック器種別分布	99	第136図	第29ブロック出土石器 1	135
第100図	第23ブロック母岩別分布	100	第137図	第29ブロック出土石器 2	136
第101図	第23ブロック出土石器 1	101	第138図	第29ブロック出土石器 3	137
第102図	第23ブロック出土石器 2	102	第139図	第29ブロック出土石器 4	138
第103図	第24ブロック器種別分布	103	第140図	第30ブロック器種別分布	139
第104図	第24ブロック母岩別分布	104	第141図	第30ブロック母岩別分布	140
第105図	第24ブロック出土石器 1	105	第142図	第30ブロック出土石器 1	141

第143図	第30ブロック出土石器 2	142	第170図	第 7 礫群接合分布	162
第144図	第30ブロック出土石器 3	143	第171図	第 8 礫群接合分布	163
第145図	第30ブロック出土石器 4	144	第172図	第 9 礫群接合分布	164
第146図	第30ブロック出土石器 5	145	第173図	第10礫群接合分布	165
第147図	第31ブロック器種別分布	146	第174図	第11礫群接合分布	167
第148図	第31ブロック母岩別分布	147	第175図	第12礫群接合分布	167
第149図	第31ブロック出土石器 1	147	第176図	礫群石材構成比グラフ	168
第150図	第31ブロック出土石器 2	148	第177図	礫群重量分布 1	169
第151図	第31ブロック出土石器 3	149	第178図	礫群重量分布 2	170
第152図	第31ブロック出土石器 4	150	第179図	陥穴	172
第153図	第31ブロック出土石器 5	151	第180図	土坑	173
第154図	ブロック外 1 器種別分布	152	第181図	第 1 群土器分布図	174
第155図	ブロック外 1 出土石器	153	第182図	第 2 群土器分布図	175
第156図	ブロック外 2 器種別分布	153	第183図	第 3 群土器分布図	176
第157図	ブロック外 2 出土石器	153	第184図	第 4 群土器分布図	177
第158図	ブロック外 3 器種別分布	154	第185図	第 1 群土器	178
第159図	ブロック外 3 出土石器	154	第186図	第 2 群土器(1)	180
第160図	ブロック外 4 器種別分布	155	第187図	第 2 群土器(2)	181
第161図	ブロック外 4 出土石器	155	第188図	第 3 群土器	182
第162図	ブロック外 5 器種別分布	155	第189図	第 4 群土器	183
第163図	表面採集石器	156	第190図	石器	184
第164図	第 1 礫群接合分布	157	第191図	1号竪穴住居跡	186
第165図	第 2 礫群接合分布	158	第192図	1・2号溝	187
第166図	第 3 礫群接合分布	159	第193図	グリッド出土遺物	188
第167図	第 4 礫群接合分布	160	第194図	製鉄関連遺物(1)	189
第168図	第 5 礫群接合分布	160	第195図	製鉄関連遺物(2)	190
第169図	第 6 礫群接合分布	161	第196図	鉄滓等出土分布図	197

表 目 次

第 1 表	遺構番号対照表	3	第 8 表	第 2 ブロック石器属性表	200
第 2 表	周辺遺跡一覧	6	第 9 表	第 2 ブロック組成表	200
第 3 表	第 I 文化層組成表	199	第10表	第 3 ブロック石器属性表	201
第 4 表	第 II 文化層組成表	199	第11表	第 3 ブロック組成表	201
第 5 表	第 III 文化層組成表	199	第12表	第 4 ブロック石器属性表	201
第 6 表	第 1 ブロック石器属性表	200	第13表	第 4 ブロック組成表	201
第 7 表	第 1 ブロック組成表	200	第14表	第 5 ブロック石器属性表 1	202

第 15表	第 5 ブロック石器属性表 2	203	第 52表	第18ブロック組成表	220
第 16表	第 5 ブロック石器属性表 3	204	第 53表	第19ブロック石器属性表	220
第 17表	第 5 ブロック組成表	204	第 54表	第19ブロック組成表	220
第 18表	第 6 ブロック石器属性表	204	第 55表	第20ブロック石器属性表	220
第 19表	第 6 ブロック組成表	205	第 56表	第20ブロック組成表	221
第 20表	第 7 ブロック石器属性表	205	第 57表	第21ブロック石器属性表	221
第 21表	第 7 ブロック組成表	205	第 58表	第21ブロック組成表	221
第 22表	第 8 ブロック石器属性表	205	第 59表	第22ブロック石器属性表	222
第 23表	第 8 ブロック組成表	205	第 60表	第22ブロック組成表	222
第 24表	第 9 ブロック属性表	205	第 61表	第23ブロック石器属性表	222
第 25表	第 9 ブロック組成表	205	第 62表	第23ブロック組成表	222
第 26表	第10ブロック石器属性表 1	206	第 63表	第24ブロック石器属性表 1	223
第 27表	第10ブロック石器属性表 2	207	第 64表	第24ブロック石器属性表 2	224
第 28表	第10ブロック石器属性表 3	208	第 65表	第24ブロック組成表	224
第 29表	第10ブロック石器属性表 4	209	第 66表	第25ブロック石器属性表	224
第 30表	第10ブロック石器属性表 5	210	第 67表	第25ブロック組成表	225
第 31表	第10ブロック石器属性表 6	211	第 68表	第26ブロック石器属性表	225
第 32表	第10ブロック石器属性表 7	212	第 69表	第26ブロック組成表	225
第 33表	第10ブロック石器属性表 8	213	第 70表	第27ブロック石器属性表	225
第 34表	第10ブロック石器属性表 9	214	第 71表	第27ブロック組成表	226
第 35表	第10ブロック石器属性表10	215	第 72表	第28ブロック石器属性表	226
第 36表	第10ブロック組成表	216	第 73表	第28ブロック組成表	227
第 37表	第11ブロック石器属性表	216	第 74表	第29ブロック石器属性表	227
第 38表	第11ブロック組成表	216	第 75表	第29ブロック組成表	227
第 39表	第12ブロック石器属性表	216	第 76表	第30ブロック石器属性表	228
第 40表	第12ブロック組成表	217	第 77表	第30ブロック組成表	228
第 41表	第13ブロック石器属性表	217	第 78表	第31ブロック石器属性表 1	229
第 42表	第13ブロック組成表	217	第 79表	第31ブロック石器属性表 2	230
第 43表	第14ブロック石器属性表	217	第 80表	第31ブロック組成表	230
第 44表	第14ブロック組成表	218	第 81表	ブロック外・表採石器属性表	230
第 45表	第15ブロック石器属性表	218	第 82表	第 1 礫群属性表	231
第 46表	第15ブロック組成表	218	第 83表	第 1 礫群構成表	231
第 47表	第16ブロック石器属性表	219	第 84表	第 2 礫群属性表	231
第 48表	第16ブロック組成表	219	第 85表	第 2 礫群構成表	231
第 49表	第17ブロック石器属性表	219	第 86表	第 3 礫群属性表	232
第 50表	第17ブロック組成表	219	第 87表	第 3 礫群構成表	232
第 51表	第18ブロック石器属性表	219	第 88表	第 4 礫群属性表	232

第 89表	第 4 礫群構成表	232	第103表	第10礫群属性表	241
第 90表	第 5 礫群属性表 1	233	第104表	礫群属性表 2	242
第 91表	第 5 礫群属性表 2	234	第105表	第10礫群構成表	242
第 92表	第 5 礫群構成表	234	第106表	第11礫群属性表	243
第 93表	第 6 礫群属性表 1	235	第107表	第11礫群構成表	243
第 94表	第 6 礫群属性表 2	236	第108表	第12礫群属性表	243
第 95表	第 6 礫群構成表	236	第109表	第12礫群構成表	243
第 96表	第 7 礫群属性表	237	第110表	縄文時代石器属性表	243
第 97表	第 7 礫群構成表	236	第111表	遺跡出土鉄滓等組成表	244
第 98表	第 8 礫群属性表 1	238	第112表	1号竪穴住居跡出土鉄滓等組成表	244
第 99表	第 8 礫群属性表 2	239	第113表	1号竪穴住居跡及び周辺グリッド出土 鉄滓等組成表	245
第100表	第 8 礫群構成表	239	第114表	鉄滓等遺物観察表	246
第101表	第 9 礫群属性表	240			
第102表	第 9 礫群構成表	240			

図版目次

図版 1	遺跡近景（空港予定地内） 遺跡近景（防音提内）		第25ブロック（西から） 第26～29ブロック（西から） 第30ブロック（南西から） 第31ブロック（南から）
図版 2	第 1 ブロック（南から） 第 2～4 ブロック（南から） 第 6 ブロック（東から） 第 7 ブロック（南西から） 第 8 ブロック（東から） 第 9 ブロック（東から）		図版 6 包含層遺物出土状況（5 D区） 鉄滓等出土状況（3 F63区）
図版 3	第10ブロック（南西から） 第11ブロック（北から） 第12ブロック（南西から） 第13ブロック（北から） 第14～15ブロック（北東から） 第16ブロック（北から）		図版 7 1・2号陥穴 3号陥穴 4号陥穴 5号陥穴 6号陥穴 7号陥穴 8号陥穴 1号土坑
図版 4	第17ブロック（南東から） 第18ブロック（西から） 第19ブロック（西から） 第20ブロック（北から） 第21～23ブロック（東から）		図版 8 1号竪穴住居跡全景 1号竪穴住居跡遺物出土状況 1号竪穴住居跡カマド
図版 5	第24ブロック（東から）		図版 9 1号溝（南から） 2号溝（西北西から）
			図版10 第1ブロック出土石器

	第2ブロック出土石器	図版35	第21ブロック出土石器 2
図版11	第3ブロック出土石器	図版36	第21ブロック出土石器 3
	第4ブロック出土石器 1		第22ブロック出土石器
図版12	第4ブロック出土石器 2	図版37	第23ブロック出土石器
	第5ブロック出土石器 1		第24ブロック出土石器 1
図版13	第5ブロック出土石器 2	図版38	第24ブロック出土石器 2
	第6ブロック出土石器 1	図版39	第24ブロック出土石器 3
図版14	第6ブロック出土石器 2	図版40	第24ブロック出土石器 4
	第7ブロック出土石器		第25ブロック出土石器 1
	第8ブロック出土石器 1	図版41	第25ブロック出土石器 2
図版15	第8ブロック出土石器 2	図版42	第25ブロック出土石器 3
	第9ブロック出土石器 1	図版43	第26ブロック出土石器
図版16	第9ブロック出土石器 2		第27ブロック出土石器 1
図版17	第9ブロック出土石器 3	図版44	第27ブロック出土石器 2
図版18	第10ブロック出土石器 1		第28ブロック出土石器 1
図版19	第10ブロック出土石器 2	図版45	第28ブロック出土石器 2
図版20	第10ブロック出土石器 3	図版46	第28ブロック出土石器 3
図版21	第10ブロック出土石器 4	図版47	第28ブロック出土石器 4
図版22	第10ブロック出土石器 5		第29ブロック出土石器 1
図版23	第10ブロック出土石器 6	図版48	第29ブロック出土石器 2
図版24	第10ブロック出土石器 7	図版49	第29ブロック出土石器 3
図版25	第10ブロック出土石器 8	図版50	第30ブロック出土石器 1
図版26	第11ブロック出土石器	図版51	第30ブロック出土石器 2
図版27	第12ブロック出土石器		第31ブロック出土石器 1
	第13ブロック出土石器	図版52	第31ブロック出土石器 2
図版28	第14ブロック出土石器 1	図版53	第31ブロック出土石器 3
図版29	第14ブロック出土石器 2		ブロック外出土石器
	第15ブロック出土石器 1	図版54	第1群土器
図版30	第15ブロック出土石器 2	図版55	第2群土器(1)
図版31	第15ブロック出土石器 3	図版56	第2群土器(2)
	第16ブロック出土石器	図版57	第3群土器
図版32	第17ブロック出土石器 1		第4群土器
図版33	第17ブロック出土石器 2	図版58	2号陥穴出土土器
	第18ブロック出土石器		5号陥穴出土土器
	第19ブロック出土石器 1		1号土坑出土土器
図版34	第19ブロック出土石器 2		1号竪穴住居跡出土土器
	第20ブロック出土石器		グリッド出土土器
	第21ブロック出土石器 1	図版59	製鉄関連遺物

第1章 はじめに

第1節 調査の概要

1 調査の経緯と経過

財団法人千葉県文化財センターでは、新東京国際空港予定地内及び関連事業地に所在する遺跡について千葉県教育委員会の指導のもと、新東京国際空港公団の委託により、昭和51年度から計画的・継続的に発掘調査を実施してきている。また、これらの調査成果の一部は既に報告書として刊行されている。

今回報告する天神峰奥之台遺跡（空港No.65遺跡）についても、千葉県教育委員会が新東京国際空港公団と遺跡の取扱いについて協議した結果、記録保存の措置がとられることになった。そこで、当センターは新東京国際空港公団と発掘調査の実施について調整を行い、新東京国際空港建設事業として昭和57年度と昭和63年度に実施することになった。さらに、平成元年度に防音堤（BR/W）建設事業として発掘調査を行った。その後、年度計画に基づき、平成元年度から平成2年度及び平成7年度から平成8年度にわたって整理作業を実施した。年度ごとの実施内容及び担当職員は、下記のとおりである。

昭和57年度

空港建設事業として発掘調査を実施した。調査対象面積は26,000㎡で、上層2,080㎡、下層2,080㎡の確認調査を行った。その結果、上層5,800㎡、下層2,000㎡を本調査することとなった。そのうち、当該年度は上層3,900㎡、下層1,100㎡の本調査を実施した。調査期間は、確認調査が昭和57年8月24日～同年12月4日、本調査が昭和58年1月19日～同年3月23日である。成果として、陥穴2基（縄文早期）、溝1条（近世）、旧石器時代石器集中箇所14か所を検出した。

発掘調査担当者

調査部長 白石竹雄

班 長 西山太郎

調査研究員 雨宮龍太郎、川島利道、西口 徹、麻生正信

昭和63年度

昭和57年度に本調査のできなかつた残りの上層1,900㎡、下層900㎡を実施した。調査期間は、昭和63年8月3日～同年10月31日である。成果として、陥穴2基（縄文早期）、土坑1基（縄文早期）、竪穴住居跡1軒（奈良）、溝1条（近世）、旧石器時代石器集中箇所9か所を検出した。

発掘調査担当者

調査部長 堀部昭夫

班 長 矢戸三男

班長代理 上野純司

調査研究員 田形孝一

平成元年度

空港防音堤建設事業として発掘調査を実施した。調査対象面積は18,000㎡で、上層1,560㎡、下層648㎡の確認調査を行った。その結果、下層496㎡を本調査することとなった。調査期間は、平成元年11月1日～平

成2年2月28日である。成果として、陥穴4基（縄文早期）、旧石器時代石器集中箇所8か所を検出した。

当年度から防音堤建設事業分の整理作業が始まった。整理期間は平成2年3月1日～同年3月31日である。作業内容は、水洗・注記、図面・写真の整理である。

発掘調査担当者

調査部長 堀部昭夫
班 長 藤崎芳樹
主任技師 太田文雄、奥田正彦、金丸 誠
技 師 新田浩三、矢本節朗、渡邊高弘

整理作業担当者

調査部長 堀部昭夫
班 長 藤崎芳樹
主任技師 金丸 誠
技 師 矢本節朗

平成2年度

昨年度に引続き防音堤建設事業分の整理作業を平成2年4月1日～同年5月31日に実施した。作業内容は、遺物の復元・実測、トレースである。

整理作業担当者

調査部長 堀部昭夫
班 長 藤崎芳樹
技 師 落合章雄

平成7年度

本年度は、空港建設事業分の整理作業を平成7年4月1日～平成8年3月31日に実施した。作業内容は、水洗・注記、図面・写真の整理、遺物の復元・実測、トレース、レイアウト、原稿執筆の一部である。

整理作業担当者

調査研究部長 西山太郎
所 長 石田廣美
分 室 長 横山 仁

平成8年度

本年度は、空港建設事業分の整理作業を平成8年4月1日～同年6月30日に、防音堤建設事業分の整理作業を平成8年8月1日～同年9月30日に実施した。作業内容は、空港建設事業分が原稿執筆で、防音堤建設事業分がレイアウト、原稿執筆である。その後、それぞれの事業分を合本として刊行した。

整理作業担当者

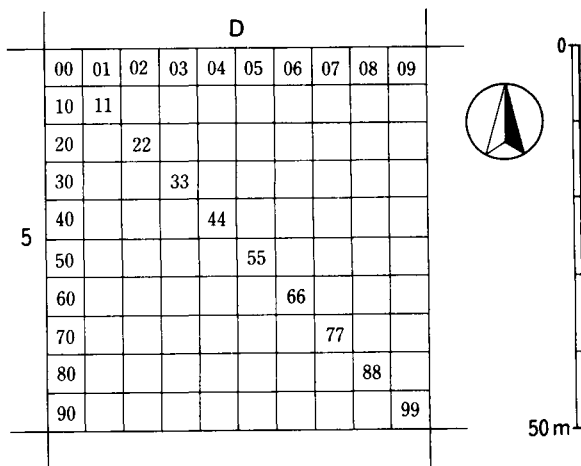
調査部長 西山太郎
所 長 石田廣美
室 長 横山 仁
主任技師 矢本節朗

2 調査の方法

発掘調査を始めるに当たり、調査対象区域を公共座標に合わせて、50m×50mの大グリッドを設定した。さらに、その大グリッド内を5m×5mに分割し、100個の小グリッドとした。そこで、大グリッドは北から南へ00、0、1、2、3……、西から東へA、B、C、D……と記号を付け、小グリッドについては北西隅を起点に00、01……、98、99と番号を付け、これらを組み合わせて呼称することにした（第1図）。

調査は、上層・下層確認調査、上層本調査、下層本調査の順に実施した。上層確認調査は、2m×2mのグリッドを基本とし、斜面部では任意のトレンチを併用し、調査対象面積の8%を設定して遺構と遺物の分布を確認した。下層確認調査は、2m×2mのグリッドを地形に合わせて調査対象面積の8%を設定し、遺物の分布を確認した。それぞれの確認調査後、本調査に移行し、遺構や遺物の分布状況を詳細に調査した（第4・5図参照）。

なお、調査時に遺構番号は大グリッドごとに付けており、本書では、編集の都合上全遺構を時代及び遺構種別ごとに分類して新たに番号付けを行った（第1表参照）。



第1図 グリッド呼称図

第1表 遺構番号対称表

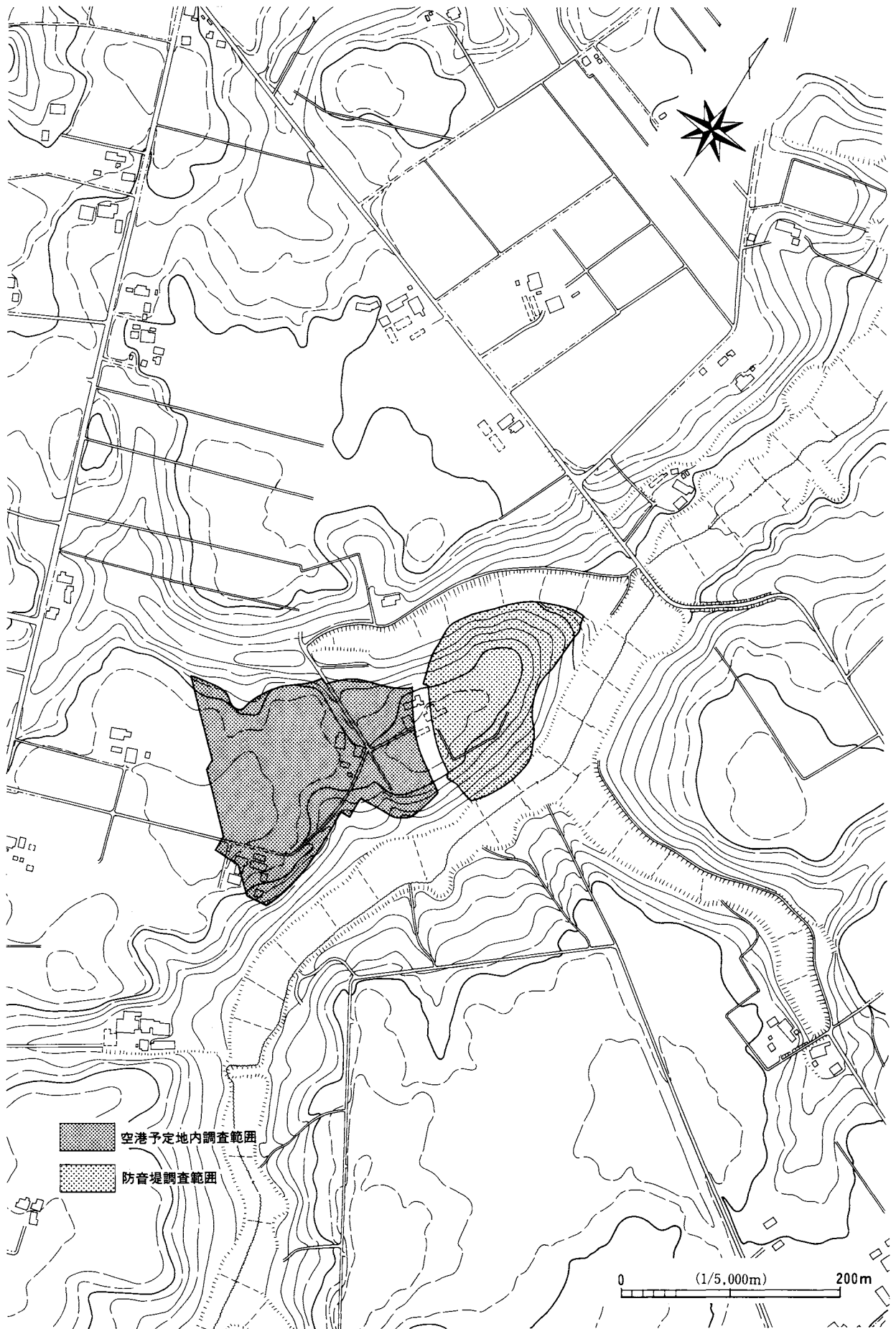
時代	新番号	旧番号	新番号	旧番号
縄文	1号陥穴	0G1001	6号陥穴	2D1001
	2号陥穴	0G1002	7号陥穴	3D1002
	3号陥穴	0F1001	8号陥穴	4C1001
	4号陥穴	1F1001	1号土坑	4E1001
	5号陥穴	2D1002		
歴史時代	1号竪穴住居跡	3E1001	2号溝	溝2
	1号溝	溝1		

第2節 遺跡の位置と環境

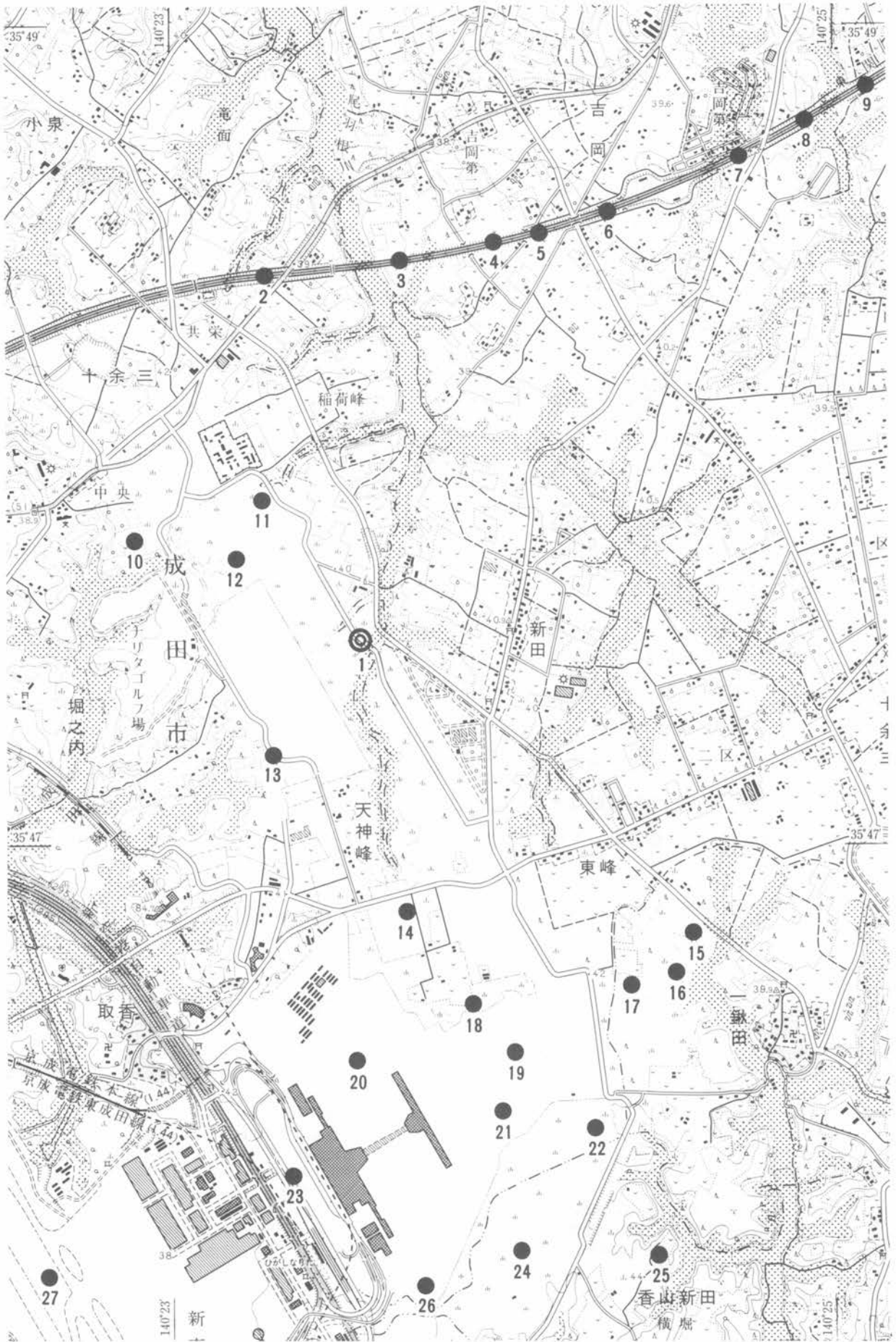
1 遺跡の位置と地理的環境

本遺跡は、新東京国際空港予定地内の北端に位置し、尾羽根川と取香川の分水域に当たる平坦な台地の一角にある。行政的には、成田市天神峰奥之台17ほかにも所在する。遺跡をのせる台地は、尾羽根川により開折され、北東へ舌状に張り出している。標高は約40mで、谷部との比高差は約10mである（第2図）。調査の結果、旧石器時代及び縄文時代の遺構・遺物のほか、奈良時代の製鉄関連遺構を検出した。

本遺跡周辺の台地上には数多くの遺跡があることで知られている。第3図では、すべての遺跡を網羅して記載したいところであるが、ここでは発掘調査を実施して遺跡の性格が明らかになったものだけを取り上げることにした。



第2図 天神峰奥之台遺跡(空港No.65遺跡)地形図



第3図 周辺遺跡分布図

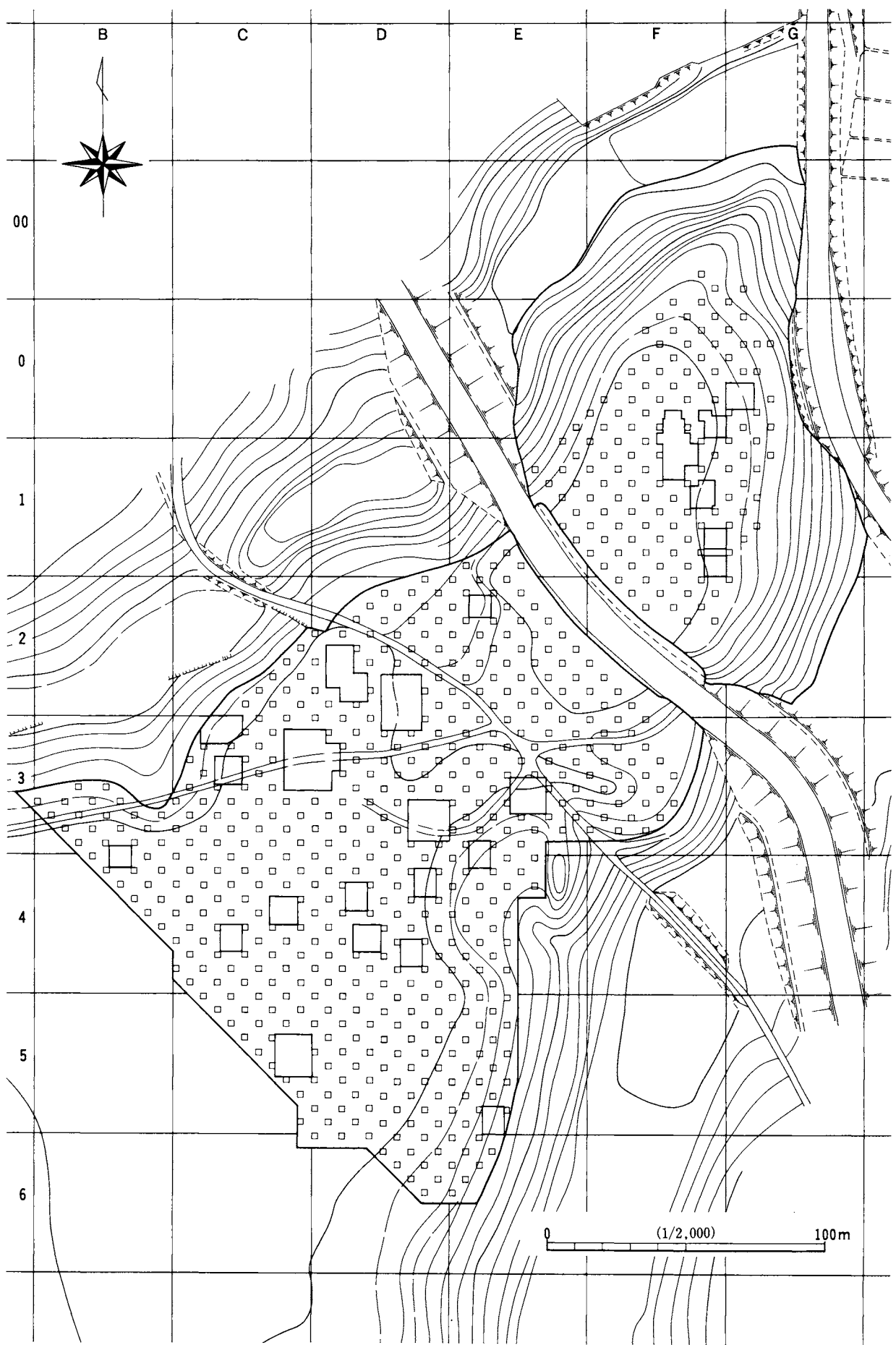
旧石器時代は、一畝田甚兵衛山北遺跡（空港No.11遺跡）・取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）・香山新田新山遺跡（空港No.10遺跡）・香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）が主なものとしてあげられる。一畝田甚兵衛山北遺跡（空港No.11遺跡）はナイフ形石器を主体とする文化層と尖頭器を主体とする文化層があり、小型の剝片を素材にして石器製作を行っていた。取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）は6つの文化層からなり、細石器を主体とする石器群、尖頭器を主体とする石器群、ナイフ形石器を主体とする石器群、台形様石器を主体とする石器群に分けられた。中でも、尖頭器出現期段階の石器群の検出は特筆すべき点である。香山新田新山遺跡（空港No.10遺跡）は10期に細分されており、主として槍先形尖頭器を主体とする石器群、細石器を主体とする石器群、石刃を主体とする石器群、礫群で構成されていた。香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）は東内野型尖頭器を主体とする石器群と大形の石刃を主体とする石器群の存在が特徴としてあげられる。

縄文時代は、ほとんどの遺跡がこの地域特有の縄文土器（早期・前期）包含層を伴っている。特に、取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）は類例の少ない早期前半（擦糸文期）の竪穴住居跡が6軒検出され、住居形態が明らかになった。また、焼礫の礫群がまとまって出土し、炉穴や集石土坑との関連性をとらえることができた。古込遺跡（空港No.14・55・56遺跡）は沈線文系土器を主体に分布する地区と条痕文系土器を主体に分布する地区に分かれ、後者のほうに石鏃製作跡が存在していた。香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）は早期前半（擦糸文期）の竪穴住居跡を1軒検出し、住居施設に「床面の中央部が窪み、わずかに焼けている施設がある」ということが解った。稲荷峯遺跡は早期から前期の竪穴住居跡を15軒検出し、尾羽根川流域における縄文集落の存在を明らかにした。

歴史時代は製鉄関連遺跡として、一畝田甚兵衛山北遺跡（空港No.11遺跡）・取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）・香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）が主にあげられる。一畝田甚兵衛山北遺跡は8世紀前半の製鉄関連遺構を検出し、そこから燃料生産工程→製錬工程→鉄塊選別工程→鍛冶工程の鉄生産過程を解明することができた。取香和田戸遺跡は8世紀前半と9世紀前半の製鉄関連遺構を検出し、燃料生産工程→製錬工程→鉄塊選別工程→精練鍛冶工程→鍛造鍛冶工程の鉄生産過程を空間的に捉えられた。香山新田中横堀遺跡は10世紀～13世紀と思われる製鉄関連遺構を検出し、3回の操業が行われていることが解った。また、鉄生産は炭の生産・投入工程→砂鉄搬入・投入工程→炉壁構築・廃棄工程→鉄塊選別・搬出工程の順で行っていた。

第2表 周辺遺跡一覧

番号	遺 跡 名	番号	遺 跡 名
1	天神峰奥之台遺跡（空港No.65遺跡）	15	一畝田甚兵衛山北遺跡（空港No.11遺跡）
2	稲荷峯遺跡	16	一畝田甚兵衛山南遺跡（空港No.12遺跡）
3	大安場遺跡	17	一畝田甚兵衛山西遺跡（空港No.16遺跡）
4	来光台第1遺跡	18	東峰御幸畑西遺跡（空港No.61遺跡）
5	来光台第2遺跡	19	東峰御幸畑東遺跡（空港No.62遺跡）
6	来光台第3遺跡	20	取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）
7	新堀第1遺跡	21	古込遺跡（空港No.14・55・56遺跡）
8	新堀第2遺跡	22	香山新田新山遺跡（空港No.10遺跡）
9	新林大富遺跡	23	古込前遺跡（空港No.22遺跡）
10	十余三稲荷峰西遺跡（空港No.68遺跡）	24	香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）
11	十余三稲荷峰東遺跡（空港No.66遺跡）	25	香山新田安戸台遺跡（空港No.9遺跡）
12	十余三稲荷峰遺跡（空港No.67遺跡）	26	古込朝日台遺跡（空港No.13遺跡）
13	天神峰最上遺跡（空港No.64遺跡）	27	天浪浪丘遺跡（空港No.19遺跡）
14	東峰西笠峰遺跡（空港No.63遺跡）		



第4図 旧石器時代調査範囲図



第5図 縄文時代以降調査範囲及び遺構配置図

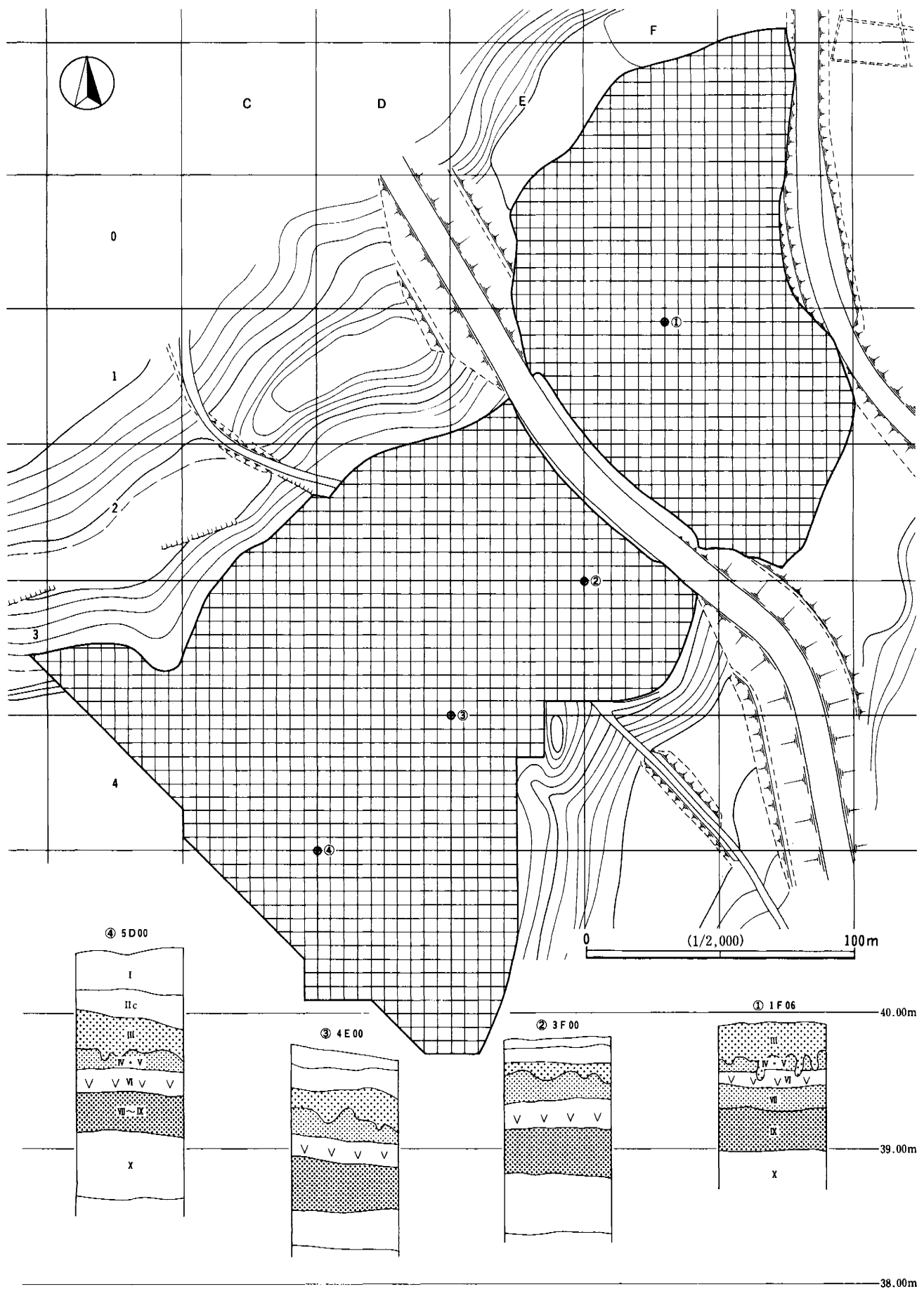
2 層序区分

本遺跡は、前項で説明したように尾羽根川と取香川の上流部に挟まれた台地上に位置している。この台地上は地形面では下末吉面（S面）に比定されている。本遺跡の調査区域は、尾羽根川に開析される北東方向へ延びる舌状台地である。本遺跡の調査は昭和57年から3次に及び、調査年度により立川ローム層の分層方法が異なっている。そこで、下総台地におけるこれまでの立川ローム層中の調査の層序区分を踏まえて、島立・渡辺・新田氏が提言した下総台地の立川ローム層の基本層序¹⁾を考慮した平成元年度の層序区分の結果に基本的に従って層序認識と呼称法を統一した。なお、平成元年度以前の立川ローム層の調査では第2黒色帯を分層せず、またVI層を厚く取っているものがあり、その場合は表記上は第2黒色帯を「VII層～IX層」とし、層序認識としてはVI層の下半部をVII層と把握した。層序区分を行った結果を以下に示した（第6図参照）。

基本層序

- I 層：表土及び耕作土、盛土である。
- II b 層：赤褐色土。色調は赤色、黄褐色スコリアを含み、全体として赤味を帯びている。いわゆる「新期テフラ層」と呼称されている層で、厚さ5cm～10cmを測る。
- II c 層：黒褐色土。ローム層の漸移的な層であるが、本遺跡では黒色はあまり発達していない。主に縄文時代の遺物包含層で、厚さ10cm～20cmを測る。
- III 層：黄褐色ローム土。いわゆるソフトローム層と呼ばれる層である。オレンジスコリアを微量含む。本遺跡ではIII層の波状帯はIV・V層を切ってVI層に及んでいるのが一般的である。層厚は30cm～40cm前後である。旧石器時代第III文化層はこの層下部からIV・V層に遺物の集中が観察された。
- IV・V 層：黄褐色ローム土。本遺跡では、III層が厚くソフトローム化し、IV層を取り込むように堆積し、IV層とV層の峻別は不可能であった。赤色、黒色、白色、オレンジ色スコリアを少量含む。やや暗色である。旧石器時代第III文化層の遺物の集中はV層にまで及ぶ。層厚は20cm前後を測る。
- VI 層：明黄褐色ローム土。始良T n火山灰層（AT層）である。白色パミスを多量に含む。ATが濃密に分布している範囲をVI層としたが、層が厚く取ってある場合は集中は上位部分である。層厚は約15cmである。旧石器時代第II文化層はこの層下部からVII層上部に遺物の集中が観察される。
- VII 層：暗黄褐色ローム土。第二黒色帯上部に相当する層である。VI層よりやや暗色である。赤色、白色、黒色スコリアを少量含む。ATはこの層まで拡散している。層厚は約20cmである。
- IX 層：暗黄褐色ローム土。第二黒色帯下部に相当する層である。ややVII層より暗色化している。下部で粘性が強まる。ATの拡散が見られなくなる部分から下位をIX層としている。旧石器時代第I文化層はこの層下部に遺物の集中が観察される。層厚は30cm前後である。
- X 層：明褐色ローム土。立川ローム最下層に相当する。IX層より明るくなる。しまりはあるが、粘性はやや強くなる。少量の赤褐色スコリアを含む。層厚は40cm前後である。
- XI 層：褐色ローム土。武蔵野ローム最上部層に相当する。X層との境界は不整合で、粘性の相違により波状帯を呈する。軟質で粘性が強い。乾燥すると堅くなり、本層からクラックが発達する。

注1 島立 桂・渡辺修一・新田浩三 1992 「下総台地における立川ローム層の層序区分—平成2・3年度職員研修会から—」『研究連絡誌』35（財）千葉県文化財センター



第6図 基本層序



第7図 ブロック・礫群の分布状況

第2章 旧石器時代

第1節 概要

旧石器時代調査は3か年に及び、44,000m²の調査対象面積のうち、2,496m²の本調査を実施した。遺物集中地点は調査対象範囲のほぼ全域から、合計24か所の地点で検出された。整理作業の過程で平面分布密度、垂直分布、母岩別分類等の検討を行い、これらの遺物集中地点は、総数31か所のブロック、4か所の単独出土地点、12か所の礫群によって構成されると把握した。産出層準は立川ローム層各層に及び、これらのブロック、礫群を大きく3つの文化層にまとめ、それらは立川ローム層の下位にある層位から第I文化層、第II文化層、第III文化層として設定した。ブロックの名称は第I文化層から順に、公共座標に合わせて調査対象範囲のおおむね北西側から南東側に向かって第1ブロック、第2ブロック…第31ブロックと任意に名称を付した。礫群についても同様に第1礫群、第2礫群…第12礫群と名称を付した。単独出土の遺物については、ブロック外の遺物として末尾に記載した。

第I文化層は、立川ローム層のIX層下部に出土層位がある文化層である。第1ブロック～第13ブロックの13か所のブロックが帰属する。第II文化層は、立川ローム層のVII層からVI層に出土層位がある文化層である。第14ブロック～第16ブロックの3か所のブロックが帰属する。第III文化層は、立川ローム層のIV・V層からIII層下部に出土層位がある文化層である。第17ブロック～第31ブロックの15か所のブロック、第1礫群～第12礫群の12か所の礫群が帰属する。

第7図にこれらのブロックと礫群の分布状況を示した。なお、各地点には便宜的に調査対象範囲の北側からA地点～V地点の名称を付けた。次に、各文化層の概要を示しておく。

第I文化層 本遺跡の最下層の文化層であり、IX層下部の13か所のブロックが帰属する。第10ブロックは本遺跡最大規模のブロックであり、総数約700点の石器が出土している。石器群は台形石器が出土しており、また、該期に特徴的に検出される局部磨製石斧も1点検出されている。石材は安山岩を主体に、珩質頁岩、瑪瑙等各種の石材が使用されている（第3表）。

第II文化層 少数のブロックで構成される文化層であり、VII層～VI層の3か所のブロックが帰属する。石器群はナイフ形石器、石刃が出土しており、また、石器製作技術に石刃技法が特徴的に存在する。石材は珩質頁岩を主体に、黒曜石、砂岩の石材が使用されている（第4表）。

第III文化層 本遺跡で最も多いブロックがある文化層であり、IV・V層～III層下部の16ブロックが帰属する。また、本遺跡の礫群はすべて当文化層に帰属する。礫群は各ブロックに重複するように分布している。石器群は台形石器（切出タイプのナイフ形石器）が多数検出され、角錐状石器が少数伴出する。石材は安山岩が圧倒的に主体を占め、他にホルンフェルス、黒曜石、珩質頁岩等の各種の石材がごく少数使用される（第5表）。

第2節 第I文化層

第I文化層に属するブロックは調査区の各地点に散在している。調査区の北東側の舌状台地の先端部に4か所のブロック、調査区の北西側の台地北西側縁辺に沿うように3か所のブロック、調査区の東側から

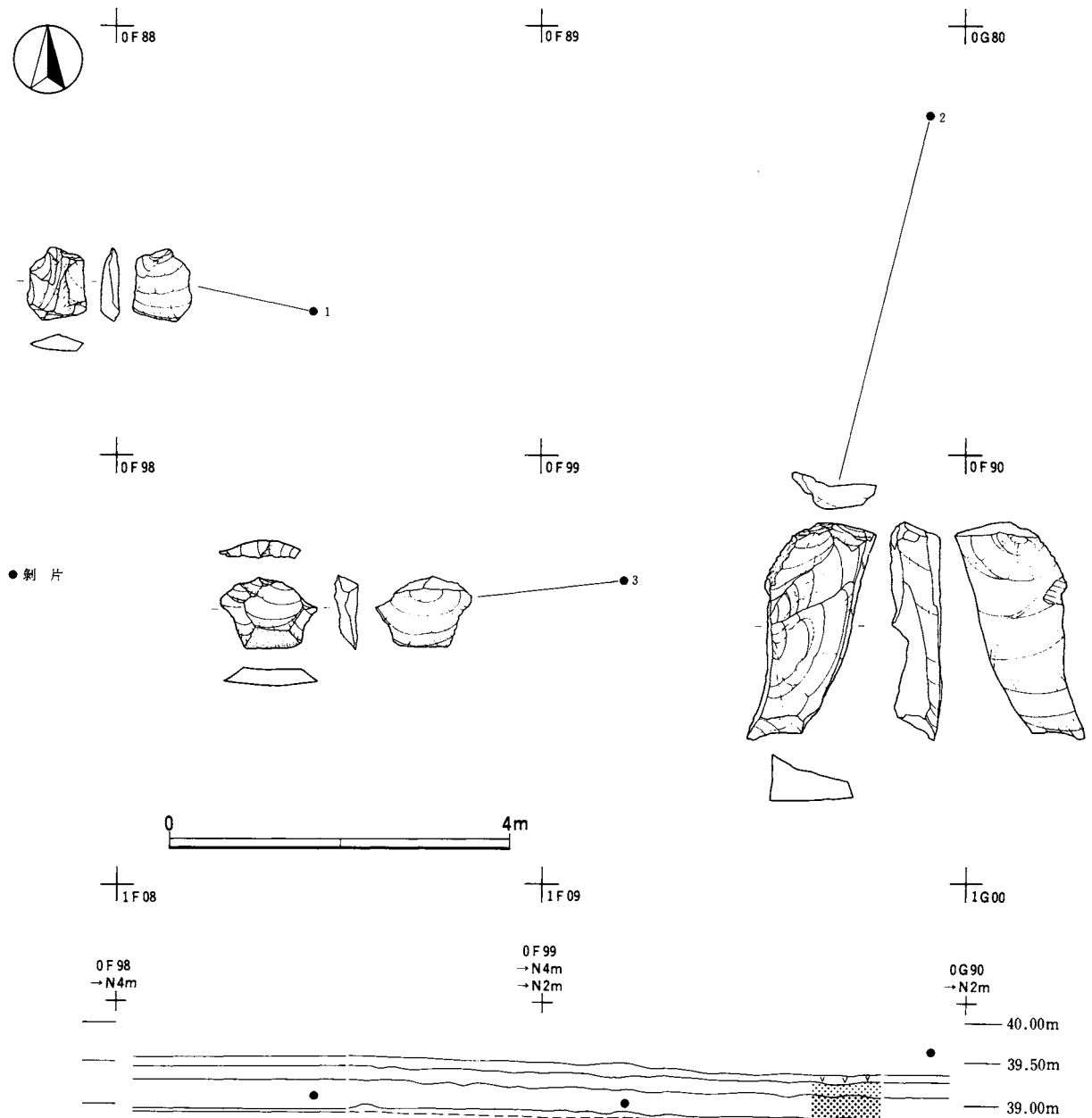
南側にかけての台地東側縁辺から舌状台地の付け根部分に6か所のブロックが展開している。

各ブロックは小規模なものが多いが、第10ブロックや第5ブロックのように大規模なブロックも存在している。小規模なブロックでは主要な器種(利器類)が少なく文化層の認定に苦慮するブロックもあるが、大規模なブロックでは台形石器が多量に存在し、台形石器を生産する各種の剥片剥離技術が認められる。

第I文化層の石材構成は、ガラス質黒色安山岩(黒色緻密安山岩)が主体を占め、この石材により、台形石器が生産されている。また、第10ブロックでは、瑪瑙を石材として台形石器を生産する接合資料の好資料が認められる。

1 第1ブロック(第8~10図、表6・7、図版2・10)

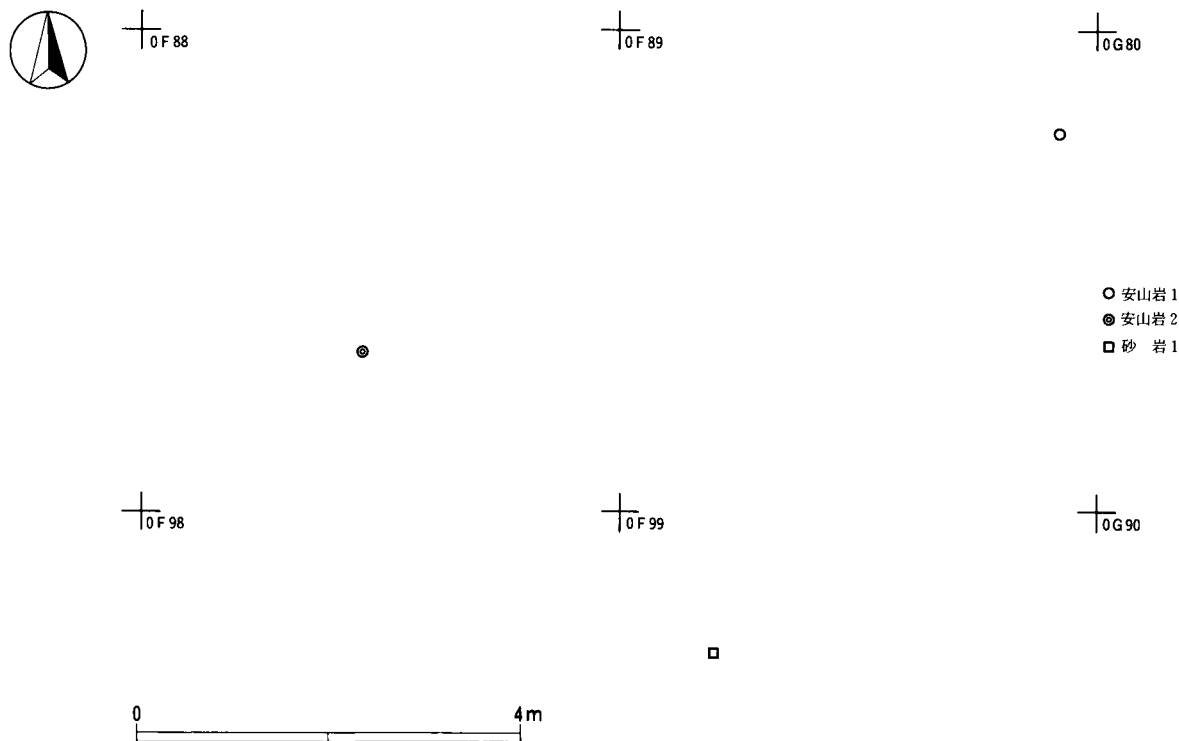
分布状況 調査区北東側、B地点で調査されたブロックである。0F区南東隅に位置しており、調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の先端部東側縁辺部に当たる。南西側に第2ブロック~第4ブロックがやや離れて分布する。



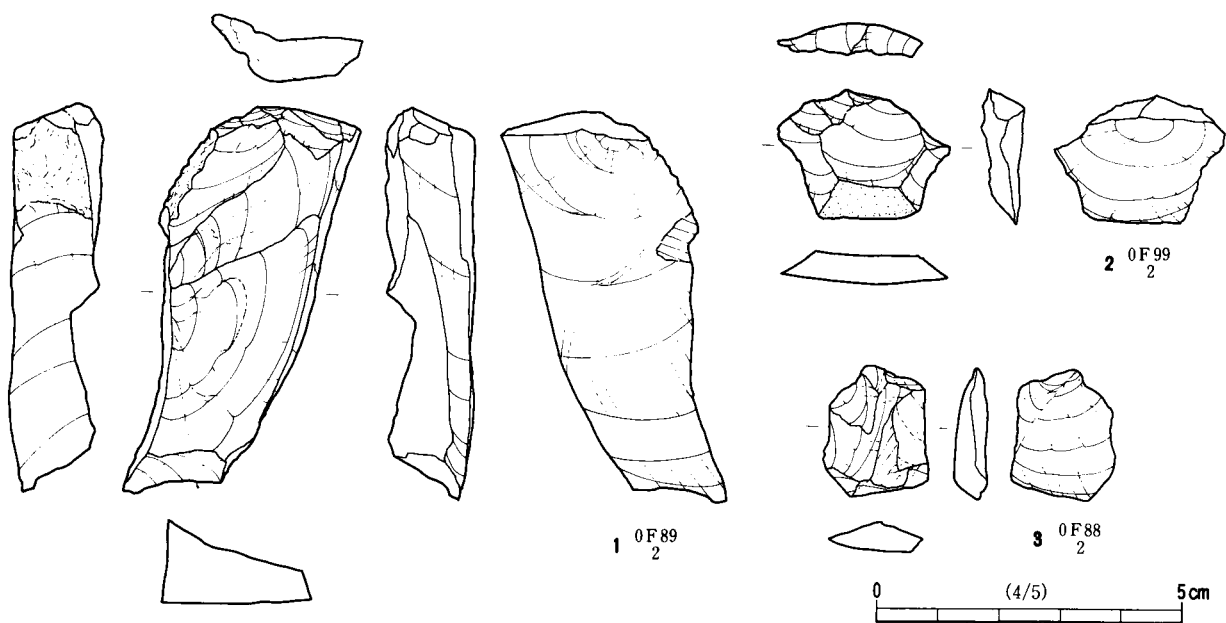
第8図 第1ブロック器種別分布

遺物総数は3点である。その分布は散漫であり、それぞれ、約4.8m～7.6mの間隔をおいて分布している。0 F88・89・98区に不整三角形に分布する。分布範囲は南北5.4m、東西7.2mを測る。垂直分布ではおよそ0.6mの高低差があるが、これは1点だけIII層上部から検出されたためで、ほかの2点は0.1mの高低差に収まる。この1点は当ブロックに伴わない可能性があるが、便宜的に当ブロックの遺物として扱うこととする。土層断面の投影では他の2点はIX層中部に分布している。

母岩別資料 3母岩が認められる。安山岩1が1点、安山岩2が1点、砂岩1が1点を数え、それぞれ単独母岩となっている。安山岩1はいわゆるトロトロ安山岩、安山岩2はガラス質安山岩である。



第9図 第1ブロック母岩別分布



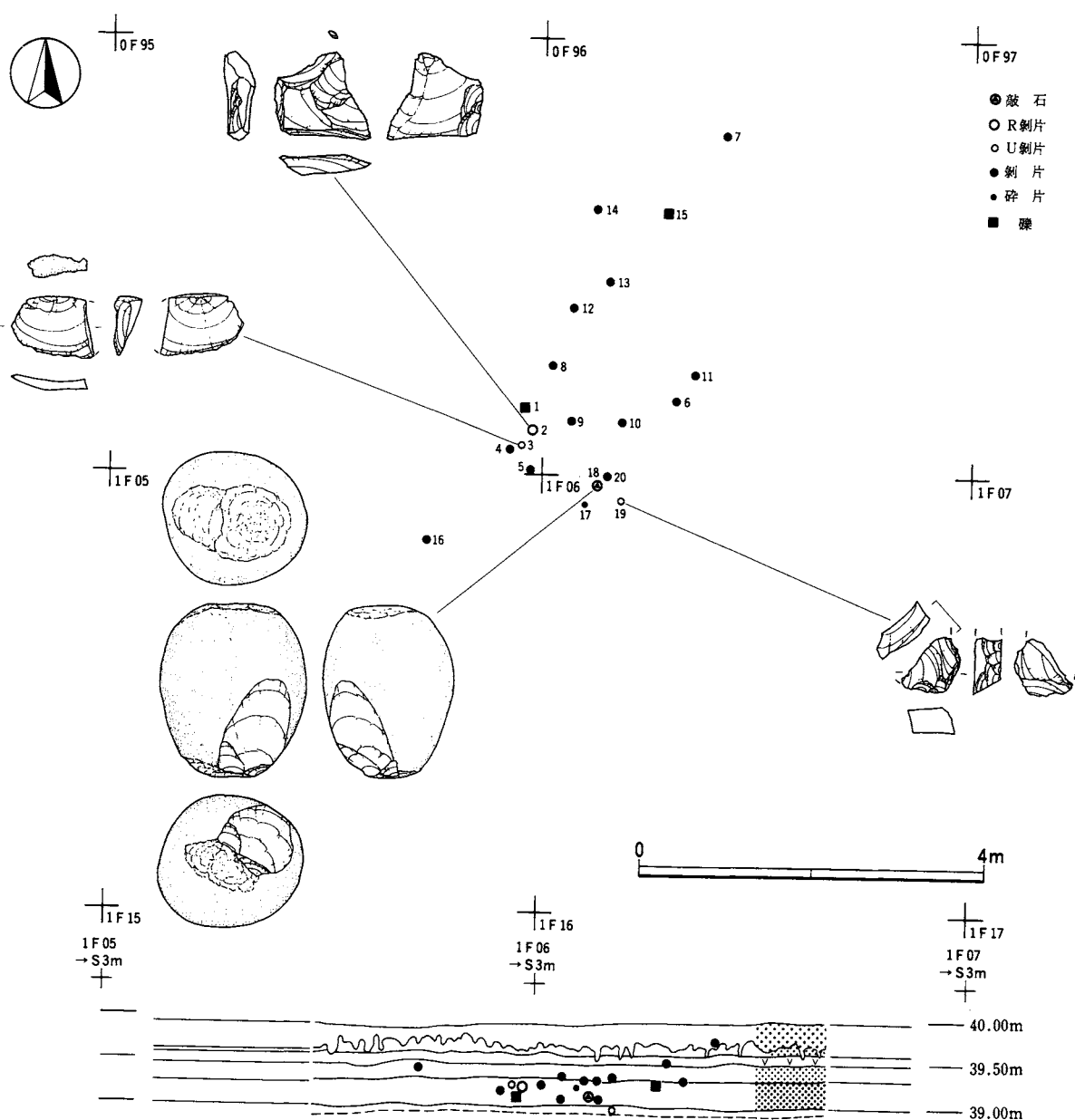
第10図 第1ブロック出土石器

出土遺物 すべて剥片で構成される。1は厚味のある平坦打面の縦長剥片である。2は背面に自然面を残置する横長剥片である。3は点状打面の縦長剥片である。

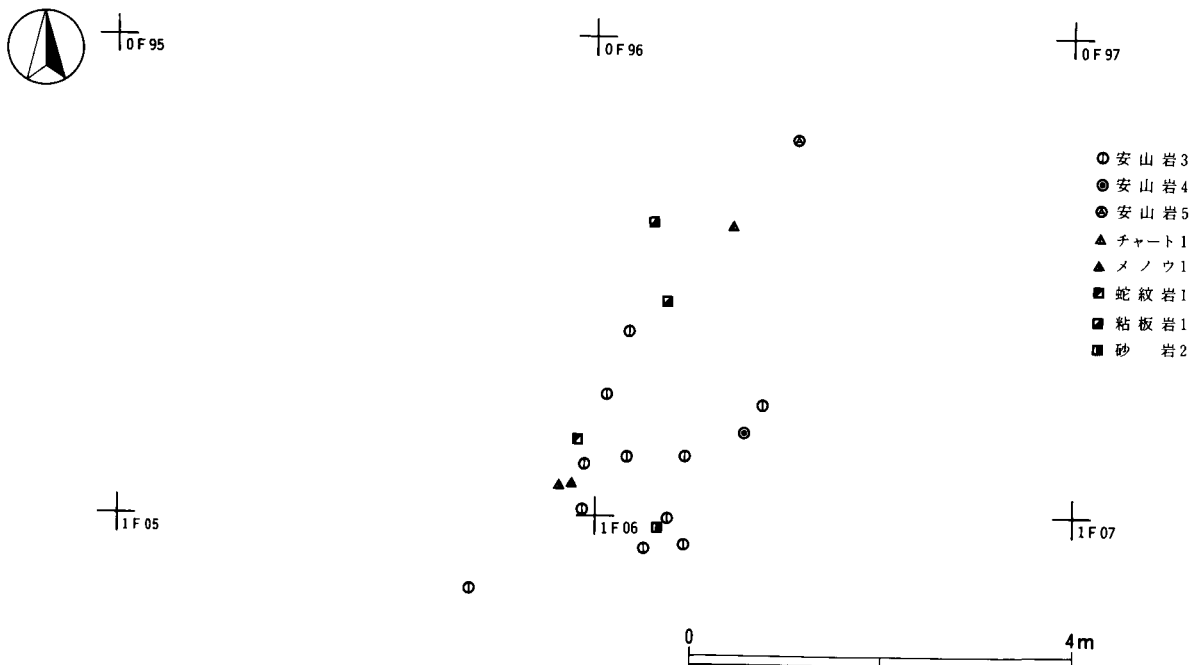
2 第2ブロック (第11~13図、表8・9、図版2・10)

分布状況 調査区北東側、A地点で調査されたブロックである。0F区南隅、1F北隅に位置しており、調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の先端部東側に当たる。南側で第3ブロックが接し、第3ブロックを挟んで第4ブロックが位置し、ブロック群を構成する。

遺物総数は20点である。その分布は比較的まとまっている。ブロックの南西側にやや密集して分布し、中心から北東側に放射状に分布が希薄になっていく。0F95・96区から1F05・06区にかけて北東から南西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北4.6m、東西3.6mを測る。垂直分布ではおよそ0.8mの



第11図 第2ブロック器種別分布



第12図 第2ブロック母岩別分布

高低差があり、遺物の上下への拡散が大きい。土層断面への投影では、X層からIII層下部にかけて分布し、IX層中部から上部に遺物集中のレベルを求めることができる。

母岩別資料 8母岩が認められ、安山岩3が11点を数え、遺物総数の過半を占める。他の母岩は単独母岩あるいは2点ほどの点数構成となっている。そのため安山岩3が分布の中心をなしており、ブロックの北西部の遺物の密集した範囲に分布している。母岩と器種の関係は、安山岩2からは、2点の二次加工のある剥片（以下、R剥片と略称する。）が生産されているが、主要な利器となる器種は生産されていない。また、敲石は砂岩2の母岩を石材としている。

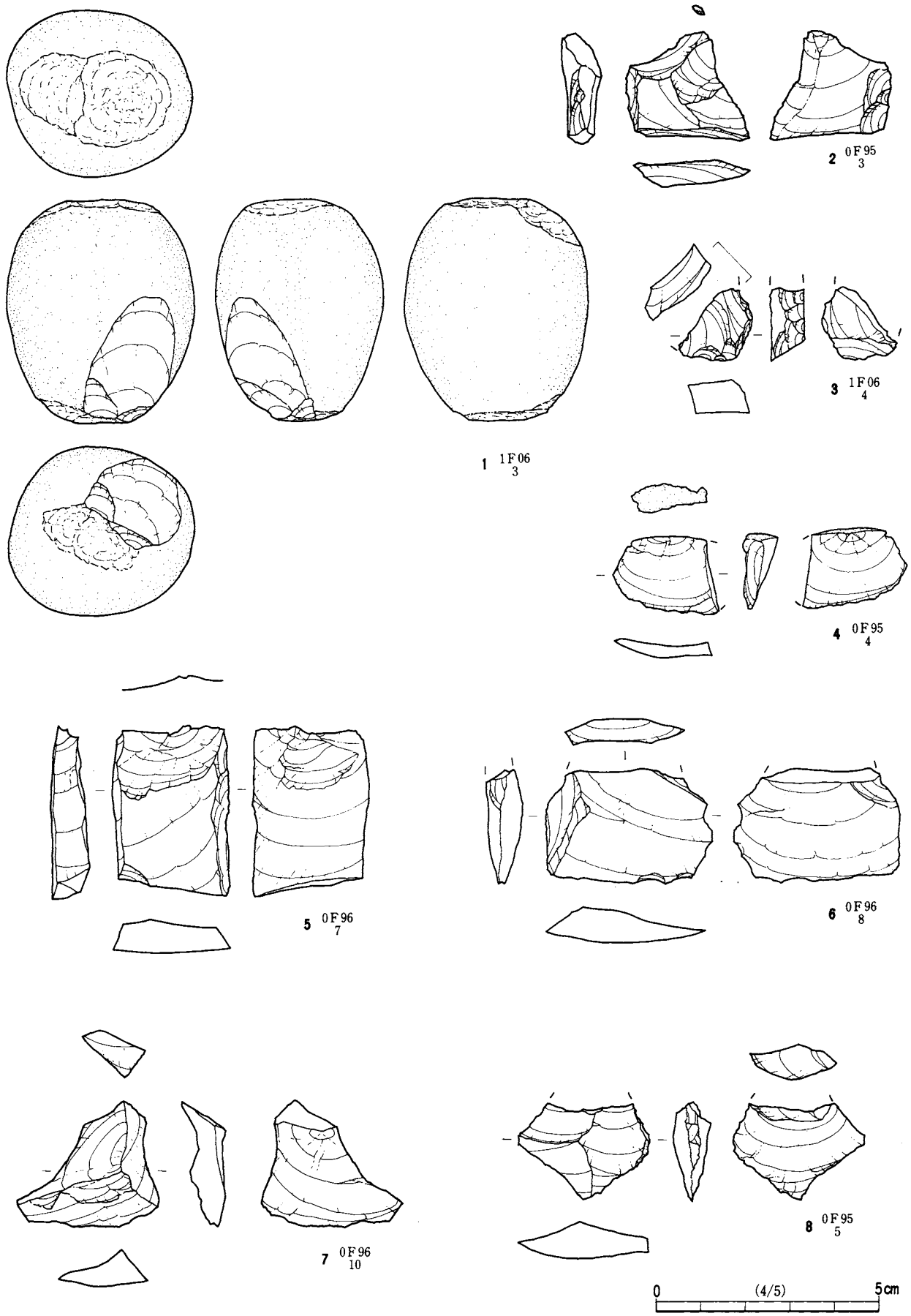
出土遺物 中規模なブロックであるが、器種構成は敲石1点、R剥片2点、使用痕のある剥片（以下、U剥片と略称する。）1点と少なく、剥片主体のブロックである。

敲石 1は敲石である。卵の長軸端部が潰れたような形態を呈し、上下両端部の敲打痕が顕著である。同種の敲石は、該期の文化層での出土は比較的希である。

R剥片 2・3はR剥片である。2は腹面右側縁に平坦調整が認められる。3は腹面から背面右側縁から下端部にかけて急角度の調整が観られる。2点とも明確な形態が看取されないためR剥片とした。

U剥片 4はU剥片である。末端部に刃こぼれ状の微細剥離痕が連続する。

剥片 5～8は剥片である。5～7は安山岩3を石材としている。5は同母岩唯一の縦長剥片であり、他は6・7のような横長剥片で構成される。8は瑪瑙1を石材とする横長剥片である。



第13図 第2ブロック出土石器

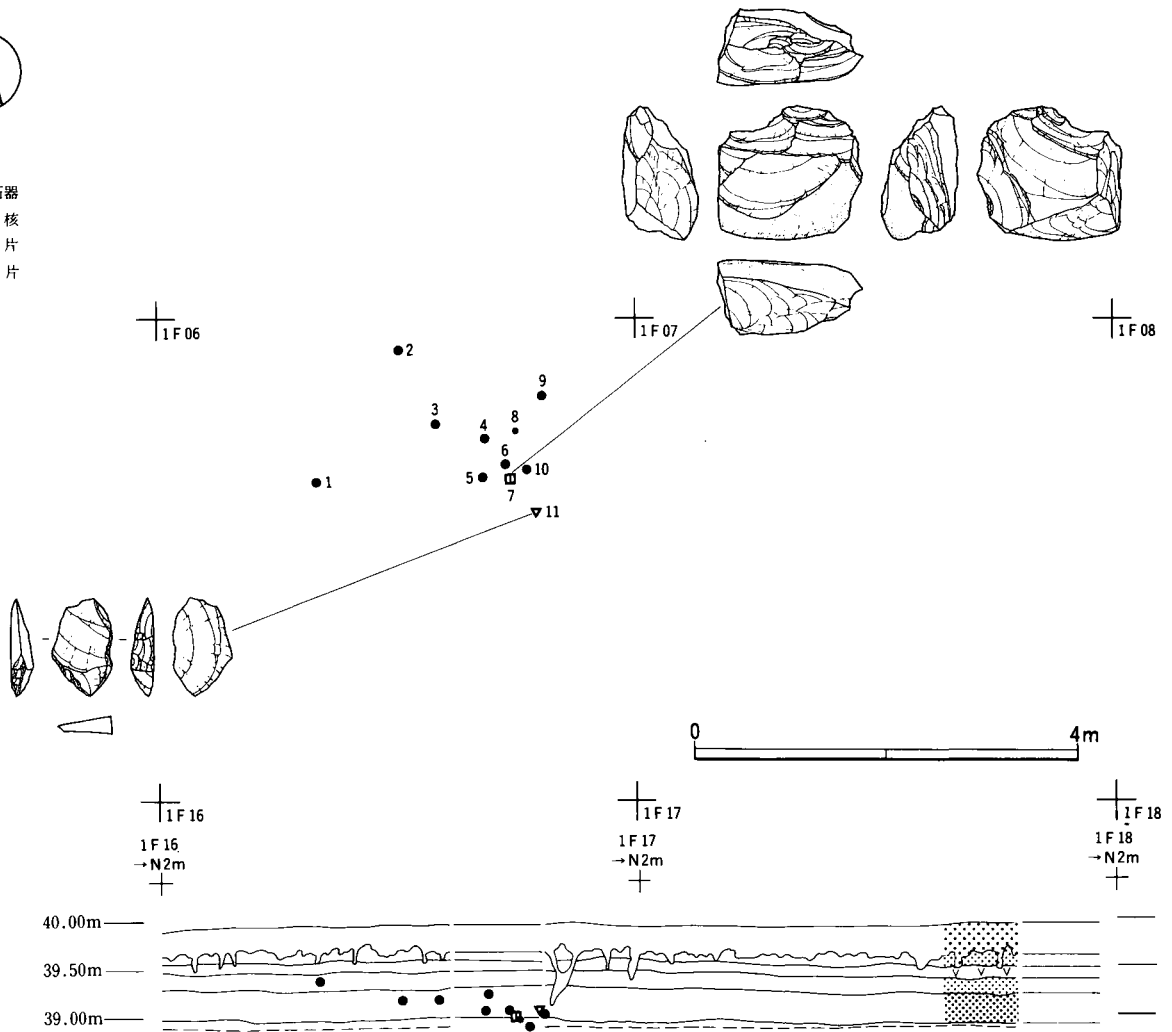
3 第3ブロック (第14~16図、表10・11、図版2・11)

分布状況 調査区北東側、A地点で調査されたブロックである。1 F北隅に位置しており、調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の先端部東側に当たる。北側で第2ブロックが接し、南側で第4ブロックが接している。

遺物総数は11点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的コンパクトにまとまっている。ブロックの東側に密集して分布し、中心から西側方向が分布が希薄になっている。1 F06区に東西やや長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北1.7m、東西2.4mを測る。垂直分布ではおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、X層からVII層にかけて分布し、IX層下部に遺物集中の安定したレベルを求めることができる。



- ▽ 台形石器
- ▣ 石核
- 剥片
- 破片



第14図 第3ブロック器種別分布

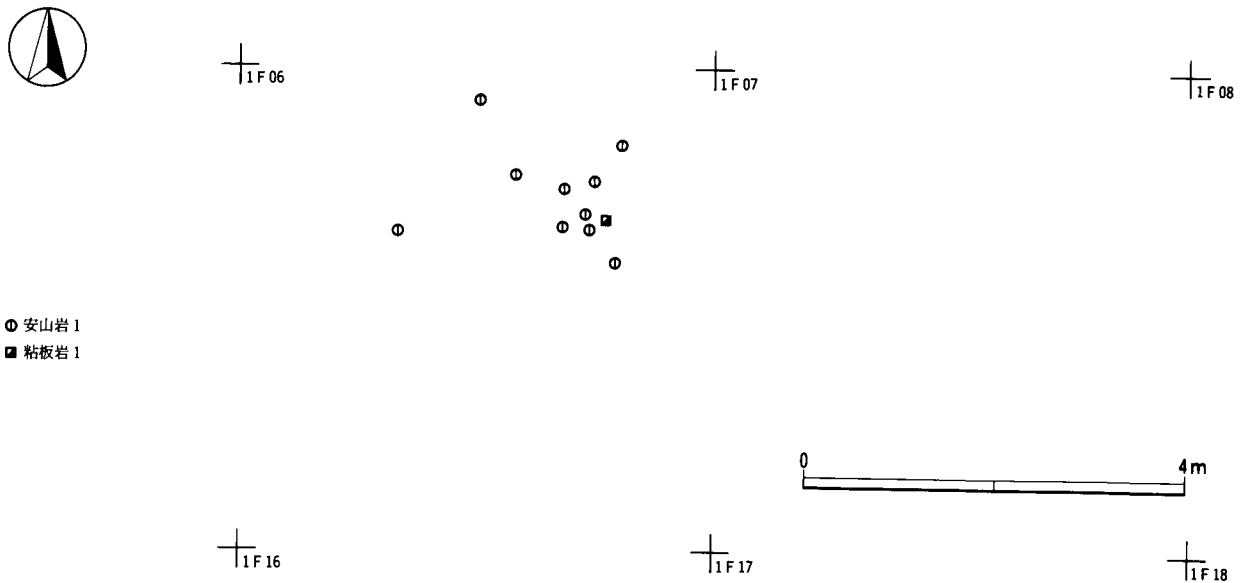
母岩別資料 2母岩が認められる。その内訳は安山岩1母岩10点、粘板岩1母岩1点である。個々の母岩で点数の多いものを挙げると安山岩3の10点であり、この母岩で9割を超える石材構成となっている。母岩と器種の間関係を見ると台形石器が安山岩3の母岩から生産されており、同一母岩の石核も存在している。当ブロックでの安山岩3の母岩消費が想定される。

出土遺物 小規模のブロックであり、特徴的な器種は台形石器1点が構成するのみであり、剥片主体のブロックとなっている。

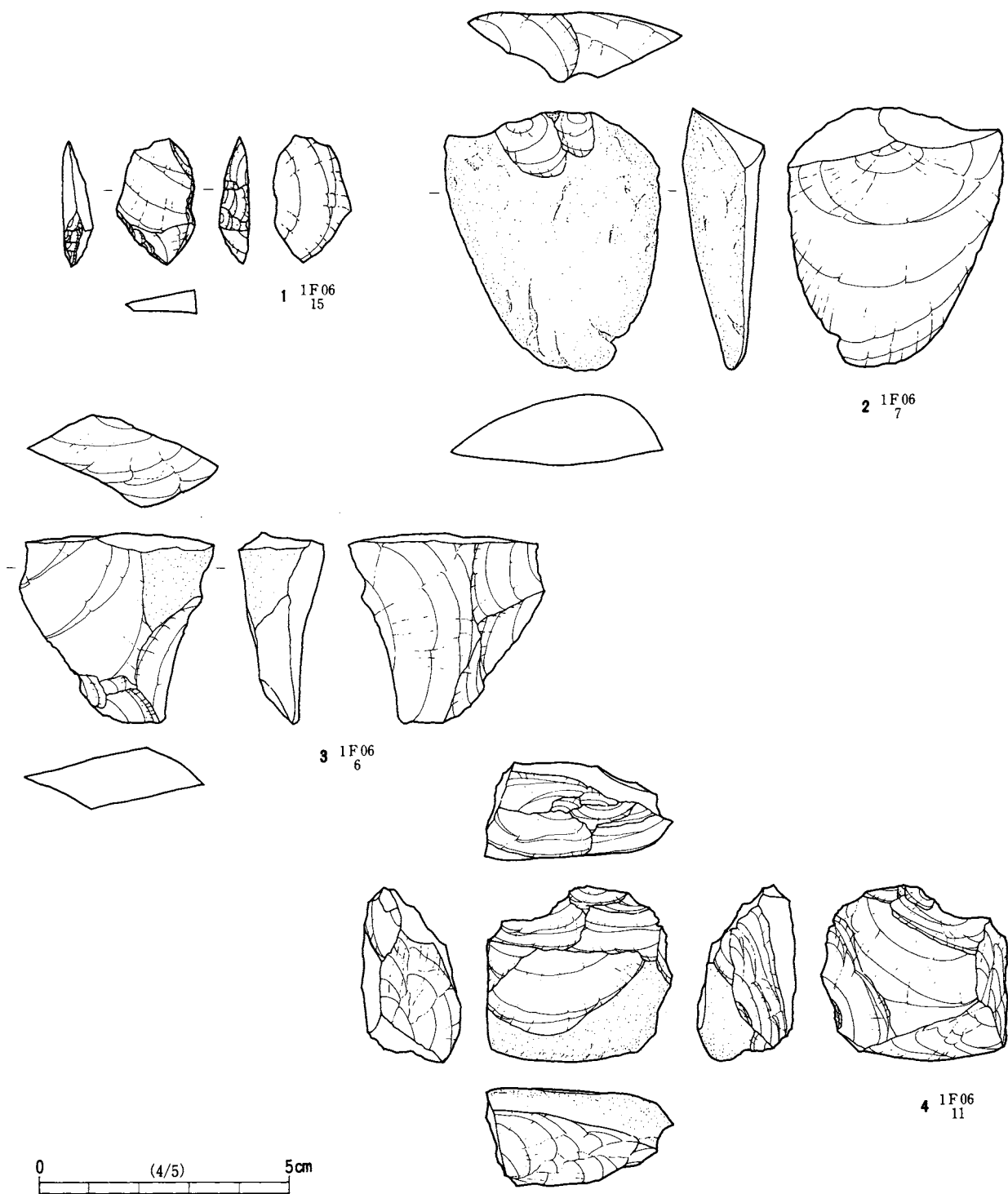
台形石器 1は台形石器とした。横長剥片を素材として、打面部を切断するような背面からの急角度調整加工と、背面左側縁下半部に腹面からの調整加工が認められる。器体は基部が尖り、肩が張るような台形状を呈している。

石核 4は石核である。楕円礫の厚味のある剥片を石核素材にして、素材の主要剥離面を打面として横長剥片を連続的に剥片剥離しており、その後、打面と作業面を入れ替えてさらに横長剥片を剥離している。また、正面右側縁を打面とした剥離作業も認められる。残核であり形状はいわゆるチョッピング・ツール状を呈している。

剥片 2・3は安山岩3の母岩の大形の剥片である。4は自然面を大きく残した縦長剥片である。3は石核の可能性が強いが、最終剥離面は上部の切断面となっており、形状が判然としないため剥片とした。



第15図 第3ブロック母岩別分布

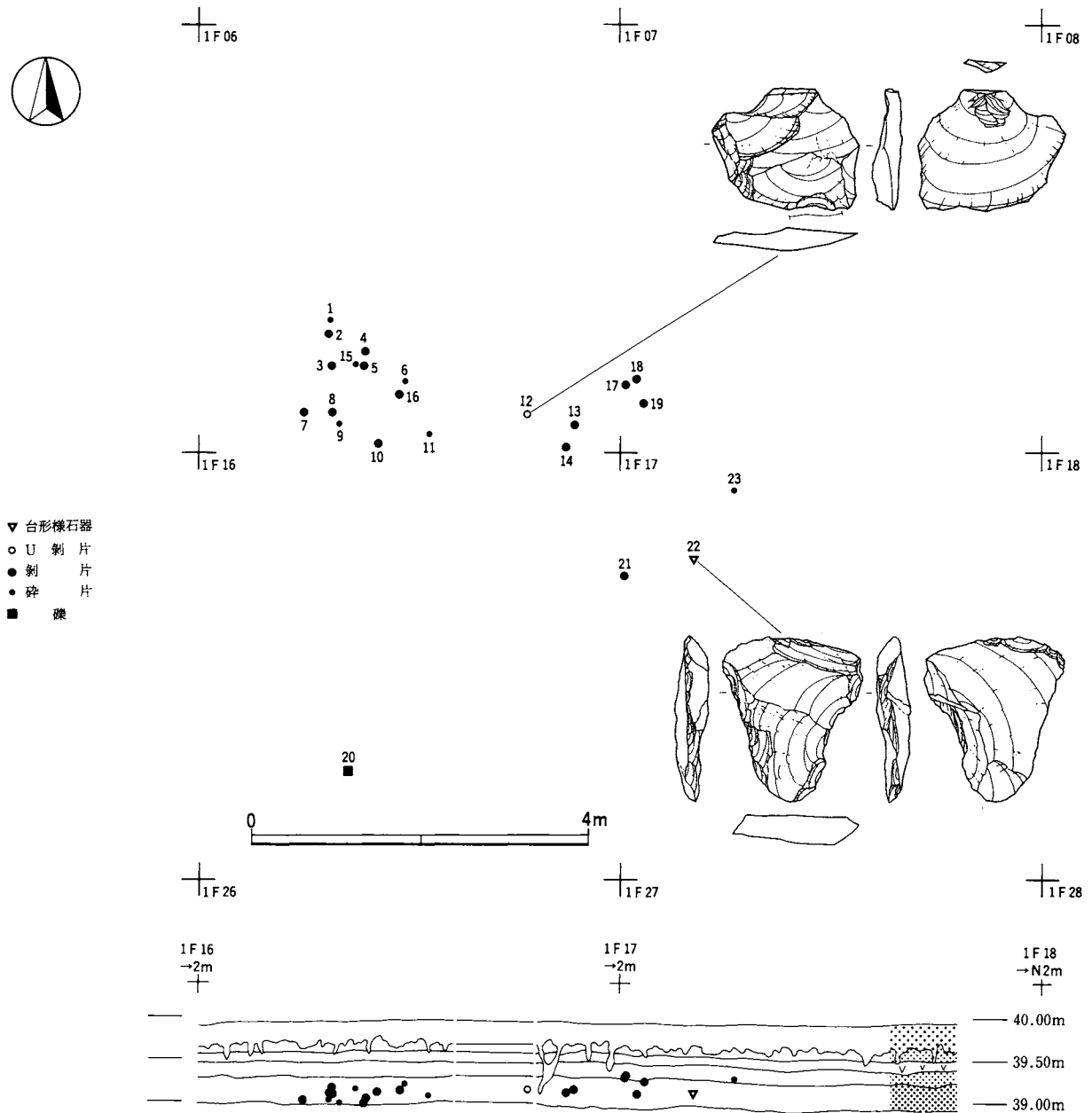


第16図 第3ブロック出土石器

4 第4ブロック (第17~19図、表12・13、図版2・11・12)

分布状況 調査区北東側、A地点で調査されたブロックである。1F北隅に位置しており、調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の先端部東側に当たる。北側で第3ブロックが接している。

遺物総数は23点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は東西2群に分かれるように分布する。ブロックの北西隅に密集して分布し、間隔をおいて北東側にやや分布の密な部分がある。その南側が分布が希薄になっている。1F06・07区から1F16・17区に逆三角形形状に分布する。分布範囲は南北5.2m、東西5.2mを測る。垂直分布ではおよそ0.8mの高低差があるが、これはブロックの南端でX層下部から礫が1点出土しているためで、他の遺物の高低差は0.4mに収まる。土層断面への投影では、X層からVII層にかけて分布し、IX層下部からIX層上部に遺物集中の安定したレベルを求めることができる。



第17図 第4ブロック器種別分布

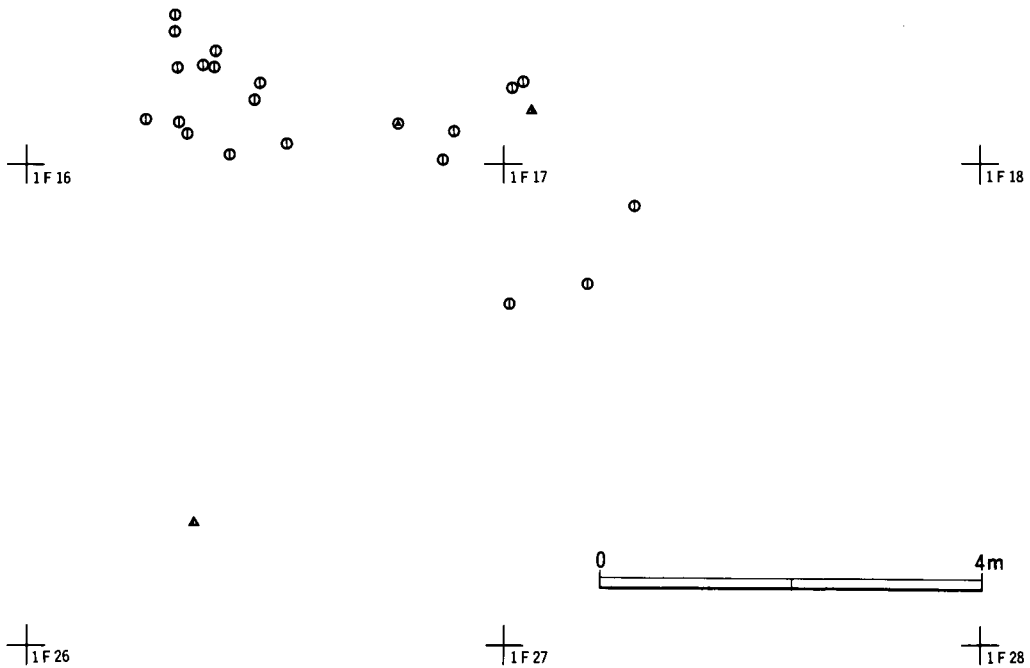


1F06

1F07

1F08

- 安山岩3
- ▲ チャート1
- ▲ チャート1
- ⊙ メノウ1



第18図 第4ブロック母岩別分布

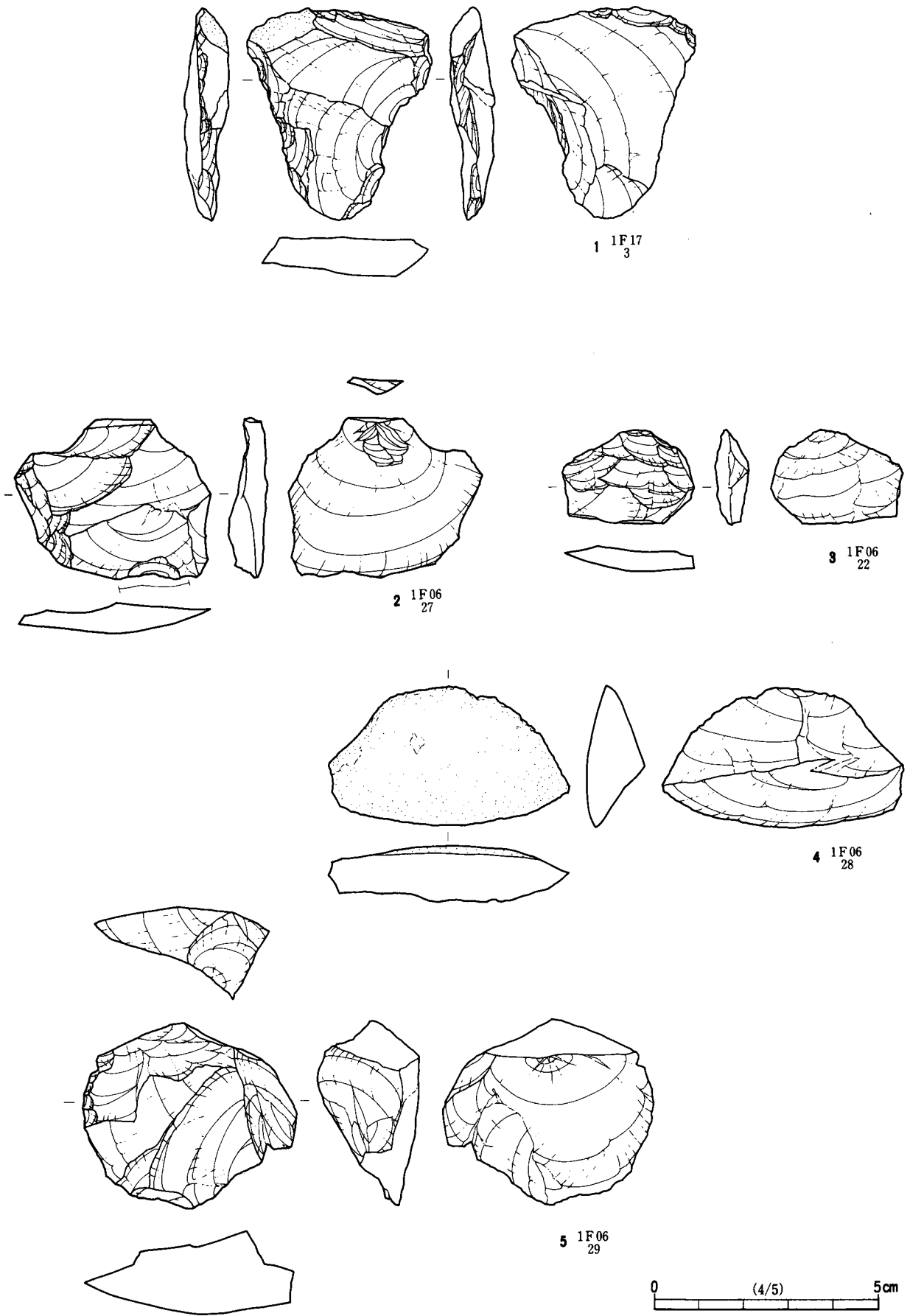
母岩別資料 4母岩が認められる。その内訳は安山岩1母岩20点、チャート2母岩2点、瑪瑙1母岩1点である。個々の母岩で点数の多いものを挙げると安山岩3の20点であり、第3ブロック同様に、この母岩が主体を占める石材構成となっている。母岩と器種の間関係を見ると台形石器が安山岩3の母岩から生産されており、同一母岩の剥片、碎片も存在している。当ブロックでの安山岩3による石器製作最終工程の母岩消費が想定される。

出土遺物 本ブロックは小規模のブロックであり、主要な器種としては台形石器が1点出土したのみで、剥片、碎片主体の器種組成である。

台形石器 1は台形石器である。素材を斜位に用いて打面部を平坦調整で除去し、対向する端部を平坦調整と疎らな細部調整を施し基部を尖らせている。器体は逆三角形状となり、刃部はやや弧を描く。

U剥片 2はU剥片である。下端部に剥離痕が観られ、その部分を中心に微細剥離痕が認められる。

剥片 3～5は剥片で、すべて横長剥片である。3は頭部調整が顕著な剥片である。4は背面が自然面となる。5は背面に多方向からの剥離痕が観られる。

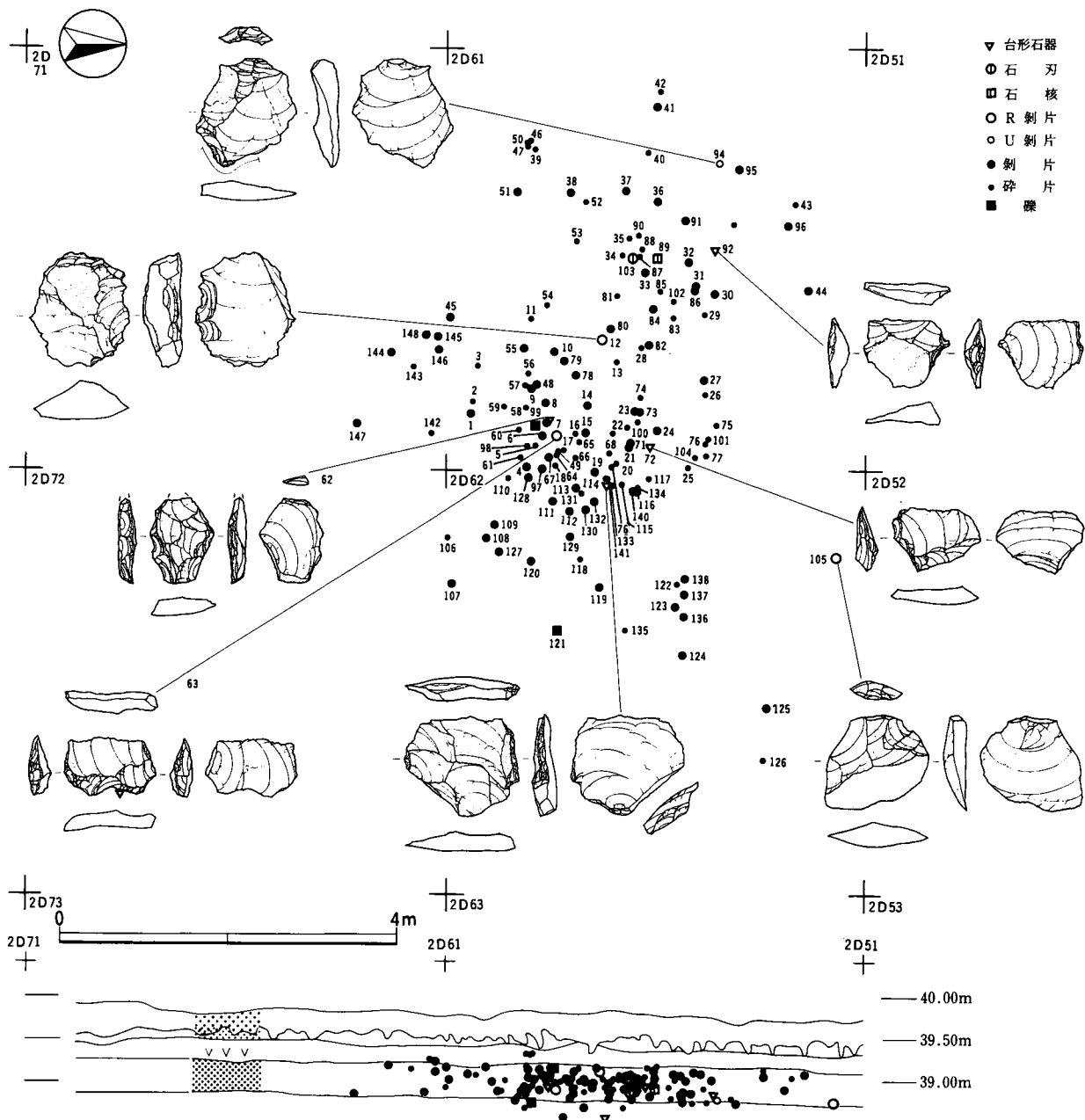


第19図 第4ブロック出土石器

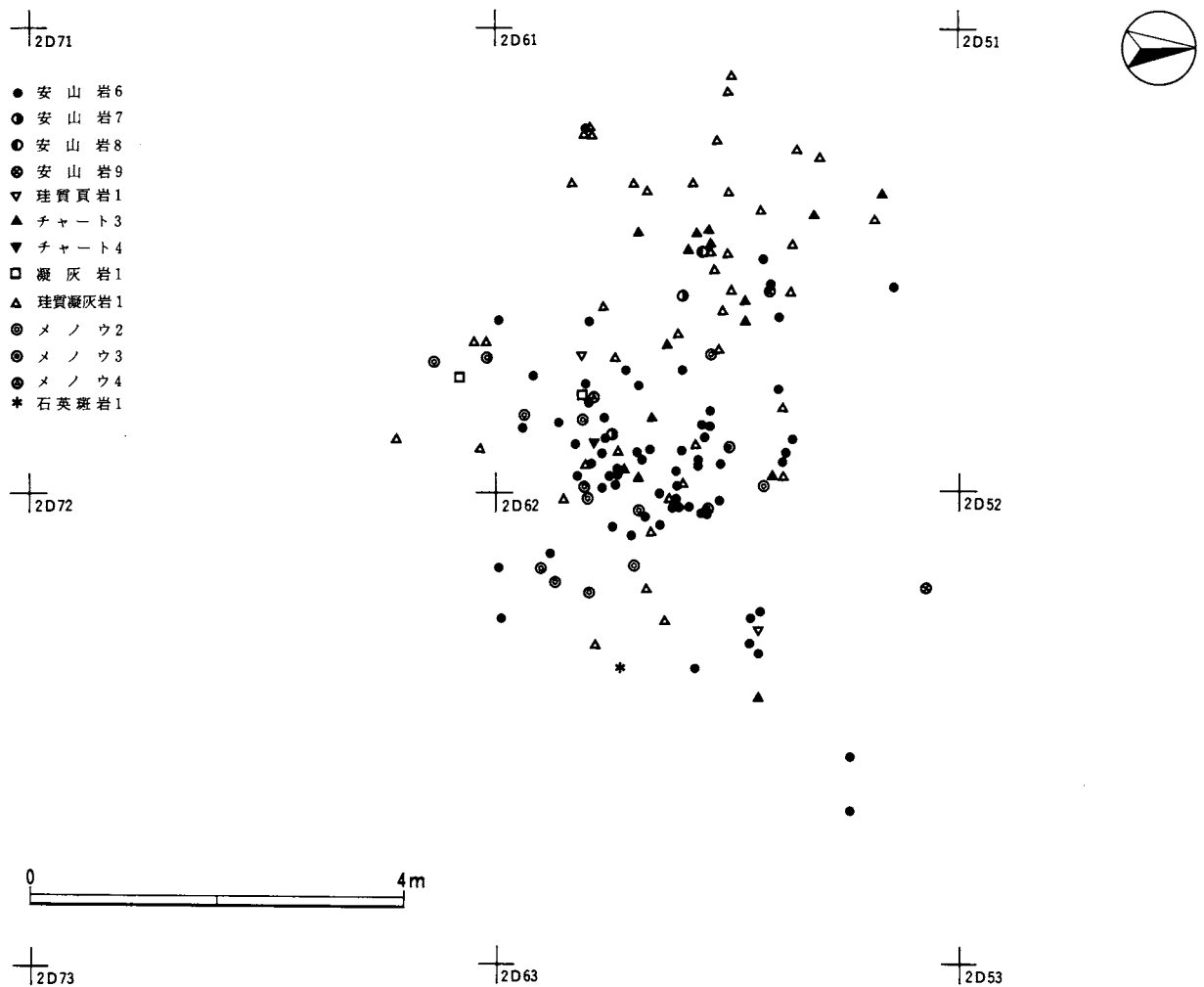
5 第5ブロック (第20~24図、表14~17、図版12・13)

分布状況 調査区北西側、G地点で調査されたブロックである。2D南西側に位置しており、調査区の北東方向に向かって伸びる舌状台地北西側の縁辺部に当たり、現況ではローム層は緩やかに北西方向に傾斜する。南側で第6ブロックが接しており、ブロック群を構成している。

遺物総数は148点であり、大規模なブロックとなっている。その分布は比較的まとまり、北西側と南東側の2群に分離されるように分布する。ブロックの北西側に密集して分布し、分布の薄い部分があり、南東側に大きな分布密集部分がある。その2つの密集部を中心として、放射状に分布が希薄になっている。2D61・72区から2D71・72区に北西-南東方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北5.6m、東西7.8mを測る。垂直分布はおよそ0.8mの高低差があるが、遺物の集中する部分は0.4mに収まる。土層断面への投影では、西側のやや低い土層面での投影のためやや上位の層に投影されている。遺物は北方向に傾斜



第20図 第5ブロック器種別分布



第21図 第5ブロック母岩別分布

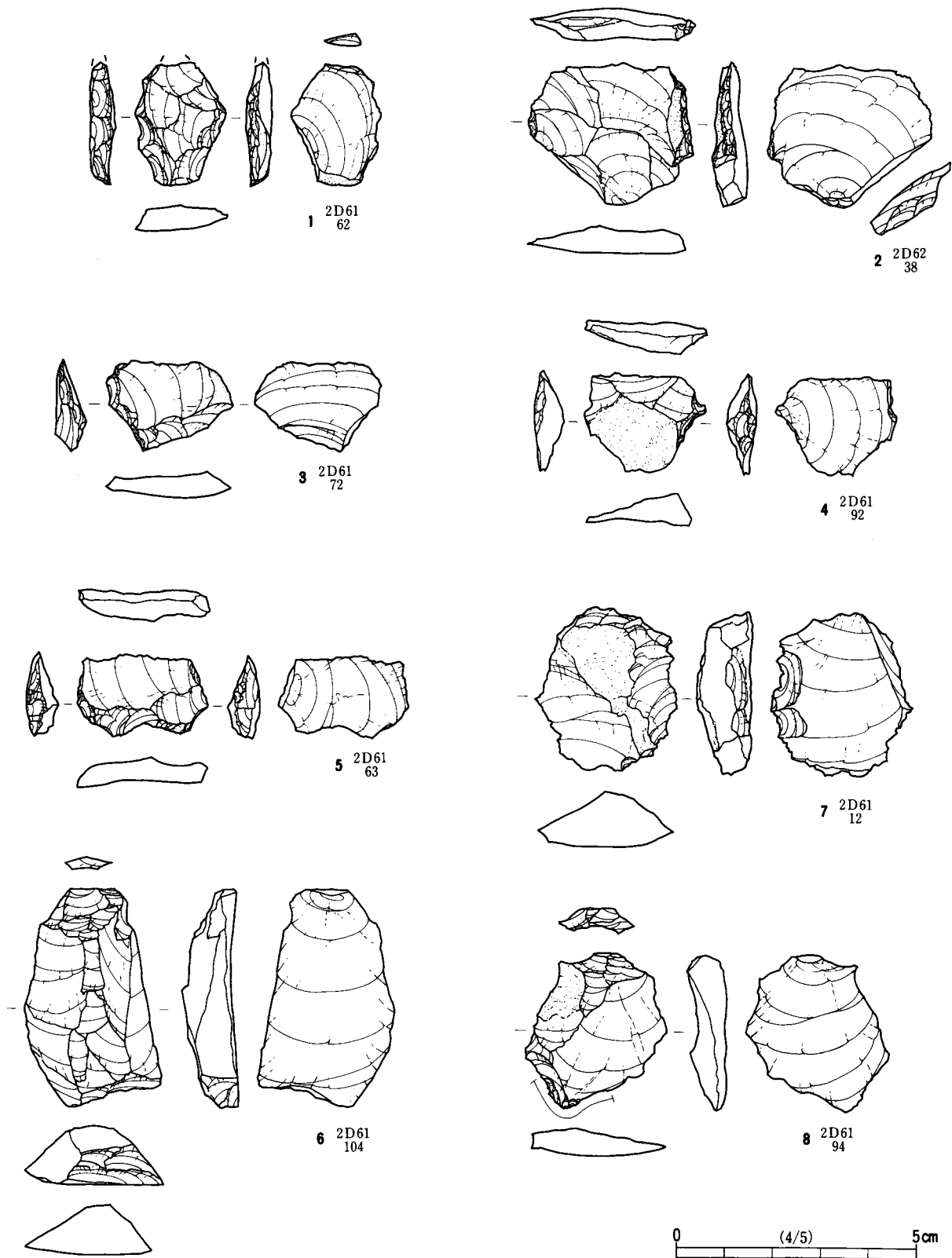
して分布し、X層からVI層にかけて分布し、第2黒色帯は分層されていないが、IX層（第2黒色帯下部）に遺物集中のレベルを求めることができる。

母岩別資料 14母岩が認められる。その内訳は安山岩4母岩70点、珪質頁岩1母岩2点、チャート2母岩16点、凝灰岩1母岩2点、珪質凝灰岩1母岩41点、瑪瑙3母岩16点、石英斑岩1母岩1点である。個々の母岩で点数の多いものを挙げると安山岩6の65点、珪質凝灰岩1の41点、チャート3の15点であり、この3母岩で、総点数の8割を超える石材構成となっている。安山岩6がブロックの東寄りに分布し、珪質凝灰岩1が西寄りに分布している。チャート3は両方の分布を跨ぐように北寄りに分布する。母岩と器種の間関係を見ると台形石器が安山岩6と珪質凝灰岩1から2点ずつ生産されており、当ブロックでの安山岩3、珪質凝灰岩1による台形石器製作の母岩消費が想定される。

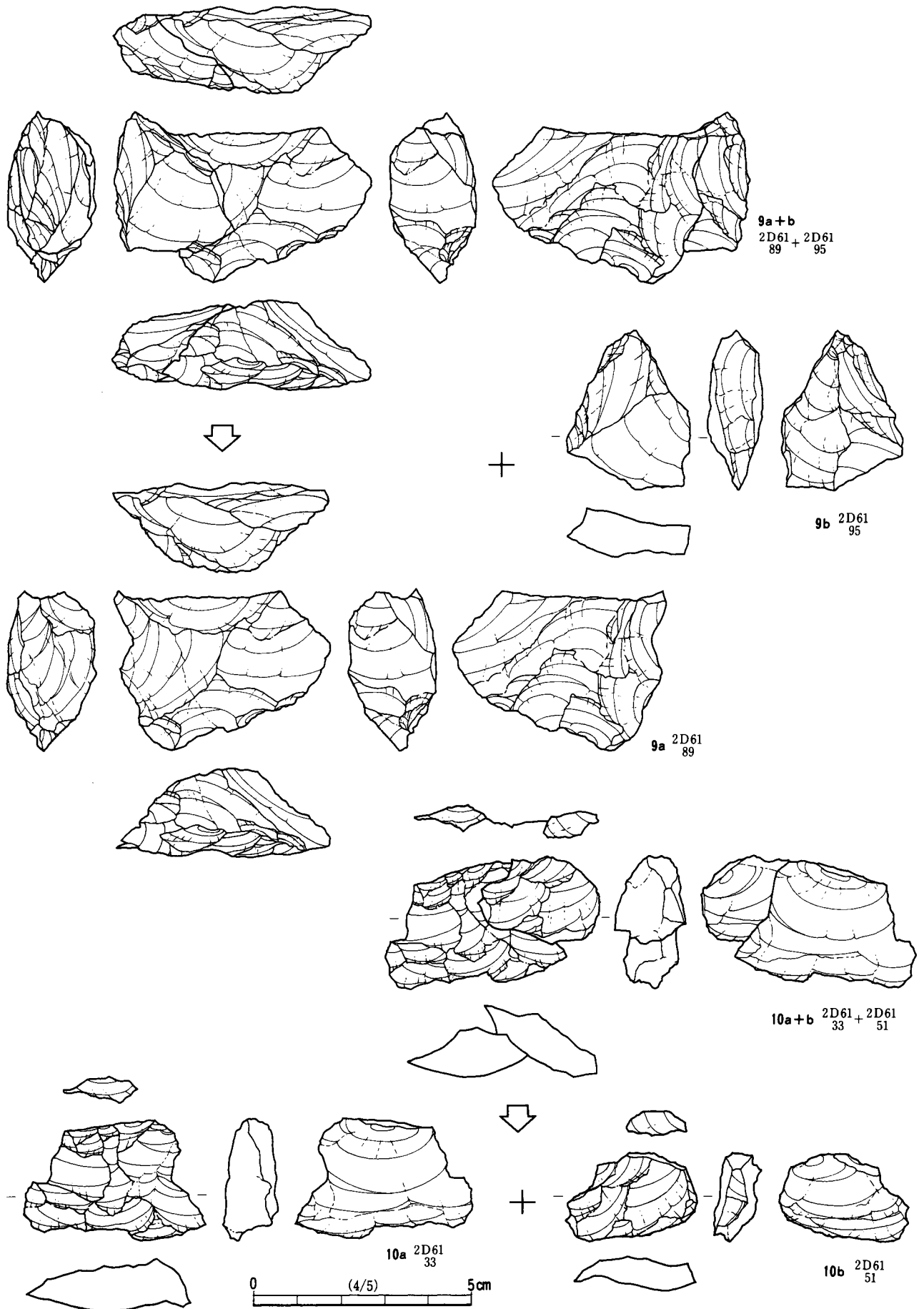
出土遺物 大規模なブロックであるが、主要な器種は台形石器が5点と多く存在するほかは、石刃、R剥片、U剥片がそれぞれ1点ずつ検出されたのみである。

台形石器 1～5は台形石器である。1は打面部及び対向する端部を平坦調整及び細部調整により基部を尖らせている。先端部は欠損するが尖るものと思われる。2は素材を縦位に用いて、器体の両側縁に細部調整が見られる。右側縁の細部調整が顕著である。器体は逆台形の形状を呈する。3は素材を縦位に用

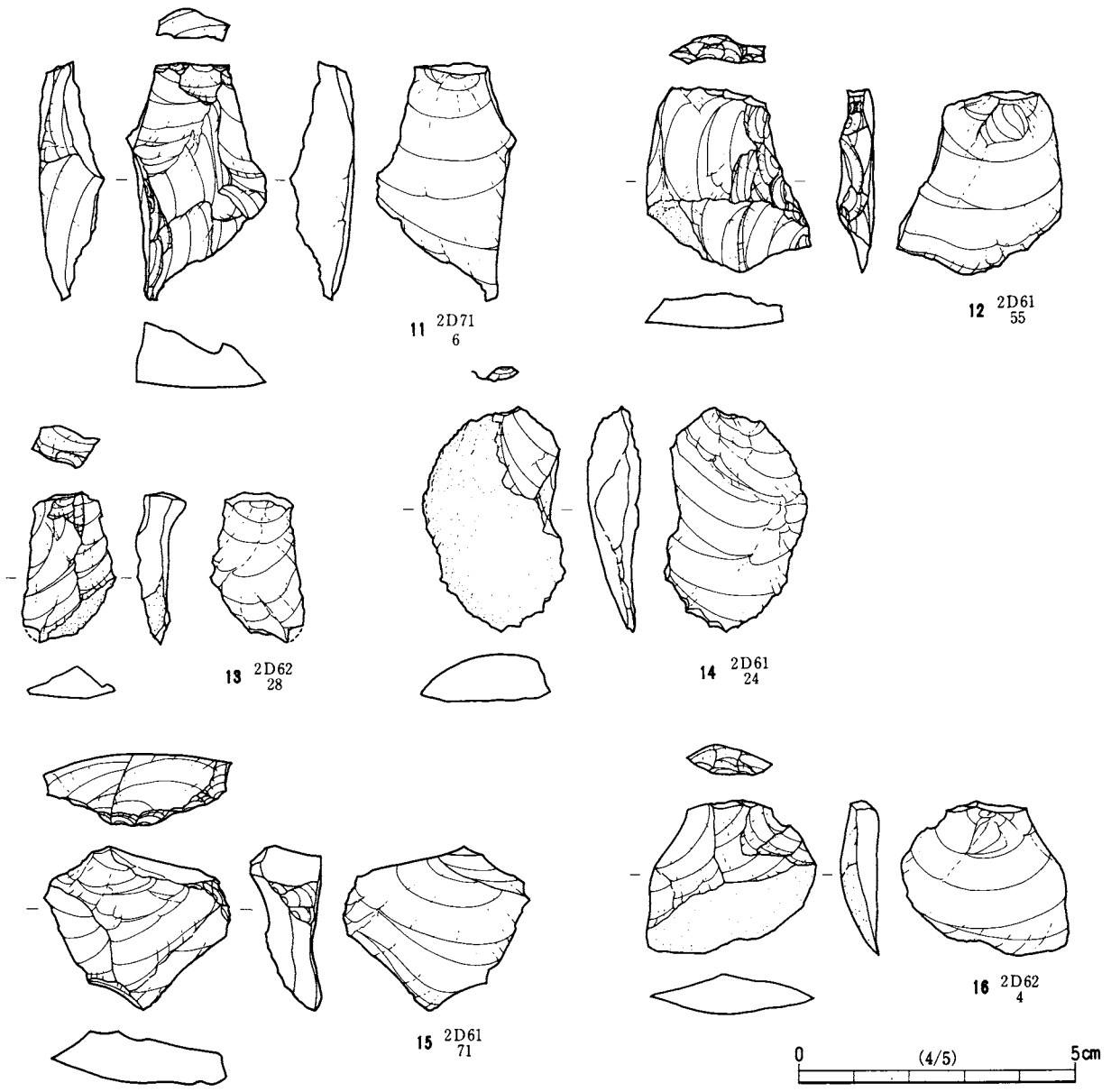
いて、左側縁の端部を切断した後、細部調整が施されている。器体は偏平な逆三角形を呈する。4は素材を横位に用いて、打面部及び先端部に細部調整が施される。器体は逆台形状となる。5は小形の石刃状剥片を素材としており、素材を横位に用いて、先端部を切断するような調整加工が認められる。器体は横



第22図 第5ブロック出土石器1



第23図 第5ブロック出土石器2



第24図 第5ブロック出土石器3

に長い四角形状を呈する。

石刃 5は石刃である。比較的厚い石刃であり、頭部調整が顕著である。器体は下半部に最大幅をもつ形状である。

R剥片 7はR剥片である。腹面の左側縁に幅広の調整加工が認められる。

U剥片 8はU剥片である。背面の先端部がノッチ状に尖り、その部分に微細剥離痕が連続する。

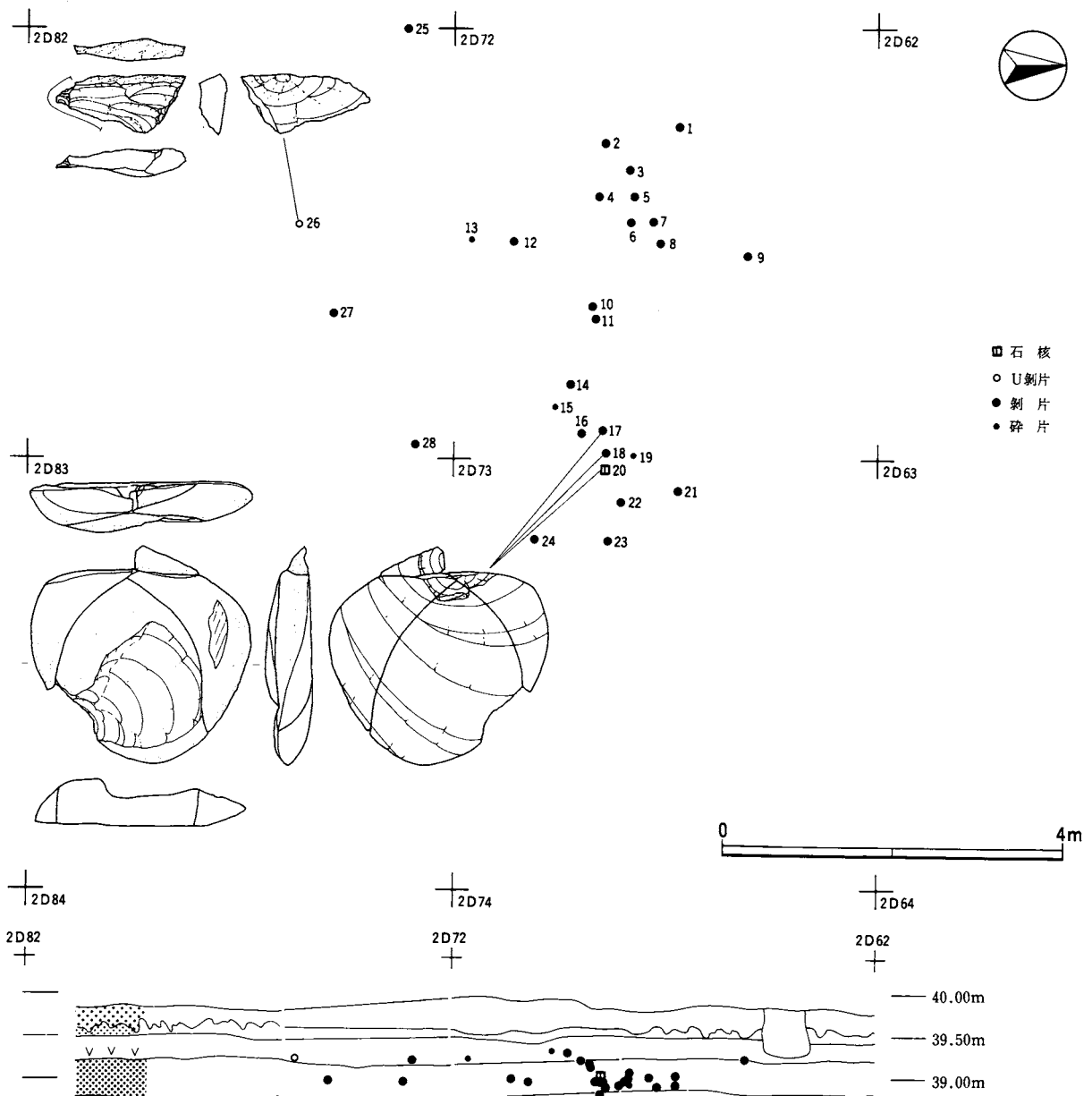
石核 9 a + bは石核と剥片の接合資料である。母岩は珪質凝灰岩1である。上面の打面から石核を分割するような剥片剥離作業が行われて、9 bの厚味のある剥片が生産される。残核(9 a)は打面をランダムに転移する多面体石核となっている。

剥片 10~16は剥片である。10 a + bは剥片と剥片の接合資料である。珪質凝灰岩を母岩とする。頭部調整の著しい、横長剥片の連続的な剥離作業が看取される。9及び10で観察される剥片剥離技術による素材が、3・4の台形石器の素材となっていたと推察される。11~14は縦長剥片、15・16は横長剥片である。

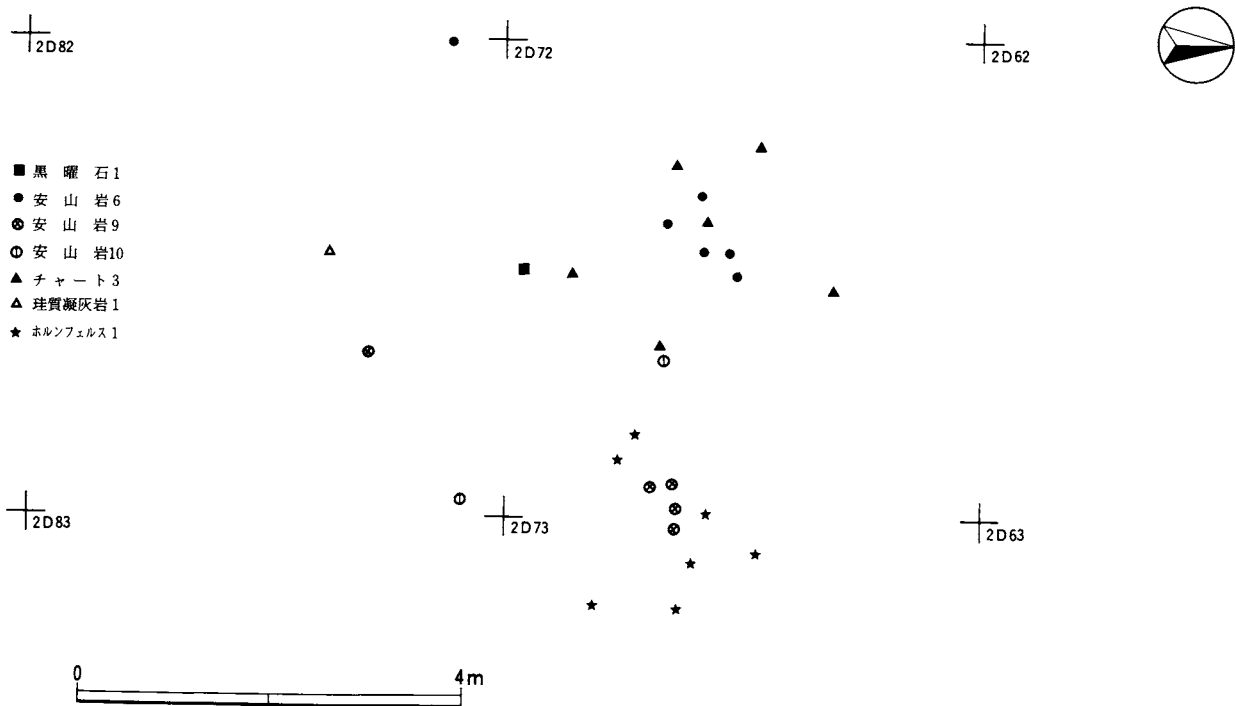
6. 第6ブロック (第25~28図、表18・19、図版2・13・14)

分布状況 調査区北西側、G地点で調査されたブロックである。2D区南西側に位置している。地形は第5ブロックと同様の状況を呈している。北側で第5ブロックが接しており、ブロック群を構成している。

遺物総数は28点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまり、西側と東側の2群に分離されるように分布する。ブロックの東側にまとまって分布し、分布の薄い部分を置いて、東側にやや分布の密集部分がある。その2つの密集部から、南側に分布が希薄になっている。2D72・73区から2D82・83区に北東-南西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北5.2m、東西6.0mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。遺物の集中する部分は0.3mに収まる。土層断面への投影では、遺物の上方向への拡散が見られるが、X層からVI層にかけて分布し、第2黒色帯は分層されていないが、IX層(第2黒色帯下部)に遺物集中のレベルを求めることができる。



第25図 第6ブロック器種別分布



第26図 第6ブロック母岩別分布

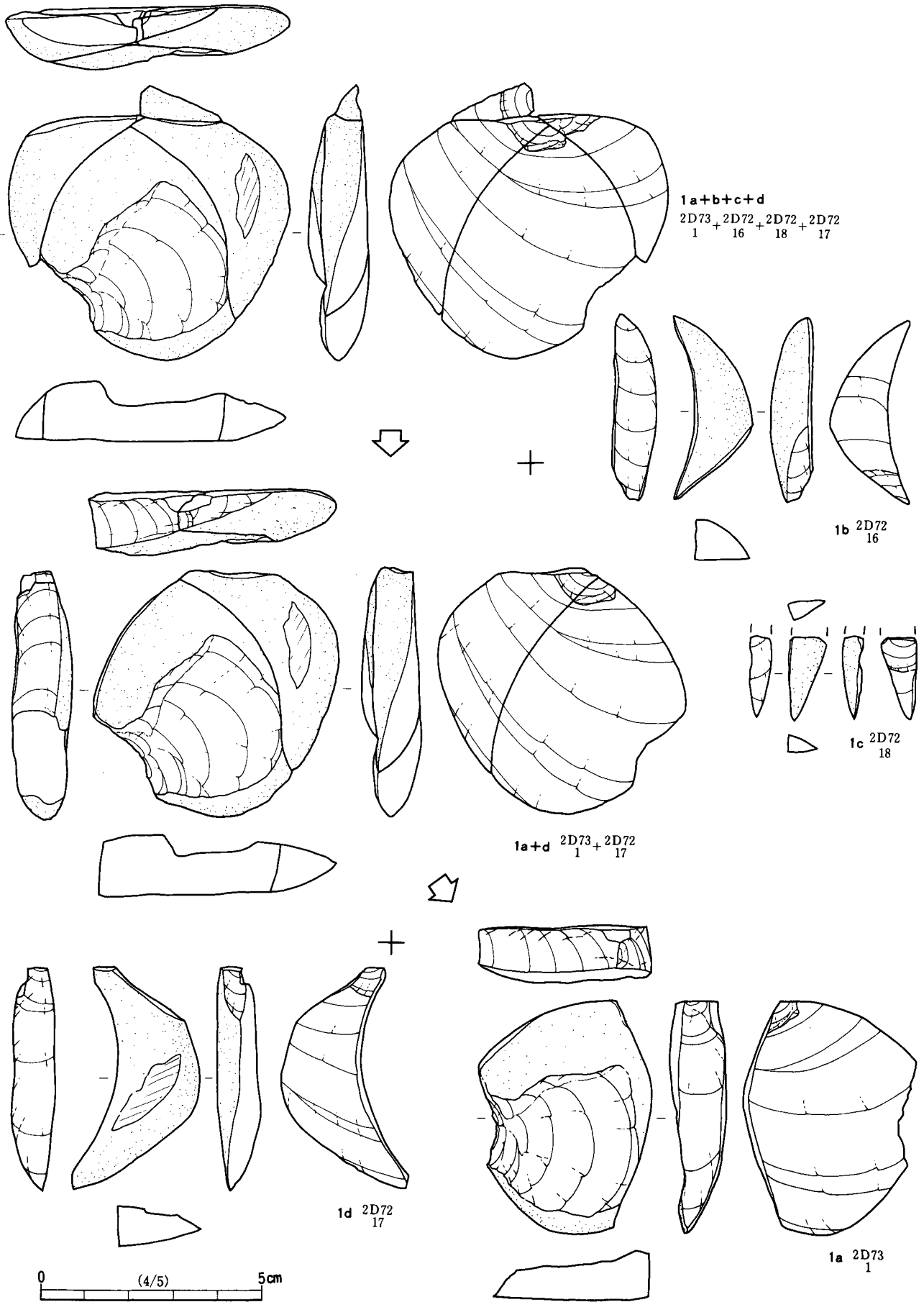
母岩別資料 7母岩が認められる。その内訳は安山岩3母岩13点、黒曜石1母岩1点、チャート1母岩6点、珪質凝灰岩1母岩1点、ホルンフェルス1母岩7点である。個々の母岩で点数の多いものを挙げるとホルンフェルス1の7点、安山岩6の6点、安山岩9の5点、チャート3の6点であり、安山岩石材が主体を占めるが、各母岩では卓越して多い母岩は存在しない。ブロックの西寄りに安山岩6とチャート3が分布し、東寄りにホルンフェルス1と安山岩9が分布している。母岩と器種の関係を見ると主要な器種がなく各母岩とも剥片主体となっており、母岩の選択的な使用は看取されない。

出土遺物 器種構成はU剥片、石核がそれぞれ1点のみであり、剥片主体の構成を示す。

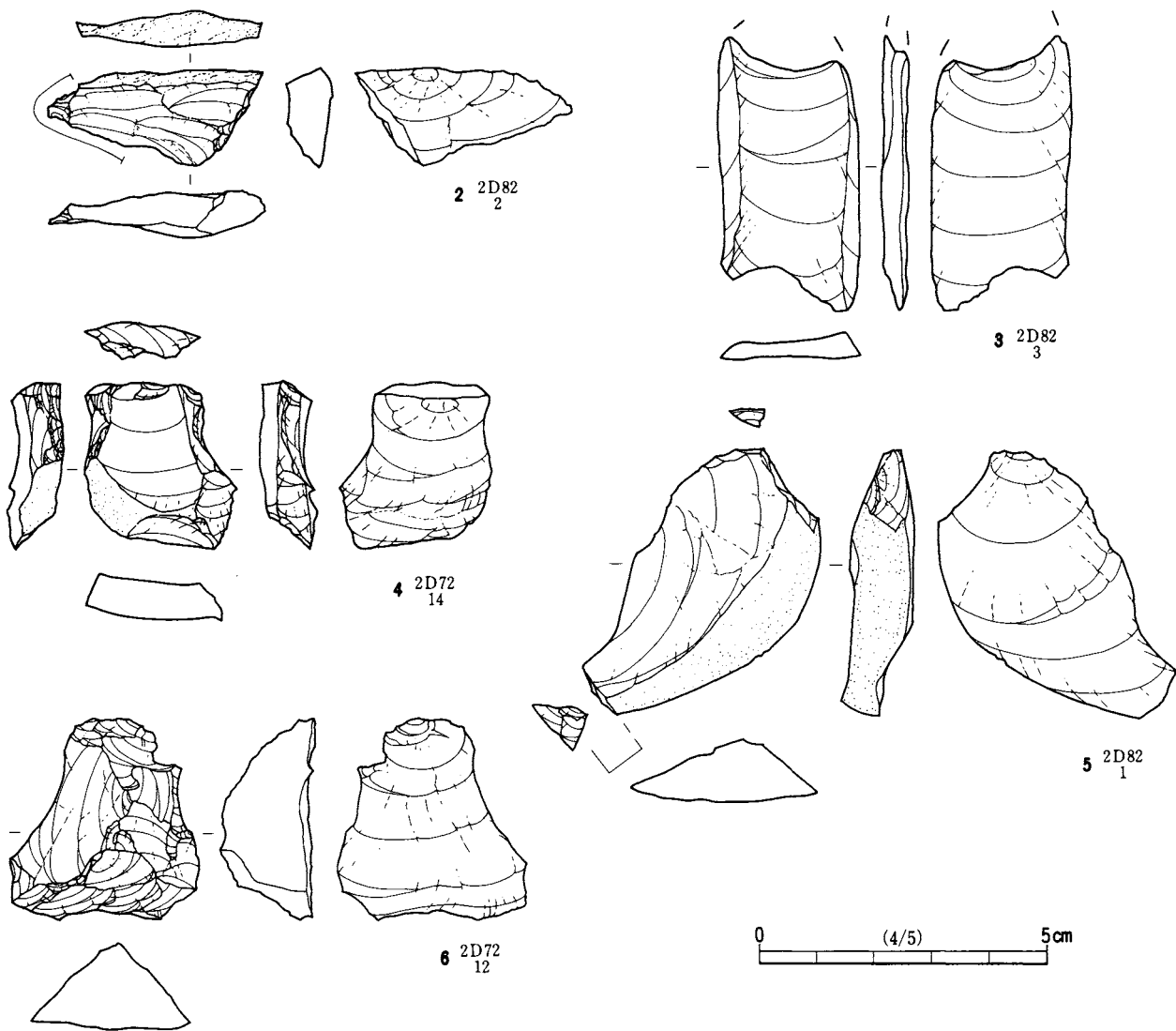
石核 1 a～dは石核と剥片の接合資料である。母岩は安山岩9であり、安山岩9はいわゆるトロトロ安山岩である。偏平楕円礫から剥がされた厚い剥片を石核素材として、礫面と素材の主要剥離面とが稜をなす小口面を打面として、素材を切断するように剥片剥離が進行する。まず1 cが剥離され、その剥離面を打面として1 bが剥離され、さらに、その端部を打面に1 dが剥離されている。一連の剥離作業は、打面と作業面を交互に入れ替えて剥片剥離が行われている。残核(1 a)は上面及び側面に剥離面をもつ石核となっている。

U剥片 2はU剥片である。背面左側縁の尖った部分に微細剥離痕が認められる。

剥片 3～6は剥片である。すべて縦長剥片である。それぞれの母岩は、3が安山岩9、4がホルンフェルス1、5が安山岩6、6がチャート3を母岩としている。



第27図 第6ブロック出土石器1



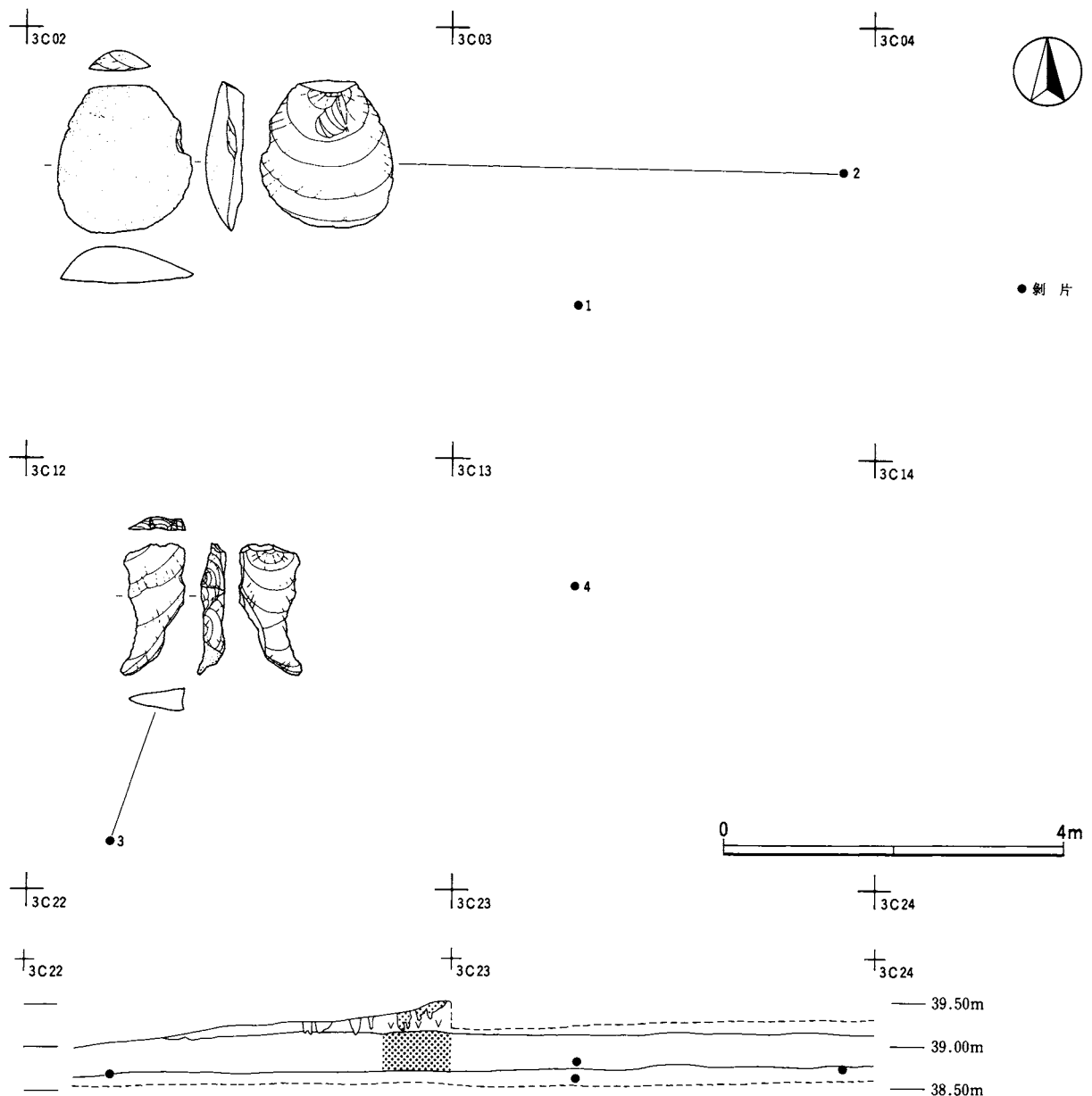
第28図 第6ブロック出土石器2

7. 第7ブロック (第29～31図、表20・21、図版2・14)

分布状況 調査区西側、J地点で調査されたブロックである。3C区北西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地北西側の斜面部に当たり、現況ではローム層は緩やかに北西方向に傾斜する。

遺物総数は4点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫であり、数m間隔に遺物が散在している。3C02・03区から3C12・13区に北東-南西方向に細長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北7.6m、東西8.6mを測る。垂直分布はおよそ0.2mの高低差がある。土層断面への投影では、X層上部からIX層下部にかけて分布し、その部分に産出層位のレベルを求めることができる。

母岩別資料 4母岩が認められる。その内訳は安山岩2母岩2点、珪質頁岩1母岩1点、チャート1母岩1点であり、すべて単独母岩となっている。母岩と器種の関係は、単独母岩で構成され、すべて器種は剥片のため特定の関係は看取されない。



第29図 第7ブロック器種別分布

出土遺物 小規模のブロックであり、主要な利器が存在せず、器種はすべて剥片で構成される。

剥片 1～2は剥片で、2点とも縦長剥片である。1は珪質頁岩2を母岩として、右側面に先行する作業面を残置しており、打面更新の際の剥片と思われる。2は安山岩12を母岩としており、背面が自然面となっている。

3C02

3C03

3C04



- 安山岩11
- 安山岩12
- 珪質頁岩2
- ▲ チャート5

●

○

3C12

3C13

3C14

▲

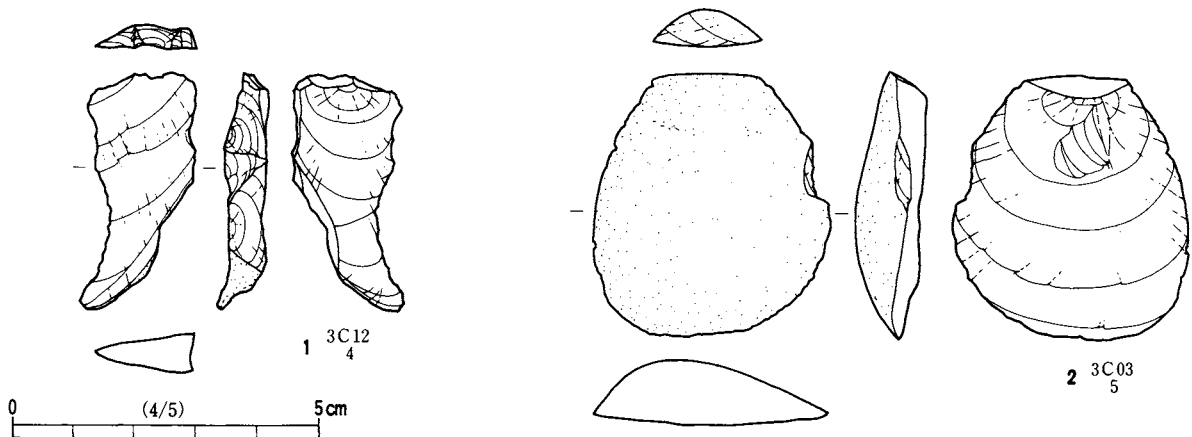
0 4m

3C22

3C23

3C24

第30図 第7ブロック母岩別分布



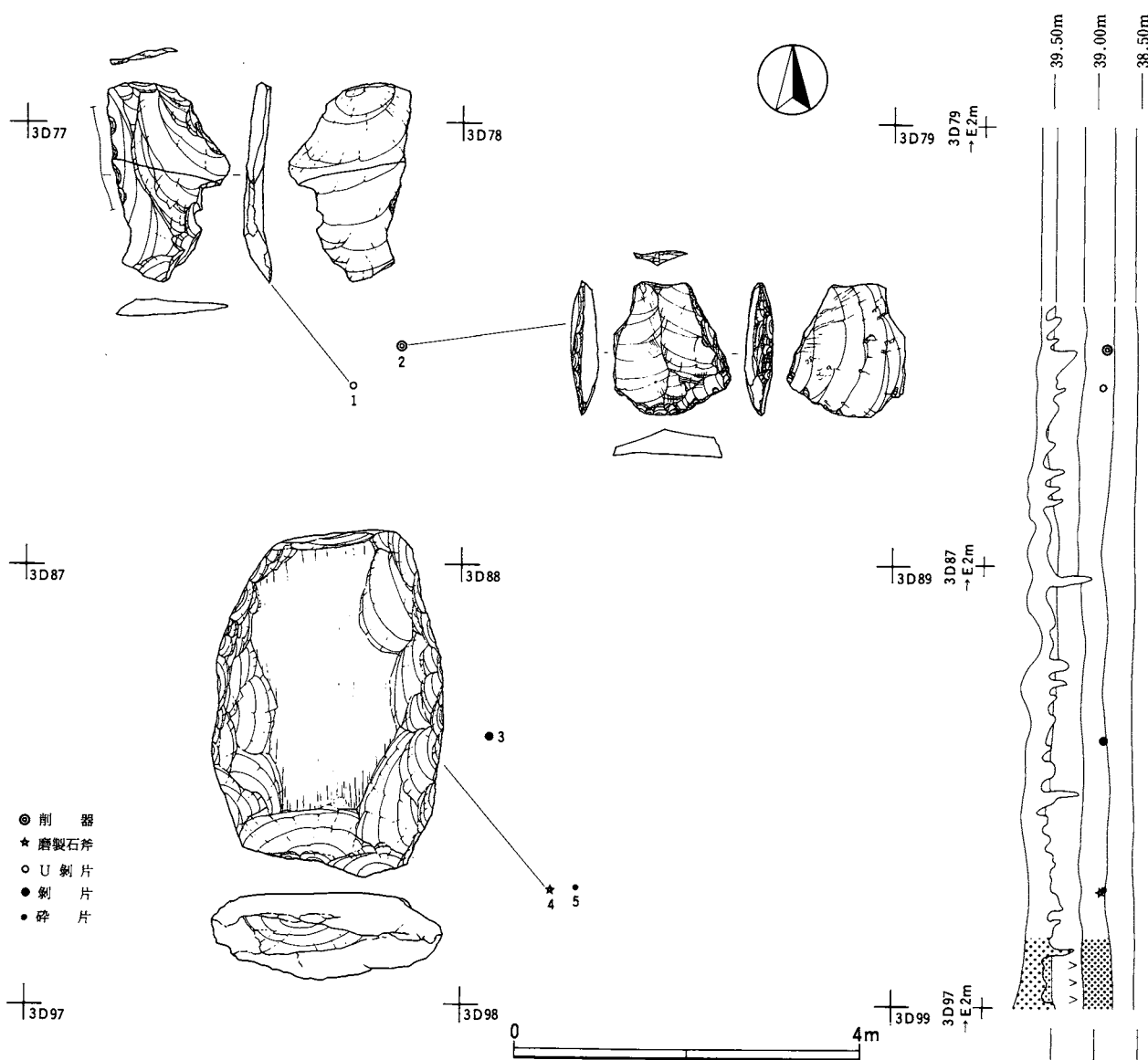
第31図 第7ブロック出土石器

8. 第8ブロック (第32~34図、表22・23、図版2・14・15)

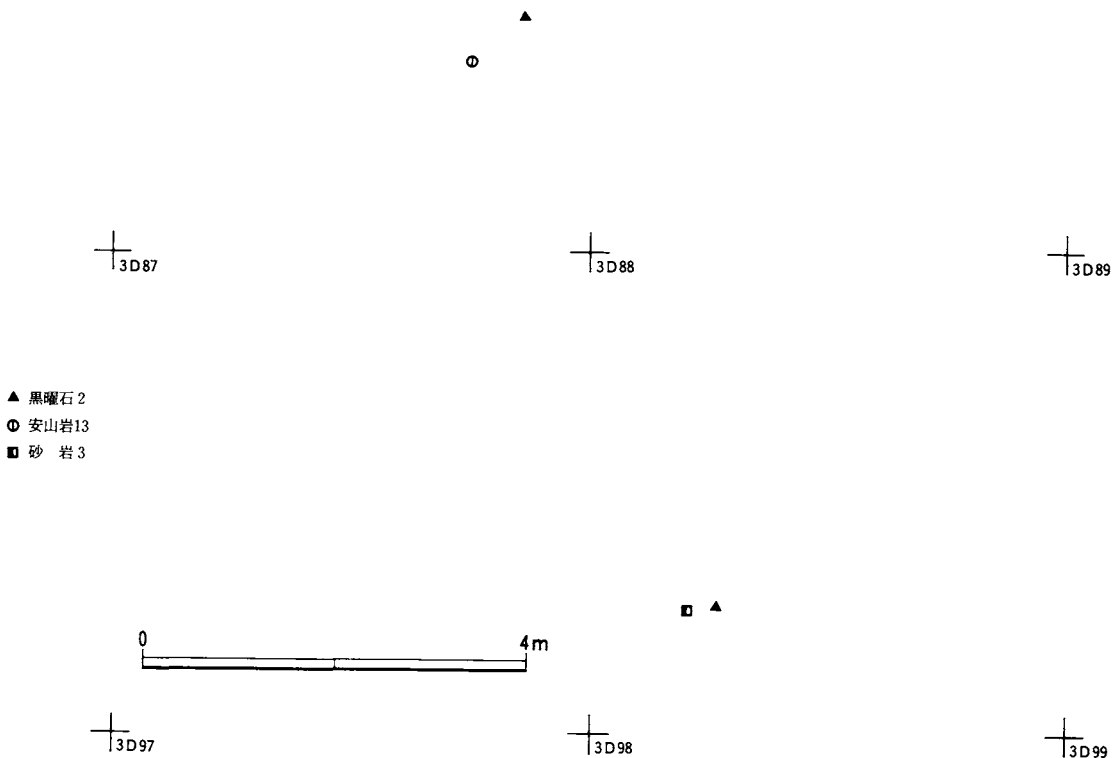
分布状況 調査区北西側、M地点で調査されたブロックである。3D区南東隅に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の付け根部の南東側縁辺部に当たり、現況ではローム層は緩やかに南東方向に傾斜する。

遺物総数は5点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫であり、2点と3点が約4.6mの間隔をおいて散在している。3D77・88区に北西-南東方向に非常に細長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.0m、東西2.7mを測る。垂直分布はおよそ0.1mの高低差がある。土層断面への投影では、IX層下部に集中し、IX層下部に産出層位のレベルを求めることができる。

母岩別資料 3母岩が認められる。その内訳は黒曜石1母岩3点、安山岩1母岩1点、砂岩1母岩1点である。黒曜石2の母岩が3点のほかは単独母岩となっている。母岩と器種の関係は、局部磨製石斧は砂岩3を母岩としている。また、台形石器は黒曜石2の母岩により製作されている。



第32図 第8ブロック器種別分布



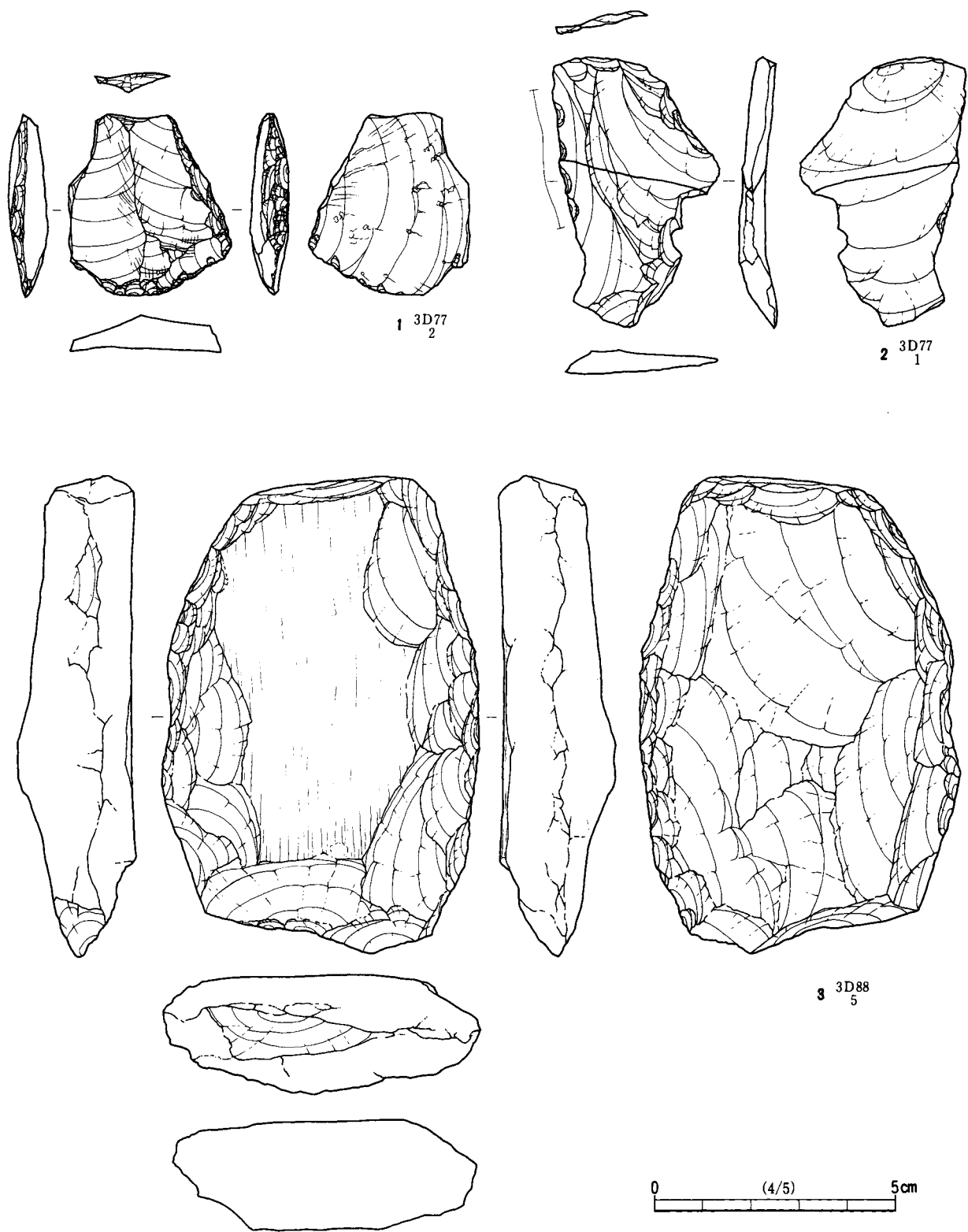
第33図 第8ブロック母岩別分布

出土遺物 小規模のブロックであるが、器種は局部磨製石斧と台形石器が検出されており、器種構成に利器の占める割合が多いブロックである。

台形石器 1は台形石器である。素材を横位に用いて、打面部を入念な調整加工で除去している。対向する縁辺は切断された後、疎らな細部加工が施される。刃部にも細部加工が看取され、器体は刃部がやや突出する逆台形状あるいは扇状を呈している。

U剝片 2はU剝片である。縦長剝片の背面左側縁に刃こぼれ状に剝離痕が連続する。

局部磨製石斧 形状は寸詰まりな草鞋状を呈する。表面に平坦な素材の自然面を残している。裏面に主要剝離面は残置していないが、素材は偏平礫から剝がされた剝片を素材としていると考えられる。刃部は表面からの衝撃により折れており、あるいは刃部再生途上の器体とも思われる。刃部周辺に磨痕は観察されないが、表面の自然面には磨痕が観察され光沢を帯びる。



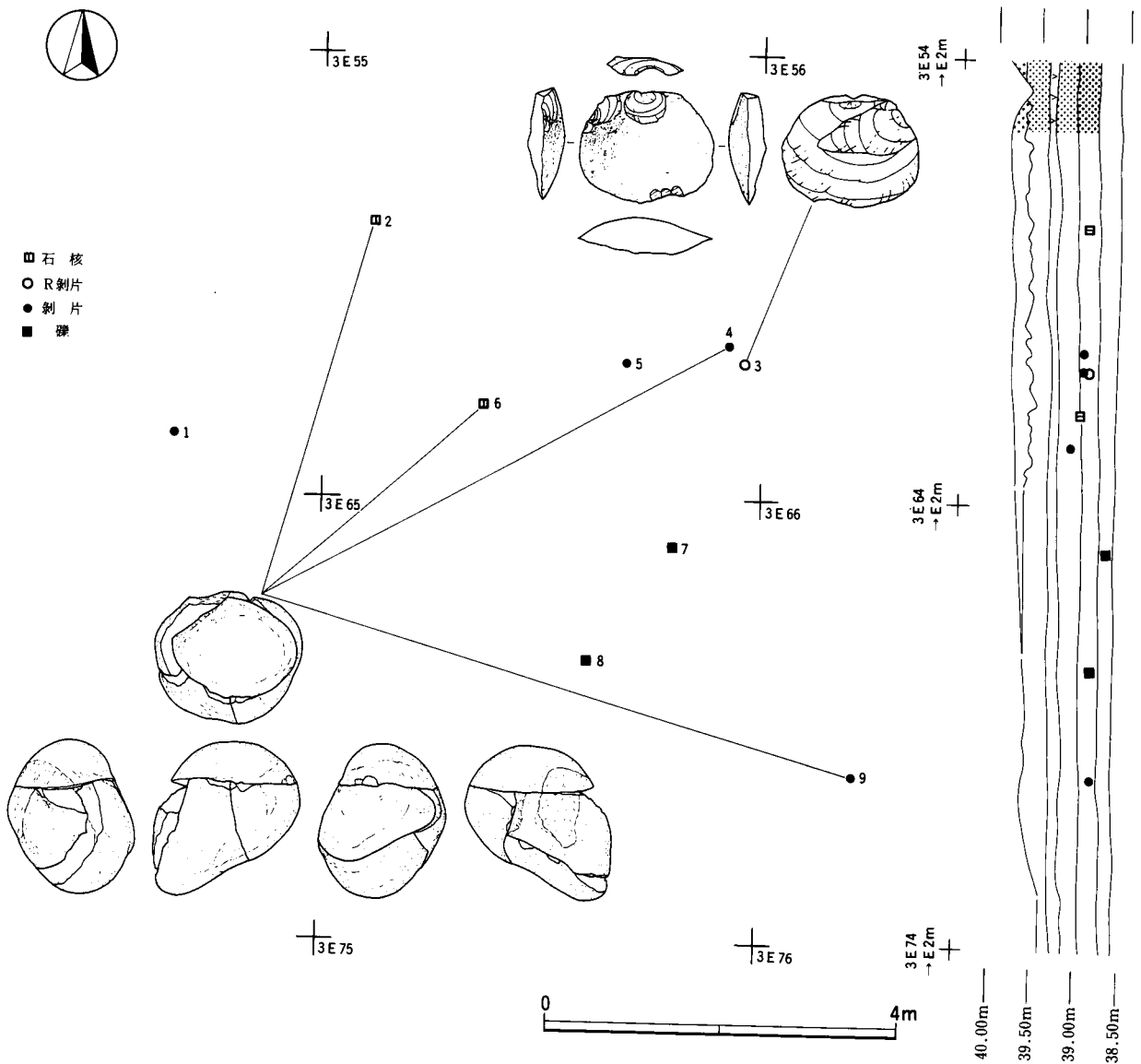
第34図 第8ブロック出土石器

9. 第9ブロック (第35~38図、表24・25、図版2・15~17)

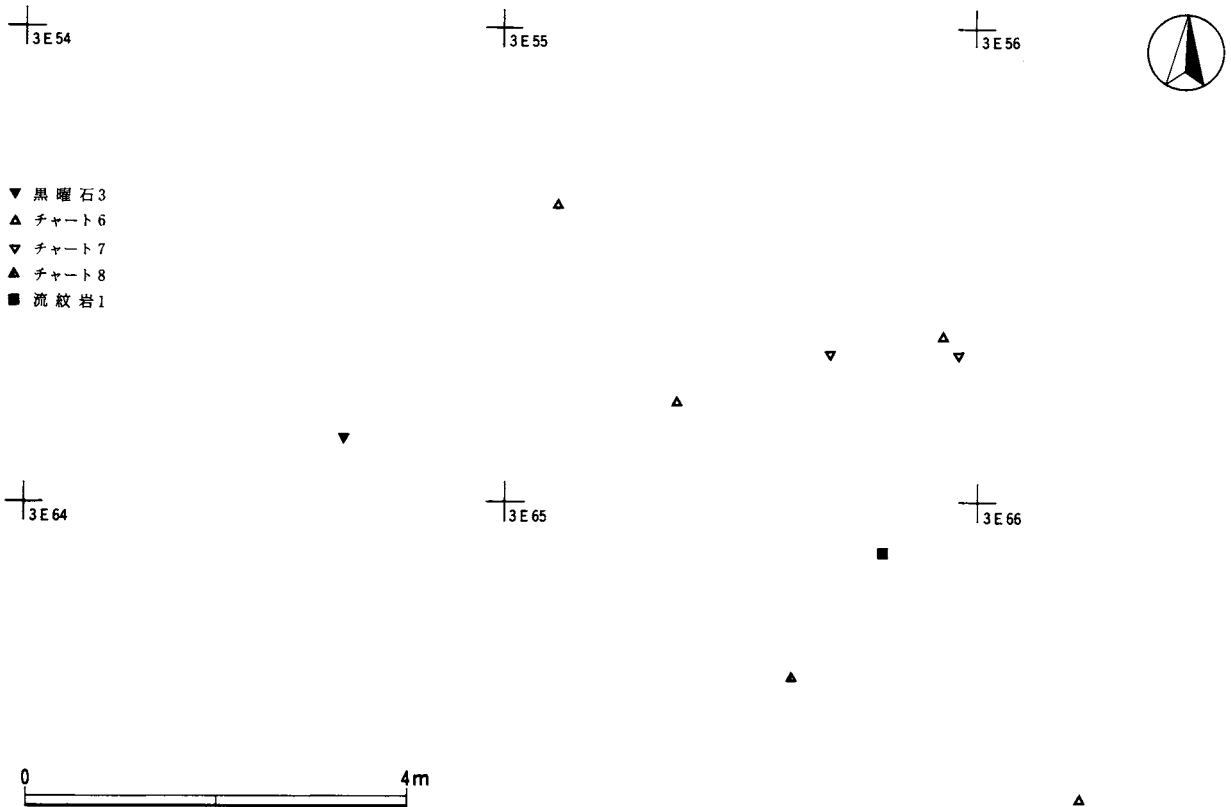
分布状況 調査区東側、N地点で調査されたブロックである。3 E区中央部に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の付け根部の南東側縁辺部に当たり、現況ではローム層は緩やかに南方向に傾斜する。

遺物総数は9点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫である。それぞれの遺物が約1m~2、3m離れて散在している。3 E54・55・56区から3 E65・66区にかけて北西-南東方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.1m、東西7.8mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、X層からVII層にかけて分布し、IX層に産出層位のレベルを求めることができる。

母岩別資料 5母岩が認められる。その内訳は黒曜石1母岩1点、チャート3母岩7点、流紋岩1母岩1点である。チャート6の母岩が4点とまとまるほかは、各母岩はごく少数で構成される。母岩と器種の関係は、チャート6の母岩で石核と剝片の接合資料があり、この母岩の母岩消費が看取される以外は、母岩と器種の特徴的な関係は看取されない。



第35図 第9ブロック器種別分布



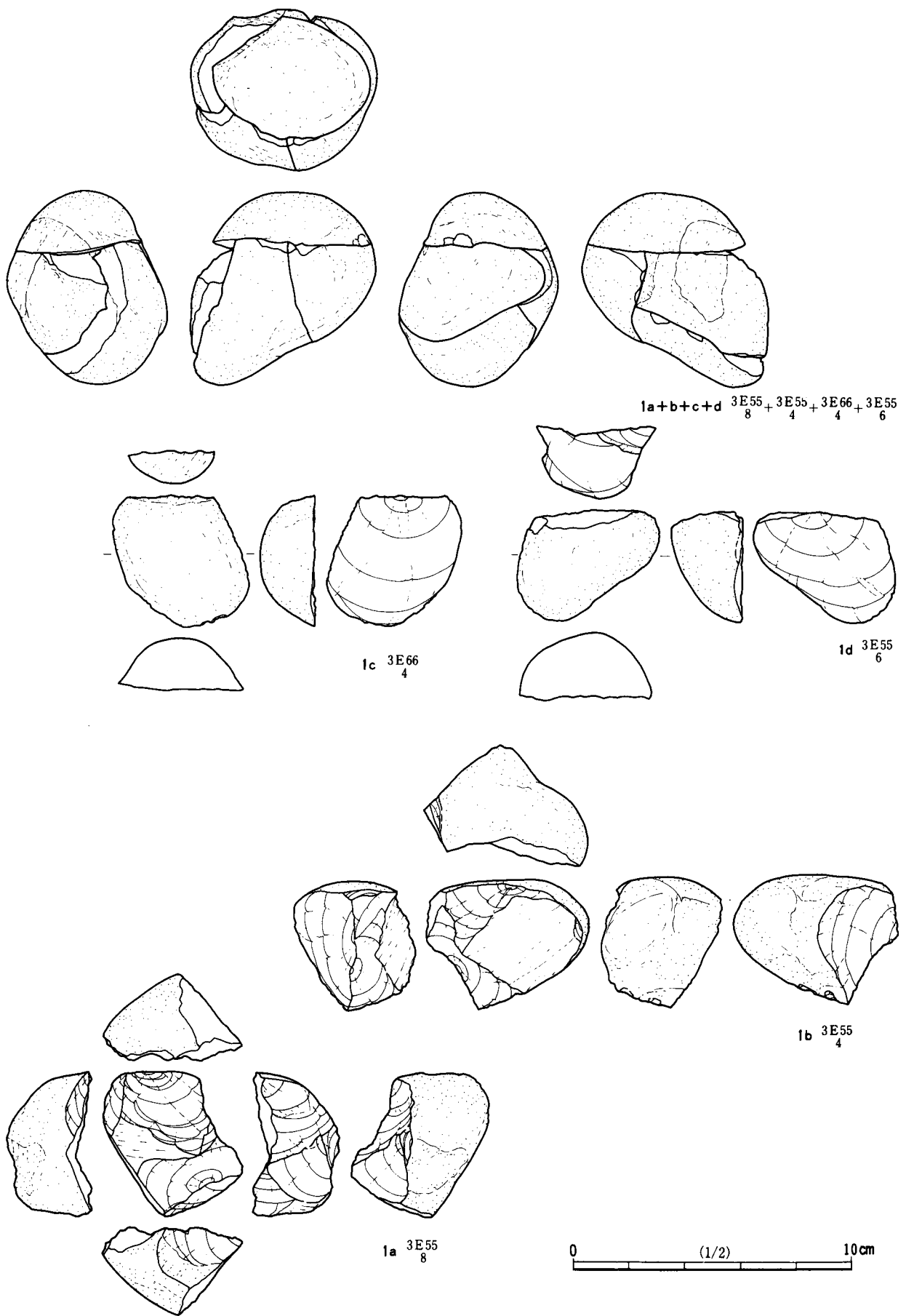
第36図 第9ブロック母岩別分布

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な器種は存在せず、石核2点とR剥片が検出されたのみである。

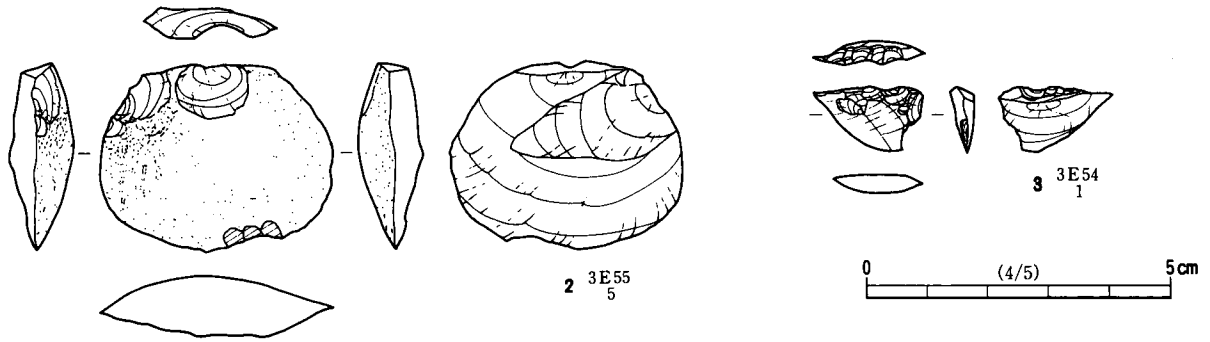
石核 1 a～dは石核と剥片の接合資料である。拳大の楕円礫を粗く割った剥片剥離が観られる。まず上面の1 cが剥離され、その作業面を打面として1 dが剥離される。この2回の剥離作業は石核整形の剥離作業と看取される。さらに、1 aと1 bは節理面で分割されて、その後、それぞれを石核として剥片が作出されている。1 aは節理面を作業面として、上下端からの剥片剥離が観察される。1 bも節理面を作業面とするが、上面及び左面からの剥離作業が観察される。

R剥片 2はR剥片である。左側縁部に背面では急角度の調整加工、腹面では脚の長い平坦加工が認められる。

剥片 3は黒曜石3を母岩とする横長剥片である。



第37図 第9ブロック出土石器1



第38図 第9ブロック出土石器2

10 第10ブロック (第39～56図、表26～36、図版3・18～25)

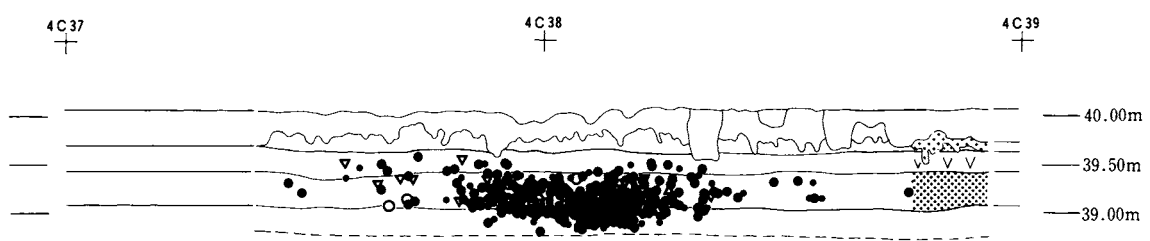
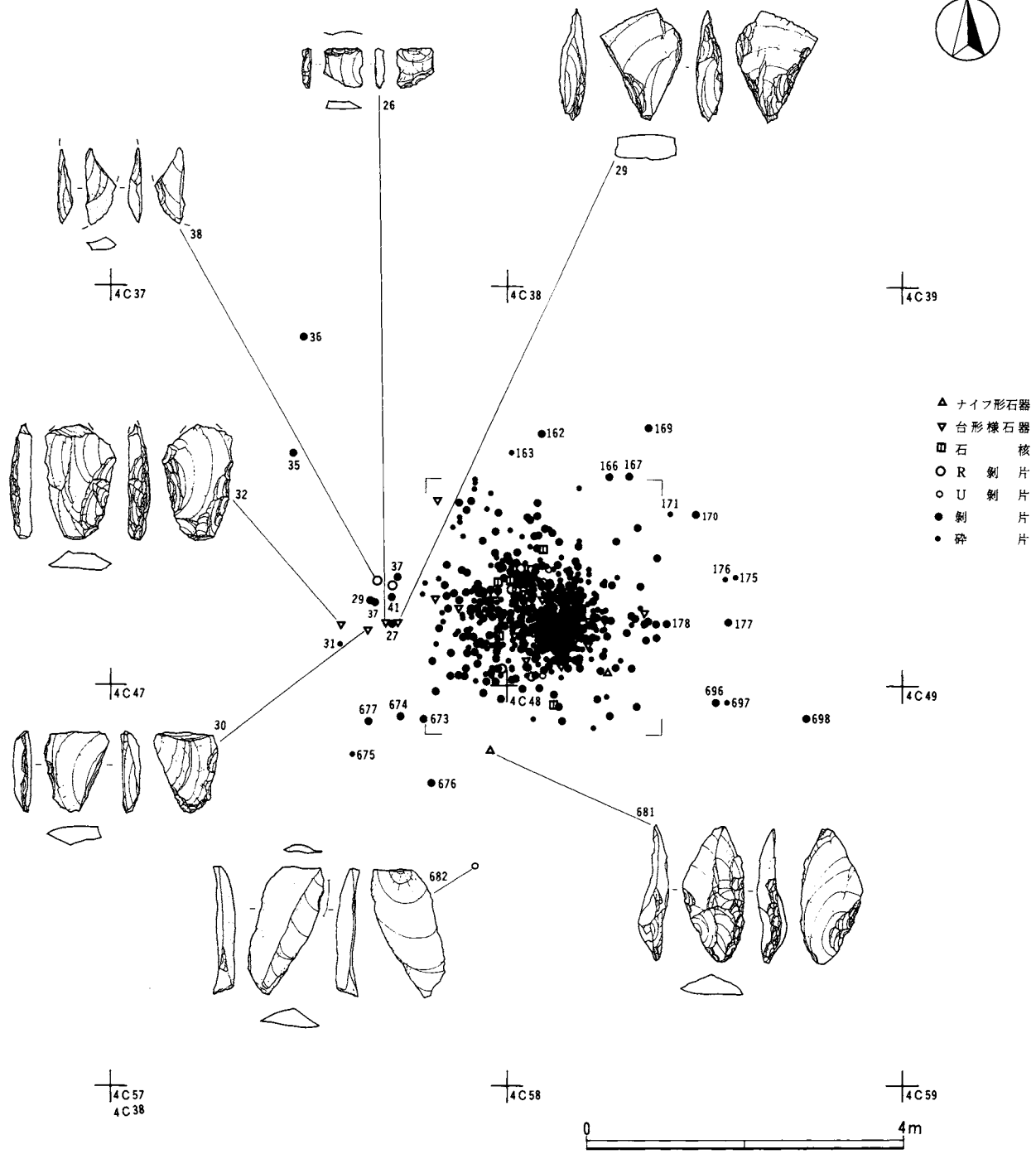
分布状況 調査区南西側、P地点で調査されたブロックである。4C区東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の付け根中央部に当たり、現況ではローム層は水平に堆積している。

遺物総数は698点であり、本遺跡で最大規模のブロックとなっている。その分布はまとまっている。4C37区南東隅から4C38区南西隅に非常に密集して分布し、そこを中心にして放射状に分布が散漫になっている。4C37・38区から4C37・48区にかけて北西-南東方向にやや長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.6m、東西6.5mを測る。垂直分布はおよそ0.8mの高低差がある。土層断面への投影では、X層上部からVII層にかけて分布するが、IX層下部に遺物が集中しており、IX層下部に産出層位のレベルを求めることができる。

母岩別資料 8母岩が認められる。その内訳は安山岩3母岩545点、珪質頁岩4母岩48点、瑪瑙1母岩105点である。点数のまとまる母岩を挙げると、安山岩14の431点、安山岩15の16点、安山岩16の98点、珪質頁岩3の16点、珪質頁岩4の30点、瑪瑙4の105点である。安山岩14の母岩が主体を占め、それに安山岩16、瑪瑙4が加わる母岩構成である。安山岩14・15・16は緻密黒色安山岩(ガラス質黒色安山岩)である。母岩分類に当たって、特徴的な風化面を呈する安山岩15(風化面がざらざらしている母岩)と安山岩16(風化面がやや軟質化し、なめらかな母岩)は安山岩14と明確に識別が行えたが、ごく一般的な緻密黒色安山岩は識別が困難であり、特に碎片ではその識別が不可能であった。そのため、識別不可能なものを安山岩14を代表番号としてまとめた。したがって、安山岩14には数母岩が含まれる可能性がある。安山岩14、安山岩16、珪質頁岩3、珪質頁岩4、瑪瑙4の母岩からは台形石器が複数生産されており、またナイフ形石器を生産する母岩もある。それぞれの母岩は、台形石器、ナイフ形石器を製作する母岩の多量消費が認められ、母岩と器種の特徴的な関係が看取される。特に、瑪瑙4では台形石器の一連の石器製作工程をうかがえる接合資料が存在する。

出土遺物 大規模なブロックであり、数母岩による母岩の多量消費が行われ、多量の台形石器が生産されている。また、ナイフ形石器も3点生産されている。

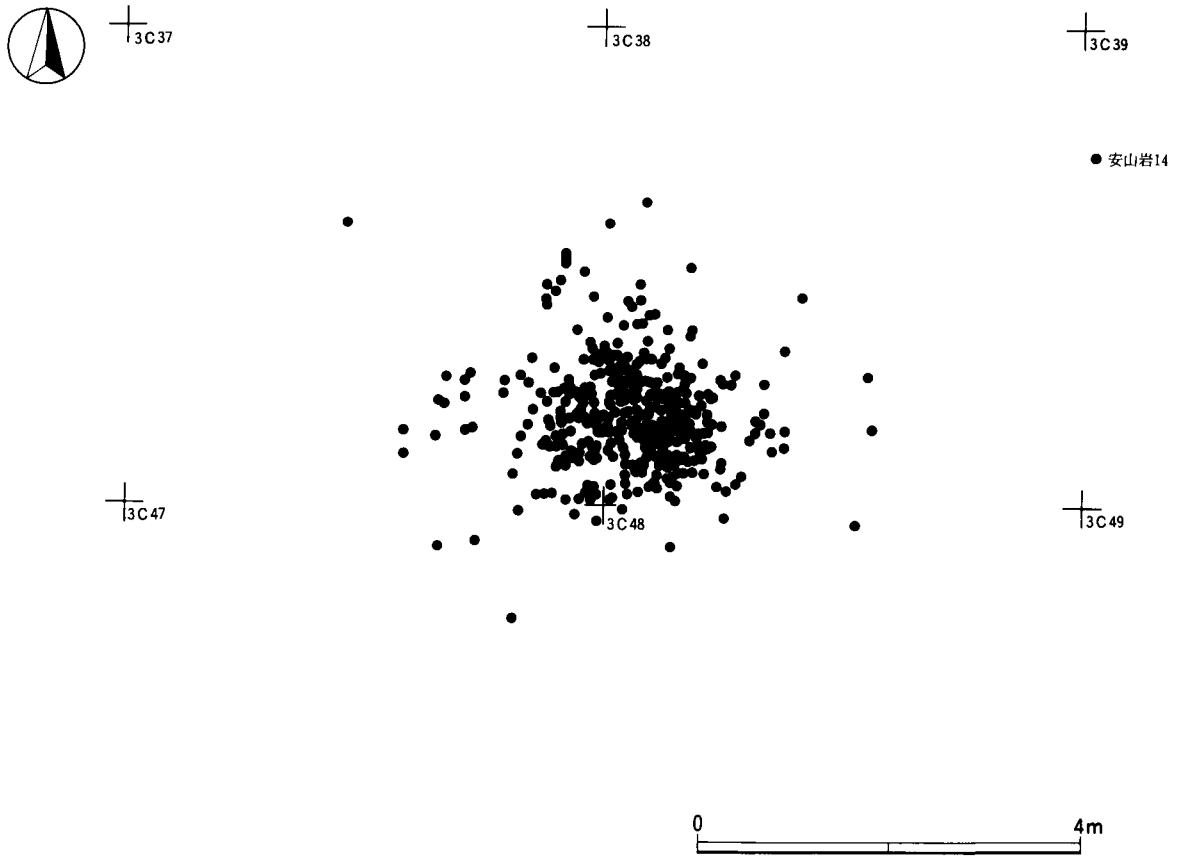
ナイフ形石器 1～3はナイフ形石器である。1は素材を斜位に用いて、素材の打面部を調整加工により除去している。対向する側縁にも幅広な調整と細部調整が観られる。基部加工のナイフ形石器で、刃部は鋭角に尖る。2は素材を横位に用いている。背面右側縁上半部に細部加工が観られる。左側縁部下半部には疎らな調整加工が認められ、基部側の腹面右側縁にも調整加工が連続している。3は素材を縦位に用いるもので、幅広な調整で打面を除去して基部とし、背面左側縁に連続した深い調整加工を施している。



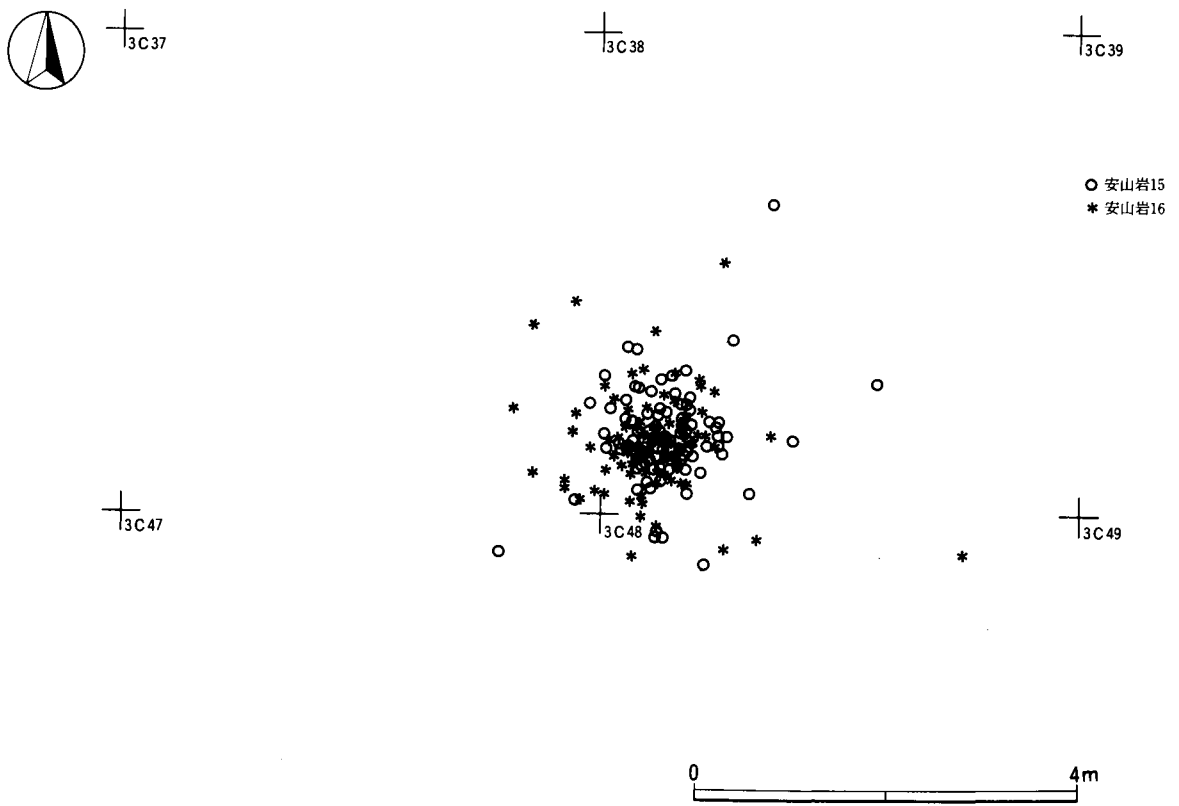
第39図 第10ブロック器種別分布 1



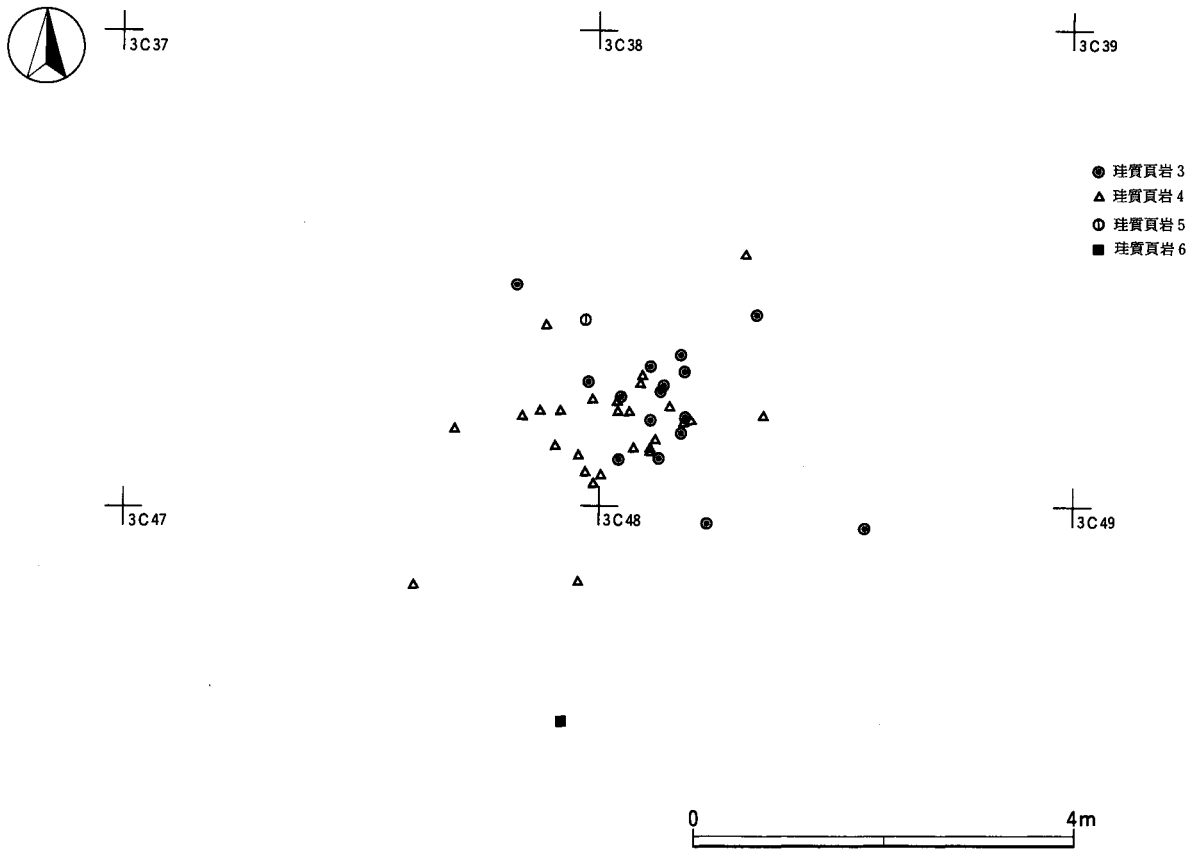
第40図 第10ブロック器種別分布2



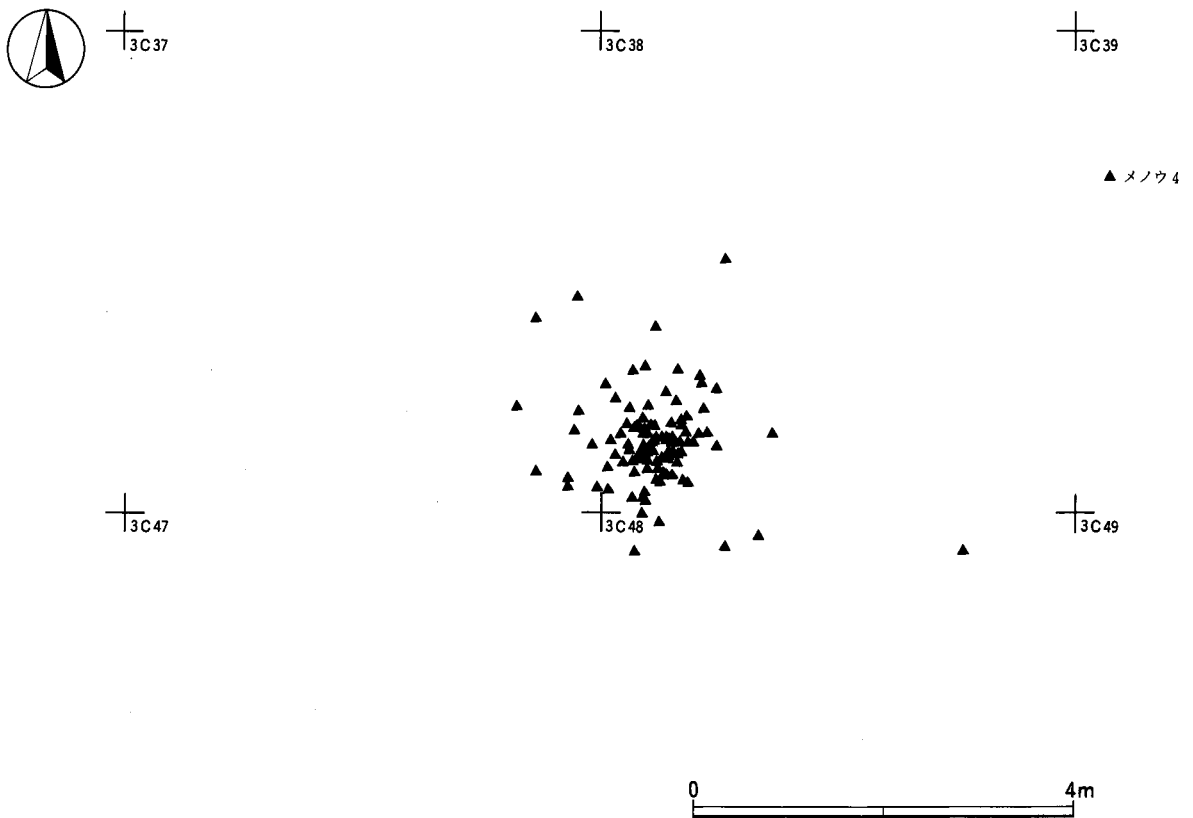
第41図 第10ブロック母岩別分布 1



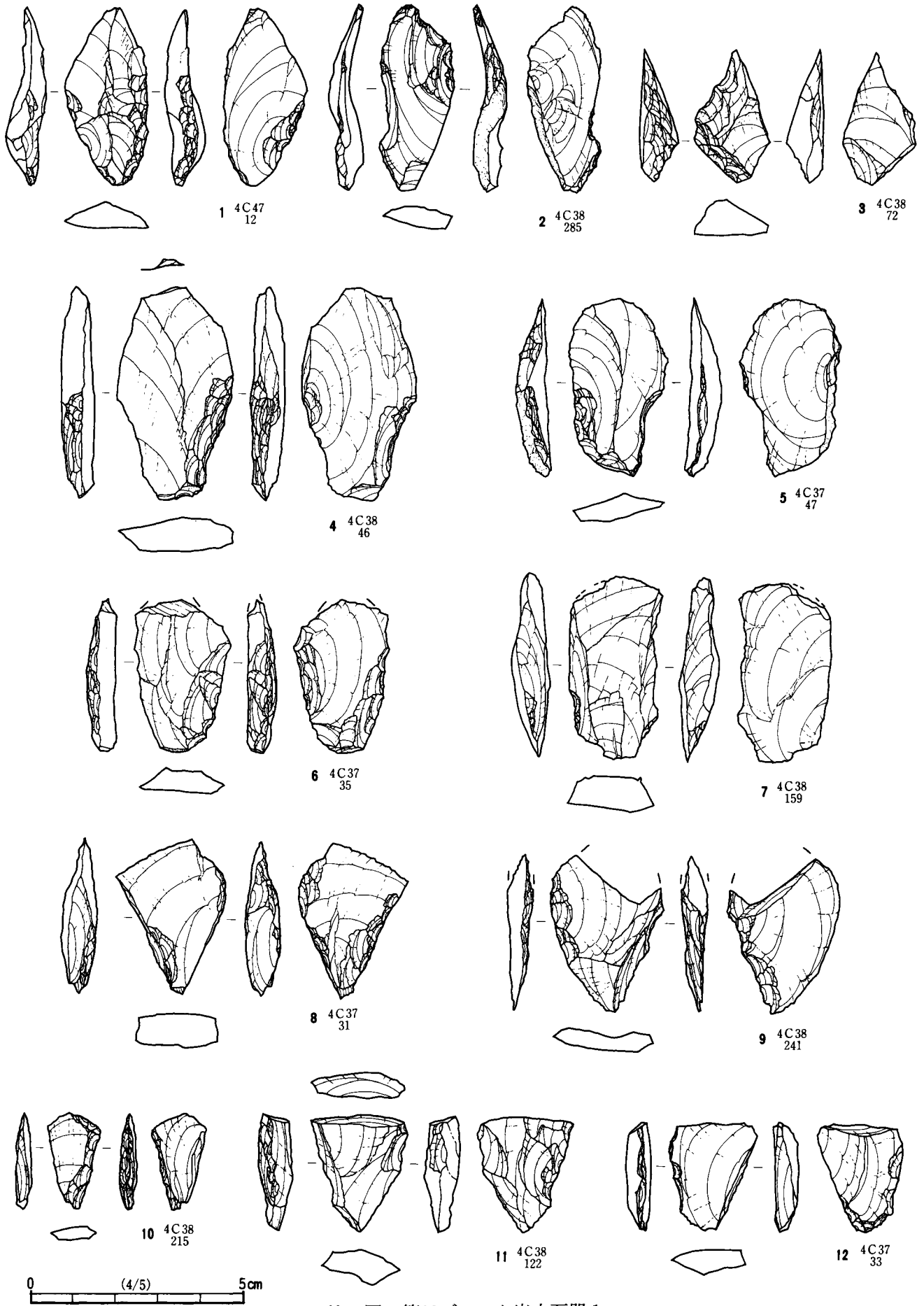
第42図 第10ブロック母岩別分布 2



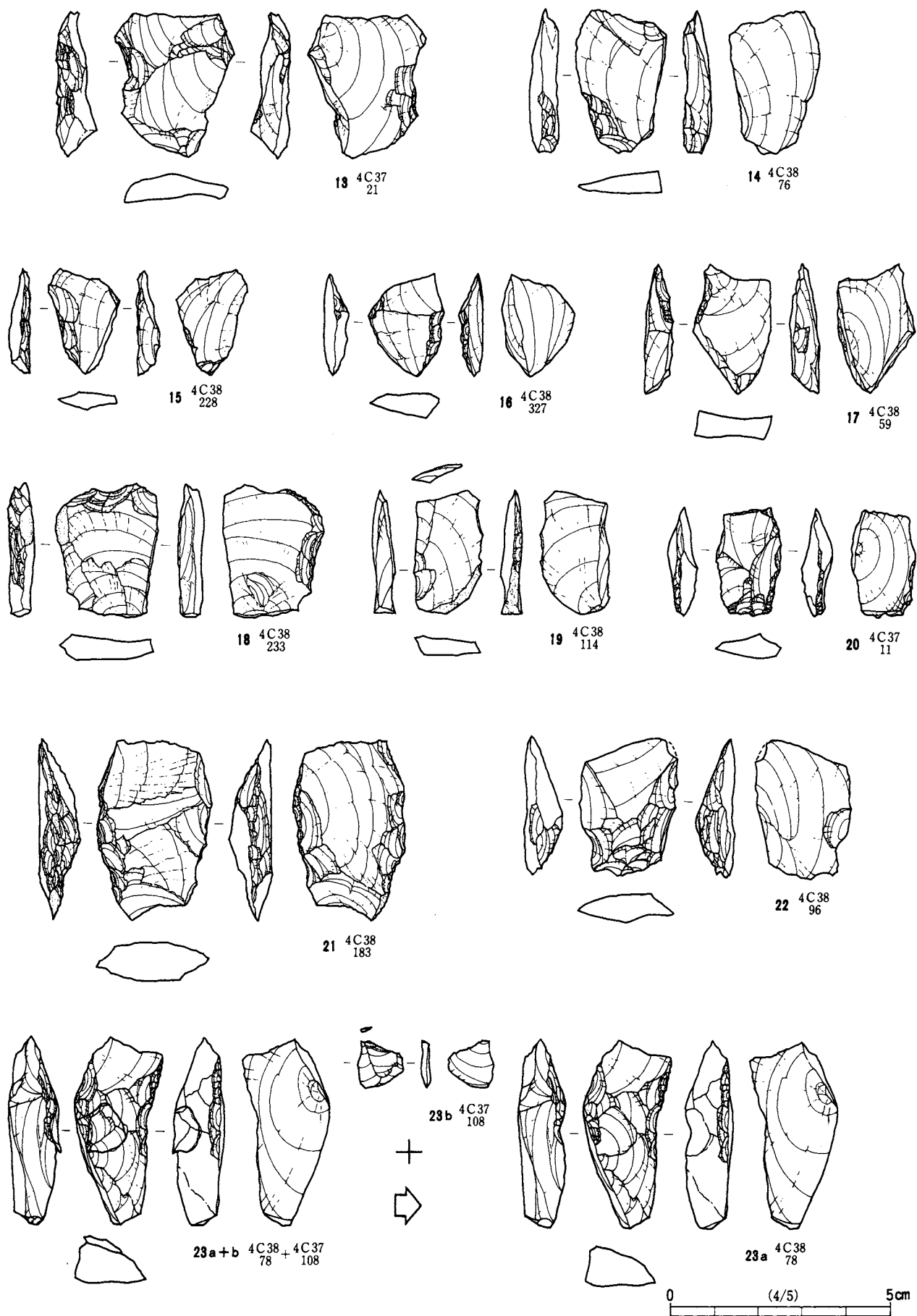
第43図 第10ブロック母岩別分布 3



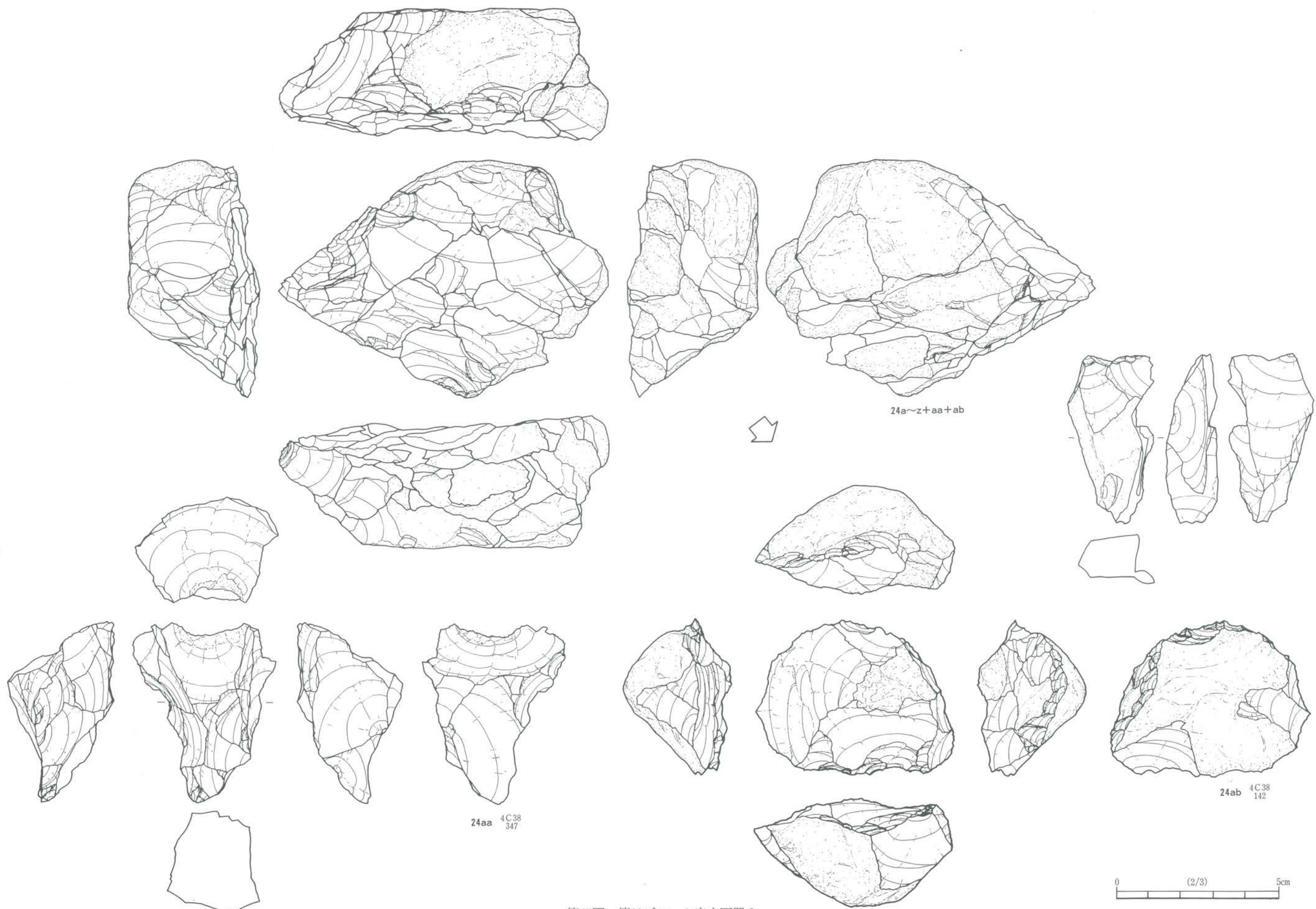
第44図 第10ブロック母岩別分布 4



第45図 第10ブロック出土石器 1



第46図 第10ブロック出土石器 2



24a~z+aa+ab

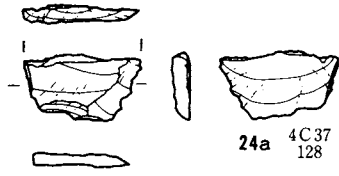
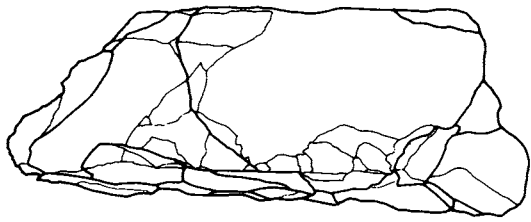
24z 4C38
172

24aa 4C38
347

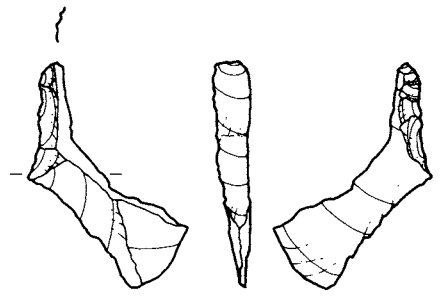
24ab 4C38
142

0 (2/3) 5cm

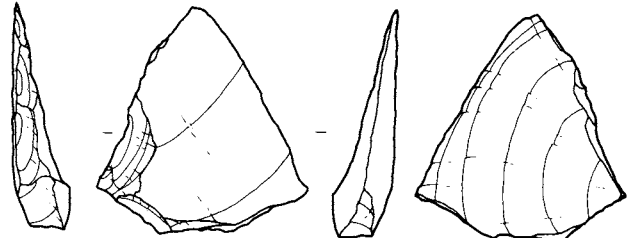
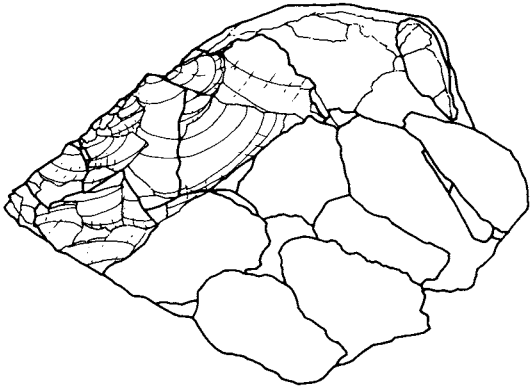
第47図 第10ブロック出土石器 3



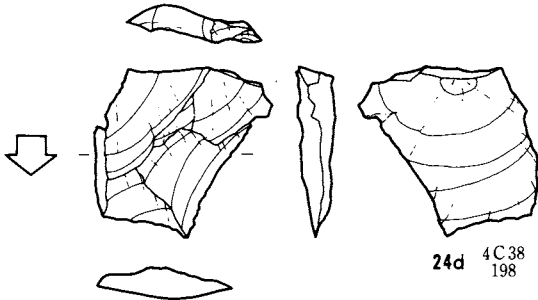
24a 4C37
128



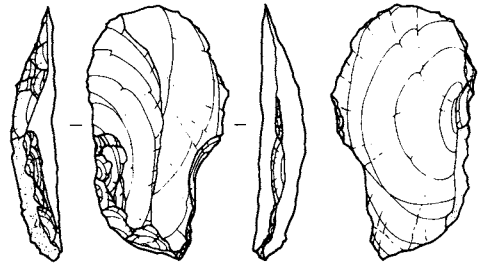
24b 4C38
155



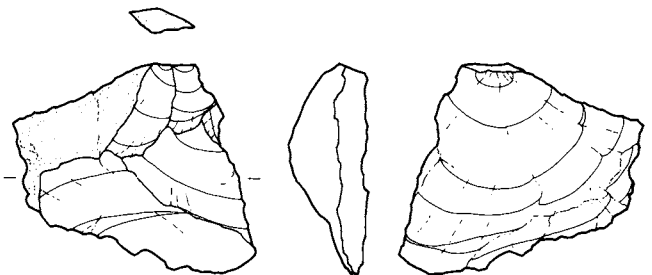
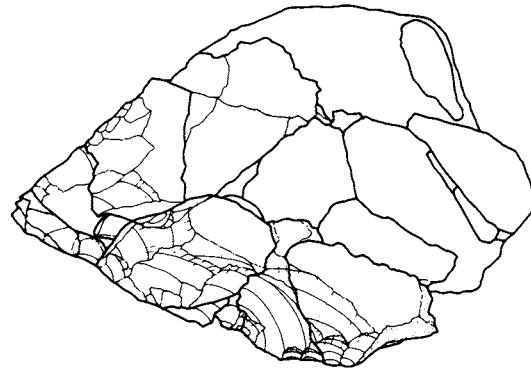
24c 4C38
249



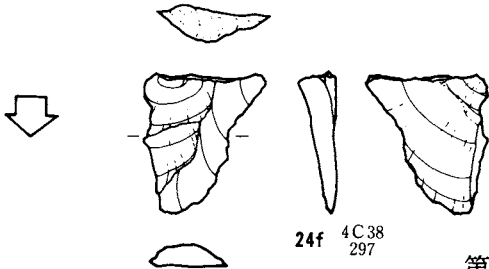
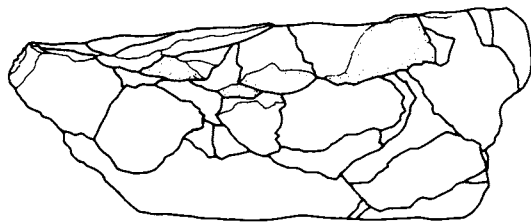
24d 4C38
198



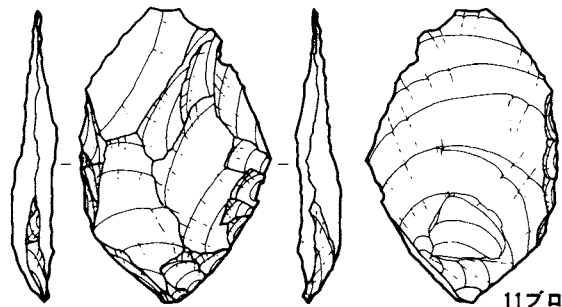
5 4C37
47



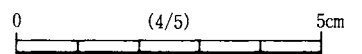
24e 4C38
180



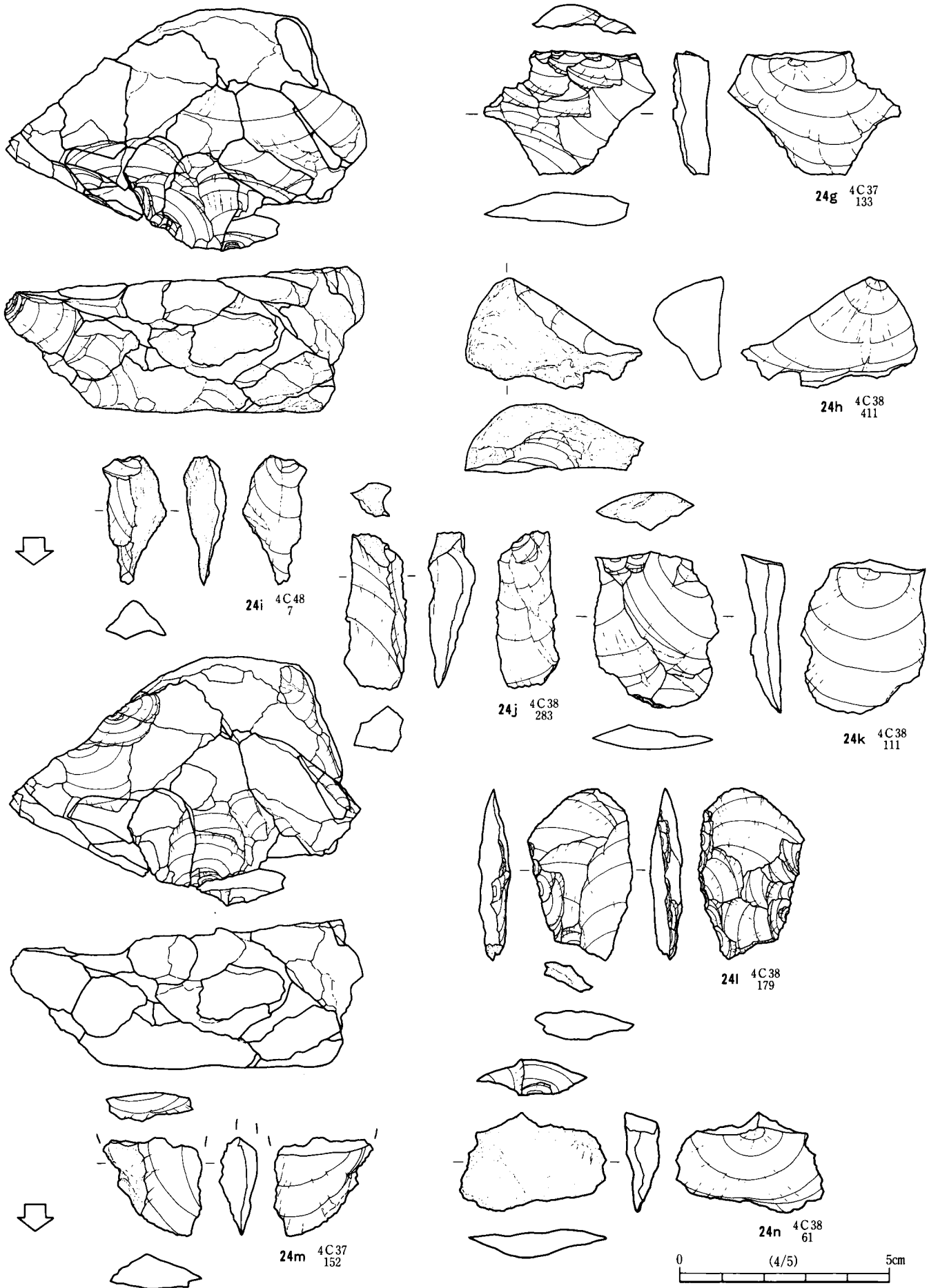
24f 4C38
297



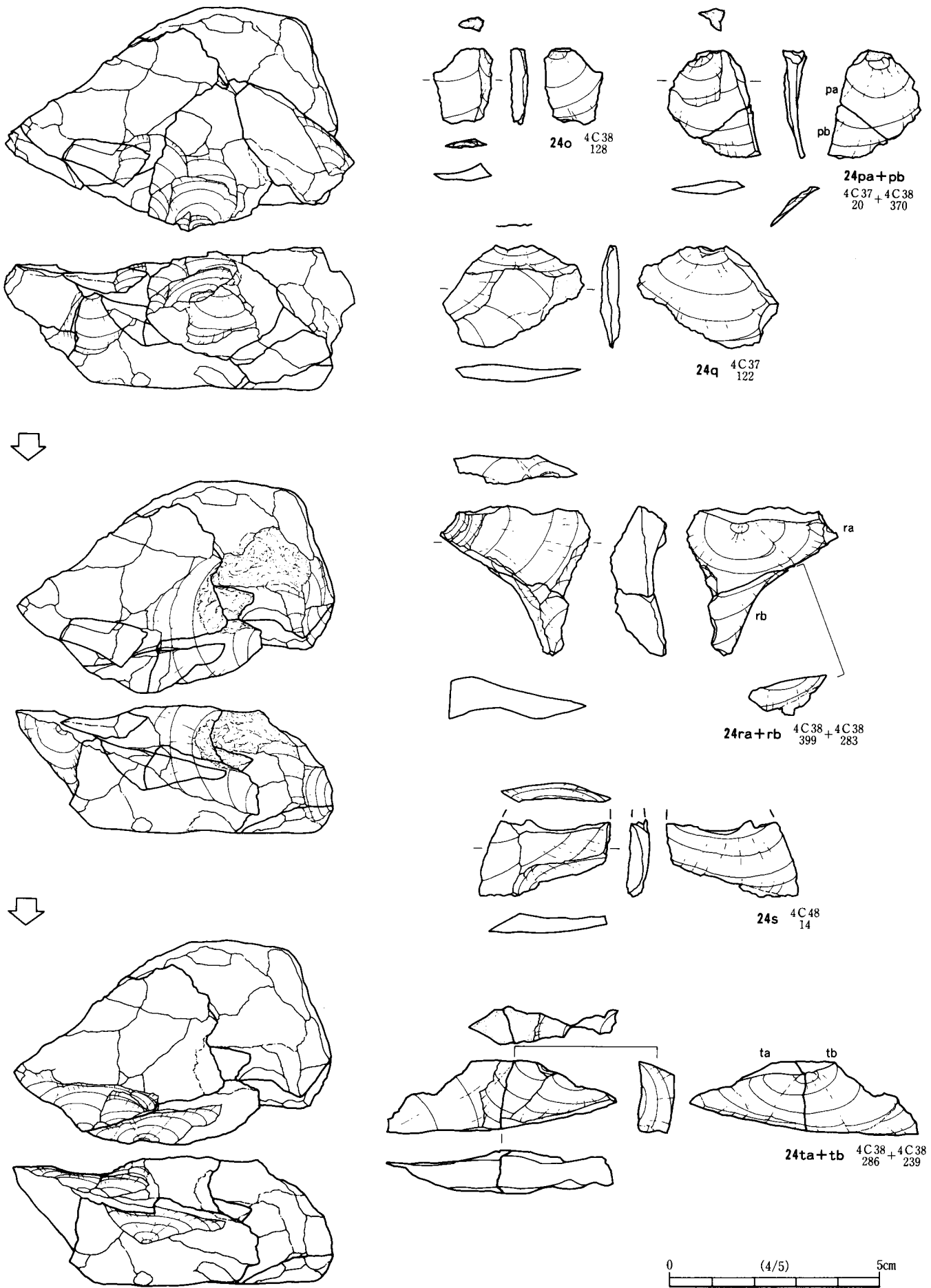
11ブロック1 4C54
4



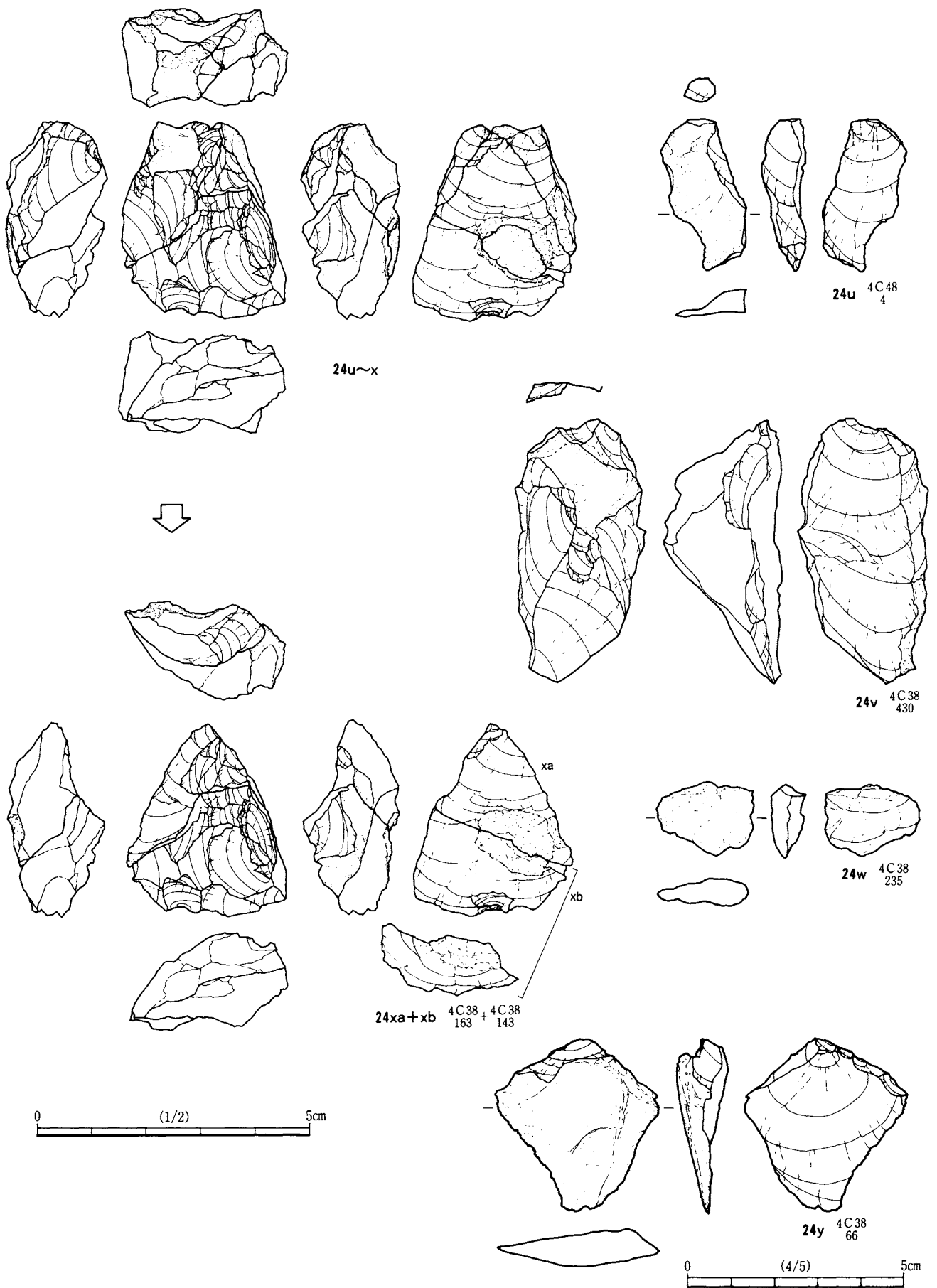
第48図 第10ブロック出土石器 4



第49図 第10ブロック出土石器 4



第50図 第10ブロック出土石器5



第51図 第10ブロック出土石器 6

鋭角な右側縁を刃部としている。

台形石器 4～23は台形石器である。まとまった数の台形石器が出土しているので、便宜的に分類して記述する。台形石器には大きく分けて2形態が認められた。I類は、平面形状がいわゆる鱗状、略梯形、逆三角形を呈するものである。幅広な横長剥片の素材を横位に用いることが多く、打面部側と対向する縁辺下半部に調整加工を施して基部を整形している。II類は、平面形状が逆台形状、四角形、長方形を呈するものである。横長剥片を切断した素材を横位、縦位に用いて、打面部と対向する縁辺を幅広調整、細部調整により整形している。切断が多用されるが、急角度の調整加工により切断の効果を持つものもある。I類の調整が基部寄りの側縁に調整加工が多いのに対して、II類は調整加工が側縁の全縁に及び、側縁が平行するものが多い。

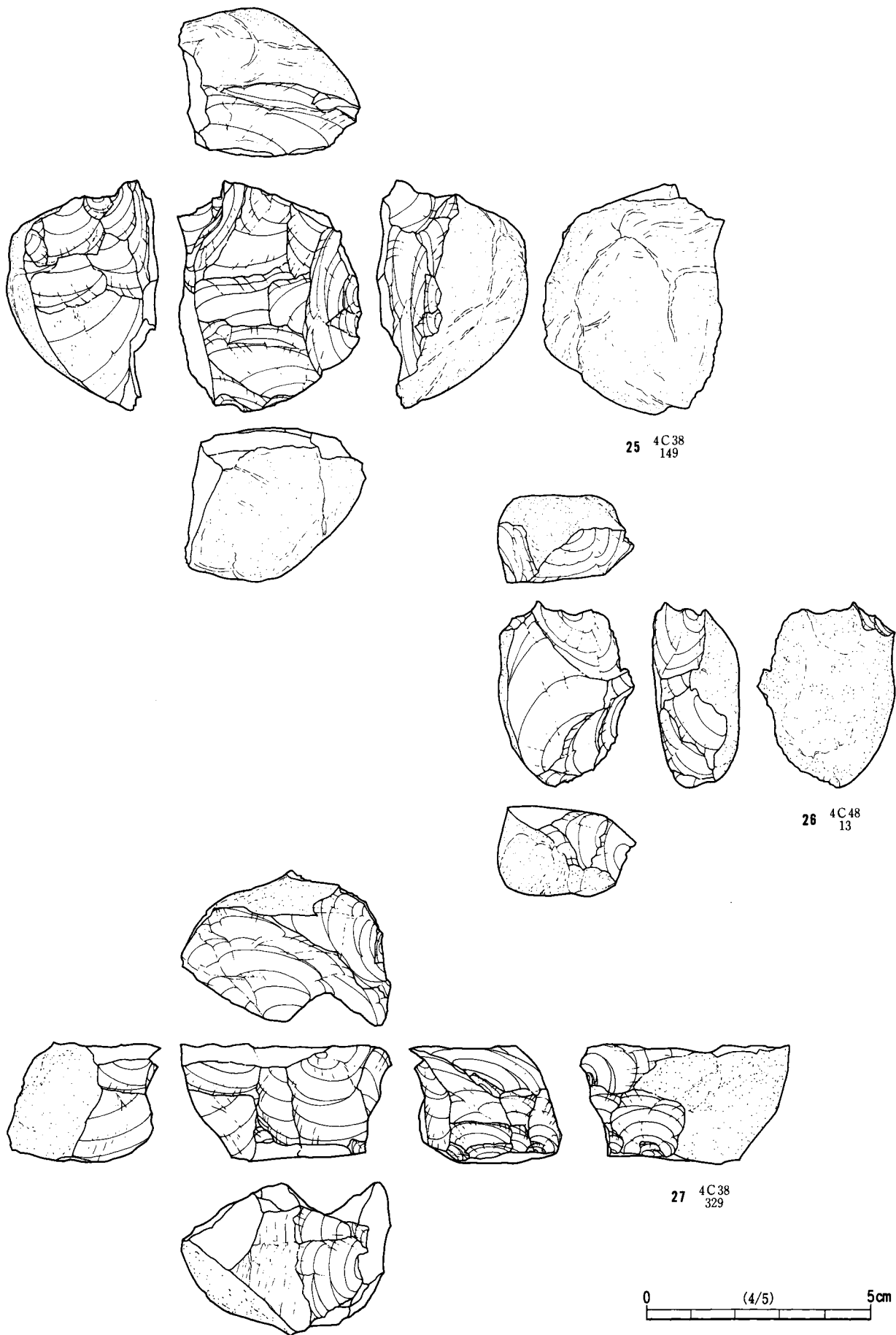
石核 24～34は石核である。24は瑪瑙4を母岩とし、台形石器、多量の剥片が石核に接合する接合資料である。原石をおそらく2分割して平坦な甲板状の分割面をもつ角礫状舟底形の石核素材が作出される。この甲板面を作業面として周囲の礫面から中心方向に剝離作業が進行する。剝離作業は、石核の長軸方向に対して左右の方向から、打点を横に移動しながら連続した剝離作業が観察される。

25は分割した楕円礫を素材としている。上面を打面として正面、左側面の剝離作業、右側縁を打面として正面の剝離作業が看取される。28は小振りの楕円礫から剝がされた剥片を石核素材とする。正面の素材の主要剝離面を作業面に、上端と右側縁の礫面を打点とした剝離作業が観察される。29は礫を数分割した厚い板状のものを石核素材としている。上下の平坦面を打面として、正面で上端からの剝離作業、右側面から裏面で下端からの剝離作業が見られる。28 a・bは石核と剥片の接合資料である。底面を作業面として左側面を打面に底面を作業面とする剝離作業が行われ28 bが作出される。28 aの残核は90度の打面転移を基調とする賽子状の多面体石核となっている。29は礫から剝がされた剥片を石核素材としている。上端に打面を設け、素材の主要剝離面を作業面にした剝離作業が認められる。30・31は楕円礫の縁辺を打点にして剝離作業が進行するものである。30は、正面で上端部を打点とする剝離作業が顕著であり、それに先行する左側縁を打点とする剝離作業も認められる。また、裏面にも両側縁からの剝離作業が看取される。31は正面を作業面として、作業面の周囲を巡るように打点が移動して剝離作業が進行する。いわゆる求心的な剝離作業である。32～34は礫から剝がされた板状剥片を石核素材とするものである。32は、素材の主要剝離面を作業面とした上面からの剝離作業と左側面を作業面とした裏面からの剝離作業が見られる。33は正面、裏面を作業面として作業面の周囲の縁辺からの剝離作業が認められる。34は正面で上下面からの剝離作業、裏面で上面、左側縁からの剝離作業が看取される。

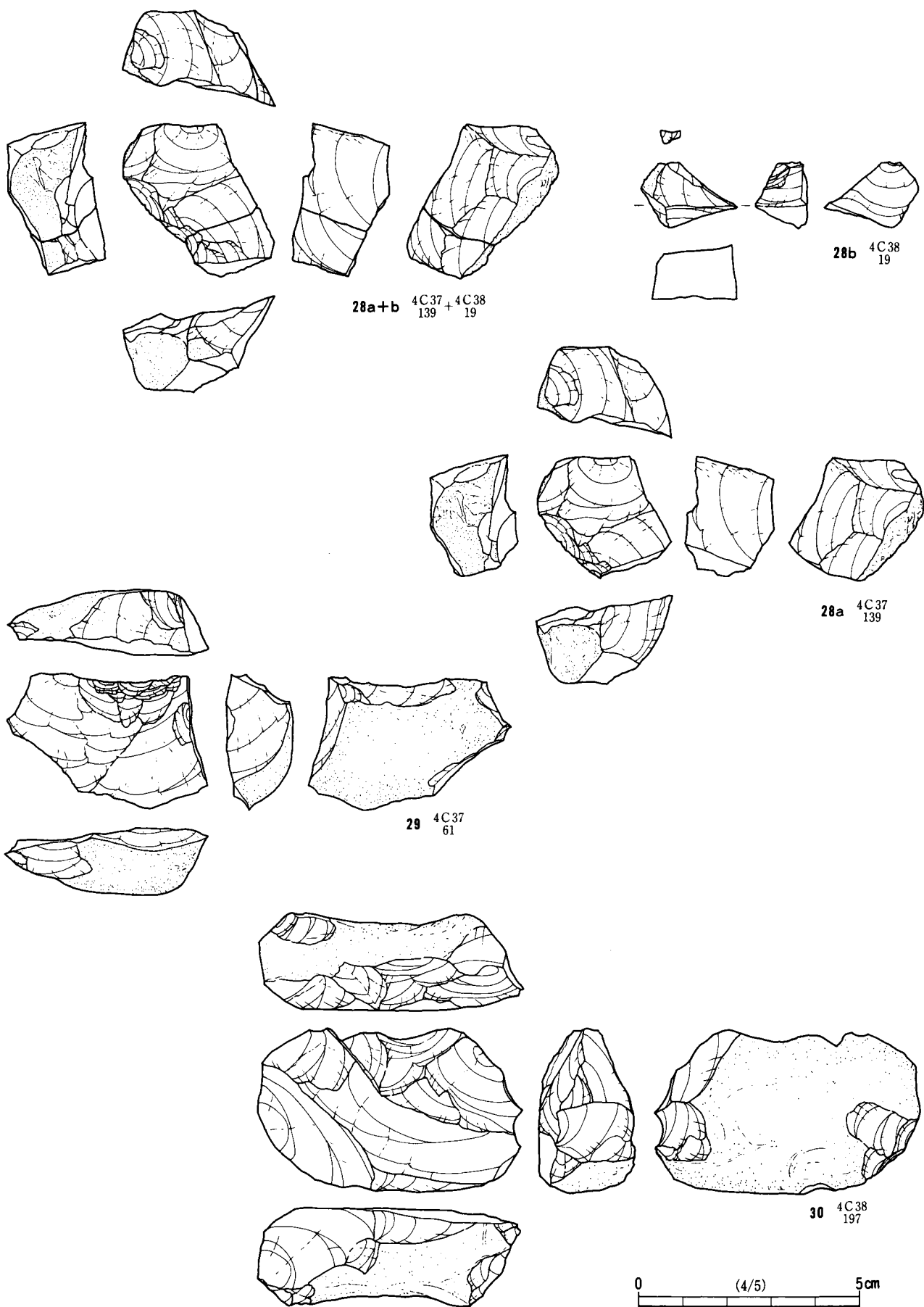
R剥片 35～40はR剥片である。35 a～cはR剥片と剥片の接合資料である。剥片が3つに切断されて、その後35 a、35 bに二次加工が施されている。36は腹面左側縁に平坦な調整加工が連続する。37・38・40は、それぞれ器体の一端に1、2回の調整加工が見られる。39は器体を大きく欠損するが、背腹両面に連続した細部加工が看取される。

U剥片 41・42はU剥片である。41は背面左側縁上部に微細剝離痕が集中する。42は背面両側縁に疎らな微細剝離痕が看取される。

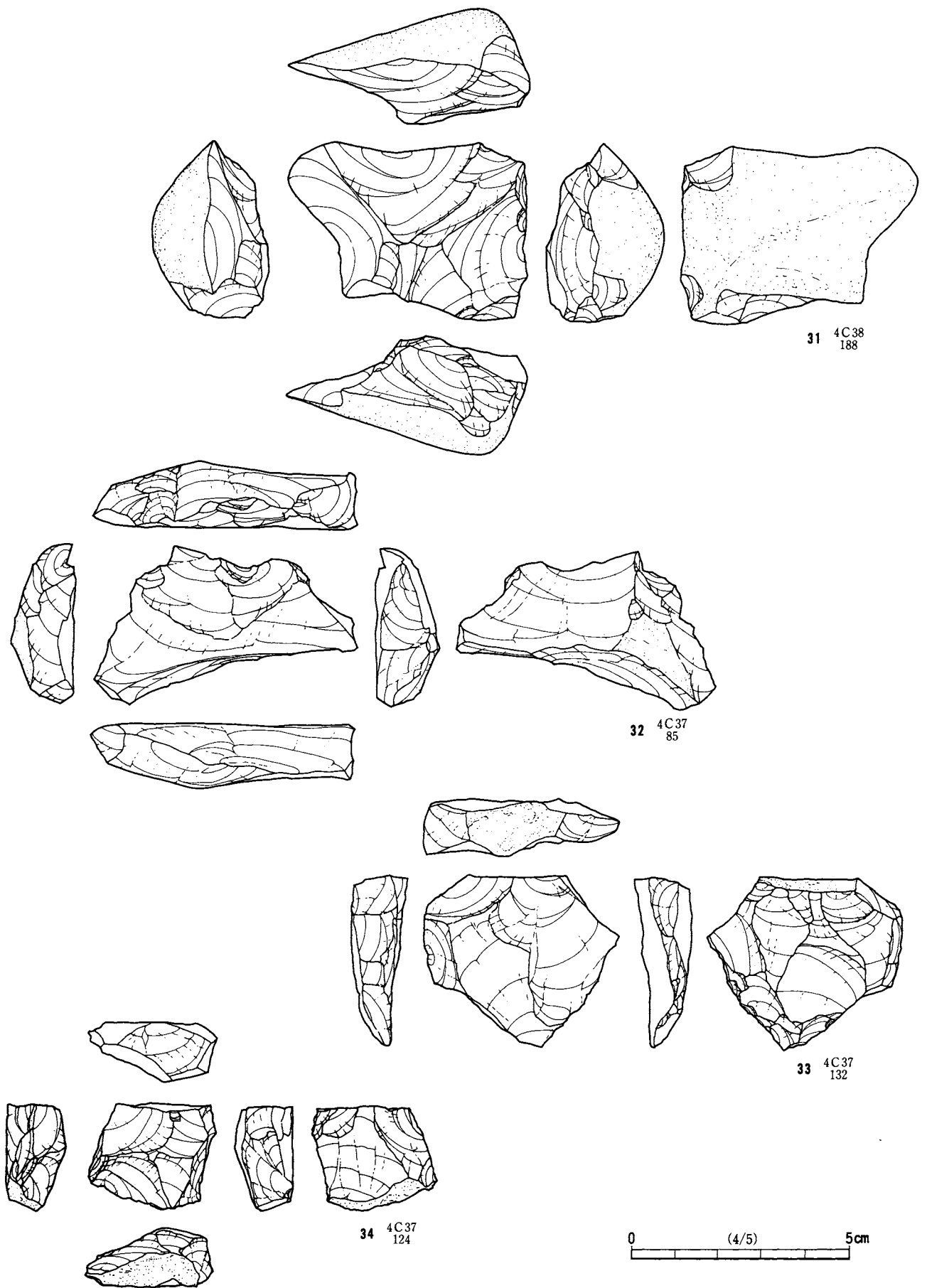
剥片 43～45は剥片である。43 a・bはこの器体が剝離された衝撃で割れて2点となったものと思われる。44は単独母岩の珪質頁岩5を母岩とする横長剥片である。45 a・bは剥片どうしの接合である。剝離方向の軸をやや回転させて45 a、45 bが剥片剝離されていることが観察される。



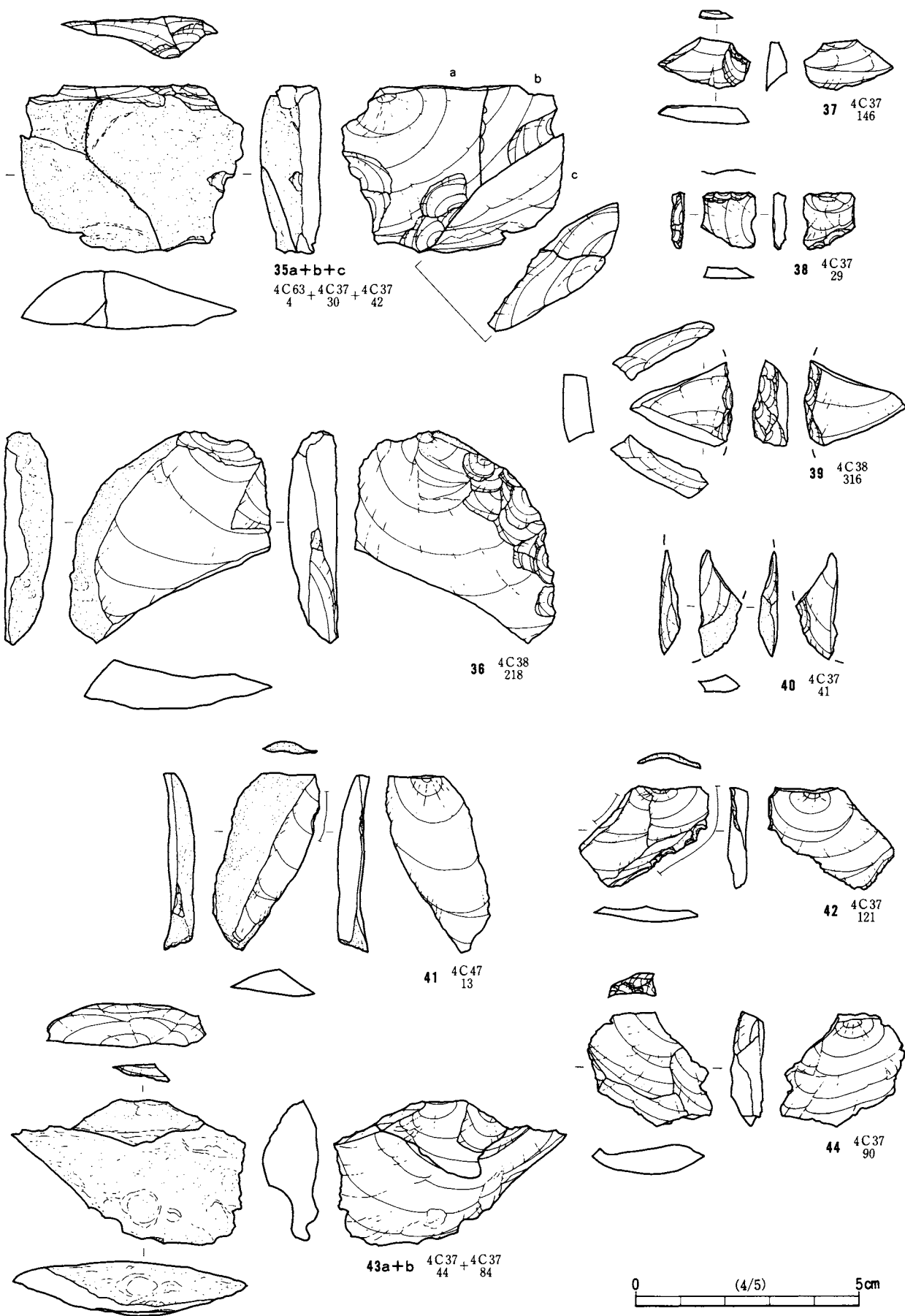
第52図 第10ブロック出土石器 8



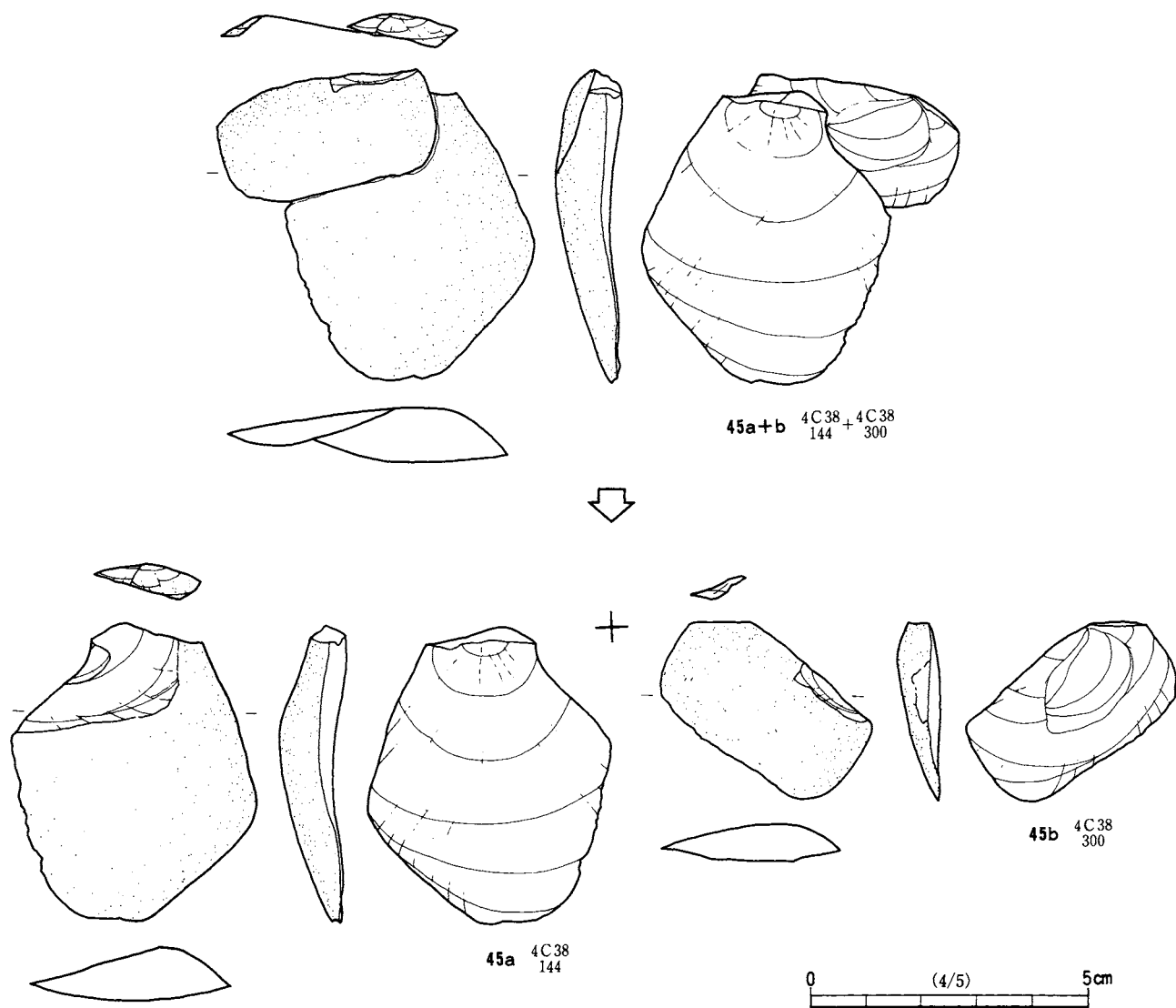
第53図 第10ブロック出土石器 9



第54図 第10ブロック出土石器10



第55図 第10ブロック出土石器11

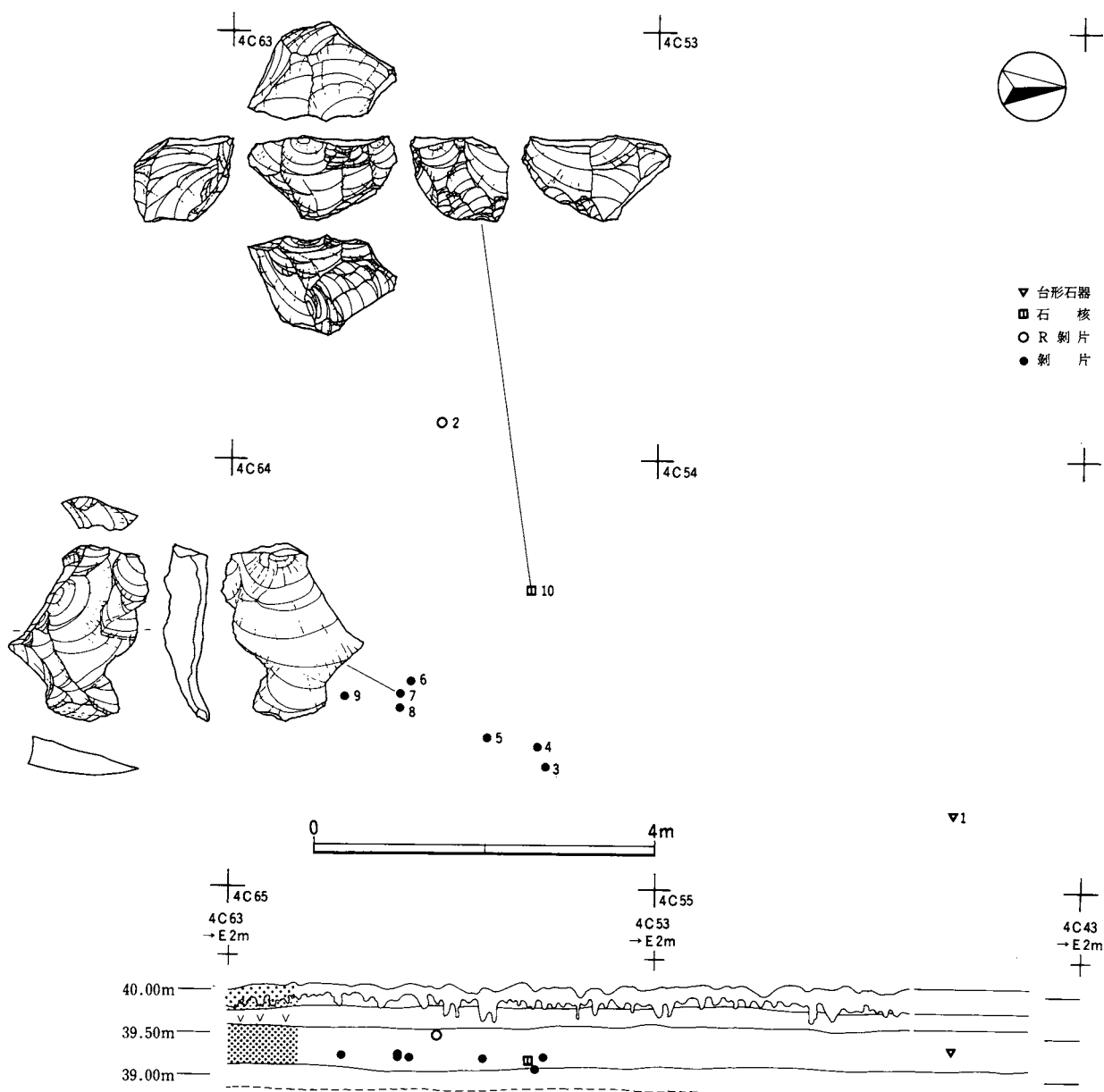


第56図 第10ブロック出土石器12

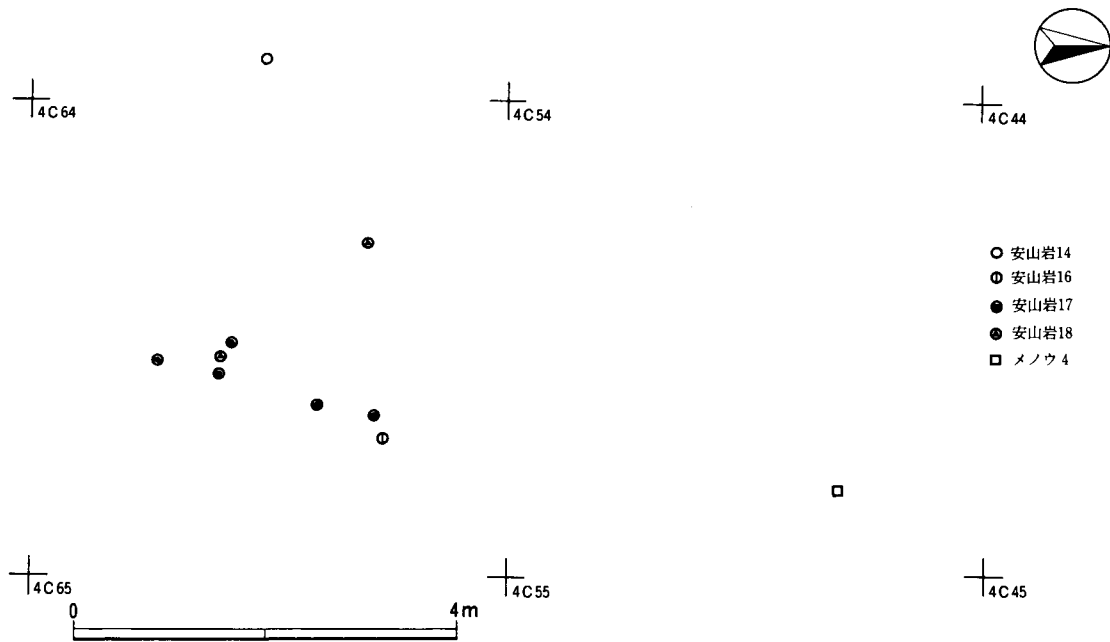
11 第11ブロック (第57～59図、表37・38、図版3・26)

分布状況 調査区南西側、Q地点で調査されたブロックである。4C区中央部に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の付け根中央部に当たり、現況ではローム層は水平に堆積している。北東方向に約20m離れて第10ブロックが位置している。

遺物総数は10点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫である。ブロックの南東側にやや密集した部分があり、そこから西方向と北方向に遺物が1点ずつ離れて存在する。4C54区から4C63・64区にかけて南北方向に細長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北7.1m、東西4.5mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差があるが、分布の集中する高低差は0.2mの範囲に収まる。土層断面への投影では、X層上面からVII層にかけて分布し、産出層位はIX層に安定したレベルを求めることができる。



第57図 第11ブロック器種別分布



第58図 第11ブロック母岩別分布

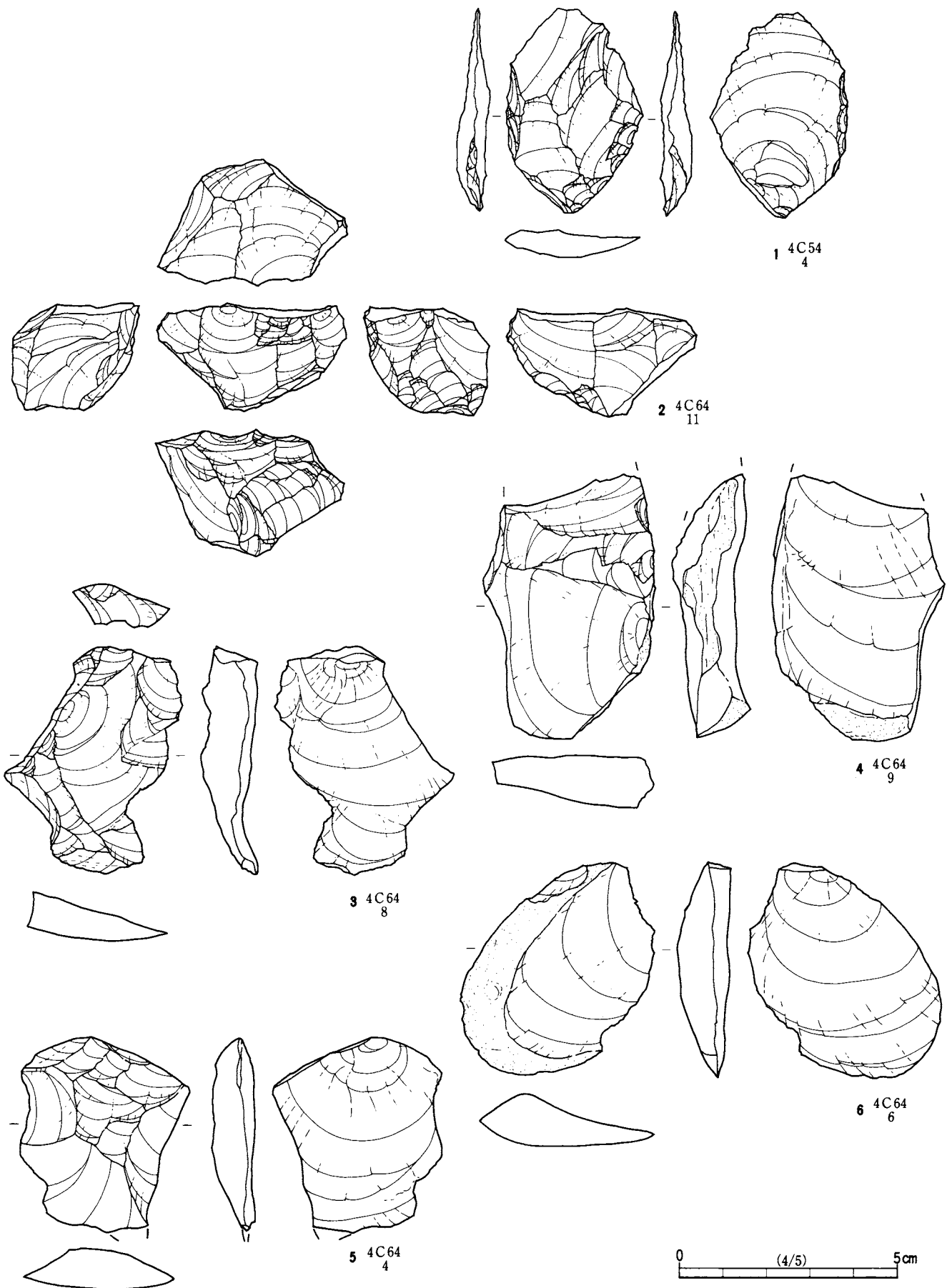
母岩別資料 5母岩が認められ、その内訳は安山岩4母岩9点、瑪瑙1母岩1点である。点数のまとまる母岩は安山岩17の5点であり、この母岩以外は1、2点の出土の母岩となっている。南寄りの分布がやや密な部分には安山岩17が集中して出土している。当ブロックで出土している安山岩14、安山岩16、瑪瑙4の母岩は、第10ブロックで同一母岩が検出されている。主要な器種と母岩の特徴的な関係は看取されないうが、瑪瑙4の台形石器は、第10ブロックの同一母岩の接合資料と接合し、第10ブロックからの製品の搬入行為が推察される。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な器種も台形石器、石核が1点ずつ出土するにすぎない。剝片主体のブロックである。

台形石器 1は台形石器である。平面形状は菱形を呈し先端及び基部が尖る。横長剝片を斜位に用いており、打面部及び対向する縁辺に粗い平坦調整が観られる。

石核 2は石核である。安山岩18を母岩とする。多面体の石核で打面転移が頻繁な石核であるが、上面からの剝離作業が顕著で、正面及び右側面に剝片剝離作業が認められる。作出された剝片はやや縦長の剝片が想定される。

剝片 3～6は剝片で、すべて縦長剝片である。3は安山岩18を母岩とし、背面に横方向からの先行する剝離痕が認められる。4・6は安山岩17を母岩とするもので、大形の礫素材石核から剝がされたものであろう。5は安山岩16を母岩として、頭部調整が顕著である。

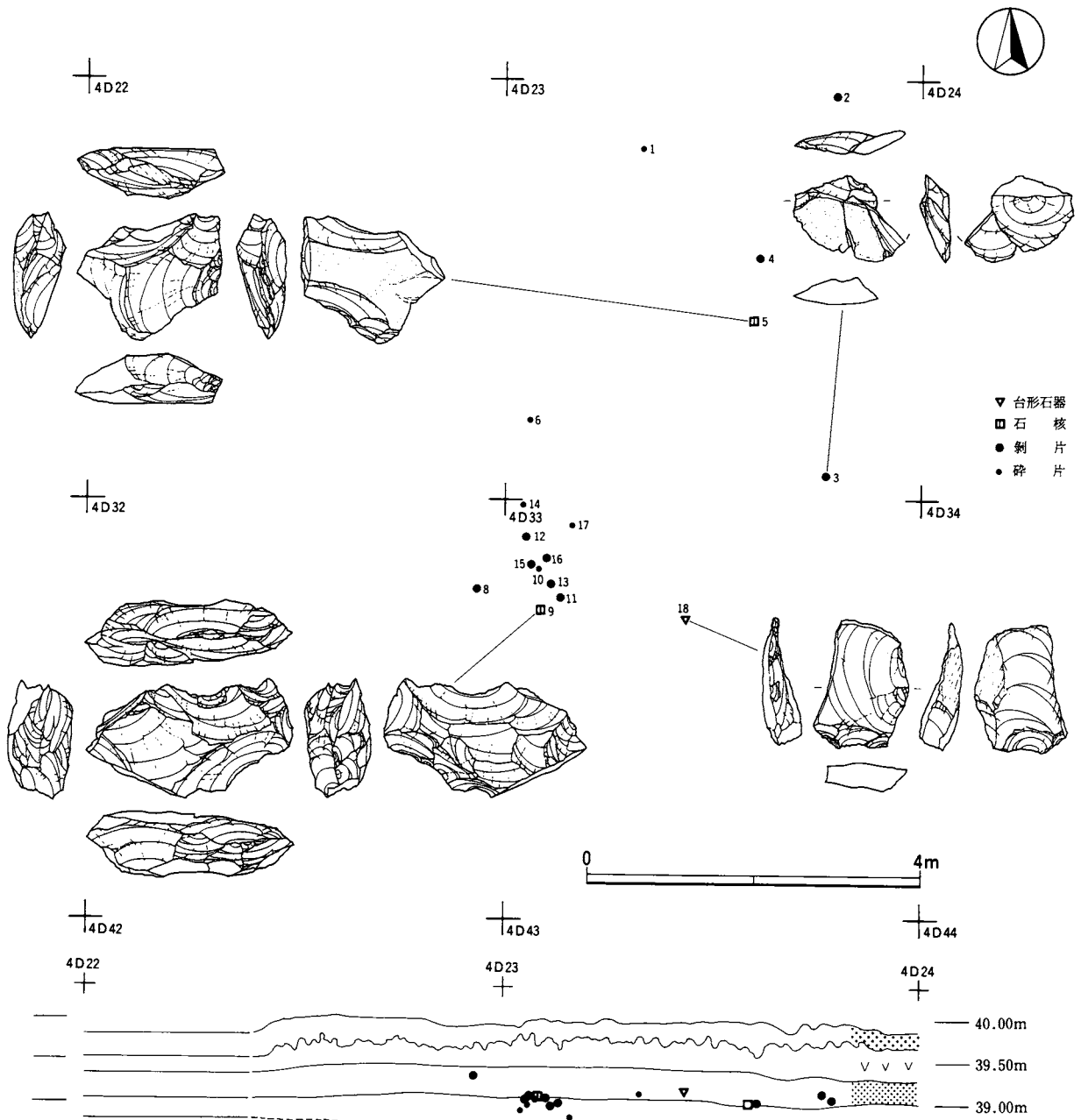


第59図 第11ブロック出土石器

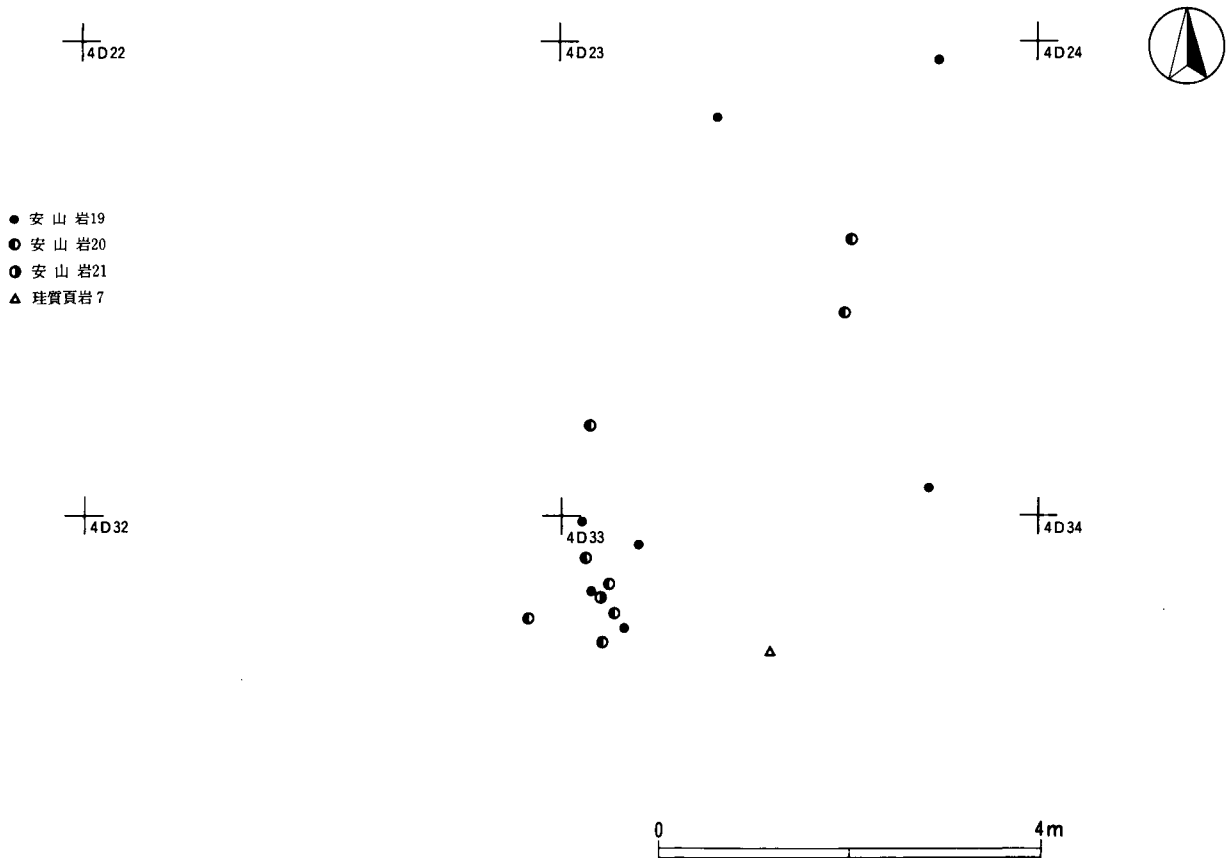
12 第12ブロック (第60~62図、表39・40、図版3・27)

分布状況 調査区南側、R地点で調査されたブロックである。4D区南西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の付け根中央部東側に当たり、現況ではローム層はやや東側に傾斜している。西方向に約25m離れて第10ブロックが位置している。

遺物総数は18点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的散漫である。ブロックの南西隅に分布の密集した部分があり、そこから北東方向に離れて遺物が散在する。4D23区から4D32・33区にかけて北東-南西方向に細長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.2m、東西4.3mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差があるが、分布の集中する高低差は0.2mの範囲に収まる。層序区分が不明瞭であるが、VI層の下半部はVII層に対応すると考えられる。土層断面への投影では、X層上部からIX層上部



第60図 第12ブロック器種別分布



第61図 第12ブロック母岩別分布

にかけて分布し、産出層位はX層上面からIX層下部にレベルを求めることができる。

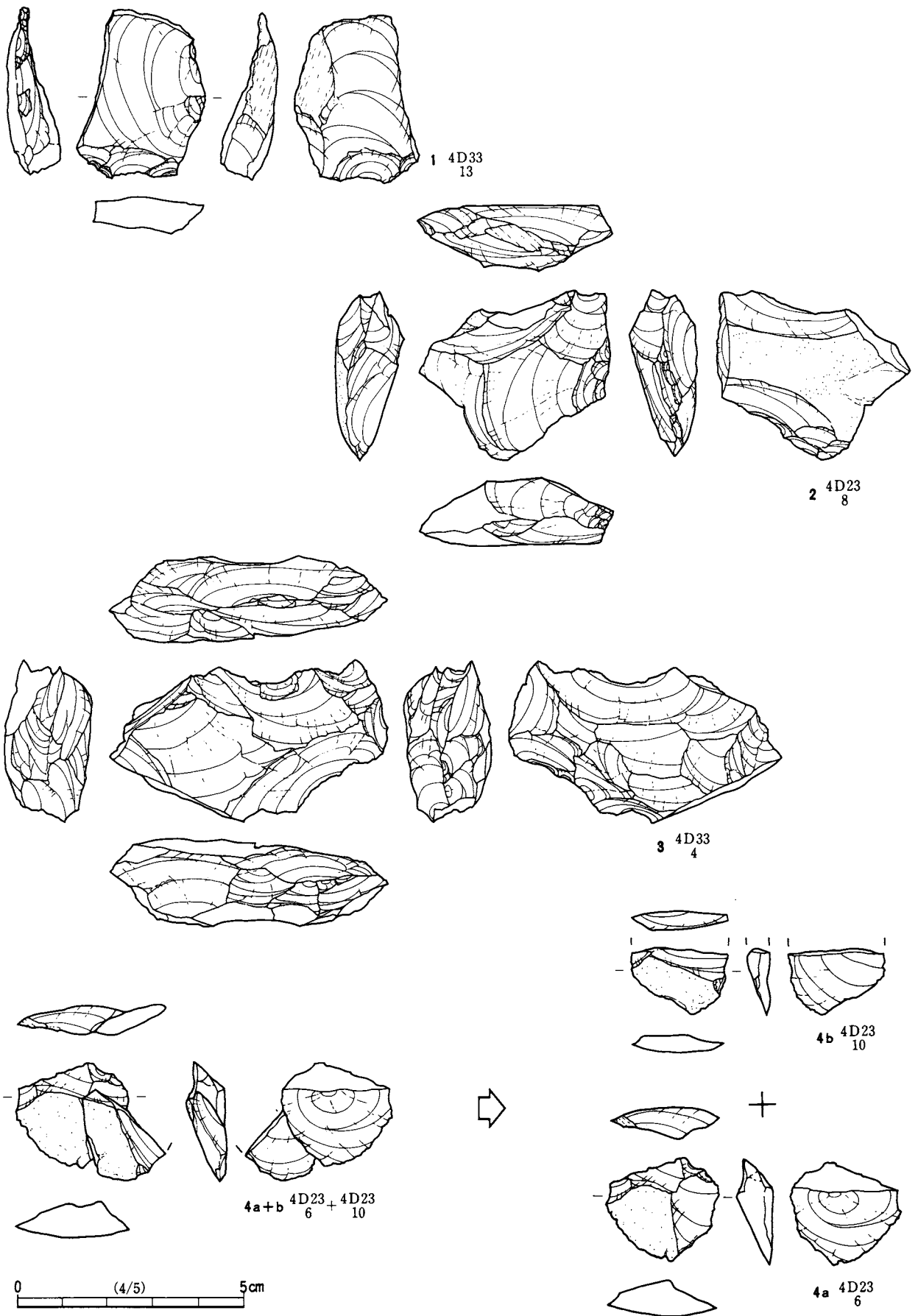
母岩別資料 4母岩が認められる。その内訳は安山岩3母岩17点、珪質頁岩1母岩1点である。点数のまとまる母岩は安山岩19の8点と安山岩20の8点であり、この2母岩で母岩構成の9割近くを占める。他は単独母岩となっている。安山岩19・20は広く満遍なく分布している。母岩と器種の関係では、安山岩20の石核が2点存在し、同一母岩の剥片も少数みられる。安山岩20の限定した母岩消費が認められる。珪質頁岩7の単独母岩の台形石器が存在する。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な器種としては台形石器が1点、石核が2点出土したのみであり、剥片、碎片主体のブロックである。

台形石器 1は台形石器である。厚味のある横長剥片を縦位に用いて素材として、素材の打面部を背・腹面両面の調整加工で打面部を除去している。背面左側縁は切断されており、その面の上半部に細部加工が観られる。平面形状は台形状を呈している。

石核 2～3は石核である。2は楕円礫を石核の素材として、素材の主要剥離面側から幅広な剥片剥離作業が行われた後、その作業面を打面として上面及び右側縁で交互に剥片剥離が行われている。3は上端部及び下端部から交互に剥片剥離作業を行っている。2・3ともに同種の剥片剥離が看取され、残核は正面及び裏面が亀甲状に近くなる。

剥片 4 a + bは剥片の接合資料である。母岩は安山岩19で、2点とも横長剥片と思われる。打点を横に移動させながら横長剥片が作出されている。

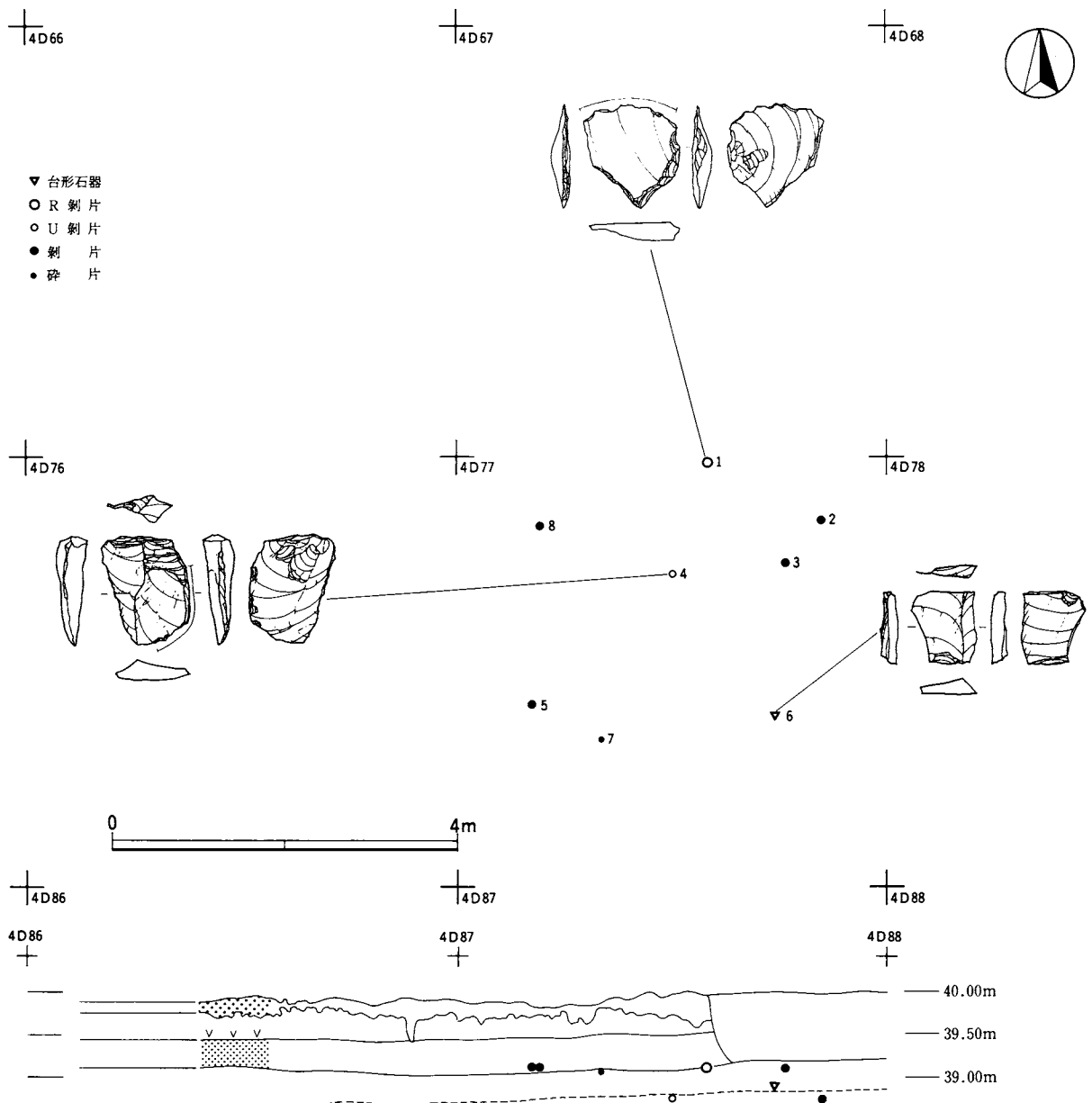


第62図 第12ブロック出土石器

13 第13ブロック (第63~65図、表41・42、図版3・27)

分布状況 調査区南東側、T地点で調査されたブロックである。4D区南東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の東側縁辺部に当たり、現況ではローム層はやや東側に傾斜している。北西方向に約30m離れて第12ブロックが位置している。

遺物総数は8点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫である。分布の密集した部分が見られず、約0.6m~2.0m程の間隔をおいて遺物が散在している。4D77区にやや東西方向に長い不整形円形状に分布する。分布範囲は南北3.2m、東西3.3mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。層序区分が不明瞭であるが、VI層の下半部はVII層に対応すると考えられる。土層断面への投影では、X層からIX層下部にかけて分布している。垂直分布が上位と下位に分離されるように分布するが、上位と下位で同一母岩が存在することから同一のブロックと考えられる。産出層位はX層からIX層下部にレベルを求めることができる。



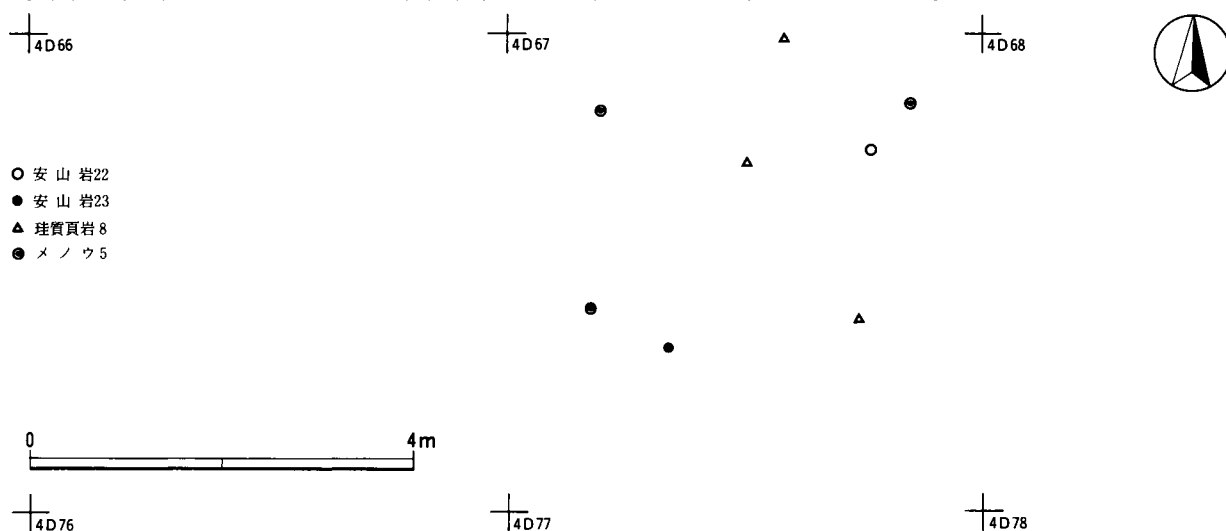
第63図 第13ブロック器種別分布

母岩別資料 4母岩が認められる。その内訳は安山岩2母岩2点、珪質頁岩1母岩3点、瑪瑙1母岩3点である。点数のまとまる母岩は珪質頁岩8の3点と瑪瑙5の3点であり、他は単独母岩となっている。母岩分布の遍在は看取されない。母岩と器種の関係では、珪質頁岩8の母岩から台形石器、楔形石器、U剥片がそれぞれ1点ずつ出土していることが特徴的である。

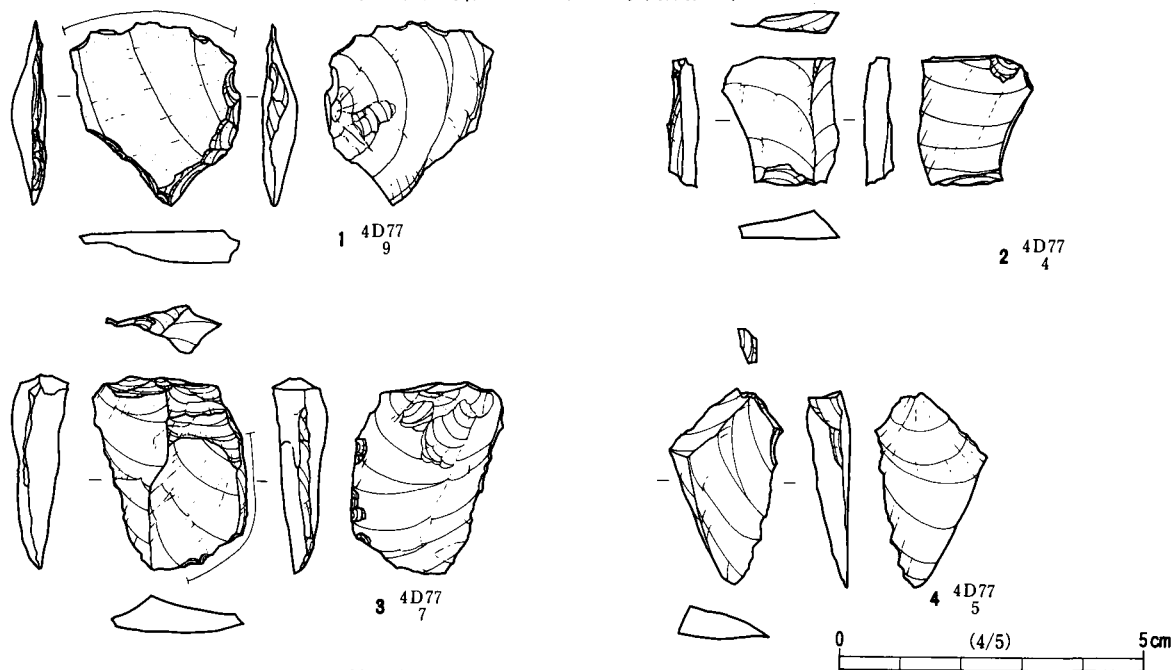
出土遺物 小規模なブロックであるが、主要な器種として台形石器、楔形石器が1点ずつ出土しており、器種構成に利器の占める割合は多い。

台形石器 1は台形石器である。薄い縦長剥片を横位に用いて、打面部から縁辺部にかけて細部加工が施されて、基部が尖るように整形されている。刃部は弧を描き刃こぼれ状になっており、形状は逆三角形状を呈する。

楔形石器 2は楔形石器である。切断された縦長剥片の上下端部に潰れとやや幅広な剝離痕が看取される。典型的な楔形石器ではないが、両極技法が看取されるため楔形石器とした。



第64図 第13ブロック母岩別分布

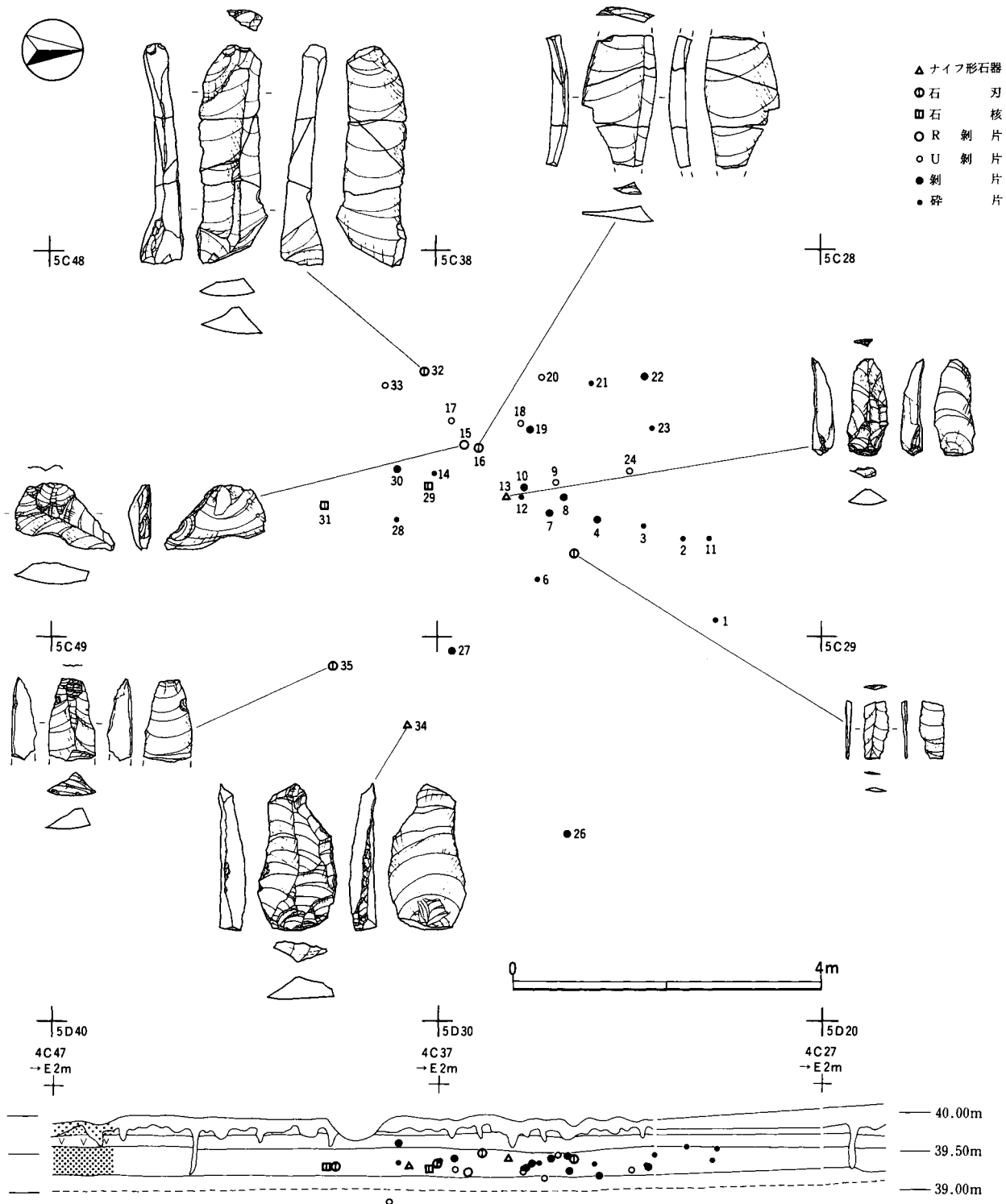


第65図 第13ブロック出土石器

U 剥片 3 は U 剥片である。縦長剥片の側縁から下端部にかけて背・腹面両面に疎らな微細剝離痕が認められる。

剥片 4 は剥片である。瑪瑙 5 を母岩とする縦長剥片である。

第 3 節 第 II 文化層



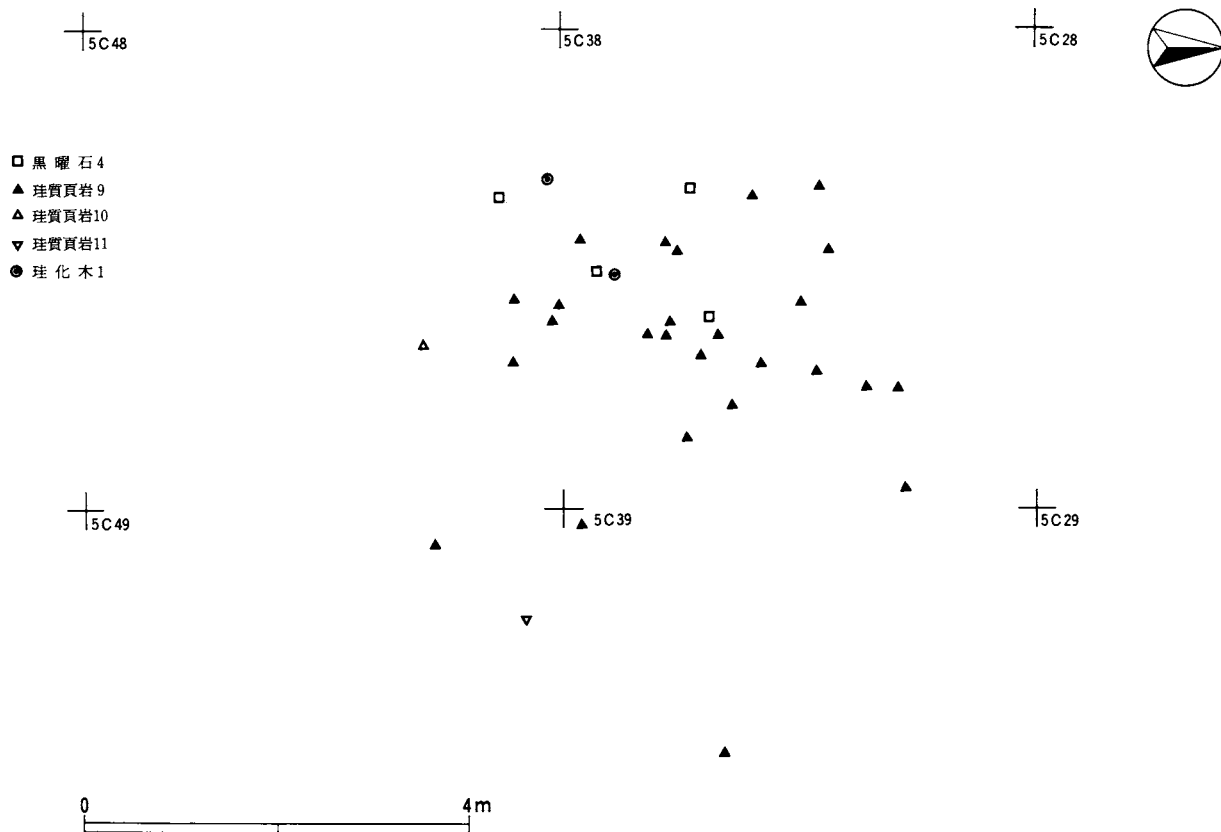
第66図 第14ブロック器種別分布

第II文化層に属するブロックは、調査区の北側と南側の2地点に存在している。調査区の北東側の舌状台地の先端部に1か所のブロック、調査区南側の付け根部分に2か所のブロックが展開している。調査区南側の2つのブロックは母岩の共有関係があり、ブロック群を形成している。各ブロックは小規模なものである。南側と北側のブロックではやや時期を異にする可能性があるが、一括して第II文化層として設定した。比較的遺物のまとまる南側ブロックでは、石刃素材のナイフ形石器、石刃が特徴的に存在し、石刃を剥片剥離する石刃技法が認められる。第II文化層の石材構成は、珩質頁岩が主体を占め、これに砂岩、黒曜石少量が加わる。珩質頁岩の石材により、ナイフ形石器が生産されている。

1 第14ブロック (第66~70図、表43・44、図版3・28・29)

分布状況 調査区南隅、U地点で調査されたブロックである。5C区西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の東側に当たり、現況ではローム層はやや東側に傾斜している。南側で第14ブロックが接して位置している。

遺物総数は35点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。ブロックの東側に分布のやや密集した部分があり、そこから南東方向に分布が散漫になっている。5C38・39区から5C48・49区にかけてやや東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北5.1m、東西5.9mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、西側の高い位置での投影のため約20cm程低く投影されるが、IX層からVI層にかけて分布している。遺物台帳の記載ではVII層上部、VI層出土と記載される遺物が多く、産出層位はVII層(第2黒色帯上部)からVI層下部にレベルを求めることができる。

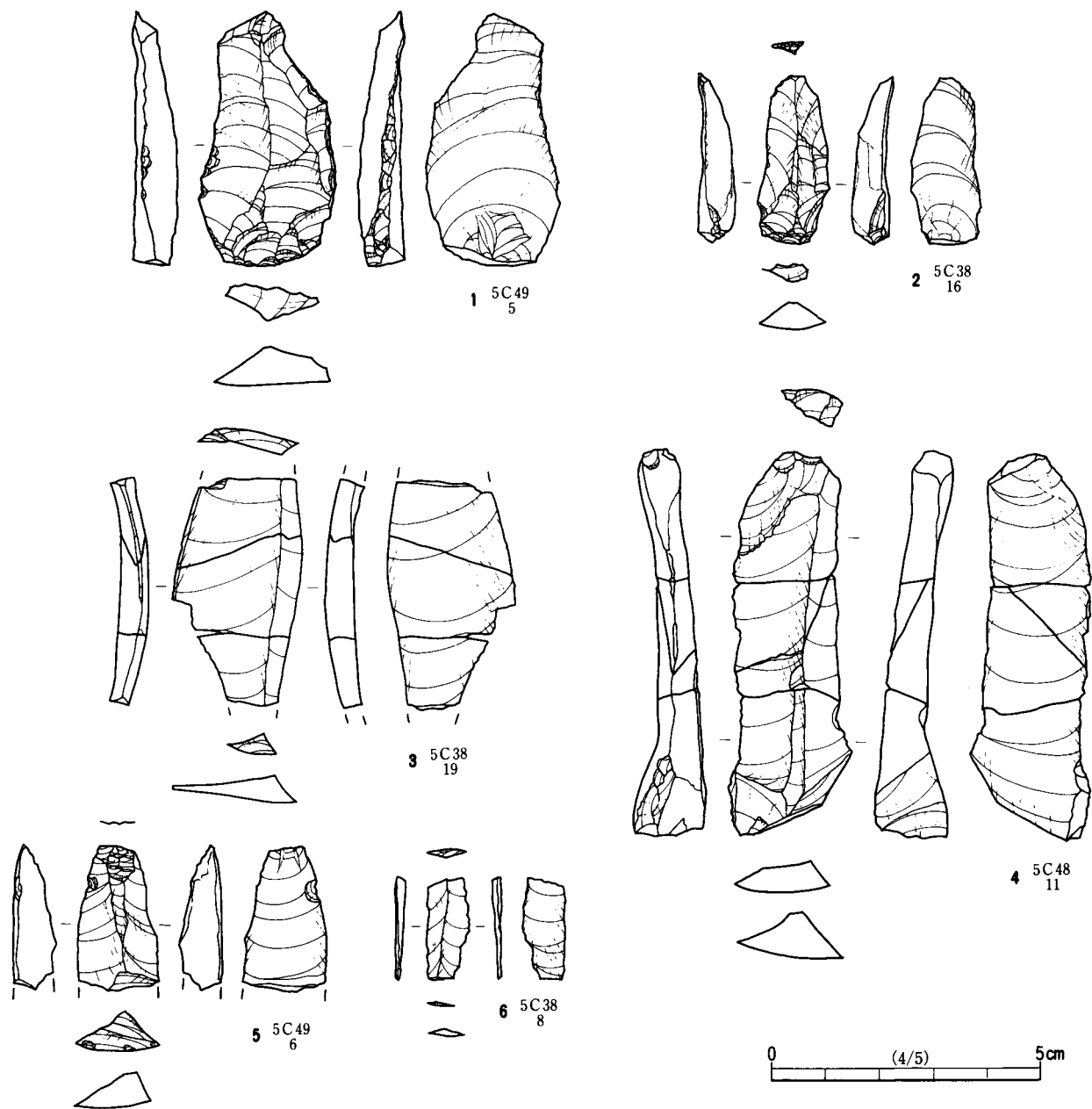


第67図 第14ブロック母岩別分布

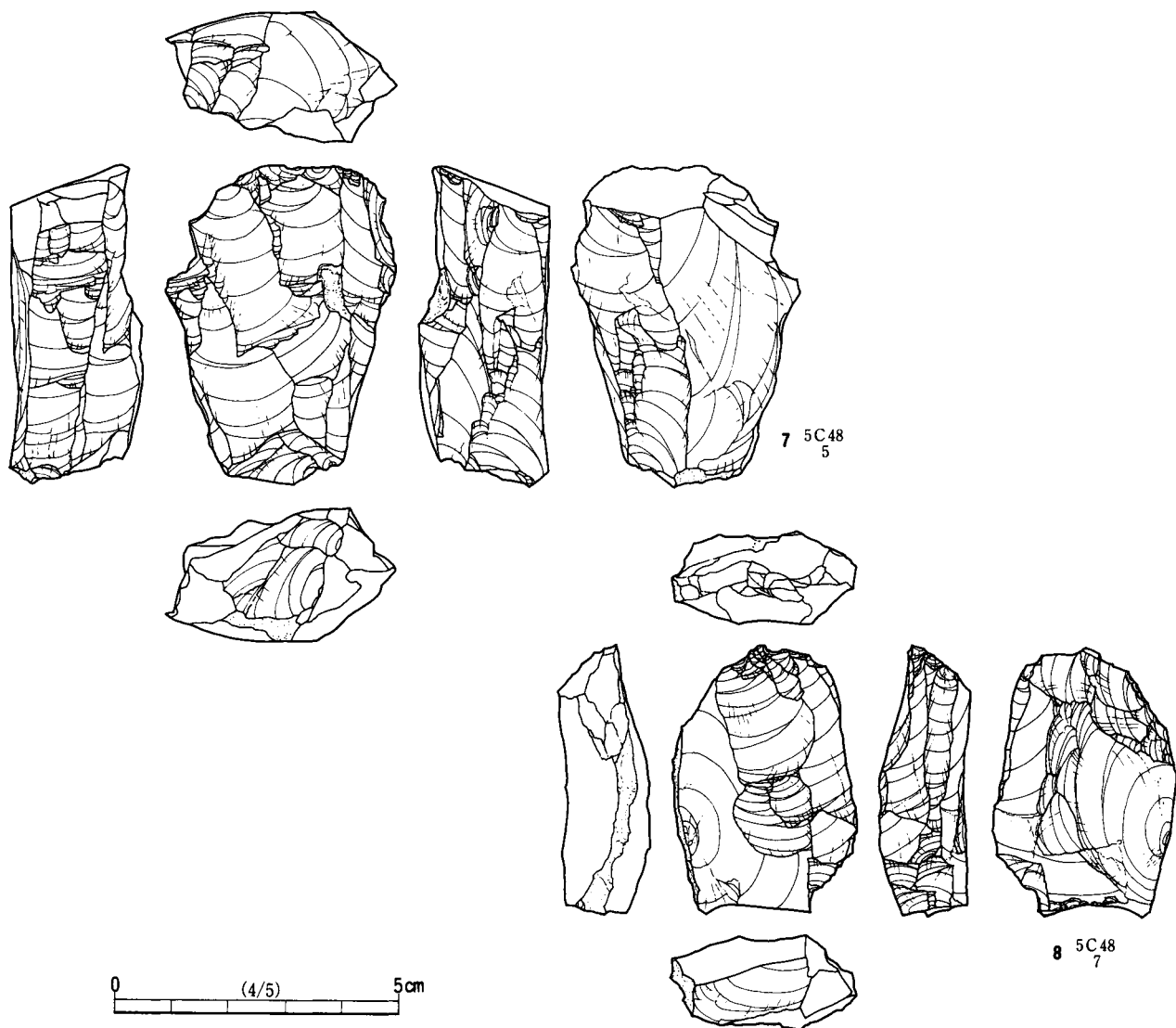
母岩別資料 5母岩が認められる。その内訳は黒曜石1母岩5点、珪質頁岩3母岩28点、珪化木1母岩2点である。点数のまとまる母岩は、珪質頁岩9の26点と黒曜石4の5点であり、他は1、2点の母岩となっている。珪質頁岩9の母岩が7割を超える母岩構成となっている。これらの母岩は、黒曜石4の母岩が北寄りに分布し、珪質頁岩9はブロックの分布の密集した部分を中心に満遍なく分布する。母岩と器種
 の関係を見ると、ナイフ形石器、石刃が珪質頁岩9から生産されている。この母岩での、母岩消費が認められる。黒曜石4の母岩はU剥片が3点と多い。また、珪化木を母岩とする石刃が存在する。

出土遺物 ナイフ形石器が2点、石刃が4点出土しており器種構成に占める割合が大きい。

ナイフ形石器 1・2はナイフ形石器である。1は珪質頁岩11を母岩とする当ブロックでは単独母岩のものである。頭部調整が顕著な石刃状剥片を素材としている。素材の打面部を基部に設定しそのまま残置している。背面右側縁には細部加工が連続し、左側縁にも疎らに微細な加工が見られる。2は珪質頁岩9



第68図 第14ブロック出土石器 1



第69図 第14ブロック出土石器2

を母岩としている。後に説明する7から剥片剥離された素材を用いていると想定される。素材は小形、細身の石刃であり、いわゆる背面にポジティブな剥離面をもつ「小石刃」ではないが、同種の剥片剥離技法により作出されたものであろう。素材の打面部を基部に設定して、基部を中心に細部加工が行われる。背面の左側縁先端部にも先端を鈍角にするような刃潰し加工が看取される。

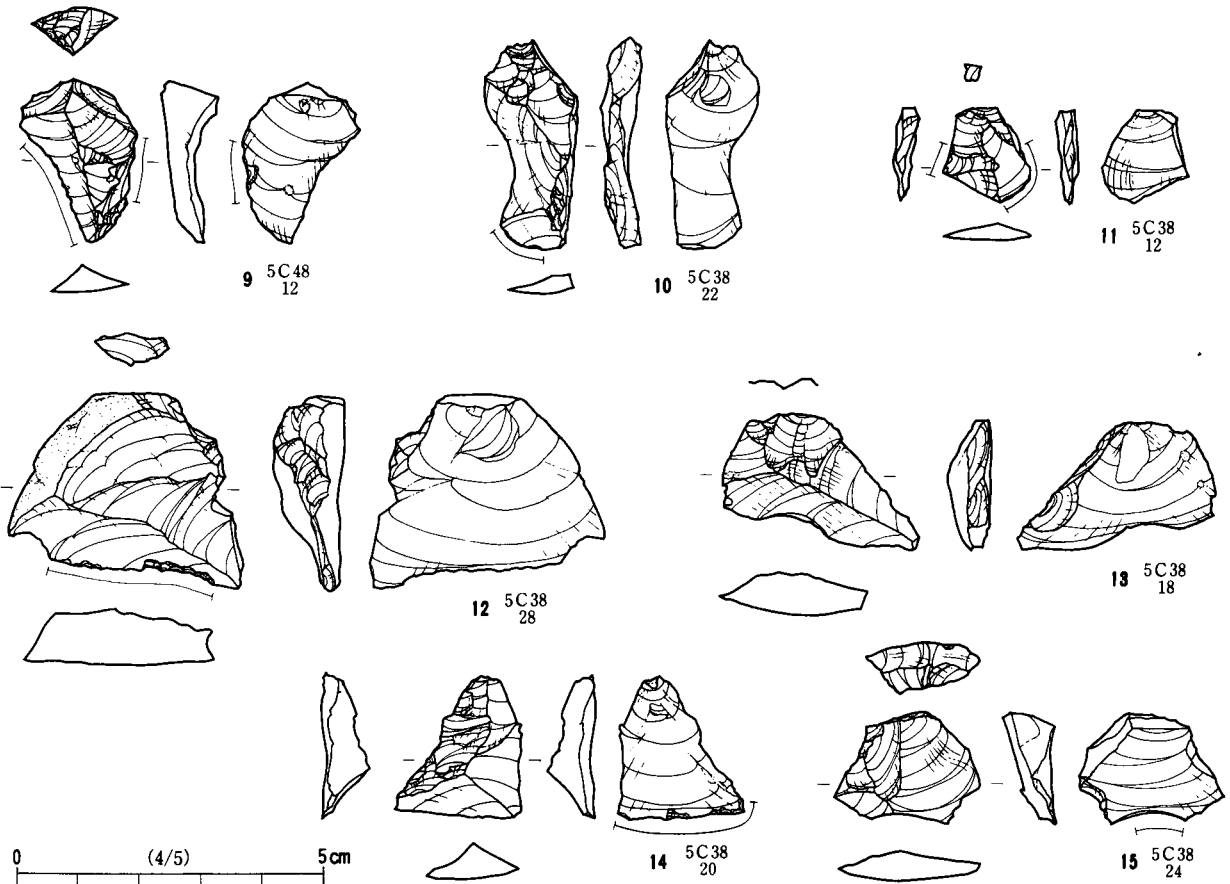
石刃 3～6は石刃である。3・4は中形石刃に属し、5・6は小形石刃に属するものであろう。3・4は珪化木1を母岩とするものである。3は上下端部を欠損するが、器体は末端が細くなっていく形状を呈する。4の形状は、末端に行くに従って厚味を増す形状を示し、背面下端部には腹面と対向する方向からの剥離痕が看取される。5・6は珪質頁岩9を母岩とする。5は頭部調整が顕著なもので、線状打面を有する。形状は下半部を欠損するため判然としない。6は上下端を欠損するが、小形のものである。背面にはポジティブな面は認められなかった。5・6ともに7の石核から剥片剥離された石刃であり、7の石核による石刃の剥片剥離技術の特徴を如実に示す資料である。

石核 7・8は石核である。7は厚味のある板状の素材を石核素材としている。上下に打面が設定され、

上設打面から正面を作業面とする剥片剥離が顕著である。下設打面からは裏面から右側面を斜めに切り取るような剥片剥離が看取される。さらに、上設打面の小口を打点として左側面を作業面とする剥片剥離が連続している。この剥片剥離からは2のナイフ形石器の素材が剥離されていると想定され、小形細身の石刃を削出していると考えられる。石核素材自体は石刃ではないが、いわゆる「千田台技法」とは、同種の剥片剥離手法を取るものとして注目される。8は珪質頁岩10の単独母岩のものである。厚味のある横長剥片を石核素材とする特殊な石核である。素材の長軸方向の両端部を打面としている。上端の打面は端部を直接打面としており線状を呈し、下端の打面は端部を切断して打面を設定している。上設打面からは素材の腹面（実測図の正面）を作業面とする剥離作業が数回行われる。さらに、下設打面から素材の端部縁辺に向かって2回の剥離が行われているが、細長い剥片は作出できなかったようで、その後、上設打面の小口から素材の端部縁辺を切り取るように、細身の石刃が作出されている。この石核は横長剥片を石核素材とするが、打面の小口から小形の石刃を作出する剥片剥離手法は、7の石核と同種の効果を目的としたものであると推察される。

R剥片 13はR剥片である。背面下端部及び腹面左側縁に、器体を挟むような幅広い二次加工が看取される。

U剥片 9～12・14・15はU剥片である。9・11・15は黒曜石4を母岩とする。10・12・14は珪質頁岩9を母岩とする。それぞれ側縁及び下端部に微細剥離痕が認められる。21は背面右側縁上半部及び下端辺に刃こぼれ状の微細剥離痕が見られる。22は下端部に微細剥離痕が集中する。



第70図 第14ブロック出土石器 3

2 第15ブロック（第71～74図、表45・46、図版3・30・31）

分布状況 調査区南隅、U地点で調査されたブロックである。5 C区西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の東側に当たり、現況ではローム層はやや東側に傾斜している。北側で第14ブロックが接して位置している。

遺物総数は26点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫である。ブロックの西側と東側に分布のやや密集した部分があり、中心部の分布の散漫な部分において、2群に分かれるように分布する。5 C47・48・49区から5 C58・59区にかけて東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.2 m、東西10.4 mを測る。垂直分布はおよそ0.6 mの高低差がある。土層断面への投影では、西側の高い位置での投影のため約20 cm程低く投影されるが、X層からVI層にかけて分布している。遺物台帳の記載ではVII層上部、VI層出土と記載される遺物が多く、産出層位はVII層（第2黒色帯上部）からVI層下部にレベルを求めることができる。

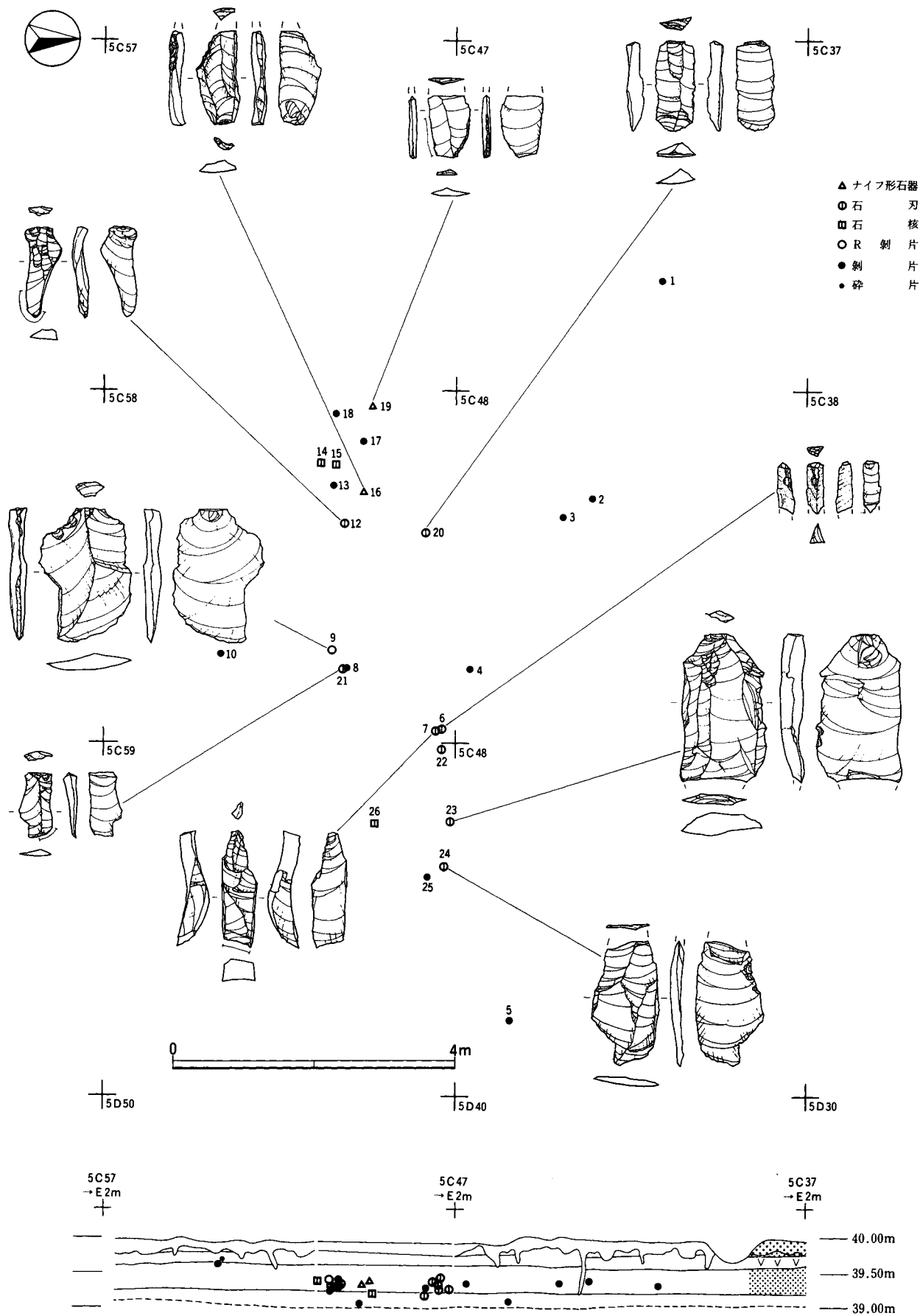
母岩別資料 8母岩が認められる。その内訳は黒曜石1母岩1点、珪質頁岩7母岩25点である。点数のまとまる母岩は、珪質頁岩12の13点、珪質頁岩9の5点であり、珪質頁岩11が3点のほかは単独母岩となっている。珪質頁岩の石材が9割を超える石材構成となっている。これらの母岩は、珪質頁岩11は東西の密集した部分を中心に広く分布する。母岩と器種の間接関係を見ると、ナイフ形石器、石刃が珪質頁岩11から生産されている。この母岩の母岩消費が認められる。また、珪質頁岩の単独母岩のそれぞれはナイフ形石器、石刃、R剥片などの利器類であり、製品のかたちで当ブロックに搬入されたことが推察される。

出土遺物 ナイフ形石器が2点、石刃が8点出土しており、石刃の器種構成に占める割合が大きい。また、U剥片が6点出土していることも注目される。

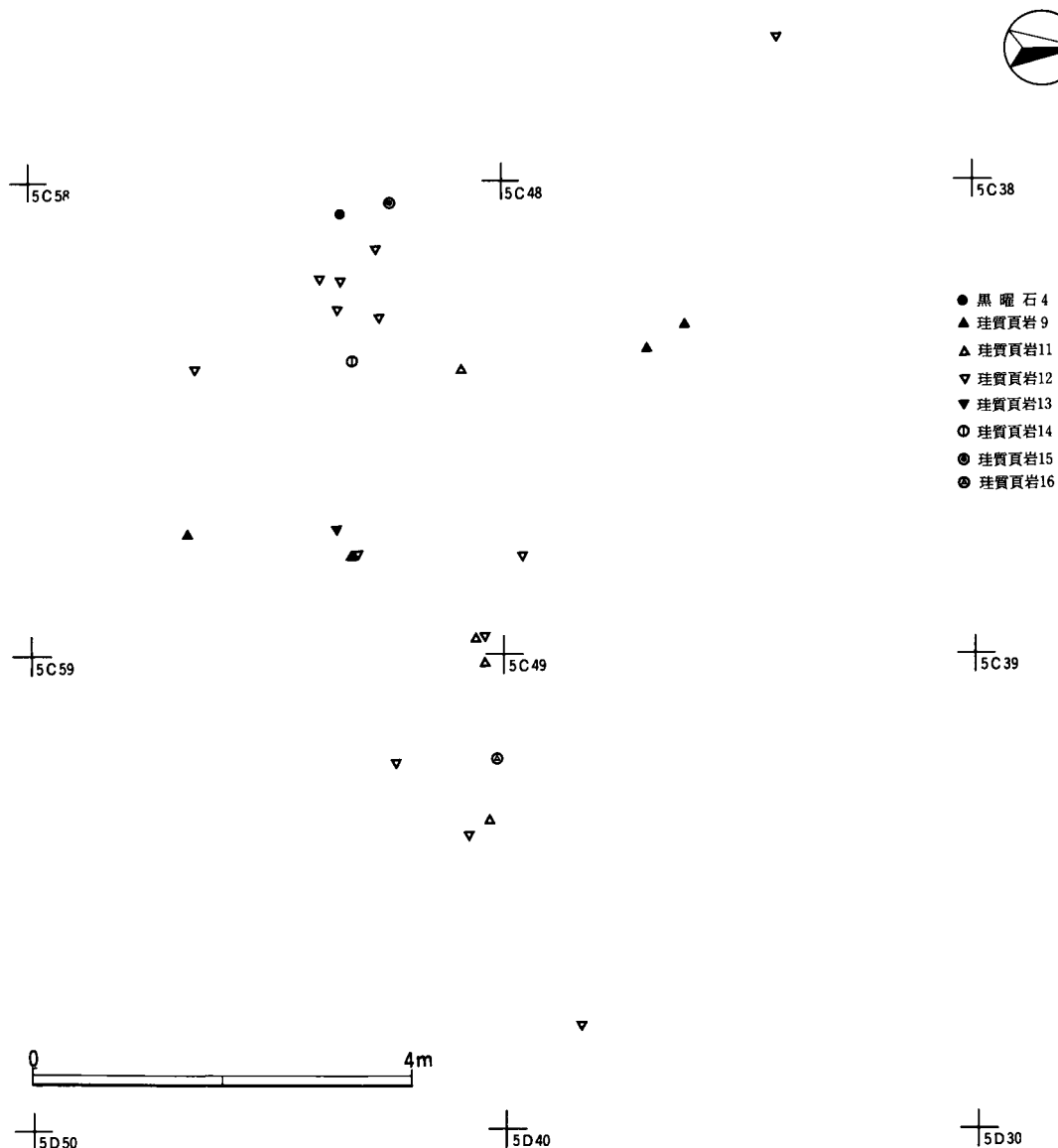
ナイフ形石器 1・2はナイフ形石器である。1は珪質頁岩12を母岩とする。細身の石刃を素材として、背面左側縁上半部を斜めに切り取るように刃潰し加工が連続している。2は上半部を欠損し形状は判然としないが、石刃を素材とするナイフ形石器と分類した。背面右側縁下半部に細かな調整加工が連続する。背面左側縁には微細剥離痕が連続する。

石刃 3～8・9 bは石刃である。3・5は中形石刃に属し、4・6～8は小形石刃に属するものである。3は平坦打面をもち、側縁が平行する形状を呈する。5は打面部を欠損するが、末端に最大幅をもつ形状を呈するであろう。腹面右側縁には疎らな細部調整が見られる。4・7には下端部に微細剥離痕が認められる。6は背面に腹面と対向する方向からの剥離痕が看取される。8はいわゆる小石刃と呼んでいるものである。右側面にポジティブな面をもち、素材の主要剥離面と背面のなす側面から作出された石刃であると想定される。

石核 9～11は石核である。すべて珪質頁岩12を母岩とするものである。9 a + bは石核と小石刃の接合資料である。自然面をもつ厚味のある縦長剥片を素材として、素材の腹面から右側面を作業面として、9 bを作出する。9 bは背面が節理面と自然面で構成されるため、石刃と器種認定されないと考えられるが、便宜的に小石刃に分類した。小石刃を作出する典型例ではないが、こうした剥離手法も亜種として存在する。10 a + bは石核と剥片の接合資料である。角礫状素材の自然面を除去するように、石核に対して横方向から厚味のある幅広剥片（10 b）を剥片剥離している。この剥離は打面を更新するための剥離と考えられ、10 aの石核の右側面を作業面とする剥離作業が、この剥離面を打面に、その小口を打点として行われている。さらに、上面には1回の剥離作業が行われて、石核素材の主要剥離面を作業面とする小振



第71図 第15ブロック器種別分布

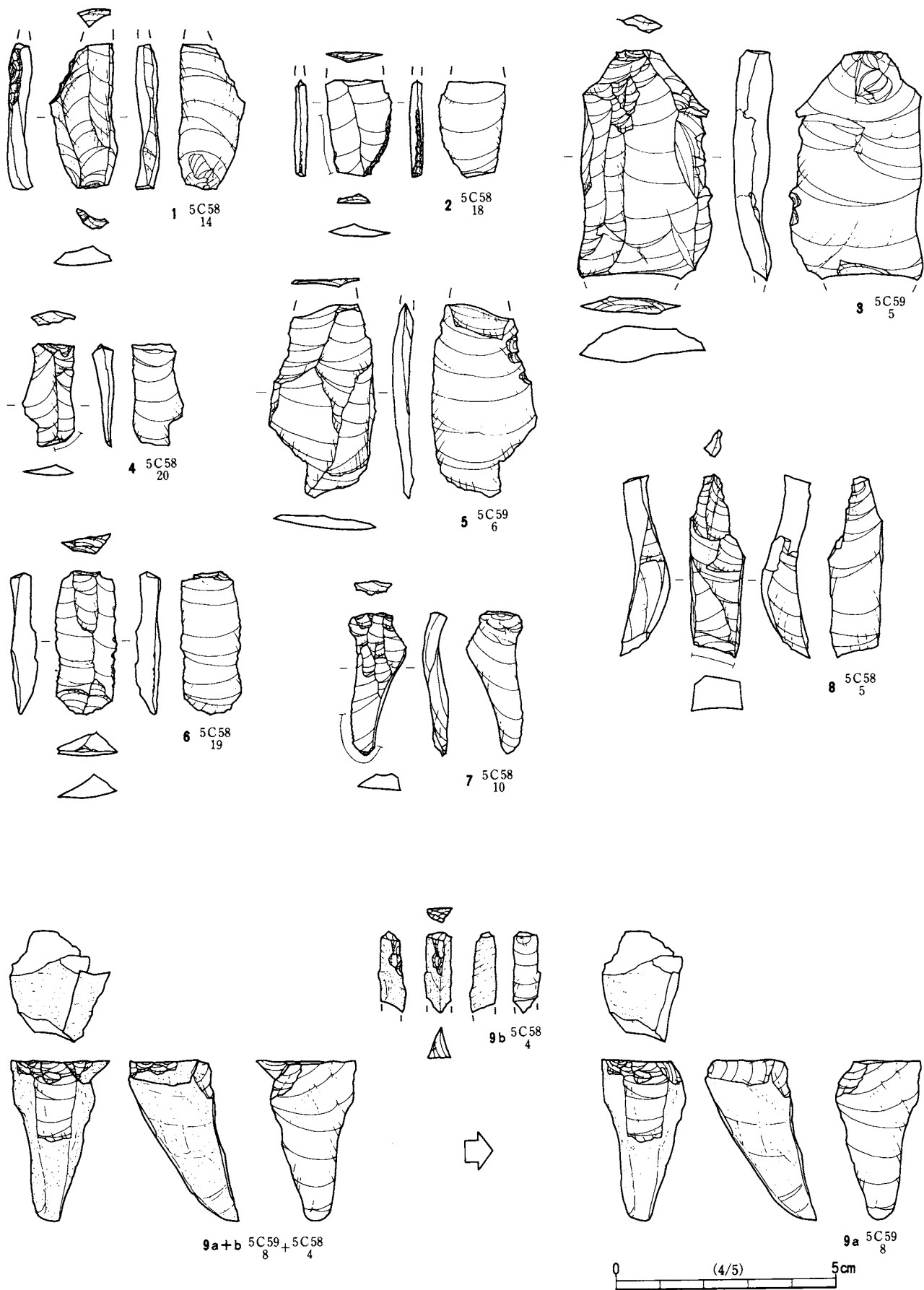


第72図 第15ブロック母岩別分布

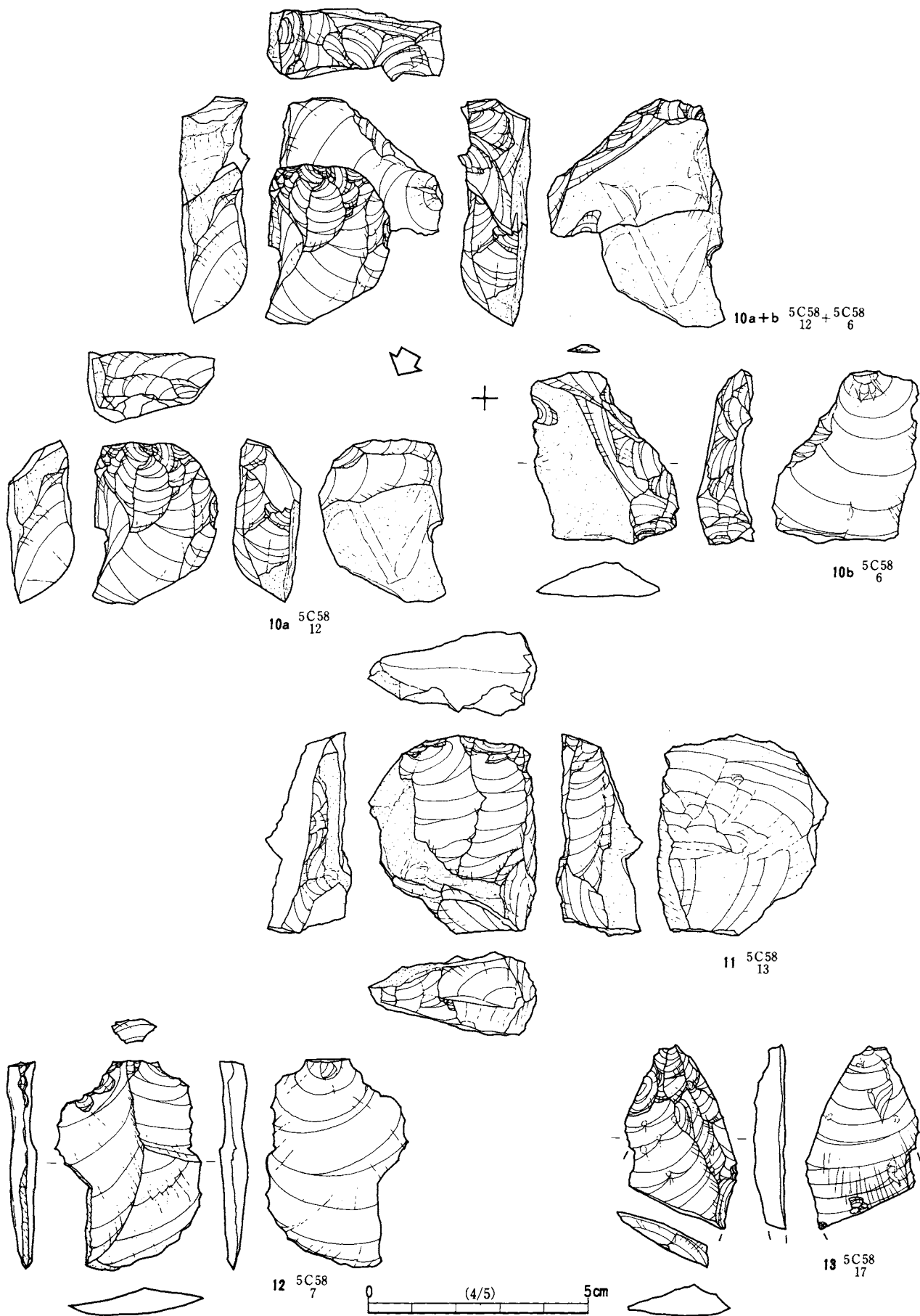
りの剥片剥離作業が看取される。11は節理面で剥がされた厚味のある剥片素材の石核である。素材端部を打面に設定して、右側面の自然面を剥ぎ取るように、打面の小口から細長い剥片を作出している。さらに、正面を作業面として2回ほどの剥離作業が行われている。10 a及び11の石核から観察される剥離技法は、厚味のある剥片を石核の素材とすること、打面の小口を打点に設定し、素材の主要剥離面と背面のなす側面を作業面とすることや細長い石刃（小石刃）を削出することなどが共通する。このような剥離手法は千田台技法に類似な技法として把握される。

R剥片 12はR剥片である。やや幅広の石刃状剥片の背面左側縁上端部に疎らな二次加工が見られる。

剥片 13は黒曜石4を母岩とする剥片である。当ブロックでは単独母岩であるが、第14ブロックと同一母岩を共有する。点状打面で、下半部を欠損するが下端部が幅広くなる形状を呈すると思われる。



第73図 第15ブロック出土石器1



第74図 第15ブロック出土石器 2

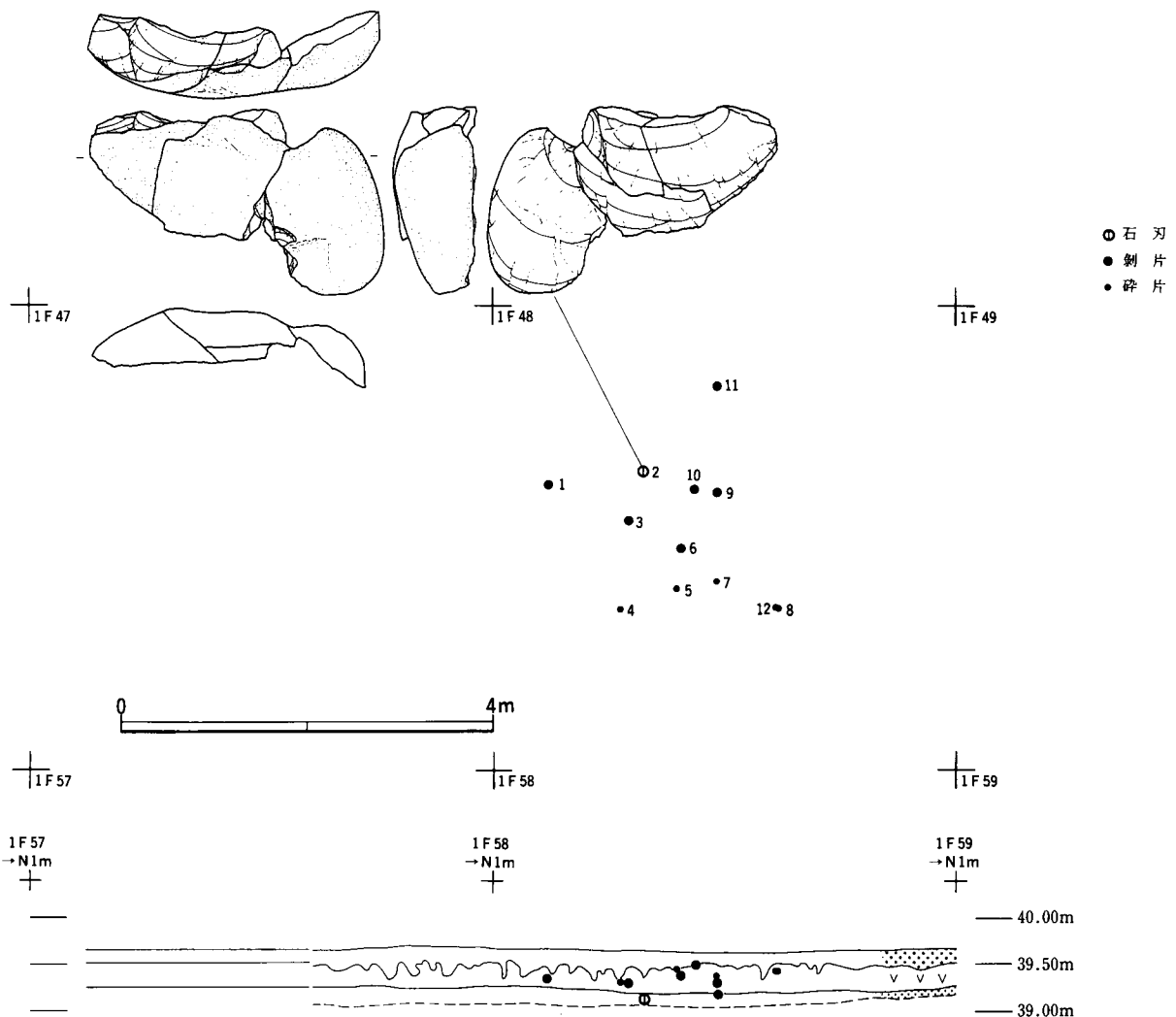
3 第16ブロック (第75～77図、表47・48、図版3・31)

分布状況 調査区北東側、D地点で調査されたブロックである。1 F区東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地先端部の東側縁辺部に当たり、現況ではローム層はやや東側に傾斜している。

遺物総数は12点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的コンパクトにまとまっている。ブロックの中心部にやや密集した部分がある。1 F48区に円形状に分布する。分布範囲は南北2.4m、東西2.5mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。土層断面への投影では、VII層からIII層下部にかけて分布している。産出層位はVII層（第2黒色帯上部）からVI層にレベルを求めることができる。

母岩別資料 3母岩が認められる。その内訳は珪質頁岩1母岩1点、粘板岩1母岩3点、砂岩1母岩8点である。点数のまとまる母岩は、砂岩4の8点である。砂岩4の母岩が主体を占める母岩構成となっている。母岩と器種の関係を見ると、石刃が珪質頁岩17の単独母岩で存在する。砂岩4による剝片生産の母岩消費が認められる。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器は石刃が1点出土したのみである。出土点数は少ないが、この石刃は千田台技法の存在が推察される資料である。器種構成は剝片、碎片主体のブロックである。



第75図 第16ブロック器種別分布

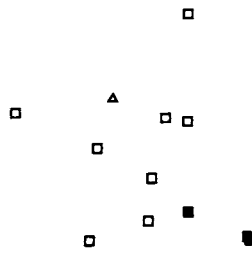
1F 47

1F 48

1F 49



- ▲ 珪質頁岩 17
- 粘板岩 2
- 砂岩 4



1F 57

1F 58

1F 59



第76図 第16ブロック母岩別分布

石刃 1 はいわゆる小石刃と呼んでいるものである。頭部調整が顕著で線状打面をもち、背面左側面にポジティブな剝離面が観察される。下半部が欠損する。

剝片 2 a～d は砂岩 4 を母岩とする剝片の接合資料である。上端面の自然面、平坦面を打面として、打点を横に移動させながら、2 d、2 c、2 a + b のそれぞれの剝片を剝片剝離している。剝離された剝片は礫面を残置する大形の縦長剝片、横長剝片となっている。

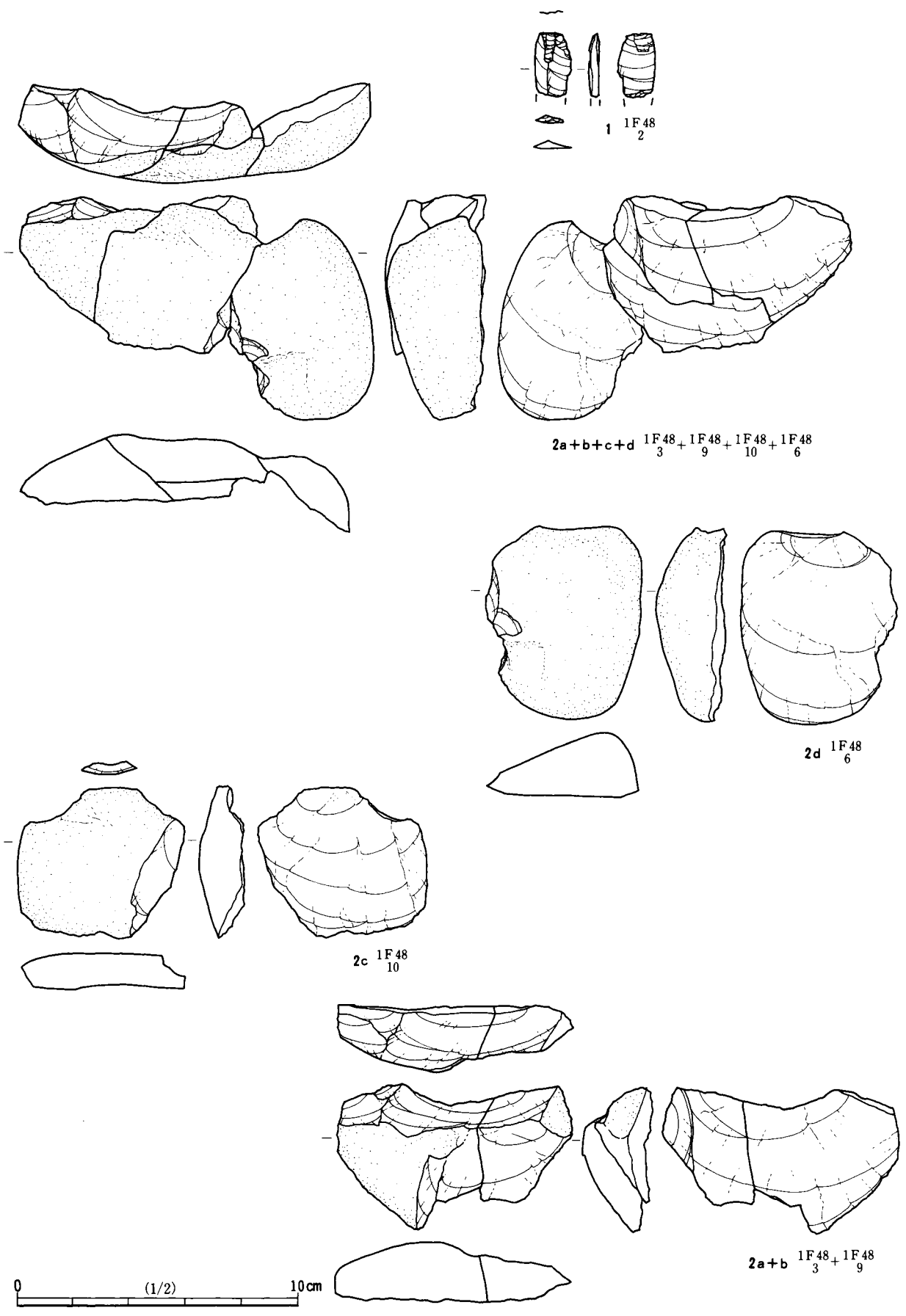
第 4 節 第 III 文化層

第 III 文化層に属するブロックは調査区の各地点に散在しているが、台地北西側縁辺に多くが集中する。調査区の北東側の舌状台地の先端部に 3 か所のブロック、調査区の北西側の台地北西側縁辺に沿うように 11 か所のブロック、調査区の南側の舌状台地の付け根部分に 1 か所のブロックが展開している。

各ブロックは、小・中規模なものが多いが、第 21 ブロック～第 24 ブロックや第 26 ブロック～第 30 ブロックのように 4、5 ブロックがまとまり、大規模なブロック群を形成していることが特徴的である。

小規模なブロックでは特徴的な器種が存在せず同一の文化層か判断に苦慮するブロックも存在するが、出土層位などから第 III 文化層に含めて扱った。中規模な各ブロックでは、主要な利器として台形石器、ナイフ形石器、角錐状石器が特徴的に存在し、これらの器種を生産する各種の剝片剝離技術が認められる。第 III 文化層の石材構成は、第 I 文化層と同じく、ガラス質黒色安山岩（緻密黒色安山岩）が主体を占めているが、さらに、珪質頁岩、ホルンフェルス、黒曜石等各種の石材が少量加わる。

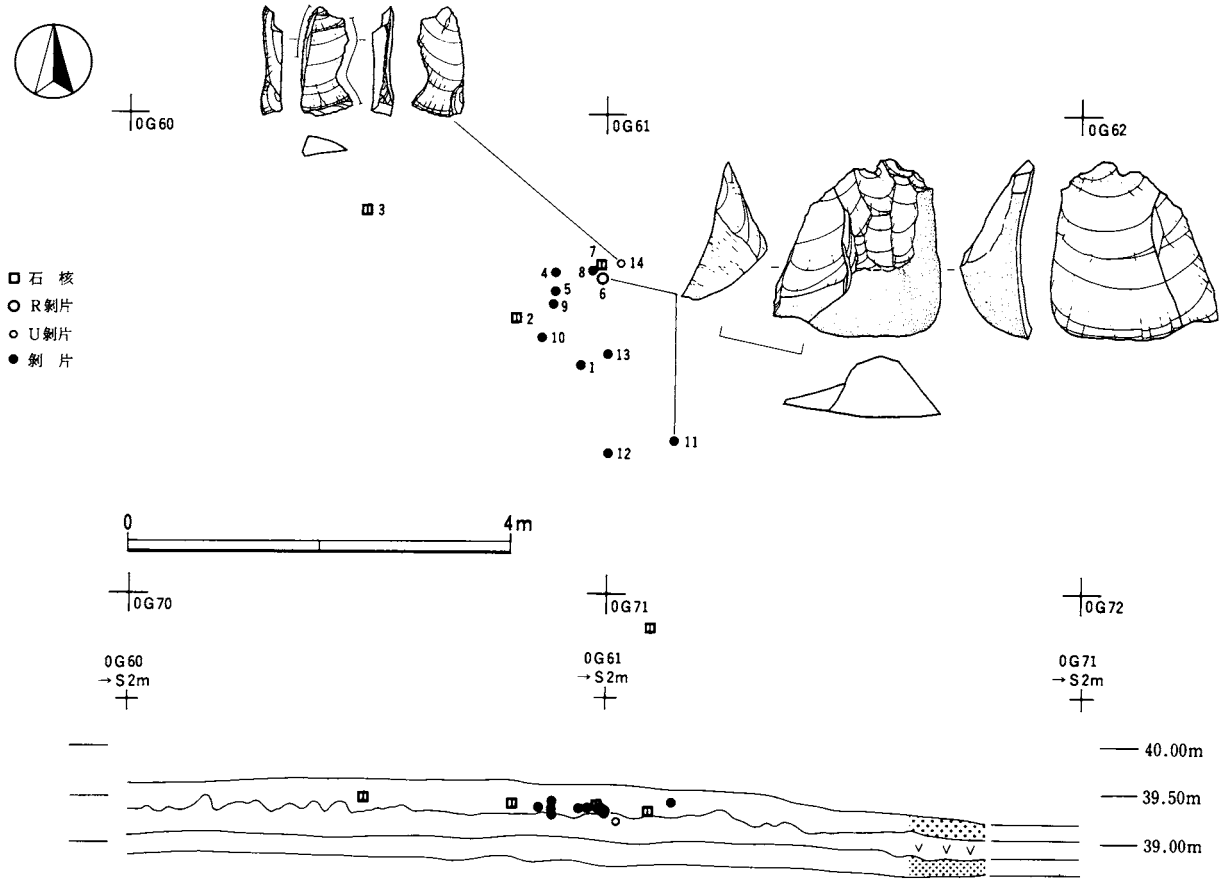
また、小規模なブロック以外の大部分のブロック、ブロック群には礫群が認められる。本遺跡で検出された礫群は、分布・出土層位の検討からすべて本文文化層に属するものである。各礫群は、調査区の北東側の舌状台地の先端部に 2 か所の礫群、調査区の北西側の台地北西側縁辺に沿うように 8 か所の礫群、調査区の南側の舌状台地の付け根部分に 1 か所の礫群が展開している。なお、礫群については、便宜上各ブロックの記載の後に別節を設けて記載することとする。



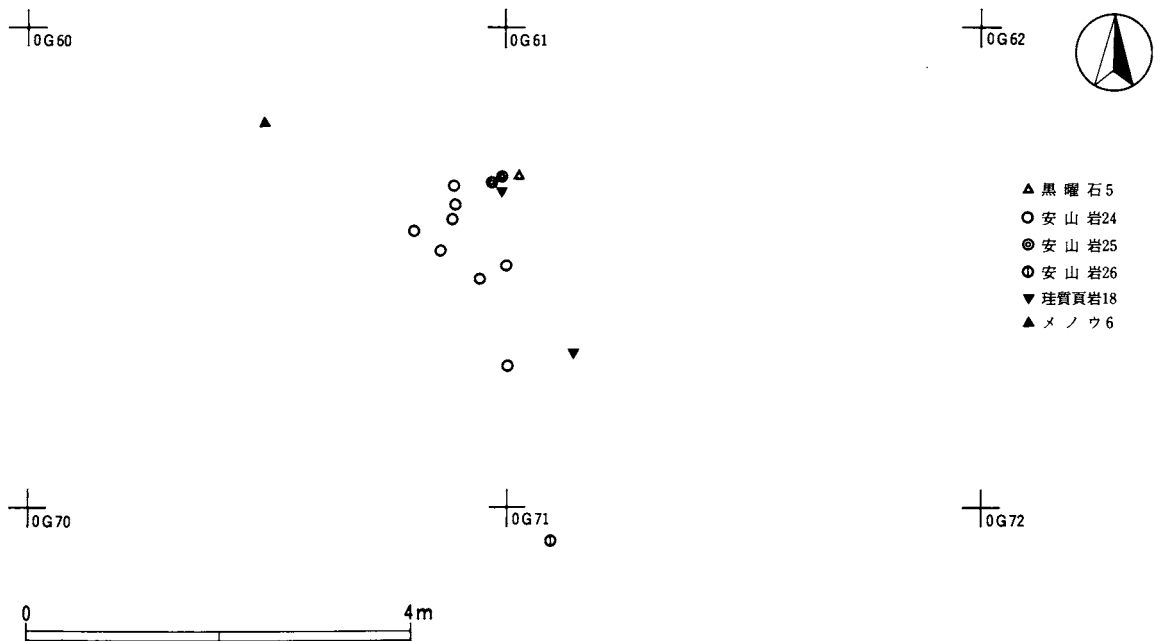
第77図 第16ブロック出土石器

1 第17ブロック (第78~81図、表49・50、図版4・32・33)

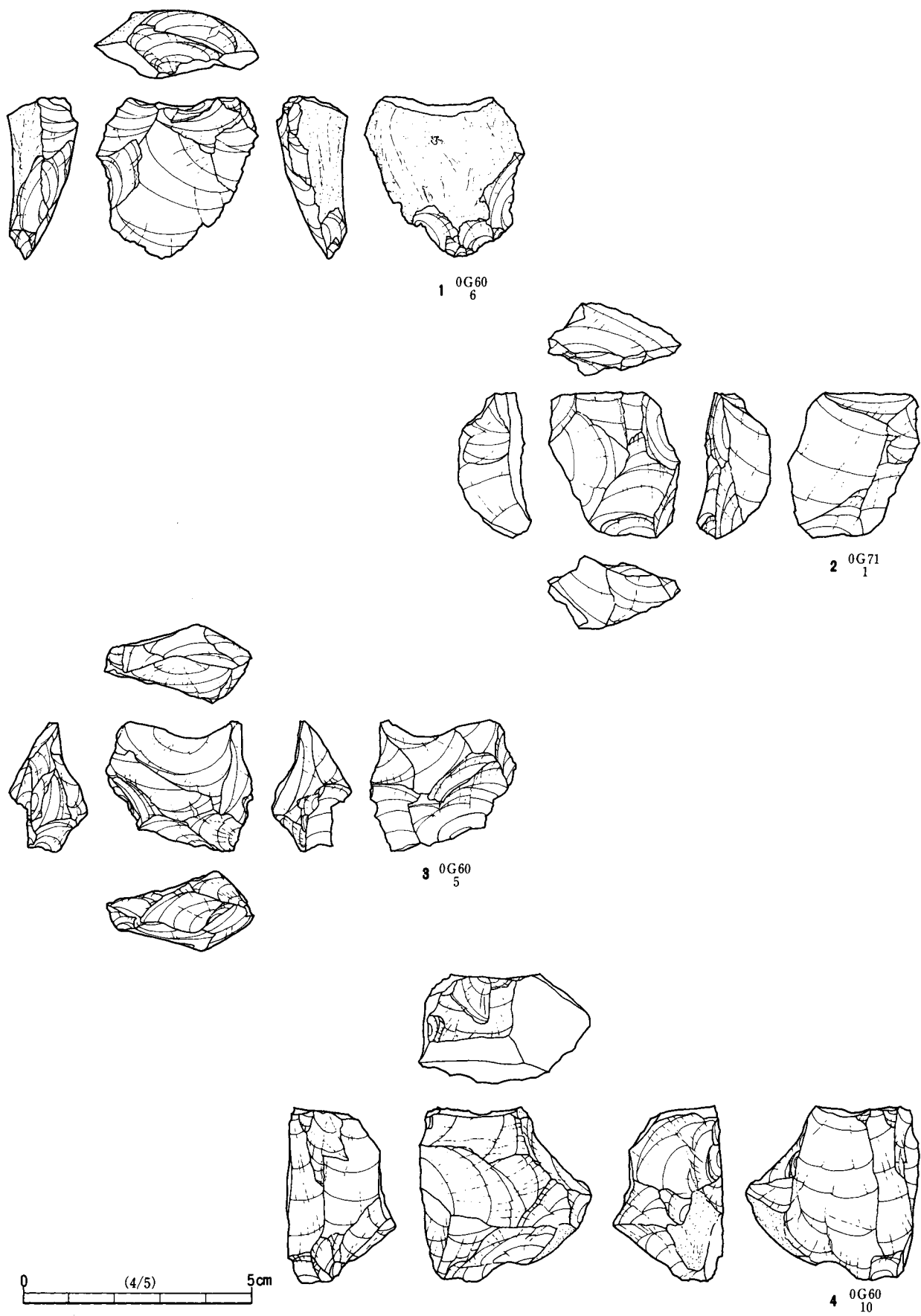
分布状況 調査区北東隅、C地点で調査されたブロックである。0G区南西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地先端部の東側斜面部に当たり、現況ではローム層は東側に傾斜して



第78図 第17ブロック器種別分布



第79図 第17ブロック母岩別分布



第80図 第17ブロック出土石器 1

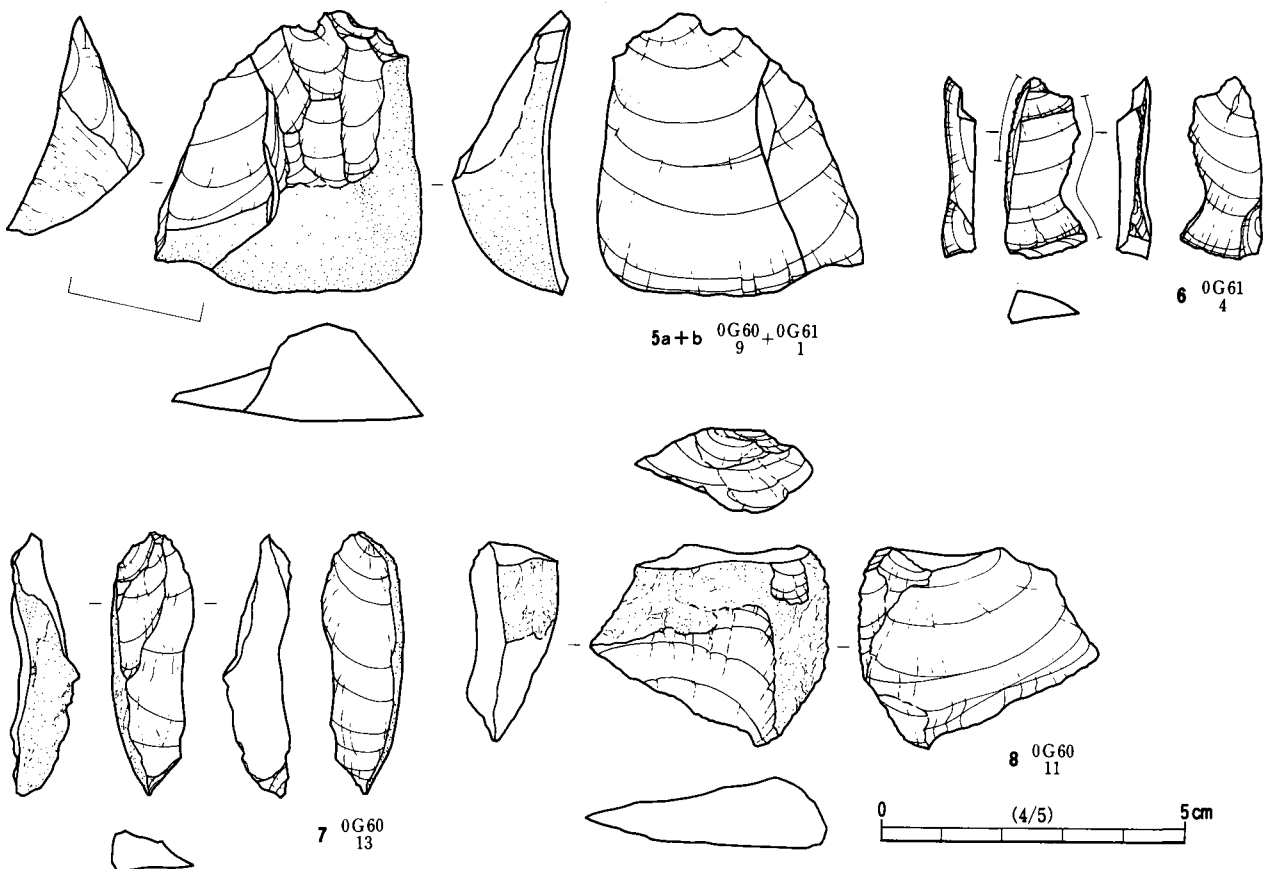
いる。第1礫群と分布が重複する。

遺物総数は15点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。ブロックの北側にやや密集した部分があり、そこからやや離れて西側と南側に遺物が散在する。0 G60・61区から0 G71区に北西-南東方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北4.4m、東西3.2mを測る。垂直分布はおよそ0.3mの高低差がある。土層断面への投影では、VI層からIII層下部にかけて分布している。産出層位は、III層下部にレベルを求めることができる。

母岩別資料 6母岩が認められる。その内訳は黒曜石1母岩1点、安山岩3母岩11点、珪質頁岩1母岩2点、瑪瑙1母岩1点である。点数のまとまる母岩は、安山岩8の8点である。安山岩の石材が主体を占める石材構成となっている。安山岩24は北側の遺物の集中する部分に分布する。母岩と器種の関係を見ると、主要な利器が存在せず、各母岩から1点ずつの石核が認められる。安山岩24では剥片が剥離され、剥片生産の母岩消費が認められる。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器は出土せず、R剥片が1点出土したのみである。石核は4点が出土し、石核の器種構成に占める割合が多い。

石核 1~4は石核である。1は裏面に自然面をもつ剥片を石核素材としている。上端に打面を設定し、素材の主要剥離面を作業面とする剥離作業が観られる。2は上下端部や横方向から90°を基調として、打面転移する打面からの剥離作業が認められる。3は正面及び裏面で、打点が素材の周囲を巡るように求心的な剥片剥離が行われて、残核は亀甲状を呈する。4は正面で左方向と下方向から、左側面・裏面で上方向から、左側面で右方向からの剥片剥離が看取されるもので、残核は多面体の石核となっている。1~4の



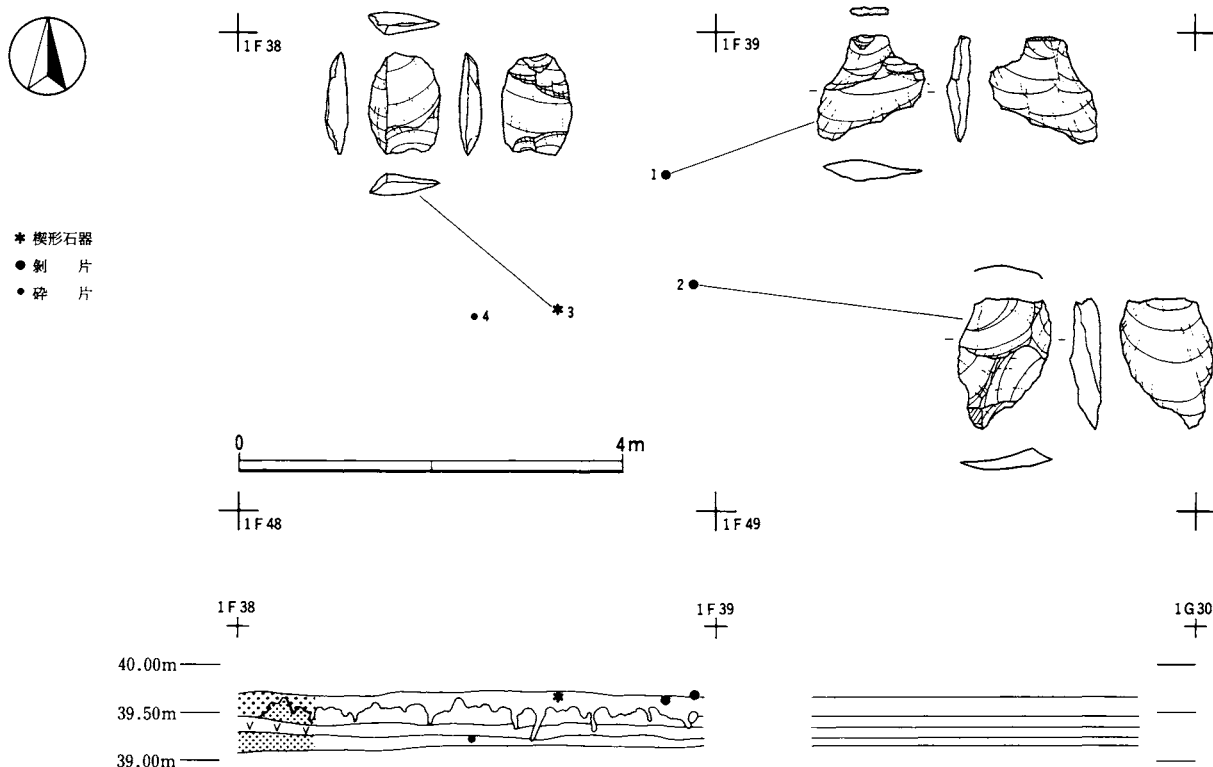
第81図 第17ブロック出土石器2

石核からは、長幅の長さが同じような剥片を作出する剥片剥離作業が観察されるものが多い。

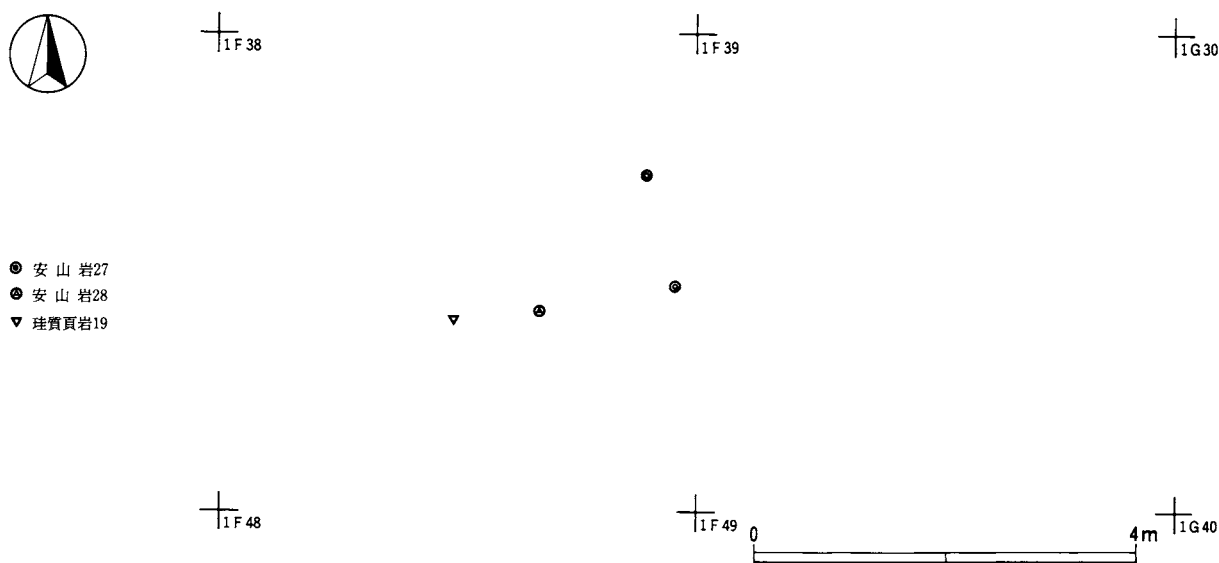
R剥片 6は珪質頁岩18を母岩とするR剥片である。打面部を抉るように除去する調整加工が認められる。上部からの衝撃により、6 aと6 bに分割されている。

U剥片 5は黒曜石5を母岩とするU剥片である。右側縁全縁と左側縁上部に微細剥離痕が見られる。

剥片 7・8は剥片で、7は縦長剥片、8は横長剥片である。



第82図 第18ブロック器種別分布



第83図 第18ブロック母岩別分布

2 第18ブロック (第82~84図、表51・52、図版4・33)

分布状況 調査区北東隅、D地点で調査されたブロックである。1F区東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地先端の東側縁辺部に当たり、現況ではローム層は東側に緩やかに傾斜している。

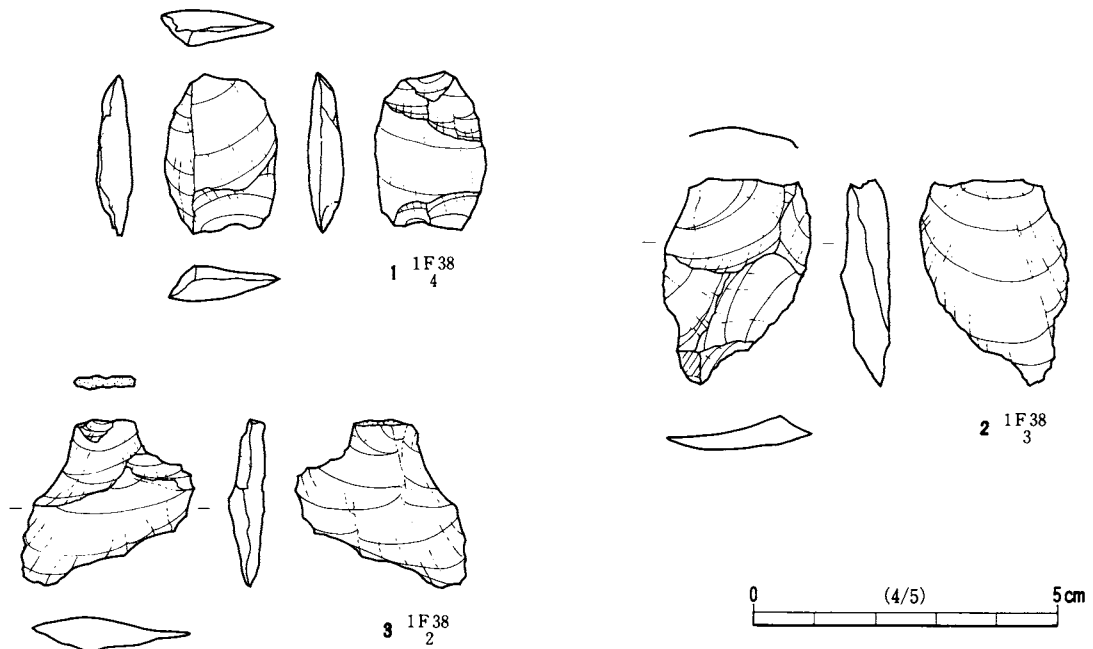
遺物総数は4点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的散漫である。数点の遺物が間隔を置きながら散在している。1F38区に東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北1.5m、東西2.4mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、III層上部が削平されているが、VII層上面からIII層下部にかけて分布している。産出層位は、楔形石器1点が低く投影されるが、他の遺物集中はIII層下部にレベルを求めることができる。この楔形石器は文化層を異にする可能性があるが便宜的に当ブロックに含めて扱った。

母岩別資料 3母岩が認められる。その内訳は安山岩2母岩3点、珪質頁岩1母岩1点である。点数のまとまる母岩は、安山岩27の2点のみである。安山岩が主体を占める石材構成となっている。母岩と器種の間関係を見ると、主要な利器は単独母岩の楔形石器のみであり、特徴的な関係は看取されない。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器は楔形石器が1点出土したのみである。剥片主体のブロックである。

楔形石器 1は楔形石器である。軟質の安山岩を石材としており、縦長剥片素材の上下端部からの階段状剥離が看取される。

剥片 2・3はいずれも安山岩27を母岩とする剥片で、2は線状打面の縦長剥片、3は横長剥片である。

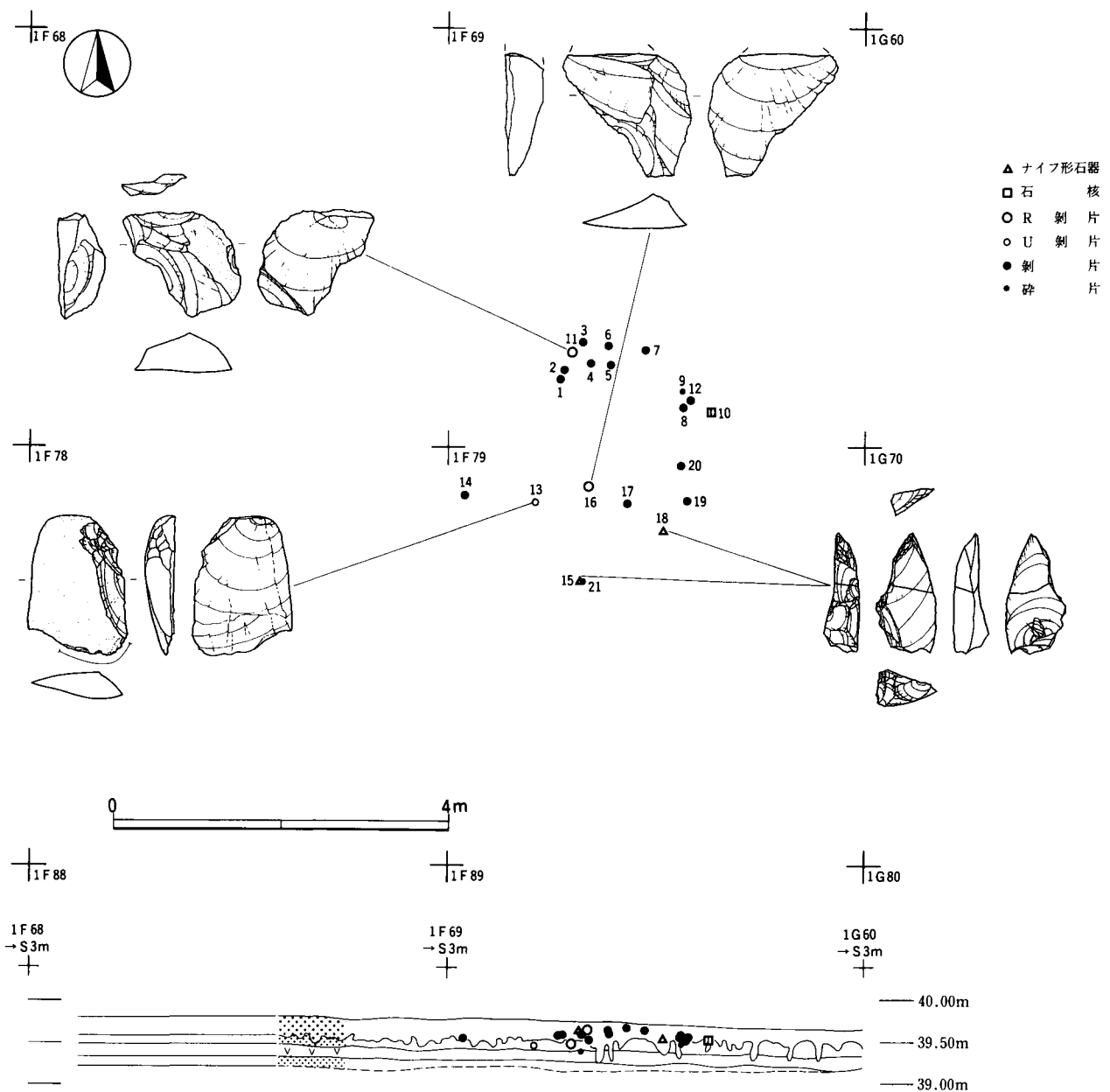


第84図 第18ブロック出土石器

3 第19ブロック (第85～87図、表53・54、図版4・33・34)

分布状況 調査区北東隅、E地点で調査されたブロックである。1F区南東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地先端の東側縁辺部に当たり、現況ではローム層は東側に傾斜している。第2礫群と分布が重複する。

遺物総数は21点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。ブロックの中央部に遺物の空白部があり、北西方向が開いてドーナツ状に集中する。1F69・79区にやや東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北2.8m、東西3.0mを測る。垂直分布はおよそ0.3mの高低差がある。土層断面への投影では、III層上部が削平されているが、VI層上面からIII層下部にかけて分布している。産出層位は、IV・V層上面～III層下部にレベルを求めることができる。



第85図 第19ブロック器種別分布

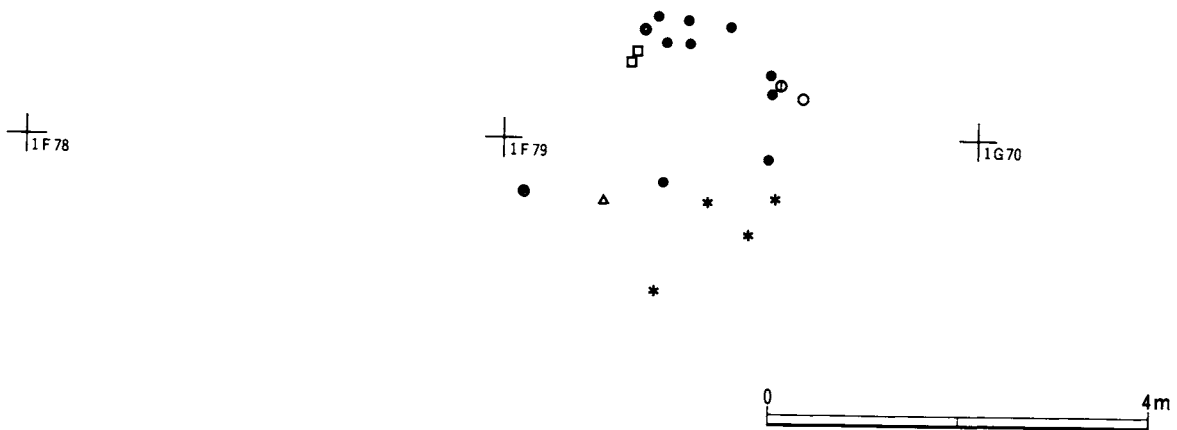
1F68

1F69

1G60



- 安山岩29
- 安山岩30
- ◎ 安山岩31
- ⊙ 安山岩32
- ⊖ 安山岩33
- ▲ 珪質頁岩20
- * メノウ7
- 砂岩5



第86図 第19ブロック母岩別分布

母岩別資料 8母岩が認められる。その内訳は安山岩5母岩13点、珪質頁岩1母岩1点、瑪瑙1母岩5点、砂岩1母岩1点である。点数のまとまる母岩は、安山岩29の9点、瑪瑙7の5点である。安山岩が主体を占める石材構成となっている。安山岩29は分布の北側に、瑪瑙7は分布の南側に分布する。母岩と器種の間関係を見ると、主要な利器はナイフ形石器が瑪瑙7から生産されており、ナイフ形石器を生産する瑪瑙7の限定した母岩消費が想定される。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器はナイフ形石器が1個体（2点接合）出土したのみであり、他はR剥片が2点出土している。剥片主体の器種構成である。

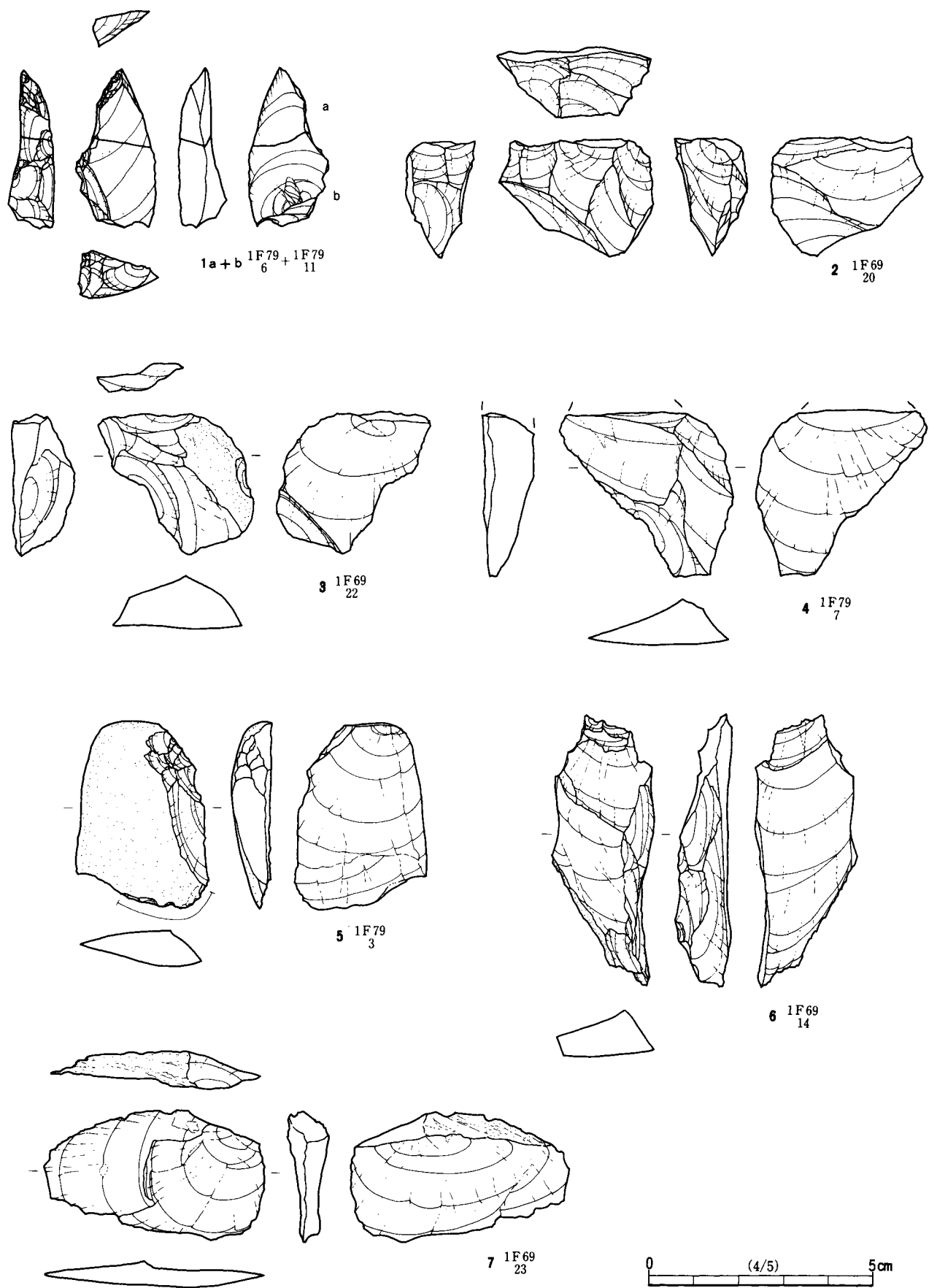
ナイフ形石器 1はナイフ形石器である。中ほどで折れたものが接合する。素材を縦位にもちいて打面部を基部に設定する。厚味のある左側縁に背腹両面からの急角度の調整加工が認められる。

石核 2は上端の剥離面を打面として、左右の面に打点が移動しながら剥片剥離が進行する。その後左側面を作業面とする剥離作業が見られる。

R剥片 3・4はR剥片である。3・4ともに厚味のある剥片の側縁及び下端部に平坦な二次加工が見られる。

U剥片 5はU剥片である。下端部に刃こぼれ状に微細剥離痕が連続する。

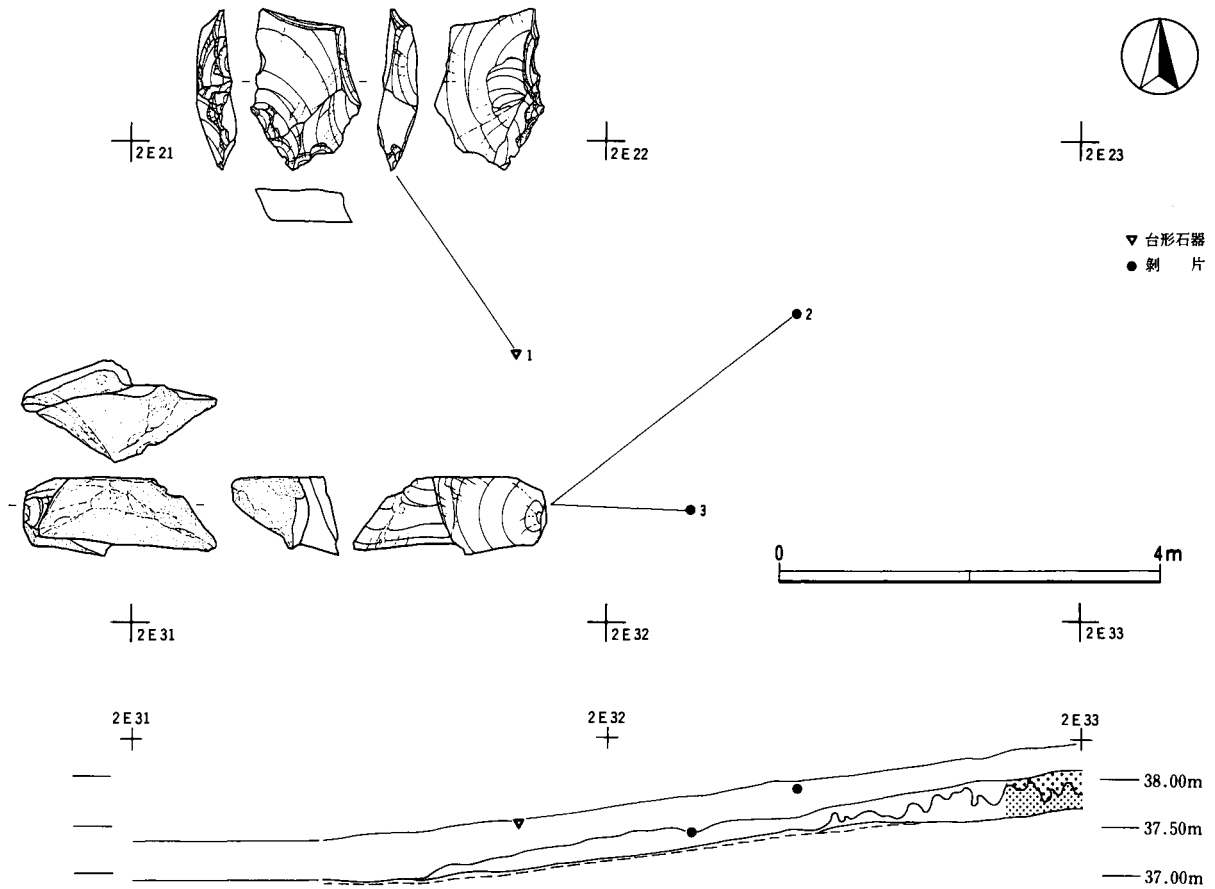
剥片 6・7は剥片である。6は稜上調整の観察される縦長剥片、7は薄く幅の長い横長剥片である。



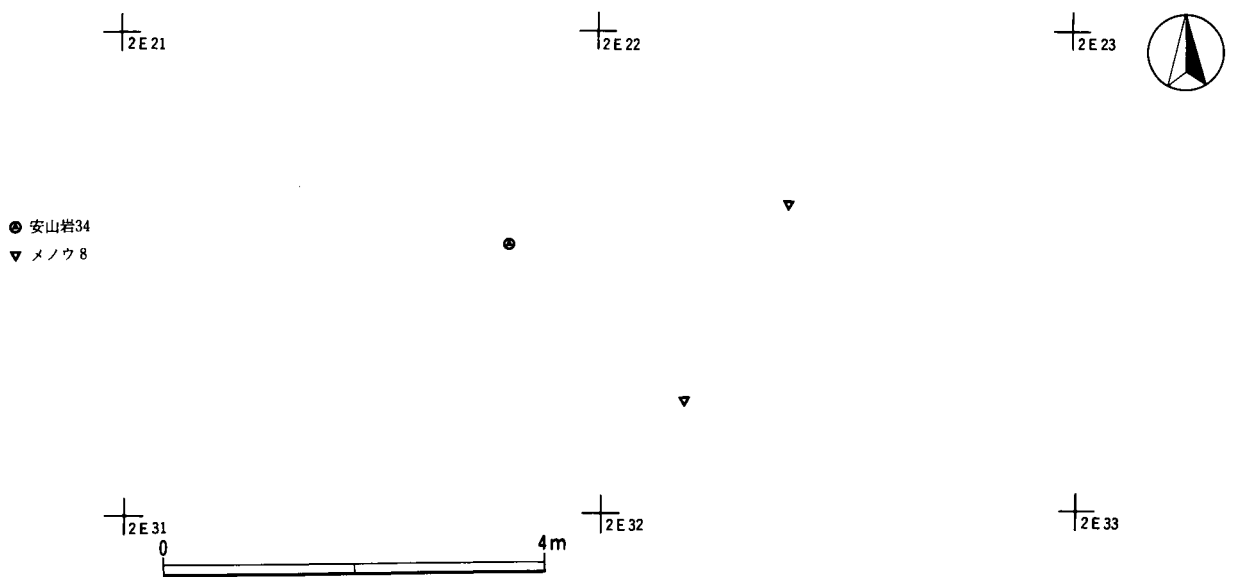
第87図 第19ブロック出土石器

4 第20ブロック (第88~90図、表55・56、図版4・34)

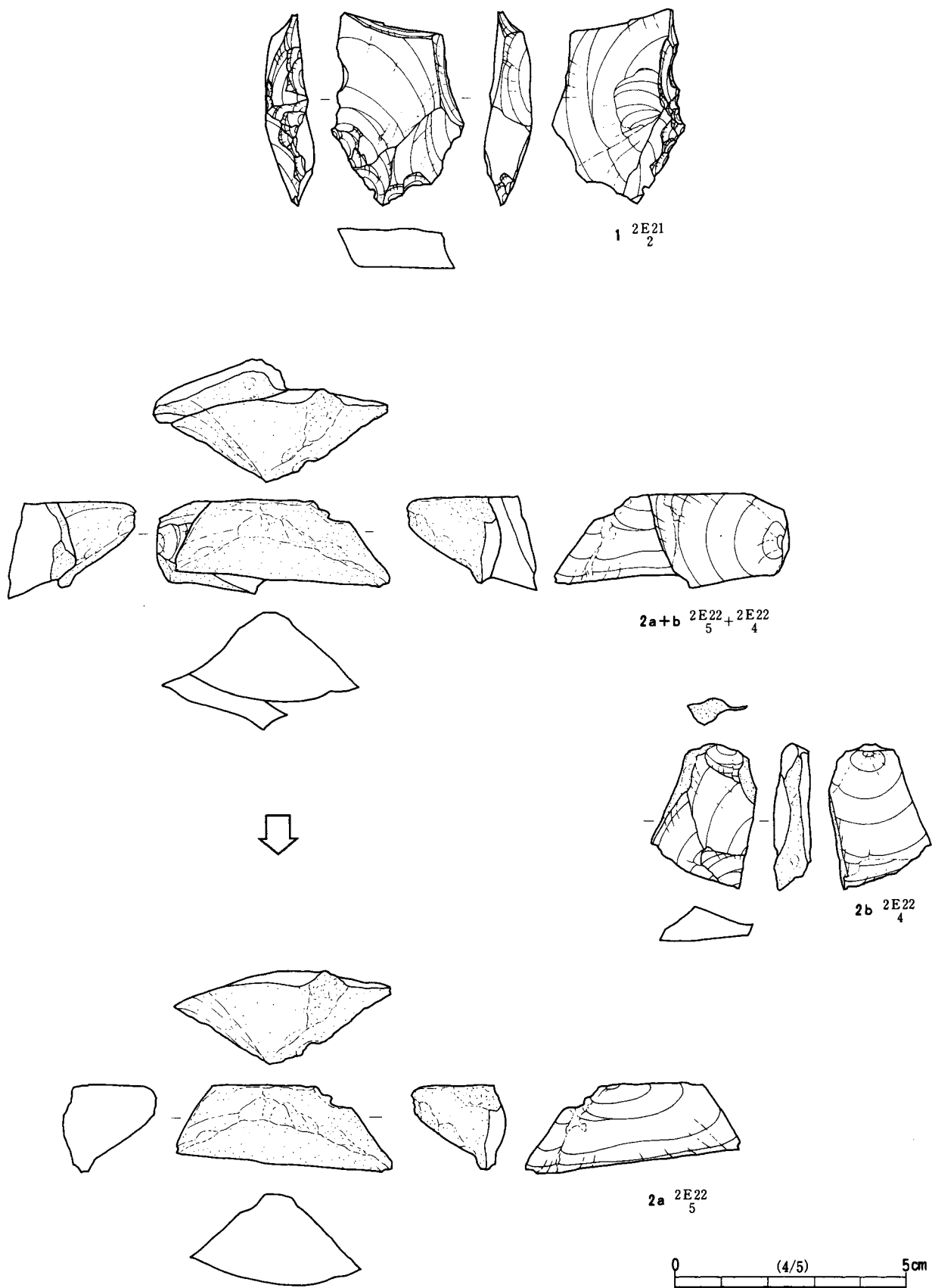
分布状況 調査区北西側、I地点で調査されたブロックである。2E区北西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の北西側斜面に当たり、現況ではローム層は北東側に急激に傾斜している。



第88図 第20ブロック器種別分布



第89図 第20ブロック母岩別分布



第90図 第20ブロック出土石器

遺物総数は3点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的散漫である。数点の遺物が間隔を置きながら散在している。2 E21・22区に東西方向に長い三角形に分布する。分布範囲は南北2.1m、東西2.9mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、III層からIIcにかけて分布している。産出層位は、斜面部であり立川ローム層の堆積が判然としないが、III層を想定しておく。

母岩別資料 2母岩が認められる。その内訳は安山岩1母岩1点、瑪瑙1母岩2点である。点数のまとまる母岩は、瑪瑙8の2点のみである。母岩と器種の間関係を見ると、主要な利器は単独母岩の台形石器のみであり、特徴的な関係は看取されない。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器は台形石器が1点出土したのみである。

台形石器 1は台形石器である。素材を横位にもちいて、打面部側の下半部と対向する端部に調整が施されて基部を尖らせている。背面右側縁及び先端部は切断されており、形状が逆台形状になるように整形されている。

剝片 2a+bは瑪瑙8を母岩とする剝片どうしの接合である。角礫の自然面を打面として上方向からの剝離作業により横長剝片(2a)が作出され、その後打面を右側面に転移して左方向から縦長剝片(2b)を作出している。

5 第21ブロック(第91~95図、表57・58、図版4・34~36)

分布状況 調査区北西側、H地点で調査されたブロックである。2D区南東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の括れ部東側縁辺部に当たり、現況ではローム層は東側に傾斜している。第21ブロック~第24ブロックは同一地点に分布しブロック群を形成する。東側に第22ブロック、第23ブロックが位置している。また、第3礫群と分布が重複する。

遺物総数は21点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。2D76・85・86区から2D96に南北方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.5m、東西2.8mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、東西の土層面からの復元であるが、VI層からIII層にかけて分布している。産出層位はIV・V層上部からIII層下部にレベルを求めることができる。

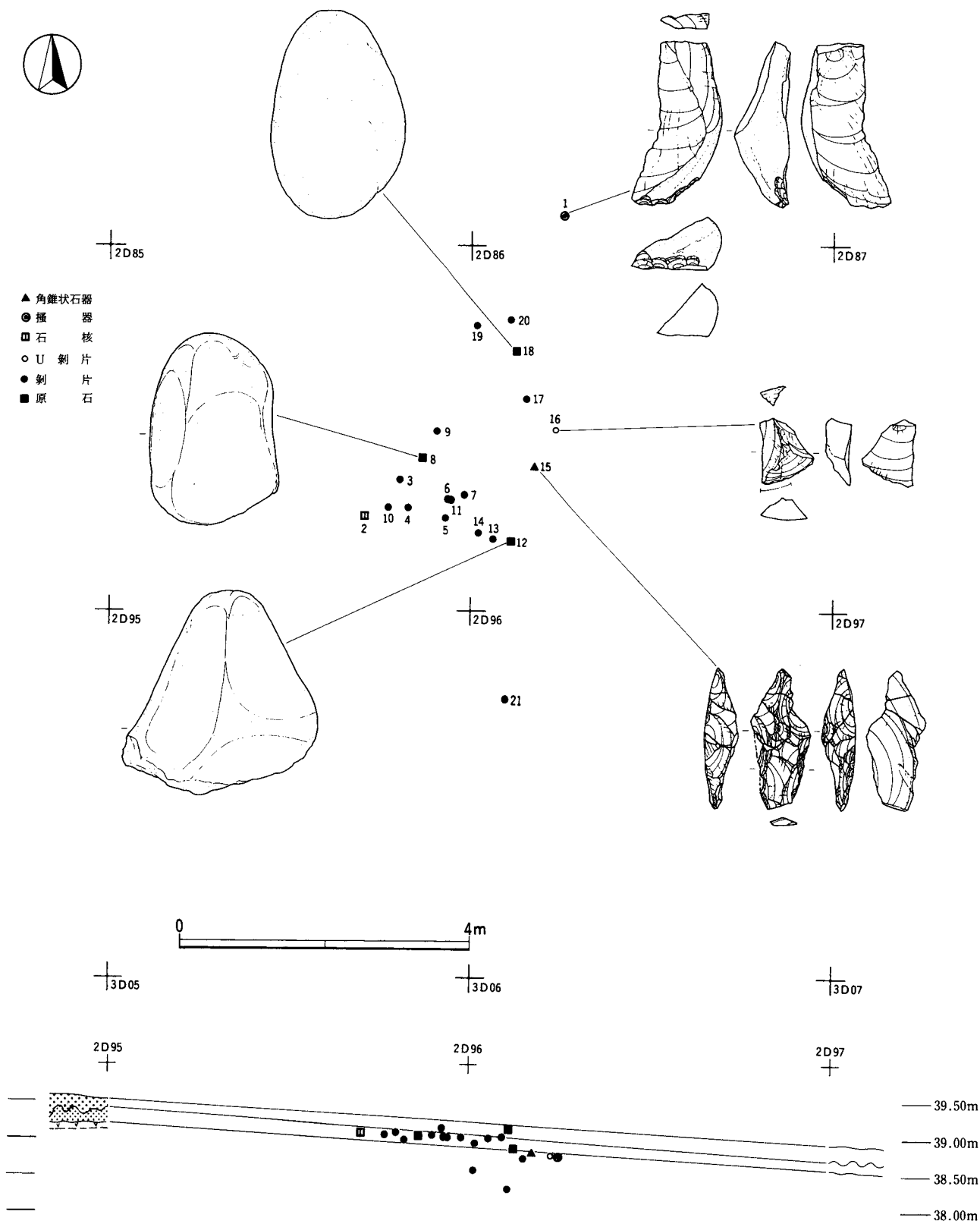
母岩別資料 9母岩が認められる。その内訳は安山岩5母岩10点、珪質頁岩1母岩6点、ホルンフェルス1母岩5点、チャート1母岩1点、凝灰岩1母岩1点である。安山岩の石材が主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、珪質頁岩21の6点、ホルンフェルス2の5点がある。母岩と器種の間関係を見ると、主要な器種はごく少数の出土であり、母岩と器種の特徴的な関係は看取されないが、ホルンフェルス2による剝片生産の限定した母岩消費が想定される。角錐状石器は、凝灰岩2の単独母岩によるものである。

出土遺物 主要な利器は角錐状石器、搔器が1点ずつ出土したのみであるが、原石が3点出土しており、特徴的な器種構成を示す。

角錐状石器 1は角錐状石器である。軟質の凝灰岩2を母岩としており、もろく一部を欠損している。横長剝片を素材として横位にもちいている。両側縁上半部に肩が張るように深形調整が行われて先端部を尖らせている。両側縁下半部は細部加工が見られる。

搔器 2は搔器とした。縦長剝片下端部の礫皮面に主要剝離面からの急角度調整が連続する。

U剝片 3は珪質頁岩21を母岩とするU剝片である。縦長剝片の下端部に微細剝離痕が看取される。



第91図 第21ブロック器種別分布

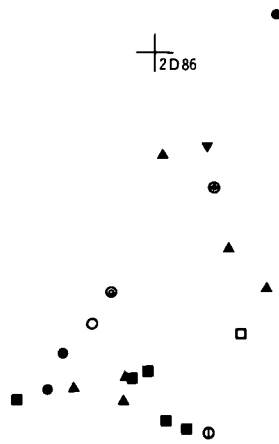
石核 9 a～c は石核と剥片の接合資料である。角礫状の上下端部、裏面を切断した素材を石核としている。上面を打面として左右に打点を移動しながら、9 c、9 bの剥片を作出している。剥離された剥片



2D85

2D86

2D87



- 安山岩35
- 安山岩36
- 安山岩37
- ⊙ 安山岩38
- 安山岩39
- ▲ 珪質頁岩21
- ▼ チャート9
- 凝灰岩2
- ホルンフェルス2

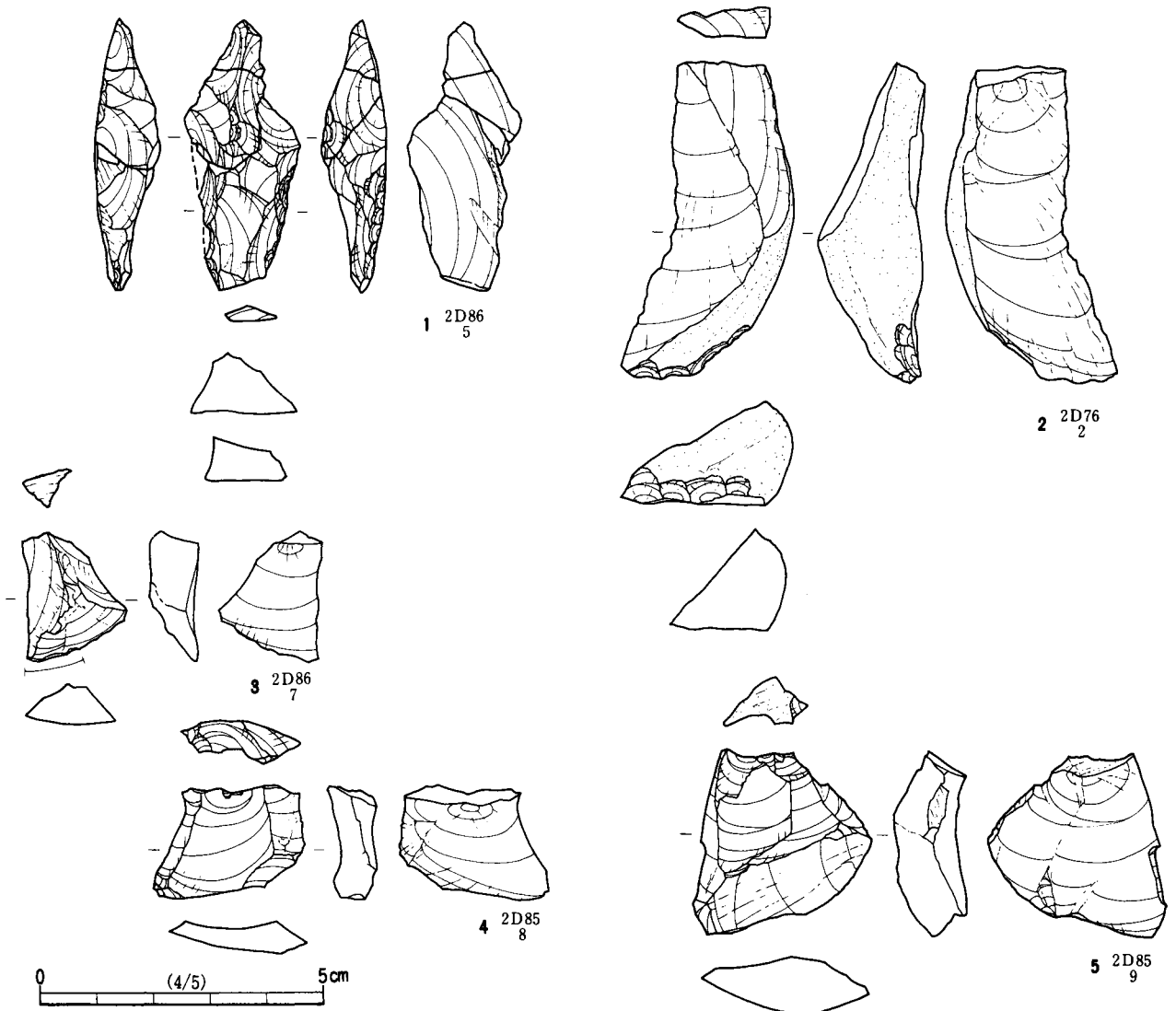
2D95

2D96

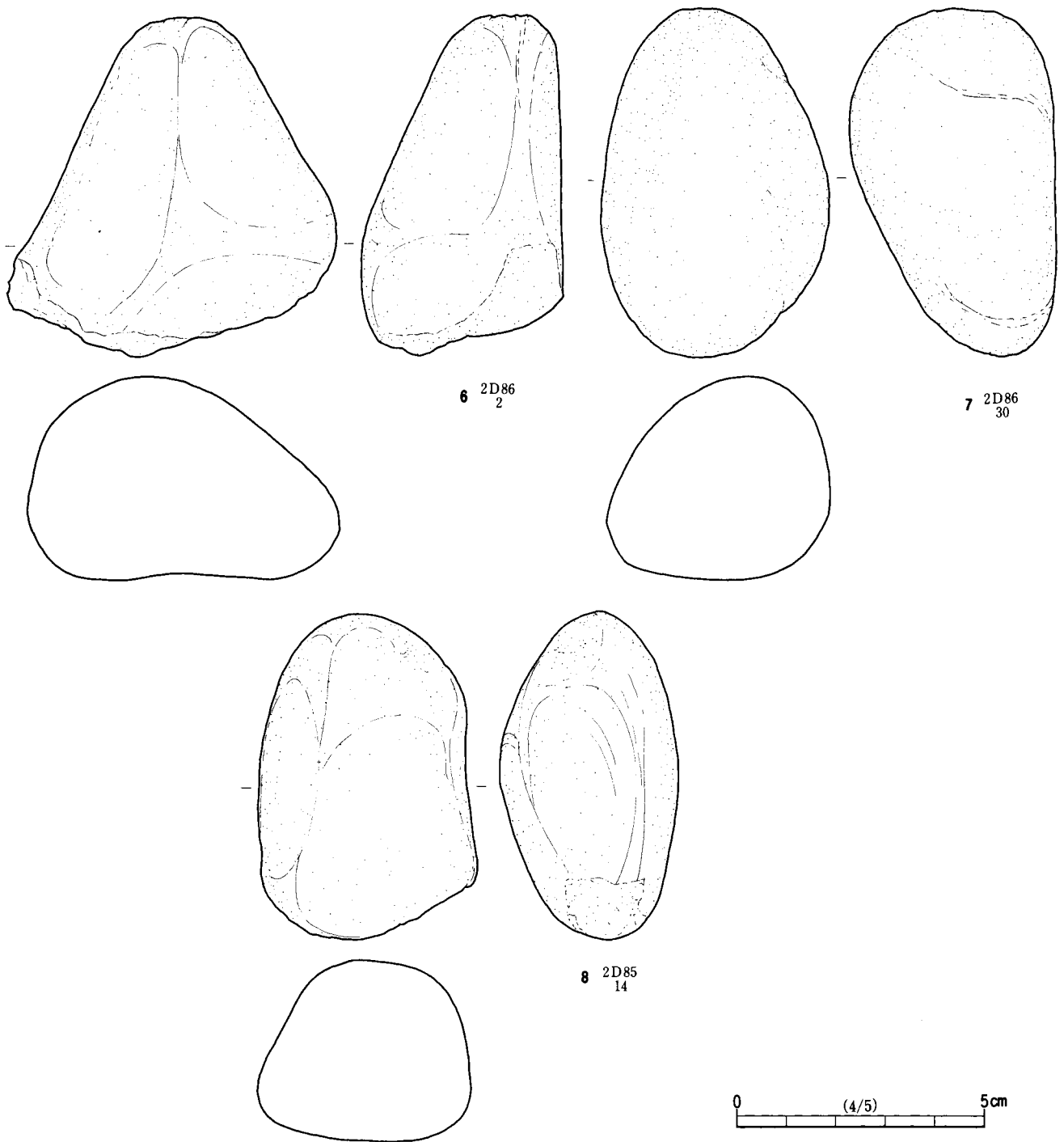
2D97



第92図 第21ブロック母岩別分布



第93図 第21ブロック出土石器 1

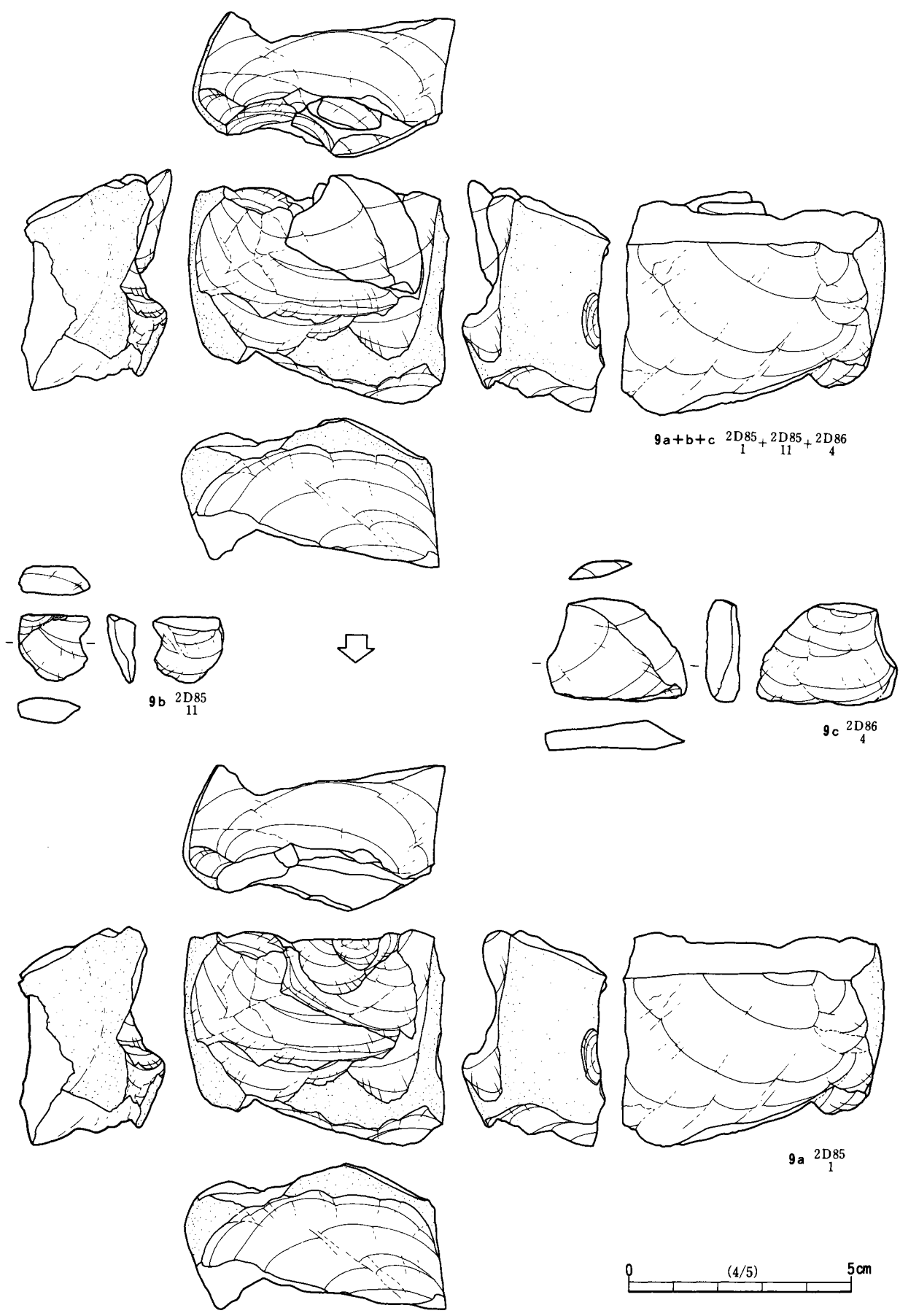


第94図 第21ブロック出土石器 2

は比較的横長の剥片が作出されていると考えられる。

剥片 4・5は珪質頁岩21を母岩とする剥片で、2点とも下端部が幅広くなる横長剥片である。

原石 6～8は原石である。いずれもガラス質黒色安山岩（緻密黒色安山岩）を石材としている。3点の集計では長さ6cm～7cm、幅4cm～6cm、厚さ3cm～4cm程の楕円礫であり、この種の石材のブロックへの石材搬入形態を示す資料として注目される。

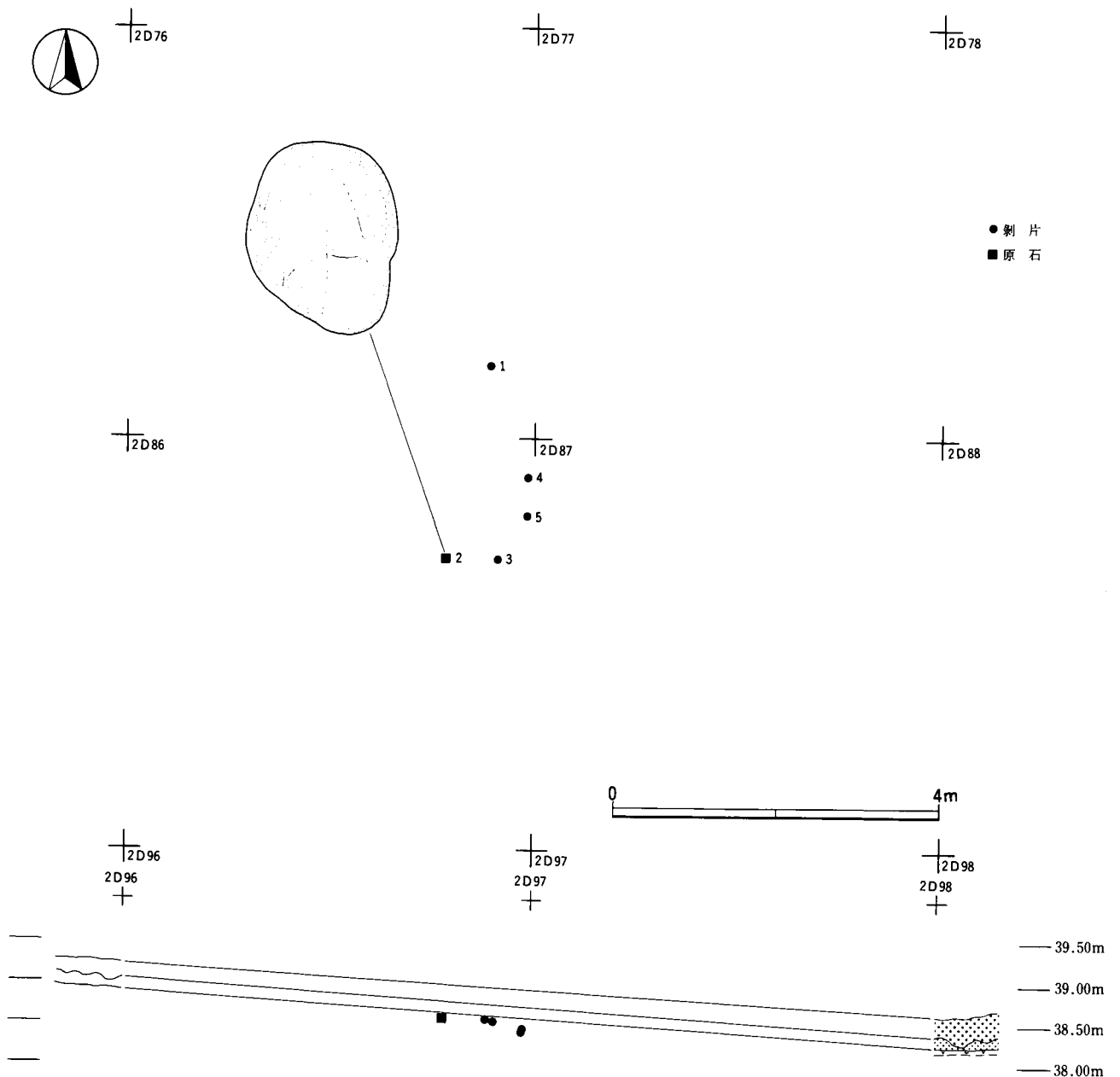


第95図 第21ブロック出土石器 3

6 第22ブロック (第96～98図、表59・60、図版4・36)

分布状況 調査区北西側、H地点で調査されたブロックである。2 D区南東側に位置している。西側に第21ブロック、南側に第23ブロックが位置している。また、第4礫群と分布が重複する。

遺物総数は5点であり、ごく小規模のブロックとなっている。その分布は比較的コンパクトにまとまっている。2 D76区から2 D86に南北方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北2.3m、東西1.0mを測る。垂直分布はおよそ0.2mの高低差がある。土層断面への投影では、東西の土層面からの復元であり約20cm程低く投影されており、VI層上部に分布している。実際の産出層位は、IV・V層上部からIII層下部にレベルを求めることができる。

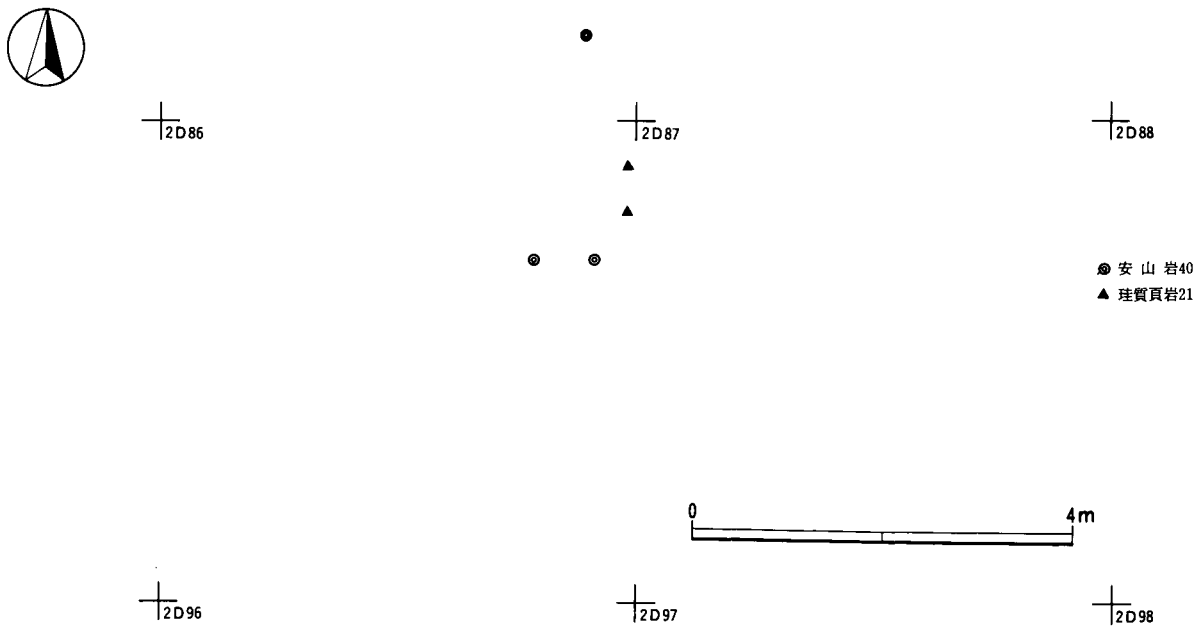


第96図 第22ブロック器種別分布

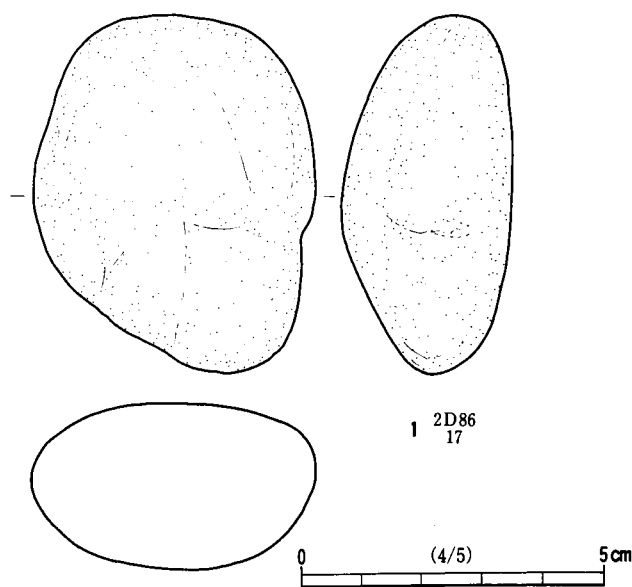
母岩別資料 3母岩が認められる。その内訳は安山岩2母岩3点、珪質頁岩1母岩2点である。安山岩40と珪質頁岩21の母岩が拮抗する母岩構成となっている。また、珪質頁岩21は第21ブロック、第23ブロックと母岩を共有する。母岩と器種の間関係を見ると、主要な利器は存在せず母岩と器種の特徴的な関係は看取されない。

出土遺物 主要な利器がなく剥片主体の器種構成である。小規模なブロックであるが原石が1点出土していることが特徴的である。

原石 1は原石である。ガラス質安山岩（緻密黒色安山岩）を石材としている。第21ブロックのものよりはやや小振りの楕円礫である。



第97図 第22ブロック母岩別分布



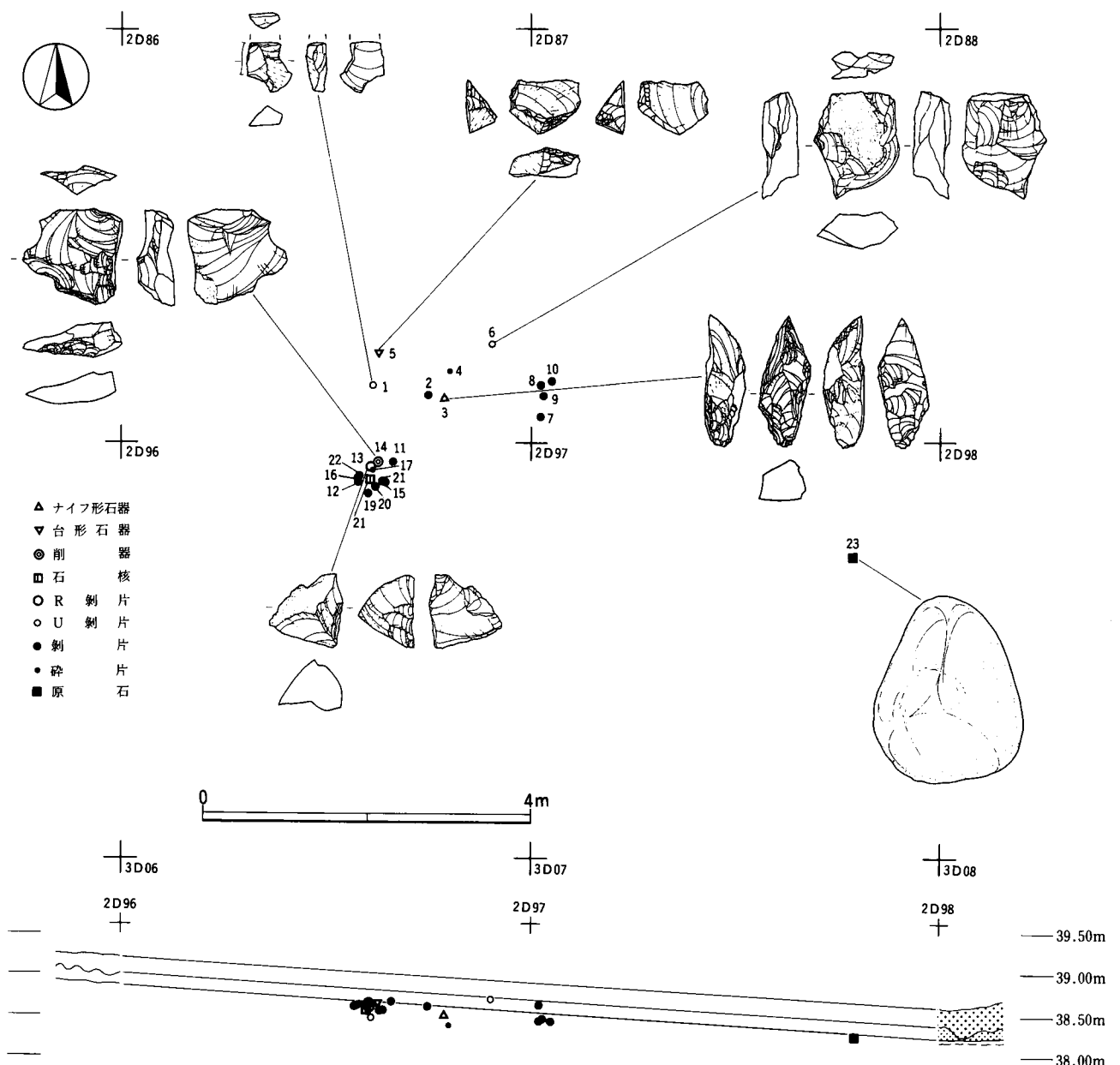
第98図 第22ブロック出土石器

7 第23ブロック (第99~102図、表61・62、図版4・37)

分布状況 調査区北西側、H地点で調査されたブロックである。2D区南東側に位置している。西側に第21ブロック、北側に第22ブロック、南側にやや離れて第24ブロックが位置している。

遺物総数は23点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっているが、西側に離れて1点遺物が分布する。2D86・87区から2D96・97区に南北方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北3.6m、東西6.1mを測る。垂直分布はおよそ0.7mの高低差がある。土層断面への投影では、東西の土層面からの復元であるが、VI層上部からIV・V層に分布している。産出層位はIV・V層にレベルを求めることができる。

母岩別資料 5母岩が認められる。その内訳は安山岩4母岩16点、珪質頁岩1母岩7点である。安山岩が主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩38の11点、珪質頁岩21の7点である。



第99図 第23ブロック器種別分布

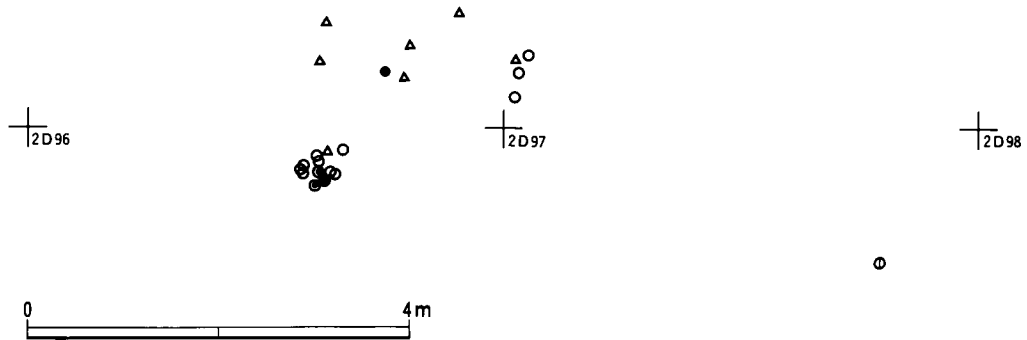


+ 2D86

+ 2D87

+ 2D88

- 安山岩38
- 安山岩42
- 安山岩43
- 安山岩44
- ▲ 珪質頁岩21



第100図 第23ブロック母岩別分布

る。また、珪質頁岩21は第21ブロック、第22ブロックと母岩を共有する。母岩と器種の間係を見ると、主要な利器はナイフ形石器、台形石器、削器等が存在するが、すべて珪質頁岩21の母岩から生産されている。同一母岩の石核が存在せず、当ブロックでの母岩消費は看取されない。

出土遺物 主要な利器はナイフ形石器、台形石器が1点ずつである。原石も1点出土する。

ナイフ形石器 1はナイフ形石器である。縦長剥片を素材として、素材の打面部を基部に設定して、背面基部から左側縁にかけて急角度の細部加工、主要剥離面の左側縁に平坦加工が認められる。

台形石器 2は台形石器とした。縦長剥片を横位に用いて、打面除去するような急角度調整が施される。刃部は水平になり、背面から調整加工が判然としないが、基部方向からの剥離痕が看取される。

削器 3は削器とした。厚味のある横長剥片を素材として、下端部に抉るような幅広調整と細部加工が連続する。

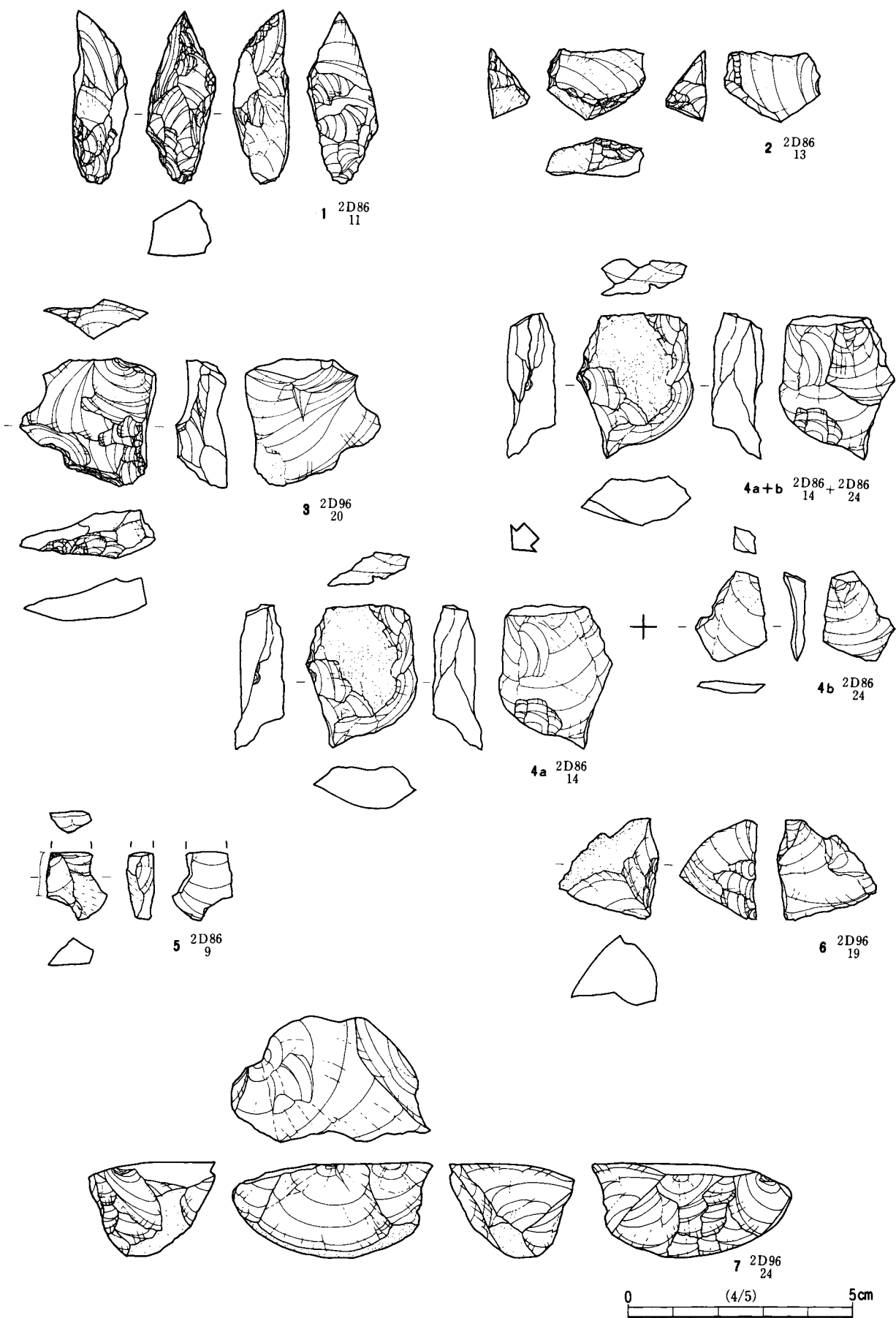
石核 7は石核である。分割した楕円礫を石核素材として、そのポジティブな分割面を打面に、打点が周囲を巡るように移動して剥片剥離作業が進行している。作出された剥片は長幅が同じからやや幅広剥片と想定される。

R剥片 6はR剥片である。背面右側縁下半部に脚の長い調整加工が看取される。

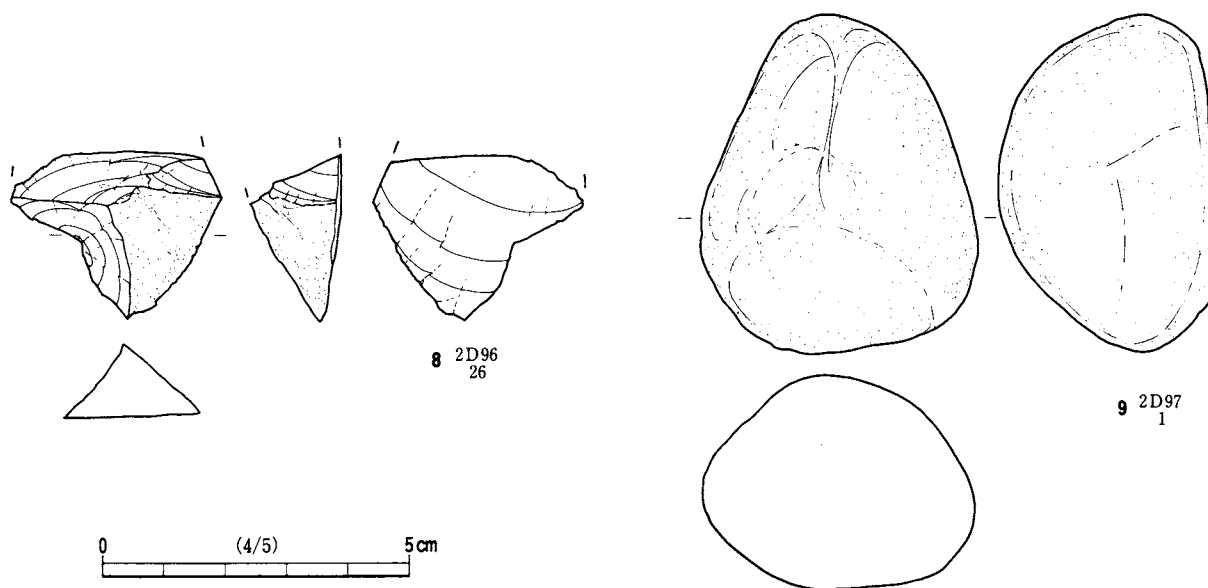
U剥片 4 a・5はU剥片である。4 a + bは剥片との接合資料である。4 bは4 aの主要剥離面で接合し、4 aが剥離された後に剥離されている。4 aは下端部にやや細長い剥離痕が見られるが、これは先行する剥離痕である。左側面に微細剥離痕が疎らに観られる。5は背面左側縁に刃こぼれ状の微細剥離痕が認められる。

剥片 7は剥片である。上面が主要剥離面であり、左側縁の剥離面は先行する剥離面である。

原石 8は原石である。黒色緻密安山岩（ガラス質黒色安山岩）を石材とする。第21ブロック、第22ブロックで出土した原石と同じような大きさの楕円礫である。



第101図 第23ブロック出土石器 1



第102図 第23ブロック出土石器 2

8 第24ブロック (第103～110図、表63～65、図版5・37～40)

分布状況 調査区北西側、H地点で調査されたブロックである。2D区南東側、3D区北東隅に位置している。北側に第21ブロック・第22ブロックがやや離れて位置している。

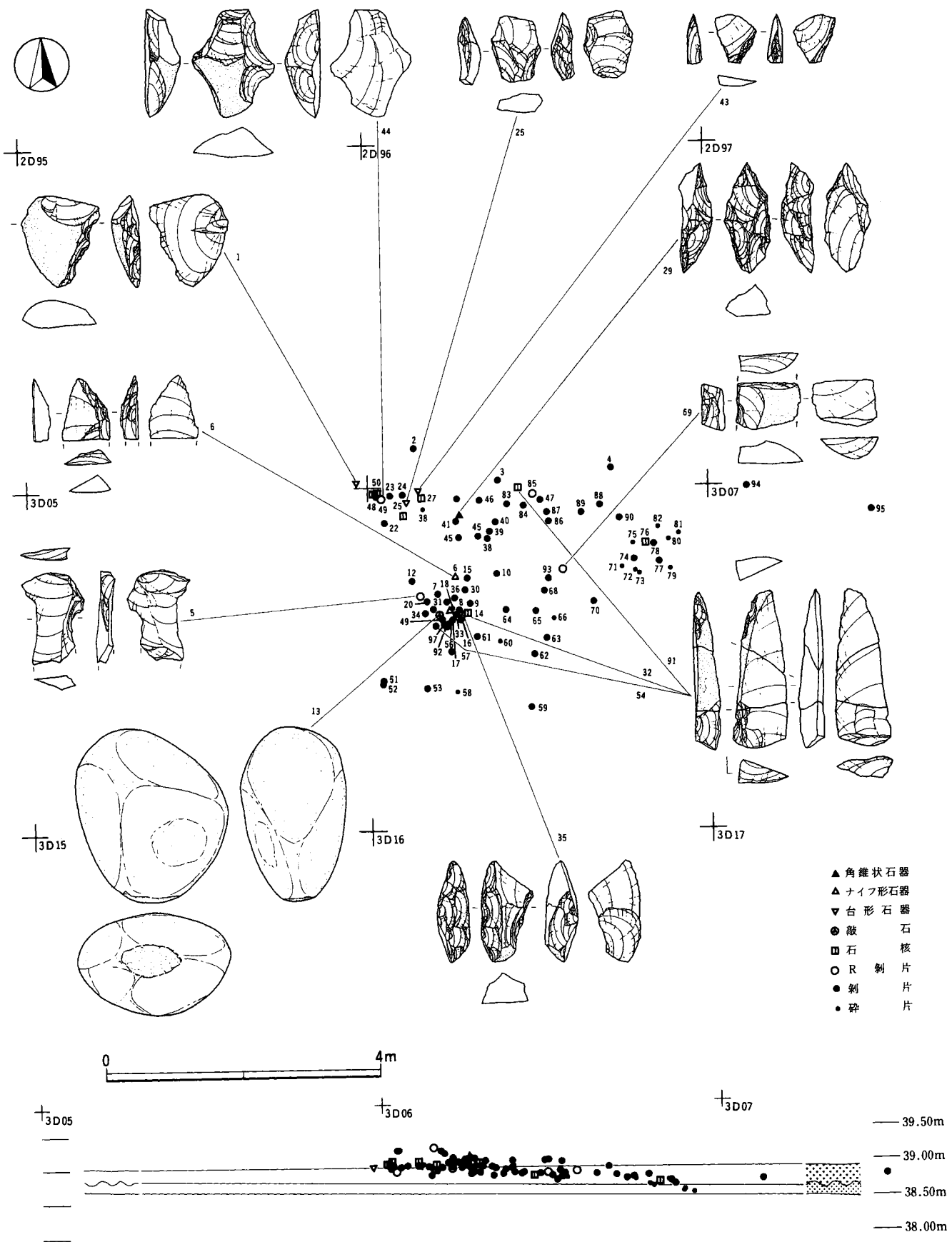
遺物総数は95点であり、中規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっているが、西側に離れて数点遺物が分布する。2D95・96区から3D06・07区に東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北3.8m、東西7.5mを測る。垂直分布はおよそ0.6mの高低差がある。土層断面への投影では、東西の土層面からの復元でありやや高く投影されているが、IV・V層からIIc層に分布している。実際の産出層位はIII層下部にレベルを求めることができる。

母岩別資料 5母岩が認められる。その内訳は安山岩4母岩94点、砂岩1母岩1点である。安山岩が大部分を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩38の45点、安山岩43の25点、安山岩45の12点、安山岩46の12点である。安山岩38と安山岩43の母岩で7割を超える母岩構成となっている。また、安山岩38は第21ブロック・第23ブロックと、安山岩43ブロックは第23ブロックと母岩を共有する。本ブロックの主要な利器として角錐状石器、ナイフ形石器、台形石器が存在するが、母岩と器種の間を見ると、安山岩38には石核が存在しないが多量の剥片があり、ナイフ形石器、台形石器が生産されている。安山岩46には石核が存在し、ナイフ形石器が生産されている。安山岩45には4点の石核があり、台形石器3点、角錐状石器1点が生産されている。このように安山岩の母岩により、器種生産の選択的使用が看取される。当ブロックは、各安山岩母岩の利器の生産を目的とした、母岩消費的なブロックと把握される。

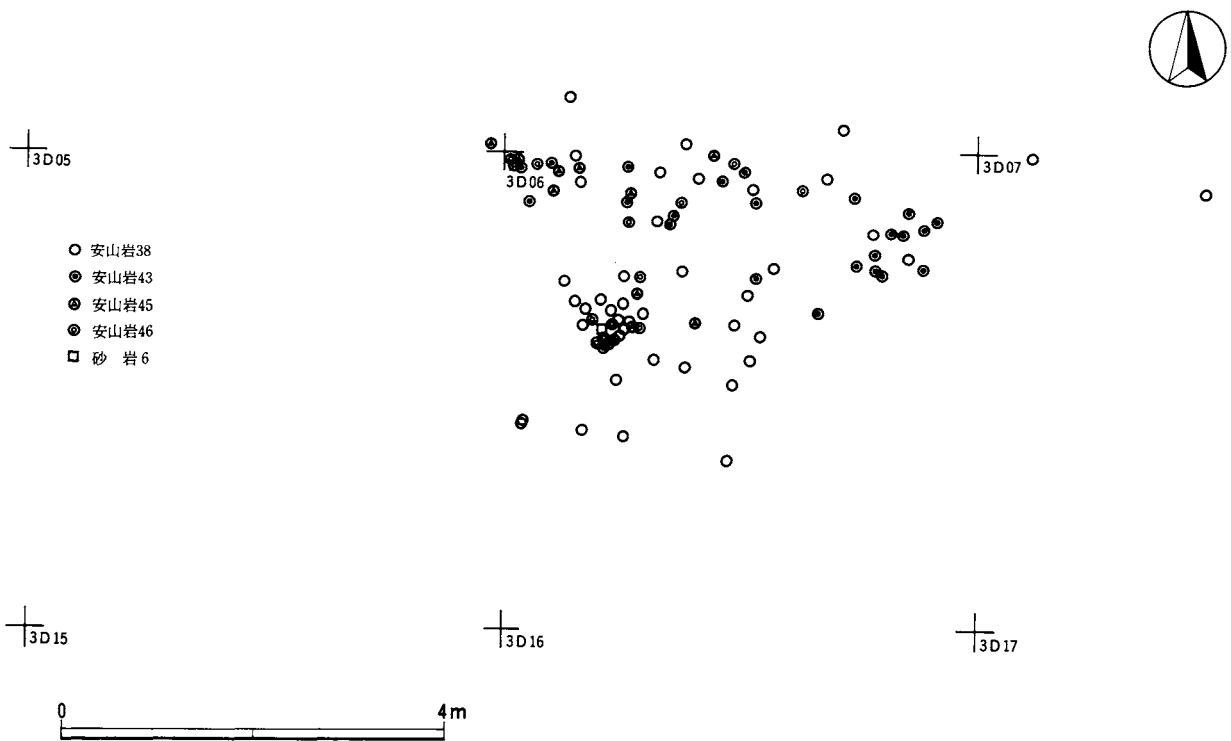
出土遺物 中規模なブロックであり、主要な利器は台形石器4点、ナイフ形石器2点、角錐状石器1点が出土し、比較的豊富な内容を持つ。敲石も1点出土する。

角錐状石器 1は角錐状石器である。厚味のある横長剥片を素材として横位にもちいて、深形の調整加工により、やや平面形状が肩の張る形状に仕上げている。

ナイフ形石器 2・3はナイフ形石器である。2は下半部を欠損するが、縦長剥片を素材として、素材



第103図 第24ブロック器種別分布



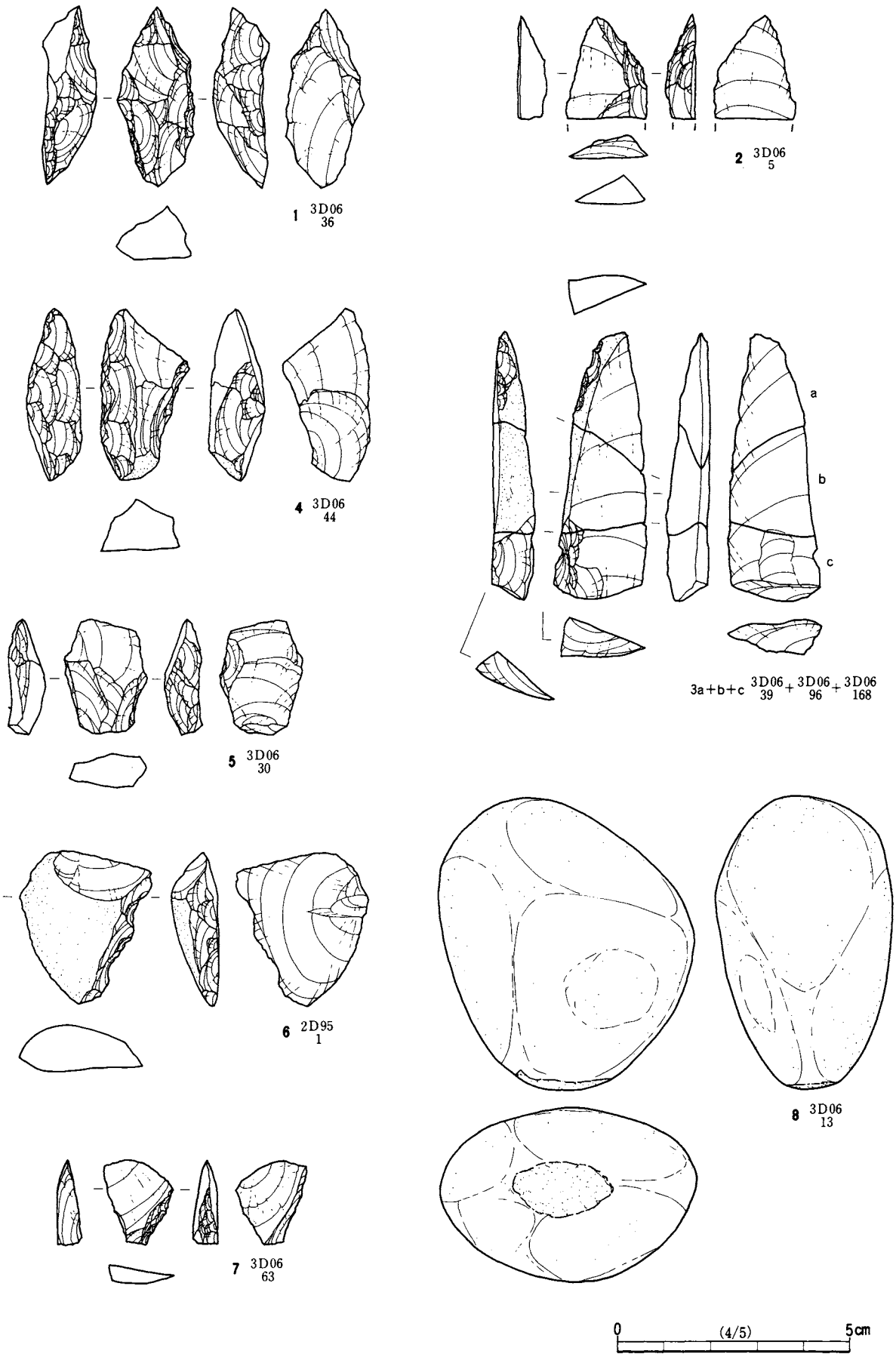
第104図 第24ブロック母岩別分布

を縦位に用いて背面右側縁に刃潰し加工が連続する。3は3点が接合してナイフ形石器となっている。細長い縦長剥片を素材として、素材を縦位に用いて、自然面の残る左側縁先端部に細部加工、基部寄りに幅広い調整加工が認められる。背面方向からの加撃により3つに切断されている。

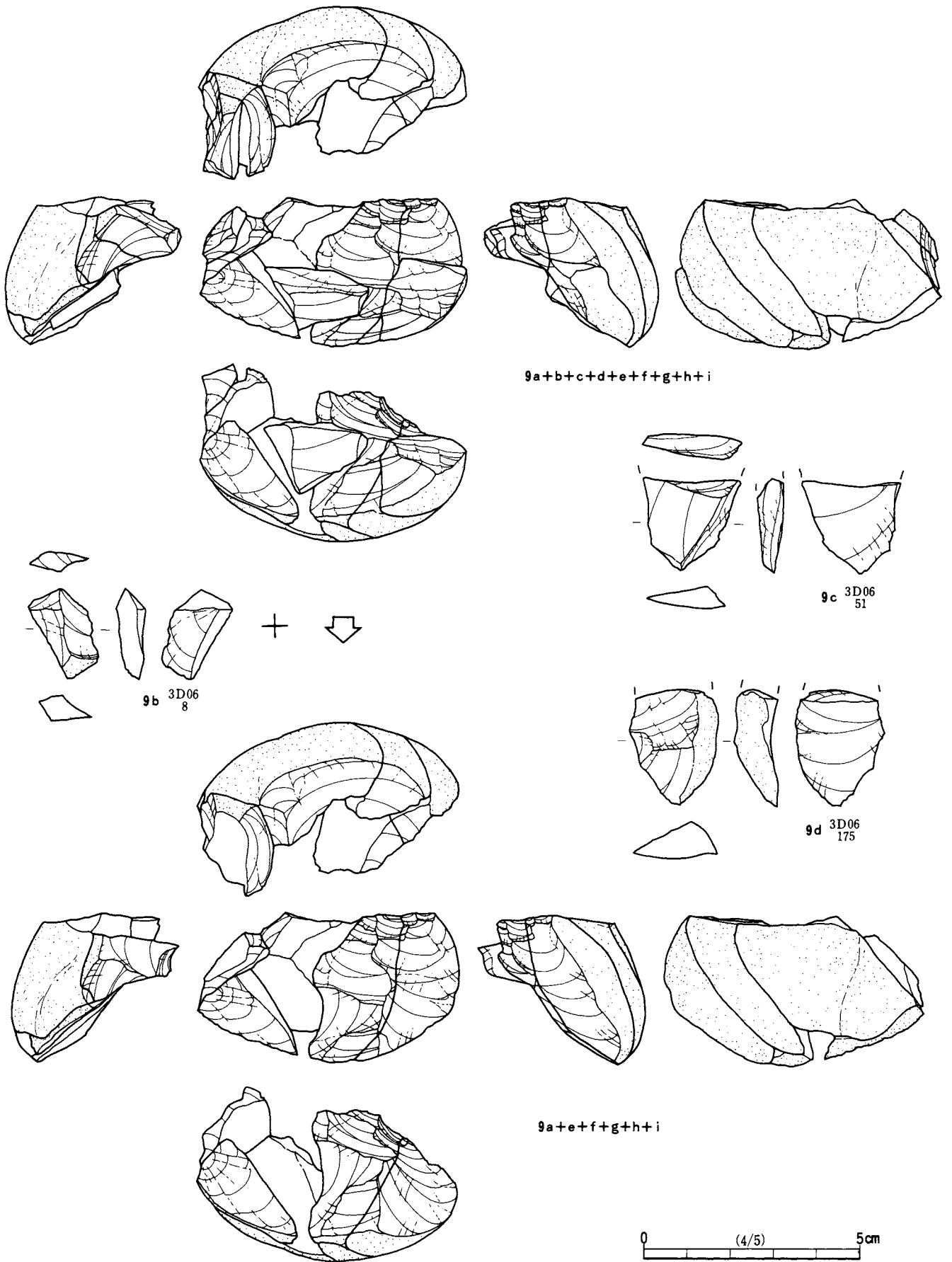
台形石器 4～7は台形石器である。4は切出形のもので、厚味のある横長剥片素材を横位に用いて、腹面を平坦剥離により打面部を除去した後、背面両側縁を幅広い調整と細部調整により器体を整形している。5は縦長剥片素材を縦位に用いて、背面両側縁に粗い細部加工を施している。腹面左側縁にも調整加工が認められる。6は自然面を広く残す貝殻状の横長剥片を素材として、素材の末端部を連続的に調整加工を行い、尖った基部を作出する。そのため形状は逆三角形状を呈することになる。7は横長剥片素材を斜位に用いて、背面側縁を一端は切断により、もう一端は細部加工により尖った基部を整形している。

敲石 8は敲石である。石材は砂岩で、楕円礫の末端部に敲打痕が集中する。

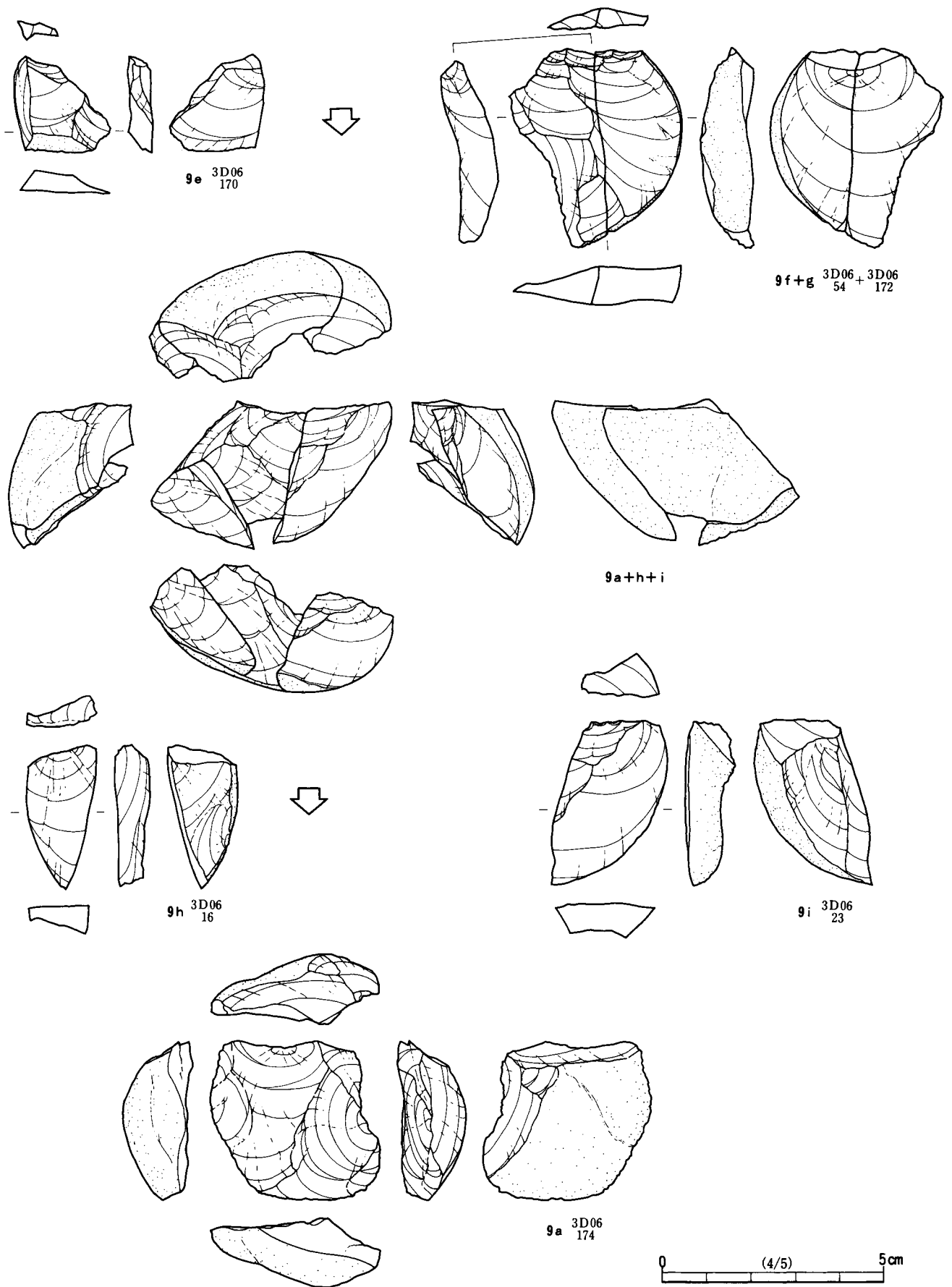
石核 9a～14は石核である。9は楕円礫を石核素材とし、上面を平坦剥離して打面を設定して剥片剥離を行っている。まず、左側面を作業面として、9b、9eが剥片剥離される。その後正面を作業面として、9c、9d、9f+gが剥片剥離される。さらに、左側面に打点を移動し正面を作業面として、9hが剥片剥離される。そして、打面を上面に再び移動して、正面を作業面として9iが剥片剥離されている。剥離された剥片は縦長剥片が多くなっている。10a+bは石核どうしの接合である。楕円礫を素材として、自然面を裏面側に設定し、上下端部から剥片剥離を行っている。途中で10aと10bに分割してしまったが、さらに10bは上下端部からの剥離作業が看取される。11a～cは石核と剥片の接合資料である。礫を輪切りに分割したような縦長剥片を石核素材としている。上面の平坦面を打面として、石核素材の背面と腹面を断ち割るように剥離作業が行われる。最終剥離作業によるためか、2つに分割している。剥離された剥



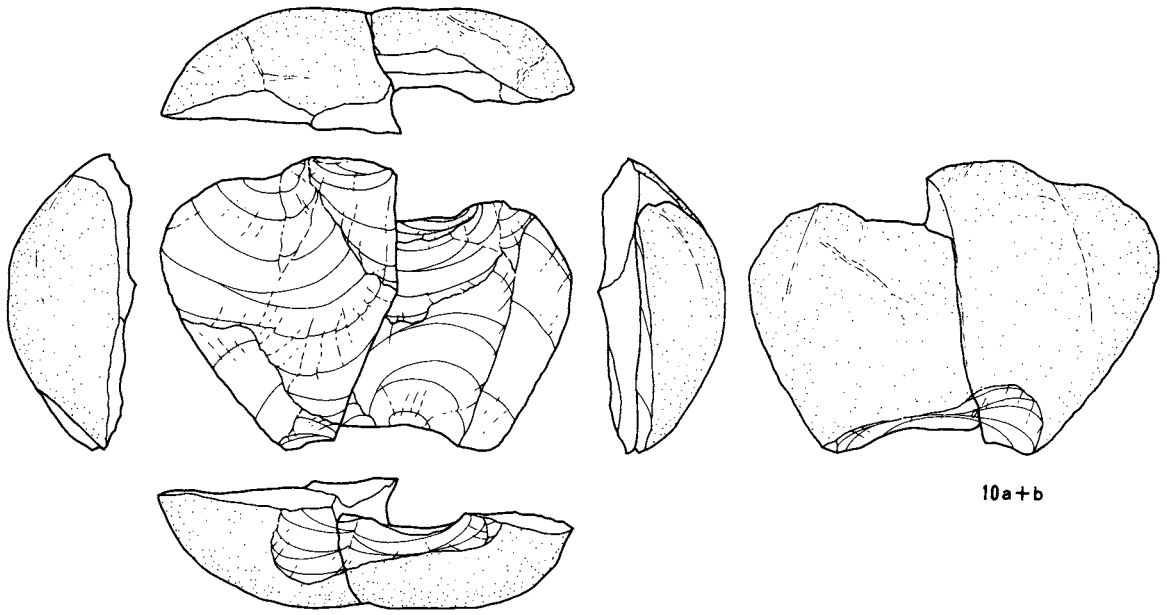
第105図 第24ブロック出土石器 1



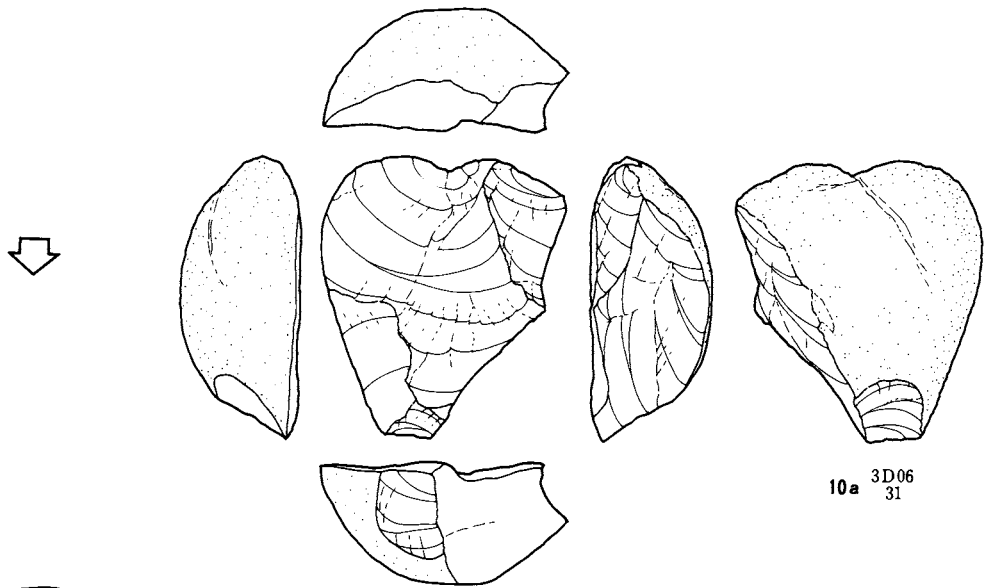
第106図 第24ブロック出土石器 2



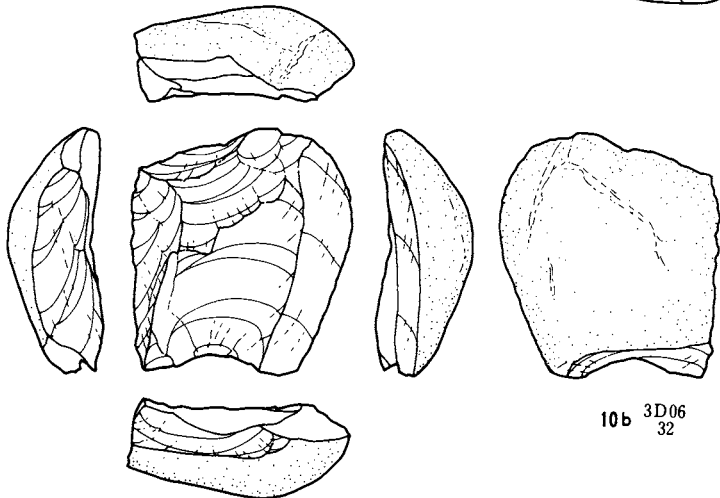
第107図 第24ブロック出土石器 3



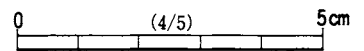
10a+b



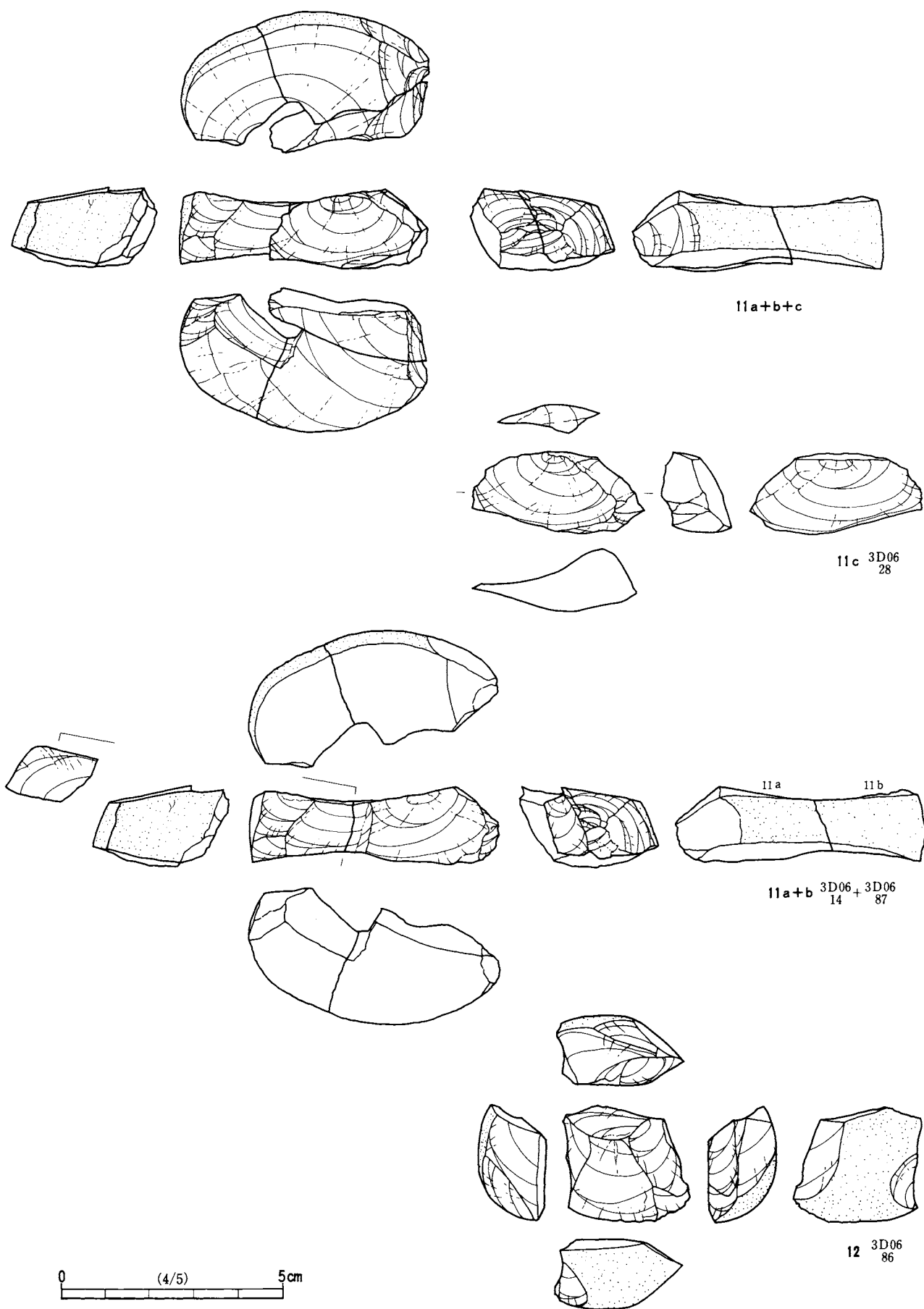
10a ^{3D06}₃₁



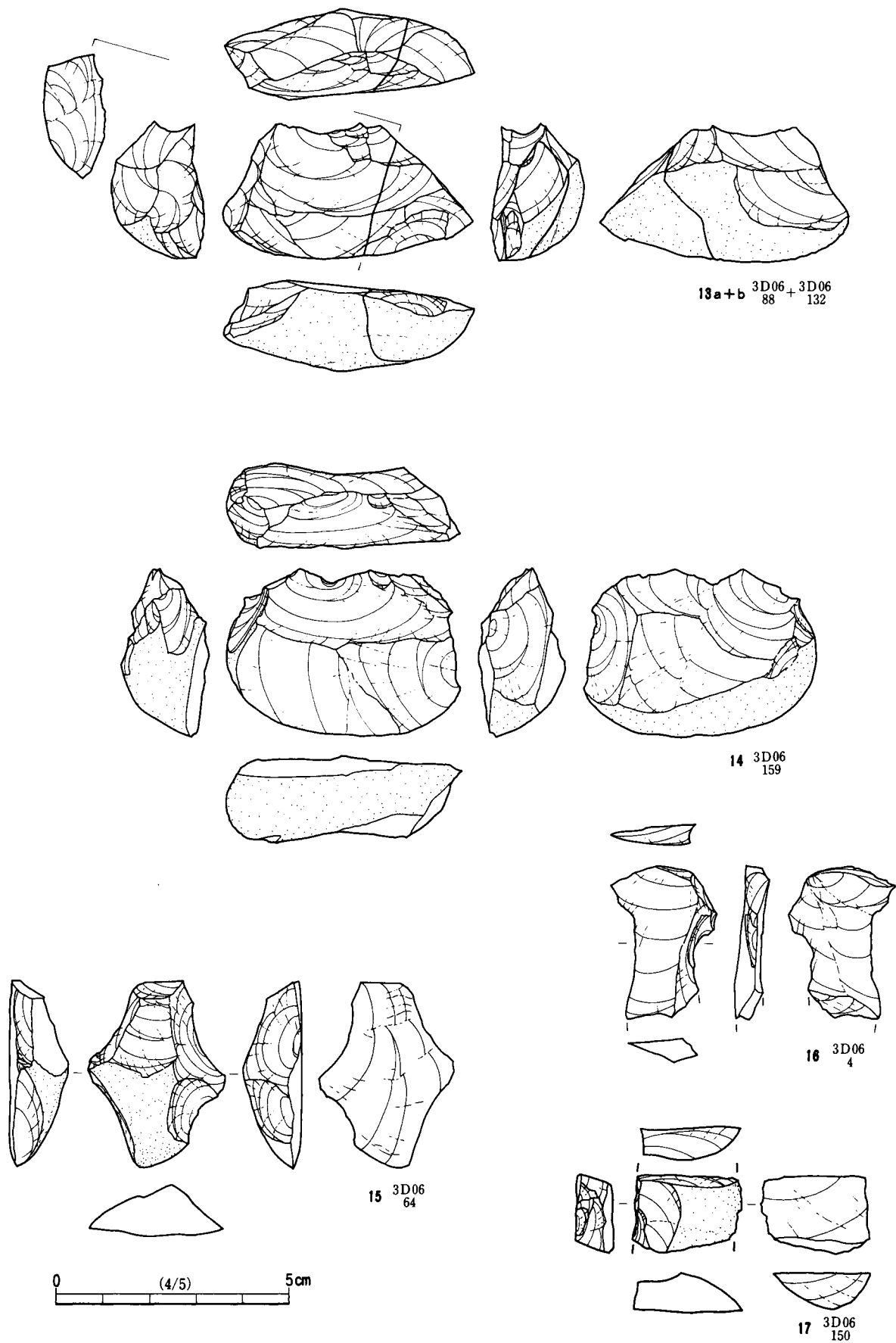
10b ^{3D06}₃₂



第108図 第24ブロック出土石器 4



第109図 第24ブロック出土石器 5



第110図 第24ブロック出土石器 6

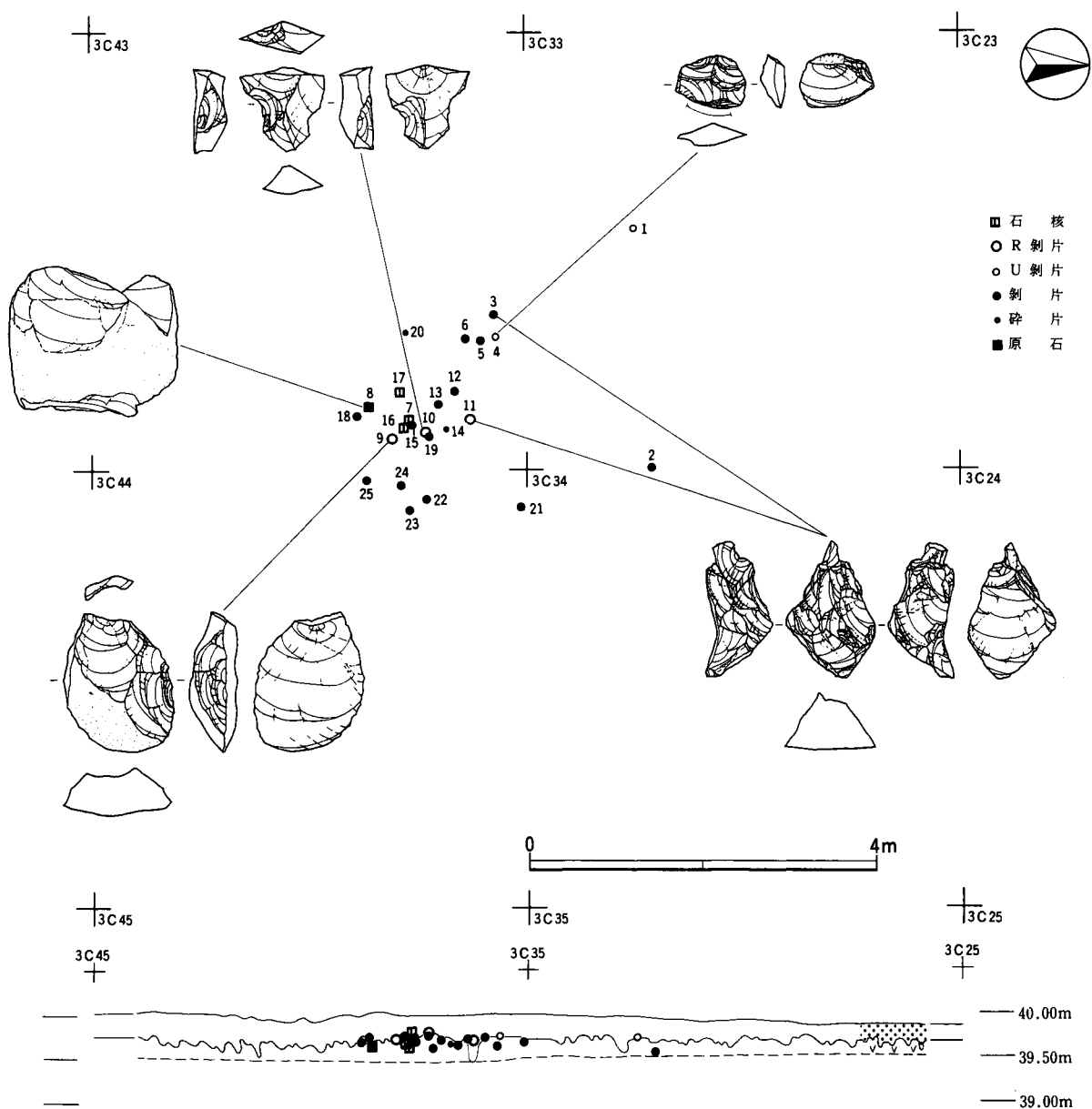
片は下端面に底面を持つ横長剥片となっている。12は分割礫を石核素材として、上面を打面として正面と右側縁の稜を切るような剥離作業が看取される。13・14は素材の自然面を下端部におき、作業面と打面を交互に入替えて剥離作業が進行する。14の裏面では横方向からの剥離作業が看取される。

R剥片 15～17はR剥片である。15は打面部を深く抉るような調整加工が見られる。16は背面右側縁に細部加工が認められる。17は上下を欠損しており、背面左側縁に調整加工が連続する。

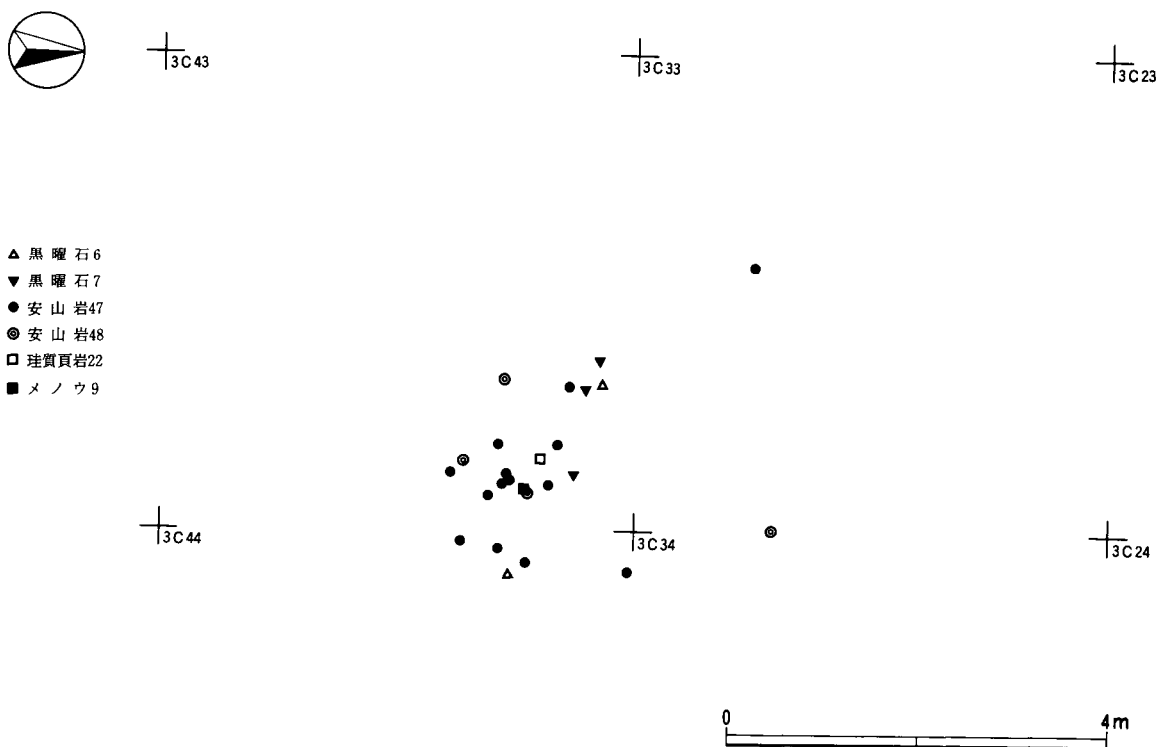
9 第25ブロック (第111～116図、表66・67、図版5・40～42)

分布状況 調査区西側、K地点で調査されたブロックである。3C区北東側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の西側縁辺部に当たり、現況ではローム層は西側にやや傾斜している。東側に約20m離れて第26ブロック～第30ブロックが位置している。また、第6礫群と分布が重複する。

遺物総数は25点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。3C33・



第111図 第25ブロック器種別分布



第112図 第25ブロック母岩別分布

34区から3C43・44区に南北方向にやや長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北3.4m、東西3.2mを測る。垂直分布はおよそ0.3mの高低差がある。土層断面への投影では、IV・V層からIII層にかけて分布している。産出層位はIV・V層上部からIII層下部にレベルを求めることができる。

母岩別資料 6母岩が認められる。その内訳は黒曜石2母岩5点、安山岩2母岩18点、珪質頁岩1母岩1点、瑪瑙1母岩1点である。安山岩の石材が主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は安山岩47の14点がある。母岩と器種の間関係を見ると、主要な利器の出土がなく、母岩と器種の特徴的な関係は看取されないが、安山岩47を母岩とする石核、剥片類がまとまって出土し、安山岩47による剥片生産の限定した母岩消費が想定される。

出土遺物 R剥片、U剥片が出土するのみであり、主要な利器は出土していない。ほかには石核が3点とややまとまって出土した。

原石 1は原石である。石材は安山岩である。上下端部、裏面を分割するような剥離面で覆われるが、この面は風化が著しくこの形状でブロックに搬入されたと考えられる。

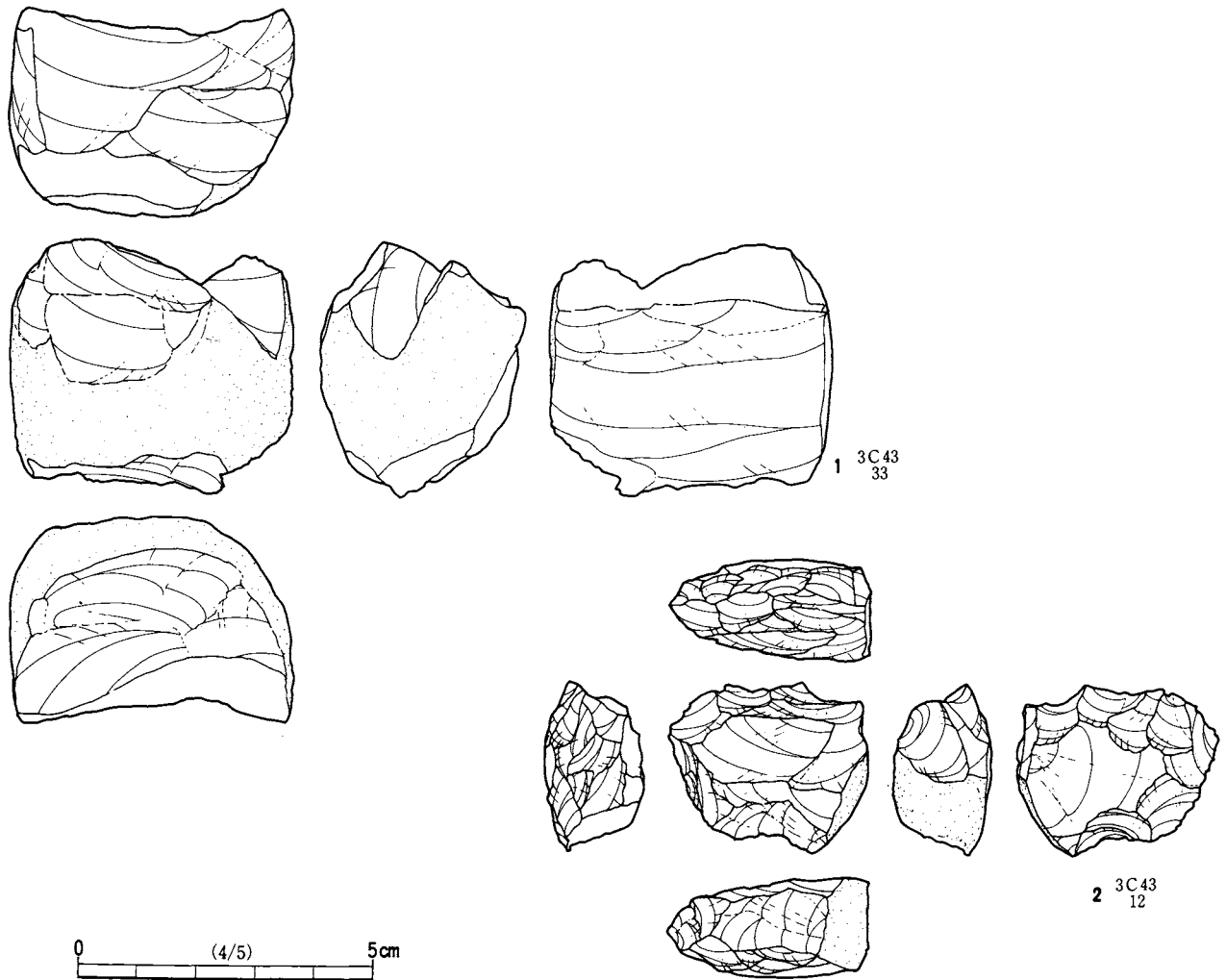
石核 2～4は石核である。2は礫から剥離された厚味のある剥片を石核素材として、正面及び裏面で打点が縁辺を巡るように求心的に剥離作業される。3 a～cは石核と剥片の接合資料である。大形の楕円礫上端部の細長い剥離面を打面として、幅の狭い正面を作業面としている。正面を作業面として、3 b、3 cの石刃状剥片が剥離されている。3 bの背面には稜上調整が看取され、先行して作業面を整形するような剥片剥離が行われていることが理解される。3 aは残核であり、左側面で正面からの、右側面では下端部からの剥離作業が看取される。4 a + bは石核と剥片の接合資料である。大形楕円礫を石核素材にしている。まず、上端剥離面を打面に、正面を作業面とする剥離作業が数回行われる。その後、打点を

左縁辺に移動して、正面を作業面とした横方向からの剥離作業が行われる。そして、正面の作業面に打点を移動して、裏面を作業面として4 bが剥片剥離される。その後正面を作業面として、上端面と右側面からの剥離作業が進行している。4 aの残核は、上端面及び左面からの正面を作業面とする剥離作業が進行する石核として把握される。

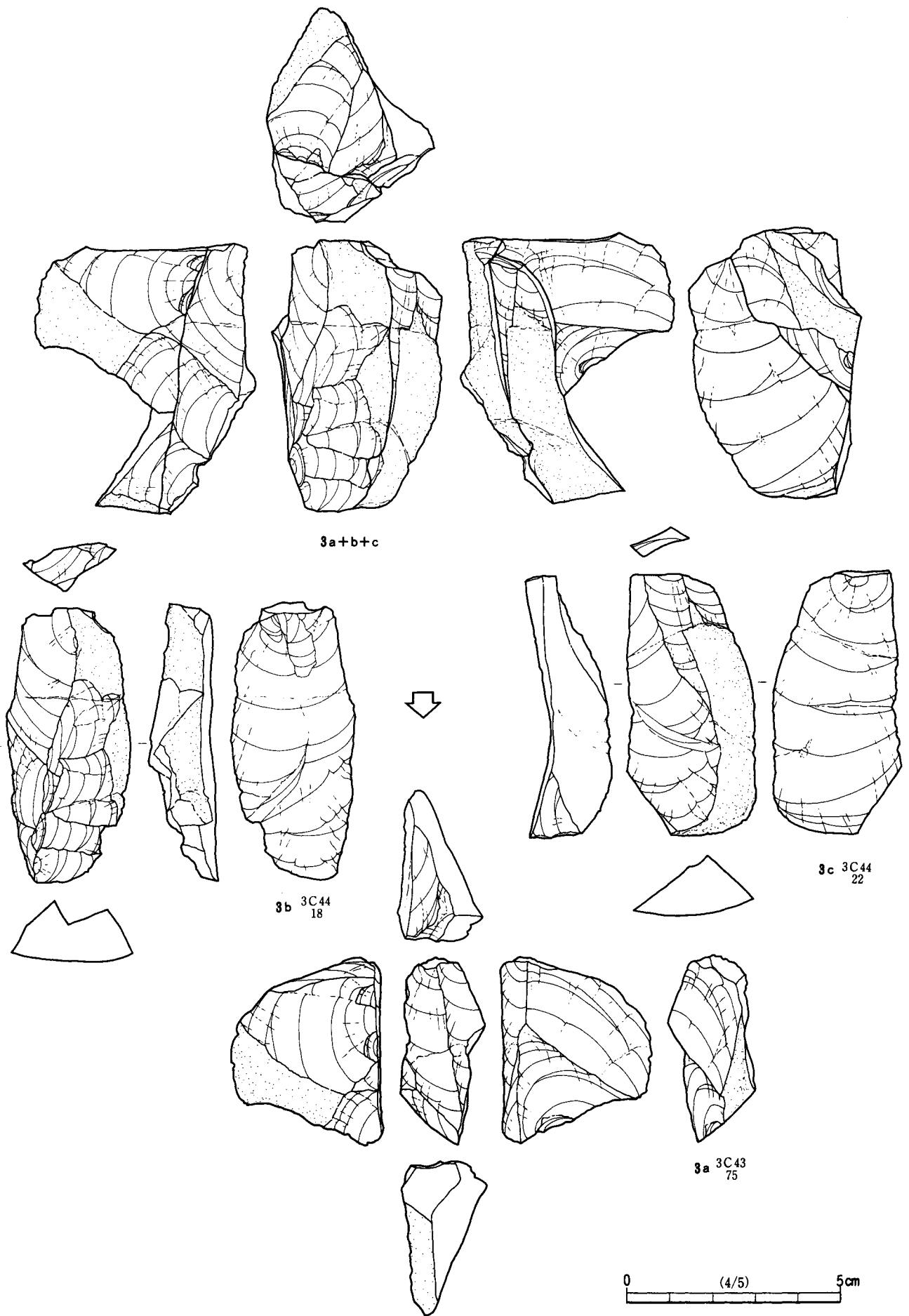
R剥片 5～7はR剥片である。5 a + bはR剥片と調整剥片の接合資料である。横断面が三角形状になる縦長剥片を素材に、打面を除去するような背腹両面からの細部加工が見られる。5 bは器体上端部の腹面から背面左側縁に向かって加工された調整剥片である。6は背面左側縁と裏面左側縁に深い二次加工が見られる。7は背面右側縁に平坦剥離と細部加工が集中する。R剥片としたがあるいは削器と分類してよいものかもしれない。

U剥片 8はU剥片である。横長剥片の末端部に微細剥離痕が連続する。

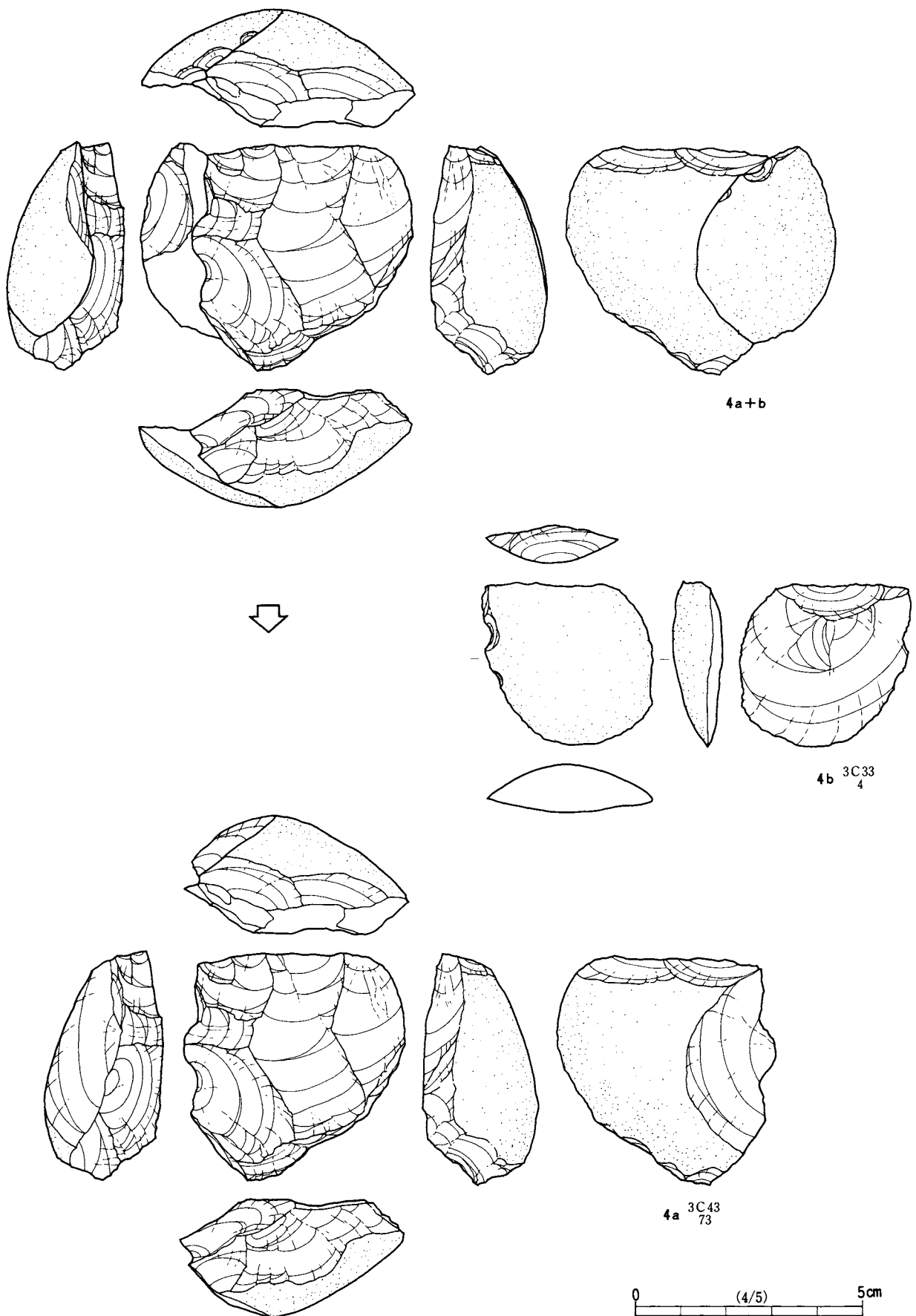
剥片 9・10は剥片である。9 a + bは剥片どうしの接合資料である。打点を横に移動して、9 a、9 bが剥片剥離される。



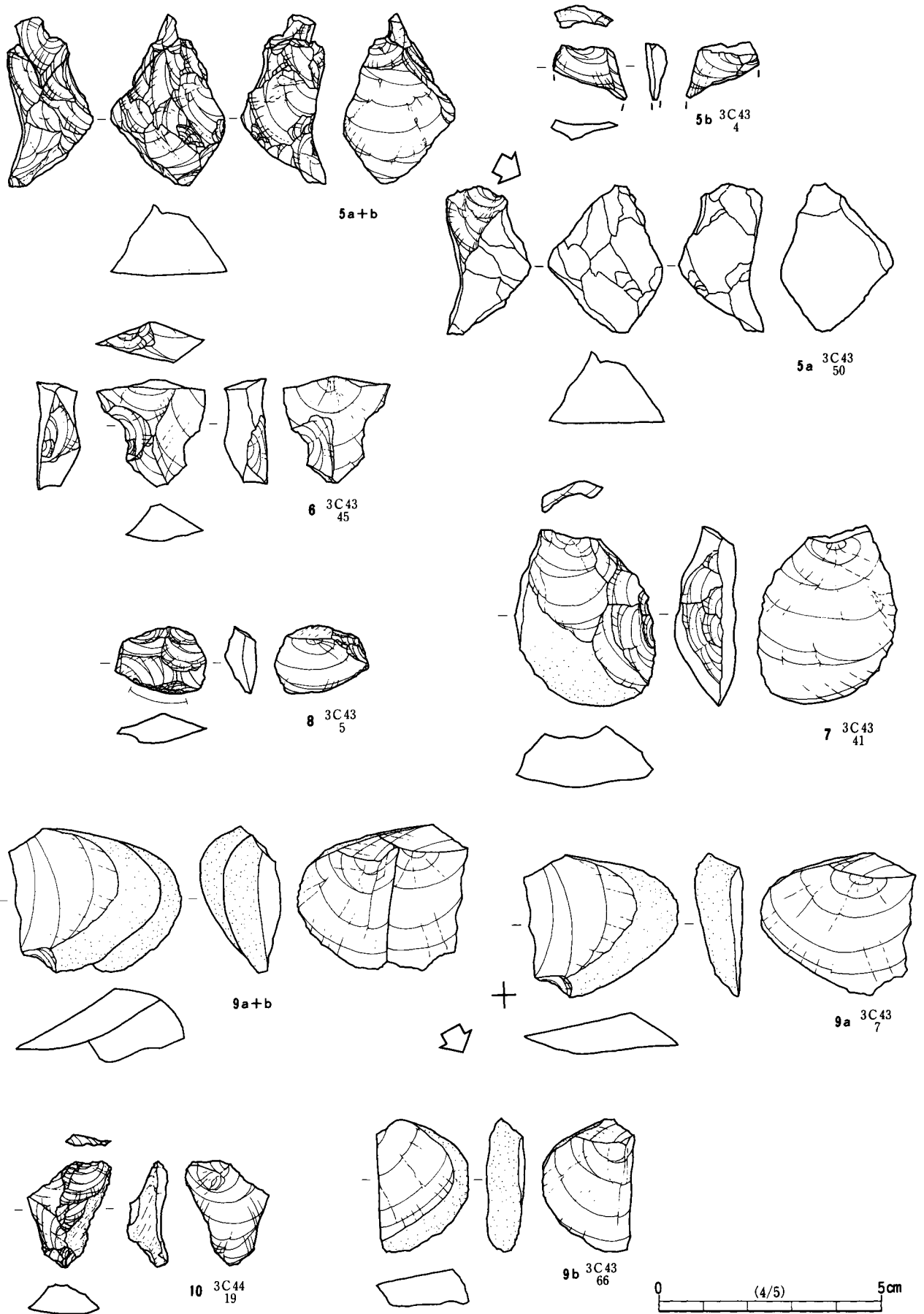
第113図 第25ブロック出土石器 1



第114図 第25ブロック出土石器 2



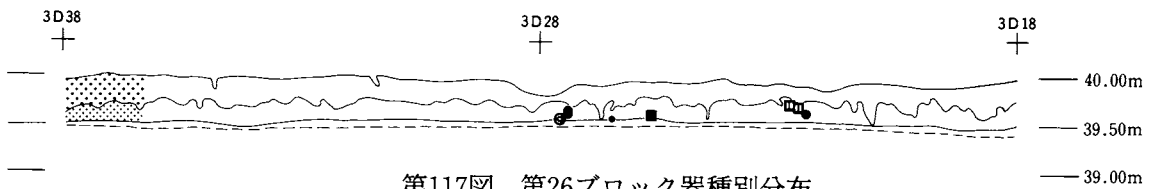
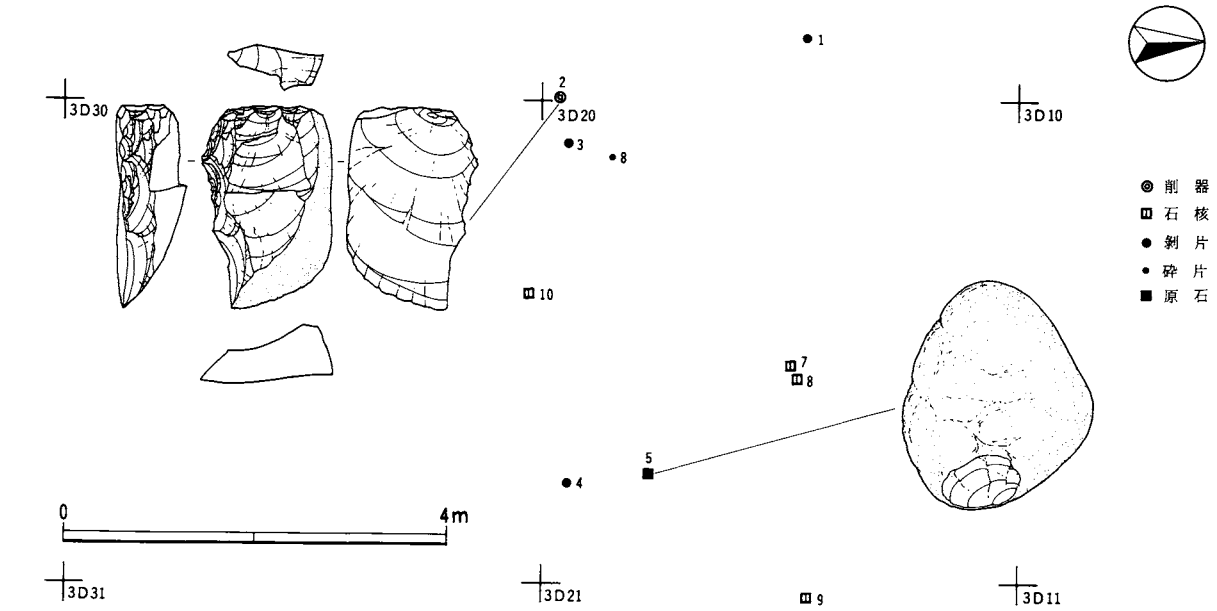
第115図 第25ブロック出土石器3



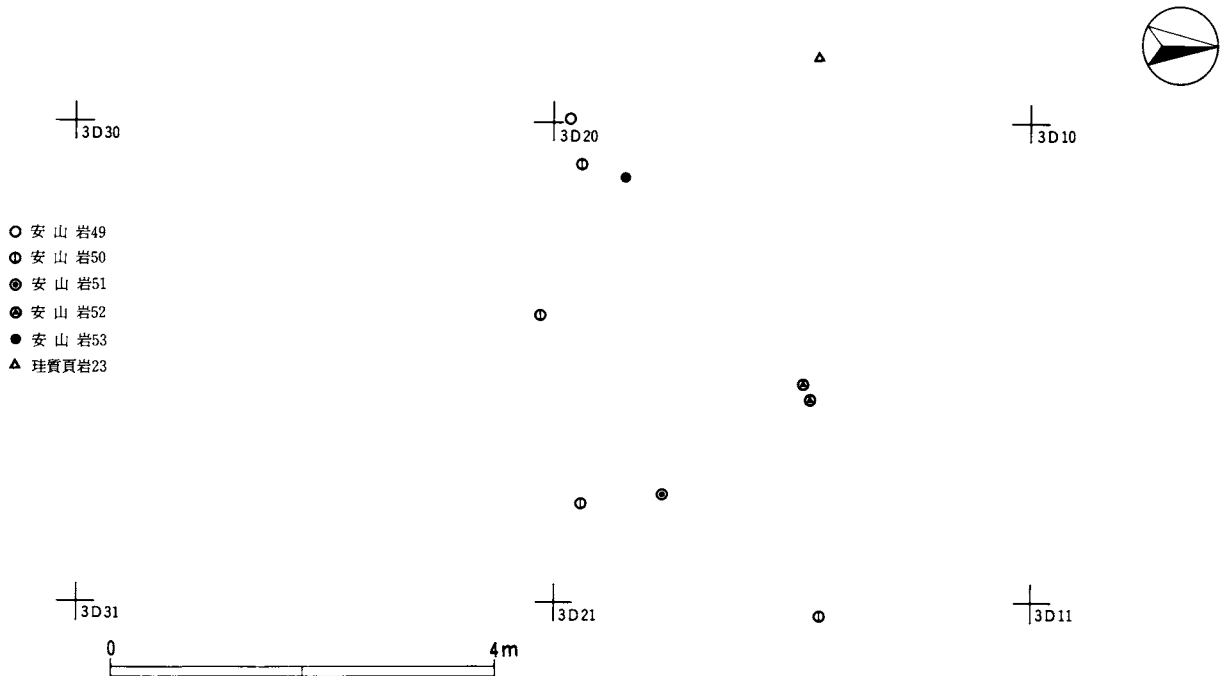
第116図 第25ブロック出土石器 4

10 第26ブロック (第117~120図、表68・69、図版5・43)

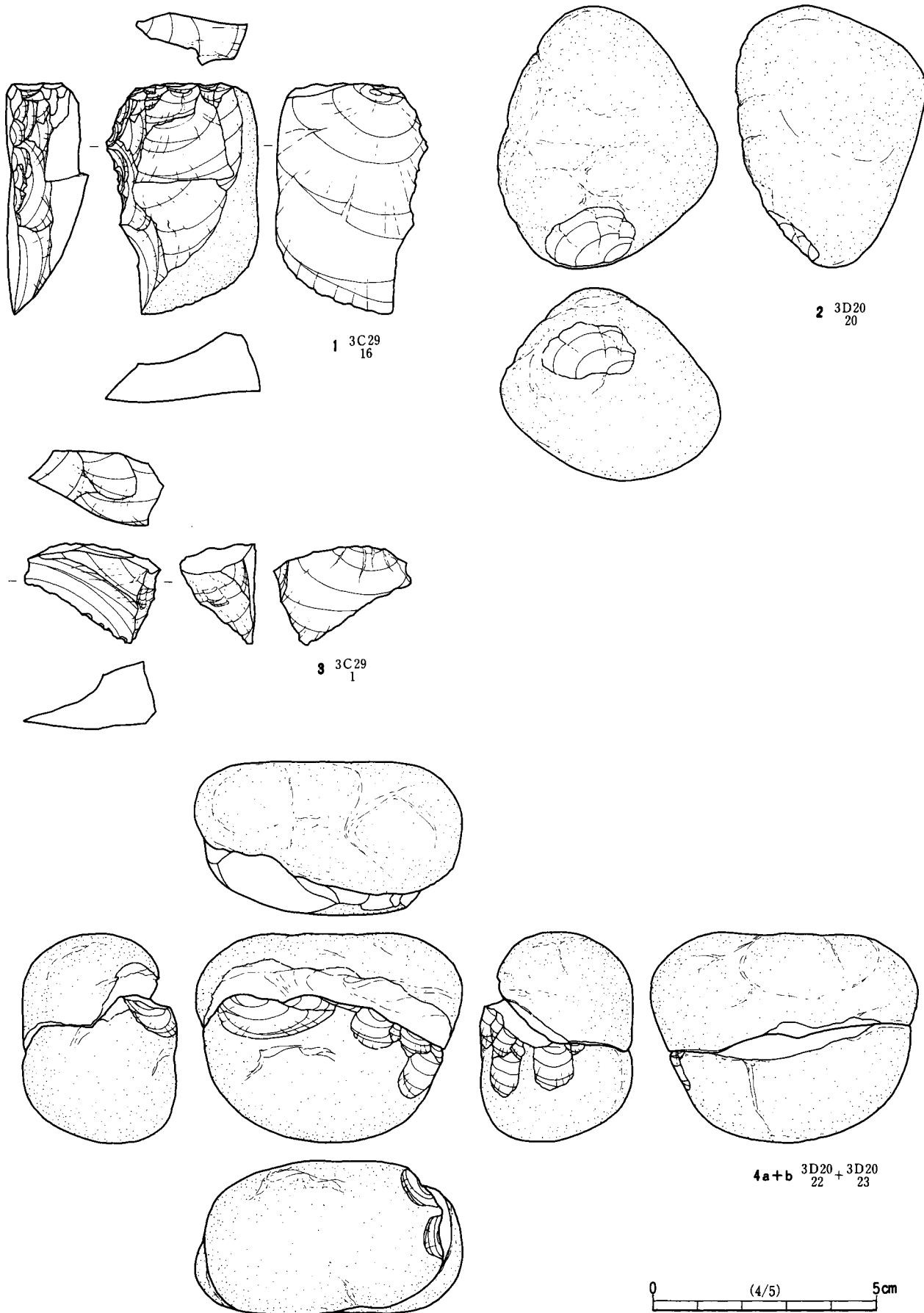
分布状況 調査区北西側、L地点で調査されたブロックである。3C区北東端、2D区北西端に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の西側縁辺部に当たり、現況ではローム層はほぼ水



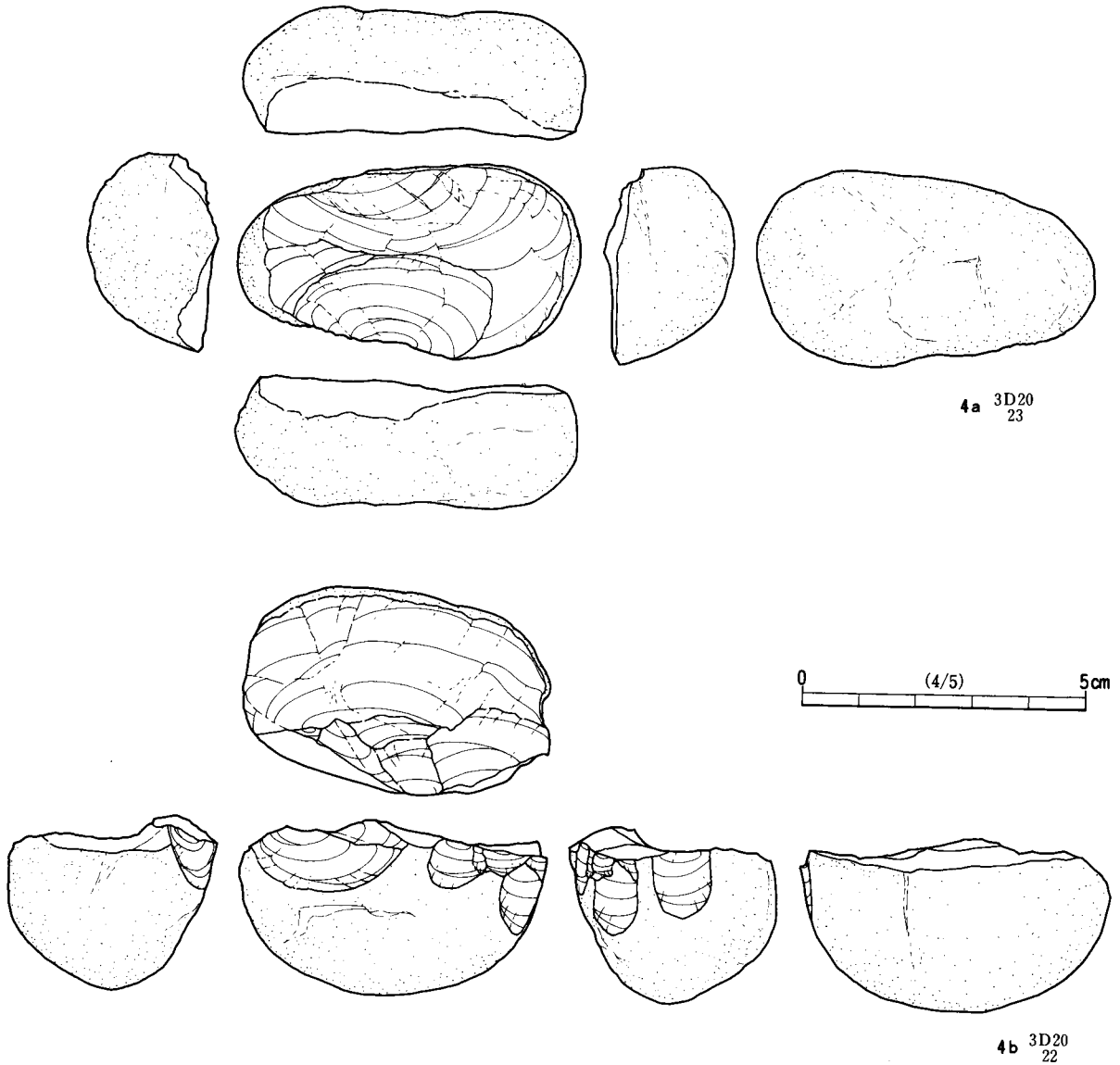
第117図 第26ブロック器種別分布



第118図 第26ブロック母岩別分布



第119図 第26ブロック出土石器 1



第120図 第26ブロック出土石器 2

平に堆積している。第26ブロック～第30ブロックは同一地点に分布しブロック群を形成する。東側に第30ブロック、南側に第28ブロックが位置している。また、第7礫群と分布が重複する。

遺物総数は10点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は散漫である。3 C 29区から3 D 20・21・30区に東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北3.1m、東西5.8mを測る。垂直分布はおよそ0.2mの高低差がある。土層断面への投影では、VI層上面からIV・V層にかけて分布している。産出層位はIV・V層上部にレベルを求めることができる。

母岩別資料 6母岩が認められる。その内訳は安山岩5母岩9点、珪質頁岩1母岩1点である。安山岩の石材が主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩50の4点がややまとまる。母岩と器種の間関係を見ると、主要な器種はごく少数の出土であり、母岩と器種の特徴的な関係は看取されないが、安山岩50には石核と剥片があり、この母岩による剥片生産の限定した母岩消費が想定される。

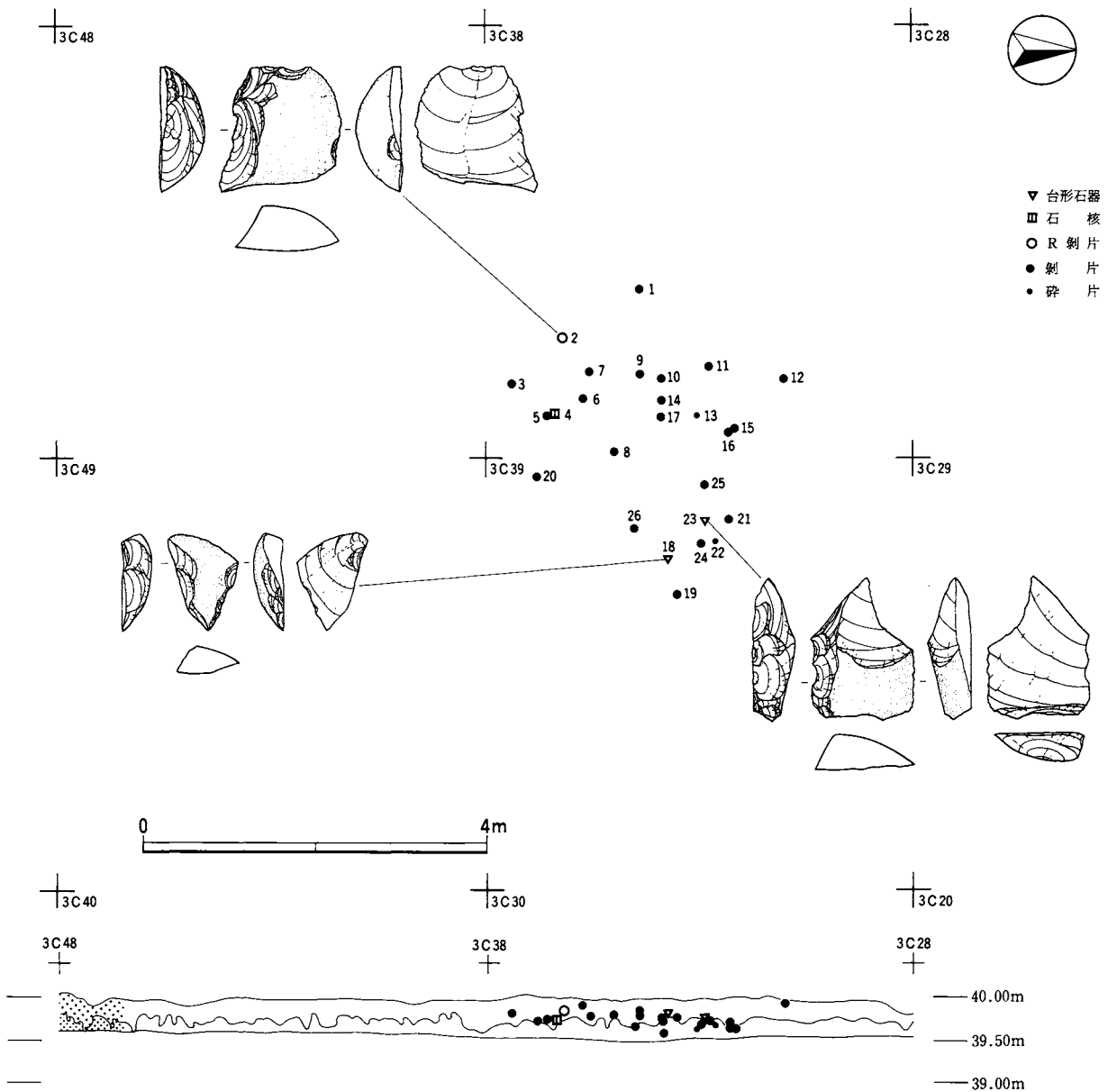
出土遺物 小規模なブロックであり、主要な器種としては削器が1点出土したのみである。また、安山岩を母岩とした石核は4点と出土点数の割に器種構成に占める割合が多い。

削器 1は削器である。厚味があり背面に自然面を残置する縦長剥片を素材とする。背面左側縁に幅広い調整加工とやや急角度な細部加工が連続し、鋸歯縁状の刃部を形成する。

原石 2は原石である。黒色緻密安山岩（ガラス質安山岩）を石材としている。多面体を呈する楕円礫であり、下端部が一部剥がれている。

石核 4 a + bは石核どうしが接合し、原石の形状が復元される接合資料である。まず厚味のある楕円礫の原石が横方向に4 aと4 bに2分割される。4 aの石核は、この分割面を作業面として上下端部の礫面を打面として、幅広い剥片を剥片剥離している。4 bの石核は、分割面に打面調整的な2回ほどの剥離を行い、分割面を打面に正面から側面を作業面として、打点を横に移動して小振りな剥片を剥片剥離する。

剥片 3は珩質頁岩23を母岩とする横長剥片である。



第121図 第27ブロック器種別分布

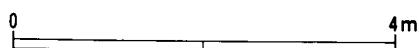
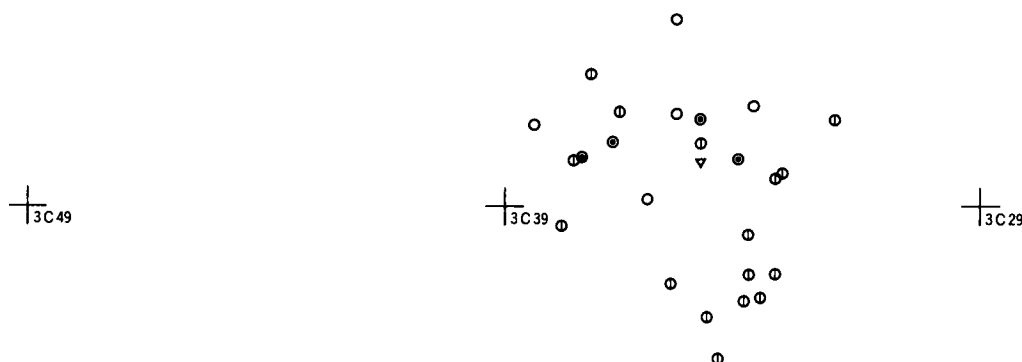
3C48

3C38

3C28



- 安山岩50
- 安山岩53
- ◎ 安山岩54
- ▼ ホルンフェルス3



第122図 第27ブロック母岩別分布

11 第27ブロック (第121～125図、表70・71、図版5・43・44)

分布状況 調査区北西側、L地点で調査されたブロックである。3C区北東端に位置している。北東側に離れて第26ブロック、東側に第28ブロック、南西側に第29ブロックが位置している。また、第8礫群と分布が重複する。

遺物総数は26点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。中央部に空白部があり、この部分に第8礫群が集中する。3C38区から3C39区に東西方向にやや長い不整形円形状に分布する。分布範囲は南北3.4m、東西3.5mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。土層断面への投影では、IV・V層上部からIII層下部にかけて分布している。産出層位はIV・V層上部からIII層下部にレベルを求めることができる。

母岩別資料 4母岩が認められる。その内訳は安山岩3母岩25点、ホルンフェルス1母岩1点である。安山岩の石材が圧倒的に主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩53の16点、安山岩50の5点がある。母岩と器種の間関係を見ると、主要な器種は、安山岩53から台形石器が生産されており、石核はないものの剥片も多く出土し、この母岩により台形石器の生産を目的とした母岩消費が想定される。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器としては台形石器が2点出土したのみである。剥片主体の器種構成のブロックである。

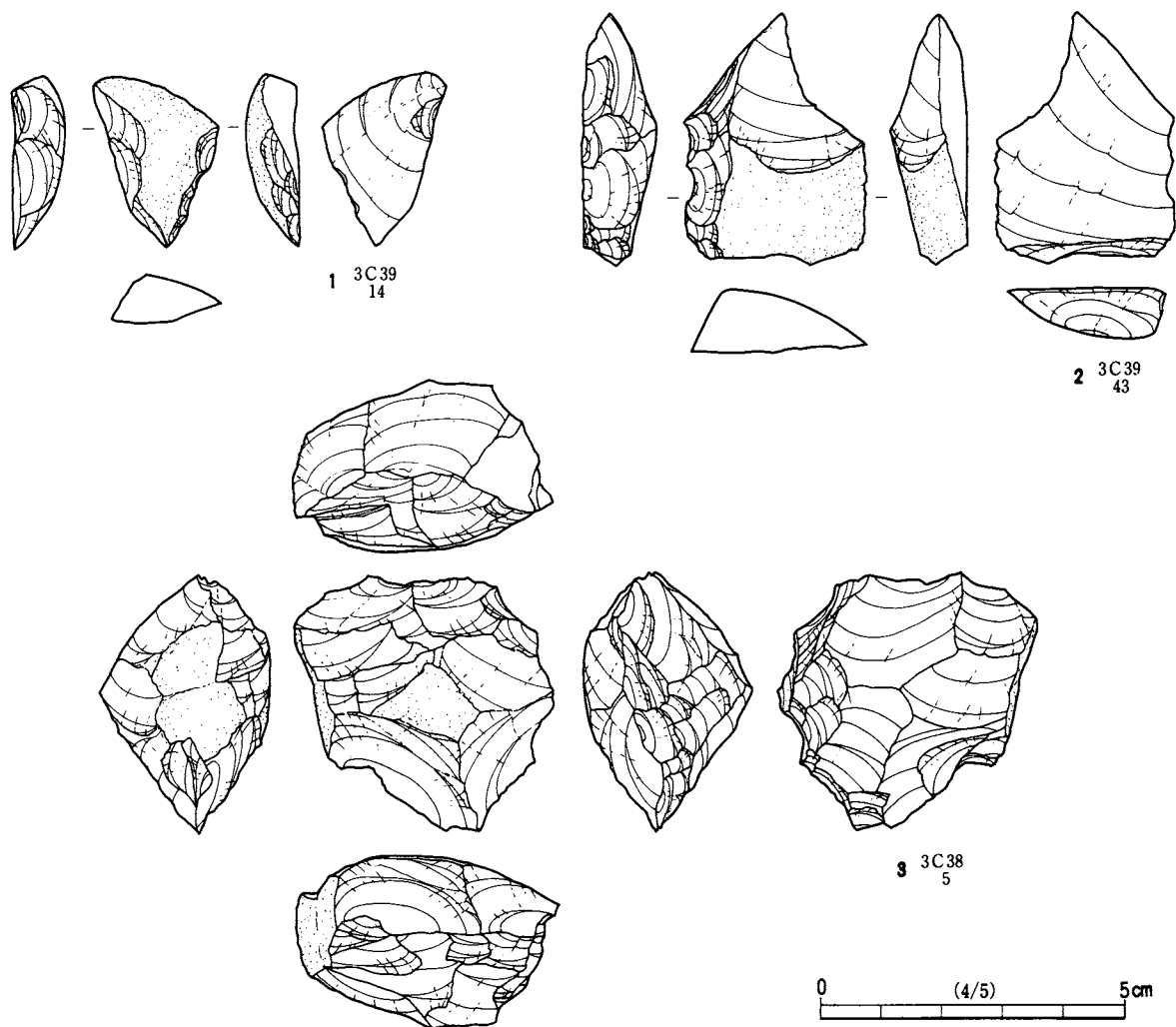
台形石器 1・2は台形石器である。1は幅広な剥片を斜位に用いて素材としている。素材の末端と側

縁に深い調整加工と細部加工が連続し、尖った基部を整形する。刃部は自然面で構成されて、形状は逆三角形を呈する。2は打面部と端部を切断した縦長剥片を素材としている。素材を斜位にもちいて、背面左側縁に深い急角度調整加工が連続する。刃部はやや抉れた斜刃であり、形状は尖頭状になる。

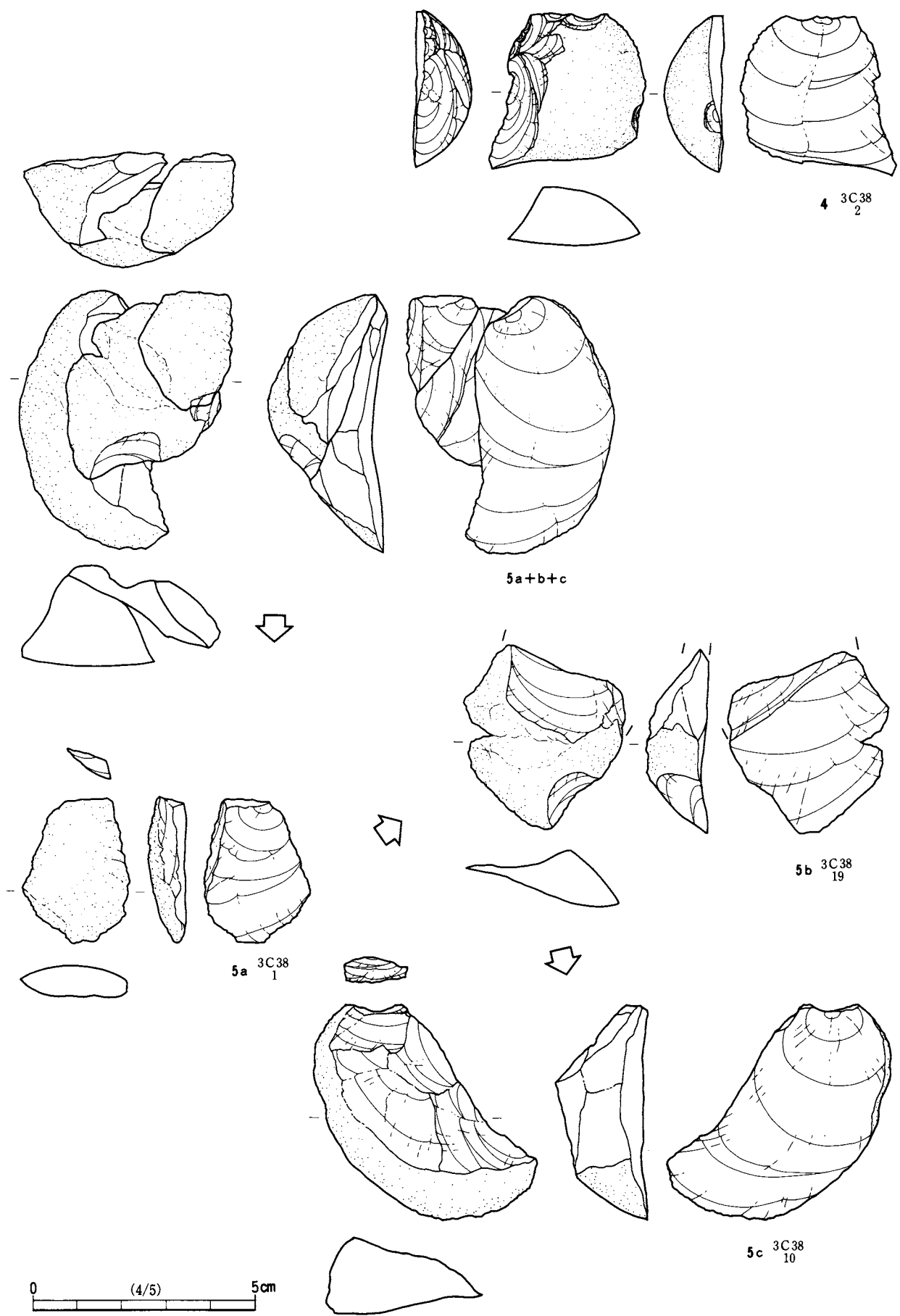
石核 3は石核である。厚い楕円礫を石核素材としていると思われ、正面・裏面で素材の縁辺の周囲を巡るように打点が移動し、中心方向に向かって剥離作業が進行している。いわゆる求心的な剥片剥離であり、残核形状は正面・裏面が亀甲状を呈する。

R剥片 4はR剥片である。背面が自然面で覆われる縦長剥片の背面左側縁に幅広な調整加工と細部加工が看取される。

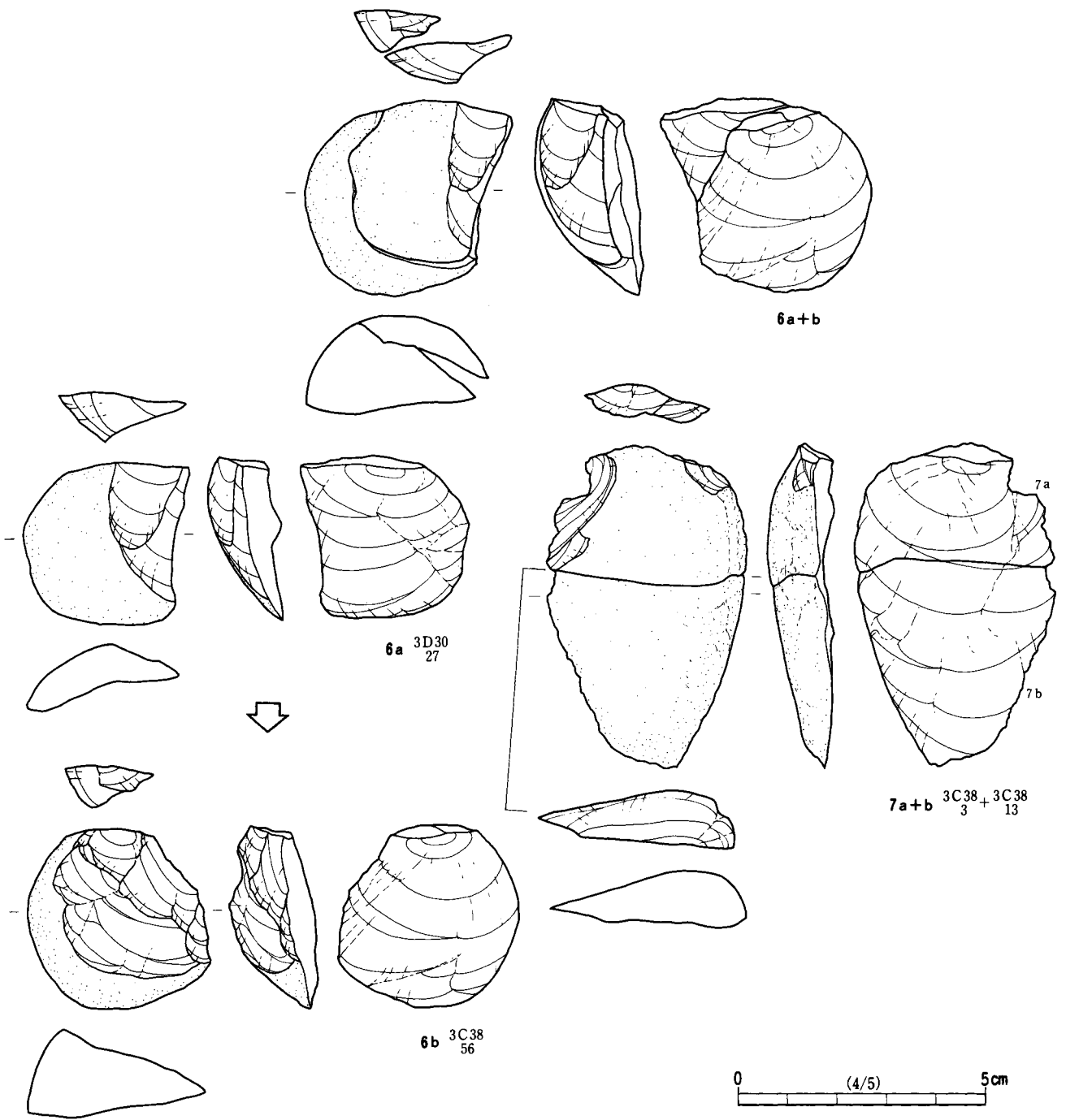
剥片 5～7は剥片である。5 a～cは剥片どうしの接合資料である。打点を左方向に移動しながら石核の礫皮面を剥ぐように剥離作業が行われる。作出された剥片は背面に自然面を残置する縦長剥片となっている。6 a + bも剥片どうしの接合資料である。平坦打面から後ろに後退するように剥離作業が行われる。作出された剥片は長幅比が同じほどの横長剥片、縦長剥片となっている。6 aは第28ブロックの出土である。7 a + bは器体中央で切断状に割れている2点が接合している。



第123図 第27ブロック出土石器 1



第124図 第27ブロック出土石器 2

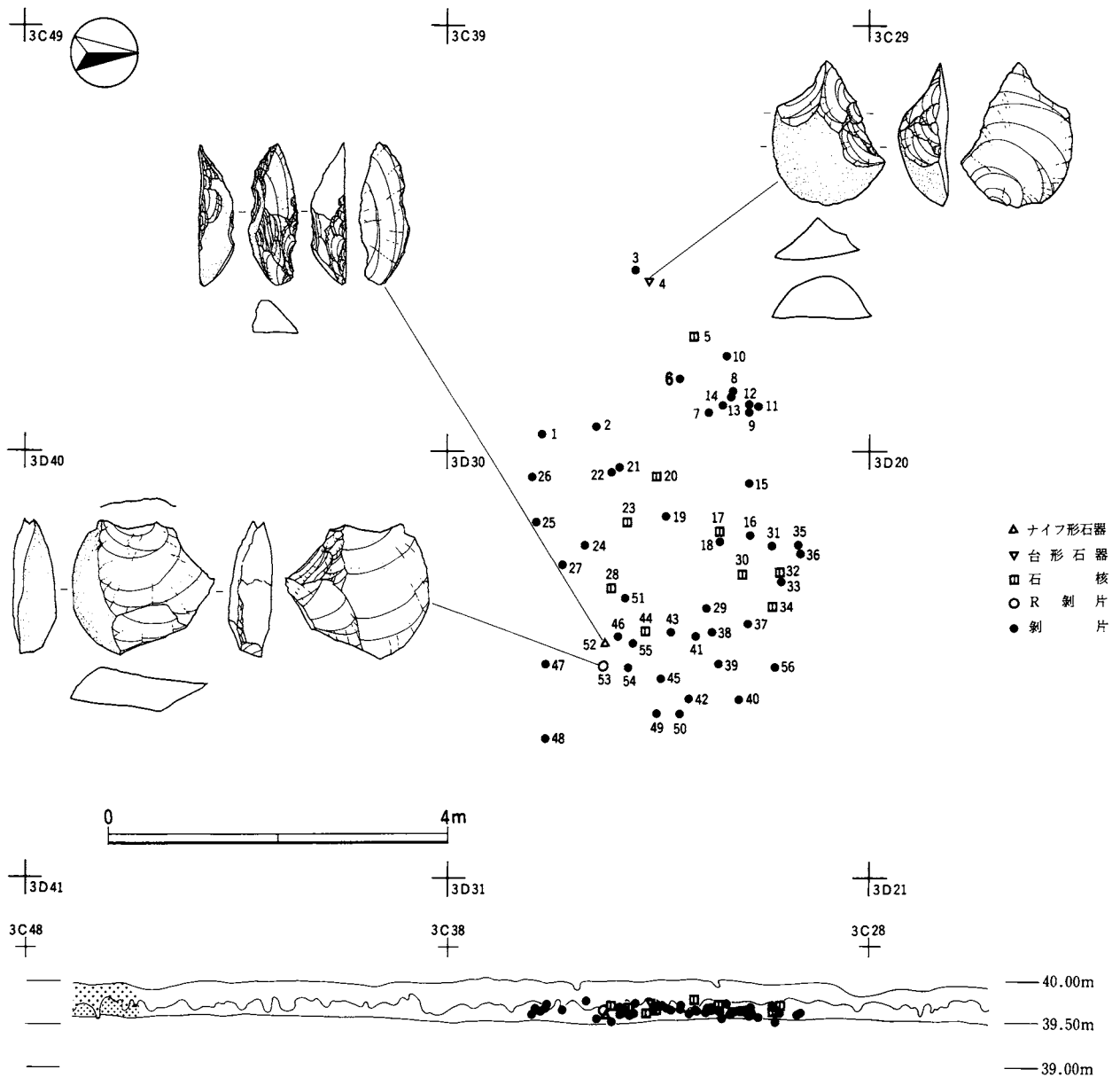


第125図 第27ブロック出土石器 3

12 第28ブロック (第126~133図、表72・73、図版5・44~47)

分布状況 調査区北西側、L地点で調査されたブロックである。3C区北東端、3D区北西端に位置している。北側に第26ブロック、西側に第27ブロック、南側に第29ブロック、北東側に離れて第30ブロックが位置している。また、第9礫群と分布が重複する。

遺物総数は56点であり、中規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。3C39区から3D30区に東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北3.2m、東西5.4mを測る。垂直分布はおおよそ0.4mの高低差がある。土層断面への投影では、VI層上部からIII層下部にかけて分布している。産出層位はIV・V層にレベルを求めることができる。



第126図 第28ブロック器種別分布

母岩別資料 4母岩が認められる。その内訳は安山岩3母岩39点、ホルンフェルス1母岩17点である。安山岩の石材が主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩54の21点、安山岩55の13点、ホルンフェルス3の17点がある。母岩と器種の間関係を見ると、主要な器種は、安山岩50からナイフ形石器、安山岩54から台形石器が生産されており、石核、剥片も出土している。これらの母岩によりナイフ形石器、台形石器の生産を目的とした母岩消費が想定される。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器としてはナイフ形石器、台形石器が1点ずつ出土したのみである。また、石核の出土が9点と器種構成に占める割合が比較的多い。

ナイフ形石器 1はナイフ形石器である。幅広い横長剥片を素材とし、素材を横位に用いている。調整加工は背面右側縁で下半部に、背面左側縁で上半部に急角度な調整加工が看取される。刃角は比較的多鈍角となる。

台形石器 2は台形石器である。幅広い縦長剥片を縦位に用いて素材としている。素材は自然面に覆われており、この末端部を深い幅広い調整加工で先端部を尖らせている。尖頭器あるいは尖頭削器と形態的には分類されるものかもしれないが、台形石器に含めて扱うこととする。

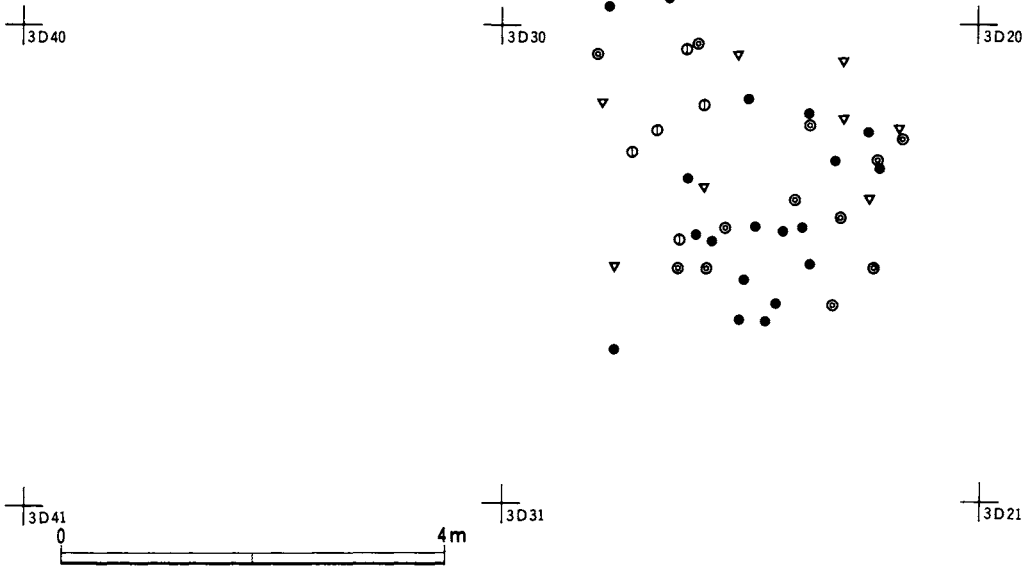
石核 3～11は石核である。3 a～cは石核と剥片の接合資料である。小形の楕円礫を石核素材として、まず3 cが剥離され平坦な面が形成される。その面を打面として石核の長軸端部を打点に数回の剥離作業が行われる。そして、打面を下端部に移動して剥離作業を行う時に3 a、3 bの2つに分割してしまったと考えられる。3 aはさらに下端部の稜から左側面に小振りな剥離作業が行われる。3 bは下端部を切断するような剥離作業が見られる。4は厚い大形楕円礫を石核素材として、左方向からの剥離により4 cが剥がされている。その後、正面を打面に左面を作業面とする剥離作業と、左面を打面に正面を作業面とする剥離作業が看取され、ここに上面を打面に正面を作業面とする剥離作業が介在している。そして再び左面を打面に正面を作業面として4 bが剥離される。4 aは上面、正面で剥離作業が頻繁に行われる多面体の石核となっている。5 a・bは石核と剥片の接合である。扁平な分割礫を石核素材としている。素材の主要剥離面を作業面として5 bが剥離される。この剥離作業に先行して、上端では正面を打面に上面を作業面とする剥離作業が数回行われている。5 bが剥離された後に、正面を打面に右側面を作業面とする幅広い剥離作業が看取される。6は長方形に分割された楕円礫を石核素材にしている。正面及び左側面で上面を打面とした剥離作業が観察される。7は分割面を打面に打点を左右に移動して、やや鋭角な剥離作業が正面及び両側面で認められる。8は楕円礫の上下端を数回の剥離で両設打面を設定し、正面、左側面、裏面で上下面からの剥離作業が看取される。9は礫から剥離された扁平な剥片を石核素材としている。素材の平坦な主要剥離面を打面に正面の礫面を作業面として上端、左側縁から剥離作業が見られる。10は求心的に剥離が進行するもので、裏面の剥離作業の後に、この作業面を打面として、正面で周囲からの剥離作業が看取される。11は多面体の石核で、90度の打面転移を基調としながら、上面、正面、左側面、底面で剥離作業が認められる。

R剥片 12はR剥片である。主要剥離面の左側縁側に幅広い調整加工と細部加工が看取される。

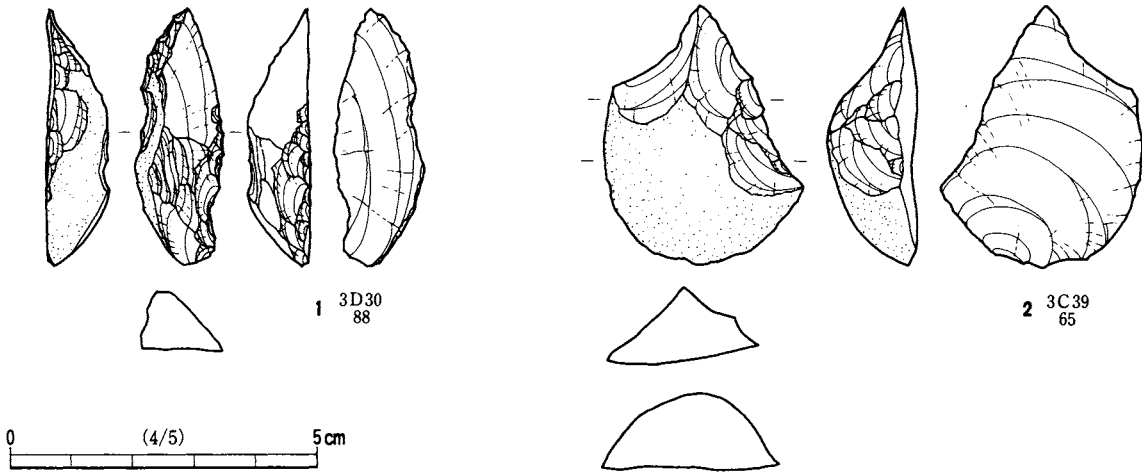
剥片 13 a・bは剥片である。自然面を広く残置する頭部調整の顕著な横長剥片である。おそらくこの器体が剥離されたときに2つに割れたものであろう。



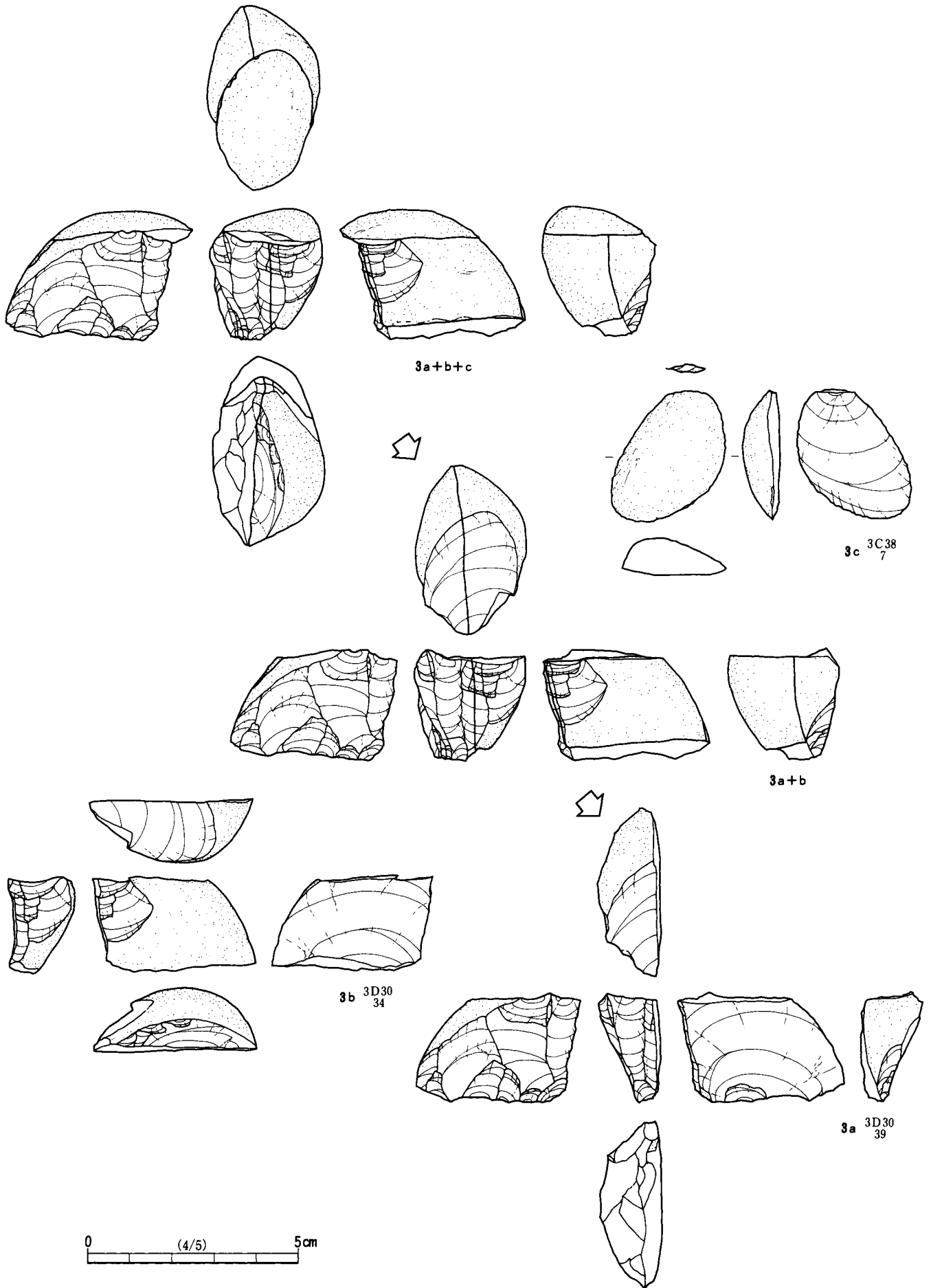
- 安山岩50
- 安山岩54
- ⊙ 安山岩55
- ▼ ホルンフェルス 3



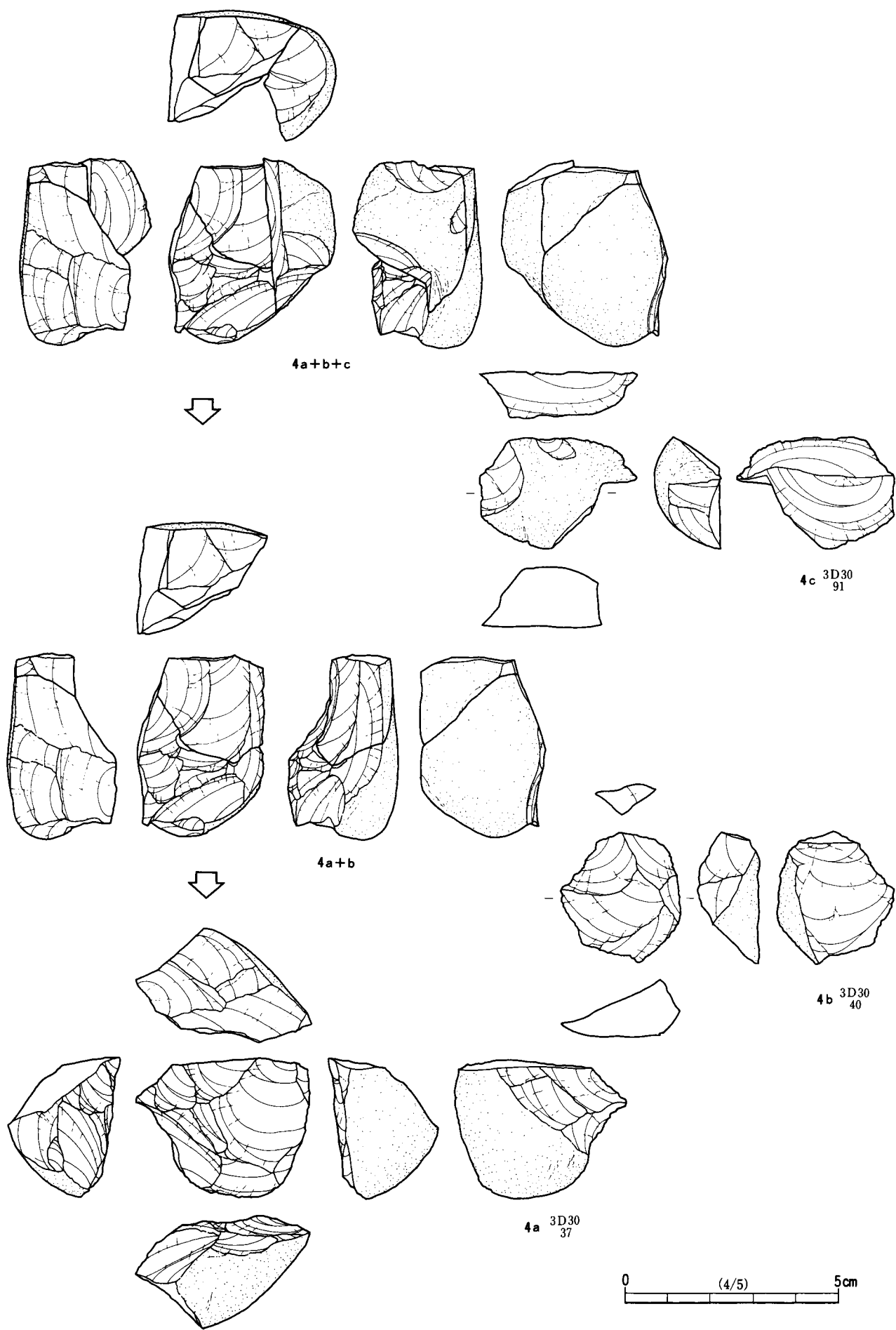
第127図 第28ブロック母岩別分布



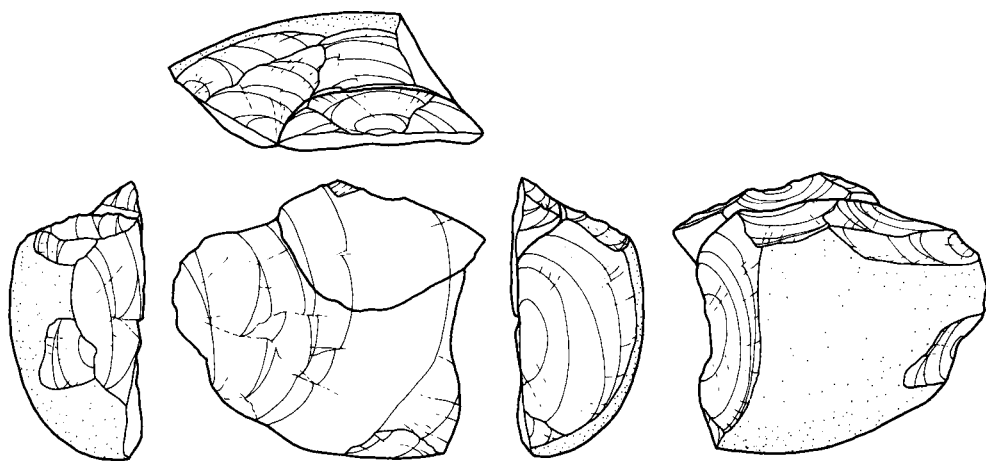
第128図 第28ブロック出土石器 1



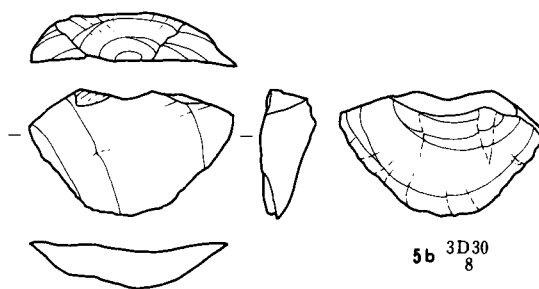
第129図 第28ブロック出土石器 2



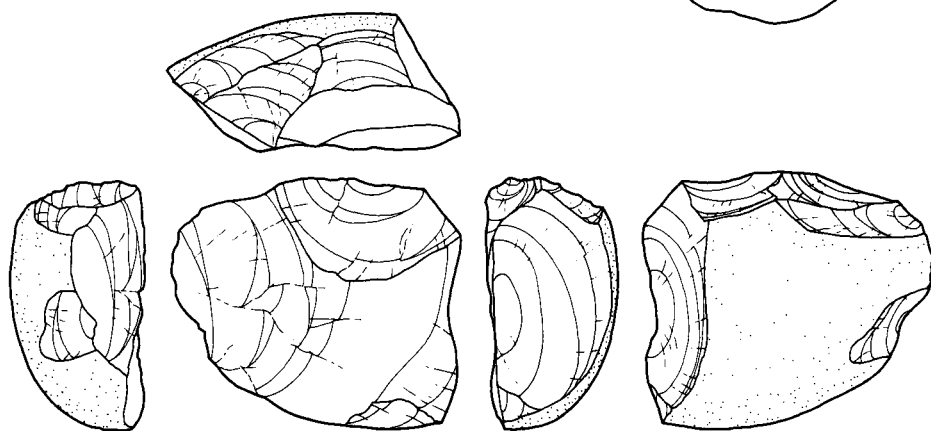
第130図 第28ブロック出土石器 3



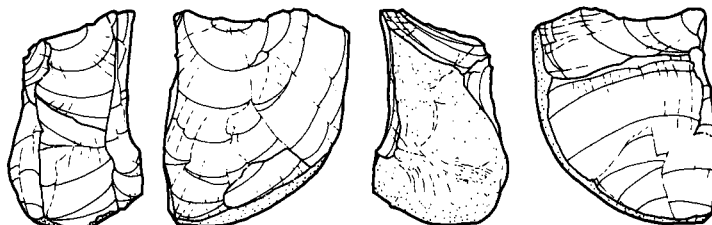
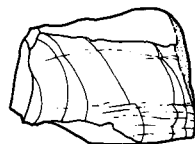
5a+b



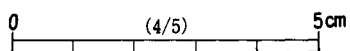
5b ^{3D30}₈



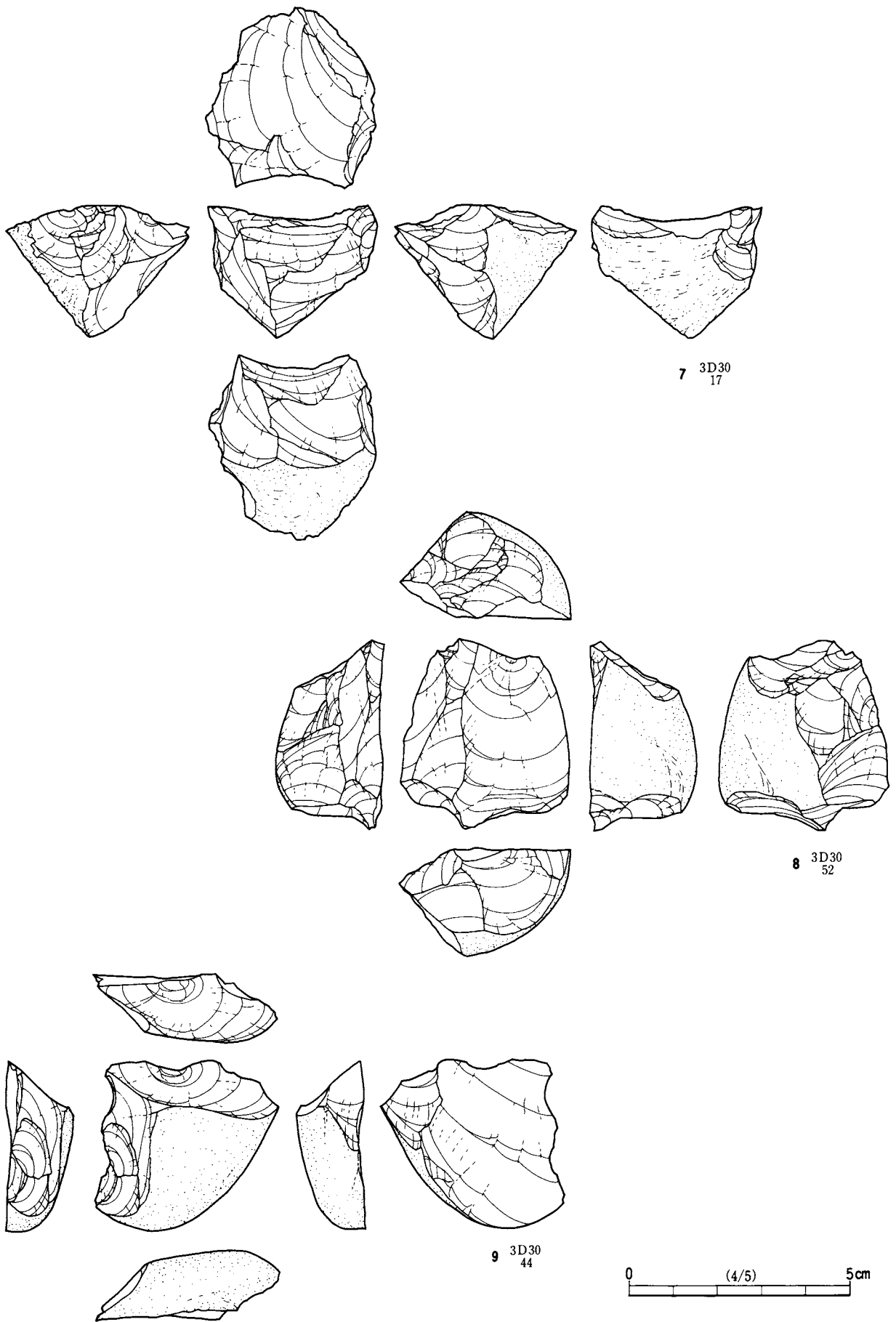
5a ^{3D30}₄₁



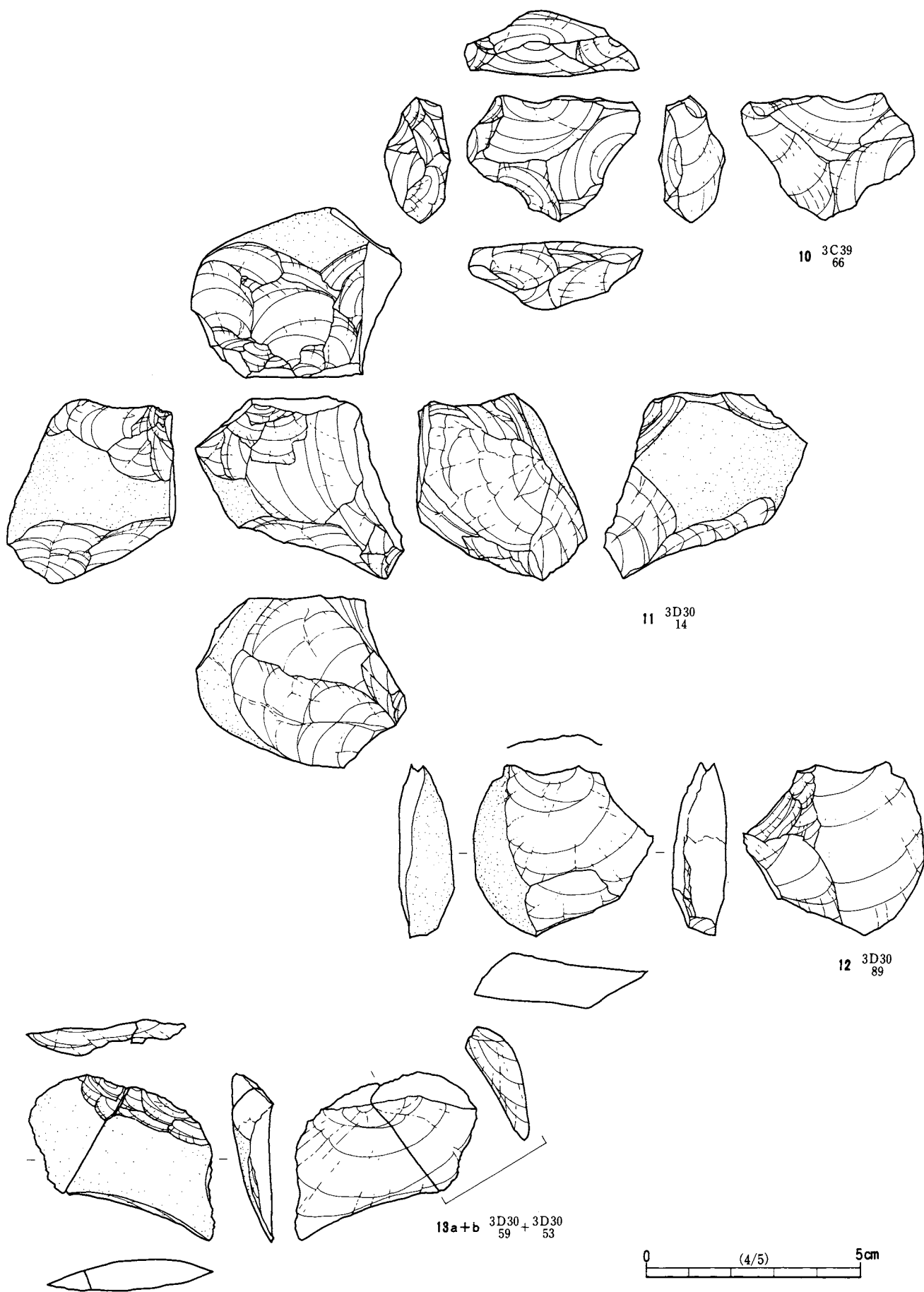
6 ^{3D30}₉



第131図 第28ブロック出土石器 4



第132図 第28ブロック出土石器 5

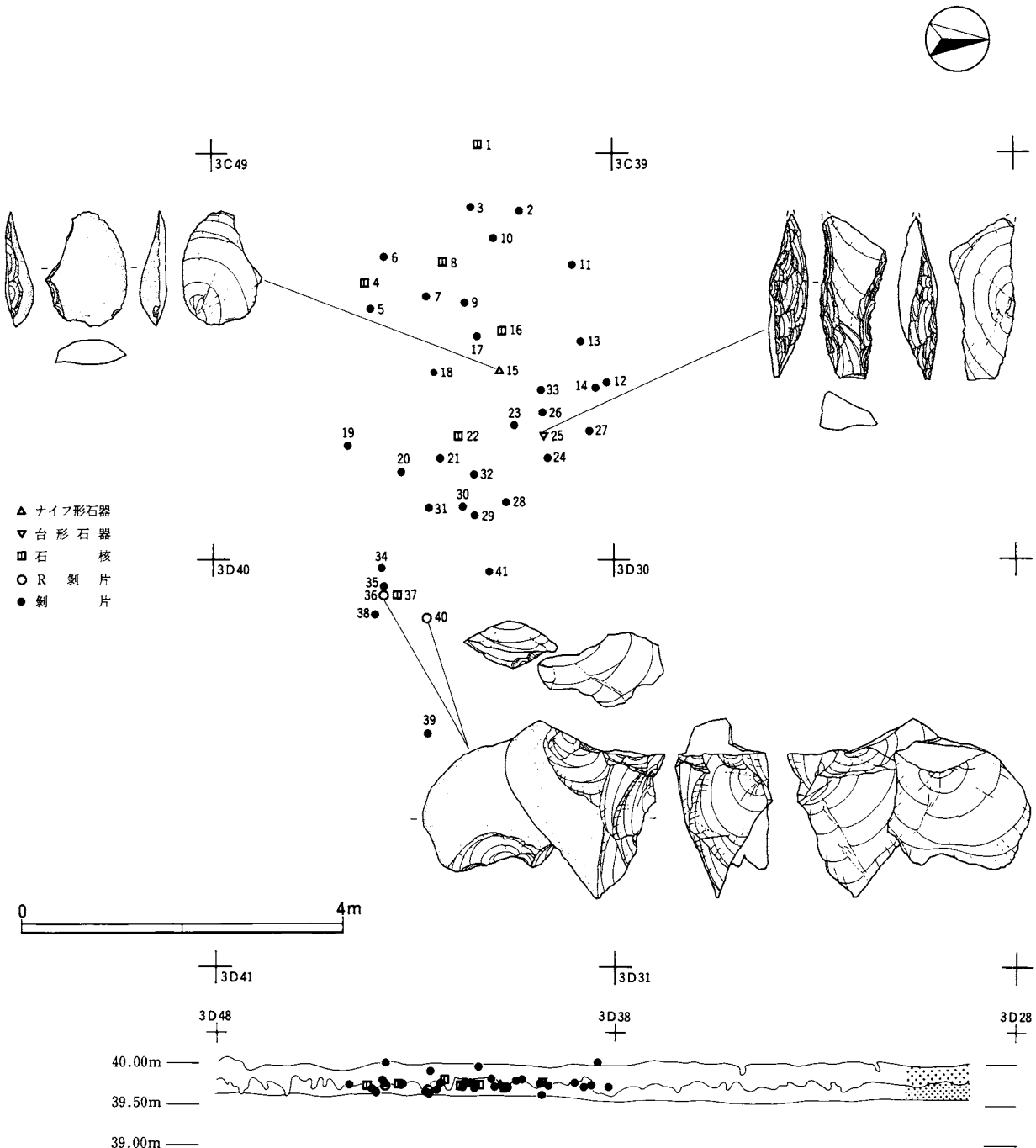


第133図 第28ブロック出土石器 6

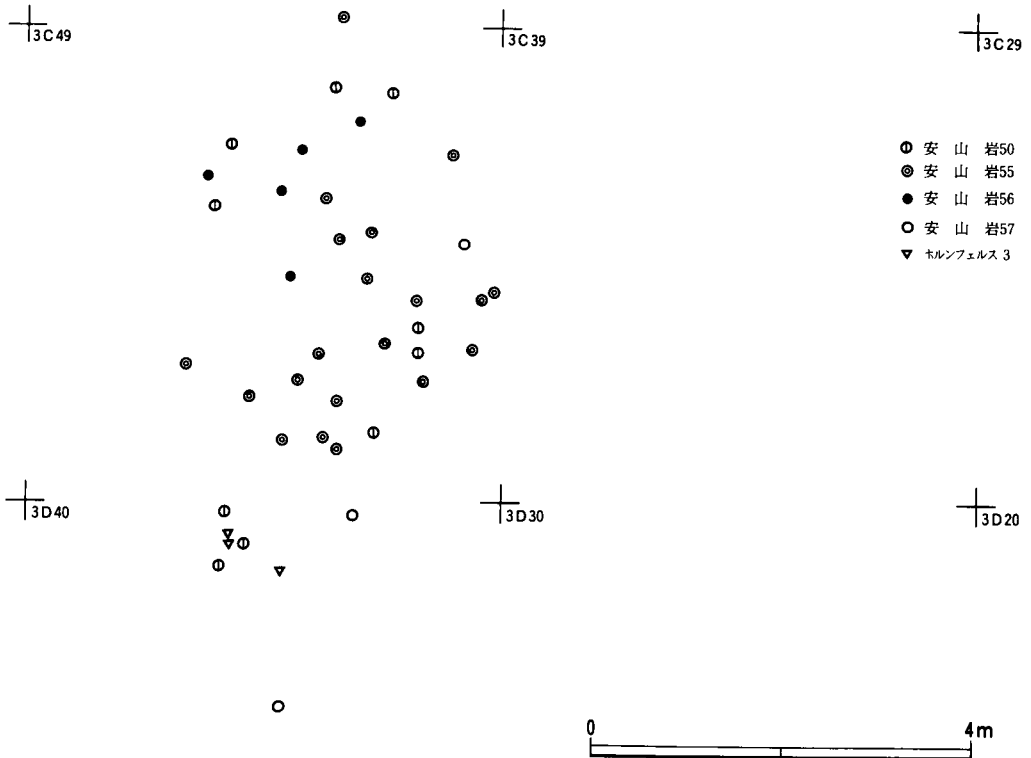
13 第29ブロック (第134~139図、表74・75、図版5・47~49)

分布状況 調査区北西側、L地点で調査されたブロックである。3C区北東端、3D区北東端に位置している。北側に第27ブロック、第28ブロックが位置している。また、第10礫群と分布が重複する。

遺物総数は41点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。3C48・49区から3D40区に東西方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北3.3m、東西7.2mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。土層断面への投影では、IV・V層からIII層にかけて分布している。産出層位はIV・V層上部からIII層下部にレベルを求めることができる。



第134図 第29ブロック器種別分布



第135図 第29ブロック母岩別分布

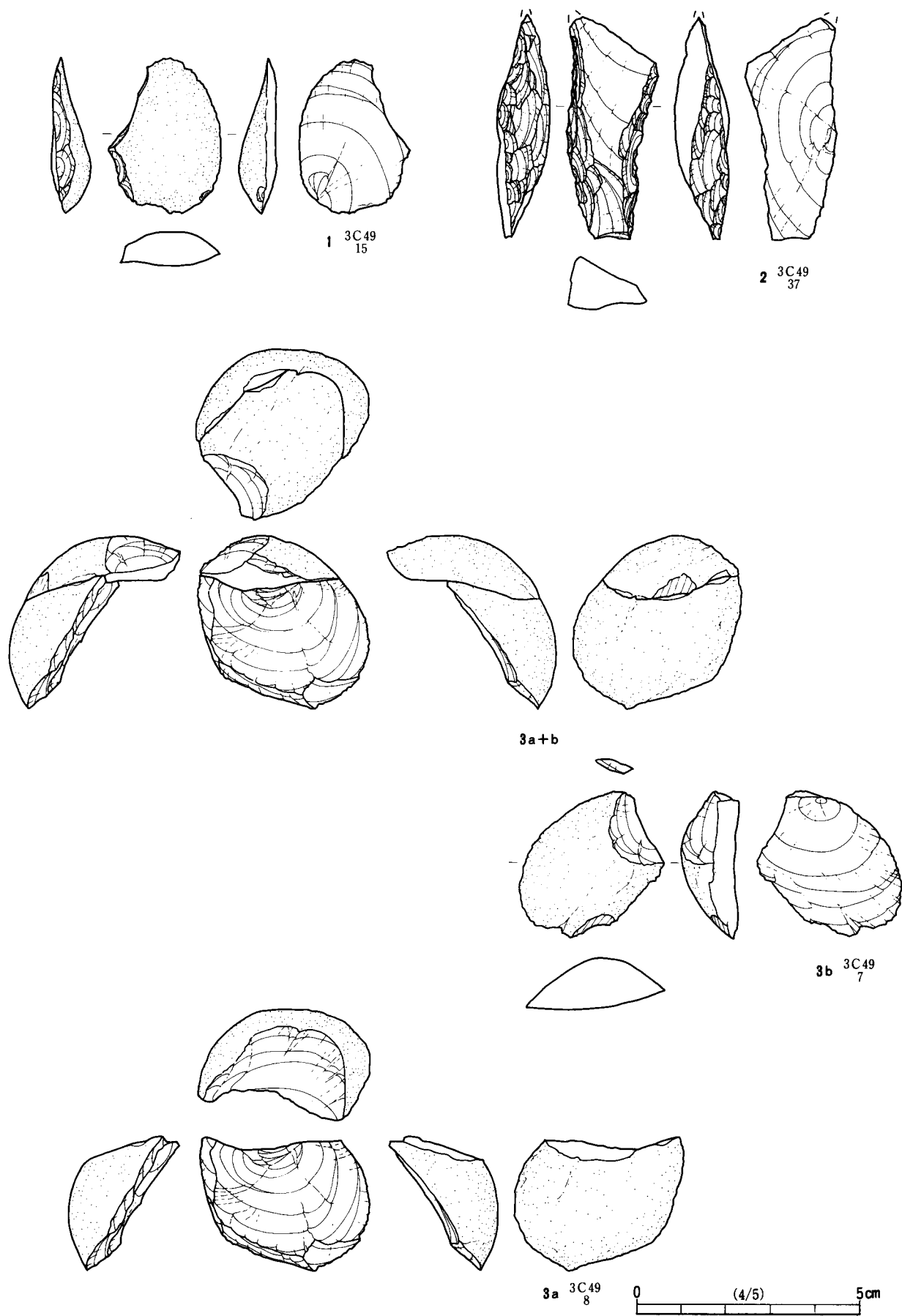
母岩別資料 5母岩が認められる。その内訳は安山岩4母岩38点、ホルンフェルス1母岩3点である。安山岩の石材が圧倒的に主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩50の10点、安山岩55の20点がある。母岩と器種の間接関係を見ると、主要な器種は、安山岩50から台形石器、安山岩55からナイフ形石器が生産されており、石核、剥片も出土している。これらの母岩によりナイフ形石器、台形石器の生産を目的とした母岩消費が想定される。このようなあり方は第28ブロックと等質的である。

出土遺物 小規模なブロックであり、主要な利器としてはナイフ形石器、台形石器が1点ずつ出土したのみである。また、石核の出土が6点と器種構成に占める割合が比較的多い。

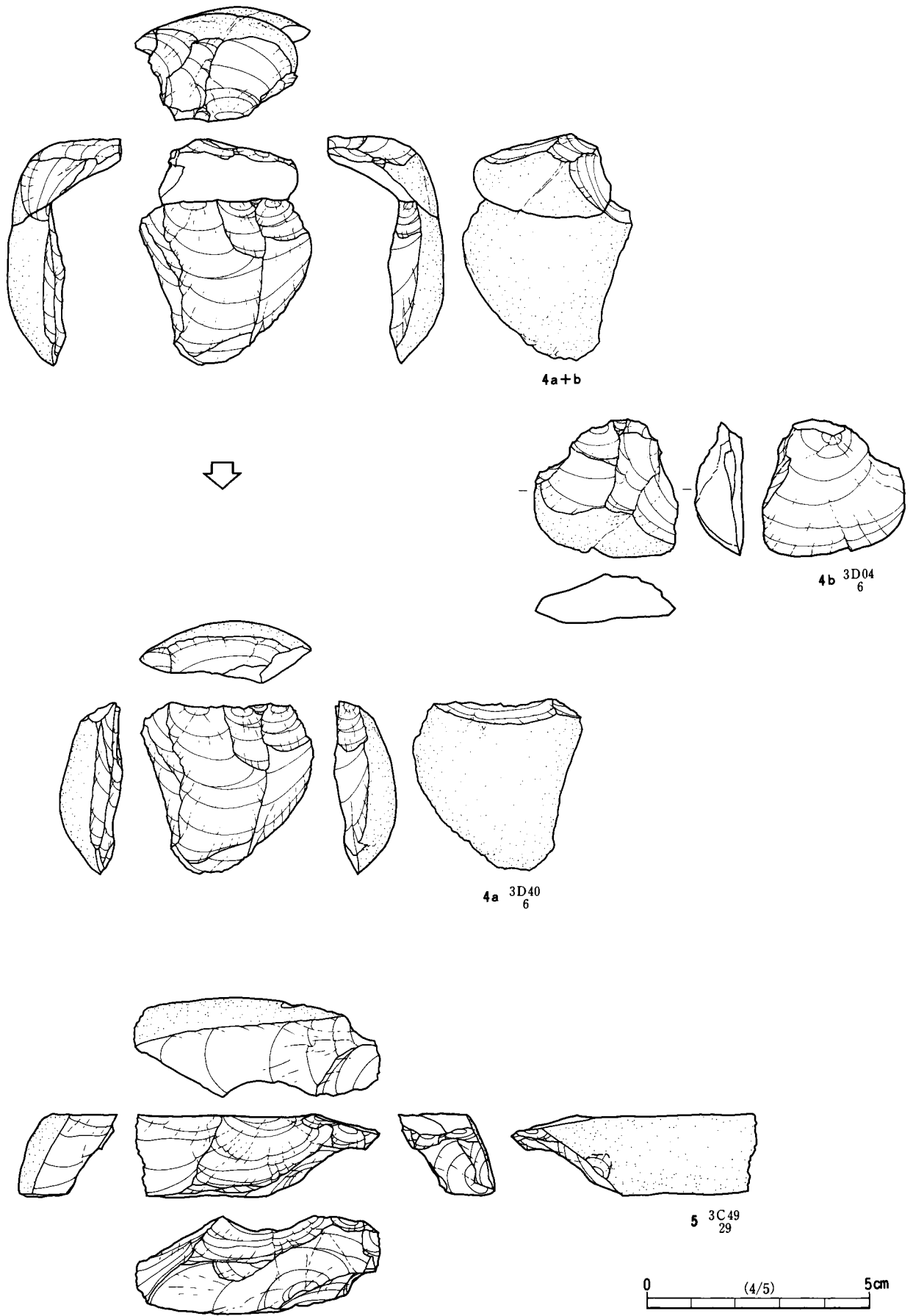
ナイフ形石器 1はナイフ形石器とした。幅広い縦長剥片を素材とし、素材を縦位に用いている。調整加工は背面左側縁で連続した調整加工が看取される。

台形石器 2は台形石器である。切出形のもので、厚味のある横長剥片素材を横位に用いて、背面両側縁を急角度で幅広い調整と細部調整により、器体先端の刃部が最大幅を持つように整形している。

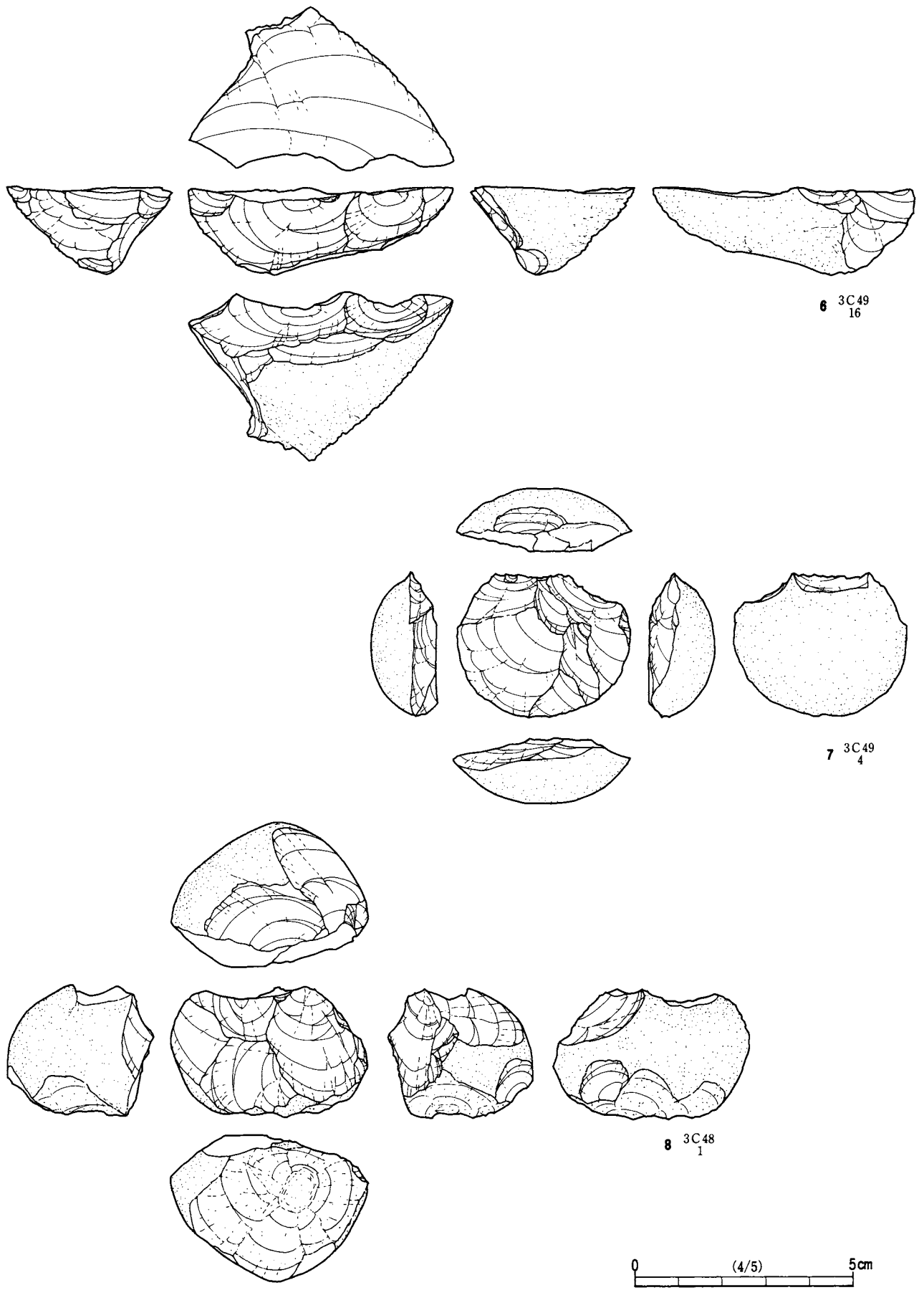
石核 3～8は石核である。3 a・bは石核と剥片の接合資料である。小形楕円礫を石核素材として、上面で3 bが剥離されて、その面を打面として正面で幅広い剥離作業が見られる。4 a・bは石核と剥片の接合資料である。4 a・cは3と同種の接合資料である。楕円礫の上端から4 bが剥離される。その面を打面として、4 aの正面で剥離作業が数回行われる。剥がされている剥片は縦長剥片である。5は礫を数分割にした剥片を石核素材としている。素材の平坦な背面と腹面のなす側面（実測図の正面）を作業面として、幅広い剥片を剥離作業している。6は素材の平坦な主要剥離面を打面として、鋭角な剥離作業が正面で看取される。7は小形楕円礫素材のもので、小振りな剥離作業が上端を打面として進行している。8も楕円礫を素材とするもので、上面は正面方向からの剥離作業、正面は上面及び左側面方向からの剥離



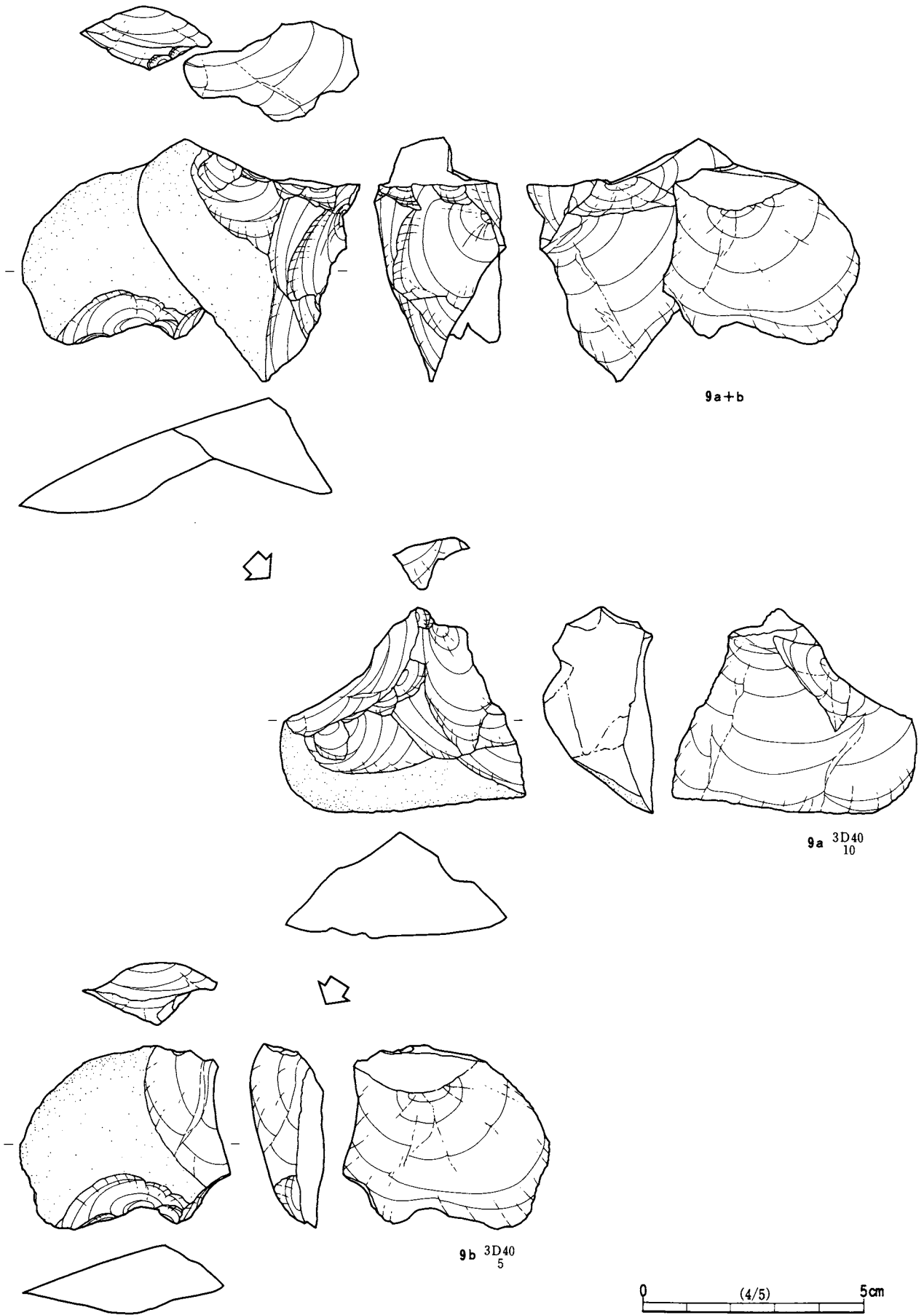
第136図 第29ブロック出土石器 1



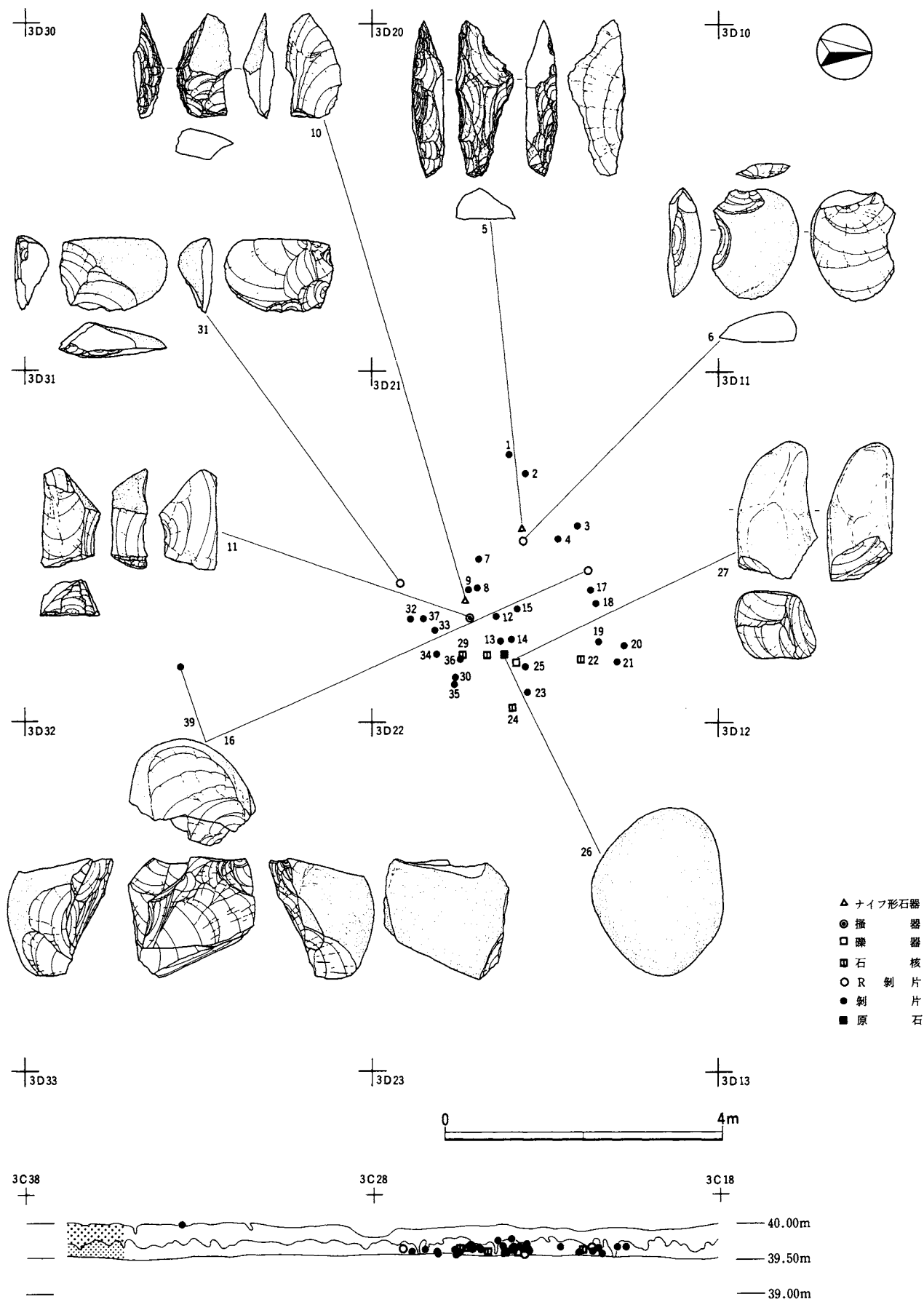
第137図 第29ブロック出土石器 2



第138図 第29ブロック出土石器 3



第139図 第29ブロック出土石器 4



第140図 第30ブロック器種別分布

作業が観察される。

R 剥片 9 a・bはR剥片どうしの接合資料である。ホルンフェルス3を母岩とする。平坦打面から打点を横に移動して、やや厚い横長剥片9 a、9 bが剥離されている。9 aは腹面左側縁上部に平坦な二次加工が認められる。9 bは背面下端部に幅広な調整加工と細部加工が集中する。

14 第30ブロック (第140～146図、表76・77、図版5・50・51)

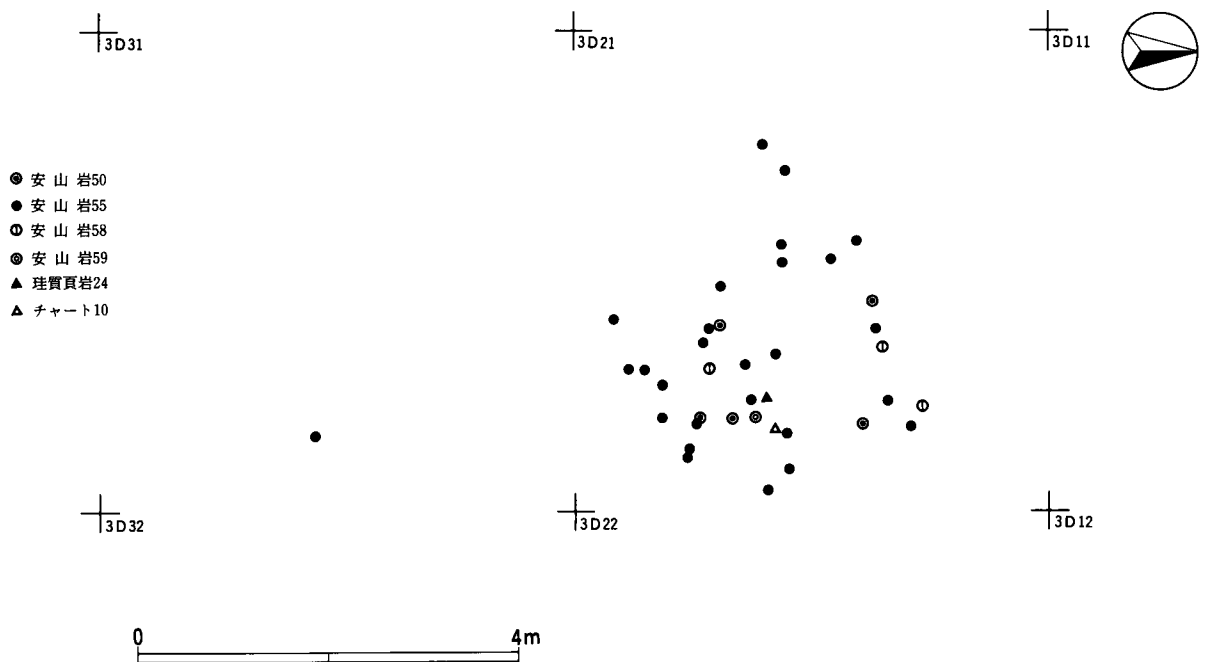
分布状況 調査区北西側、L地点で調査されたブロックである。3 D区北東側に位置している。西側に第26ブロック、第28ブロックが位置している。また、第11礫群と分布が重複する。

遺物総数は38点であり、小規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。分布は北側に遺物が集中し、南方向に1点が離れて存在する。中心部が空白になり、この部分に第11礫群の構成礫が集中する。3 D21区から3 D31区に南北方向に長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北6.4m、東西3.6mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。土層断面への投影では、IV・V層からIII層にかけて分布している。産出層位はIV・V層上部にレベルを求めることができる。

母岩別資料 6母岩が認められる。その内訳は安山岩4母岩36点、珪質頁岩1母岩1点、チャート1母岩1点である。安山岩の石材が圧倒的に主体を占める石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩55の27点がある。母岩と器種の関係を見ると、主要な器種は、安山岩55からナイフ形石器が生産されており、石核、剥片も出土している。この母岩によりナイフ形石器の生産を目的とした母岩消費が想定される。

出土遺物 主要な利器としてはナイフ形石器が2点、搔器が1点、礫器が1点出土したのみである。また、石核の出土が4点と器種構成に占める割合が比較的多い。

ナイフ形石器 1・2はナイフ形石器である。切出形のものである。幅広な横長剥片の素材を横位にもちいている。背面両側縁に急角度な平坦調整と細部加工により尖った基部を整形している。ナイフ形石器



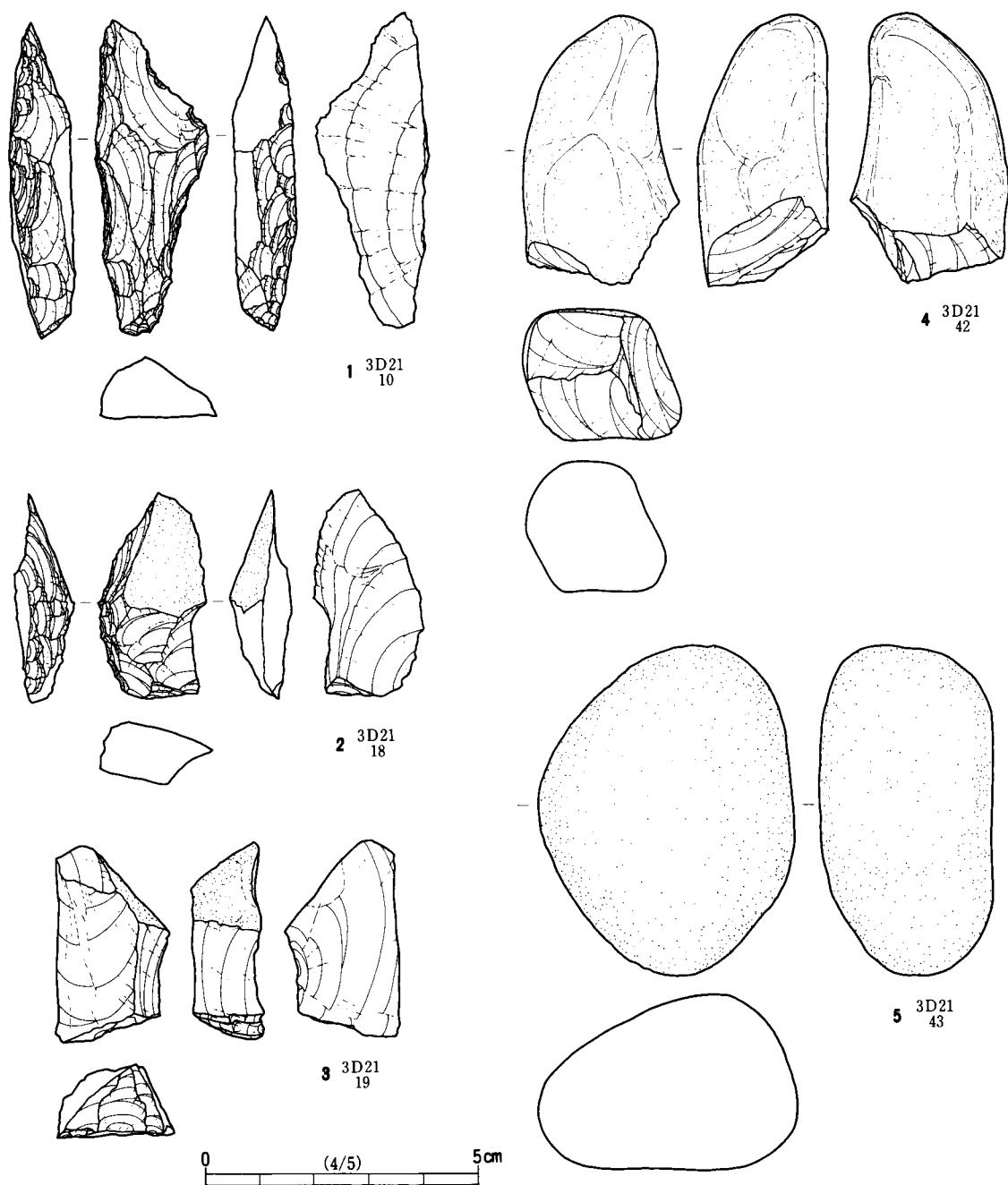
第141図 第30ブロック母岩別分布

と台形石器の峻別に關しては便宜的に器体軸と刃部の先端角のなす角度が鋭角となるものをナイフ形石器、鈍角となるものを台形石器とした。2は横長剝片を素材として、素材を斜位に用いるもので、背面左側縁に連続した調整加工が見られる。器体形状は、基部が長方形をなし先端部が尖る。

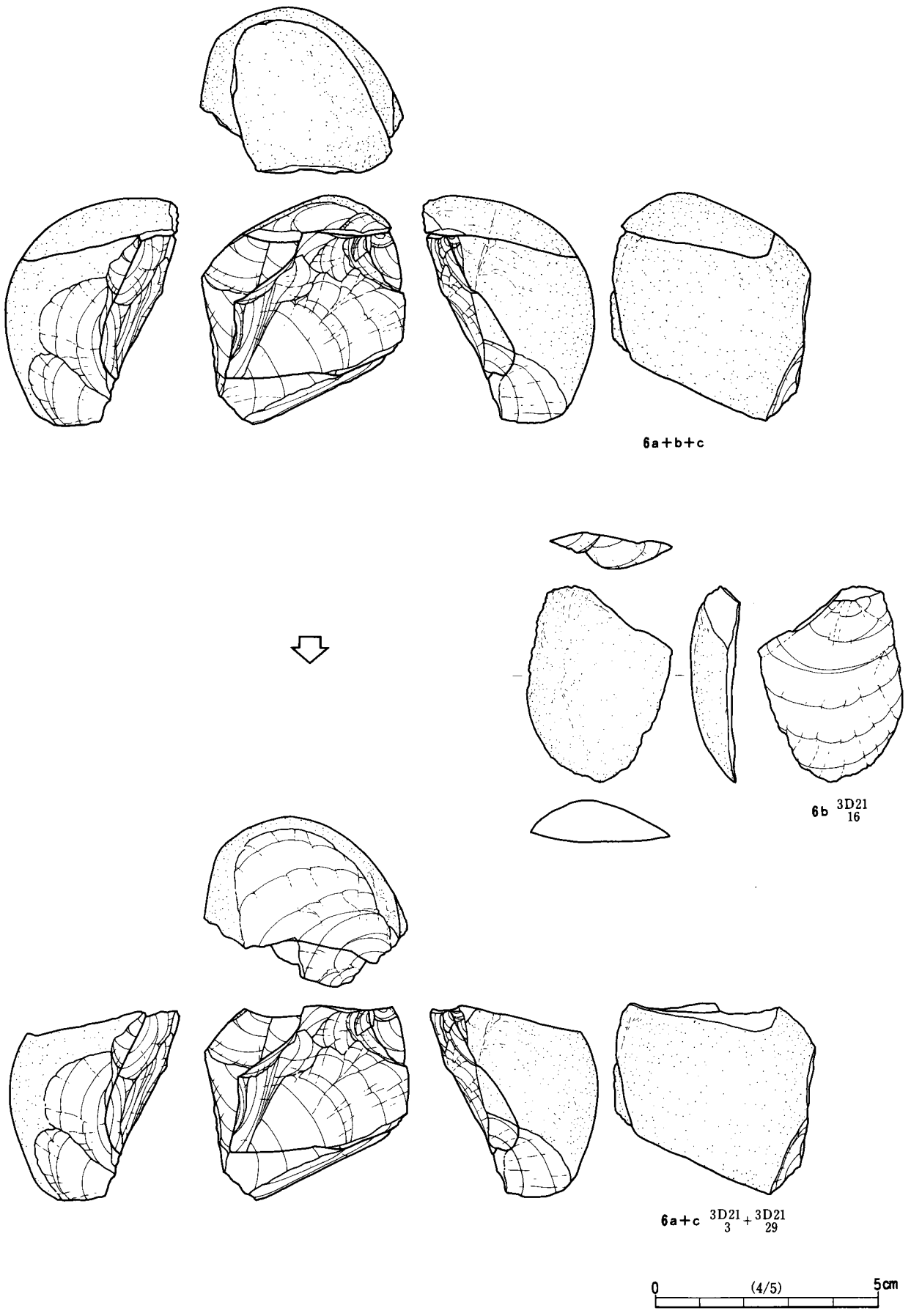
搔器 3は搔器である。横長剝片を素材とし、下端部を急角度のフルーティング状の調整加工により刃部を形成している。

礫器 4は礫器である。角柱状の礫の下端部を、幅広な加工により尖らせている。形態から礫器としたが機能的には石核に分類されようか。

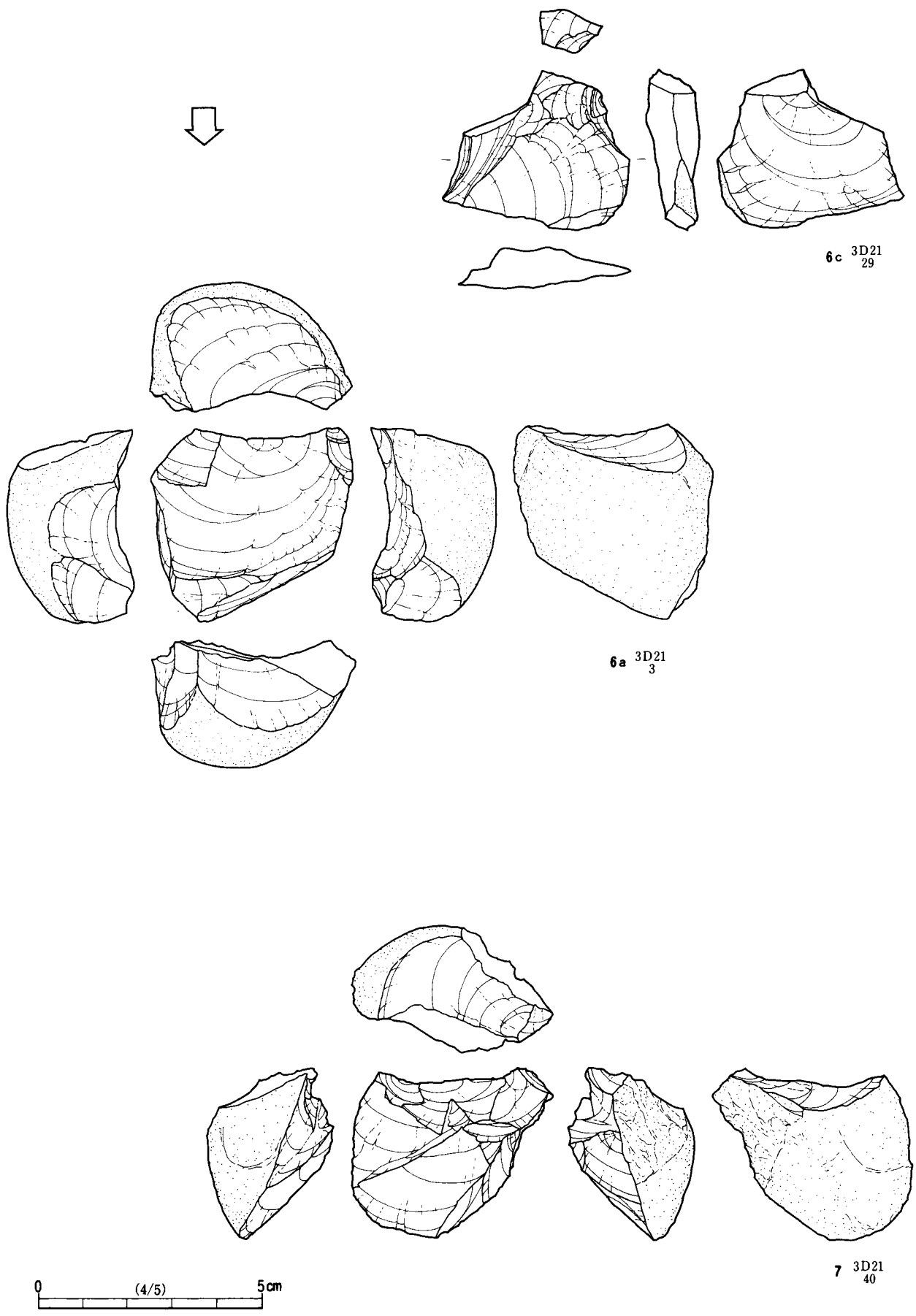
原石 5は原石である。石材は黑色緻密安山岩（ガラス質黑色安山岩）である。



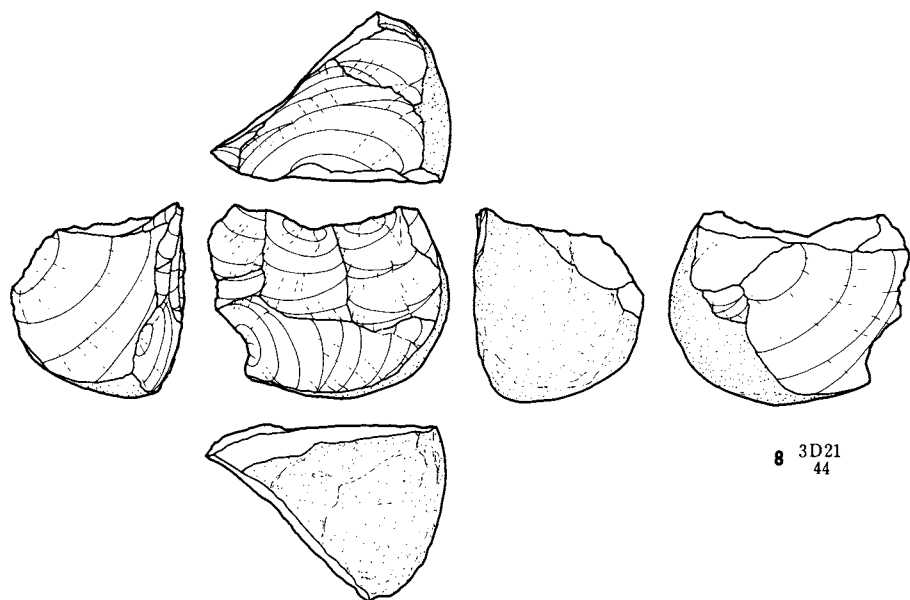
第142図 第30ブロック出土石器 1



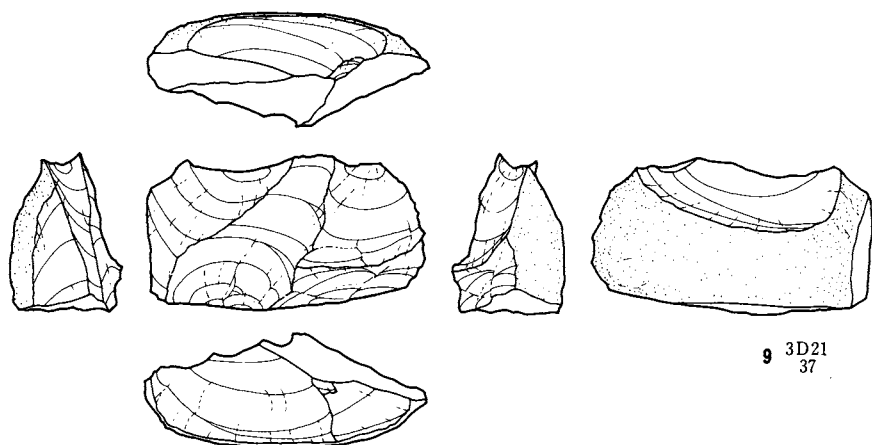
第143図 第30ブロック出土石器 2



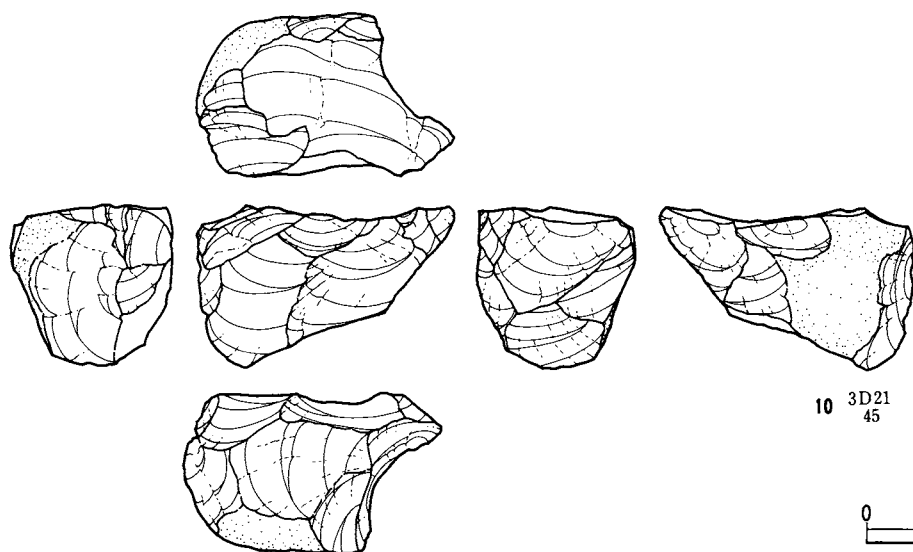
第144図 第30ブロック出土石器 3



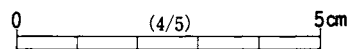
8 3D21
44



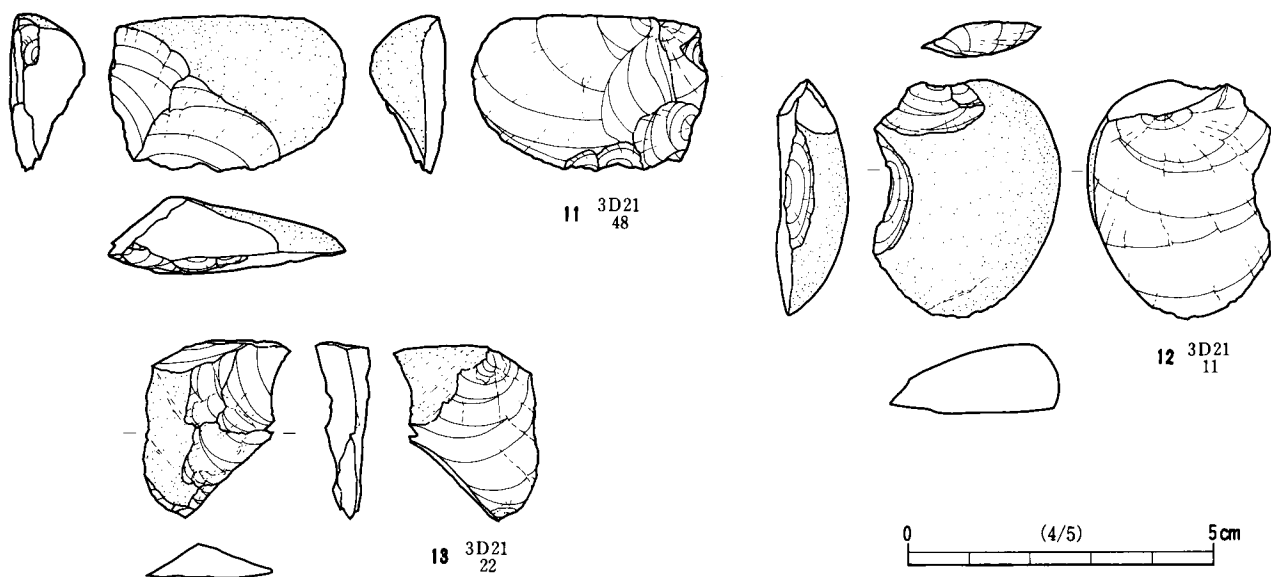
9 3D21
37



10 3D21
45



第145図 第30ブロック出土石器 4



第146図 第30ブロック出土石器 5

石核 6～10は石核である。6 a～cは石核と剝片の接合資料である。楕円礫を石核素材として、まず上面で6 bが剝離されて打面を設定する。そして、上面を打面に、正面を作業面として幅広な横長剝片である6 cが剝離されている。残核(6 a)は正面及び左側面に剝離作業が認められる石核となっている。7は礫から剝がされた厚い剝片を素材として、上面に打面を設定して、素材の主要剝離面で剝離作業が進行するものである。正面の剝離作業が主体であるが、右側縁を打点とした剝離作業も認められる。8は分割された楕円礫を石核素材としている。正面を作業面として、左側面を打面に横方向の剝離作業が見られ、その後、上面の平坦面からの剝離作業が数回行われている。剝離されている剝片は比較的細長い縦長剝片である。9は上下端部を切断するような剝離が行われ打面が設定される。この打面から正面を作業面として、打面を交互に転移して剝離作業が進行している。10は上面を打面として、打面の周囲を巡るように正面、右側面、裏面で剝離作業が認められる。

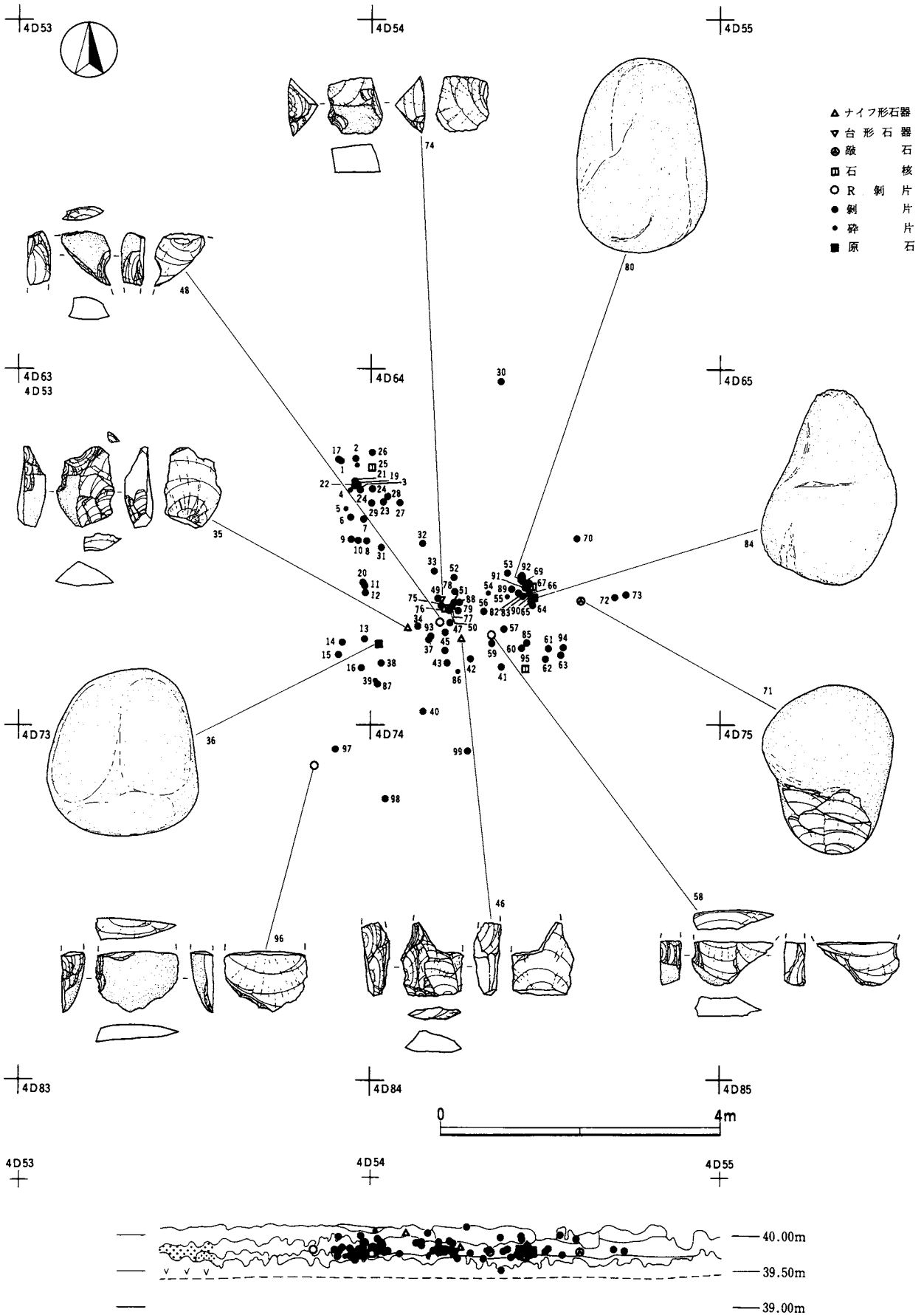
R剝片 11・12はR剝片である。11は腹面の左側縁から下端部に疎らな細部加工が見られる。12は背面左側縁に器体を扶えるような幅広な調整加工が看取される。

剝片 13は剝片である。単独母岩の珪質頁岩24を母岩とする。点状打面の縦長剝片である。

15 第31ブロック (第147～153図、表78～80、図版5・51～53)

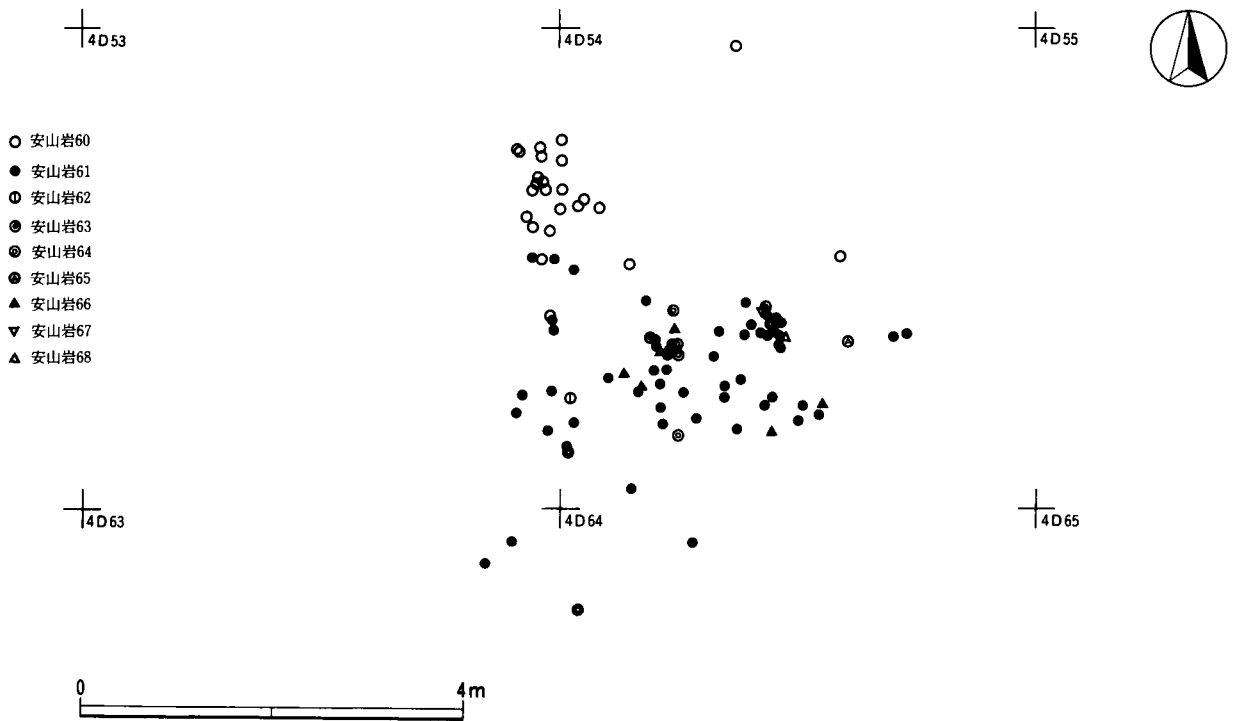
分布状況 調査区東側、S地点で調査されたブロックである。4 D区南西側に位置している。調査区の北東方向に向かって延びる舌状台地の括れ部東側に当たり、現況ではローム層は東側に水平に堆積している。また、第12礫群と分布が重複する。

遺物総数は99点であり、中規模のブロックとなっている。その分布は比較的まとまっている。ブロックの北東側と西側に密集する部分があり、その間に空白部がある。この空白部に第12礫群の構成礫が集中する。4 D63・64区から4 D73・74区に南北方向にやや長い楕円形状に分布する。分布範囲は南北5.8m、東西4.5mを測る。垂直分布はおおよそ0.6mの高低差がある。土層断面への投影では、VI層上面からII c層にかけて分布している。産出層位はIV・V層上面からIII層下部にレベルを求めることができる。

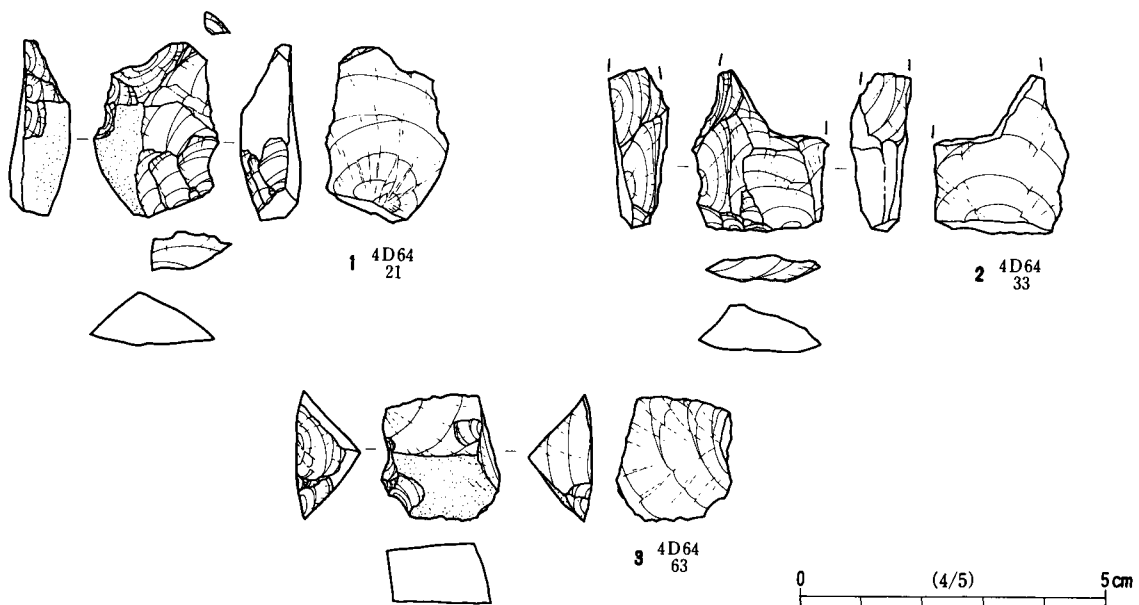


第147図 第31ブロック器種別分布

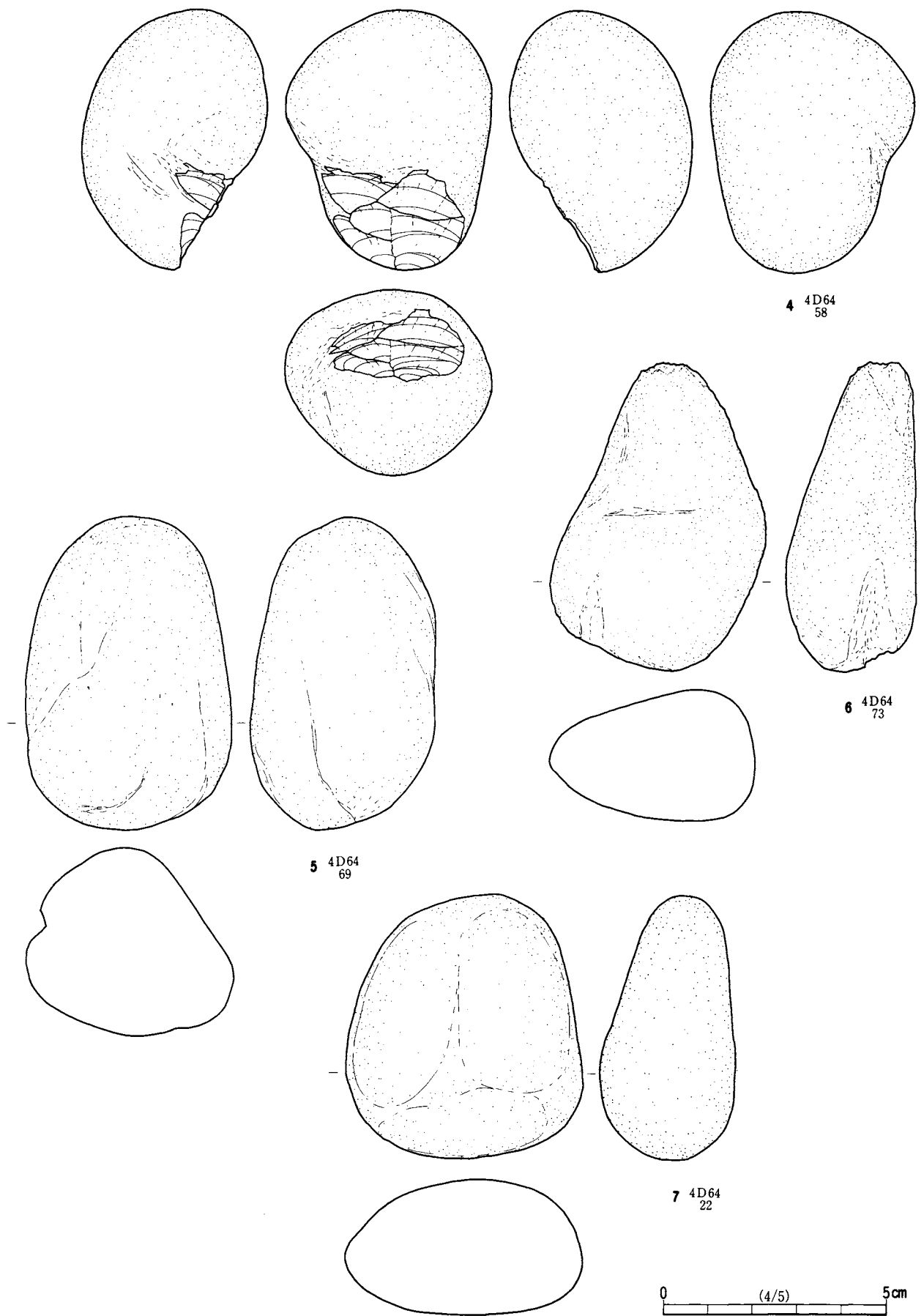
母岩別資料 9母岩が認められる。その内訳は、安山岩9母岩99点である。すべて安山岩の石材で構成される石材構成となっている。点数のまとまる母岩は、安山岩61の53点、安山岩60の24点、安山岩64の9点、安山岩66の7点がある。安山岩61の母岩が過半数を占める母岩構成である。母岩と器種の間関係を見ると、主要な利器は、安山岩61の母岩からナイフ形石器、台形石器が少数生産されている。剥片もまとまって出土していることから、安山岩61によるナイフ形石器、台形石器の生産を目的とする母岩消費が想定される。



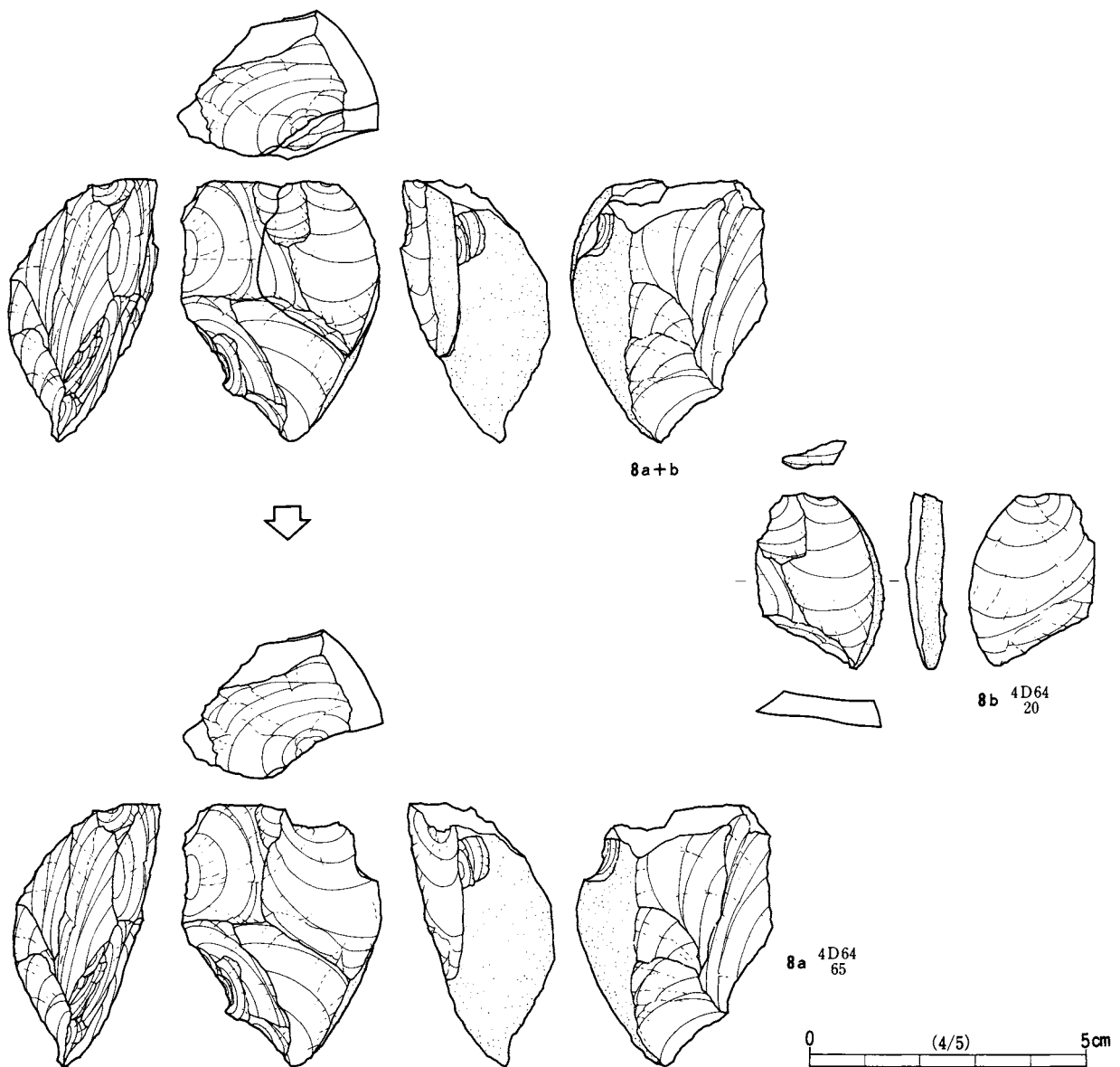
第148図 第31ブロック母岩別分布



第149図 第31ブロック出土石器 1



第150図 第31ブロック出土石器 2



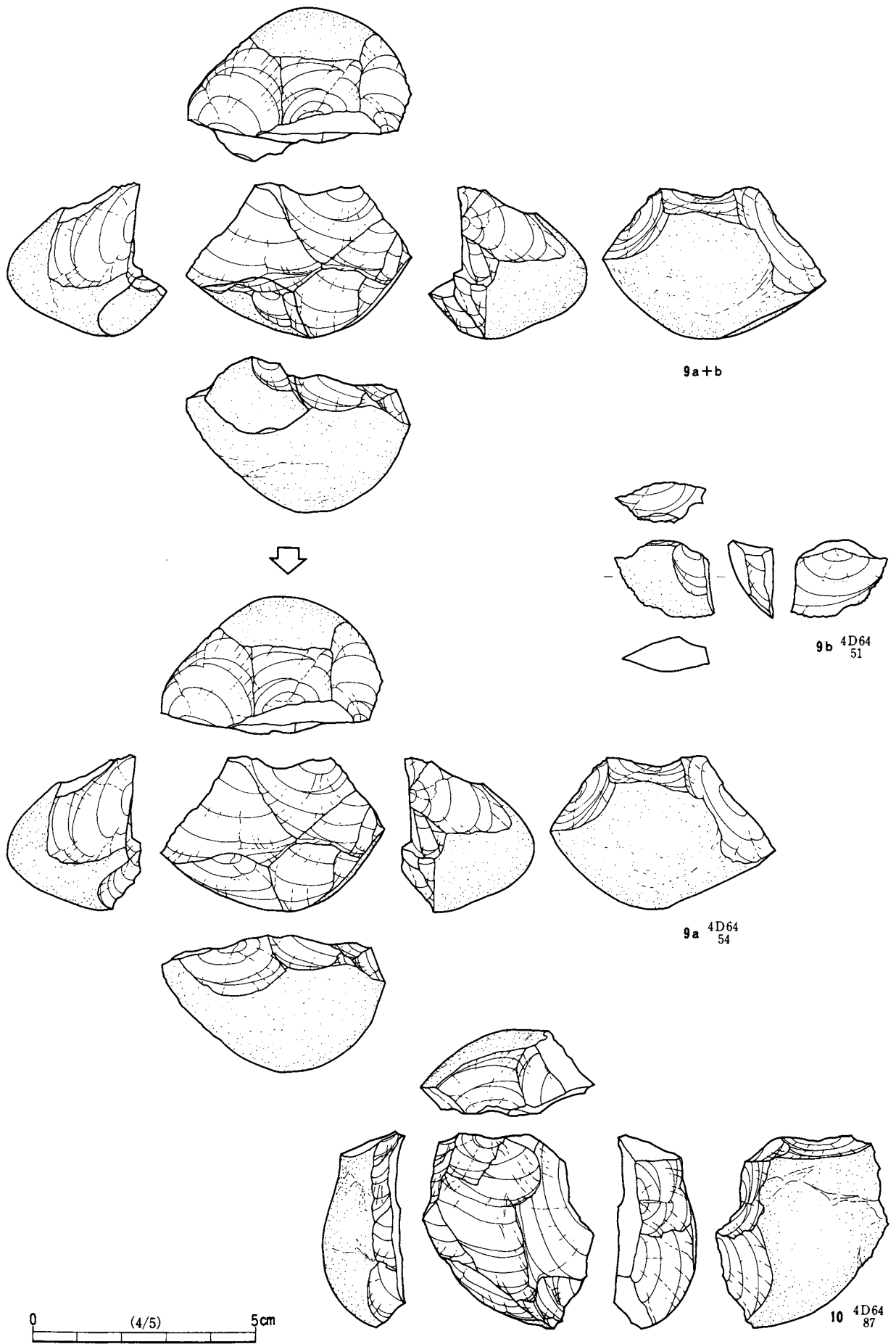
第151図 第31ブロック出土石器 3

出土遺物 主要な利器はナイフ形石器 2 点、台形石器 1 点が出土するのみであり、主要な利器の器種構成に占める割合は少ない。他には、原石が 3 点とややまとまって出土している。

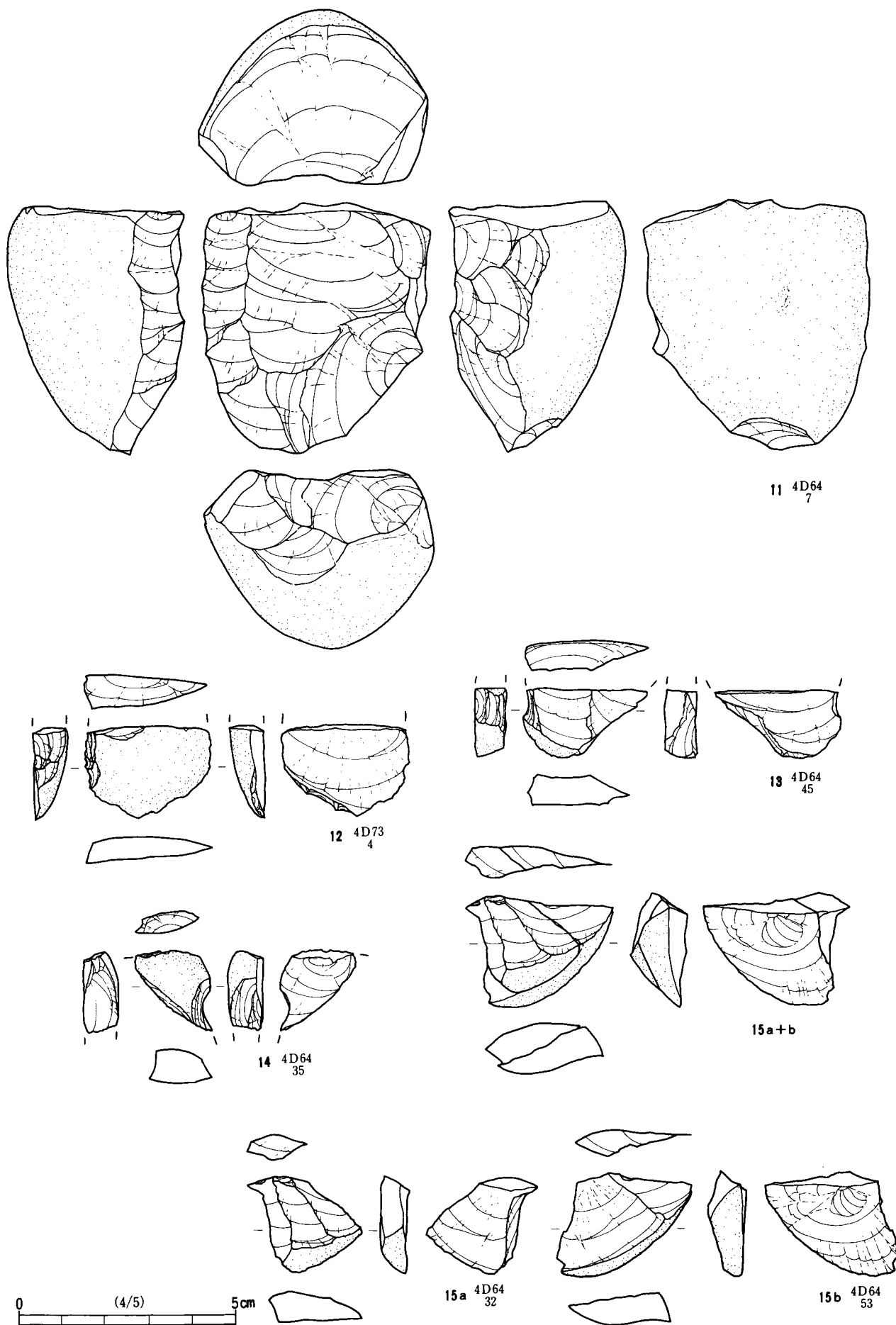
ナイフ形石器 1・2 はナイフ形石器である。1 は自然面を残置する縦長剥片を素材としている。素材の打面部を基部に設定し、背面左側縁上半部に細部加工が連続する。2 は縦長剥片を素材として、1 と同様に素材の打面部を基部に設定して、左側縁に深い幅広な調整加工が看取される。上半部を欠損し、形状は明確ではない。

台形石器 3 は台形石器である。素材を横位に用いている。打面部が急角度な幅広調整加工と細部加工により、対向する末端部が切断状の加工をした後に細部加工により整形されている。刃部の先端角は水平に近くなる。

敲石 4 は敲石とした。楕円礫の末端からの集中的な加撃により下端部が剥がれている。形態上敲石としたが、原石（石核）から剥片が剥離されていく初期の剥離作業を示すものの可能性が強い。



第152図 第31ブロック出土石器 4



第153図 第31ブロック出土石器5

原石 5～7は原石である。石材はすべて黒色緻密安山岩である。比較的形状に近い楕円礫を原石としてブロックに持ち込んでいる。

石核 8～11は石核である。8 a・bは石核と剥片の接合資料である。やや薄い楕円礫を石核素材として、上面の平坦な打面よりやや縦長の剥片（8 b）を剥離している。この剥離作業に先行して左側縁を打点とした幅広な剥片を作出する剥離作業が看取される。9 a・bも石核と剥片の接合資料である。正面下端部で9 bが剥離される。正面の剥離作業はこの剥離に先行する剥離作業である。その後、正面を打面に上面を作業面とした剥離作業が行われている。この剥離作業と9 bの剥離作業の前後関係は不明であるが、おそらく上面の剥離作業に先行して剥がされたものであろう。10は正面で上面を打面とする剥離作業と、左側面を打面とする剥離作業が看取される。さらに、正面を打面に右側面を作業面とする2回の剥離作業が観察される。11は大形の楕円礫の分割するように平坦な面を設定し、この面を打面とした剥離作業が見られる。正面には幅広の剥片を剥がした剥離作業が認められる。その剥離に先行して正面を打面として右側面の剥離作業と右側面を打面とする正面の剥離作業が看取される。

R剥片 12～14はR剥片である。いずれも器体の一部を欠損する。12は背面左側縁と腹面下端部に細部加工が見られる。13は背面左側縁に急角度な細部加工が認められる。14は背面右側縁を抉るような深い細部加工が看取される。

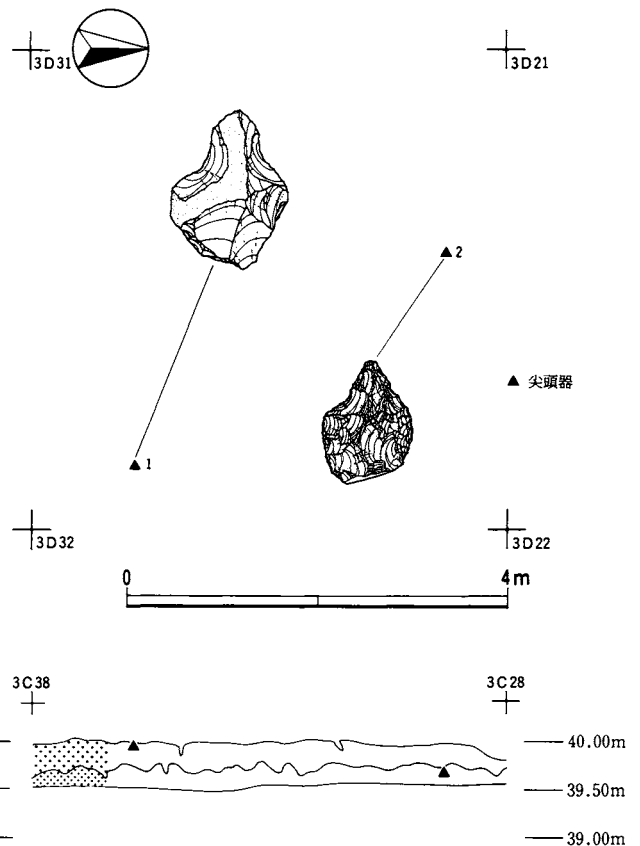
剥片 15 a・bは剥片どうしの接合資料である。平坦な打面から打点を横に移動して、15 a、15 bの横長剥片が剥片剥離されている。

第5節 ブロック外出土石器

旧石器時代調査の過程で石器の出土が1、2点で留まり、ブロックとしての広がり認められないものをここでブロック外として扱う。また、上層（縄文時代以降）の調査過程で出土した旧石器時代の石器と判断されるものを表面採集石器として一括して扱うこととする。この中には前節で記載した各文化層に含まれると考えられる石器も存在するが、便宜的にこの節で扱うこととする。ブロック外としたものは5地点で検出されている。それぞれをブロック外1～ブロック外5の名称を付けた。

1 ブロック外1（第154・155図、表81、図版53）

分布状況 調査区西側、L地点で2点が検出された。3 D31区に分布している。このブロック外1は第30ブロックに隣接するが、第30ブロックよりやや上位から検出され、また器種も2点とも尖頭器であるためブロック外として分別した。石器はIII層下部とIII層上面から出土している。第III文化層よりも上位の文化層が設定されるが、2点のみの出土であるため文化層の設定



第154図 ブロック外1器種別分布

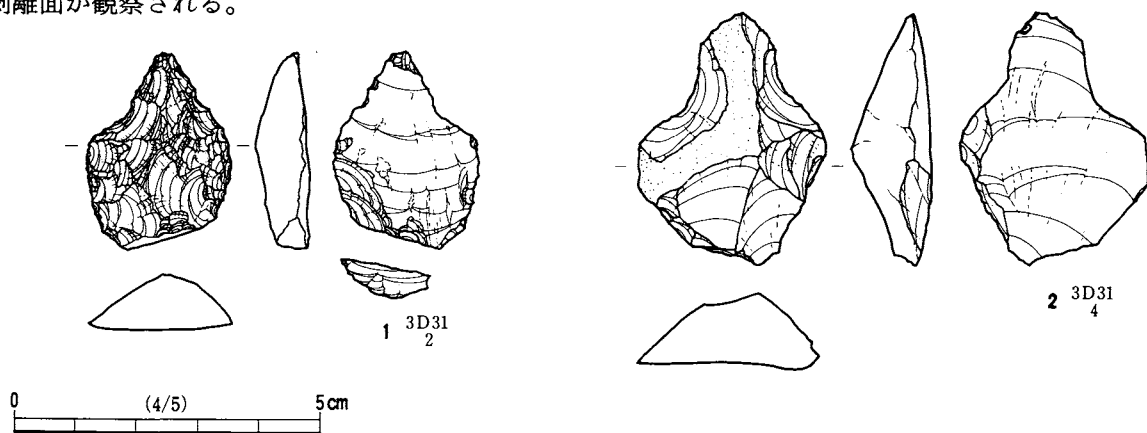
は行わなかった。

出土遺物 1・2は尖頭器である。1は黒曜石を石材とする。幅広な縦長剥片を素材として、半両面加工の尖頭器の範疇に入るものである。表面が平坦調整と細かな調整加工により精緻に整形している。器体形状は、両側縁上半部がやや抉れるように弧を描き下半部が膨らむ形状を呈する。2は安山岩を素材とするものである。1と同じく縦長剥片を素材とした半両面加工の尖頭器である。素材の背面には自然面が残置し、この自然面を除去するように粗い幅広な平坦調整が施される。細部加工は疎らであり、未成品的なものであろうか。器体形状は1と類似し先端が抉れるように調整加工される。

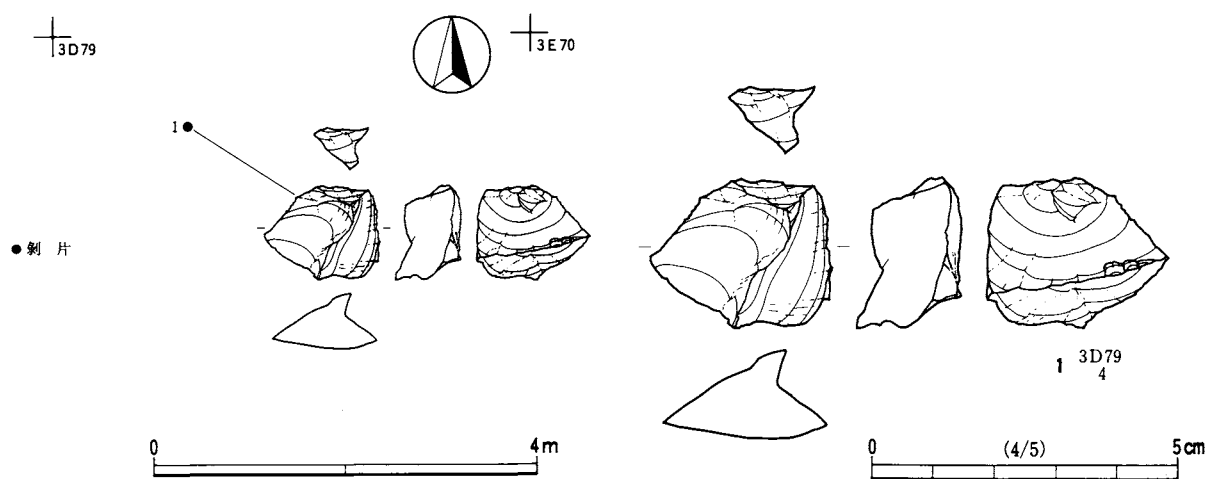
2 ブロック外2 (第156・157図、表81)

分布状況 調査区東側、M地点で検出された。3 D79区に分布している。南西側に離れて第8ブロックが位置する。石器はIII層上部から出土している。

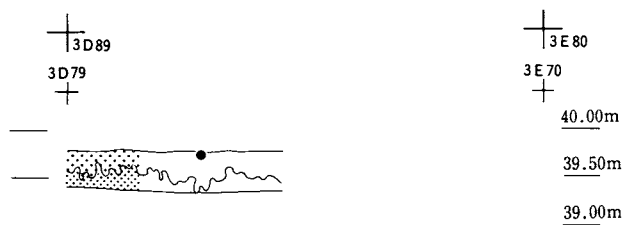
出土遺物 1は剥片である。平坦打面の厚味のある横長剥片である。背面には主要剥離面方向と対向する剥離面が観察される。



第155図 ブロック外1 出土石器



第157図 ブロック外2 出土石器

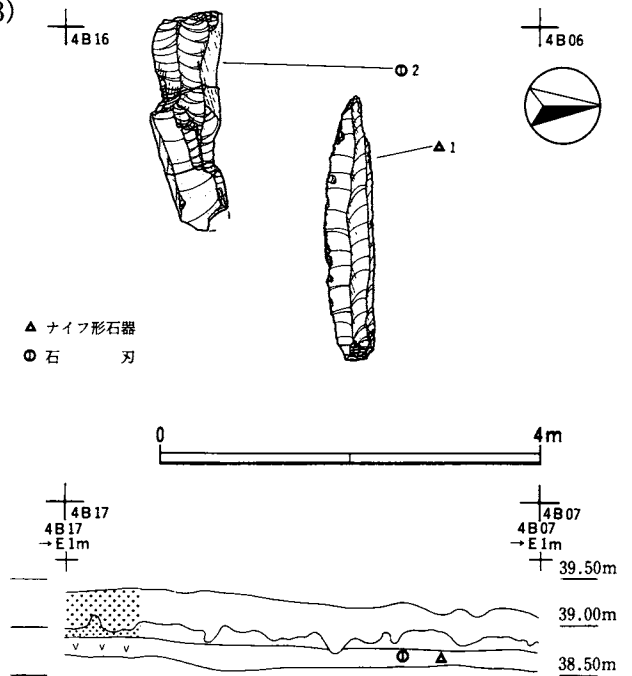


第156図 ブロック外2 器種別分布

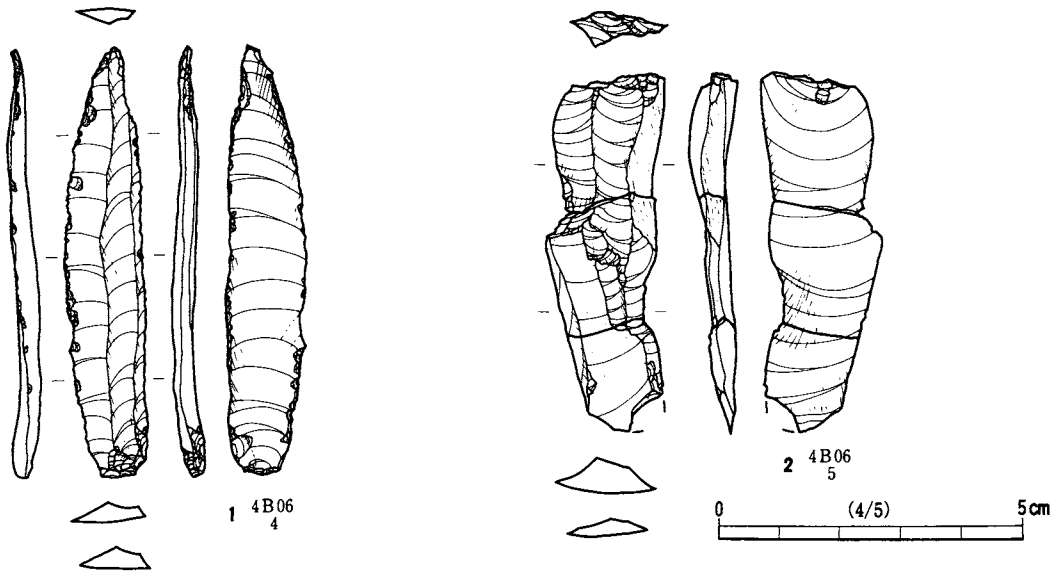
3 ブロック外3 (第158・159図、表81、図版53)

分布状況 調査区西端、O地点で2点が検出された。4 B06区に分布している。石器はVI層下部から出土している。第II文化層と同様の産出層位、器種、製作技法をもち、文化層としては第II文化層に含まれると考えられる。2点とも製品で構成され、本遺跡に製品の状態で搬入されたものと考えられる。このような出土状況は注目される。

出土遺物 1・2は同一母岩の黒曜石を母岩としている。1はナイフ形石器である。良質な黒曜石を石材とし、両側縁が平行する石刃を素材としている。素材の打面を基部に設定し、背面右側縁基部寄と先端部の表裏面に微細な調整加工が疎らに観察される。素材形状をほとんど修正しない石刃製ナイフ形石器と把握される。2は石刃である。3点に割れている。打面は打面調整が顕著であり、背面には、他の面と風化に差異のある剝離面が看取される。比較的薄く細長い石刃である。



第158図 ブロック外3器種別分布

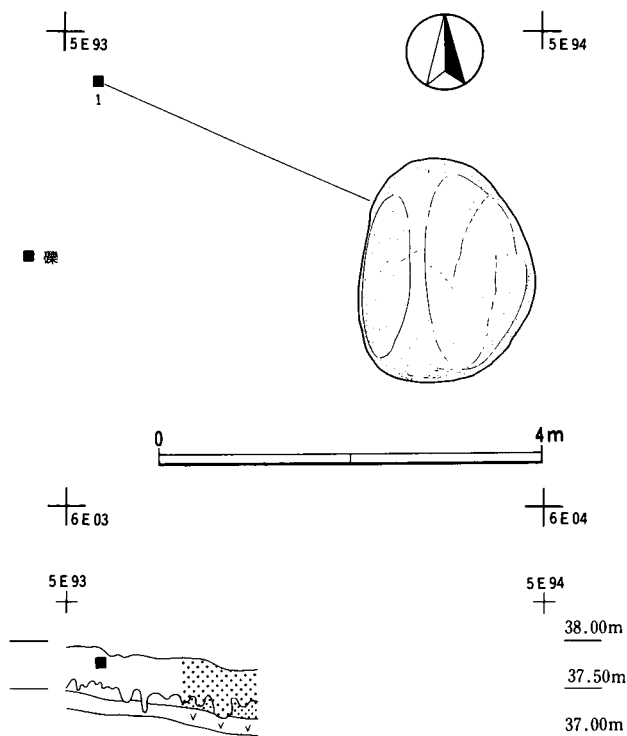


第159図 ブロック外3出土石器

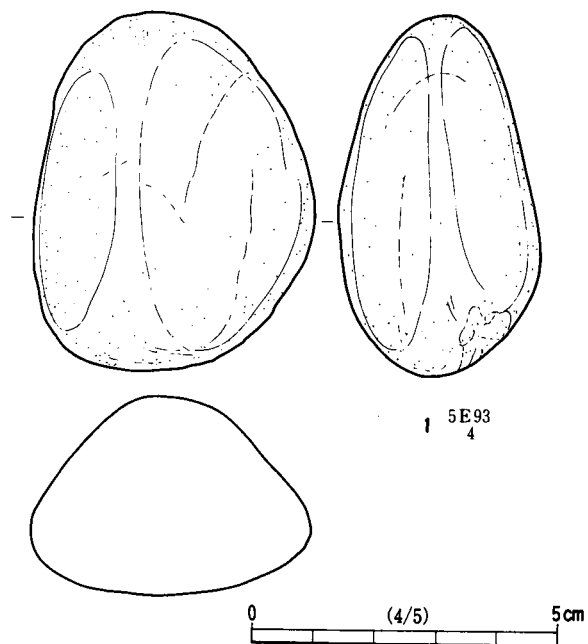
4 ブロック外4 (第160・161図、表81)

分布状況 調査区南端、X地点で検出された。5 E93区に分布している。石器はIII層中部から出土している。

出土遺物 1は礫である。石英斑岩を石材としている。



第160図 ブロック外4 器種別分布



第161図 ブロック外4 出土石器

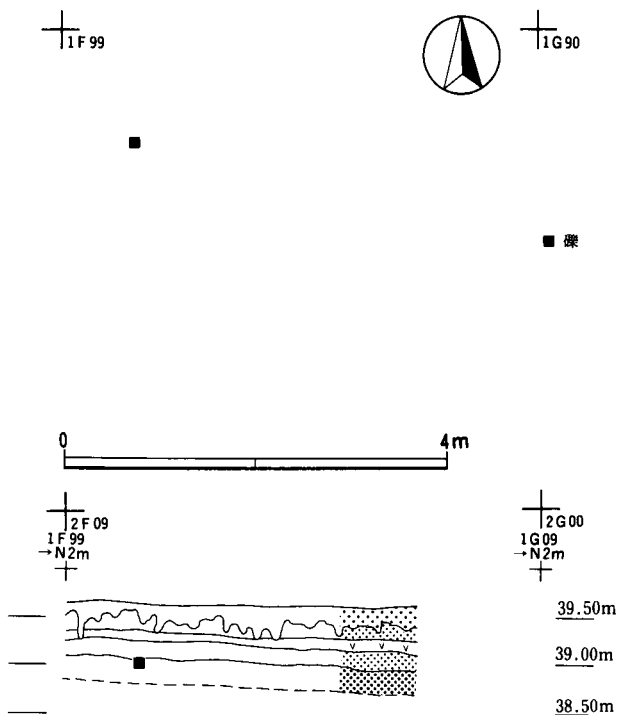
5. ブロック外5 (第162図、表81)

分布状況 調査区南端、F地点で検出された。1 F 99区に分布している。石器はIX層上部から出土している。

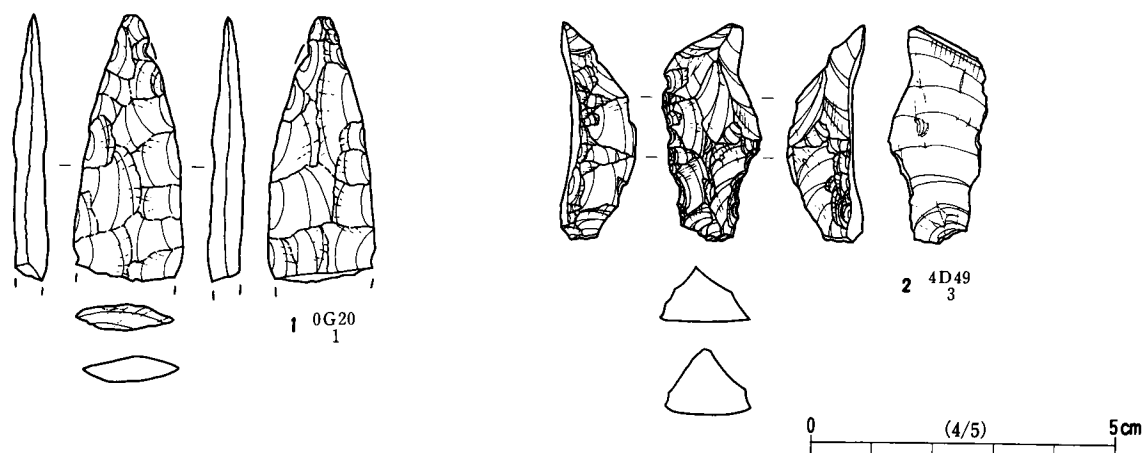
出土遺物 礫である。砂岩を石材としている。小礫片のため実測は行っていない。

5 表面採集石器 (第163図、表81)

1は尖頭器である。軟質な安山岩を石材としている。風化が著しく調整痕は明瞭ではない。下半部を欠損するが、細身で長い両面加工の尖頭器であろう。2はナイフ形石器である。黒曜石を石材としている。縦長剝片を素材として縦位に用いている。背面左側縁と右側縁基部側に急角度の細部加工が看取される。



第162図 ブロック外5 器種別分布



第163図 表面採集石器

第6節 礫群

本遺跡からは、12か所で礫の集中分布が確認された。それらの礫の集中分布に対して、通例の名称である礫群と呼称した。各礫群は、出土層位、分布状況の検討からすべて第III文化層に属している礫群である。それぞれの礫群は、第III文化層のブロックに対応するように分布している。H地点、L地点の2地点のブロック群に対応するように2地点に9か所の礫群が集中している。(第7図参照)

礫群のそれぞれの礫の属性分類に当たっては、器種、母岩、遺存度、復元度、赤化、付着物、計測(最大長、最大幅、最大厚、重量)別に分類を行った。分類の基準は以下の通りである。

器種 焼成完形礫(A)、焼成破損礫(B)、自然礫(無焼成完形礫)(C)、破損礫(無焼成破損礫)(D)の大きく4つに分類した。

母岩 礫群の礫についても母岩分類を行った。流紋岩、石英斑岩の石材判別に当たっては赤化すると峻別が難しいものがあり、特徴的に石英の斑晶の著しいもの以外は流紋岩とした。なお、礫群構成表の石材では流紋岩、石英斑岩を一まとまりとして流紋岩類とした。

遺存度 各礫の出土した遺存状態を完形を100%として、100%(A)、80%以上100%未満(B)、50%以上80%未満(C)、50%未満(D)のランクに分類した。

復元度 各礫の接合により復元された状態を分類した。分類基準は遺存度と同様である。

赤化 赤化の度合いを、著しく赤化しているもの(a)、薄く赤化しているもの(c)、その中間のもの(b)のランクに分類した。また、表面(自然面)と割面に分けて赤化の度合いを観察した。

付着物 スス状付着物(S)、タール状付着物(T)について付着物の有る無しを観察した。

1 第1礫群(第164図、表82・83、図版4)

調査区北東隅、C地点で調査された礫群である。0F区南西側に位置している。第17ブロックと分布が重複する。

礫総点数は4点、総重量は67.2gである。小規模な礫群である。分布状況は散在している。3点が南にややまとまり、1点が離れて位置する。0G60区に北西-南東方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北2.0m、東西2.0mを測る。垂直分布はおよそ0.2mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は、最大34.9g、最小5.9gで平均重量は16.8gである。重量分布は5g～15gで3点と高い比率を示す。石材が砂岩3点(75.0%)、流紋岩1点(25.0%)であり、砂岩が主体をしめる。遺存度はDランク4点(100.0%)で、すべてが完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度は、aランク4点(100.0%)であり、すべてが著しい赤化を示す。付着物はスス状付着物が1点(25.0%)認められる。接合は1個体2点で確認された。

2 第2礫群(第165図、表84・85、図版4)

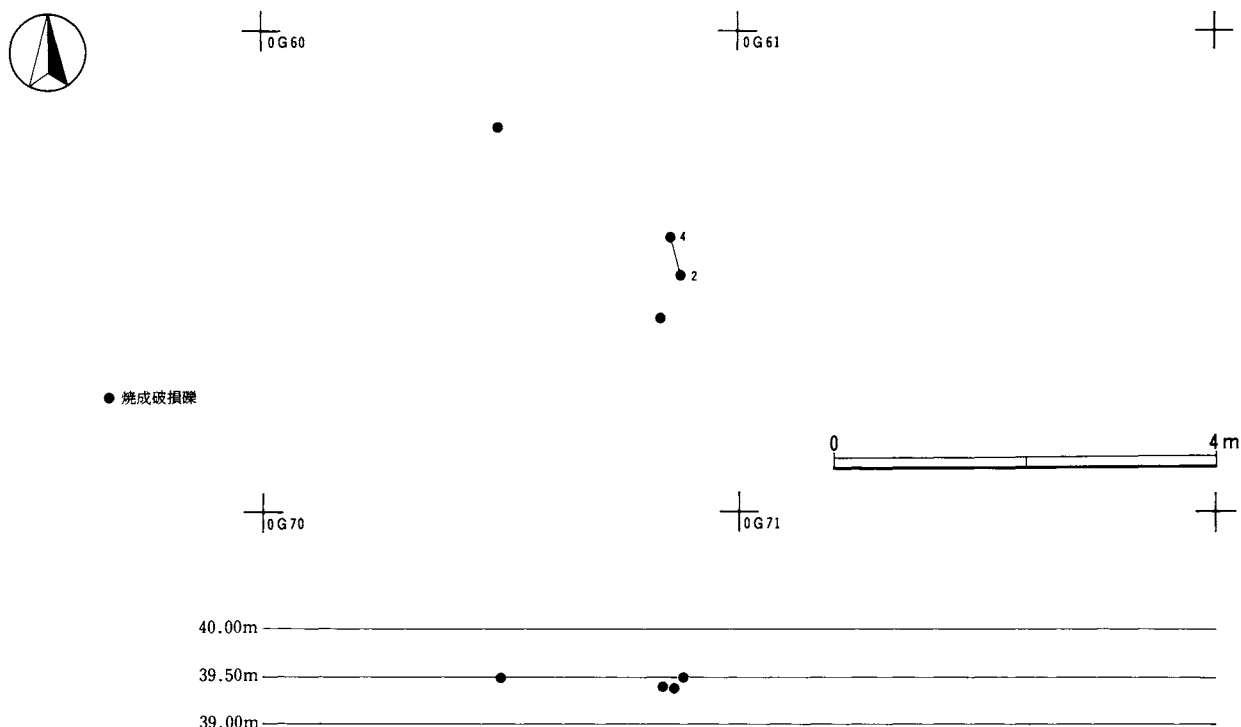
調査区北東隅、E地点で調査された礫群である。1F区南東側に位置している。第19ブロックと分布が重複する。

礫総点数は21点、総重量は319.5gである。小規模な礫群である。分布状況はやや散在している。北側やや分布密度が高く南側が散漫に分布する。0G51区から0G61区にかけて東西に長い三角形の楕円形に分布する。分布範囲は南北3.5m、東西4.4mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は、最大52.9g、最小0.5gで平均重量は15.2gである。重量分布は5g以下が5点とやや高い比率を示す。石材は流紋岩14点(66.7%)、砂岩2点(9.5%)であり、流紋岩が主体を占める。遺存度はDランク20点(95.2%)、Aランク1点(4.8%)で、完形礫の50%以下の破損礫が圧倒的に多くなっている。赤化度は、aランク5点(23.8%)、bランク10点(47.6%)、cランク3点(14.3%)であり、中間的な赤化を示すものが多い。付着物はスス状付着物が2点(9.5%)認められる。接合は1個体2点で確認された。

3 第3礫群(第166図、表86・87、図版4)

調査区北西側、H地点で調査された礫群である。2D区南東側に位置している。第21ブロックと分布が重複する。第3礫群～第5礫群は同一地点に分布し、群を形成する。



第164図 第1礫群接合分布

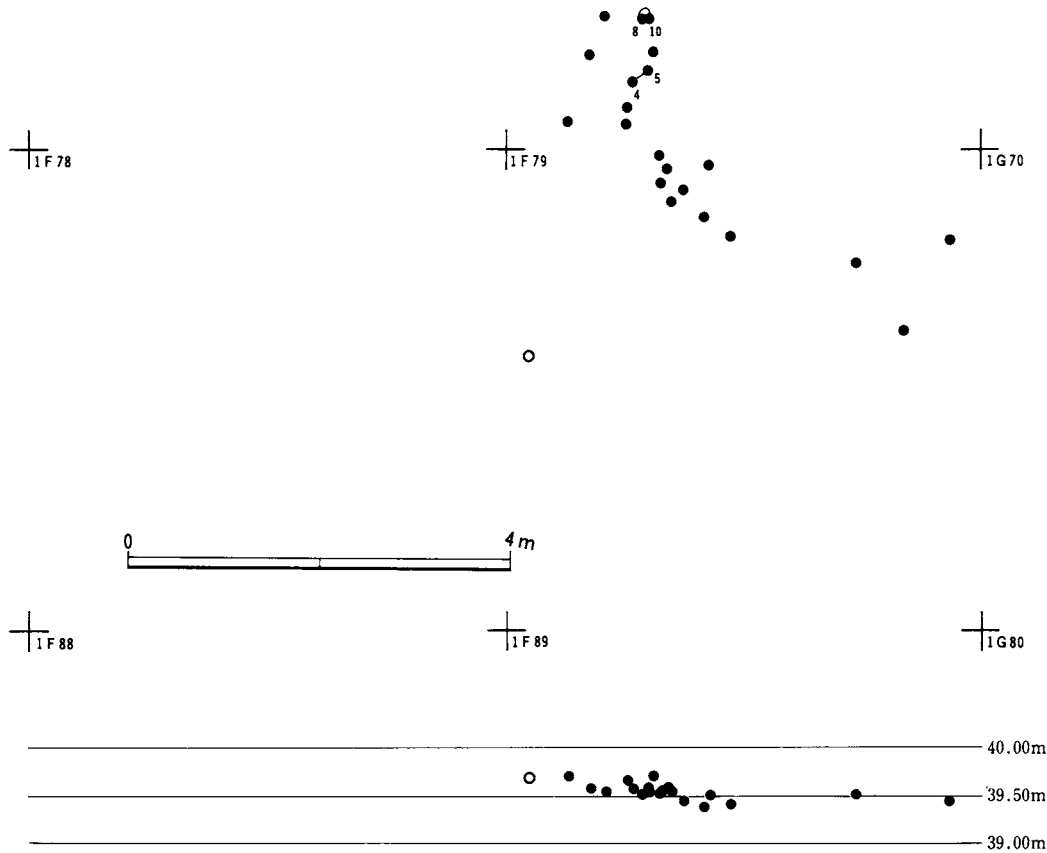
1F 68

1F 69

1G 60



- 焼成破損礫
- 破 損 礫



第165図 第2 礫群接合分布

礫総点数は13点、総重量は288.6gである。小規模な礫群である。分布状況は散在している。中央部に数点がまとまるが、他は離れて散漫に分布する。2 D85・86区から2 D96区にかけて東西方向にやや長い楕円形に分布する。分布範囲は南北3.5m、東西4.7mを測る。垂直分布はおよそ0.6mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大94.6g、最小4.3gで平均重量は22.2gである。重量分布は15g～20gで3点とやや高い比率を示す。石材はホルンフェルス5点(38.5%)、砂岩5点(38.5%)、流紋岩2点(15.4%)であり、ホルンフェルス・砂岩の両石材で77%の割合を占める。遺存度はDランク13点(100.0%)で、すべて完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク2点(15.4%)、bランク5点(38.5%)、cランク6点(46.1%)であり、薄く赤化するものが多い。付着物はスス状付着物が1点(7.7%)認められる。接合は2個体14点で確認された。

4 第4礫群 (第167図、表88・89、図版4)

調査区北西側、H地点で調査された礫群である。2D区南東側に位置している。第22ブロックと分布が重複する。

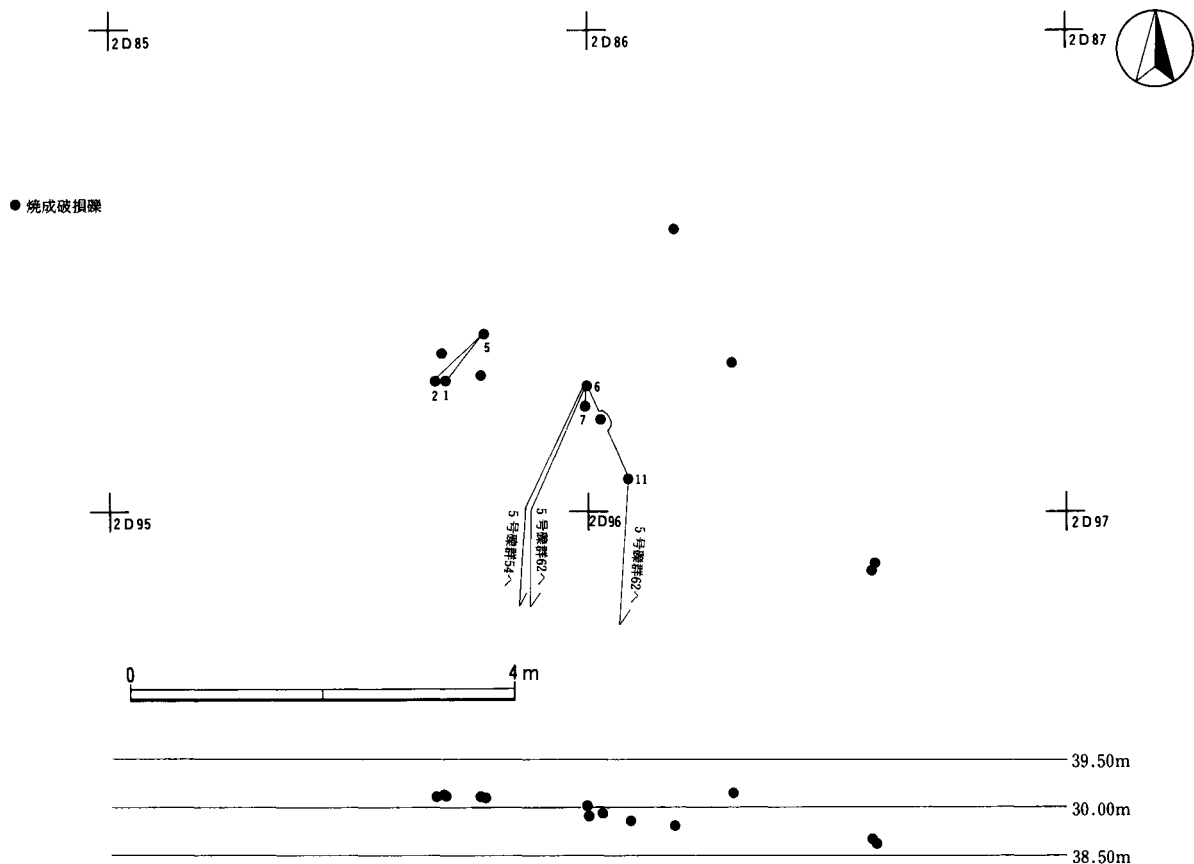
礫総点数は8点、総重量は120.9gである。小規模な礫群である。分布状況はコンパクトにまとまっている。狭い範囲に数点がまとまる。2D86区に東西方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北0.7m、東西1.4mを測る。垂直分布はおよそ0.3mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大39.2g、最小0.8gで平均重量は15.1gである。重量分布は10g～15gで4点と高い比率を示す。石材は砂岩7点(87.5%)、流紋岩1点(12.5%)であり、砂岩の石材が約88%の割合を占める。遺存度はDランク8点(100.0%)で、すべて完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク1点(12.5%)、bランク3点(37.5%)、cランク3点(37.5%)であり、中間から薄く赤化するものが多い。付着物はスス状付着物が1点(12.5%)認められる。接合は確認されなかった。

5 第5礫群 (第168図、表90～92、図版5)

調査区北西側、H地点で調査された礫群である。2D区南東側、3D区北東側に位置している。第24ブロックと分布が重複する。

礫総点数は103点、総重量は3,431.2gである。大規模な礫群である。分布状況は比較的まとまっている。分布の北隅で集中し、やや間隔をおいて南側で分布密度が高い部分がある。2D96区から3D06区にかけて東西方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北4.4m、東西3.8mを測る。垂直分布はおよそ0.7mの



第166図 第3礫群接合分布



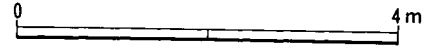
2D86

2D87

2D88



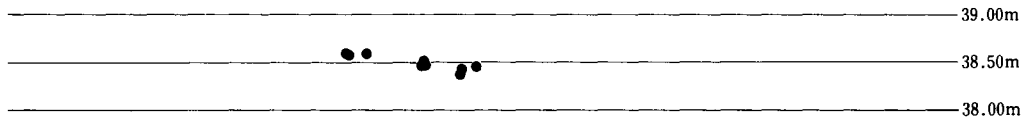
● 烧成破损磔



2D96

2D97

2D98



第167图第4磔群接合分布

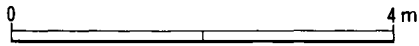
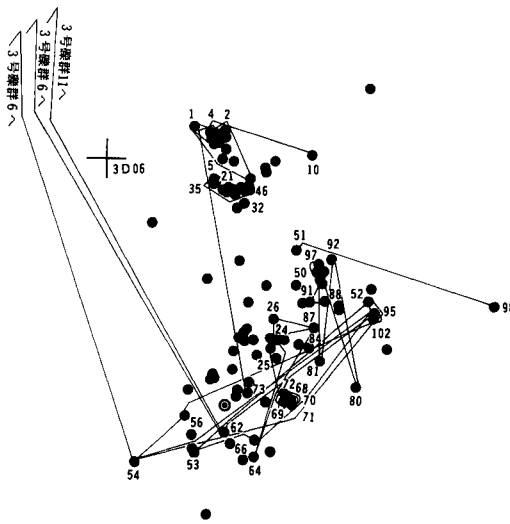


3D05

3D06

3D07

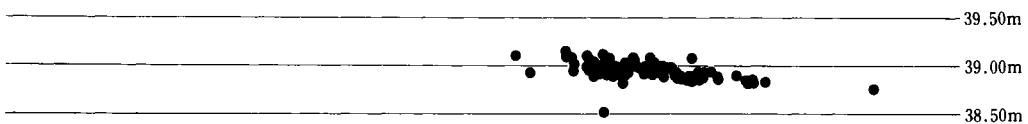
● 烧成破损磔
⊙ 烧成完形磔



3D15

3D16

3D17



第168图 第5磔群接合分布

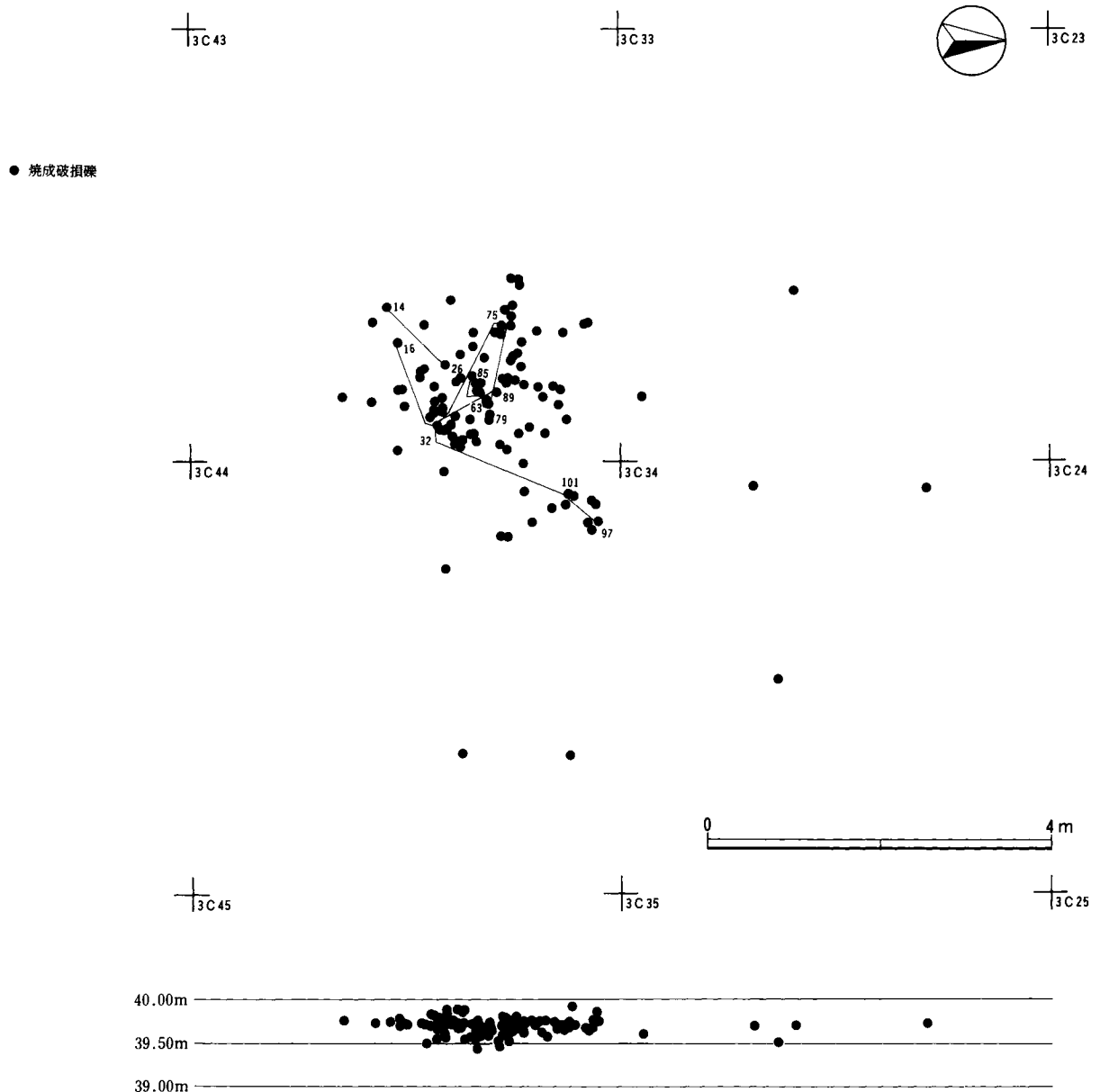
高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大256.0g、最小0.2gで平均重量は33.3gである。重量分布は5g以下が22点と高い比率を示す。石材はホルンフェルス48点(46.6%)、流紋岩23点(22.3%)、砂岩20点(19.4%)である。ホルンフェルスの石材が多く、3つの石材で約88%の割合を占める。遺存度はDランク102点(99.0%)で、ほとんどが完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク25点(24.3%)、bランク22点(21.3%)、cランク50点(48.5%)であり、薄い赤化を呈するものの比率が高い。付着物はス状付着物が15点(14.6%)、タール状付着物が2点(1.9%)認められる。接合は6個体38点で確認された。

6 第6礫群(第169図、表93~95、図版5)

調査区西側、K地点で調査された礫群である。3C区北東側に位置している。第25ブロックと分布が重複する。

礫総点数は112点、総重量は2,767.8gである。大規模な礫群である。分布状況は比較的まとまっている。



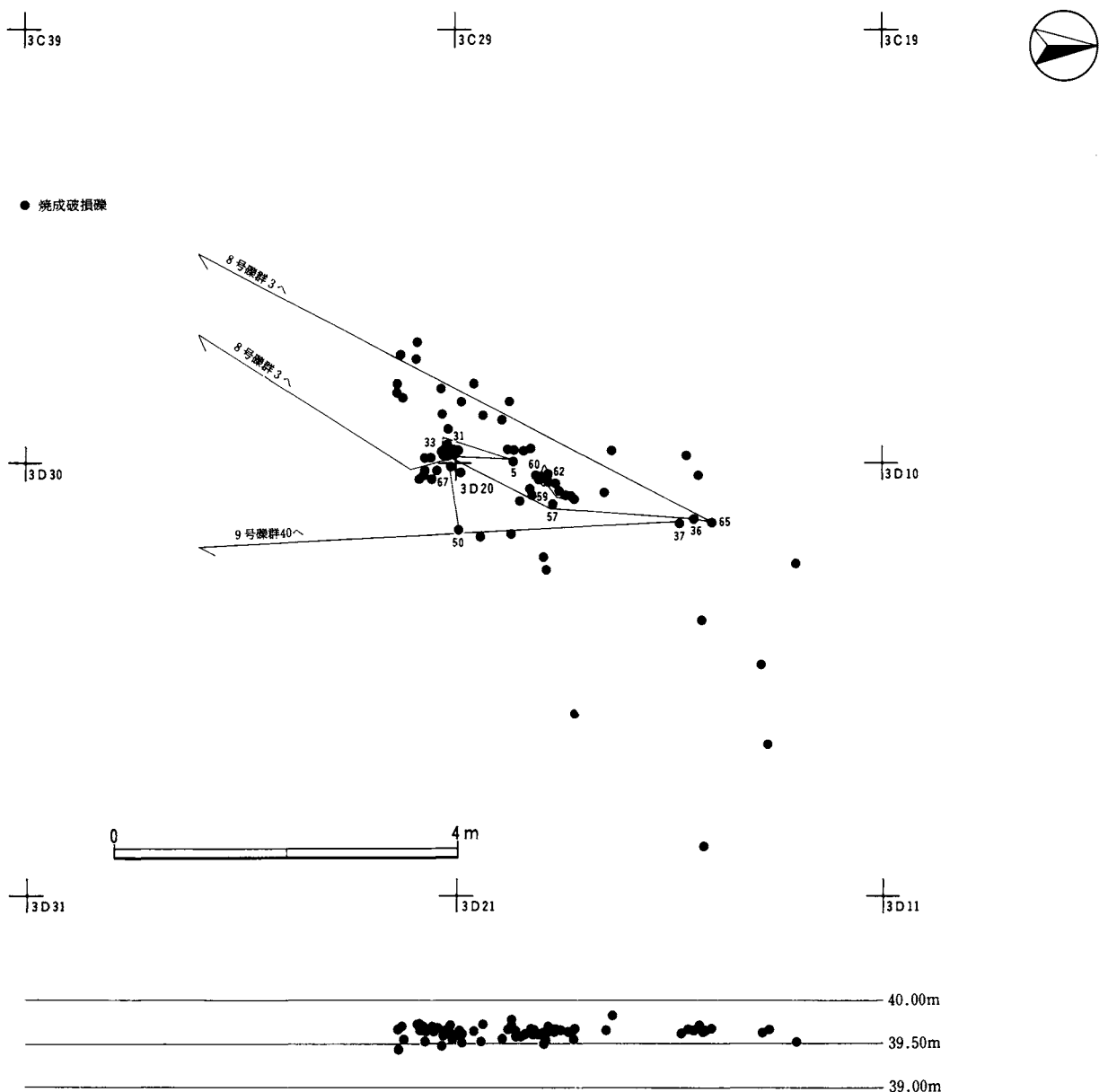
第169図 第6礫群接合分布

分布の南西側で分布密度が高く、その部分から北東側に分布密度が薄くなりながら散在する。3 C 33・34区から3 C 43・44区にかけて南北方向にやや長い楕円形に分布する。分布範囲は南北6.8m、東西5.5mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大404.5g、最小0.4gで平均重量は24.7gである。重量分布は5g以下が27点と高い比率を示す。石材は流紋岩65点(58.0%)、砂岩37点(33.0%)、ホルンフェルス7点(6.2%)である。流紋岩の石材が過半数を占め、砂岩と合わせた2つの石材で約91%の割合を占める。遺存度はDランク109点(97.3%)で、ほとんどが完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク4点(3.6%)、bランク35点(31.2%)、cランク60点(53.6%)であり、薄い赤化を呈するものの比率が高い。付着物はスス状付着物が17点(15.2%)が認められる。接合は2個体11点で確認された。

7 第7礫群(第170図、表96・97、図版5)

調査区北西側、L地点で調査された礫群である。3 C区北東端、3 D区北西端に位置している。第26ブ

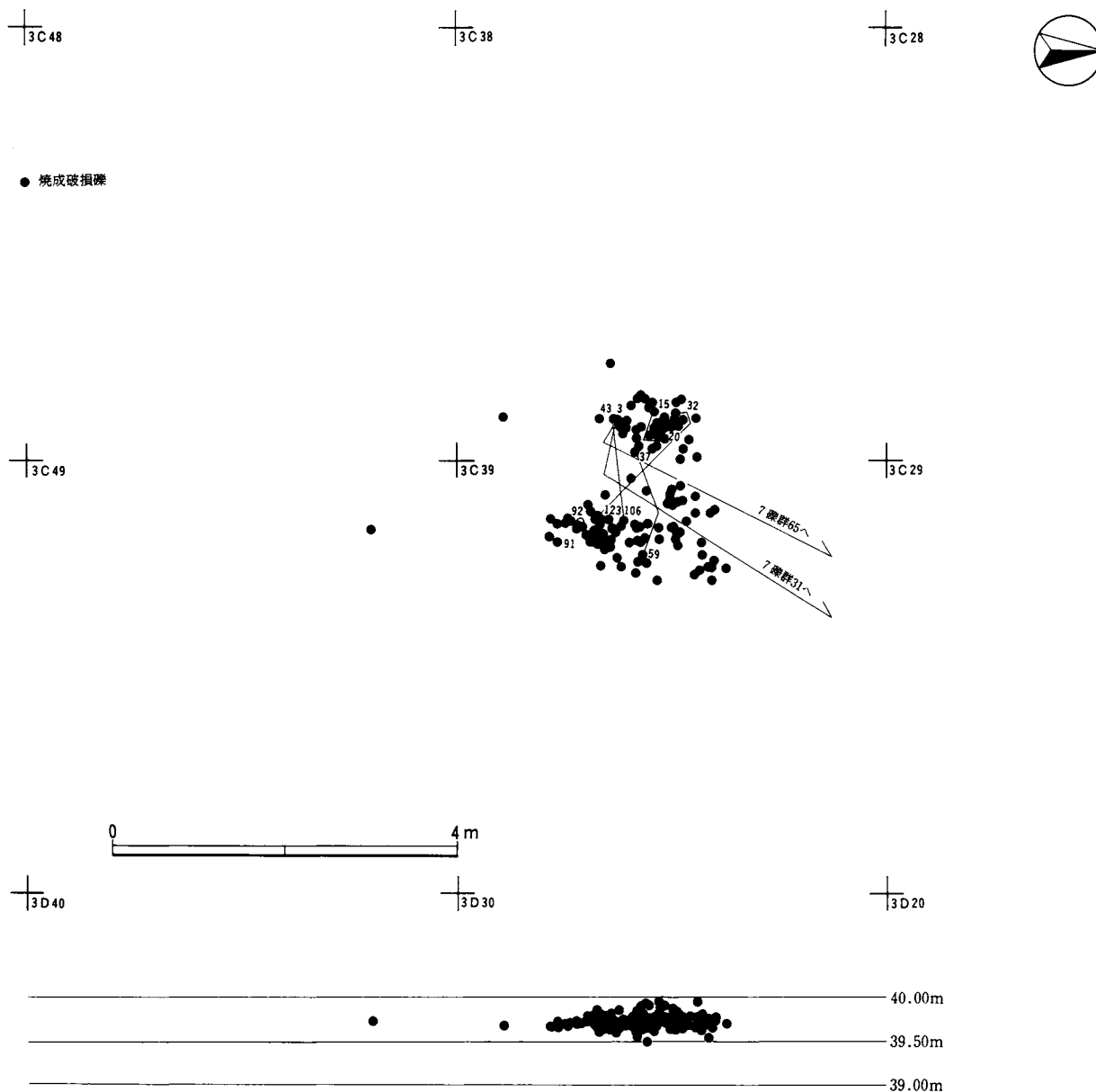


第170図 第7礫群接合分布

ロックと分布が重複する。第7礫群～第11礫群は同一地点に分布し、群を形成する。

礫総点数は71点、総重量は1,649.9gである。中規模な礫群である。分布状況は比較的まとまっている。分布の南西側で分布密度が高く、その部分から北東側に分布密度が薄くなりながら散在する。3C29・39区から3D20・30区にかけて北東-南西方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北4.7m、東西5.8mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大113.2g、最小0.2gで平均重量は23.2gである。重量分布は5g～10gで15点と高い比率を示す。石材は流紋岩30点(42.2%)、砂岩28点(39.4%)である。流紋岩の石材が多く、砂岩と合わせた2つの石材で約8割を超える。遺存度はDランク71点(100.0%)で、すべてが完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク2点(2.8%)、bランク19点(26.8%)、cランク47点(66.2%)であり、薄い赤化を呈するものの比率が高い。付着物はスス状付着物が16点(22.5%)認められる。接合は3個体14点で確認された。



第171図 第8礫群接合分布

8 第8礫群 (第171図、表98~100、図版5)

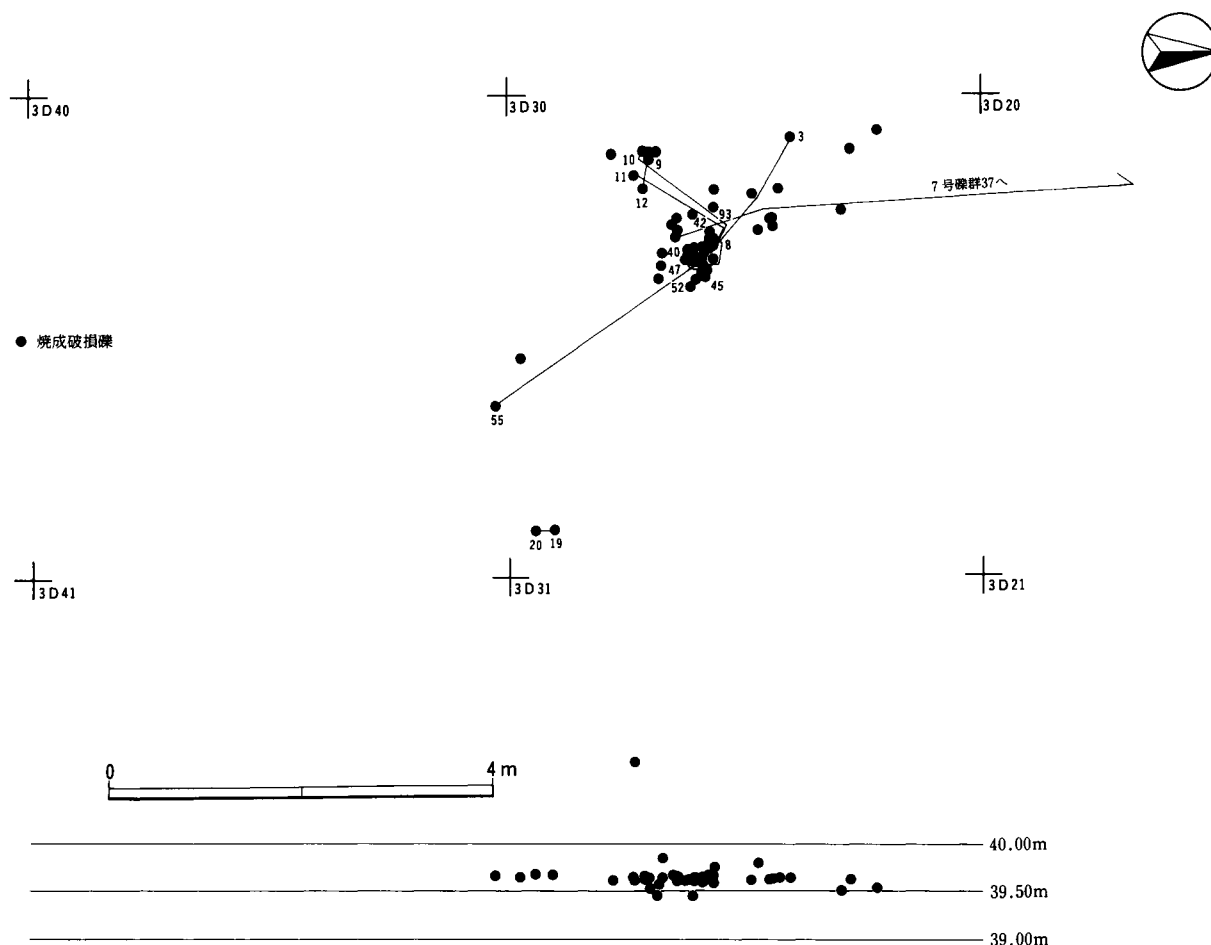
調査区北西側、L地点で調査された礫群である。3C区北東端に位置している。第27ブロックと分布が重複する。

礫総点数は130点、総重量は3,129.7gである。大規模な礫群である。分布状況は比較的まとまっている。分布の北側で分布密度が高く、その部分から南側に分布密度が薄くなり、1点が離れて散在する。3C38・39区から3C48・49区にかけて南北方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北4.2m、東西2.5mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大105.2g、最小0.7gで平均重量は24.1gである。重量分布は5g~10gで25点と高い比率を示す。石材は砂岩80点(61.5%)、流紋岩45点(34.6%)、ホルンフェルス2点(1.5%)である。砂岩の石材が主体を占め、流紋岩と合わせた2つの石材で約96%の割合を占める。遺存度はDランク130点(100.0%)で、すべてが完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク6点(4.6%)、bランク19点(29.2%)、cランク47点(57.7%)であり、薄い赤化を呈するものの比率が高い。付着物はスス状付着物が20点(15.4%)認められる。接合は4個体12点で確認された。

9 第9礫群 (第172図、表101・102、図版5)

調査区北西側、L地点で調査された礫群である。3D区北西端に位置している。第28ブロックと分布が重複する。

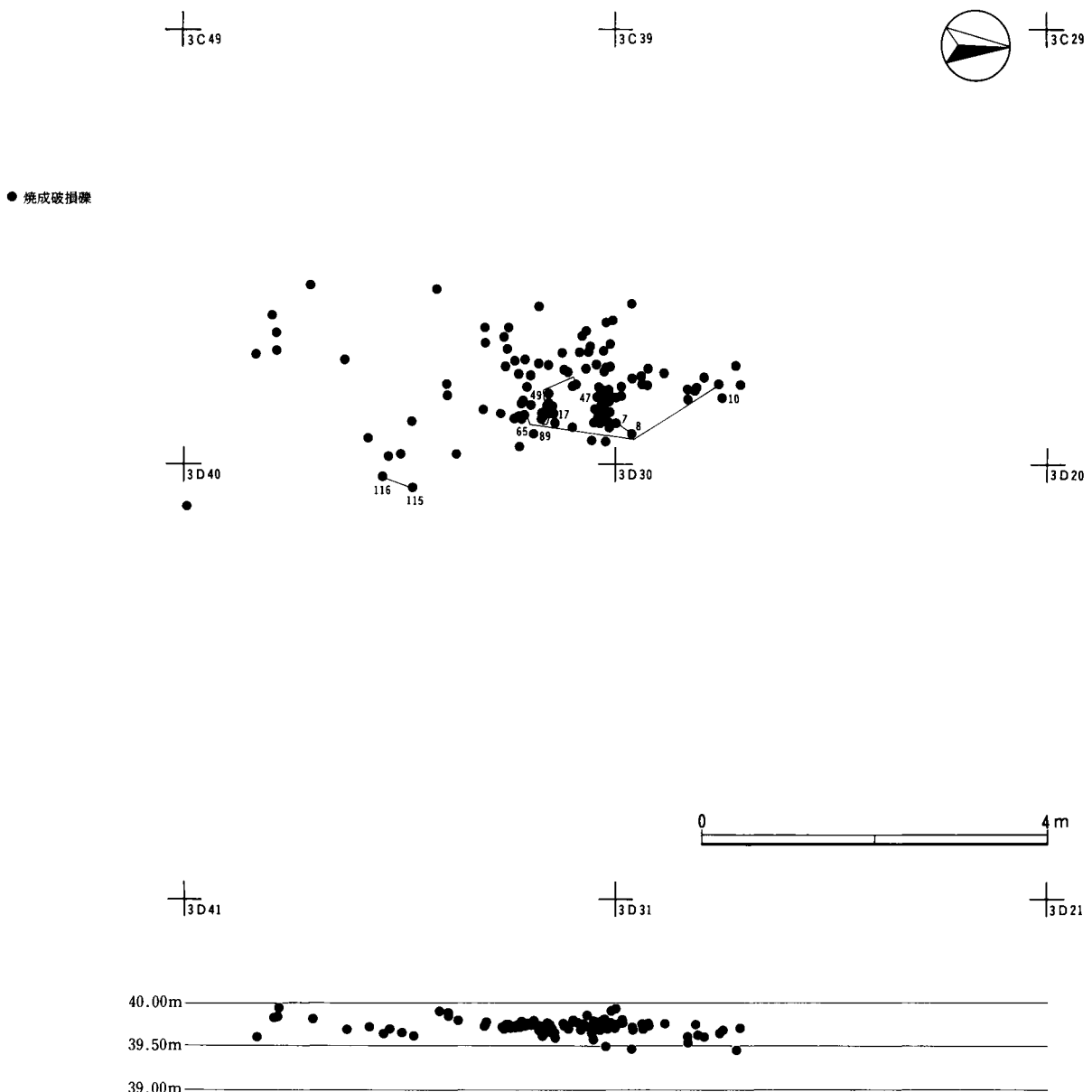


第172図 第9礫群接合分布

礫総点数は55点、総重量は1,915.2gである。中規模な礫群である。分布状況は比較的散在している。分布の西側でやや分布密度が高く、その部分から東側に離れて数点が散在する。南北方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北4.0m、東西6.5mを測る。垂直分布はおよそ0.4mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大238.2g、最小0.5gで平均重量は34.8gである。重量分布は5g以下が8点とやや高い比率を示す。石材は流紋岩35点(63.6%)、砂岩11点(20.0%)、ホルンフェルス3点(5.4%)である。流紋岩の石材が主体を占め、砂岩と合わせた2つの石材で約84%の割合を占める。遺存度はDランク54点(98.2%)、Bランク1点(1.8%)で、大部分が完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク13点(23.6%)、bランク25点(45.4%)、cランク17点(30.9%)であり、中間の赤化を呈するものの比率が高い。付着物はスス状付着物が7点(12.7%)認められる。接合は7個体17点で確認された。

10 第10礫群 (第173図、表103~105、図版5)



第173図 第10礫群接合分布

調査区北西側、L地点で調査された礫群である。3C区北東端、3D区北西端に位置している。第29ブロックと分布が重複する。

礫総点数は116点、総重量は2,783.6gである。大規模な礫群である。分布状況は比較的まとまっている。分布の北側で分布密度が高く、その部分から南側に分布密度が薄くなりながら散在する。南北方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北6.4m、東西2.5mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大111.8g、最小1.0gで平均重量は24.0gである。重量分布は10g～15gで21点とやや高い比率を示す。石材は砂岩71点(61.2%)、流紋岩35点(30.2%)、ホルンフェルス4点(3.4%)である。砂岩の石材が主体を占め、流紋岩と合わせた2つの石材で約9割を超える。遺存度はDランク116点(100.0%)で、すべて完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク12点(10.3%)、bランク61点(52.6%)、cランク28点(24.1%)であり、中間の赤化を呈するものの比率が非常に高い。付着物はスス状付着物が9点(7.7%)、タール状付着物1点(0.8%)認められる。接合は5個体10点で確認された。

11 第11礫群(第174図、表106・107、図版5)

調査区北西側、L地点で調査された礫群である。3D区北西端に位置している。第30ブロックと分布が重複する。

礫総点数は18点、総重量は700.6gである。小規模な礫群である。分布状況は比較的散在している。分布の中央部がやや分布密度が高く、その部分から放射状に散在する。東西方向にやや長い楕円形に分布する。分布範囲は南北2.7m、東西3.8mを測る。垂直分布はおよそ0.5mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大143.1g、最小1.2gで平均重量は38.9gである。重量分布は5g以下が6点と高い比率を示す。石材は流紋岩12点(66.6%)、チャート4点(22.2%)、安山岩2点(11.1%)である。流紋岩の石材が主体を占めるが、チャートの石材が少数あることが特徴的である。遺存度はDランク16点(88.8%)で、大部分が完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク4点(22.2%)、bランク7点(38.9%)、cランク6点(33.3%)であり、中間の赤化を呈するものの比率がやや高い。付着物はスス状付着物が3点(16.7%)、タール状付着物が1点(5.5%)認められる。接合は1個体1点で確認された。

12 第12礫群(第175図、表108・109、図版5)

調査区東側、S地点で調査された礫群である。4D区南西側に位置している。第31ブロックと分布が重複する。

礫総点数は9点、総重量は447.7gである。小規模な礫群である。分布状況は散在している。分布の中央部に数点がまとまるが、その部分から南北に離れて1点ずつが散在する。南北方向に長い楕円形に分布する。分布範囲は南北3.0m、東西1.4mを測る。垂直分布はおよそ0.3mの高低差がある。

礫の属性をみると、礫の重量は最大158.6g、最小1.1gで平均重量は49.7gである。重量分布は5g以下が2点とやや高い比率を示す。石材は流紋岩6点(66.6%)、砂岩3点(33.3%)である。流紋岩の石材が主体を占める。遺存度はDランク9点(100.0%)で、すべてが完形礫の50%以下の破損状態となっている。赤化度はaランク2点(22.2%)、bランク4点(44.4%)、cランク3点(33.3%)であり、中間の赤化を呈するものの比率がやや高い。付着物はスス状付着物が4点(44.4%)認められる。少数で構成される礫群であるが、付着物の割合が非常に高い。接合は2個体5点で確認された。

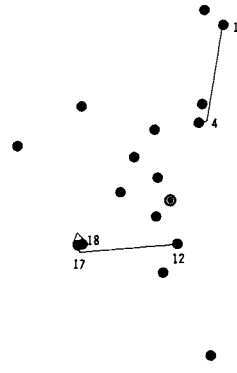
3D31

3D21

3D11



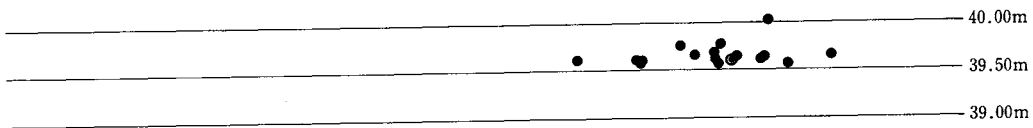
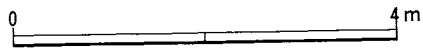
● 破損礫
● 焼成破損礫



3D32

3D22

3D12



第174図 第11礫群接合分布

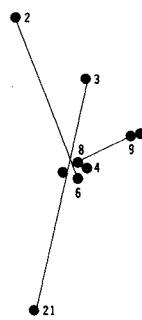


4D63

4D64

4D65

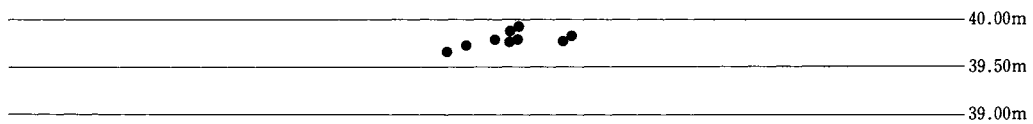
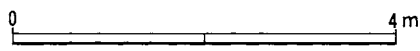
● 焼成破損礫



4D73

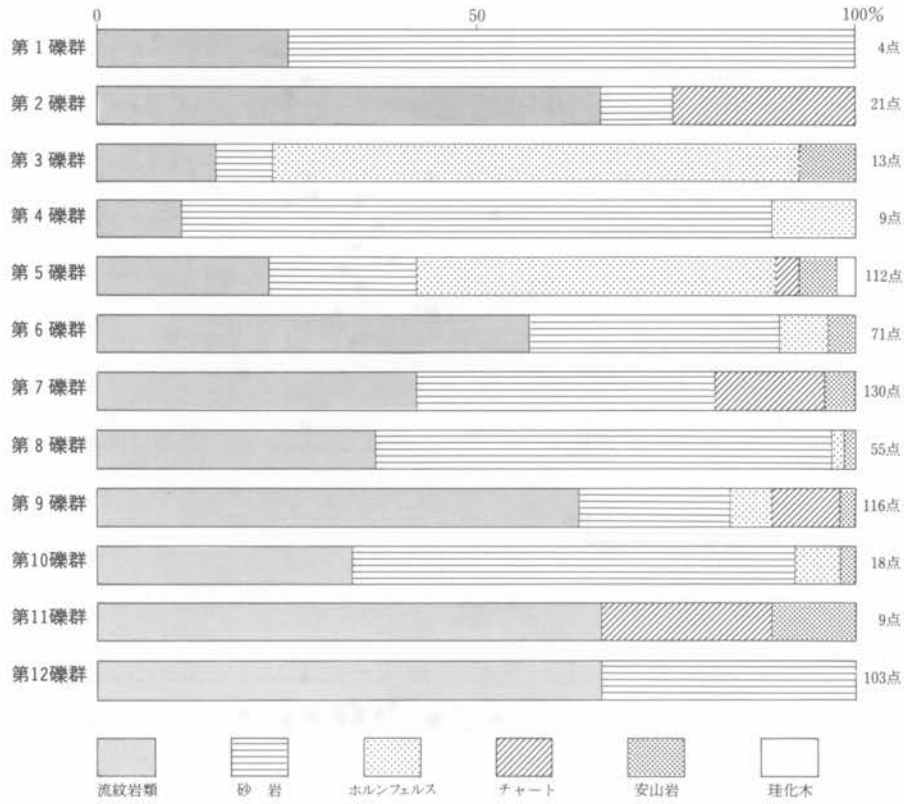
4D74

4D75

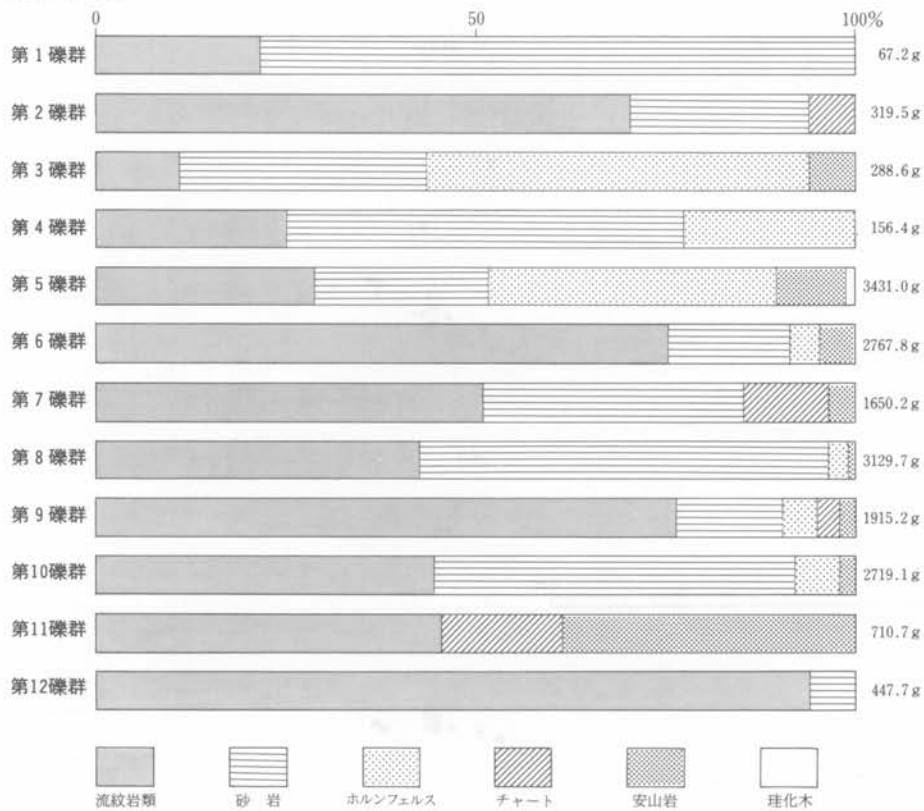


第175図 第12礫群接合分布

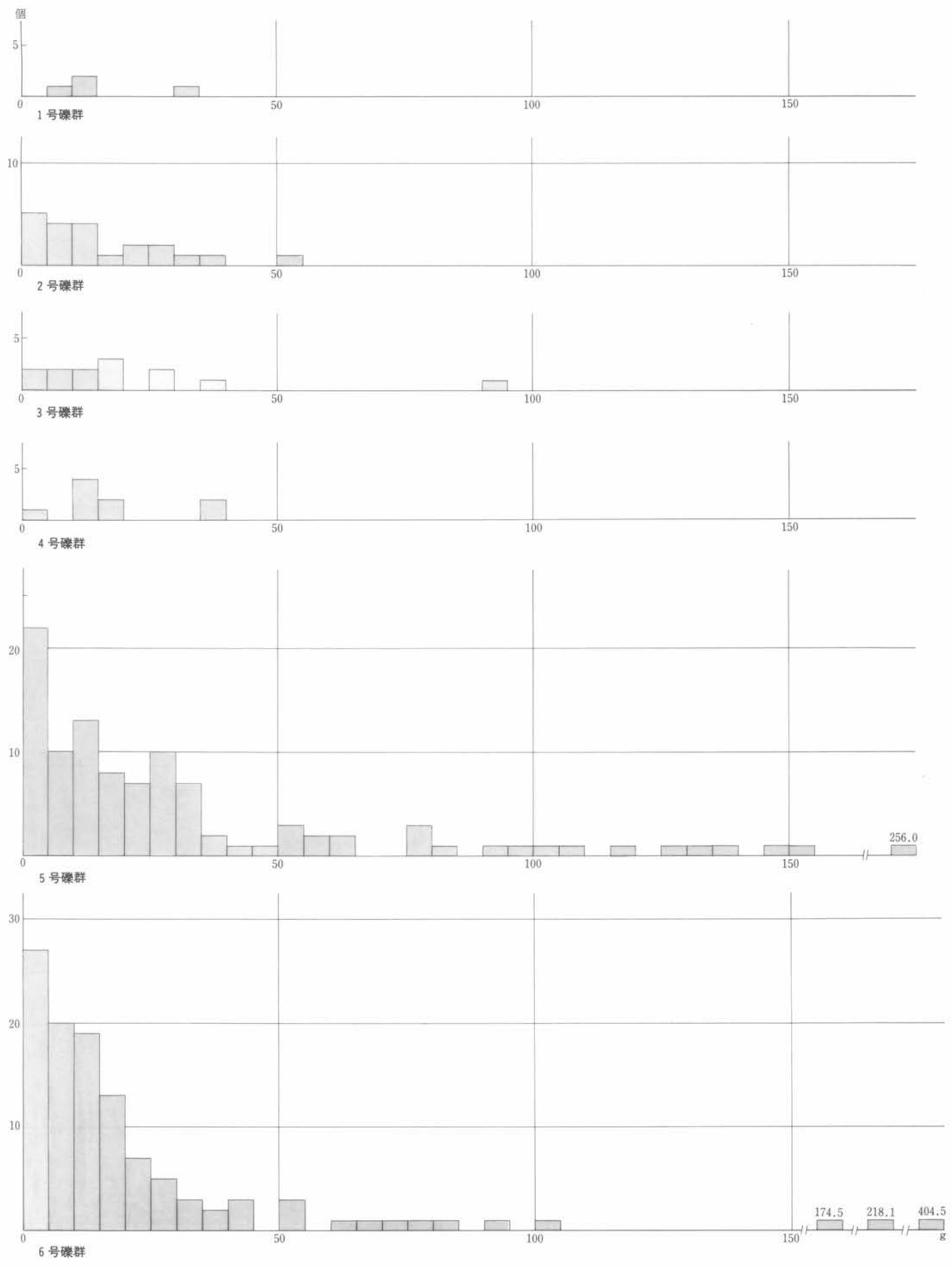
石材数量比



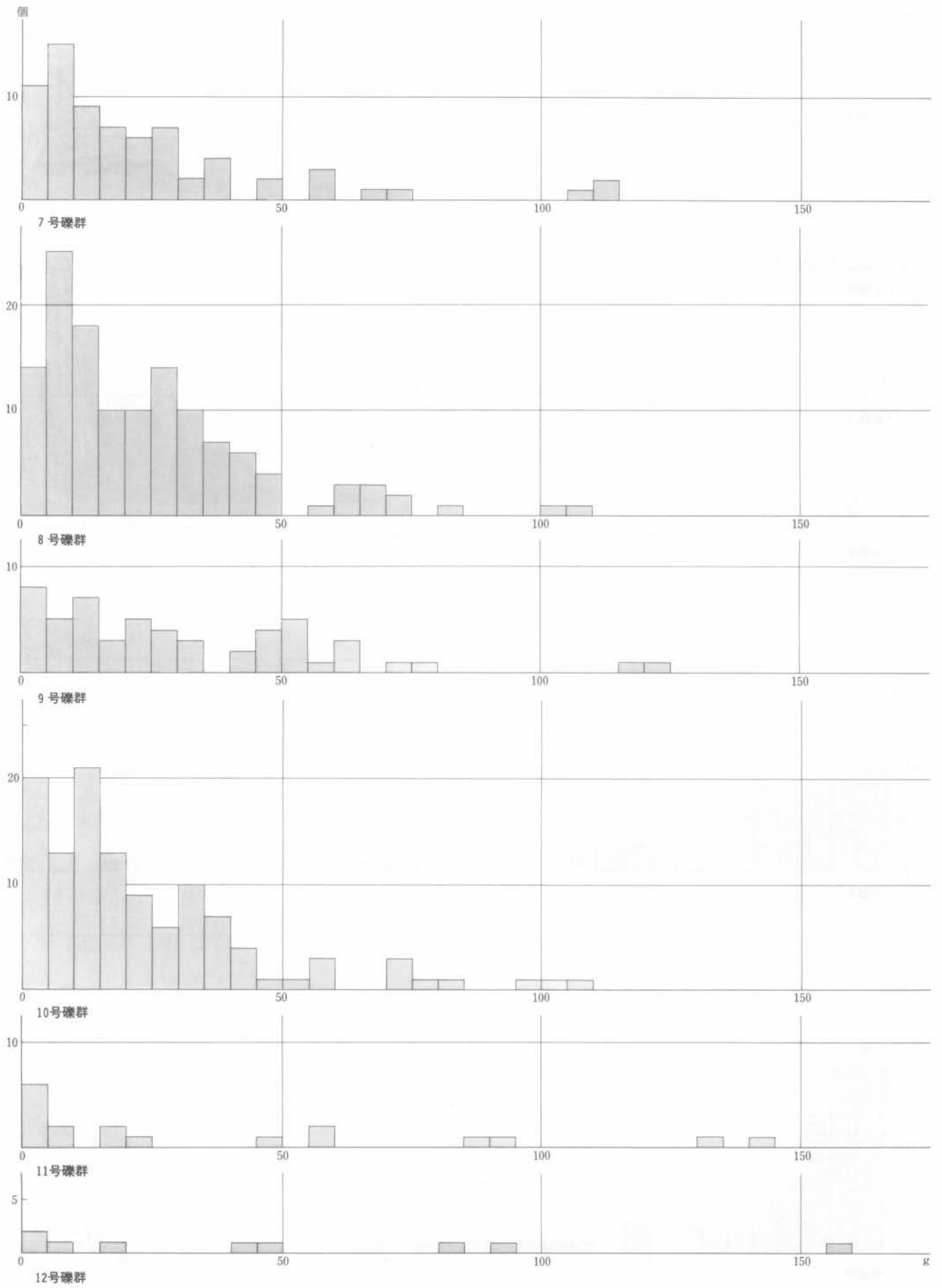
石材重量比



第176図 礫群石材構成比グラフ



第177図 礫群重量分布 1



第178图 碟群重量分布 2

第3章 縄文時代

第1節 遺構とその遺物

縄文時代の遺構は、陥穴8基、土坑1基を検出した。陥穴は、舌状台地の先端部の東側と付け根部の北西側にやや集中していた。ほとんどのものが細長い楕円形をしており、底面の幅は狭まっている。

1 陥穴

1号陥穴（第179図、図版7）

本遺構は、調査区の北側で、北東に伸びた台地の先端部に位置する。グリッド番号は、0 G62区、72・73区に当たる。形状は、2号陥穴と切り合っていて全体像は明らかでないが、細長い楕円形であろう。規模は、推定長軸3.6m、短軸1.0m、検出面からの深さ1.2m～1.4mである。西側の先端部はオーバーハングし、径54cm、深さ20cmの小ピットを有する。主軸方向は、N-85°-Wで等高線と直交する。

2号陥穴（第179図、図版7・58）

本遺構は、1号陥穴の東側で切り合っており、斜面部に位置する。グリッド番号は、0 G62・63区、0 G72・73区に当たる。形状は、西側が1号陥穴の切り合いにより、東側が風倒木による攪乱によって全体像は明らかでないが、細長い楕円形であると考えられる。規模は、推定長軸4.6m、短軸1.2m、検出面からの深さ1.5m～1.9mである。主軸方向は、N-76°-Eで等高線と直交する。覆土中から夏島式土器の口縁部片（第179図1）が出土した。

3号陥穴（第179図、図版7）

本遺構は、1号陥穴から南西へ約25m離れた所にあり、平坦部に位置する。グリッド番号は、0 F87区、0 F97・98区に当たる。形状は、細長い楕円形である。規模は、長軸3.4m、短軸0.4m、検出面からの深さ0.6m～0.7mである。覆土の状態は、非常に締まりがよい。主軸方向はN-14°-Wで等高線と平行する。

4号陥穴（第179図、図版7）

本遺構は、3号陥穴から南西へ約35m離れた所にあり、平坦部に位置する。グリッド番号は、1 F56・66区に当たる。形状は、長楕円形である。規模は、長軸1.7m、短軸0.8m、検出面からの深さ0.8mである。主軸方向は、N-43°-Wで等高線と平行する。

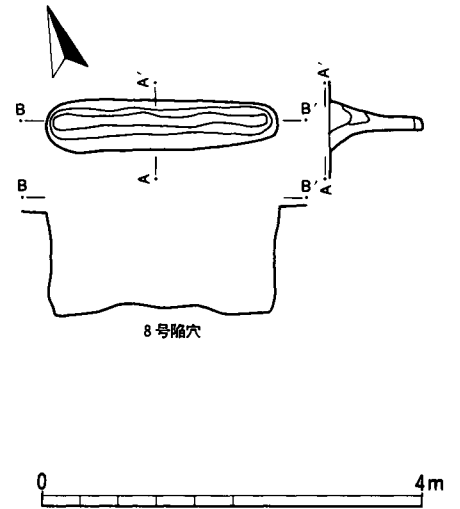
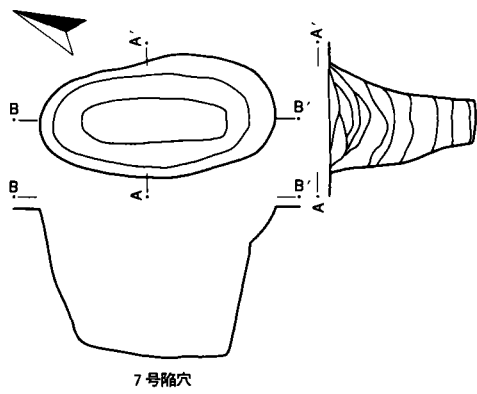
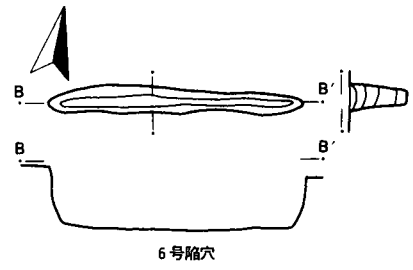
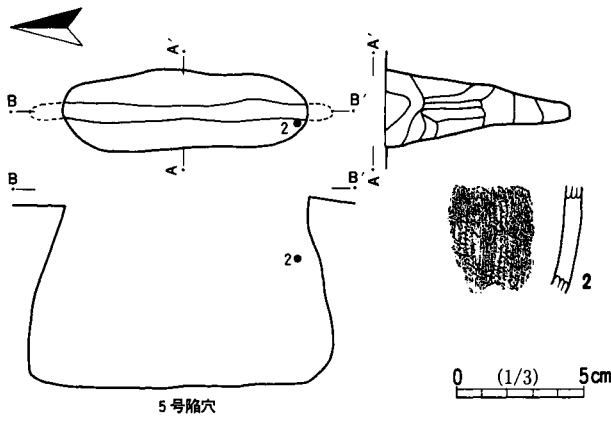
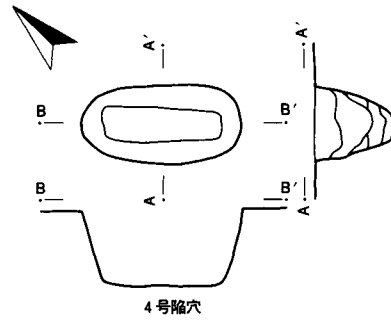
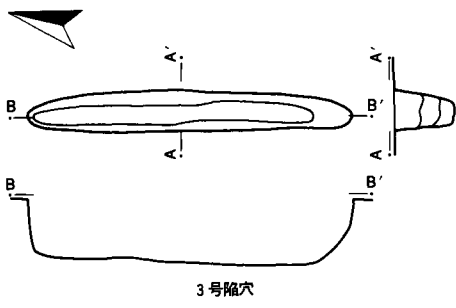
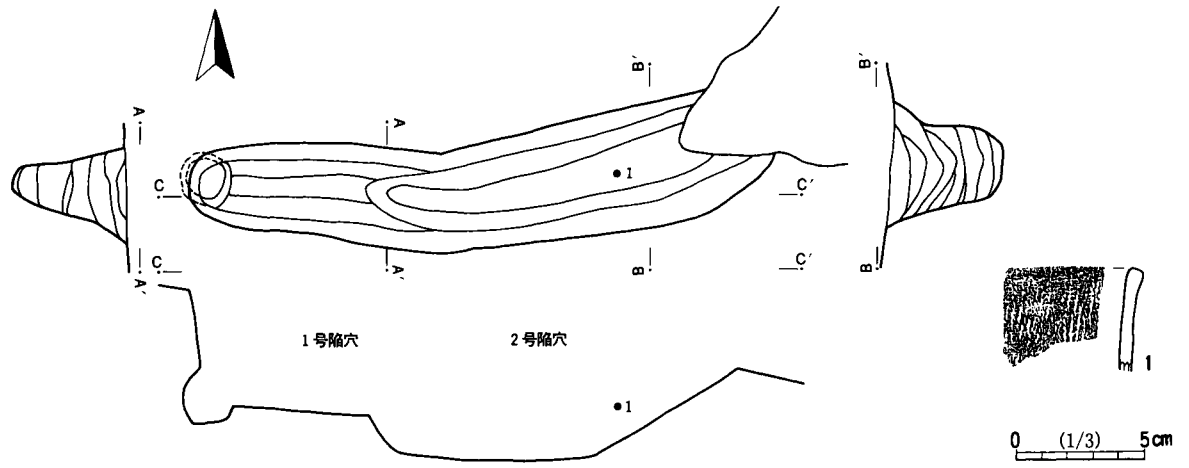
5号陥穴（第179図、図版7・58）

本遺構は、台地の北西側の縁辺部に位置する。グリッド番号は、2 D52区に当たる。形状は、細長い楕円形である。北側と南側の先端部はオーバーハングしており、床面は著しく狭くなっている。規模は、長軸2.6m、短軸0.8m、検出面からの深さ1.9mである。主軸方向は、N-2°-Wで等高線と平行する。覆土中から撚糸文系土器の胴部片（第179図2）が出土した。

6号陥穴（第179図、図版7）

本遺構は、5号陥穴から南東へ約30m離れた所にあり、平坦部に位置する。グリッド番号は、2 D95・96区に当たる。形状は、細長い楕円形である。規模は、長軸2.7m、短軸0.3m、検出面からの深さ0.7mである。主軸方向は、N-80°-Eで等高線と直交する。

7号陥穴（第179図、図版7）



第179图 陷穴

本遺構は、6号陥穴から南東へ約5m離れた所にあり、平坦部に位置する。グリッド番号は、3 D06・07区に当たる。形状は、細長い楕円形である。規模は、長軸2.5m、短軸1.2m、検出面からの深さ1.4m～1.6mである。主軸方向は、N-24°-Wで等高線と平行する。

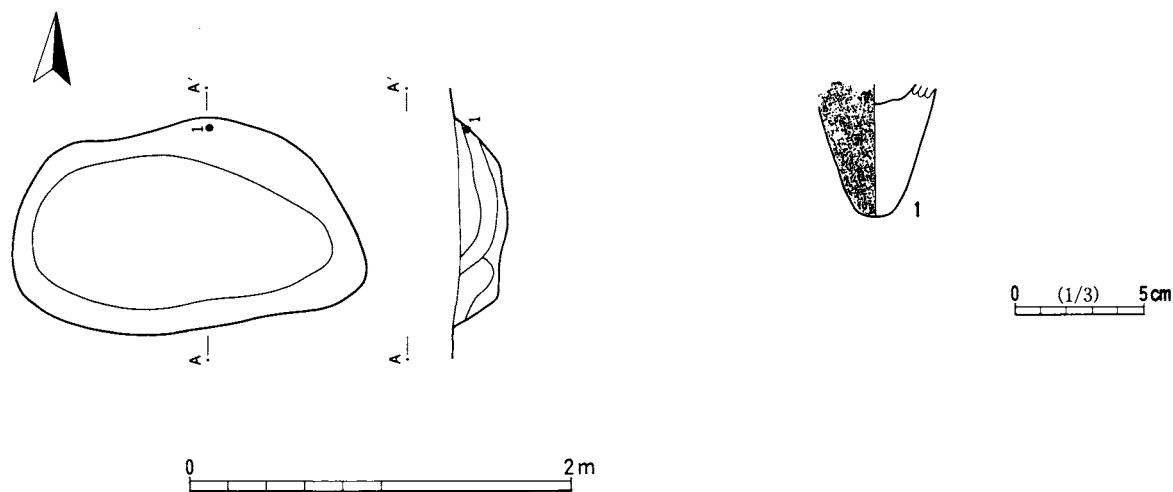
8号陥穴（第179図、図版7）

本遺構は、調査区の南西端の平坦部に位置する。グリッド番号は、4 C30・31区に当たる。形状は、細長い楕円形である。床面は、非常に狭くなっている。規模は、長軸2.4m、短軸0.5m、検出面からの深さ1.1mである。主軸方向は、N-71°-Wで等高線と直交する。

2 土坑

1号土坑（第180図、図版7・58）

本遺構は、台地の南東側の縁辺部に位置する。グリッド番号は、4 E24区に当たる。形状は、楕円形である。規模は、長軸1.8m、短軸1.0m、検出面からの深さ25cm～30cmである。主軸方向は、N-86°-Eである。覆土中から、田戸下層式土器の底部（第180図1）が出土した。また、上層に焼土が含まれていた。



第180図 土坑

第2節 グリッド出土遺物

1 土器

本遺跡から出土した土器は総数1,325点であり、早期から前期までの型式にわたっている。なかでも、早期前半の燃糸文系土器が全体の50%を占め、一番多い。これらを大別すると、以下のとおりに分類される。さらに、細分については形態及び文様による分類にしたがって行う。

第1群土器 早期前半の燃糸文系土器

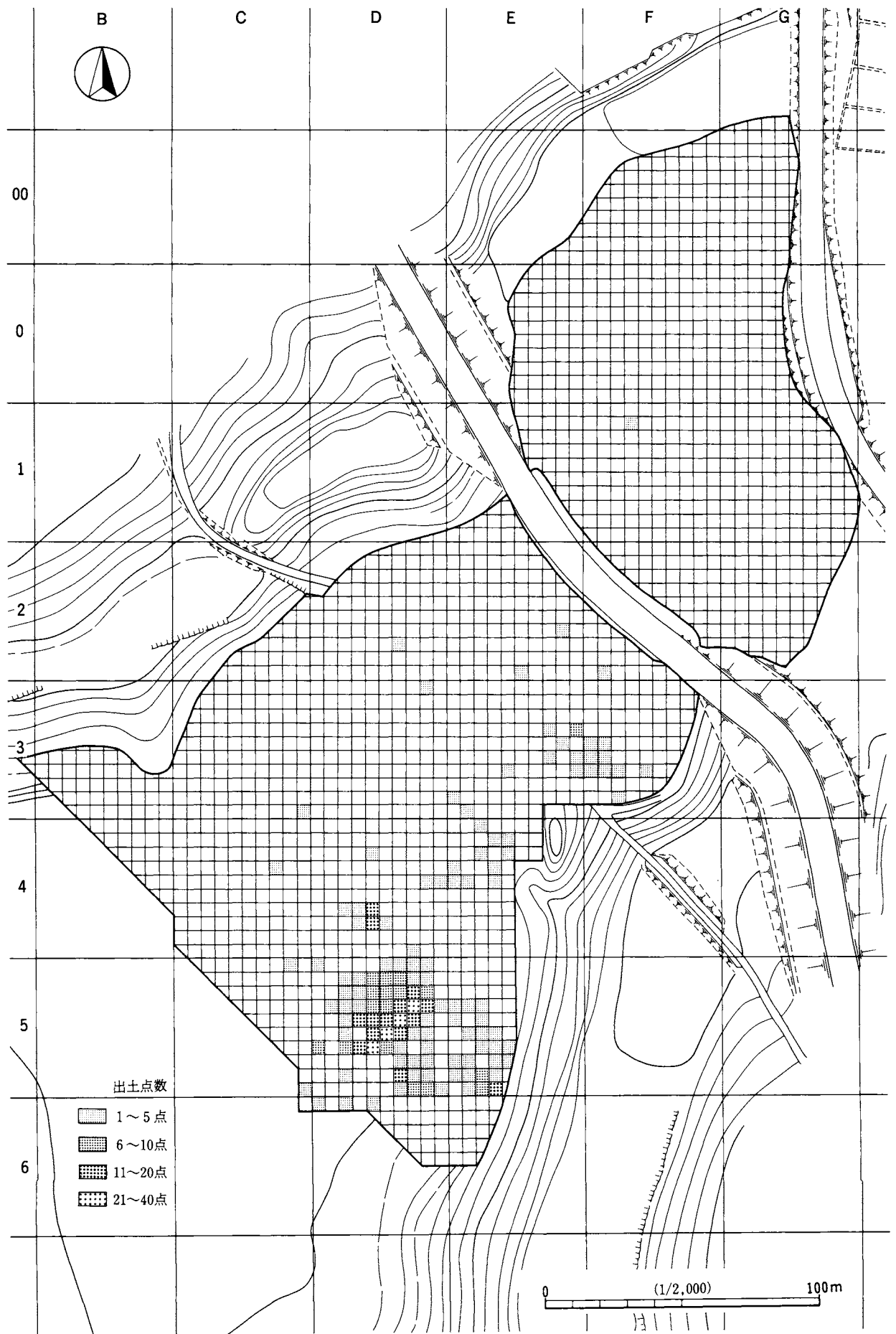
第2群土器 早期中葉の沈線文系土器

第3群土器 早期後半の条痕文系土器

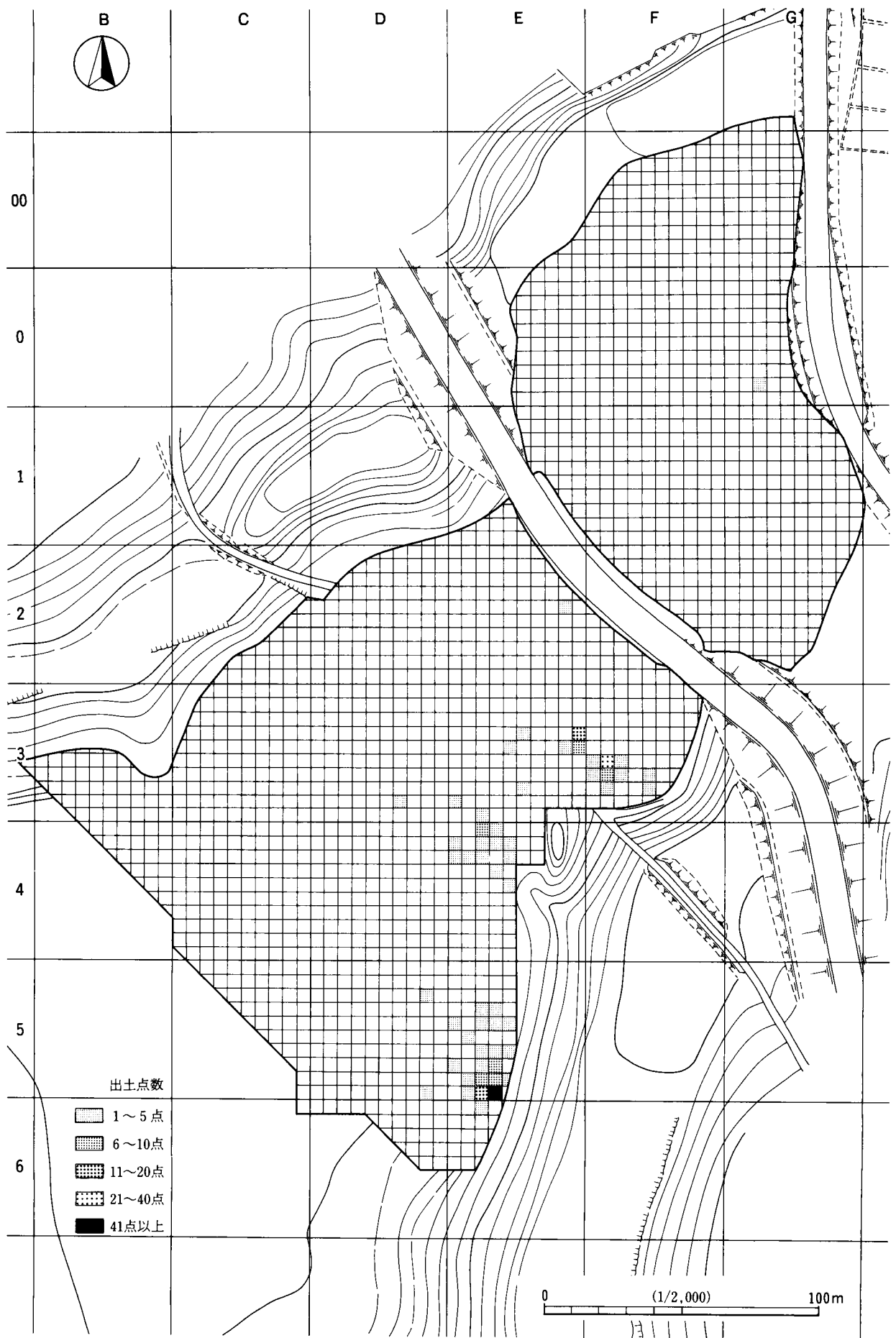
第4群土器 前期の土器

第1群土器 早期前半の燃糸文系土器

本群は、舌状台地南東側の縁辺部に分布する。特に、調査区南側の5 D区を中心に集中する（第181図）。



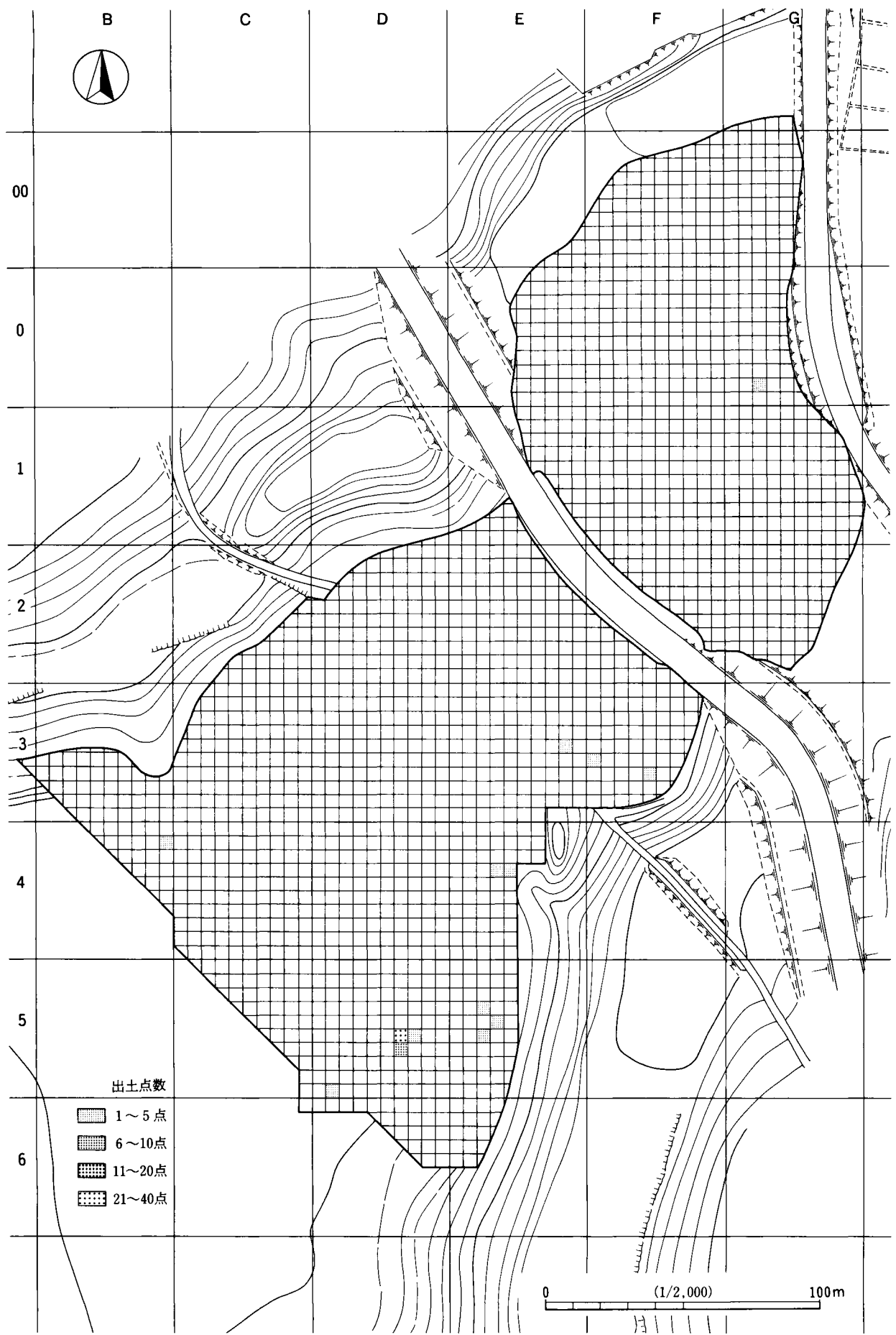
第181图 第1群土器分布图



第182图 第2群土器分布图



第183图 第3群土器分布图



第184图 第4群土器分布图

細分すると井草式土器・夏島式土器に分類できる。しかし、大半は井草式土器である。なお、挿図には型式分類が可能な口縁部のみを掲載することとした。

第1類 井草I式土器 (第185図1~4、図版54)

本類は口縁上端が外曲し、口縁部文様帯がある。1は推定口径25.5cmで、文様はすべて縄文である。口唇部文様は二段構成による単節RLの斜縄文、口縁部文様は横走する単節RLの縄文、胴部文様は縦走する単節RLの縄文である。胎土中には大粒の長石や石英が含まれている。2~3は口唇部文様が二段構成の斜縄文、4は一段構成の斜縄文である。

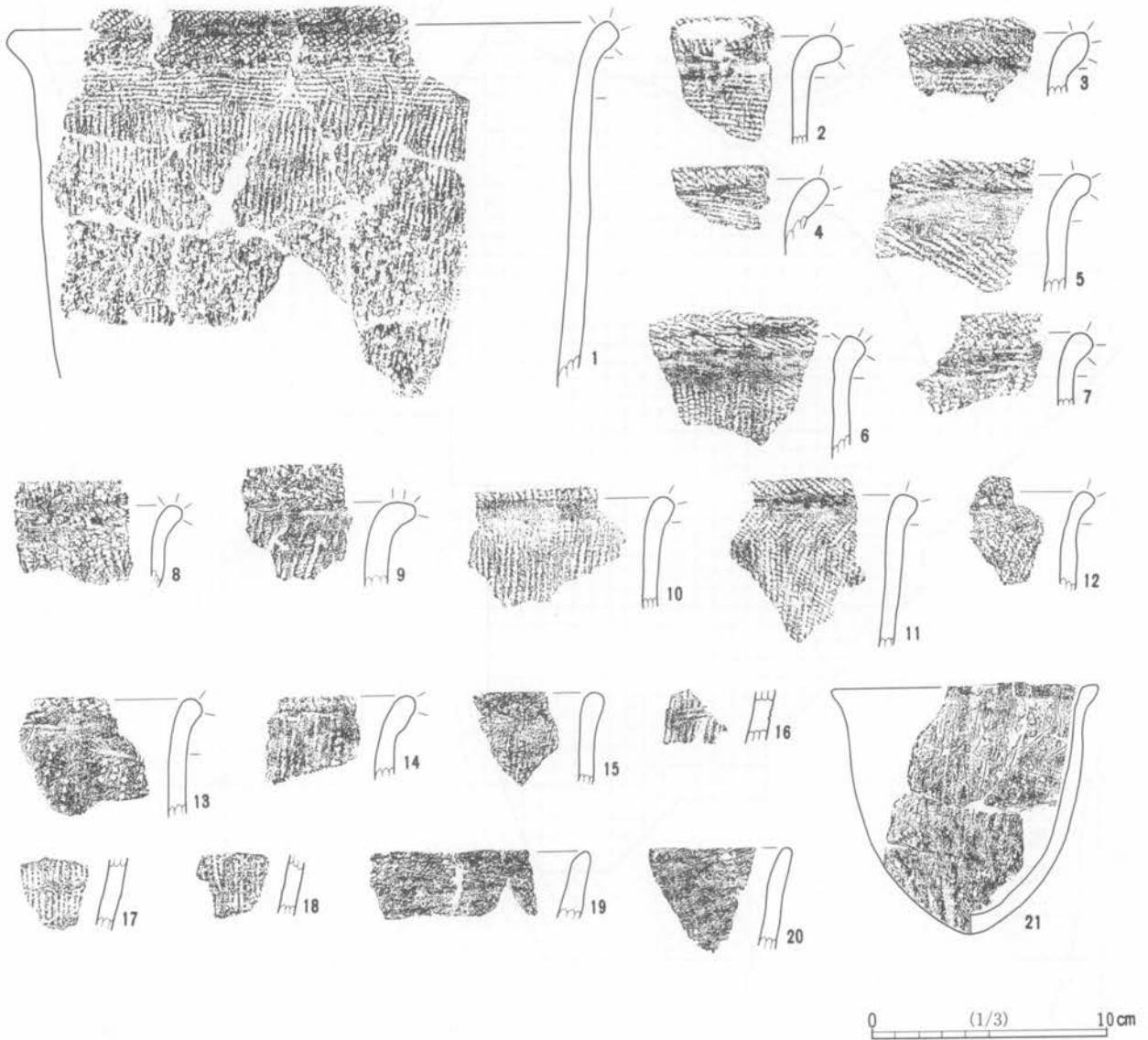
第2類 井草II式土器

第1種 口唇部文様が二段構成のもの (第185図5~9、図版54)

すべて口縁部が外反し、文様は縄文である。5~7は指ナデによる口縁部無文帯を有する。

第2種 口唇部文様が一段構成で、上部に施されるもの (第185図10~12、図版54)

すべて口縁部が外反し、文様は縄文である。また、指ナデによる口縁部無文帯を有する。



第185図 第1群土器

第3種 口唇部文様が一段構成で、側縁部に施されるもの（第185図13～14、図版54）

すべて口縁部が外反し、文様は縄文である。胴部文様の縄文が疎らである。

第3類 夏島式土器（第185図15、図版54）

口唇部から胴部にかけて縦走の縄文が施されている。

第4類 条痕文が施されているもの（第185図16～18、図版54）

16～18は同一個体で、文様が基本的に縦位の条痕文である。

第5類 無文のもの（第185図19～21、図版 ）

19～20は口唇が丸味を持っている。21は推定口径11.6cm、器高10.5cmで、口唇部が外反している。外面は研磨されているが、内面は剝落が著しい。

第2群土器 早期中葉の沈線文系土器

本群は、総数が230点である。舌状台地南東側の斜面部に分布する。特に、3 F区と5 E区の2か所を中心に集中する（第182図）。細分すると田戸下層式土器・田戸上層式土器に分類できる。この時期から胎土中に少量の繊維を混入する土器が若干観察されるようになる。

第1類 田戸下層式土器

第1種 平行する太沈線文が施されるもの（第185図1～6、図版55）

1～5は横位に、6は縦位に施されている。1～3は平行沈線文の繋ぎ目が見られる。なお、3と4は同一個体である。

第2種 太・細沈線文が施されるもの（第186図7～22、図版55）

7～8は平行する太・細沈線文の間に短沈線を充填している。なお、8は内外面が赤彩されている。9は沈線区画内に爪形状の刺突文を充填している。10～20は菱形ないし三角形の文様を描出している。21～22は平行沈線文である。

第3種 細沈線文が施されるもの

a. 多条のもの（第186図23～33、図版55）

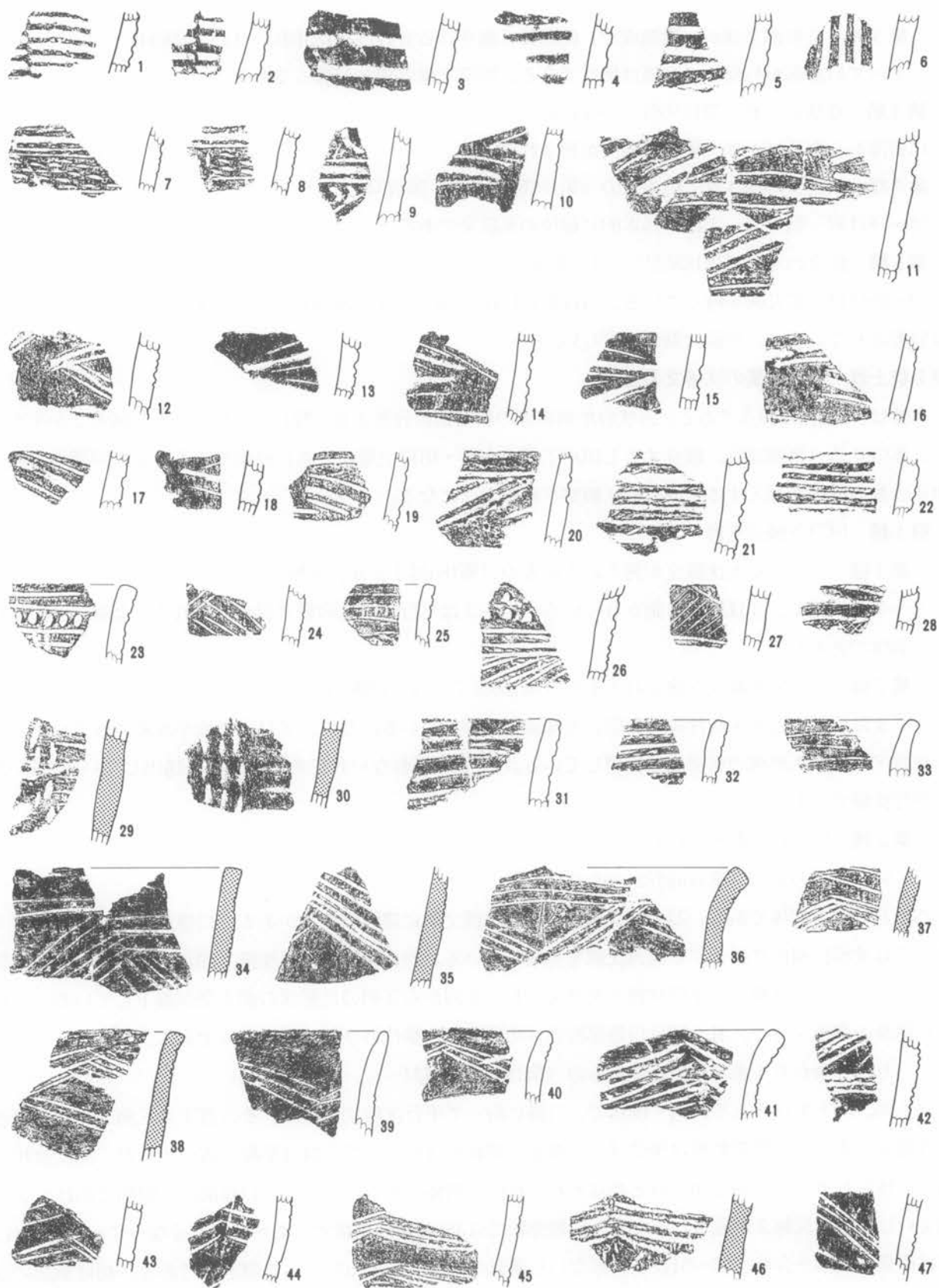
23と24は同一個体である。23～26は横位の平行沈線文間に連続刺突文がある。口唇部断面は角頭状である。27は沈線区画内に斜行する集合沈線を充填している。28は横位の平行沈線文間に格子目の沈線を充填している。29～30は横位の平行沈線文を地文とし、2列から3列の爪形状の刺突文が垂下している。それぞれ微量の繊維を含む。31～33は口唇部断面は角頭状で、横位の平行沈線文のみである。

b. 3条から4条を単位とするもの（第186・187図34～52、図版55・56）

34と35、36と37はそれぞれ同一個体で、口縁に沿って平行沈線文が廻り、その直下に三角形ないし菱形の沈線文がある。口唇部断面は角頭状で、微量の繊維を含む。ただ、34は平縁で直口するが、36は波状口縁で、外反している。39と40、41と42はそれぞれ同一個体である。38～42は口縁部から胴部にかけて3角形ないし菱形の沈線文が施されている。口唇部断面は38・41が角頭状で、39～40が丸くなっている。なお、38は微量の繊維を含む。43～51は三角形ないし菱形の沈線文を描出している胴部片である。46は微量の繊維を含む。52はキャリパー形の口縁部片である。口縁部文様は鋸歯状を基調とし、3条からなる平行沈線が縦位に充填している。

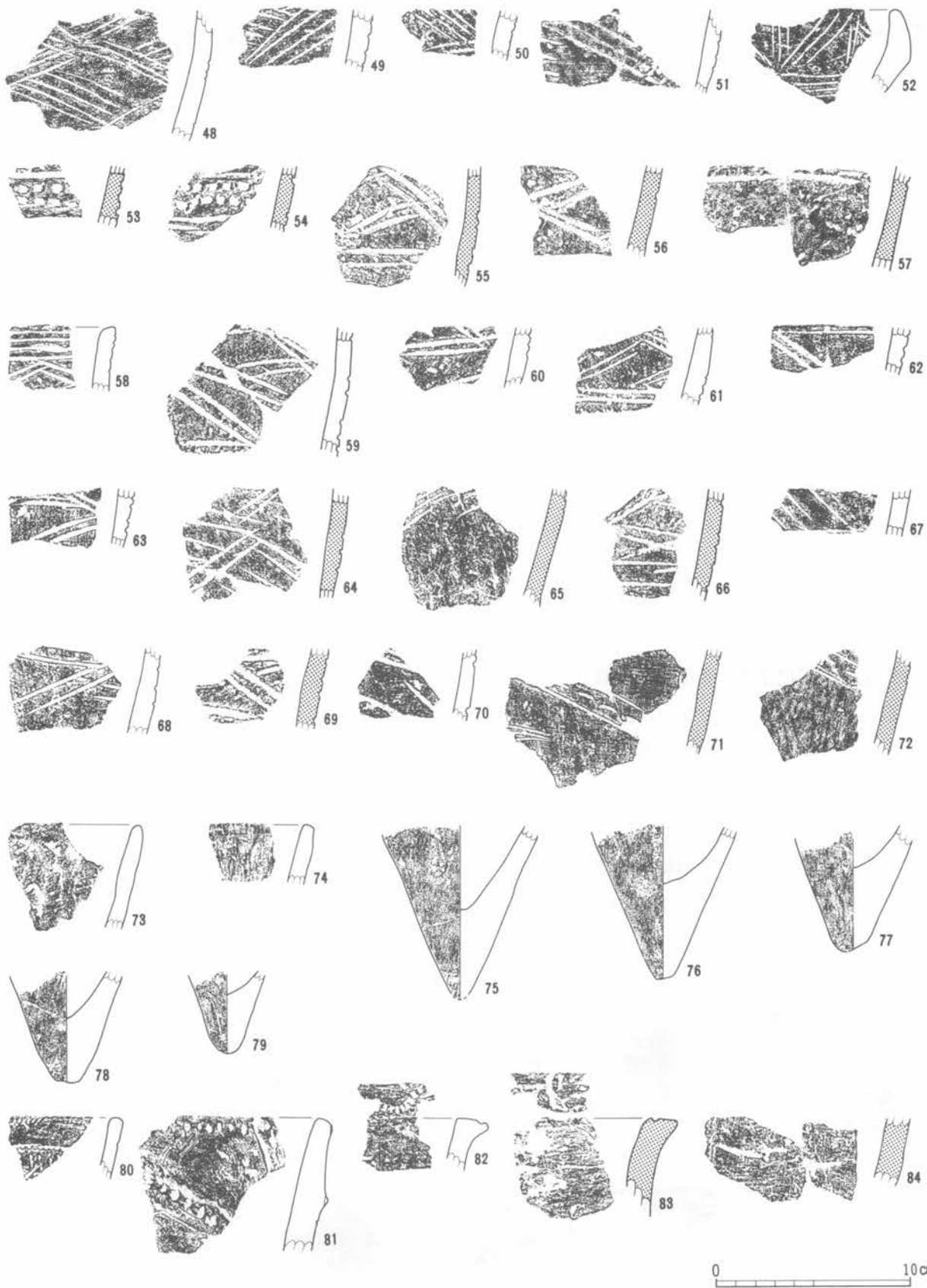
c. 2条を単位とするもの（第187図53～72、図版56）

53～57は同一個体で、微量の繊維を含む。胴部上半は横位の平行沈線間に二列の連続刺突文がある。胴



0 (1/3) 10cm

第186图 第2群土器(1)



第187图 第2群土器(2)

部下半は三角形ないし菱形の文様が施されている。58は口縁に沿って平行沈線文が廻り、その直下に三角形ないし菱形の沈線文がある。口唇部断面は内削ぎ状である。59～70は三角形ないし菱形の沈線文が施されている胴部片である。59～63は同一個体である。64～66は同一個体で、微量の繊維を含む。69も微量の繊維を含む。71～72は2条を単位とする沈線の間に関連する短沈線が施されている。胎土中に微量の繊維を含む。

第4種 無文のもの (第187図73～74、図版56)

2点とも外面の凹凸が著しい。口縁部断面は73が丸味を持ち、74が角頭状になっている。

第5種 底部 (第187図75～79、図版56)

75～76は砲弾形で、開く角度が48度である。外面はミガキが行われている。77は砲弾形で、開く角度が46度である。内外面ともにミガキが行われている。78は砲弾形で、開く角度が42度である。外面はミガキが行われている。79は砲弾形で、開く角度が40度と最も急である。外面はナデが行われている。

第2類 田戸上層式土器 (第187図80～84、図版56)

80は貝殻腹縁によって文様が施されている。口唇部外面には刻目があり、その直下に幅1cmの口縁部無文帯を構成している。81は把手の管状の部分と思われる。文様は刻目のある断面三角形の隆帯文によって描出される。なお、隆帯の下側にヘラ状工具による沈線が一条沿っている。口唇部外面には刻目がある。82は平縁で、口唇上に一条の有節沈線文がある。83～84は同一個体で、無文である。口縁部は外反し、口唇上に無節沈線文がある。胎土中に繊維を含む。

第3群土器 早期後半の条痕文系土器

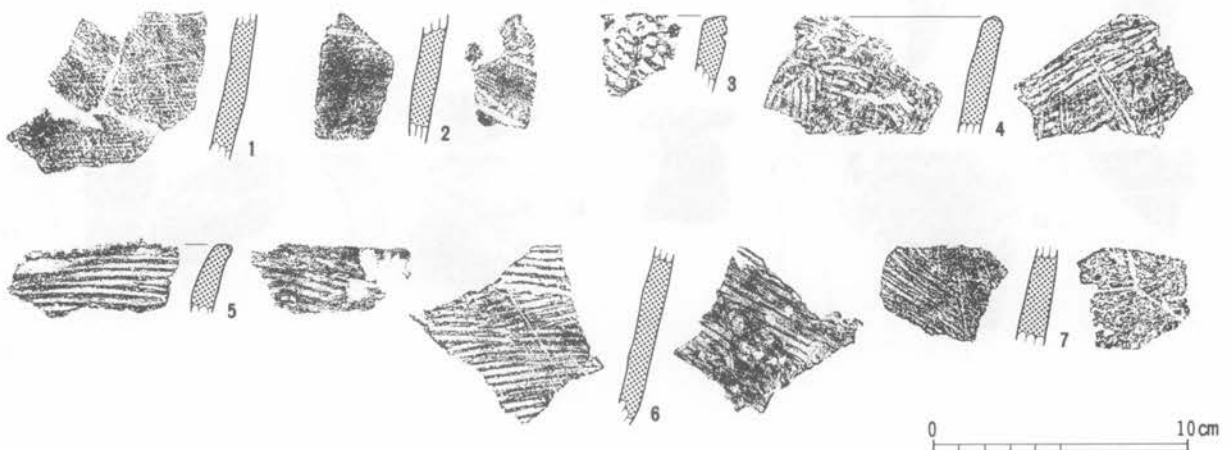
本群は、総数が71点と少ない。舌状台地南東側の斜面部に分布する。特に、5E区を中心に集中する(第189図)。細分すると子母口式土器・鶉ヶ島台式土器に分類できる。胎土中の繊維の混入が多量になる。

第1類 子母口式土器 (第188図1～2、図版57)

1は外面に横位の擦痕がある。胎土中に微量の繊維を含む。2は外面に横位の擦痕が、内面に斜位の条痕文がある。胎土中に微量の繊維を含む。両方とも田戸上層式の無文土器と比べ薄手である。

第2類 鶉ヶ島台式土器 (第188図3、図版57)

3は口唇部片で、口唇部が内削ぎ状になっている。文様は斜位の押引文が施され、区画部に円形竹管が押捺されている。



第188図 第3群土器

第3類 条痕文のみもの (第188図4~7、図版57)

4は口唇上に貝殻腹縁によって刻目が施されている。5は口唇部外面に刻目が施されている。

第4群土器 前期の土器

本群は、総数が50点と最も少ない。舌状台地南東側の斜面部に分布する。特に、5D区を中心に集中する(第184図)。細分すると黒浜式土器・浮島式土器・前期末の土器に分類できる。なお、前期後半になると胎土中に繊維が含まれなくなる。

第1類 黒浜式土器

第1種 縄文を地文とし、半截竹管による沈線文が施されているもの (第189図1~3、図版57)

1は沈線文が三角形に施されている。2は鋸歯状の沈線文と刺突文が巡る。3は横位の沈線文が巡る。

第2種 半截竹管による沈線文が施されているもの (第189図4~6、図版57)

すべて波状の沈線文が多条に施されている。なお、4~5は同一個体である。

第3種 縄文のみもの (第189図7~14、図版57)

7~10・14は羽状縄文で、11~13は斜縄文である。なお、14は底部片で上げ底になっている。

第2類 浮島式土器

第1種 貝殻腹縁文が施されるもの (第189図15~16、図版57)

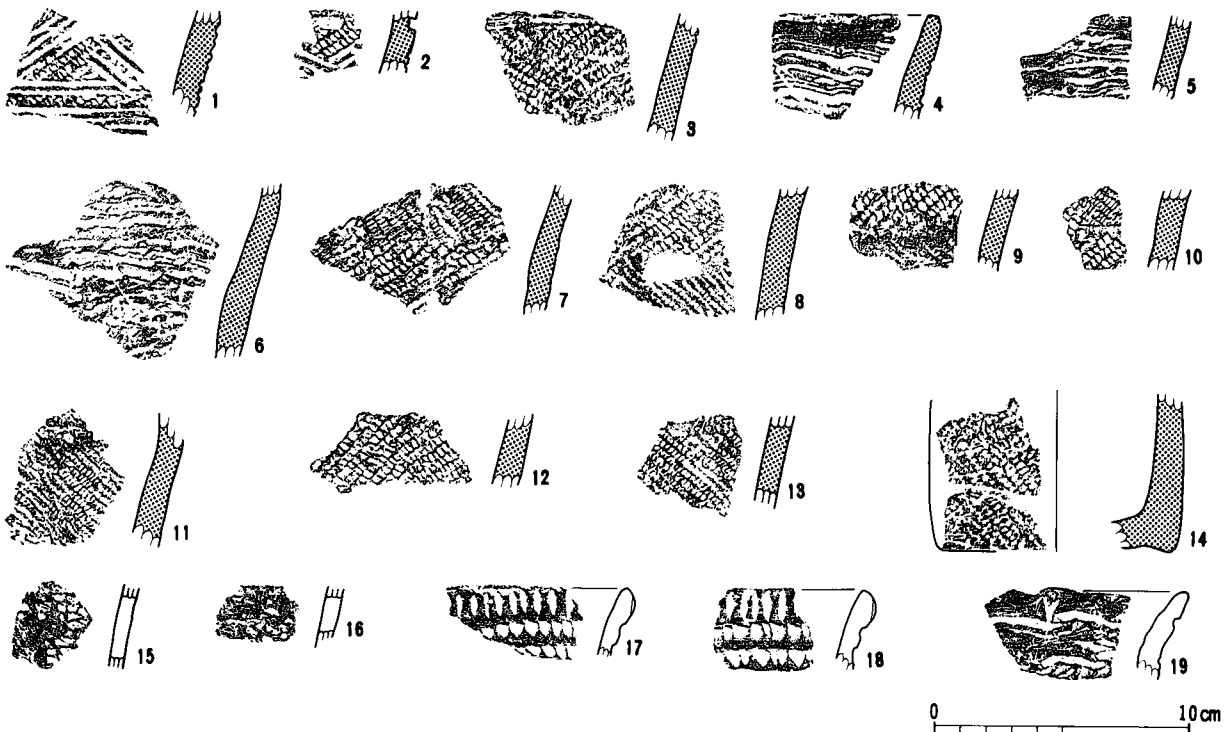
すべてアナグラ属による波状貝殻腹縁文である。

第2種 三角文が施されるもの (第189図17~18、図版57)

同一個体である。口縁部片で、二列の三角文がある。口唇部には刻目が施されている。

第3類 前期末の土器 (第189図19、図版57)

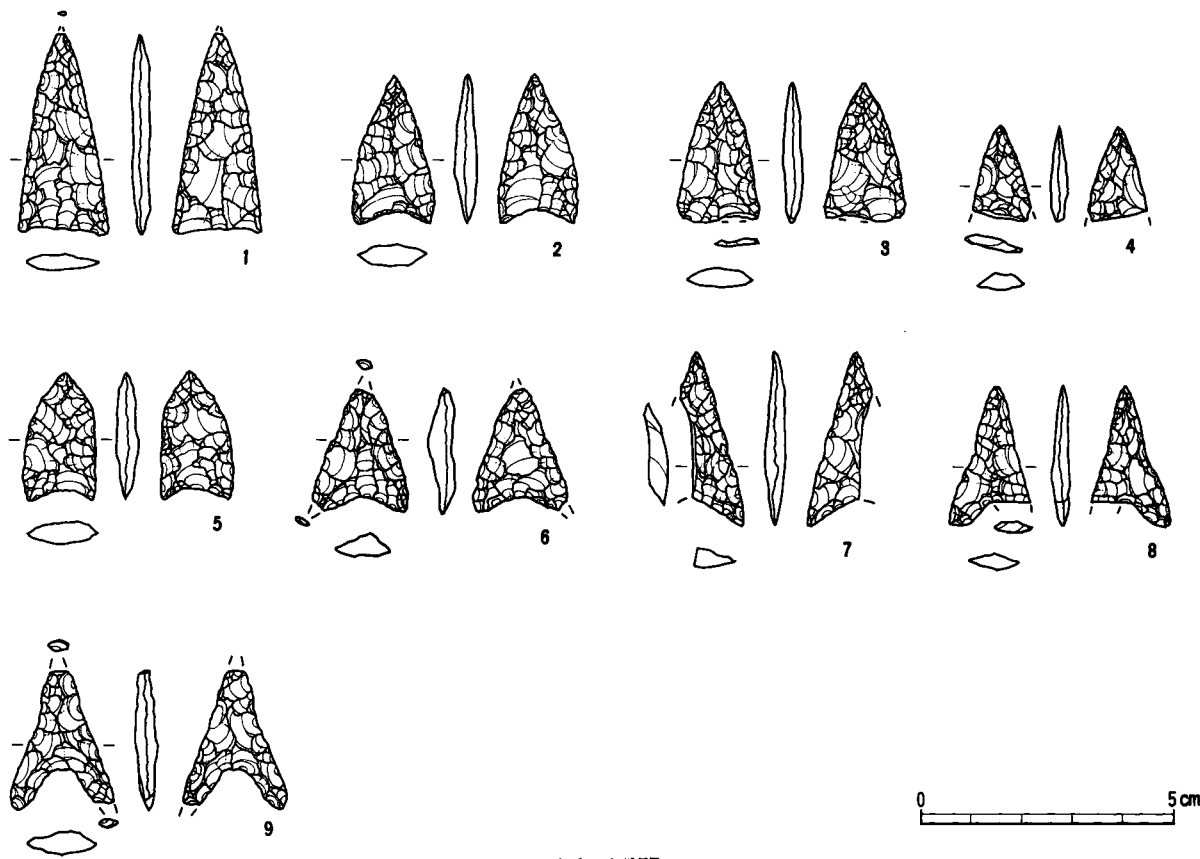
口縁部片で、外反している。文様は横位の綾絡文が施されている。



第189図 第4群土器

2 石器 (第190図、表110)

グリッド出土石器の総数は9点で、器種は石鏃が主体となる。調査区南側の5D区を中心に分布する。石材はチャートが半数を占めている。1～4は全体形状が二等辺三角形で、基部にわずかの抉りがある。5は側縁の湾曲が著るしく、基部にわずかの抉りがある。6～9は全体形状が二等辺三角形で、基部に大きな抉りがある。



第190図 石器

第4章 歴史時代

第1節 遺構とその遺物

歴史時代の遺構、遺物とも少ない。遺構は奈良時代の竪穴住居跡1軒と近世の溝2条が検出されたのみである。

1 竪穴住居跡

1号竪穴住居跡（第191図、図版8・58）

3E39区に所在し、2号溝に切られて存在する。N-39°-Eに主軸を置く長軸5.3m、短軸3.1mの長方形の平面形を有する竪穴住居跡であり、カマドは北東隅に見られる。本遺構の確認面は第IIc層～III層にかけてであり、確認面下30cmで床面に達する。壁は、ほぼ垂直に立ち上がっており、壁下には一部を除き周溝が認められる。柱穴や他の内部施設は検出されなかった。

カマドは、竪穴の隅を利用して作られており、隅丸の隅をさらに切り開いて煙道部になっている。袖部は、やや「八」の字状に広がり、砂質粘土が主体で小砂利・ローム塊を混入してスサ状の有機質をつなぎ材として固めている。火床部は、浅い皿状の掘込みで良好に焼けている。天井部は、若干覆土中に崩落部分が認められたが、全容は窺うことができなかった。

遺物は、カマド中心に床面から土師器杯・小型甕・甕が出土した。また、鉄滓等も含まれていた。本遺構の周辺にも、多くの鉄滓等が分布していた。

出土遺物 1は土師器杯で、内外面に赤色塗彩が施されている。底部外面は横方向のヘラケズリ、内面は横方向のミガキが行われている。推定口径は15.5cmで、胎土は精選されている。底部4/5、口縁部2/5の残存である。2は口径14.8cmの土師器杯である。外面は手持ちヘラケズリがなされ、部分的に横方向のミガキが施されている。内面は細かな横方向のミガキが施されている。口縁部2/5の欠損である。3は口縁部が1/8残存の土師器杯である。調整・ミガキは2と同様である。4は推定口径22.2cmの土師器甕である。口縁部内外面に横方向のナデが施されている。1/5の残存である。5は口径14.8cm、底径7.4cmの土師器小型甕である。胴部外面は縦方向のヘラケズリが施されているが、摩耗のため実測できなかった。口縁部が1/6欠損している。6は土師器甕であり、胴部下半1/5の残存である。外面は摩耗のため判然としないが、縦方向のヘラケズリが見られる。内面は横方向のナデが施されている。

鉄滓は、7点（総重量85.4g）が出土した。その内訳は、含鉄鉄滓が6点、製錬滓が1点である。なお、鉄滓の詳細については別途記載する。

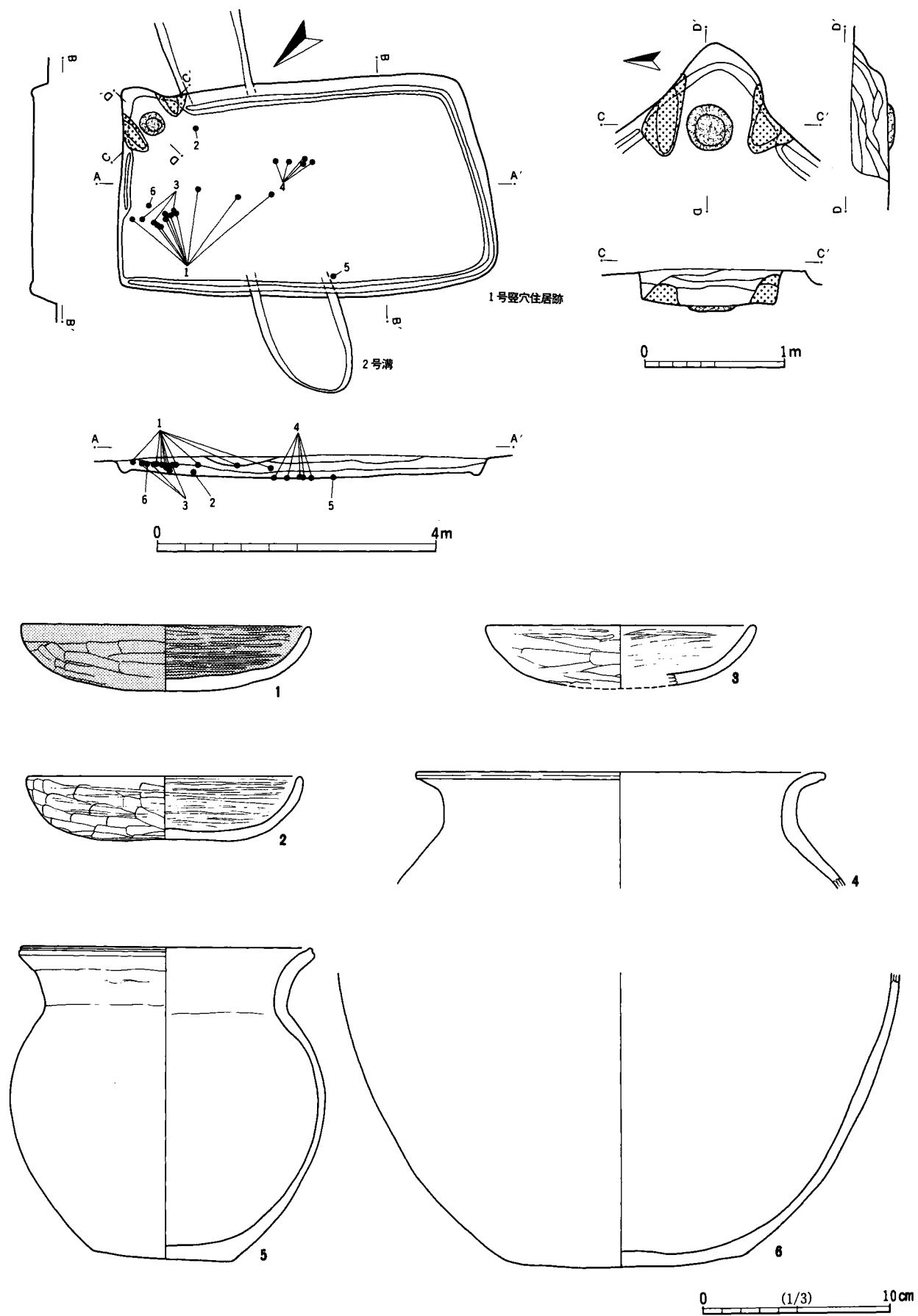
2 溝

1号溝（第192図、図版9）

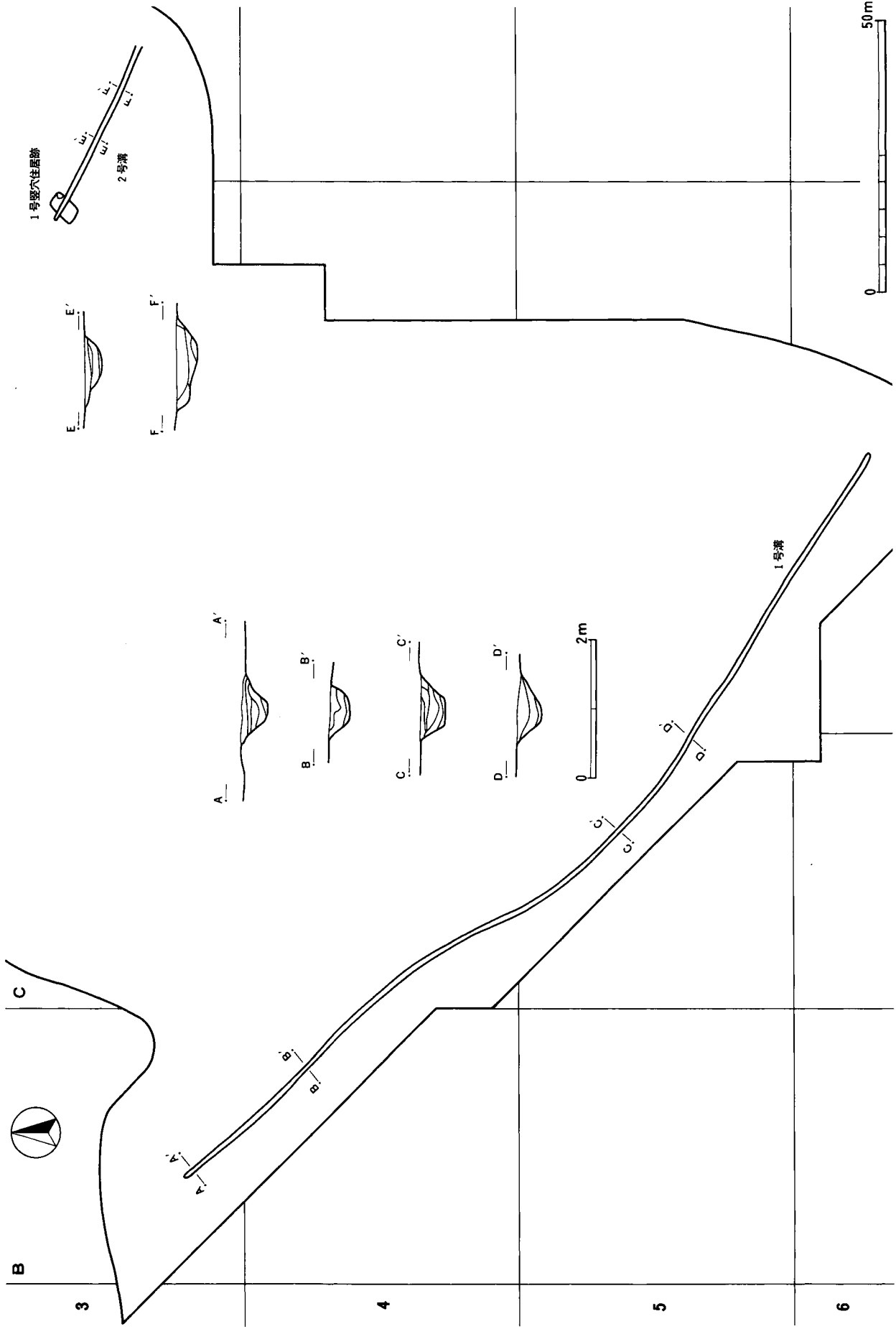
本遺構は調査区の南西側にあり、舌状台地を横切って存在する。中央部は蛇行し、全長182m、幅60cm～120cmである。断面形は逆台形状で、検出面からの深さは35cm前後である。主軸方位はN-46°-Wである。規模及び舌状台地を横切っていることから、野馬堀の可能性が高い。

2号溝（第192図、図版9）

本遺構は台地南東側の縁辺部に位置し、1号竪穴住居跡を切っている。グリッド番号で言うと3E・3



第191图 1号竖穴住居跡



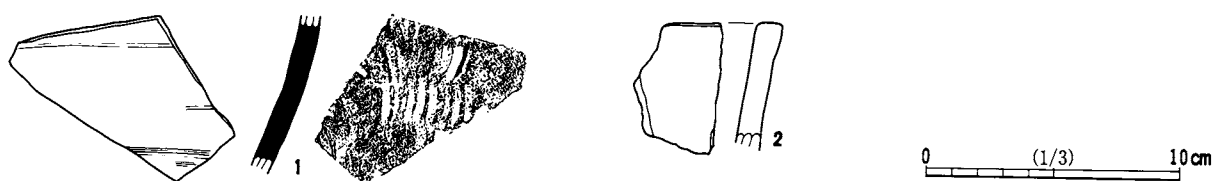
第192図 1・2号溝

F区に当たる。東端は斜面部にかかるため消滅し、全長36m、幅130cmである。検出面からの深さは25cm～30cmで、一部を除き段を有する。主軸方位はN-63°-Wで等高線と直交する。覆土中から鉄滓を出土したが、1号竪穴住居跡から流れ込んだものと考えられる。

第2節 グリッド出土遺物

1 土器（第193図1・2、図版58）

1は須恵器甕の小破片である。外面は横方向のカキ目状のナデがみられ、そのナデを消すように鉄器を研いだと考えられるスリ面が見られる。内面は同心円文の当て具痕が明瞭に見られる。2は中世の土師質鉢の口縁部片である。色調は内外面が暗灰褐色で、断面が灰褐色である。胎土には白色小石と雲母片が認められる。



第193図 グリッド出土遺物

2 製鉄関連遺物（第194・195図1～13、図版59）

本遺跡では、鉄滓等を1号竪穴住居跡及び遺構外から出土した。総量は、鉄滓が306点(5,073.5g)、炉壁が14片(1,254.7g)である。その内訳については、第111～113表を参照されたい。

鉄滓の分類方法については、香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）¹¹と同様の方法で、①大きさ・②磁着度・③肉眼観察の3項目に基づいて分類した。

① 大きさ

1～3cmのものを「3」、3～5cmのものを「2」、5cm以上のものを「1」とした。

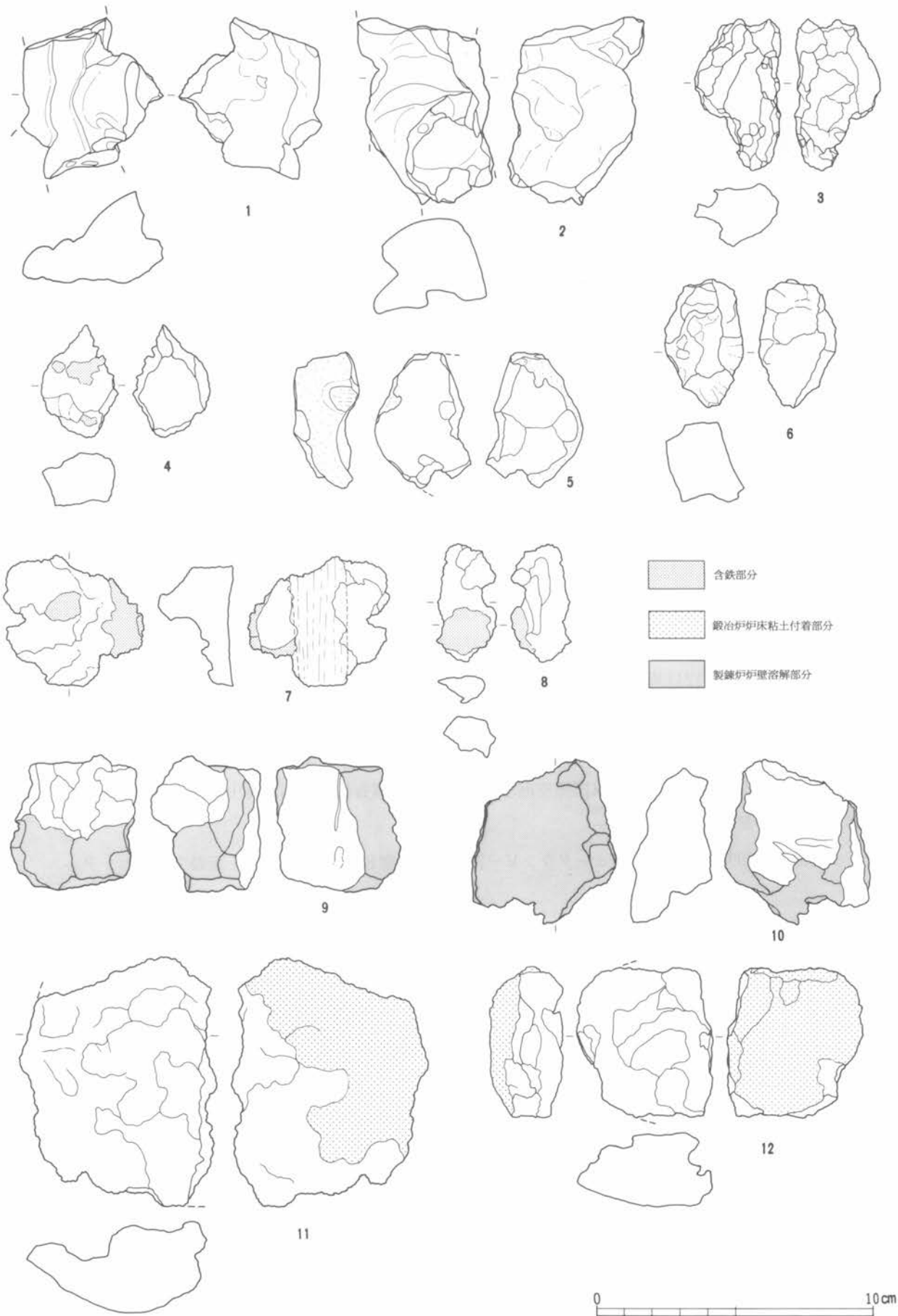
② 磁着度

測定に使用した磁石は、鉄滓等の磁着度測定に各県で導入している工業用磁石（標準磁石）を用いた。測定方法は、市原市押沼第1遺跡k地点²⁾など全国各地で実施している方法と同様にし、磁着度は磁力の強いものから5→4→3→2→1の順に分類した。

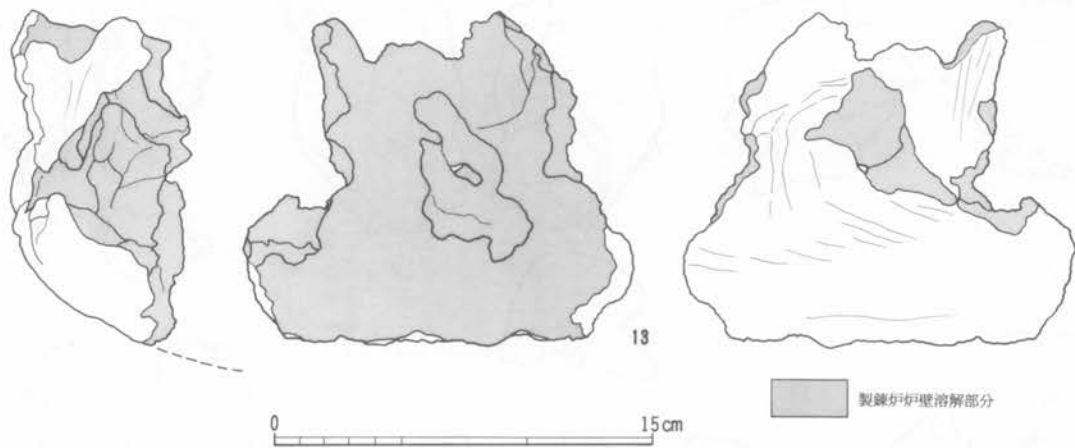
③ 肉眼観察

以下の種類に分けて観察を行った。

- a 鉄塊系遺物：市原市押沼第1遺跡K地点では小鉄塊と呼称しているもの。
- b 製錬滓：製錬作業によってできた滓。炉内滓。
- c 流出滓：製錬炉外に流れ出した流動状の滓。
- d 流出孔滓：製錬炉内の滓が炉外に流れ出る途中で流出孔の中で固まったもの。
- e 含鉄鉄滓：還元された金属鉄が鉄滓中に含まれているもの。
- f 含鉄碗形鍛冶滓：鍛冶炉の滓の底面が碗形になるものを碗形鍛冶滓と言う。本資料はその中に鉄塊系遺物が含まれるもの。



第194図 製鉄関連遺物(1)



第195図 製鉄関連遺物(2)

第194図の1・2は流出滓であり、両者とも大きな気孔が見られる。3は製錬炉内滓であり、炉壁に近い部分の滓と考えられる。4は鉄塊系遺物であり、表面に錆化による亀裂が見られる。5は流出孔滓である。6は製錬炉内滓であり、人為的に割られた痕跡が存在する。7・8は1号竪穴住居跡出土の含鉄鉄滓である。金属部分は錆化のためなくなっている。9は製錬炉内滓であり、一部に炉壁片を残す黒色のガラス質の滓である。10は溶解の進んだ炉壁片であり、溶解部分には流動垂下が認められる。11・12は含鉄椀形滓であり、11は中核部、12は周縁部の破片である。第195図13は炉壁片であり、長方形箱形炉（製錬炉）の炉底に近い部分の側壁である。通風口の一部と考えられる孔も見られる（第114表参照）。

注1 新田浩三ほか 1995 『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ 香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）』（財）千葉県文化財センター

2 小林信一 1993 『千原台ニュータウンⅤ-押沼第1遺跡K地点-』（財）千葉県文化財センター

第5章 まとめ

第1節 旧石器時代

1 はじめに

本遺跡からは31か所のブロック、12か所の礫群からなる3つの文化層が検出された。その具体的な内容については第2章で詳述したので、ここでは各文化層の器種構成、石器製作技術、石材構成の特徴について検討し、それぞれの様相をまとめてみたい。

2 第I文化層

第I文化層の石器群は、第1ブロック～第13ブロックの13か所のブロックが帰属し、立川ローム層のIX層下部に出土層位がある文化層である。石器は総数985点にのぼる。

石材構成は安山岩が704点(約71%)で圧倒的に主体を占める。続いて瑪瑙128点(約13%)、珪質頁岩55点(約6%)、珪質凝灰岩42点(約4%)、チャート33点(約3%)等となる。安山岩は大部分が緻密黒色安山岩(ガラス質黒色安山岩)であり、この緻密黒色安山岩の母岩が多量に存在することが特徴的である。瑪瑙の石材も第10ブロックを中心に安定して存在している。

器種構成は、台形石器が多量に検出され、主要な利器の中で器種構成に占める割合が最も高い。ほかにナイフ形石器、楔形石器が少数検出されている。また、1点ではあるが磨製石斧も伴出している。台形石器は、石材構成で主体を占める緻密黒色安山岩を素材とするものが多いが、珪質頁岩を素材とするものも7点検出されており、石材構成比に対して器種点数が目立つ。台形石器の形態にはバラエティがあり、横長剝片を素材として、素材の打面部の一端と打面に対向する縁辺部の一端に平坦調整が行われて基部を作出し、平面形状を逆台形状、逆三角形に仕上げている。かつて「中山新田型」として注目された鱗状の平面形状を呈するものも特徴的に見られる。また、第5ブロックには石刃状剝片を横位に用い両端部を調整し長方形に整形した台形石器が看取される。ナイフ形石器はごく少数の出土であるが、形態的な斉一性は認められない。磨製石斧は刃部が切断されたかのように欠損し寸詰まりとなるが、形態は「わらじ形」を呈する。

石器製作技術は、緻密黒色安山岩を素材として台形石器が多量に生産されている。この石材の原石は概して拳大ほどの楕円礫が多い。剝片剝離は原石を2分割に裁断し、あるいはそのまま剝片剝離が開始される。自然面を打面として打点が周囲を巡るように求心的に剝片剝離が進行するものと、打面をランダムに転移して剝片剝離が進行するものが見られる。第10ブロックの瑪瑙を母岩とする接合資料は原石の状態にまで復元される好資料であり、原石を分割し甲板状の分割面を作業面として、作業面の長軸方向に向かって両側面からの剝片剝離が行われている。これらの各種の剝片剝離作業によって、長幅比が1対1ほどの剝片から横長の剝片までが生産され、台形石器の素材として選択的に使用されている。調整加工の特徴としては打面部、あるいは端部を切断した面に調整加工されるものは少なく、直接的に微細調整・平坦調整が施されることが一般的である。

第I文化層はこれらの諸要素を有する石器群である。出土層位は、IX層からVII層に及び、ほぼIX層(第2黒色帯下部)に出土層位が求められる。下総台地における該期の石器群として、環状ブロックのような

群的な分布状況は示さないため、継起的に形成されたブロック群としての保証はないが、ほぼ同一時期の石器群と把握される。各形態の台形石器の多出とそれに石斧が伴う石器群のあり方は、該期の典型的な石器群の様相を示しており、他の台地では武蔵野台地編年における「IX層下部段階」の時期に対比されるのが妥当であろう。ここでは、第I文化層の石器群の特徴の要素として、緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）が台形石器の素材として多用されているという現象に注目しておく。

3 第II文化層

第II文化層の石器群は、第14ブロック～第16ブロックの3か所のブロックが帰属し、立川ローム層のVII層～VI層下部に出土層位がある文化層である。石器は総数76点にのぼる。3ブロックのみの検出であり、石器群の様相の一部しか表出していない可能性がある。

石材構成は珪質頁岩が54点（約74%）で圧倒的に主体を占める。続いて砂岩8点（約11%）、黒曜石6点（約8%）等となる。珪質頁岩は多様な母岩が多量に存在することが特徴的であるが、第16ブロックの石材は砂岩を主体としており、ブロックによって多用する石材が異なっている。

器種構成は、石刃が多量に検出され、主要な利器の内で器種構成に占める割合が高い。ほかにはナイフ形石器が安定して検出されている。石刃、ナイフ形石器は、珪化木を石材とする石刃が1個体ある以外は全て石材構成で主体を占める珪質頁岩を素材とする。ナイフ形石器は石刃を素材とすることが特徴的である。ナイフ形石器の細部加工には、基部側の両側縁を調整加工するものと、一側縁を調整加工するものが存在する。後者には石刃素材の一側縁を斜めに切り取るような調整加工が認められる。石刃には中形の石刃と小形の石刃が認められ、小形石刃の中には背面にポジティブな面（素材の主要剝離面）を残置するいわゆる「小石刃」が存在する。ナイフ形石器は少数の出土であるが、形態的にはバラエティがある。石刃の占める割合が高いことが器種構成の特徴として挙げられる。

石器製作技術は、石刃技法を基盤としている。しかし、石刃技法は原石からの一連の剝片剝離技術が個々のブロックに観察されるのではなく、整形された石核から石刃が剝片剝離される以降の剝離工程が見られる。また、剝片剝離も石核と石刃が接合する資料がほとんどなく、石刃は他のブロックから搬入され、ブロックで剝離された石刃は他のブロックに搬出されているものが多いと考えられる。石刃技法は原石から剝離された厚味のある縦長剝片・横長剝片を石核素材としている。剝片剝離は素材の主要剝離面と背面とがなす稜線の部位を作業面としており、結果として剝離された石刃は細長く小形の形状を呈することになる。石核素材は石刃ではないが、打面の小口から剝片剝離を行うことにより小石刃が生産されている。この種の剝片剝離技術は、「千田台技法」¹⁾と類似した手法により小石刃が生産されており、同様の効果を得る石刃技法と把握される。

第II文化層はこれらの諸要素を有する石器群である。出土層位はVII層からVI層に出土層位が求められる。ほぼ同一時期の石器群と把握されるが、出土層位が不明確なところがあるので時期的には幅を持たせておきたい。石刃と石刃を素材としたナイフ形石器が器種組成し、石刃技法が多用される石器群の様相は下総台地のVII層からVI層の時期の石器群として一般的なあり方である。本文化層では、大形石刃が器種組成しないこと、石材組成として珪質頁岩が主体となるものの砂岩、黒曜石などが伴出し、石材組成にバラエティがあることから、新しい時期（VI層の時期）の様相を示していると考えられる。他の台地では武蔵野台地編年における「VI層段階」の時期に対比されるのが妥当であろう。第II文化層の石器群の特徴として、「千田台技法」に類似した手法により小石刃を生産する石刃技法が存在するという事実が注目される。

4 第Ⅲ文化層

第Ⅲ文化層の石器群は、第17ブロック～第31ブロックの15か所のブロック、第1礫群～第12礫群の12か所の礫群が帰属し、立川ローム層のⅤ層～Ⅳ層下部に出土層位がある文化層である。石器は総数482点にのぼる。

石材構成は安山岩が413点（約86%）で圧倒的に主体を占める。続いてホルンフェルス26点（約5%）、珪質頁岩22点（約5%）、瑪瑙9点（約2%）等となる。安山岩はほとんどが緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）であり、このように黒色緻密安山岩を多用する石材使用のあり方は第Ⅰ文化層と同様であり、時期を超えて共通する石材使用のあり方として特徴的である。石材産地については、下総台地北東部地域における緻密黒色安山岩（ガラス質安山岩）の産地は大洗海岸産が主体を占める傾向が提示されており²⁾、本遺跡における緻密黒色安山岩（ガラス質安山岩）は、産地推定分析を行っていないが大洗産である可能性が考えられる。いずれにしても緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）の母岩が多量に存在することが特徴的である。

器種構成は、ナイフ形石器、台形石器が安定して存在し、それに角錐状石器、搔・削器類、敲石等が少数ずつ伴う。狩猟具類と考えられるナイフ形石器、台形石器、角錐状石器などの器種に対して、工具類と考えられる削器・搔器が加わり、器種構成はバラエティあるものになっている。ナイフ形石器は、先端が尖り厚味があり比較的刃部角が鈍角となる形態と、二側縁加工で切出タイプとなる形態が認められる。切出タイプは台形石器との器種峻別が困難なものもあるが、本報告では刃部の先端角が鋭角になるものと鈍角になるもので便宜的に分類した。台形石器には、この切出タイプの先端角が鈍角なもの、逆三角形、略台形状のものが見られるが形態的な企図性は薄い。角錐状石器は横長剝片を素材にして最大幅を中央部に持つ形状のものが見られる。削・搔器類は形態的に整ったものが認められないが、背面が自然面で覆われるものの縁辺を加工して刃部としているものがほとんどである。これらの主要な器種は大部分が石材構成で主体を占める安山岩を素材とする。

石器製作技術は各種の一般的な剝片剝離技術が認められる。①は、やや大形の楕円礫を数分割し、分割面を打面として作業面を限定して剝片剝離を行うものである。②は、拳大の楕円礫を2分割、あるいは数分割に裁断し、裁断面を打面として作業面を一面に限定してするものである。この手法の範疇に入るものの中には、わずかであるが、盤状の石核から素材を切り取るように剝離し、底面を保持する素材を生産するものも看取される。③は、②と同様に裁断面を打面とするが、作業面は打面を巡るように打点を移動するもので、残核は甲板面を持つ舟底形の形状を呈することとなる。④は、打点が作業面の周囲を巡り、作業面は求心状の剝離面を呈するもの、石核の素材は②と同様の2分割に裁断された裁断面を作業面とするものが多いが、扁平な楕円礫から直接的に剝片剝離するものもある。⑤は、打面と作業面とを交互に転移して剝片剝離が進行するもので、結果として石核はチョッピング・ツール状を呈する。⑥は、打面がランダムに転移して、残核が多面体石核となるものである。生産された剝片は、縦長剝片から横長剝片まで各種のものがあるが、概して厚味のある横長指向の剝片が多いようである。剝片は規格性に乏しく、器種の素材になるものを選択的に利用しているようである。選択利用される素材の内、厚味のある横長剝片は切出タイプのナイフ形石器や、台形石器の素材となっていものが多い。また、石材構成で緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）が多用されることに触れたが、本遺跡の特徴として緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）が原石の状態で遺跡内に持ち込まれていることが注目される。原石は、第21ブロック・第31ブロッ

クに多出している。ブロックの構造まで分析を行っていないが、2群あるブロック群に1か所ずつ原石が多出するブロックが存在することは、石器製作工程のサイクルとブロック間の連鎖を考える上で興味深い。

第III文化層には礫群が主体的に共伴している。特に、第21ブロック～第25ブロックと第26ブロック～第30ブロックの2群のブロック群に対応するように第3礫群～第5礫群、第6礫群～第11礫群の2群の礫群が重複する。2群の礫群は群ごとに礫群間の母岩の共有関係があり、それぞれが一連にあるいは同時期に操業していたことが想定される。本遺跡の礫群の各属性について全般的な傾向を列挙していくと、礫群の規模は比較的小規模のものが多く、数量では100点を超えるものは4礫群にすぎず、重量では3kgを超えるものは2礫群にすぎない。また、個々の礫の重量は50g以下のものが大部分で、重量分布は15g以下に高い比率があるものが多い。使用石材は数量、重量共に流紋岩が主体を占め次に砂岩、ホルンフェルスが続く。遺存度は大部分がDランクで完形の50%以下の破損礫となっている。赤化度はbランクの中間の赤化を呈するものが多いが、平均重量の重い礫群ほど赤化の度合いが低い傾向も看取される。付着物が観察される割合は、少数で構成される礫群に高い比率を示すものも存在するが、大部分が低い比率で10%台以下に収まる。また、そのほとんどがスス状の付着物で、タール状の付着物は希にしか観察されない。礫の接合は、特定の礫と礫が集中的に個々の礫群を超えて接合する例が観察されるが、全般的には母岩数からみて接合個体数は少ないようである。このような諸属性から本遺跡の礫群の操業の状況を復元するのは難しいが、個々の礫の大きさ、重量分布などから非常に使い尽くされた礫群ではないかと考えられる。また、平均重量の重い礫群ほど赤化の度合いが低いことは、個々の礫が繰り返し使用されていたことが想定されるのではないだろうか。

第III文化層は上記の諸要素を有する石器群と礫群で構成される文化層である。出土層位は、V層からIV層下部に出土層位が求められる。2群のブロック群については同一時期の石器群と把握されるが、他のブロックについては出土層位が不明確なところがあるので時期的には幅を持たせておきたい。切出タイプのナイフ形石器、角錐状石器と縦長指向の剥片を素材としたナイフ形石器、台形石器が器種組成し、各種の一般的剥片剥離が主体となる石器群の様相は、下総台地のV層からIV層下部の時期の石器群として一般的なあり方である。本文化層は、典型的な細長い切出タイプのナイフ形石器と角錐状石器が器種組成すること、縦長剥片を素材とするナイフ形石器が特徴的に見られることから、V層からIV層下部の時期でもより古い時期の様相を示しているとも考えられる。他の台地では武蔵野台地編年における「V層～IV層下部段階」の時期に対比されるのが妥当であろう。第II文化層の特徴として、緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）が石器石材として多用される点が注目される。さらに、道澤氏によりこの石材を主体とする遺跡では、礫群が共伴する傾向が指摘されており³⁾、本遺跡でもその傾向が確認された。礫群の使用石材は流紋岩類が主体であり、石材獲得上、おそらく両石材は石材採取地あるいは石材採取ルートにおいて密接な関係があったのであろう。

注1 矢本節朗 1996 「旧石器時代について」『多古町千田台遺跡－BR/W南側NDB用地（無線施設）埋蔵文化財調査報告』（財）千葉県文化財センター

2 山本 薫 1996 「V層～IV層下部段階における石材組成およびガラス質黒色安山岩製石器の石材入手もとについて」『石器文化研究5』石器文化研究会

3 道澤 明 1996 「下総台地の様相」『石器文化研究5』石器文化研究会

第2節 縄文時代

1 陥穴について

本遺跡から検出した陥穴は8基と少なかった。しかし、周辺の遺跡では多くの陥穴が検出され、その性格が明らかにされつつある。ここでは、従来の空港予定地内の調査例を参考に若干整理しておきたい。

分布

8基の陥穴の分布について概観してみると、3群に分けられる。第1群は1号～4号陥穴の4基で、北東に延びる舌状台地の先端部に位置する。1号陥穴と2号陥穴は斜面部に、3号陥穴と4号陥穴は平坦部に所在する。第2群は5号～7号陥穴の3基で、舌状台地の北西側に位置する。すべて平坦部に所在する。第3群は8号陥穴の1基で、舌状台地の付け根部に位置する。平坦部に所在する。

分類

ここでは、空港予定地の遺跡を系統的に考えるため、香山新田中横堀遺跡（空港No.7遺跡）の例を基に分類した。

I A類

開口部が楕円形ないし長楕円形で、坑底が長方形のもの。4号陥穴が相当する。

III A類

開口部が坑底と同じく楕円形のもの。7号陥穴が相当する。

IV 類

開口部が楕円形ないし長楕円形で、坑底が非常に狭くなるもの。1～3・5・6・8号陥穴が相当する。1号陥穴と5号陥穴は、坑底が長軸方向にオーバーハングしている。なお、1号陥穴は坑底に小ピットを有する。

時期

2基の陥穴から撚糸文系の土器片を出土した。覆土中から出土しているため、使用時期かどうか断定できないが、開口時期が縄文時代早期である可能性が高い。

第3節 歴史時代

1 製鉄関連遺物について

本遺跡の鉄滓の組成で製錬滓と流出滓の占める割合（第111表）は、重量が25.8%と48.8%、個体数で49%と24.8%である。この結果、鉄滓の大部分が製錬系の滓であることが分かる。磁着度は「1」のものが大半を占める。このような出土鉄滓のあり方は、空港予定地周辺でみられる製錬炉内又は炉前の作業場から出土した鉄滓と同様である。また、製錬炉壁片が14個体（総重量1254.7g）も出土した。以上のことから、本遺跡の近くに製錬炉があったものと考えられる。その製錬炉の形態については、多量の流出滓の存在、炉壁片の中に通風口が幅8.8cm以上の間隔で二個並んでいるもの（第195図13）があることから、長方形箱形炉と断定できる。

第196図は鉄滓分類別出土分布図であるが、この図から鉄滓が調査区の南半分には分布することが分かる。また、1号陥穴住居跡が所在する3E38・3E39区から等高線に直交する形で斜面に向かって鉄滓の集中分布域が伸びている。これらの鉄滓は、方向からみて1号陥穴住居跡から投棄されたものと考えられる。

1号竪穴住居跡及び周辺のグリッドから出土した鉄滓の種別(第114表)を見ると、含鉄鉄滓と鉄塊系遺物が1号竪穴住居跡を中心とする区域に集中することが分る。すなわち、遺跡全体で含鉄鉄滓は、60個体(総重量383.2g)、鉄塊系遺物は10個体(総重量256.1g)であるが、これらはすべて1号竪穴住居跡及びその周辺グリッドからの出土である。

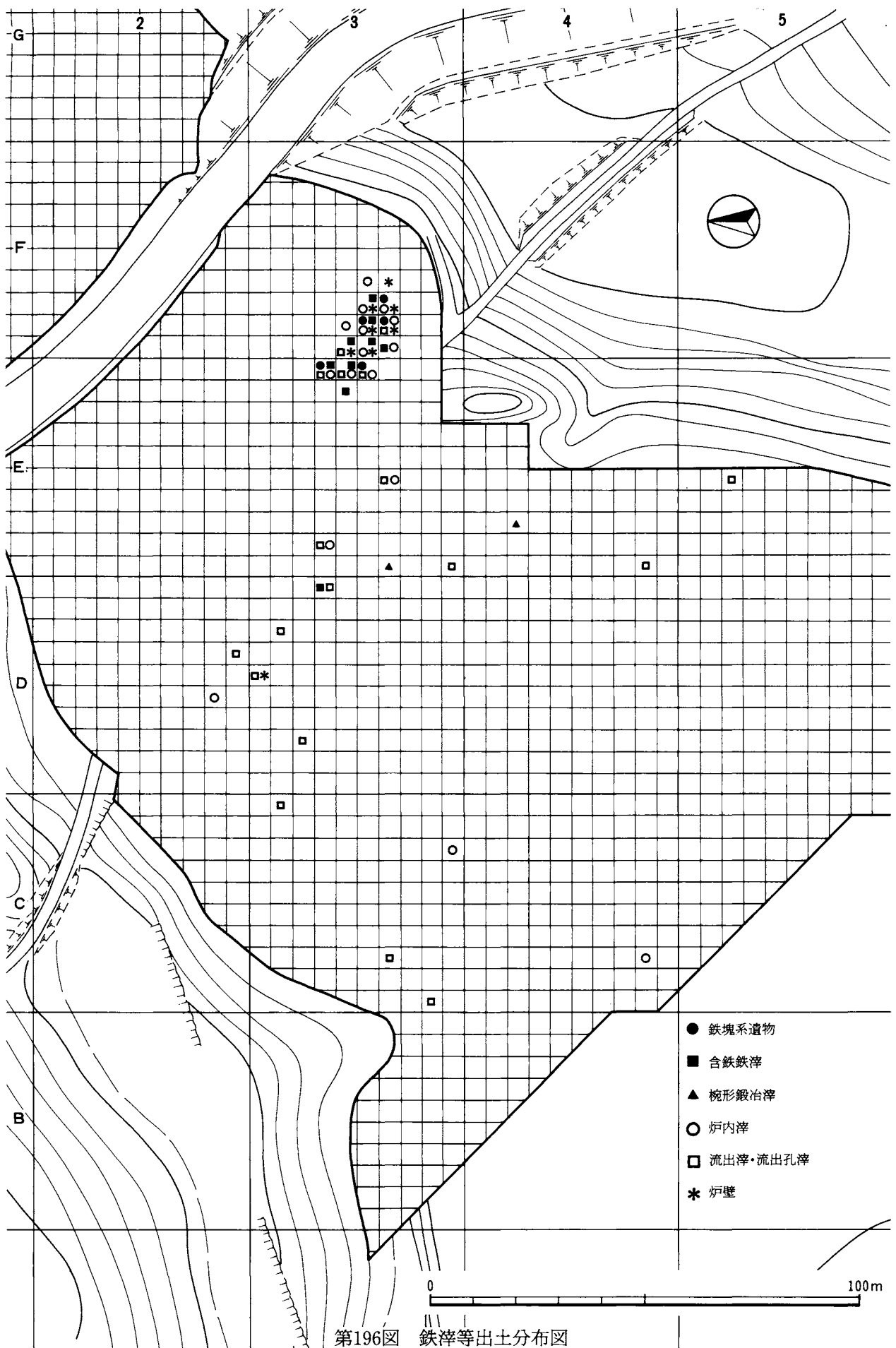
さらに、鉄塊系遺物と含鉄鉄滓の合計は70個体(総重量639.3g)であり、周辺グリッド全体でのほかの鉄滓との比率は27%、25.4%に達する。この数値は、一鉄田甚兵衛山北遺跡(空港No11遺跡)で見られた製鉄遺構群の中の第二次鉄塊選別場あるいは第三次選別場の鉄塊系遺物や製錬滓のあり方と遜色はなく、竪穴住居跡内又はその脇で鉄と滓との分離作業を行っていたことは明白である。1号竪穴住居跡は、その形態が長方形であるため工房的な遺構であることが分かる。したがって、本遺構は作業場であると認識できる。

一方、3C・3D区では流出滓を中心とした分布が見られる。このような流出滓は、本来、製錬炉の周辺に多く廃棄される。製錬炉については、斜面部を利用して造られているのが一般的であり、3C・3Dグリッドのような平坦な地形に点在していることは理解に苦しむ。しかし、調査区内には、ところどころに残土が見られることから、おそらく削平した際に集められた残土の中に流出滓が多く混入したものと考えられる。

このように、遺跡内に箱形の製錬炉が存在したことは確実であるが、どの区域にあったかは判然としない。しかし、1号竪穴住居跡が第二次あるいは第三次の鉄塊選別場である可能性が強いことから、おそらくは1号竪穴住居跡付近の南斜面部に存在していたことが想定される。

なお、3E・4E区から3点の含鉄椀形鍛冶滓を出土した。これらについては1号竪穴住居跡から鍛冶の痕跡が全く見られないことから、出所は不明である。空港予定地周辺の製錬炉を有する製鉄遺跡においては、鉄塊選別場である竪穴住居跡とともに、鍛冶工房跡が共伴する例が多い。本遺跡についても鍛冶工房跡が付近に存在した可能性は十分考えられる。

注1 新田浩三ほか 1995 『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査IX 一鉄田甚兵衛山北遺跡(空港No11遺跡)』
(財)千葉県文化財センター



第196図 鉄滓等出土分布図

第3表 第I文化層組成表

	ナイフ	台形石器	楔形石器	磨製石斧	敲石	R剝片	U剝片	石刃	石核	剝片	砕片	礫	合計	数量比%
黒安珪子凝珪メ蛇流砂石ホルン	1 2	1 20 7				7 1 2	1 5	1	14 1 2	2 321 18 13	2 339 20 12		5 704 55 33	0.51 71.47 5.58 3.35
曜山頁岩ト岩ウ岩岩岩岩			1										2 2 42 128	0.20 4.26 12.99
灰質ノ紋紋板		2 4				1	4		1 3	19 58	18 58		1 1 3 3	0.10 0.10 0.30 0.30
斑珪ス				1	1					1		1	1	0.10
合計	3	34	1	1	1	11	12	1	21	440	453	7	985	100.00
組成比%	0.30	3.45	0.10	0.10	0.10	1.12	1.22	0.10	2.13	44.67	45.99	0.71	100.00	

第4表 第II文化層組成表

	ナイフ	R剝片	U剝片	石刃	石核	剝片	砕片	合計	数量比%
黒安珪子凝珪メ蛇流砂石ホルン	4	1 1	3 3	11 2	5	2 19	6 11 3 2	6 54 2 8	8.22 73.97 2.74 4.11 10.96
合計	4	2	6	13	5	27	16	73	100.00
組成比%	5.48	2.74	8.22	17.81	6.85	36.99	21.92	100.00	

第5表 第III文化層組成表

	ナイフ	台形石器	角錐状石器	削器	擡器	楔形石器	礫器	敲石	R剝片	U剝片	石核	剝片	砕片	原石	合計	数量比%
黒安珪子凝珪メ蛇流砂石ホルン	8 1	10 1	1	1 1	2	1		1	16 1	2 4	40	3 293 12 1	28 2	11	6 413 22 2	1.24 85.68 4.56 0.41
曜山頁岩ト岩ウ岩岩			1				1								1	0.21
灰質ノ紋紋板	2							1	1		1	4	1		9	1.87
斑珪ス								1				2			3	0.62
合計	11	11	2	2	2	1	1	2	21	7	45	335	31	11	482	100.00
組成比%	2.28	2.28	0.41	0.41	0.41	0.21	0.21	0.41	4.36	1.45	9.34	69.50	6.43	2.28	100.00	

第6表 第1ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩		
											I	II	III	IV	C				安山岩	山岩	砂岩
1	00F880002	剥片	19.6	21.2	5.0	1.9	3	P			1		2	3			S	安山岩	山岩	砂岩	
2	00F890002	剥片	66.1	31.0	14.6	31.4	1	H		pl	1			3	○	113	F	安山岩	山岩	砂岩	
3	00F990002	剥片	20.7	28.1	6.5	3.2	2	2		○	3	1			○	115	F	安山岩	山岩	砂岩	

第7表 第1ブロック組成表

	剥片	合計	数量比%
安山岩 1	1	1	33.33
安山岩 2	1	1	33.33
小計	2	2	66.66
砂岩 1	1	1	33.33
計	3	3	100.00
組成比 %	100.00	100.00	

第8表 第2ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩			
											I	II	III	IV	C				安山岩	山岩	砂岩	
1	00F950002	礫	25.5	29.0	12.2	9.9					2	2				109	-	M	蛇紋岩	山岩	粘板岩	
2	00F950003	R 剥片	24.9	26.9	8.7	5.1	2	H			1					85	F	R	安山岩	山岩	粘板岩	
3	00F950004	U 剥片	18.3	23.6	6.1	2.0	4	C			3				○		F	R	メノウ	山岩	粘板岩	
4	00F950005	剥片	21.5	29.6	7.5	3.5	8	-	-	-	3						F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
5	00F950006	剥片	17.2	22.3	3.7	1.4		H			1	1					H	H	安山岩	山岩	粘板岩	
6	00F960004	剥片	19.8	21.7	8.5	2.9		H			1			1	○		F	F	安山岩	山岩	粘板岩	
7	00F960005	剥片	25.1	14.7	11.7	2.9		-	-	-	1			1	○		F	M	安山岩	山岩	粘板岩	
8	00F960006	剥片	22.2	33.8	9.1	4.3		C			1	2					F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
9	00F960007	剥片	37.5	25.5	6.1	10.4	5	L			2	2	1				H	H	安山岩	山岩	粘板岩	
10	00F960008	剥片	25.4	37.5	6.3	7.9	6	-	-	-	1			2			F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
11	00F960009	剥片	23.5	20.8	3.6	2.0		L			1			1			F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
12	00F960010	剥片	28.5	31.7	9.2	4.8	7	H			2	1		1			F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
13	00F960011	剥片	8.3	14.1	6.0	0.8		C			2						F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
14	00F960012	剥片	8.4	9.5	3.1	0.7		H			2	1					F	H	安山岩	山岩	粘板岩	
15	00F960013	礫	13.5	7.2	4.0	0.7																
16	01F050002	剥片	29.4	21.9	6.6	3.6		L		○	1		1	1			F		安山岩	山岩	粘板岩	
17	01F060002	砕片	8.9	14.2	3.1	0.4																
18	01F060003	敲石	49.5	41.5	37.2	113.6	1															
19	01F060004	R 剥片	16.2	16.3	7.5	2.1	3	-	-	-	1			1			F	M	安山岩	山岩	粘板岩	
20	01F060031	剥片	10.0	18.5	3.4	0.7		H			1		1				F		安山岩	山岩	粘板岩	

第9表 第2ブロック組成表

	敲石	R剥片	U剥片	剥片	砕片	礫	合計	数量比%
安山岩 3		2		8	1		11	55.00
安山岩 4				1			1	5.00
安山岩 5				1			1	5.00
小計		2		10	1		13	65.00
チャート 1						1	1	5.00
メノウ 1			1	1			2	10.00
蛇紋岩 1						1	1	5.00
粘板岩 1				2			2	10.00
砂岩 2	1						1	5.00
計	1	2	1	13	1	2	20	100.00
組成比 %	5.00	10.00	5.00	65.00	5.00	10.00	100.00	

第10表 第3ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿 号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩			
											I	II	III	IV	C							
1	01F060005	剥片	26.5	21.1	5.2	3.0		H	-	-	2	1				113	H		安山岩	山岩	3	
2	01F060006	剥片	37.0	39.2	13.1	18.6	3	-	-	-	1	1		3	○		F	H	安山岩	山岩	3	
3	01F060007	剥片	51.7	44.0	14.5	33.3	2	2			2				○		F		安山岩	山岩	3	
4	01F060008	剥片	21.3	29.9	8.2	5.1		H		○	1						S		安山岩	山岩	3	
5	01F060009	剥片	25.2	16.8	6.2	2.2		P				1						M	安山岩	山岩	3	
6	01F060010	剥片	24.0	15.2	8.2	3.2		H			2	4						S	安山岩	山岩	3	
7	01F060011	石核	34.5	37.0	19.7	26.9	4												安山岩	山岩	3	
8	01F060012	砕片	7.0	9.1	3.0	0.2													安山岩	山岩	3	
9	01F060013	剥片	25.9	9.5	8.3	1.5		-	-	-	2							F	L	安山岩	山岩	3
10	01F060014	剥片	7.5	27.4	6.9	1.6		P			2							F		安山岩	山岩	3
11	01F060015	台形石器	25.1	15.1	5.6	2.2	1													安山岩	山岩	3

第11表 第3ブロック組成表

	台形石器	石核	剥片	砕片	合計	数量比%
安山岩	3	1	7	1	10	90.91
粘板岩	1		1		1	9.09
計	1	1	8	1	11	100.00
組成比%	9.09	9.09	72.73	9.09	100.00	

第12表 第4ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿 号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩			
											I	II	III	IV	C							
1	01F060016	砕片	13.0	14.7	2.6	0.5												安山岩	山岩	3		
2	01F060017	剥片	14.7	15.2	5.4	1.0		H			1	2					F		安山岩	山岩	3	
3	01F060018	剥片	19.3	21.0	6.5	1.6		C			1	1		1			F		安山岩	山岩	3	
4	01F060019	剥片	18.2	5.2	2.5	0.2		P			2						F		安山岩	山岩	3	
5	01F060020	剥片	17.2	22.2	3.9	1.4		C			1			1			H		安山岩	山岩	3	
6	01F060021	砕片	4.4	7.5	1.3	0.1													安山岩	山岩	3	
7	01F060022	剥片	21.3	29.2	7.3	4.5	3	P		○	3			1			H		安山岩	山岩	3	
8	01F060023	剥片	10.6	16.6	3.5	0.8		-	-	-	1	1	1				F	H	安山岩	山岩	3	
9	01F060024	砕片	11.0	7.2	1.8	0.2													安山岩	山岩	3	
10	01F060025	剥片	19.3	11.2	4.4	0.5		H			1	1					F		安山岩	山岩	3	
11	01F060026	砕片	7.0	9.4	1.7	0.2													安山岩	山岩	3	
12	01F060027	U剥片	35.7	44.0	6.9	11.4	2	H			3			4			S		メノウ	ウ	1	
13	01F060028	剥片	31.5	54.0	12.6	18.4	4	C							○		F		安山岩	山岩	3	
14	01F060029	剥片	40.7	47.2	16.7	30.0	5	3			1	2	3				F		安山岩	山岩	3	
15	01F060030	砕片	12.8	60.0	2.7	0.2													安山岩	山岩	3	
16	01F060032	剥片	16.3	13.0	4.4	0.6		H			2						F		安山岩	山岩	3	
17	01F070002	剥片	29.8	39.6	12.9	12.5		H		○	1	1		3	○		F		安山岩	山岩	3	
18	01F070003	剥片	8.2	15.5	4.8	0.6		H			1	1					F		安山岩	山岩	3	
19	01F070004	剥片	27.0	25.2	13.0	7.2		H			2	2					S		チャート	チャート	1	
20	01F160002	礫	21.5	16.2	6.2	2.7																2
21	01F170002	剥片	22.4	33.2	18.9	11.1		C			3				○		F		安山岩	山岩	3	
22	01F170003	台形石器	47.5	40.9	9.9	17.8	1												安山岩	山岩	3	
23	01F170004	砕片	8.2	12.7	6.9	0.2													安山岩	山岩	3	

第13表 第4ブロック組成表

	台形石器	使用痕のある剥片	剥片	砕片	礫	合計	数量比%
安山岩	3	1	13	6		20	86.96
チャート1			1			1	4.35
チャート2					1	1	4.35
小計			1		1	2	8.69
メノウ		1				1	4.35
計	1	1	14	6	1	23	100.00
組成比%	4.35	4.35	60.87	26.09	4.35	100.00	

第14表 第5ブロック石器属性表1

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	押凹 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	02D610001	剥片	18.5	16.7	5.4	1.6		H			1				○		F	安山岩	
2	02D610002	碎片	9.9	6.7	2.8	0.1										F	メノウ岩		
3	02D610003	碎片	12.4	6.8	2.2	0.2										F	安山岩		
4	02D610004	剥片	15.3	24.2	5.0	1.6		H			2			○		F	メノウ岩		
5	02D610005	碎片	10.2	8.9	1.8	0.2											安山岩		
6	02D610006	剥片	22.4	11.7	4.7	0.9		-	-	-	1				○	F	安山岩		
7	02D610007	剥片	25.7	22.1	6.4	2.4		-	-	-	1	1		2	○	F	安山岩		
8	02D610008	剥片	26.7	21.9	7.2	3.1		2	2	○	2	2				F	安山岩		
9	02D610009	剥片	18.9	16.5	2.7	0.5		L		○	2						安山岩		
10	02D610010	剥片	15.2	20.5	5.2	1.4		H		○	2					F	安山岩		
11	02D610011	碎片	13.0	9.9	2.7	0.3											珩質凝灰岩		
12	02D610012	R 剥片	34.1	29.9	11.8	10.9	7	-	-	-			2		○	H	安山岩		
13	02D610013	碎片	9.4	6.7	2.6	0.1											安山岩		
14	02D610014	剥片	21.3	16.4	5.2	1.6		H			2		1	1		F	安山岩		
15	02D610015	剥片	17.9	9.0	6.5	0.9		-	-	-	3					F	安山岩		
16	02D610016	碎片	11.2	13.7	2.1	0.3											安山岩		
17	02D610017	碎片	10.1	9.3	3.1	0.3											安山岩		
18	02D610018	碎片	9.0	6.6	1.3	0.1											安山岩		
19	02D610019	剥片	14.3	16.0	4.3	1.1		H			2	1		1		L	安山岩		
20	02D610020	碎片	8.2	12.1	4.6	0.3											珩質凝灰岩		
21	02D610021	剥片	15.2	29.2	4.0	1.6		H			1				○	F	安山岩		
22	02D610022	碎片	12.3	7.2	5.0	0.4											珩質凝灰岩		
23	02D610023	剥片	25.9	11.4	8.8	2.5		-	-	-	2	1		3		H	安山岩		
24	02D610024	剥片	39.9	25.7	9.5	8.2	14	H							○	F	メノウ岩		
25	02D610025	碎片	10.3	10.7	2.8	0.3											珩質凝灰岩		
26	02D610026	碎片	12.1	10.6	7.1	0.8											珩質凝灰岩		
27	02D610027	剥片	29.6	23.2	5.8	3.0		H	2		2	1				F	安山岩		
28	02D610028	碎片	7.2	4.5	2.3	0.1											安山岩		
29	02D610029	碎片	10.7	11.4	2.0	0.3											安山岩		
30	02D610030	剥片	21.7	23.4	6.7	3.4		H		○		1		1		H	珩質凝灰岩		
31	02D610031	剥片	20.8	23.3	4.3	3.0		-	-	-	2					H	安山岩		
32	02D610032	剥片	12.7	23.3	4.1	0.9		H			2					F	安山岩		
33	02D610033	剥片	27.3	40.7	9.7	9.7	10a	H		○	7					H	珩質凝灰岩		
34	02D610034	碎片	13.2	10.2	4.3	0.4											珩質凝灰岩		
35	02D610035	碎片	7.2	8.8	3.6	0.2											珩質凝灰岩		
36	02D610036	剥片	16.2	29.9	5.1	2.2		-	-	-	3					L	珩質凝灰岩		
37	02D610037	剥片	13.4	15.1	4.9	0.8		H			2	2				F	珩質凝灰岩		
38	02D610038	剥片	6.9	16.7	4.3	0.3		H			3					F	珩質凝灰岩		
39	02D610039	碎片	12.0	9.2	2.5	0.2											珩質凝灰岩		
40	02D610040	碎片	11.4	8.2	4.2	0.3											珩質凝灰岩		
41	02D610041	剥片	18.6	8.9	4.1	0.6		H		○	2						珩質凝灰岩		
42	02D610042	碎片	12.7	10.7	3.8	0.5											珩質凝灰岩		
43	02D610043	碎片	10.3	12.7	4.0	0.6											珩質凝灰岩		
44	02D610044	剥片	10.0	17.7	2.5	0.4		H				1				F	安山岩		
45	02D610045	剥片	19.3	27.0	8.4	3.5		2	3	-	2			1		H	安山岩		
46	02D610046	碎片	10.1	6.6	2.3	0.1											珩質凝灰岩		
47	02D610047	碎片	5.9	12.3	1.7	0.1											珩質凝灰岩		
48	02D610048	剥片	24.4	28.9	5.9	4.2		L			2				○	F	珩質凝灰岩		
49	02D610049	碎片	14.6	5.7	1.6	0.1											安山岩		
50	02D610050	碎片	12.5	6.9	1.8	0.1											安山岩		
51	02D610051	剥片	20.0	29.5	10.4	4.8	10b	H			4					S	珩質凝灰岩		
52	02D610052	碎片	12.3	8.5	3.9	0.4											珩質凝灰岩		
53	02D610053	碎片	11.3	2.8	1.2	0.1											珩質凝灰岩		
54	02D610054	碎片	11.9	8.6	1.3	0.2											珩質凝灰岩		
55	02D610055	剥片	33.5	29.6	6.9	7.3	12	H	PL		1	6			○	F	珩質凝灰岩		
56	02D610056	碎片	4.4	3.7	1.9	0.1											安山岩		
57	02D610057	碎片	8.8	8.6	2.3	0.2											安山岩		
58	02D610058	碎片	9.2	11.2	3.5	0.3											メノウ岩		
59	02D610059	碎片	6.6	6.5	2.7	0.1											安山岩		
60	02D610060	碎片	7.4	14.5	3.3	0.3											安山岩		
61	02D610061	碎片	7.9	9.2	1.5	0.1											安山岩		
62	02D610062	台形石器	24.9	19.4	7.8	3.0	1										安山岩		
63	02D610063	台形石器	17.3	26.8	6.4	2.3	5										珩質凝灰岩		
64	02D610064	碎片	9.3	13.6	1.7	0.3											安山岩		
65	02D610065	碎片	7.1	12.0	1.6	0.1											安山岩		
66	02D610066	碎片	11.3	6.2	3.5	0.2											安山岩		
67	02D610067	剥片	15.5	21.4	3.5	1.0		H				1			○		安山岩		
68	02D610068	碎片	5.1	9.8	11.4	0.1											安山岩		
69	02D610069	碎片	3.0	4.4	1.3	0.1											安山岩		
70	02D610070	碎片	6.0	8.8	1.6	0.1											安山岩		

第15表 第5ブロック石器属性表2

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
71	02D610071	剥片	29.4	23.8	12.8	9.3	15	2	○		3					102	F		安山岩
72	02D610072	台形石器	18.7	26.5	6.6	2.5	3												安山岩
73	02D610073	剥片	22.7	23.9	5.4	2.8		H		○	1			C		F		安山岩	
74	02D610074	碎片	10.3	7.6	2.0	0.1												安山岩	
75	02D610075	碎片	7.8	8.5	2.3	0.2												安山岩	
76	02D610076	碎片	14.1	9.0	2.8	0.4												安山岩	
77	02D610077	碎片	11.6	14.2	3.9	0.5												安山岩	
78	02D610078	剥片	25.4	23.2	8.1	4.2		L		○	2			C		F		安山岩	
79	02D610079	剥片	19.1	10.4	3.9	0.8		H			1					F		安山岩	
80	02D610081	剥片	17.0	11.1	5.1	0.5		P			1	1				F		安山岩	
81	02D610081	碎片	13.4	8.8	2.7	0.3												安山岩	
82	02D610082	剥片	19.8	11.8	6.8	1.1		H		○	2					F		安山岩	
83	02D610083	碎片	7.4	8.1	5.1	0.2												安山岩	
84	02D610084	剥片	11.2	16.5	3.8	0.6		H		○	1	1					B	安山岩	
85	02D610085	碎片	11.5	14.5	3.7	0.6												安山岩	
86	02D610086	剥片	31.1	19.5	4.7	1.6		-	-	-	1	1	1	C		F	H	安山岩	
87	02D610087	碎片	8.2	6.0	2.2	0.1												安山岩	
88	02D610088	碎片	4.5	4.5	1.7	0.1												安山岩	
89	02D610089	石核	35.2	49.6	21.4	26.5	9a											安山岩	
90	02D610090	碎片	7.1	6.6	2.1	0.1												安山岩	
91	02D610091	剥片	12.1	17.8	3.4	0.7		H			1					F		安山岩	
92	02D610092	台形石器	21.0	25.2	6.5	2.2	4											安山岩	
93	02D610093	碎片	10.4	9.5	3.0	0.3												安山岩	
94	02D610094	U剥片	32.0	30.4	8.6	5.9	8	H		○	3	1	1	○	125	H		安山岩	
95	02D610095	剥片	37.7	29.2	15.0	10.7	9b	P				2	2			F		安山岩	
96	02D610096	剥片	15.7	12.2	5.0	0.5		H			1	1	1			H		安山岩	
97	02D610097	剥片	23.4	14.6	7.4	1.3		P			1			2		F		安山岩	
98	02D610098	碎片	12.1	9.6	5.1	0.4												安山岩	
99	02D610099	礫	15.8	8.9	4.1	0.7												安山岩	
100	02D610100	碎片	8.3	10.8	3.0	0.3												安山岩	
101	02D610101	碎片	11.0	8.6	2.0	0.2												安山岩	
102	02D610103	碎片	8.8	6.6	4.1	0.3												安山岩	
103	02D610104	石刃	45.4	29.0	11.7	13.2	6	H		PL	10	1			98	-	B	安山岩	
104	02D610105	碎片	8.5	10.0	3.9	0.2												安山岩	
105	02D620004	剥片	28.7	31.0	7.8	5.1	16	3			3	3		○	120	F		安山岩	
106	02D620005	碎片	7.7	6.4	2.0	0.1												安山岩	
107	02D620006	剥片	18.4	15.5	8.7	2.5		H		○	3	2				H		安山岩	
108	02D620007	剥片	10.4	15.1	3.0	0.5		C						C		F		安山岩	
109	02D620008	剥片	15.3	9.4	3.2	0.4		H			2	1				F	L	安山岩	
110	02D620009	碎片	10.9	8.9	1.8	0.2												安山岩	
111	02D620010	剥片	16.1	11.3	2.2	0.3		L			2			C		F		安山岩	
112	02D620011	剥片	10.9	20.4	4.5	0.9		H		○	1	1	1			-	B	安山岩	
113	02D620012	剥片	15.1	14.3	2.1	0.4		P		○	4					F		安山岩	
114	02D620013	碎片	7.9	7.6	2.4	0.2												安山岩	
115	02D620014	碎片	11.6	11.8	2.8	0.4												安山岩	
116	02D620015	剥片	18.1	17.0	4.2	1.6		C			3	1					B,R	安山岩	
117	02D620016	碎片	6.8	6.9	3.1	0.1												安山岩	
118	02D620017	碎片	8.2	9.2	5.6	0.4												安山岩	
119	02D620018	剥片	17.7	14.1	4.4	0.6		-	-	-	2	1	1			F	H	安山岩	
120	02D620019	剥片	18.5	17.0	8.6	2.6		H						○		H		安山岩	
121	02D620020	礫	23.2	13.9	7.8	2.6												安山岩	
122	02D620021	碎片	9.5	11.3	2.7	0.3												安山岩	
123	02D620022	剥片	21.8	25.7	5.7	3.7		-	-	-	2	2		○		F	H	安山岩	
124	02D620023	剥片	19.5	15.0	3.4	0.8		H		○	2	2				F		安山岩	
125	02D620024	剥片	14.0	17.4	4.2	1.0		H		2	1			○		F		安山岩	
126	02D620025	碎片	5.7	8.6	2.1	0.1												安山岩	
127	02D620026	剥片	18.2	18.4	5.7	1.8		H		○	3			○		F		安山岩	
128	02D620027	剥片	19.4	22.9	6.8	2.3		H			4			○		-	B,R	安山岩	
129	02D620028	剥片	26.8	16.9	8.6	2.4	13	H		○	1		1	○	108	S		安山岩	
130	02D620029	剥片	25.5	19.9	7.8	2.5		H			2	2	2			H		安山岩	
131	02D620030	碎片	8.5	8.9	1.6	0.2												安山岩	
132	02D620031	剥片	20.2	17.4	2.9	1.1		C			2	1				F		安山岩	
133	02D620032	剥片	32.1	34.6	7.2	7.3		H			2			○		F		安山岩	
134	02D620033	碎片	13.4	9.4	4.0	0.4												安山岩	
135	02D620034	碎片	9.2	10.0	11.1	0.1												安山岩	
136	02D620035	剥片	14.3	18.8	2.2	0.4		H		○	3					F		安山岩	
137	02D620036	剥片	17.3	17.1	5.8	1.7		C						○		F	H	安山岩	
138	02D620037	剥片	32.0	36.3	17.8	9.3		H						○		F		安山岩	
139	02D620038	台形石器	29.5	34.0	7.6	6.8	2											安山岩	
140	02D620039	剥片	10.4	19.8	12.5	2.3		L			2	1				F		安山岩	

第16表 第5ブロック石器属性表3

分布番号	遺物番号	器種	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	挿入番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
141	02D620040	砕片	7.5	14.2	3.7	0.5													安山岩6
142	02D710001	砕片	8.8	8.8	3.0	0.3													珪質凝灰岩1
143	02D710002	砕片	13.1	9.7	2.1	0.3													凝灰岩1
144	02D710003	剝片	24.6	19.7	6.3	2.3		2	2										メノウ2
145	02D710004	剝片	13.4	23.4	5.8	1.1		P											珪質凝灰岩1
146	02D710005	剝片	16.2	8.9	3.8	0.4		3											メノウ2
147	02D710006	剝片	17.4	14.3	2.0	0.5	11	L											珪質凝灰岩1
148	02D710007	剝片	17.2	22.2	6.7	1.9		H	2										珪質凝灰岩1

第17表 第5ブロック組成表

		台形石器	R剝片	U剝片	石刃	石核	剝片	砕片	礫	合計	数量比%
安山岩	6	2					32	31		65	43.92
安山岩	7	1						1		2	1.35
安山岩	8				1					1	0.67
安山岩	9						2			2	1.35
小計		3			1		34	32		70	47.30
珪質頁岩	1						2			2	1.35
チャート	3		1				2	12		15	10.13
チャート	4								1	1	0.67
小計			1				2	12	1	16	10.81
凝灰岩	1							2		2	1.35
珪質凝灰岩	1	2		1		1	19	18		41	27.70
メノウ	2						9	4		13	8.78
メノウ	3						1	1		2	1.35
メノウ	4						1			1	0.67
小計							11	5		16	10.81
石英斑岩	1								1	1	0.67
計		5	1	1	1	1	68	69	2	148	100.00
組成比%		3.38	0.67	0.67	0.67	0.67	45.94	46.62	1.35	100.00	

第18表 第6ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	挿入番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	02D720001	剝片	11.1	23.9	5.1	1.6		-	-	-	2		1						チャート3
2	02D720002	剝片	15.3	10.2	3.0	1.5		H			3	1							チャート3
3	02D720003	剝片	22.8	17.3	4.2	1.5		H			1								安山岩6
4	02D720004	剝片	32.5	44.9	7.5	12.0		C			1		1						安山岩6
5	02D720005	剝片	41.9	29.9	15.0	14.5		H	1		2	7							チャート3
6	02D720006	剝片	43.3	25.4	11.7	10.8		H			2			3					安山岩6
7	02D720007	剝片	21.7	31.1	7.5	4.2		H		PL	1	1	1						安山岩6
8	02D720008	剝片	35.5	33.3	11.1	9.8		H			2	5							安山岩6
9	02D720009	剝片	23.0	15.9	7.0	2.5		H	1		3	1	1	1					チャート3
10	02D720010	剝片	24.7	26.6	7.1	3.2		H			3								チャート3
11	02D720011	剝片	21.0	15.9	3.1	0.9		H			4	1							安山岩10
12	02D720012	剝片	35.0	33.2	16.3	13.2	6	P			4	1	2	1					チャート3
13	02D720013	砕片	4.9	7.2	2.2	0.1													黒曜石1
14	02D720014	剝片	28.6	25.9	9.8	6.3	4	H			2	1	1						ホルンフェルス1
15	02D720015	砕片	14.7	13.2	6.9	0.6													ホルンフェルス1
16	02D720016	剝片	41.7	18.5	10.0	5.3	1b	C			1								安山岩9
17	02D720017	剝片	50.0	29.3	10.0	9.9	1d	H			1								安山岩9
18	02D720018	剝片	18.6	8.5	4.7	0.5	1c	-	-	-									安山岩9
19	02D720019	砕片	7.5	3.6	3.5	0.1													ホルンフェルス1
20	02D730001	石核	52.7	39.6	12.9	29.0	1a												安山岩9
21	02D730002	剝片	15.7	20.3	4.1	1.1		H			2								ホルンフェルス1
22	02D730003	剝片	19.2	18.5	5.0	1.3		-	-	-	1	1							ホルンフェルス1
23	02D730004	剝片	19.1	13.0	3.3	0.8		H			2								ホルンフェルス1
24	02D730005	剝片	12.5	18.9	5.3	1.5		-	-	PL	2	1		1					ホルンフェルス1
25	02D820001	剝片	46.6	41.4	12.3	17.3	5	H					2						安山岩6
26	02D820002	剝片	17.0	37.6	8.4	4.4	2	C					2						珪質凝灰岩1
27	02D820003	剝片	47.0	24.3	4.0	4.5	3	-	-	-	3								安山岩9
28	02D820004	剝片	16.4	27.6	5.9	2.7		C											安山岩10

第19表 第6ブロック組成表

	U剝片	石核	剝片	砕片	合計	数量比%
黒曜石 1				1	1	3.57
安山岩 6			6		6	21.43
安山岩 9		1	4		5	17.86
安山岩 10			2		2	7.14
小計		1	12		13	46.43
チャート 3			6		6	21.43
珪質凝灰岩 1	1				1	3.57
ホルンフェルス 1			5	2	7	25.00
計	1	1	23	3	28	100.00
組成比%	3.57	3.57	82.14	10.71	100.00	

第21表 第7ブロック組成表

	剝片	合計	数量比%
安山岩 11	1	1	25.00
安山岩 12	1	1	25.00
小計	2	2	50.00
珪質頁岩 2	1	1	25.00
チャート 5	1	1	25.00
計	4	4	100.00
組成比%	100.00	100.00	

第20表 第7ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03C030004	剝片	20.8	14.2	5.1	1.5		C			1	1			○		F		安山岩 11
2	03C030005	剝片	43.0	38.6	10.0	21.3	2	H			1				○	121	F		安山岩 12
3	03C120004	剝片	38.2	18.2	4.8	3.5	1	2	○		1					124	S		珪質頁岩 2
4	03C130004	剝片	10.9	20.4	3.7	1.0		C							○		F		チャート 5

第22表 第8ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03D770001	U剝片	56.3	34.9	8.0	9.4	2	2			4	5	1	1		109	F		安山岩 13
2	03D770002	台形石器	37.8	34.0	7.8	8.5	1												黒曜石 2
3	03D880004	剝片	27.7	36.3	17.3	13.6													黒曜石 2
4	03D880005	磨製石斧	98.6	71.0	23.6	226.4	3												砂岩 3
5	03D880006	砕片	7.8	7.2	2.4	0.2													黒曜石 2

第23表 第8ブロック組成表

	台形石器	磨製石斧	U剝片	剝片	砕片	合計	数量比%
黒曜石 2	1			1	1	3	60.00
安山岩 13			1			1	20.00
砂岩 3		1				1	20.00
計	1	1	1	1	1	5	100.00
組成比%	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	100.00	

第25表 第9ブロック組成表

	R剝片	石核	剝片	礫	合計	数量比%
黒曜石 3			1		1	11.11
チャート 6		2	2		4	44.44
チャート 7	1		1		2	22.22
チャート 8				1	1	11.11
小計	1	2	3	1	7	77.78
流紋岩 1				1	1	11.11
計	1	2	4	2	9	100.00
組成比%	11.11	22.22	44.44	22.22	100.00	

第24表 第9ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03E540001	剝片	10.6	18.3	4.0	0.5	3	H	○		1	1		1		109	F		黒曜石 3
2	03E550004	石核	47.0	58.9	43.6	92.4	1b												チャート 6
3	03E550005	R剝片	31.2	38.3	10.8	13.9	2	H			1		1	○	114	F		チャート 7	
4	03E550006	剝片	40.4	51.3	25.5	55.1	1d	2						○	83	F		チャート 6	
5	03E550007	剝片	35.1	50.1	10.7	14.7		H										チャート 7	
6	03E550008	石核	51.4	49.5	30.8	66.7	1a											チャート 6	
7	03E650001	礫	35.9	18.2	8.5	6.8												流紋岩 1	
8	03E650002	礫	37.4	24.0	12.1	12.1												チャート 8	
9	03E660004	剝片	47.2	48.9	19.4	51.2	1c	S						○	76	F		チャート 6	

第26表 第10ブロック石器属性表1

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	04C370004	碎 片	8.8	6.8	7.8	4.9													安山岩 14
2	04C370005	碎 片	13.4	8.8	2.6	0.2													安山岩 14
3	04C370006	碎 片	13.5	6.7	2.2	0.2													安山岩 14
4	04C370007	碎 片	6.4	7.4	1.2	0.1													安山岩 4
5	04C370008	剥 片	24.3	25.4	6.5	3.2		-	-	-	2							F	安山岩 14
6	04C370009	剥 片	20.0	20.4	7.7	2.4						1						S	安山岩 14
7	04C370010	剥 片	15.2	13.7	4.2	0.9		H				2						R	安山岩 14
8	04C370011	台形石器	24.3	15.0	7.1	2.1	20												安山岩 3
9	04C370012	碎 片	9.1	6.5	2.0	0.1													安山岩 14
10	04C370013	碎 片	11.6	9.2	2.4	0.3													安山岩 14
11	04C370014	剥 片	19.3	11.7	5.5	0.9		H				3	1					-	安山岩 14
12	04C370015	剥 片	19.7	21.7	4.3	2.3		H				1	1					H	安山岩 14
13	04C370016	剥 片	17.7	23.6	5.5	1.7		H				1	1					H	安山岩 14
14	04C370017	剥 片	17.6	9.2	4.0	0.5		H				1	1	1				F	安山岩 14
15	04C370018	剥 片	24.9	28.1	12.6	6.1		H				4	3					H	安山岩 14
16	04C370019	碎 片	8.8	13.4	1.7	0.2													安山岩 14
17	04C370020	剥 片	26.0	22.1	5.4	1.2	24pa	C				2	1					F	安山岩 4
18	04C370021	台形石器	33.0	37.2	9.0	5.9	13												安山岩 4
19	04C370022	碎 片	9.2	5.6	1.8	0.1													安山岩 14
20	04C370023	碎 片	6.0	13.4	3.5	0.2													安山岩 14
21	04C370024	剥 片	14.3	23.9	4.3	2.0		H				1	1					F	安山岩 14
22	04C370025	剥 片	17.6	8.3	2.8	0.4		P					1	1				F	安山岩 4
23	04C370026	剥 片	11.2	27.3	10.5	4.4		H				2						-	安山岩 15
24	04C370027	剥 片	17.4	5.0	2.9	0.1													安山岩 14
25	04C370028	碎 片	7.7	10.6	1.8	0.2													安山岩 14
26	04C370029	R 剥	13.7	11.9	3.0	0.5	38	L				1	1					F	安山岩 4
27	04C370030	剥 片	23.6	17.4	12.1	4.5	35b	H				1							安山岩 14
28	04C370031	台形石器	32.0	23.5	8.9	6.8	8												安山岩 14
29	04C370032	剥 片	12.0	16.2	1.8	0.5		H					1						安山岩 14
30	04C370033	台形石器	25.6	21.2	6.7	3.1	12												安山岩 14
31	04C370034	碎 片	10.0	11.6	3.5	0.2													安山岩 14
32	04C370035	台形石器	34.3	22.9	7.4	5.6	6												安山岩 14
33	04C370036	碎 片	9.8	11.6	2.4	0.2													安山岩 14
34	04C370037	剥 片	25.6	13.1	4.5	1.2		P				1		1				F	安山岩 14
35	04C370038	剥 片	24.3	26.3	3.5	2.2		-				2	1					S	安山岩 14
36	04C370039	剥 片	24.7	29.9	6.4	3.6		L				2	1					H	安山岩 15
37	04C370040	剥 片	14.4	13.1	2.6	0.6		C				2						S	安山岩 14
38	04C370041	R 剥	23.6	9.5	4.3	0.8	40	-				1							安山岩 14
39	04C370042	剥 片	36.8	23.5	11.7	8.8	35c	-											安山岩 14
40	04C370043	R 剥	19.3	30.1	4.8	3.1		-				1	1					M	安山岩 14
41	04C370044	剥 片	26.5	52.3	10.7	12.8	43a	-											安山岩 14
42	04C370045	碎 片	12.8	12.3	5.7	1.0													安山岩 14
43	04C370046	碎 片	7.6	6.0	1.7	0.1													安山岩 14
44	04C370047	台形石器	41.3	23.5	8.6	5.4	5												安山岩 4
45	04C370048	剥 片	21.6	17.3	7.6	2.4		H				2		1				S	安山岩 14
46	04C370049	剥 片	17.1	15.1	4.6	1.0		H				1	1					H	安山岩 14
47	04C370050	剥 片	32.3	26.9	8.1	6.9		-											安山岩 15
48	04C370051	剥 片	27.2	18.5	6.1	3.9		C				1	1	1				-	安山岩 15
49	04C370052	碎 片	12.8	7.3	2.5	0.3													安山岩 4
50	04C370053	碎 片	8.7	7.7	4.6	0.2													安山岩 14
51	04C370054	剥 片	20.6	12.1	3.7	1.3		C				1	1	1				H	安山岩 14
52	04C370055	碎 片	5.8	5.9	0.6	0.1													安山岩 14
53	04C370056	碎 片	11.0	12.1	4.4	0.5													安山岩 14
54	04C370057	碎 片	5.7	5.8	3.0	0.1													安山岩 14
55	04C370058	剥 片	42.0	23.0	6.3	8.2		H				1	1	1				F	安山岩 15
56	04C370059	碎 片	14.1	8.3	4.1	0.5													安山岩 14
57	04C370060	剥 片	16.1	14.5	2.6	0.6		H				2	1					F	安山岩 14
58	04C370061	石核	30.3	45.5	15.2	23.1	29												安山岩 15
59	04C370062	剥 片	34.7	30.5	6.7	6.8		C				3	1					S	安山岩 14
60	04C370063	剥 片	21.4	10.6	4.3	1.0		P				2	2		1			S	安山岩 14
61	04C370064	剥 片	21.7	18.6	3.8	1.7		H				1						S	安山岩 15
62	04C370065	碎 片	8.7	3.9	1.5	0.1													安山岩 14
63	04C370066	剥 片	23.0	12.9	4.9	1.4		H				2		1				F	安山岩 14
64	04C370067	剥 片	17.9	27.8	3.5	1.6		P				2						S	安山岩 14
65	04C370068	剥 片	19.4	15.2	3.4	0.9		H				2	3					F	安山岩 14
66	04C370069	碎 片	4.0	7.2	0.7	0.1													安山岩 14
67	04C370070	碎 片	12.8	7.9	2.8	0.2													安山岩 14
68	04C370071	剥 片	22.0	12.8	6.1	1.8		P				2	3	2				F	安山岩 15
69	04C370072	碎 片	8.3	14.7	2.2	0.3						1	1						安山岩 14
70	04C370073	剥 片	12.3	18.1	3.1	0.6													安山岩 14

第27表 第10ブロック石器属性表2

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
71	04C370074	碎片	14.6	12.5	5.3	0.8												安山岩 14	
72	04C370075	剝片	15.5	11.3	2.6	0.3		L				1			○		F	安山岩 14	
73	04C370076	碎片	11.5	10.5	2.1	0.4												安山岩 14	
74	04C370077	碎片	11.4	5.9	1.3	0.1												メノウ 4	
75	04C370078	碎片	9.0	3.4	2.2	0.3												安山岩 14	
76	04C370079	剝片	20.5	21.9	4.2	1.9		C				1					F	安山岩 14	
77	04C370080	剝片	17.8	8.9	3.5	0.9		C						1			F	安山岩 14	
78	04C370081	碎片	8.5	14.3	1.5	0.2												安山岩 14	
79	04C370082	剝片	13.1	26.8	6.1	1.6		P				1			○		F	安山岩 15	
80	04C370083	剝片	20.4	9.8	1.8	0.4		-				1					F	安山岩 14	
81	04C370084	剝片	17.2	26.3	11.0	3.9	43b	H							○		F	安山岩 14	
82	04C370085	石核	36.8	61.2	14.8	27.0	32											安山岩 15	
83	04C370086	碎片	5.4	8.9	2.3	0.1												安山岩 14	
84	04C370087	剝片	22.8	31.7	4.7	2.7		P				2	2				H	安山岩 14	
85	04C370088	剝片	8.6	16.2	2.2	0.4		H				1					H	安山岩 14	
86	04C370089	碎片	9.9	10.8	1.8	0.2												瑠頁岩 4	
87	04C370090	剝片	25.5	28.1	7.3	4.5	44	2	○			2	2				F	瑠頁岩 5	
88	04C370091	碎片	9.5	11.0	2.0	0.2												メノウ 4	
89	04C370092	剝片	25.6	38.9	10.7	5.3		H				1					H	安山岩 14	
90	04C370093	碎片	6.6	8.1	1.8	0.1												安山岩 14	
91	04C370094	碎片	11.1	6.6	2.9	0.2												安山岩 14	
92	04C370095	碎片	10.5	12.9	1.5	0.2												安山岩 14	
93	04C370096	剝片	20.8	32.9	5.1	3.9		H				2					F	安山岩 14	
94	04C370097	剝片	33.7	15.1	6.8	4.2		H		○		1			○		F	安山岩 14	
95	04C370098	碎片	6.8	6.2	4.3	0.2												安山岩 14	
96	04C370099	碎片	10.6	14.5	3.2	2.5												安山岩 14	
97	04C370100	碎片	8.5	5.8	1.9	0.1												安山岩 14	
98	04C370101	剝片	14.1	22.1	2.9	0.9		H				1					F	安山岩 14	
99	04C370102	碎片	13.6	4.1	2.8	0.1												安山岩 14	
100	04C370103	剝片	23.5	35.2	8.3	6.9		H				2			○		S	安山岩 14	
101	04C370104	剝片	14.1	6.4	4.3	0.4												安山岩 14	
102	04C370105	剝片	15.2	12.2	2.2	0.4		L				2	1				H	安山岩 14	
103	04C370106	碎片	3.8	7.0	1.1	0.1												安山岩 14	
104	04C370107	剝片	19.0	26.6	4.8	2.5		H				1					S	安山岩 14	
105	04C370108	碎片	10.1	11.7	1.5	0.2	23b											瑠頁岩 4	
106	04C370109	碎片	6.4	7.2	3.0	0.1												安山岩 14	
107	04C370110	剝片	7.5	15.7	5.0	0.5		H				1					F	安山岩 14	
108	04C370111	剝片	22.1	14.9	3.1	0.9		H		○		2	1		○		S	瑠頁岩 4	
109	04C370112	碎片	11.7	6.6	3.4	0.3												瑠頁岩 4	
110	04C370113	剝片	11.4	14.5	3.7	0.8						1	1		○		-	H,B	安山岩 15
111	04C370114	碎片	6.8	6.1	1.5	0.1												安山岩 14	
112	04C370115	碎片	11.1	12.0	2.7	0.4												安山岩 14	
113	04C370116	剝片	29.5	20.9	7.6	3.9		C				1	2			○	R	安山岩 14	
114	04C370117	碎片	11.7	7.8	2.6	0.2												安山岩 14	
115	04C370118	剝片	22.8	7.1	4.1	0.7		P				1			○		F	安山岩 14	
116	04C370119	剝片	21.6	14.9	7.3	8.8		H				1	2		○		F	安山岩 14	
117	04C370120	碎片	11.7	10.9	3.7	0.5												安山岩 14	
118	04C370121	U 剝片	23.4	28.2	4.7	1.5	42	C				4					F	瑠頁岩 3	
119	04C370122	剝片	23.5	33.4	4.4	3.2	24q	L				1					F	メノウ 4	
120	04C370123	碎片	12.2	6.8	3.0	0.2												安山岩 14	
121	04C370124	石核	24.5	29.0	14.2	11.1	34											安山岩 15	
122	04C370125	碎片	9.7	6.0	1.0	0.1												瑠頁岩 4	
123	04C370126	碎片	12.9	8.3	1.7	0.3												安山岩 16	
124	04C370127	剝片	9.9	18.6	3.5	0.7		L		○		2	1				F	瑠頁岩 4	
125	04C370128	剝片	10.9	18.8	2.8	0.6	24a	-				2					F	瑠頁岩 4	
126	04C370129	碎片	6.8	6.3	1.4	0.1												安山岩 14	
127	04C370130	碎片	4.3	14.4	0.9	0.1												安山岩 14	
128	04C370131	剝片	29.6	15.3	3.5	1.6		H				1	1				F	安山岩 14	
129	04C370132	石核	44.8	40.5	12.4	22.8	33											安山岩 14	
130	04C370133	剝片	29.9	41.1	8.3	7.7	24g											メノウ 4	
131	04C370134	碎片	8.0	9.8	1.8	0.2												安山岩 14	
132	04C370135	剝片	15.8	16.0	4.9	0.9		H				2					F	安山岩 14	
133	04C370136	剝片	19.8	16.4	3.2	0.8		H					2		○		F	安山岩 14	
134	04C370137	碎片	8.8	5.9	1.0	0.1												安山岩 14	
135	04C370138	碎片	8.7	4.4	2.4	0.1												安山岩 14	
136	04C370139	石核	26.7	30.9	18.4	15.3	28a											安山岩 14	
137	04C370140	碎片	10.0	12.3	1.0	0.2												安山岩 14	
138	04C370141	碎片	9.3	6.2	2.2	0.1												安山岩 14	
139	04C370142	碎片	13.9	9.4	4.3	0.4												安山岩 14	
140	04C370143	剝片	15.9	9.7	1.6	0.2		C				1					F	安山岩 14	

第28表 第10ブロック石器属性表3

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背面構成					打角	末端 形状	折面 部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
141	04C370144	碎片	6.3	7.6	3.0	0.1													安山岩 14
142	04C370145	削片	24.8	15.4	10.3	3.4		C				2	1						安山岩 14
143	04C370146	R削片	20.2	11.7	4.0	0.9	37	H				2	1						安山岩 4
144	04C370147	碎片	7.4	5.2	1.1	0.1													安山岩 4
145	04C370148	碎片	7.5	7.1	1.7	0.1													安山岩 14
146	04C370149	削片	22.6	13.9	4.1	1.3		C				2	1						安山岩 14
147	04C370150	削片	8.2	15.2	1.5	0.2		-	-	-		1			1				安山岩 14
148	04C370151	碎片	8.7	8.2	2.3	0.2													安山岩 14
149	04C370152	削片	22.9	23.3	8.9	3.5	24m	-	-	-		1				○			安山岩 4
150	04C370153	碎片	6.8	4.4	1.8	0.1													安山岩 14
151	04C370154	削片	8.2	16.7	1.8	0.2		-	-	-		1							安山岩 14
152	04C370155	碎片	11.3	10.3	1.2	0.1													安山岩 4
153	04C370156	碎片	13.5	9.4	2.3	0.3													安山岩 14
154	04C370157	削片	27.9	25.8	7.4	5.3		H				2	2						安山岩 14
155	04C370158	削片	11.7	6.6	3.8	0.3													安山岩 14
156	04C370159	碎片	4.3	3.3	0.7	0.1													安山岩 14
157	04C370160	碎片	12.2	12.5	2.3	0.4													安山岩 4
158	04C370161	削片	9.2	4.5	1.7	0.1													安山岩 16
159	04C370162	削片	10.9	11.2	1.6	0.2													安山岩 14
160	04C370163	削片	16.4	10.9	2.7	0.4		L				2			1				安山岩 14
161	04C370164	削片	4.2	4.9	0.8	0.1													安山岩 14
162	04C380004	削片	34.3	14.3	3.4	1.6		H				2				○			安山岩 14
163	04C380005	削片	4.2	9.9	1.7	0.1													安山岩 14
164	04C380006	削片	10.4	15.8	3.5	0.7		-	-	-		2				○			安山岩 14
165	04C380007	削片	6.0	13.9	3.2	0.2													安山岩 14
166	04C380008	削片	15.0	14.4	3.3	0.5						2	1	1					安山岩 4
167	04C380009	削片	20.4	30.8	3.5	2.0		H				4							安山岩 4
168	04C380010	削片	14.6	7.1	1.3	0.2													安山岩 16
169	04C380011	削片	27.7	14.6	9.8	3.9		H								○			安山岩 16
170	04C380012	削片	19.6	26.0	9.0	4.0		2								○			安山岩 15
171	04C380013	削片	5.2	4.1	0.9	0.1													安山岩 14
172	04C380014	削片	15.1	23.2	2.8	1.3		H				3							安山岩 3
173	04C380015	削片	18.5	5.1	2.8	0.8		H				1	1						安山岩 16
174	04C380016	削片	38.5	34.3	10.4	11.7		H				3	1	1					安山岩 14
175	04C380017	削片	6.5	7.2	1.3	0.1													安山岩 16
176	04C380018	削片	4.8	6.8	3.0	0.1													安山岩 14
177	04C380019	削片	20.8	10.8	13.3	3.6	28b	H				1	1	1	1	○			安山岩 14
178	04C380020	削片	22.8	16.4	2.9	1.2		L				1							安山岩 16
179	04C380021	削片	32.0	20.8	6.5	4.7		H				1	1						安山岩 14
180	04C380022	削片	11.7	20.8	6.6	1.3		P							1				安山岩 14
181	04C380023	削片	17.8	20.4	1.8	0.9		P				2			1				安山岩 14
182	04C380024	削片	12.1	8.9	4.4	0.4													安山岩 14
183	04C380025	削片	12.3	16.2	2.0	0.4		H				1							安山岩 14
184	04C380026	削片	7.3	5.1	1.0	0.1													安山岩 14
185	04C380027	削片	25.3	36.8	8.4	8.3		H				2				○			安山岩 16
186	04C380028	削片	8.8	6.4	2.0	0.1													安山岩 14
187	04C380029	削片	20.2	15.3	7.1	2.3		C				2			1				安山岩 14
188	04C380030	削片	18.4	18.8	3.9	1.3		H				2	1						安山岩 16
189	04C380031	削片	9.3	12.8	3.3	0.3													安山岩 14
190	04C380032	削片	21.2	24.0	6.0	2.1		H				3							安山岩 14
191	04C380033	削片	25.1	16.7	2.9	1.3		L				2	1						安山岩 14
192	04C380034	削片	26.2	23.7	5.7	2.6		2				2			1				安山岩 14
193	04C380035	削片	13.7	5.9	4.0	0.2													安山岩 14
194	04C380036	削片	23.3	23.8	8.9	5.1		H				1			2				安山岩 14
195	04C380037	削片	24.0	23.0	10.7	5.4		H				1	1		1				安山岩 14
196	04C380038	削片	11.0	11.2	3.8	0.4													安山岩 14
197	04C380039	削片	23.7	17.8	4.3	1.6		H				2	1			○			安山岩 16
198	04C380040	削片	27.8	13.2	4.7	1.0		H				1							安山岩 14
199	04C380041	削片	4.9	14.8	2.0	0.2													安山岩 14
200	04C380042	削片	18.2	12.7	4.3	0.8		H				2	2						安山岩 14
201	04C380043	U削片	20.7	19.2	3.5	1.3		H				3							安山岩 4
202	04C380044	削片	9.2	14.5	2.9	0.3													安山岩 14
203	04C380045	削片	27.6	14.9	7.1	2.6													安山岩 4
204	04C380046	形石器	48.1	27.5	8.4	11.0	4												安山岩 14
205	04C380047	削片	30.2	29.2	4.9	4.9		2				1		1	1				安山岩 16
206	04C380048	削片	22.2	18.3	4.1	1.6		L				1							安山岩 16
207	04C380049	削片	16.9	10.6	5.3	1.0		L				2		2	1				安山岩 14
208	04C380050	削片	5.1	10.2	2.2	0.1													安山岩 16
209	04C380051	削片	9.7	14.6	4.0	0.7													安山岩 14
210	04C380052	削片	11.6	12.7	6.0	0.8													安山岩 14

第29表 第10ブロック石器属性表 4

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿回 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
211	04C380053	剥片	13.0	22.4	2.7	0.6		L			2	2					F		安山岩 14
212	04C380054	碎片	13.2	9.5	3.2	0.4											F		安山岩 14
213	04C380055	剥片	13.0	21.3	7.0	1.2		C				1					F		安山岩 14
214	04C380056	剥片	22.8	16.7	3.0	0.9		C			1						F		安山岩 14
215	04C380057	剥片	25.5	28.3	4.2	3.0		H			2	2	1				F		安山岩 16
216	04C380058	剥片	23.5	9.8	4.2	1.1		-	-	-	1	2					F	H	安山岩 14
217	04C380059	台形石器	18.6	26.3	7.0	3.3	17												安山岩 14
218	04C380060	剥片	20.4	6.6	4.3	0.4		L			1	1					F		安山岩 14
219	04C380061	剥片	22.8	34.8	8.0	4.7	24n	2	○								S		安山ウ 4
220	04C380062	剥片	7.2	26.4	5.2	1.0		H									H		安山岩 14
221	04C380063	剥片	24.3	14.7	5.1	1.4		P			2	1					F		安山岩 14
222	04C380064	剥片	37.3	27.4	11.8	7.3		P			3	2					F		安山岩 14
223	04C380065	碎片	12.3	10.9	4.6	0.4													安山岩 4
224	04C380066	R 剥片	37.9	39.2	11.7	10.7	24y												安山ウ 4
225	04C380067	碎片	8.5	12.4	2.7	0.3													安山岩 14
226	04C380068	剥片	25.4	11.7	5.9	1.3		-	-	-	1	1					F	L	安山岩 14
227	04C380069	剥片	15.9	21.4	4.6	1.7		H			3						S		安山岩 16
228	04C380070	碎片	3.0	3.8	0.9	0.1													安山岩 14
229	04C380071	剥片	22.2	6.2	2.4	0.3		P			1						F		安山岩 14
230	04C380072	ナイフ形石器	31.5	13.7	9.0	3.2	3	H			2						F		安山岩 14
231	04C380073	剥片	14.6	29.1	10.4	3.2													安山岩 14
232	04C380074	碎片	6.2	8.2	3.5	0.2													安山岩 14
233	04C380075	碎片	7.9	7.4	1.2	0.1													安山岩 16
234	04C380076	台形石器	32.5	20.9	8.0	4.6	14												安山岩 14
235	04C380077	剥片	21.2	32.3	7.0	3.6		L			3	2					F		安山岩 14
236	04C380078	台形石器	42.4	19.8	11.2	6.9	23a												安山岩 4
237	04C380079	碎片	4.8	10.9	1.3	0.1													安山岩 14
238	04C380080	剥片	16.6	21.6	6.5	1.7		H	○				1				F		安山岩 14
239	04C380081	剥片	20.3	20.5	3.1	1.7		C			1			1			-	B	安山岩 14
240	04C380082	碎片	4.4	3.7	0.8	0.1													安山岩 14
241	04C380083	碎片	6.1	3.5	1.4	0.1													安山岩 14
242	04C380084	碎片	12.2	10.7	3.1	0.2													安山ウ 4
243	04C380085	碎片	4.4	4.8	4.3	0.1													安山ウ 4
244	04C380086	剥片	49.9	26.4	5.2	5.3		H			3	1					S		安山岩 16
245	04C380087	碎片	14.6	12.6	2.8	0.4													安山岩 14
246	04C380088	碎片	9.0	9.9	5.1	0.5													安山岩 14
247	04C380089	剥片	21.8	10.5	3.0	0.7		P			1						S		安山岩 16
248	04C380090	碎片	9.8	3.1	1.8	0.1													安山岩 14
249	04C380091	碎片	8.0	6.8	1.2	0.1													安山岩 14
250	04C380092	碎片	5.5	8.3	1.2	0.1													安山岩 14
251	04C380093	剥片	9.8	15.8	4.7	0.8		H			2	1	1				F		安山岩 3
252	04C380094	碎片	7.2	11.1	2.0	0.1													安山岩 14
253	04C380095	剥片	15.8	10.3	3.8	0.5		H			2	2					F		安山岩 14
254	04C380096	台形石器	21.9	31.0	9.5	5.4	22												安山岩 16
255	04C380097	碎片	4.5	5.5	0.5	0.1													安山岩 14
256	04C380098	碎片	12.9	14.5	5.1	0.7													安山岩 14
257	04C380099	剥片	13.7	19.5	1.4	0.4		H			1			1			F		安山岩 14
258	04C380100	碎片	4.6	10.5	2.3	0.1													安山岩 14
259	04C380101	剥片	12.3	16.6	3.6	0.6		H			2	1	1				S		安山ウ 4
260	04C380102	剥片	13.9	23.4	10.3	1.9		H						1			F		安山岩 16
261	04C380103	剥片	8.1	16.2	2.1	0.3		L			1						F		安山岩 14
262	04C380104	剥片	37.7	26.9	6.8	4.1		H			2			1			H		安山岩 14
263	04C380105	碎片	8.9	11.0	1.3	0.1													安山岩 4
264	04C380106	碎片	12.2	6.0	1.4	0.1													安山岩 14
265	04C380107	剥片	16.8	24.3	5.6	2.6		L			1						H		安山岩 16
266	04C380108	碎片	7.9	5.9	1.3	0.1													安山岩 14
267	04C380109	碎片	8.2	8.6	1.0	0.1													安山岩 4
268	04C380110	剥片	8.5	15.9	1.3	0.2					1						F		安山ウ 4
269	04C380111	U 剥片	37.0	30.1	10.7	7.0	24k												安山ウ 4
270	04C380112	碎片	8.6	8.9	1.9	0.1													安山岩 14
271	04C380113	剥片	29.6	15.7	6.2	2.5		H			2	1	1	1			F		安山岩 14
272	04C380114	台形石器	27.8	16.0	5.2	2.4	19												安山岩 14
273	04C380115	碎片	6.3	6.9	2.8	0.2													安山ウ 4
274	04C380116	剥片	22.7	22.7	7.5	3.6		P			2	2					F		安山岩 14
275	04C380117	剥片	29.5	14.0	5.9	1.7		P			2						F		安山岩 3
276	04C380118	碎片	6.9	4.0	1.7	0.1													安山岩 14
277	04C380119	碎片	7.2	11.9	1.0	0.1													安山岩 14
278	04C380120	碎片	8.1	6.6	1.2	0.1													安山岩 14
279	04C380121	剥片	43.5	30.5	6.5	6.5		H			4	1					F		安山岩 16
280	04C380122	台形石器	21.4	28.0	7.5	4.5	11												安山岩 14

第30表 第10ブロック石器属性表5

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背面構成					打角	末端 形状	折面 部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
281	04C380123	剝片	18.3	25.5	10.7	4.0		H				2	1				F	安山岩	
282	04C380124	剝片	13.6	16.6	2.6	0.6		H				2					F	安山岩	
283	04C380125	剝片	39.0	19.5	6.2	4.5		C									F	安山岩	
284	04C380126	剝片	18.0	19.8	3.7	1.2		H					2				S	珪質頁岩	
285	04C380127	剝片	21.2	21.2	5.1	2.5		C				1	2				F	安山岩	
286	04C380128	U剝片	17.9	13.9	3.9	0.8	24o											メノウ	
287	04C380130	碎片	8.5	10.1	1.1	0.1												安山岩	
288	04C380131	碎片	12.1	14.7	3.5	0.5												安山岩	
289	04C380132	碎片	6.5	4.5	1.0	0.1												安山岩	
290	04C380133	剝片	16.5	5.1	2.7	0.2		P					2				F	珪質頁岩	
291	04C380134	剝片	30.3	27.9	8.3	4.7		L		○		3	2		1		O	安山岩	
292	04C380135	剝片	18.8	13.5	4.0	1.0		H				3			1		F	安山岩	
293	04C380136	剝片	7.9	16.7	3.5	0.5		C				1				○	-	安山岩	
294	04C380137	剝片	20.4	6.6	3.6	0.4		P				1			1		F	安山岩	
295	04C380138	碎片	7.0	8.2	1.5	0.1												安山岩	
296	04C380139	碎片	6.5	4.4	1.0	0.1												安山岩	
297	04C380140	碎片	13.0	9.2	4.1	0.4												安山岩	
298	04C380141	剝片	33.0	19.3	4.9	3.6		L				2	1				S	安山岩	
299	04C380142	石核	64.2	82.3	45.3	206.4	24ab											メノウ	
300	04C380143	石核	74.7	59.5	43.8	126.4	24xb											メノウ	
301	04C380144	剝片	53.4	44.2	10.0	20.3	45a	2				2				○	117	安山岩	
302	04C380145	剝片	15.4	17.2	3.7	0.8		H				2						安山岩	
303	04C380146	剝片	23.0	11.7	6.9	0.9		P				1			3			安山岩	
304	04C380147	剝片	24.9	15.4	4.9	2.5		H				2			1			安山岩	
305	04C380148	碎片	9.7	9.5	1.5	0.2												安山岩	
306	04C380149	石核	52.4	34.6	40.6	80.9	25											安山岩	
307	04C380150	剝片	36.7	23.4	4.4	3.1		H							1	○		安山岩	
308	04C380151	剝片	31.5	27.9	7.1	4.3		H				1	3		1			安山岩	
309	04C380152	剝片	17.5	16.9	8.5	2.1		H					1					安山岩	
310	04C380153	剝片	18.2	19.5	5.3	2.1		C				2						安山岩	
311	04C380154	剝片	20.9	9.0	3.4	0.6		P				1						安山岩	
312	04C380155	剝片	36.8	25.6	6.1	1.6	24b	P		○		1	1					メノウ	
313	04C380156	碎片	5.9	6.5	1.5	0.1												安山岩	
314	04C380157	碎片	5.5	2.4	2.0	0.1												安山岩	
315	04C380158	剝片	38.8	38.5	19.6	22.7		H				1	1			○		安山岩	
316	04C380159	形石器	43.1	21.7	9.0	9.6	7											安山岩	
317	04C380160	剝片	15.7	24.3	6.9	2.5		H		○		1	1			○		安山岩	
318	04C380161	碎片	5.8	8.3	1.6	0.1												安山岩	
319	04C380162	剝片	10.3	16.4	1.9	0.2		-	-	-		1						安山岩	
320	04C380163	剝片	57.8	33.3	21.7	33.1	24xa	H	○			1			2			メノウ	
321	04C380164	剝片	18.4	6.5	4.3	0.5		C					1			○		安山岩	
322	04C380165	碎片	4.9	4.6	1.0	0.1												安山岩	
323	04C380166	碎片	11.3	14.7	3.3	0.4												メノウ	
324	04C380167	剝片	21.5	12.5	7.1	1.2		P				1				○		安山岩	
325	04C380168	剝片	16.7	30.5	9.5	3.4		C				1						メノウ	
326	04C380169	碎片	5.0	3.9	1.2	0.1												安山岩	
327	04C380170	剝片	37.0	17.4	6.3	3.8		C				1	1					安山岩	
328	04C380171	碎片	4.4	6.5	1.5	0.1												安山岩	
329	04C380172	剝片	70.0	35.6	21.7	48.2	24z											メノウ	
330	04C380173	剝片	15.2	18.0	6.0	1.2		C				1						安山岩	
331	04C380174	剝片	52.1	39.2	13.8	21.3		C				2				○		メノウ	
332	04C380175	剝片	9.9	17.5	3.0	0.5		H							1			安山岩	
333	04C380176	碎片	6.9	7.9	1.7	0.1												安山岩	
334	04C380177	剝片	15.5	12.4	4.5	1.0		C				1						安山岩	
335	04C380178	碎片	10.2	11.4	2.7	0.3												安山岩	
336	04C380179	形石器	39.4	25.0	7.7	7.1	24l											メノウ	
337	04C380180	剝片	34.0	39.9	13.1	10.2	24e	P				1			1	○		安山岩	
338	04C380181	剝片	27.0	15.2	6.9	3.1		-	-	-					1	○		安山岩	
339	04C380182	碎片	14.1	13.1	4.2	0.7												安山岩	
340	04C380183	形石器	40.5	26.0	9.7	0.8	21											安山岩	
341	04C380184	碎片	5.5	8.0	4.2	0.2												メノウ	
342	04C380185	剝片	19.6	13.8	2.0	0.5												メノウ	
343	04C380186	碎片	7.2	5.7	2.0	0.1												メノウ	
344	04C380187	剝片	20.7	5.9	3.9	0.3		P				1				○		安山岩	
345	04C380188	石核	41.6	57.0	27.1	54.5	31											安山岩	
346	04C380189	剝片	34.5	39.0	12.8	12.9		C				2	1		1	○		メノウ	
347	04C380190	剝片	14.8	16.5	3.6	0.9		H				1	1					安山岩	
348	04C380191	碎片	6.6	9.0	11.4	0.1												安山岩	
349	04C380192	剝片	20.6	6.0	2.7	2.2		P				1	1					安山岩	
350	04C380193	剝片	19.6	19.9	5.8	2.2		C				2	1					安山岩	

第31表 第10ブロック石器属性表6

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿 号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
351	04C380194	剥片	21.2	5.7	4.1	0.3		L			2						F		安山岩 14
352	04C380195	碎片	8.3	14.4	5.8	0.4												メノウ 4	
353	04C380196	碎片	10.0	7.9	2.6	0.2												安山岩 14	
354	04C380197	石核	60.5	36.5	22.0	54.8	30											安山岩 16	
355	04C380198	剥片	27.4	29.2	6.0	3.9	24d											メノウ 4	
356	04C380199	碎片	6.1	10.0	3.0	0.2												珪質頁岩 4	
357	04C380200	碎片	7.2	11.1	1.0	0.1												安山岩 16	
358	04C380201	碎片	11.1	11.9	2.3	0.3												安山岩 14	
359	04C380202	剥片	7.6	24.6	4.3	0.7		L			2					H		安山岩 14	
360	04C380203	剥片	13.7	27.0	5.4	2.3		H			1		1	○		F		安山岩 16	
361	04C380204	剥片	11.2	22.0	4.4	1.1		L			2			○		H		メノウ 4	
362	04C380205	剥片	12.3	19.3	5.3	1.4		H		○	2					F		安山岩 14	
363	04C380206	剥片	11.8	20.9	8.2	2.0		H						○		H		メノウ 4	
364	04C380207	碎片	6.6	9.5	4.5	0.3												メノウ 4	
365	04C380208	剥片	19.0	20.4	4.7	1.9		H			2		1			F		安山岩 16	
366	04C380209	剥片	32.8	3.6	4.9	1.4		C				1	1	○		F		安山岩 14	
367	04C380210	碎片	5.0	10.1	1.7	0.1												安山岩 14	
368	04C380211	碎片	3.6	11.0	2.3	0.1												安山岩 14	
369	04C380212	剥片	5.0	16.5	3.6	0.3		L			2					F		メノウ 4	
370	04C380213	碎片	8.8	7.8	4.0	0.2												安山岩 14	
371	04C380214	剥片	15.0	8.8	3.4	0.3		H			2					F		安山岩 14	
372	04C380215	台形石器	12.2	21.0	3.6	0.9	10											珪質頁岩 3	
373	04C380216	剥片	7.2	5.6	2.2	0.1												安山岩 14	
374	04C380217	碎片	4.6	7.6	1.4	0.1												安山岩 14	
375	04C380218	R剥片	51.7	42.6	9.6	20.6	36	P			3			○		-	B	安山岩 15	
376	04C380219	剥片	17.2	7.0	3.8	0.5		H			2					F		安山岩 14	
377	04C380220	碎片	5.8	5.0	2.8	0.1												安山岩 14	
378	04C380221	剥片	23.9	18.3	6.5	3.2		H		○	2	1				F		珪質頁岩 3	
379	04C380222	U剥片	11.5	24.9	3.2	0.9		L		○	2	1	1			F		珪質頁岩 3	
380	04C380223	剥片	19.7	11.3	3.3	0.6		P			3					F		安山岩 14	
381	04C380224	剥片	19.5	18.1	4.4	1.7		H			2	1				H		安山岩 14	
382	04C380225	碎片	3.3	10.1	2.4	0.1												安山岩 14	
383	04C380226	碎片	11.2	5.7	2.5	0.2												安山岩 14	
384	04C380227	碎片	12.8	12.6	3.2	0.3												安山岩 16	
385	04C380228	台形石器	17.6	21.8	5.0	1.4	15											安山岩 14	
386	04C380229	碎片	7.4	13.4	3.3	0.2												安山岩 16	
387	04C380230	剥片	17.0	14.6	4.6	0.8		H			1	1		○		F		安山岩 14	
388	04C380231	碎片	6.1	6.0	2.9	0.1												安山岩 16	
389	04C380232	剥片	9.7	15.3	3.4	0.4		C						○		F		メノウ 4	
390	04C380233	台形石器	23.5	30.0	6.7	4.9	18											安山岩 14	
391	04C380234	碎片	9.8	12.5	2.8	0.5												安山岩 16	
392	04C380235	剥片	16.8	22.0	7.9	1.5	24w	H						○		S		メノウ 4	
393	04C380236	碎片	4.0	8.5	2.7	0.4												メノウ 4	
394	04C380237	碎片	8.8	9.5	1.8	0.1												安山岩 14	
395	04C380238	碎片	4.3	5.6	1.5	0.1												安山岩 14	
396	04C380239	剥片	17.4	54.7	9.3	3.7	24tb	H			2					F		メノウ 4	
397	04C380240	剥片	23.0	23.2	5.8	2.3		H			2	2		1		F		安山岩 16	
398	04C380241	台形石器	31.5	29.8	7.0	4.4	9											安山岩 14	
399	04C380242	碎片	8.4	5.8	2.0	0.1												安山岩 14	
400	04C380243	剥片	16.5	12.8	3.4	0.8		H						○		F		安山岩 14	
401	04C380244	碎片	6.6	12.6	1.6	0.2												メノウ 4	
402	04C380245	剥片	22.2	28.0	10.7	6.5												メノウ 4	
403	04C380246	碎片	3.3	6.2	0.7	0.1												安山岩 14	
404	04C380247	剥片	8.0	21.8	5.5	1.6	24f	H			1		1			F		安山岩 16	
405	04C380248	碎片	14.4	9.0	3.0	0.2												メノウ 4	
406	04C380249	台形石器	36.2	34.3	9.6	6.9	24c											メノウ 4	
407	04C380250	碎片	6.1	2.4	1.8	0.1												安山岩 16	
408	04C380251	碎片	6.2	10.6	1.6	0.1												安山岩 16	
409	04C380252	碎片	4.2	8.0	1.3	0.1												安山岩 14	
410	04C380253	碎片	7.7	7.4	2.9	0.1												安山岩 14	
411	04C380254	碎片	9.7	8.3	1.1	0.1												珪質頁岩 3	
412	04C380255	碎片	12.2	9.4	2.1	0.3												安山岩 14	
413	04C380256	碎片	6.7	5.2	1.6	0.1												安山岩 14	
414	04C380257	碎片	6.8	10.0	1.6	0.1												安山岩 14	
415	04C380258	剥片	9.3	19.4	3.9	0.5		P			1			○		F		安山岩 14	
416	04C380259	碎片	12.7	9.0	1.3	0.2												安山岩 16	
417	04C380260	剥片	26.5	17.0	5.5	2.4		P			1			○		F		安山岩 14	
418	04C380261	碎片	9.4	4.5	1.3	0.1												安山岩 16	
419	04C380262	碎片	11.3	7.8	2.4	0.2												安山岩 14	
420	04C380263	碎片	4.8	12.6	2.3	0.1												安山岩 14	

第32表 第10ブロック石器属性表7

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
421	04C380264	碎片	6.3	4.7	0.8	0.1													安山岩 14
422	04C380265	碎片	4.4	5.7	1.4	0.1													安山岩 14
423	04C380266	削片	11.3	16.5	3.6	0.7		H				2							安山岩 14
424	04C380267	碎片	4.5	3.3	0.9	0.1													安山岩 14
425	04C380268	碎片	9.4	5.6	1.8	0.1													安山岩 14
426	04C380269	碎片	10.4	10.5	2.2	0.3													安山岩 14
427	04C380270	碎片	10.5	5.3	3.1	0.2													安山岩 14
428	04C380271	削片	20.6	17.5	5.4	1.6		P				2	1		1				安山岩 16
429	04C380272	碎片	11.9	10.1	1.6	0.2													安山岩 14
430	04C380273	碎片	12.3	8.9	2.1	0.2													安山岩 14
431	04C380274	碎片	7.8	9.3	2.2	0.1													安山岩 14
432	04C380275	碎片	7.5	10.8	1.6	0.1													安山岩 14
433	04C380276	削片	21.5	22.6	2.6	1.0		P				2			1				安山岩 16
434	04C380277	削片	27.6	7.1	5.1	0.7		H				1	1						安山岩 14
435	04C380278	碎片	8.9	6.5	2.5	0.1													安山岩 14
436	04C380279	削片	16.6	8.7	3.2	0.5		L				1	1						安山岩 14
437	04C380280	碎片	9.5	10.6	2.2	0.2													安山岩 14
438	04C380281	碎片	7.6	9.5	2.5	0.2													安山岩 14
439	04C380282	碎片	13.6	7.0	1.6	0.1													メノウ 4
440	04C380283	削片	36.5	14.9	10.9	5.3	24rb	C				1	2						安メノウ 4
441	04C380284	碎片	14.0	6.5	4.5	0.3													メノ山 16
442	04C380285	ナイフ形石器	44.2	17.1	8.2	3.3	2												安珪質頁岩 3
443	04C380286	削片	20.2	19.0	11.8	1.9	24ta	H				1							メノウ 4
444	04C380287	碎片	14.7	9.0	3.8	0.3													メノウ 4
445	04C380288	碎片	7.4	13.1	3.8	0.3													メノウ 4
446	04C380289	碎片	10.9	5.2	1.4	0.1													安メノウ 4
447	04C380290	碎片	6.2	13.0	2.2	0.2													安メノウ 4
448	04C380291	削片	11.7	25.6	6.4	1.8		H					1		1				安メノ山 16
449	04C380292	碎片	13.5	10.4	2.0	0.4													安山岩 14
450	04C380293	碎片	5.1	6.6	1.3	0.1													安山岩 14
451	04C380294	碎片	6.8	11.4	1.0	0.1													安山岩 14
452	04C380295	碎片	14.6	11.4	6.6	1.0													安山岩 14
453	04C380296	碎片	9.7	8.3	2.1	0.2													安山岩 14
454	04C380297	削片	22.2	20.2	5.9	1.5	24f	L				3							安メノウ 4
455	04C380298	削片	22.0	20.4	3.7	1.5		H				3							珪質頁岩 4
456	04C380299	削片	28.8	28.6	5.2	4.2		H				3				○			珪質頁岩 4
457	04C380300	削片	39.1	22.6	7.4	7.3	45b	H				1				○			安山岩 16
458	04C380301	削片	17.7	7.0	2.8	0.3		H				2							安山岩 14
459	04C380302	碎片	14.0	12.5	2.5	0.6													安山岩 16
460	04C380303	碎片	9.8	4.3	2.5	0.1													安山岩 14
461	04C380304	碎片	12.5	7.2	1.7	0.1													安山岩 14
462	04C380305	碎片	9.5	6.5	2.2	0.2													安山岩 14
463	04C380306	削片	17.1	12.7	10.1	2.0		C				1	1						安山岩 14
464	04C380307	削片	15.1	12.4	3.6	0.6		L				2							安山岩 14
465	04C380308	碎片	6.4	12.5	1.8	0.2													安山岩 14
466	04C380309	碎片	14.8	13.0	3.6	0.4													安山岩 14
467	04C380310	削片	41.9	27.8	7.8	8.7		P				4	1	1	1				珪質頁岩 3
468	04C380311	削片	22.0	4.5	3.1	0.9		C				1							安山岩 14
469	04C380312	削片	30.9	28.0	8.0	7.9		C				2	1	1	1				安山岩 14
470	04C380313	削片	23.0	5.0	7.1	2.7		L				1	1		1				安山岩 14
471	04C380314	削片	8.9	16.3	1.3	0.2		L				2							安メノウ 4
472	04C380315	碎片	7.3	3.5	1.5	0.1													安山岩 14
473	04C380316	R 削片	19.0	22.8	8.0	3.0	39	-						1					安山岩 14
474	04C380317	碎片	3.9	7.6	0.5	0.1													安山岩 14
475	04C380318	碎片	10.7	11.0	2.5	0.4													安山岩 14
476	04C380319	削片	32.8	23.3	10.2	7.5		C	○			1	2			○			安山岩 14
477	04C380320	碎片	7.7	8.6	0.4	0.1													安山岩 14
478	04C380321	碎片	11.8	6.5	3.0	0.3													安山岩 14
479	04C380322	削片	27.5	30.7	10.0	7.0		2				1	1						安山岩 14
480	04C380323	碎片	14.6	10.3	3.6	0.6													安メノウ 4
481	04C380324	碎片	13.2	6.2	2.1	0.2													安山岩 14
482	04C380325	碎片	3.0	5.0	2.1	0.1													安山岩 14
483	04C380326	削片	27.2	25.5	10.2	4.4		P				1	2						安山岩 16
484	04C380327	形石器	23.2	16.7	5.9	1.8	16												安山岩 14
485	04C380328	碎片	10.8	5.8	2.7	0.2													安山岩 14
486	04C380329	石核	34.1	47.0	26.0	47.5	27												珪質頁岩 3
487	04C380330	碎片	10.1	5.8	1.5	0.1													安山岩 14
488	04C380331	碎片	8.2	5.0	1.6	0.1													安山岩 14
489	04C380332	碎片	3.7	14.0	2.9	0.2													安山岩 14
490	04C380333	碎片	6.6	8.8	2.0	0.1													安山岩 14

第33表 第10ブロック石器属性表 8

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	押凹 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩	
											I	II	III	IV	C					
491	04C380334	剥片	12.1	15.5	3.1	0.7		H												安山岩 14
492	04C380335	碎片	5.6	2.7	0.7	0.1														安山岩 14
493	04C380336	碎片	3.8	3.3	1.0	0.1														安山岩 14
494	04C380337	碎片	8.1	6.6	0.6	0.1														安山岩 14
495	04C380338	碎片	4.2	6.1	1.5	0.1														安山岩 14
496	04C380339	碎片	5.0	1.2	0.3	0.1														安山岩 4
497	04C380340	碎片	12.2	9.8	3.0	0.5														安山岩 14
498	04C380341	碎片	8.4	13.3	1.4	0.2														安山岩 4
499	04C380342	碎片	7.0	6.0	1.4	0.1														安山岩 14
500	04C380343	碎片	1.2	6.6	1.0	0.1														安山岩 4
501	04C380344	剥片	30.0	25.1	10.5	5.7														安山岩 14
502	04C380345	剥片	15.3	12.9	2.7	0.9		H												安山岩 14
503	04C380346	剥片	10.3	16.7	2.6	0.5		P												安山岩 14
504	04C380347	石核	56.5	45.9	27.8	56.9	24aa													安山岩 4
505	04C380348	碎片	7.6	12.3	1.2	0.1														安山岩 16
506	04C380349	剥片	38.9	30.2	11.4	12.2		H												安山岩 14
507	04C380350	剥片	18.1	27.5	4.3	2.2		H												瑠璃質頁岩 4
508	04C380351	碎片	7.6	10.1	2.0	0.2														安山岩 16
509	04C380352	碎片	9.8	5.1	1.1	0.1														安山岩 14
510	04C380353	碎片	10.0	9.7	1.4	0.2														瑠璃質頁岩 3
511	04C380354	碎片	7.8	9.0	1.9	0.2														瑠璃質頁岩 4
512	04C380355	剥片	21.7	27.8	7.4	3.0		C												安山岩 4
513	04C380356	碎片	3.9	4.5	1.0	0.1														安山岩 14
514	04C380357	碎片	10.2	11.7	2.1	0.3														安山岩 16
515	04C380358	碎片	7.2	8.2	0.9	0.1														安山岩 14
516	04C380359	碎片	3.6	5.0	0.5	0.1														安山岩 14
517	04C380360	碎片	5.0	4.7	0.8	0.1														安山岩 14
518	04C380361	碎片	11.0	7.9	2.3	0.2														安山岩 4
519	04C380362	碎片	7.7	6.7	0.9	0.1														安山岩 14
520	04C380363	碎片	2.7	8.0	1.2	0.1														安山岩 4
521	04C380364	碎片	10.8	12.4	2.5	0.4														安山岩 16
522	04C380365	剥片	10.8	16.5	4.6	0.8		H												安山岩 14
523	04C380366	碎片	4.8	6.3	1.6	0.1														安山岩 14
524	04C380367	碎片	8.4	10.1	1.9	0.1														安山岩 14
525	04C380368	碎片	10.9	4.8	2.8	0.5														安山岩 4
526	04C380369	剥片	20.7	19.1	5.1	5.1														安山岩 14
527	04C380370	碎片	11.3	14.3	1.4	0.2	24pb													安山岩 4
528	04C380371	碎片	6.1	4.3	0.8	0.1														安山岩 4
529	04C380373	剥片	18.2	5.9	1.3	0.2		P												瑠璃質頁岩 4
530	04C380374	剥片	28.7	14.4	5.5	2.4		H												安山岩 14
531	04C380375	碎片	3.2	5.9	0.9	0.1														安山岩 14
532	04C380376	碎片	3.6	6.3	1.4	0.1														安山岩 14
533	04C380377	碎片	8.0	9.5	2.0	0.1														安山岩 16
534	04C380378	碎片	7.6	3.4	2.4	0.1														安山岩 14
535	04C380379	碎片	12.5	10.7	2.6	0.4														安山岩 14
536	04C380380	碎片	5.2	8.5	1.9	0.1														安山岩 14
537	04C380381	碎片	12.8	1.0	4.0	0.5														安山岩 14
538	04C380382	碎片	8.2	11.9	1.5	0.2														安山岩 14
539	04C380383	碎片	10.2	2.2	1.7	0.2														安山岩 14
540	04C380384	碎片	4.2	4.5	0.7	0.1														安山岩 16
541	04C380385	碎片	3.3	5.5	1.7	0.1														安山岩 14
542	04C380386	碎片	9.4	9.1	1.7	0.2														安山岩 4
543	04C380387	剥片	21.2	12.5	7.2	1.3		H												安山岩 16
544	04C380388	剥片	27.1	22.0	5.5	1.8		L												安山岩 14
545	04C380389	碎片	4.8	9.1	2.6	0.1														安山岩 16
546	04C380390	剥片	17.2	11.0	5.5	1.0		H												安山岩 16
547	04C380391	碎片	5.3	4.2	0.4	0.1														安山岩 14
548	04C380392	碎片	4.2	3.7	0.7	0.1														安山岩 14
549	04C380393	碎片	10.5	8.4	3.3	0.4														瑠璃質頁岩 4
550	04C380394	碎片	4.3	3.5	0.5	0.1														安山岩 14
551	04C380395	碎片	6.6	4.0	1.3	0.1														安山岩 14
552	04C380396	碎片	10.7	14.8	2.7	0.5														安山岩 4
553	04C380397	碎片	11.0	6.9	3.1	0.3														安山岩 14
554	04C380398	剥片	26.9	10.5	3.8	1.1		H												安山岩 16
555	04C380399	剥片	21.5	35.7	12.9	6.5	24ra	H												安山岩 4
556	04C380400	碎片	2.3	2.5	1.6	0.1														安山岩 14
557	04C380401	碎片	10.7	3.9	2.2	0.2														安山岩 14
558	04C380402	剥片	16.9	14.5	5.1	1.4		H												安山岩 16
559	04C380403	碎片	5.5	3.3	0.8	0.1														安山岩 14
560	04C380404	碎片	9.9	11.9	2.6	0.3														安山岩 14

第34表 第10ブロック石器属性表9

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿 号	打 面	打 面	頭 部	背 面 構 成					打 角	末 端 形 状	折 面 部 位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
561	04C380405	剝片	40.9	20.8	8.2	6.3		C				1			1		H		メノウ 4
562	04C380406	砕片	6.2	6.5	1.2	0.1												安山岩 14	
563	04C380407	砕片	4.7	2.4	0.9	0.1												安山岩 14	
564	04C380408	砕片	8.5	4.2	1.2	0.1												安山岩 14	
565	04C380409	砕片	6.0	7.0	1.3	0.1												安山岩 14	
566	04C380410	砕片	6.0	3.2	0.9	0.1												安山岩 16	
567	04C380411	剝片	26.8	41.8	17.0	13.3	24h											安メ山岩 4	
568	04C380412	剝片	18.9	39.3	9.3	15.8		H							○		F	安メ山岩 16	
569	04C380413	砕片	5.8	5.8	2.1	0.1												安山岩 16	
570	04C380414	砕片	9.4	2.7	2.1	0.1												安山岩 16	
571	04C380415	剝片	29.2	12.7	5.4	2.0		P			1			2			F	安メ山岩 4	
572	04C380416	砕片	4.8	5.0	0.6	0.1												安山岩 16	
573	04C380417	砕片	4.1	4.4	0.7	0.1												安山岩 16	
574	04C380418	砕片	5.4	6.0	1.7	0.1												安山岩 16	
575	04C380419	剝片	16.0	16.7	3.7	0.8		H			1		1				H	安山岩 16	
576	04C380420	砕片	6.7	5.6	5.3	0.3												安メノウ 4	
577	04C380421	砕片	14.4	5.1	2.3	0.2												安メノウ 4	
578	04C380422	砕片	3.7	4.4	1.1	0.1												安山岩 16	
579	04C380423	剝片	18.6	12.5	4.8	0.9		H			1	1					F	安山岩 14	
580	04C380424	剝片	20.7	13.3	3.4	0.9		H			2	1					F	安山岩 16	
581	04C380425	砕片	9.3	3.3	0.6	0.1												珪質頁岩 4	
582	04C380426	砕片	9.1	14.7	3.6	0.4												安山岩 14	
583	04C380427	剝片	18.4	15.7	3.9	1.0		C			2			1			F	安メノウ 4	
584	04C380428	砕片	8.1	2.1	1.3	0.1												安山岩 14	
585	04C380429	砕片	2.7	3.7	0.8	0.1												安メノウ 4	
586	04C380430	剝片	59.7	30.0	26.6	38.4	24v											安メノウ 4	
587	04C380431	砕片	4.5	5.5	1.4	0.1												安山岩 16	
588	04C380432	砕片	12.7	14.7	4.3	0.9												安メノウ 4	
589	04C380433	砕片	14.5	11.9	4.5	0.7												安山岩 16	
590	04C380434	剝片	14.9	23.7	4.7	1.9												安メノウ 4	
591	04C380435	剝片	39.0	42.1	6.1	17.2		C			2	1		1			S	安山岩 15	
592	04C380436	剝片	23.4	10.5	5.7	1.5		H			○	2	1				F	安山岩 14	
593	04C380437	砕片	8.2	5.6	1.3	0.1												安山岩 14	
594	04C380438	砕片	5.2	3.1	1.1	0.1												安山岩 14	
595	04C380439	砕片	10.7	12.5	2.6	0.4												安山岩 14	
596	04C380440	砕片	3.0	4.5	0.8	0.1												安山岩 14	
597	04C380441	砕片	5.3	4.0	1.3	0.1												安山岩 14	
598	04C380442	砕片	5.0	2.2	0.3	0.1												安メノウ 4	
599	04C380443	砕片	11.1	6.6	1.1	0.1												安山岩 14	
600	04C380444	砕片	5.1	6.8	2.1	0.1												安山岩 14	
601	04C380445	剝片	8.2	15.2	1.5	0.3		C			1						H	安山岩 14	
602	04C380446	砕片	4.3	2.1	0.3	0.1												安山岩 14	
603	04C380447	砕片	2.8	7.0	1.0	0.1												安メノウ 4	
604	04C380448	砕片	8.3	3.2	2.4	0.3												安山岩 16	
605	04C380449	砕片	2.7	9.3	1.3	0.1												安山岩 14	
606	04C380450	砕片	4.5	11.4	2.0	0.1												安山岩 14	
607	04C380451	砕片	4.0	2.7	0.8	0.1												安山岩 16	
608	04C380452	砕片	7.3	8.1	0.6	0.1												安山岩 14	
609	04C380453	剝片	46.8	31.0	9.3	12.3		H			○	2	3				F	安山岩 14	
610	04C380454	砕片	5.5	4.5	1.2	0.1												安メノウ 4	
611	04C380455	砕片	5.8	1.8	2.1	0.1												安メノウ 4	
612	04C380456	砕片	6.7	3.4	0.9	0.1												安山岩 14	
613	04C380457	砕片	6.1	2.0	0.4	0.1												安山岩 16	
614	04C380458	砕片	5.7	12.2	2.5	0.2												珪質頁岩 3	
615	04C380459	砕片	4.3	5.2	0.9	0.1												安山岩 16	
616	04C380460	砕片	13.4	6.7	1.4	0.1												安山岩 16	
617	04C380461	砕片	7.2	6.1	2.5	0.1												安山岩 14	
618	04C380462	砕片	5.3	2.9	1.1	0.1												安山岩 16	
619	04C380463	砕片	5.5	3.6	0.7	0.1												安山岩 14	
620	04C380464	砕片	7.3	13.3	3.3	0.3												安山岩 14	
621	04C380465	剝片	13.2	24.5	4.3	1.0		C					1				F	安山岩 14	
622	04C380466	砕片	5.4	2.1	0.9	0.1												安山岩 14	
623	04C380467	砕片	5.5	4.2	0.9	0.1												安山岩 14	
624	04C380468	砕片	5.4	3.0	1.2	0.1												安メノウ 4	
625	04C380469	砕片	5.7	2.6	1.1	0.1												安メノウ 4	
626	04C380470	砕片	5.1	11.3	1.1	0.1												安山岩 14	
627	04C380471	剝片	18.7	13.2	3.5	0.8		H			1	1					○	安山岩 14	
628	04C380472	砕片	5.9	8.3	4.7	0.2												安メノウ 4	
629	04C380473	砕片	10.0	6.6	2.3	0.2												安山岩 14	
630	04C380474	砕片	2.3	6.8	1.1	0.1												安山岩 16	

第35表 第10ブロック石器属性表10

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿 箱 番 号	打 面 種 類	打 面 調 整	頭 部 調 整	背 面 構 成					打 角	末 端 形 状	折 面 部 位	母 岩	
											I	II	III	IV	C					
631	04C380475	碎片	5.1	8.3	1.1	0.1													安山岩	14
632	04C380476	碎片	3.4	1.5	0.6	0.1													安山岩	16
633	04C380477	碎片	3.0	4.5	0.4	0.1													安山岩	14
634	04C380478	碎片	4.1	8.0	1.2	0.1													安山岩	4
635	04C380479	刮片	14.7	15.4	5.0	1.3		C			1	1		1			F		安山岩	16
636	04C380480	碎片	6.7	12.6	2.1	0.2													安山岩	16
637	04C380481	碎片	10.6	2.5	3.4	0.4													安山岩	14
638	04C380482	碎片	3.7	4.6	2.4	0.1													安山岩	4
639	04C380483	碎片	14.4	13.7	4.8	0.8													安山岩	14
640	04C380484	碎片	2.2	6.3	1.2	0.1													安山岩	14
641	04C380485	刮片	8.1	18.9	1.9	0.4		H				2					F		安山岩	14
642	04C380486	碎片	8.4	6.5	4.1	0.2													安山岩	14
643	04C380487	刮片	19.9	7.0	4.9	0.4		P									F		安山岩	14
644	04C380488	刮片	12.2	17.7	1.7	0.4		H				1	1				F		安山岩	16
645	04C380489	碎片	7.0	2.7	1.6	0.1													安山岩	14
646	04C380490	碎片	4.4	9.8	1.4	0.1													安山岩	14
647	04C380491	碎片	5.4	4.0	0.6	0.1													安山岩	4
648	04C380492	碎片	5.1	8.1	1.7	0.1													安山岩	14
649	04C380493	碎片	6.4	4.7	1.3	0.1													安山岩	14
650	04C380494	碎片	6.8	5.7	1.2	0.1													安山岩	14
651	04C380495	碎片	9.8	14.1	4.0	0.5													安山岩	4
652	04C380496	碎片	7.0	10.1	2.8	0.1													安山岩	4
653	04C380497	碎片	11.1	8.8	1.4	0.1													安山岩	4
654	04C380498	碎片	12.4	13.4	4.9	0.8													安山岩	14
655	04C380499	碎片	5.4	9.2	1.2	0.1													安山岩	4
656	04C380500	碎片	1.7	4.4	0.5	0.1													安山岩	14
657	04C380501	刮片	10.6	15.5	3.3	0.3		C				2					F		安山岩	4
658	04C380502	碎片	6.1	4.7	2.7	0.1													安山岩	16
659	04C380503	碎片	4.9	3.2	1.4	0.1													安山岩	16
660	04C380504	碎片	9.2	10.4	2.2	0.2													安山岩	4
661	04C380505	碎片	8.8	10.5	1.9	0.2													安山岩	4
662	04C380506	碎片	4.0	3.2	0.9	0.1													安山岩	14
663	04C380507	碎片	8.4	7.5	2.2	0.1													安山岩	16
664	04C380508	碎片	2.7	6.2	1.5	0.1													安山岩	14
665	04C380509	碎片	14.4	8.7	1.4	0.1													安山岩	14
666	04C380510	碎片	3.6	2.0	0.4	0.1													安山岩	14
667	04C380511	碎片	5.2	4.0	0.6	0.1													安山岩	4
668	04C380512	碎片	4.6	7.6	3.0	0.1													安山岩	4
669	04C380513	碎片	6.1	3.7	1.2	0.1													安山岩	4
670	04C380514	碎片	4.9	8.6	1.4	0.1													安山岩	14
671	04C380515	碎片	7.9	12.3	2.6	0.4													安山岩	14
672	04C380516	碎片	8.8	4.5	1.6	0.1													安山岩	14
673	04C470004	刮片	17.1	17.6	5.4	1.3		H					1				S		安山岩	16
674	04C470005	刮片	17.5	15.6	2.5	0.5		P		○			1				F		安山岩	14
675	04C470006	碎片	11.5	12.4	3.0	0.3													安山岩	4
676	04C470007	刮片	26.1	24.6	4.4	2.2		L				2					-	R,B	安山岩	14
677	04C470008	刮片	17.7	16.1	3.4	1.1		C				2	1				H		安山岩	14
678	04C470009	刮片	18.5	19.2	4.8	2.1		-						1			-	H,B	安山岩	14
679	04C470010	刮片	17.1	22.3	4.4	1.2		3				2			1		F		安山岩	14
680	04C470011	刮片	23.9	22.7	4.5	2.9		H					1				H		安山岩	14
681	04C470012	ナイフ形石器	42.2	19.8	9.9	5.3													安山岩	4
682	04C470013	U 刮片	39.7	24.0	6.7	4.5	41	C				1					F		安山岩	6
683	04C480004	刮片	35.1	19.6	10.1	4.6	24u	H									F		安山岩	4
684	04C480005	刮片	15.7	13.7	3.5	0.7		H				1	1				F		安山岩	14
685	04C480006	刮片	11.9	16.7	6.1	0.8		P				1					F		安山岩	4
686	04C480007	刮片	29.8	14.7	10.0	1.2	24i	C									F		安山岩	4
687	04C480008	刮片	12.8	17.9	6.9	1.5		L		○		2					S		安山岩	3
688	04C480009	碎片	9.2	11.7	1.9	0.2													安山岩	14
689	04C480010	碎片	11.0	6.9	2.5	0.2													安山岩	16
690	04C480011	刮片	22.6	21.1	3.8	1.5		P				2	1	1	1		F		安山岩	16
691	04C480012	碎片	8.4	14.9	1.5	0.2													安山岩	16
692	04C480013	石核	41.0	30.6	19.7	31.5	26												安山岩	16
693	04C480014	刮片	18.0	31.3	5.4	2.4	24s					2		1			H	M	安山岩	4
694	04C480015	碎片	9.7	6.8	6.7	0.4													安山岩	4
695	04C480016	刮片	15.2	23.5	4.8	2.0		H					1				H	R	安山岩	14
696	04C480017	刮片	13.8	17.9	5.8	1.3		P				2	2				S		安山岩	14
697	04C480018	碎片	11.1	6.8	6.1	0.4													安山岩	3
698	04C480019	刮片	29.2	14.0	9.0	2.9		H									F		安山岩	4

第36表 第10ブロック組成表

	ナイフ	台形石器	R剝片	U剝片	石核	剝片	碎片	合計	数量比%
安山岩 14	1	14	3		3	171	239	431	61.75
安山岩 15			1		3	12		16	2.29
安山岩 16		1			3	40	54	98	14.04
小計	1	15	4		9	223	293	545	78.08
珪質頁岩 3	1	2		2	1	5	5	16	2.29
珪質頁岩 4	1	3	1	1		9	15	30	4.30
珪質頁岩 5						1		1	0.14
珪質頁岩 6				1				1	0.14
小計	2	5	1	4	1	15	20	48	6.88
メノウ 4		3	1	2	3	43	53	105	15.04
計	3	23	6	6	13	281	366	698	100.00
組成比%	0.43	3.29	0.86	0.86	1.86	40.26	52.43	100.00	

第37表 第11ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩	
											I	II	III	IV	C					
1	04C540004	台形石器	47.3	31.0	7.2	8.2	1													メノウ 4
2	04C630004	R剝片	37.9	35.0	13.8	17.2	35a	3	○		2				○	93	F		安山岩 14	
3	04C640004	剝片	41.9	41.2	9.3	15.1	5	P			6			2	○		F		安山岩 16	
4	04C640005	剝片	24.7	28.1	6.2	3.6		H		○	3		1				H		安山岩 17	
5	04C640006	剝片	49.8	47.1	9.4	18.9	6	H			1	1			○	101	F		安山岩 17	
6	04C640007	剝片	45.2	37.0	13.5	21.0		2			1	1		3	○		F	F	安山岩 17	
7	04C640008	剝片	52.7	43.9	10.4	16.5	3	2		○	3	2	1	3	○	111	F		安山岩 18	
8	04C640009	剝片	60.6	39.2	4.5	37.1	4	-	-		1		1		○		H	H	安山岩 17	
9	04C640010	剝片	39.0	47.3	12.9	23.5		C							○		F		安山岩 17	
10	04C640011	石核	28.5	43.5	24.5	32.6	2												安山岩 18	

第38表 第11ブロック組成表

	台形石器	R剝片	石核	剝片	合計	数量比%
安山岩 14		1			1	10.00
安山岩 16				1	1	10.00
安山岩 17				5	5	50.00
安山岩 18			1	1	2	20.00
小計		1	1	7	9	90.00
メノウ 4	1				1	10.00
計	1	1	1	7	10	100.00
組成比%	10.00	10.00	10.00	70.00	100.00	

第39表 第12ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	04D230004	碎片	10.0	9.7	3.7	0.3													安山岩 19
2	04D230005	剝片	26.8	20.3	7.7	4.9		H						1	○	132	S		安山岩 19
3	04D230006	剝片	21.9	24.9	8.2	4.8	4a	H			2				○		F		安山岩 19
4	04D230007	剝片	30.5	17.6	6.2	4.4		H		○	1	1	1				F		安山岩 20
5	04D230008	石核	43.5	37.8	14.9	19.9	2												安山岩 20
6	04D230009	碎片	14.0	10.5	2.9	0.4													安山岩 20
7	04D230010	剝片	15.1	21.4	5.1	1.5	4b	-	-	-	2				○		F	M	安山岩 19
8	04D320004	剝片	21.8	18.5	5.7	2.2		H		○	2		1	2			F		安山岩 20
9	04D330004	石核	35.5	61.8	19.3	39.5	3												安山岩 20
10	04D330005	碎片	7.8	7.5	2.2	0.1													安山岩 21
11	04D330006	剝片	11.7	23.5	3.4	0.6		H			2	1					F		安山岩 19
12	04D330007	剝片	21.6	24.0	4.7	2.3		-	-	-		1		1			S	M	安山岩 20
13	04D330008	剝片	17.3	7.7	3.6	0.6		H			4		1				F		安山岩 20
14	04D330009	碎片	1.3	8.0	1.8	0.1													安山岩 19
15	04D330010	剝片	19.9	10.5	4.0	0.9		H			3		1				F		安山岩 19
16	04D330011	剝片	22.7	21.0	6.4	3.3		H			3			1			F		安山岩 19
17	04D330012	碎片	8.2	3.8	2.0	0.1													安山岩 20
18	04D330013	台形石器	27.7	37.8	9.9	10.1	1	H			1	2					H	R,B	珪質頁岩 7

第40表 第12ブロック組成表

	台形石器	石核	剝片	砕片	合計	数量比%
安山岩 19			5	3	8	44.44
安山岩 20		2	5	1	8	44.44
安山岩 21				1	1	5.55
小計		2	10	5	17	94.44
珪質頁岩 7	1				1	5.55
計	1	2	10	5	18	100.00
組成比%	5.55	11.11	55.55	27.78		100.00

第42表 第13ブロック組成表

	台形石器	楔形石器	U剝片	剝片	砕片	合計	数量比%
安山岩 22				1		1	12.50
安山岩 23					1	1	12.50
小計				1	1	2	25.00
珪質頁岩 8	1	1	1			3	37.50
メノウ 5				3		3	37.50
計	1	1	1	4	1	8	100.00
組成比%	12.50	12.50	12.50	50.00	12.50		100.00

第41表 第13ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿入番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	04D770004	台形石器	27.6	29.3	5.6	3.7	2												珪質頁岩 8
2	04D770005	剝片	31.3	8.0	4.8	2.9	4	H			1	2			89	F		メノウ 5	
3	04D770006	剝片	17.7	21.0	6.5	2.3		C			1	1				F		安山岩 22	
4	04D770007	U剝片	31.7	25.4	9.0	5.1	3	2	○	○	5				127	F		珪質頁岩 8	
5	04D770008	剝片	40.4	23.0	13.0	11.4		C			1		1			F		珪質頁岩 5	
6	04D770009	楔形石器	21.0	19.0	4.8	1.9	1											珪質頁岩 8	
7	04D770010	砕片	13.3	13.2	11.8	0.2												安山岩 23	
8	04D770011	剝片	26.4	37.2	10.5	10.5		L			1					-	M	メノウ 5	

第43表 第14ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿入番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	05C380004	砕片	5.4	8.0	1.4	0.1													珪質頁岩 9
2	05C380005	砕片	11.7	13.9	3.7	0.5													珪質頁岩 9
3	05C380006	砕片	9.1	6.4	2.0	0.2													珪質頁岩 9
4	05C380007	剝片	14.5	24.3	2.2	0.8		-	-	PL	2					H			珪質頁岩 9
5	05C380008	石刃	19.1	8.3	2.0	0.2	6	-	-	-	2					-	H,B		珪質頁岩 9
6	05C380009	砕片	9.1	4.6	2.3	0.1													珪質頁岩 9
7	05C380010	剝片	18.6	23.0	6.3	2.0		-	-	-	1		1			S	H		珪質頁岩 9
8	05C380011	剝片	15.2	7.6	4.5	1.0		H			2					F			珪質頁岩 9
9	05C380012	U剝片	15.3	14.6	4.0	0.5	11	H			3		2		103	F			珪質頁岩 9
10	05C380013	剝片	30.4	33.6	8.1	8.2		H			4					F			珪質頁岩 9
11	05C380014	砕片	12.6	11.8	1.9	0.3													珪質頁岩 9
12	05C380015	砕片	5.0	6.4	2.3	0.1													珪質頁岩 9
13	05C380016	ナイフ形石器	31.0	13.3	6.4	2.1	2												珪質頁岩 9
14	05C380017	砕片	11.4	11.8	2.5	0.5													珪質頁岩 9
15	05C380018	R剝片	22.0	32.4	7.6	2.9	13	L		○	2	2				H			黒曜石 4
16	05C380019	石刃	42.4	24.5	7.1	2.1	3	-	-	-	3						H,B		珪質頁岩 9
17	05C380020	U剝片	23.4	21.0	8.0	2.0	14	P		○	2		4			F			珪質頁岩 9
18	05C380022	U剝片	34.2	15.3	6.5	2.7	10	P		○	3	1	1			H			珪質頁岩 9
19	05C380023	剝片	33.6	33.3	3.4	5.0		H		○	2	2		1		H			珪質頁岩 9
20	05C380024	U剝片	18.2	24.0	8.5	2.2	15	H	○		2		3		113	F			珪質頁岩 9
21	05C380025	砕片	10.5	13.0	2.6	0.4													珪質頁岩 9
22	05C380026	剝片	22.1	24.0	2.5	2.2		-	-	-	1					H	M		珪質頁岩 9
23	05C380027	砕片	10.9	10.4	1.6	0.2													珪質頁岩 9
24	05C380028	U剝片	32.0	38.8	12.3	11.6	12	H				2	2			97	F		珪質頁岩 9
25	05C390003	剝片	22.6	18.1	3.5	1.8		-	-	-	4					F	H		珪質頁岩 9
26	05C390004	剝片	25.6	8.7	6.3	1.2		H			1		1			-	B		珪質頁岩 9
27	05C390005	剝片	16.5	21.0	4.3	1.4		L		PL	2					H			珪質頁岩 9
28	05C480004	砕片	4.6	7.5	1.0	0.1													珪質頁岩 9
29	05C480005	石核	56.5	41.0	23.8	58.9	7												珪質頁岩 9
30	05C480006	剝片	32.0	17.8	4.5	2.7		L		○	3		1	1		F			珪質頁岩 9
31	05C480007	石核	47.0	32.9	15.9	25.1	8												珪質頁岩 10
32	05C480011	石刃	71.5	22.9	14.0	11.6	4	3		○	5		2			107	O		珪質頁岩 1
33	05C480012	U剝片	26.3	19.1	8.2	2.3	9	3	○		5	2			103	F			珪質頁岩 4
34	05C490005	ナイフ形石器	46.8	25.2	8.9	7.9	1												珪質頁岩 11
35	05C490006	石刃	26.4	15.1	7.9	2.5	5	L		PL	3		1				M		珪質頁岩 9

第44表 第14ブロック組成表

	ナイフ	R剝片	U剝片	石 刃	石 核	剝 片	碎 片	合 計	数量比%
黒 曜 石 4		1	3			1		5	14.28
珪 質 頁 岩 9	1		3	2	1	9	10	26	74.28
珪 質 頁 岩 10					1			1	2.86
珪 質 頁 岩 11	1							1	2.86
小 計	2		3	2	2	9	10	28	80.00
珪 化 木 1				2				2	5.71
計	2	1	6	4	2	10	10	35	100.00
組 成 比 %	5.71	2.86	17.14	11.43	5.71	28.57	28.57	100.00	

第45表 第15ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	05C470004	剝 片	13.0	15.8	3.0	0.8		H		PL	1	1			○		H	珪 質 頁 岩 12	
2	05C480008	剝 片	31.3	20.8	9.2	4.1		H			1				○		S	珪 質 頁 岩 9	
3	05C480009	剝 片	43.3	30.0	19.5	18.7		H			2				○		F	珪 質 頁 岩 9	
4	05C480010	剝 片	26.1	10.1	7.1	2.2		H			2						F	珪 質 頁 岩 12	
5	05C490004	剝 片	34.2	19.9	9.9	5.0		L		PL	3				○		F	珪 質 頁 岩 12	
6	05C580004	剝 片	19.0	5.9	5.8	0.6	9b	H	○			1			S		-	M	珪 質 頁 岩 12
7	05C580005	石 刃	41.2	12.7	10.5	4.2	8	H			5		1				F		珪 質 頁 岩 11
8	05C580006	剝 片	38.0	33.2	9.0	12.0	10b	H				6	4		○		H		珪 質 頁 岩 12
9	05C580007	R 剝 片	47.0	32.9	6.1	8.0	12	H		○	3				○		F		珪 質 頁 岩 13
10	05C580008	剝 片	21.3	17.8	0.9	2.0		H			2	1					S		珪 質 頁 岩 9
11	05C580009	碎 片	10.5	14.7	10.3	0.3													珪 質 頁 岩 12
12	05C580010	石 刃	32.5	12.5	5.6	1.3	7	H		○	5						F		珪 質 頁 岩 14
13	05C580011	剝 片	37.0	16.9	11.4	4.7													珪 質 頁 岩 12
14	05C580012	石 核	36.4	27.8	15.2	17.4	10a												珪 質 頁 岩 12
15	05C580013	石 核	46.3	38.1	5.4	27.6	11												珪 質 頁 岩 12
16	05C580014	ナイフ形石器	33.6	15.0	5.2	2.9	1												珪 質 頁 岩 12
17	05C580016	剝 片	13.7	16.3	4.4	0.7		L			2						F		珪 質 頁 岩 12
18	05C580017	剝 片	42.4	24.2	5.8	5.9	13	P		○	6	2		1			-	B	黒 曜 石 4
19	05C580018	ナイフ形石器	22.3	14.8	2.8	2.9	2												珪 質 頁 岩 15
20	05C580019	石 刃	32.3	13.6	5.5	2.5	6	H	○		3		2				F		珪 質 頁 岩 11
21	05C580020	石 刃	23.1	12.1	4.6	0.8	4	H		○	2						F		珪 質 頁 岩 9
22	05C590004	石 刃	39.0	19.5	4.9	3.2		H			3	1	1				-		珪 質 頁 岩 9
23	05C590005	石 刃	52.7	30.5	8.5	13.2	3	H			5		1	1			-	B	珪 質 頁 岩 16
24	05C590006	石 刃	43.6	23.8	4.8	3.1	5	-	-	-	6						F	H	珪 質 頁 岩 11
25	05C590007	剝 片	15.8	9.4	12.8	0.4		H			1			1	○		F		珪 質 頁 岩 12
26	05C590008	石 核	36.4	18.5	17.8	12.4	9a	H		○	1				○		F		珪 質 頁 岩 12

第46表 第15ブロック組成表

	ナイフ	R剝片	石 刃	石 核	剝 片	碎 片	合 計	数量比%
黒 曜 石 4					1		1	3.85
珪 質 頁 岩 9			2		3		5	19.23
珪 質 頁 岩 11			3				3	11.54
珪 質 頁 岩 12	1		1	3	7	1	13	50.00
珪 質 頁 岩 13		1					1	3.85
珪 質 頁 岩 14			1				1	3.85
珪 質 頁 岩 15	1						1	3.85
珪 質 頁 岩 16			1				1	3.85
小 計	2	1	8	3	10	1	25	96.15
計	2	1	8	3	11	1	26	100.00
組 成 比 %	7.69	3.85	30.77	11.54	42.31	3.85	100.00	

第47表 第16ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	01F480001	剥片	6.9	18.9	4.3	0.5		H				1							砂岩 4
2	01F480002	石刃	14.2	8.0	1.9	0.2	1	L		○	2						F	珪質頁岩 17	
3	01F480003	剥片	54.6	51.5	21.9	56.2	2a	L			3			○		M	珪質頁岩 4		
4	01F480004	剥片	4.4	2.8	1.4	0.1										F	砂岩 4		
5	01F480005	剥片	5.1	9.6	3.1	0.2											砂岩 4		
6	01F480006	剥片	68.7	55.9	19.9	107.9	2d	C				2	○		90	F	砂岩 4		
7	01F480007	剥片	5.0	10.2	2.6	0.2												粘板岩 2	
8	01F480008	剥片	7.6	8.8	2.5	0.4												粘板岩 2	
9	01F480009	剥片	38.2	38.9	5.2	21.2	2b	L			2		○			F	砂岩 4		
10	01F480010	剥片	60.2	53.0	13.2	50.7	2c	H				1	○		117	F	砂岩 4		
11	01F480011	剥片	31.3	11.7	8.6	3.4		H								F	砂岩 4		
12	01F480012	剥片	7.7	11.4	5.6	0.5											F	粘板岩 2	

第48表 第16ブロック組成表

	石 刃	剥 片	碎 片	合 計	数量比%
珪質頁岩 17	1			1	8.33
粘板岩 2			3	3	25.00
砂岩 4		6	2	8	66.67
計	1	6	5	12	100.00
組 成 比 %	8.33	50.00	41.67	100.00	

第49表 第17ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	00G600001	剥片	17.4	22.7	9.1	3.4		P			2	1					F	安山岩 24	
2	00G600005	石核	28.4	31.6	16.9	12.3	3											安山岩 24	
3	00G600006	石核	35.6	35.6	15.1	18.6	1											メノウ 6	
4	00G600007	剥片	23.1	25.1	12.1	4.8		H			1			1		○	F	安山岩 24	
5	00G600008	剥片	18.0	21.0	7.1	2.5		L			1					○	F	安山岩 24	
6	00G600009	R 剥片	45.6	34.5	18.7	29.9	5a	-	-	-	5					○	F	L 珪質頁岩 18	
7	00G600010	石核	38.2	37.3	23.5	40.9	4											安山岩 25	
8	00G600011	剥片	32.7	39.2	12.8	15.5	8	3					1			○	S	安山岩 25	
9	00G600012	剥片	32.7	20.4	12.5	9.2		L			3	3	3			○	F	安山岩 24	
10	00G600013	剥片	42.8	13.5	8.6	4.9	7	C			3					○	F	安山岩 24	
11	00G610001	剥片	36.6	18.9	10.9	5.0	5b	-	-	-	1					○	F	R 珪質頁岩 18	
12	00G610002	剥片	30.7	29.2	6.5	5.9		H								○	F	安山岩 24	
13	00G610003	剥片	28.8	27.5	14.7	6.7		H			1	1				○	F	安山岩 24	
14	00G610004	U 剥片	28.5	16.5	6.1	1.9	6	P			3					○	F	安山岩 24	
15	00G710001	石核	31.9	28.3	15.8	11.6	2											安山岩 26	

第50表 第17ブロック組成表

	R剥片	U剥片	石 核	剥 片	合 計	数量比%
黒曜石 5		1			1	6.67
安山岩 24			1	7	8	53.33
安山岩 25			1	1	2	13.33
安山岩 26			1	1	2	13.33
小 計			3	8	11	73.00
珪質頁岩 18	1			1	2	13.33
メノウ 6			1		1	6.67
計	1	1	4	9	15	100.00
組 成 比 %	6.67	6.67	26.67	60.00	100.00	

第51表 第18ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	01F380002	剥片	26.6	27.8	4.7	3.2	3	C		○	3						98	F	安山岩 27
2	01F380003	剥片	33.4	24.4	7.3	5.3	2	L			3	2						F	安山岩 27
3	01F380004	楔形石器	18.4	26.1	6.0	3.1	1												安山岩 28
4	01F380005	剥片	7.2	6.0	1.2	0.1													珪質頁岩 19

第52表 第18ブロック組成表

	楔形石器	剝片	碎片	合計	数量比%
安山岩 27		2		2	50.00
安山岩 28	1			1	25.00
小計	1	2		3	75.00
珪質頁岩 19			1	1	25.00
計	1	2	1	4	100.00
組成比%	25.00	50.00	25.00	100.00	

第53表 第19ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿穴番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	01F690006	剝片	27.9	54.4	13.1	28.5		C						2	○		F	L	砂岩 5
2	01F690008	剝片	27.6	34.2	10.9	14.1		C							○		F	R	砂岩 5
3	01F690012	剝片	30.5	18.2	5.9	5.1		H		○	1				○		H		安山岩 29
4	01F690014	剝片	61.5	22.4	8.4	14.9	6	-	-	-	3	2		3			H		安山岩 29
5	01F690015	剝片	22.7	6.3	3.7	0.4		H			1	1					F		安山岩 29
6	01F690016	剝片	15.9	18.2	4.7	1.4		H			3	1		1			F		安山岩 29
7	01F690017	剝片	15.4	21.7	5.8	2.1		H				2					F		安山岩 29
8	01F690018	剝片	19.0	17.5	4.6	1.8		-	-	-	1			1	○		F	M	安山岩 29
9	01F690019	砕片	7.4	12.4	13.9	0.3													安山岩 29
10	01F690020	石核	26.5	34.1	15.7	13.6	2												安山岩 30
11	01F690022	R 剝片	32.7	31.6	4.0	12.2	3	H			1			3	○	116	F		安山岩 31
12	01F690023	剝片	30.7	49.5	8.5	9.0	7	C			1	1				115	H		安山岩 32
13	01F790003	U 剝片	40.7	29.9	8.0	12.2	5	C			2				○	99	F		珪質頁岩 20
14	01F790004	剝片	35.3	22.2	12.0	10.7		H			2	1		2			H		安山岩 33
15	01F790006	ナイフ形石器	17.3	13.4	4.1	1.2	1												メノウ 7
16	01F790007	R 剝片	38.3	37.0	12.6	12.1	4	-	-	-	4						F	H	安山岩 29
17	01F790009	剝片	11.4	17.0	4.0	0.6		-	-	-	1	1		1			F	H	メノウ 7
18	01F790011	ナイフ形石器	18.6	8.6	10.9	4.0	1												メノウ 7
19	01F790012	剝片	29.1	23.1	18.8	13.1													メノウ 7
20	01F790013	剝片	28.6	11.0	8.9	2.3		C							○		F		安山岩 29
21	01F790021	砕片	9.2	12.2	11.8	0.2													メノウ 7

第54表 第19ブロック組成表

	ナイフ	R剝片	U剝片	石核	剝片	碎片	合計	数量比%
安山岩 29		1			7	1	9	42.86
安山岩 30				1			1	4.76
安山岩 31		1					1	4.76
安山岩 32					1		1	4.76
安山岩 33					1		1	4.76
小計		2		1	9	1	13	61.90
珪質頁岩 20			1				1	4.76
メノウ 7	2				2	1	5	23.81
砂岩 5					2		2	9.52
計	2	2	1	1	13	2	21	100.00
組成比%	9.52	9.52	4.76	4.76	61.90	9.52	100.00	

第55表 第20ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿穴番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	02E210002	台形石器	42.4	29.0	10.5	13.0	1												安山岩 34
2	02E220004	剝片	30.9	22.4	8.0	5.4	2b	C			1	2	1		○	112	H		メノウ 8
3	02E220005	剝片	19.8	46.3	20.5	12.6	2a	C							○	110	F		メノウ 8

第56表 第20ブロック組成表

	台形石器	剝片	合計	数量比%
安山岩 34	1		1	33.33
メノウ 8		2	2	66.67
計	1	2	3	100.00
組成比 %	33.33	66.67	100.00	

第57表 第21ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩	
											I	II	III	IV	C					
1	02D760002	搔器	56.8	30.7	17.8	22.0	2												安山岩 35	
2	02D850001	石核	48.5	59.3	32.9	108.8	9a												ホルンフェルス 2	
3	02D850007	剝片	31.0	26.0	7.2	6.0		H			5	1						B	安山岩 35	
4	02D850008	剝片	19.0	27.0	6.7	3.3	4	H	○		3		1	2		104	H		珪質頁岩 21	
5	02D850009	剝片	32.9	31.3	10.0	9.6	5	S	○	○	4	1				116	F		珪質頁岩 21	
6	02D850010	剝片	29.0	43.8	12.4	13.9		H			1			○			S		珪質頁岩 21	
7	02D850011	剝片	15.6	16.4	6.9	1.6	9b	H			2					118	F		ホルンフェルス 2	
8	02D850014	原石	65.7	44.3	36.4	150.7	8												安山岩 36	
9	02D850015	剝片	18.8	9.8	4.4	1.0		H			2	1						-	B	安山岩 37
10	02D850016	剝片	35.6	30.9	10.1	10.1		H			1	4		○			F		安山岩 35	
11	02D850017	剝片	14.9	15.6	10.1	2.7		C			3		1					H	ホルンフェルス 2	
12	02D860002	原石	69.1	66.7	41.3	201.1	6												安山岩 38	
13	02D860003	剝片	17.7	36.5	14.7	10.6		H			3	1		○			F		ホルンフェルス 2	
14	02D860004	剝片	23.4	32.2	7.8	6.2	9c	H			1					109	H		ホルンフェルス 2	
15	02D860005	角錐状石器	47.2	20.2	11.5	4.0	1												凝灰岩 2	
16	02D860007	U剝片	23.0	18.4	7.7	2.4	3	S			2		1			106	F		珪質頁岩 21	
17	02D860026	剝片	22.0	17.6	6.5	1.7		H			2			○			F		珪質頁岩 21	
18	02D860030	原石	71.0	46.2	42.5	191.3	7												安山岩 39	
19	02D860031	剝片	12.3	19.4	13.5	2.9		-					1				F	H	珪質頁岩 21	
20	02D860032	剝片	14.6	21.9	3.7	1.1		-			1						F	M	チャート 9	
21	02D960016	剝片	25.4	20.9	5.9	4.4		C			1			○			F	R	安山岩 35	

第58表 第21ブロック組成表

	角錐状石器	搔器	U剝片	石核	剝片	原石	合計	数量比%
安山岩 35		1			3		4	19.04
安山岩 36						1	1	4.76
安山岩 37					1		1	4.76
安山岩 38						1	1	4.76
安山岩 39						1	1	4.76
小計		1			4	3	8	38.09
珪質頁岩 21			1		5		6	28.57
チャート 9					1		1	4.76
凝灰岩 2	1						1	4.76
ホルンフェルス 2				1	4		5	23.81
計	1	1	1	1	14	3	21	100.00
組成比 %	4.76	4.76	4.76	4.76	66.67	14.28	100.00	

第59表 第22ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背面構成					打角	末端 形状	折面 部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	02D760001	剥片	33.1	42.7	15.0	22.6		H			1						F		安山岩 40
2	02D860017	原石	57.7	46.3	28.2	106.9	1										F		安山岩 40
3	02D860019	剥片	40.4	38.5	12.1	19.8		C									F		安山岩 40
4	02D860024	剥片	19.5	15.7	4.6	0.9		H			1	1			116		F		珪質頁岩 21
5	02D860029	剥片	18.2	23.4	4.6	1.5		H			3			1			F		珪質頁岩 21

第60表 第22ブロック組成表

	剥片	原石	合計	数量比%
安山岩 40	2	1	3	60.00
珪質頁岩 21	2		2	40.00
計	4	1	5	100.00
組成比%	80.00	20.00	100.00	

第61表 第23ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背面構成					打角	末端 形状	折面 部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	02D860009	U剥片	15.1	13.7	6.2	1.1	5	-	-	-	2						F	M	珪質頁岩 21
2	02D860010	剥片	53.0	41.8	8.8	17.7		C			2	1					F	L	安山岩 42
3	02D860011	ナイフ形石器	39.4	15.4	12.8	7.3	1												珪質頁岩 21
4	02D860012	砕片	12.1	12.4	6.5	0.9													珪質頁岩 21
5	02D860013	台形石器	16.4	21.9	8.6	2.5	2												珪質頁岩 21
6	02D860014	U剥片	32.6	25.4	11.2	8.7	4a	H			1			5	111	F		珪質頁岩 21	
7	02D870001	剥片	21.1	20.6	8.0	3.4		H			3						F		安山岩 38
8	02D870002	剥片	14.6	16.9	4.5	1.5		H									H		珪質頁岩 21
9	02D870003	剥片	37.0	20.8	8.2	5.6		-	-	-	2	1					F	H,R	安山岩 38
10	02D870004	剥片	45.2	42.0	4.2	28.7		H			1								安山岩 38
11	02D960001	剥片	12.0	17.1	2.8	0.5		C			2	2	1				F		安山岩 38
12	02D960017	剥片	21.2	24.3	8.7	5.4		H			1						F		安山岩 38
13	02D960019	R剥片	22.1	22.0	16.9	5.9	6	C			2	1			75		F		安山岩 38
14	02D960020	削器	28.3	30.1	11.8	6.7	3												珪質頁岩 21
15	02D960021	剥片	14.5	20.0	5.7	1.9		H			3			1					安山岩 38
16	02D960022	砕片	9.9	8.2	2.5	0.2													安山岩 38
17	02D960023	砕片	6.0	10.7	2.1	0.2													安山岩 38
18	02D960024	石核	21.0	44.2	28.2	27.0	7												安山岩 43
19	02D960026	剥片	27.4	34.8	15.0	8.3	8	-	-	-			1				F	M	安山岩 43
20	02D960027	剥片	22.5	18.4	5.7	2.9		H			1	2					F		安山岩 43
21	02D960028	剥片	17.6	18.0	3.4	1.4		H			4						S		安山岩 38
22	02D960031	剥片	10.7	15.6	2.3	0.3		H			4						F		安山岩 38
23	02D970001	原石	56.2	45.4	35.7	122.5	9												安山岩 44

第62表 第23ブロック組成表

	ナイフ	台形石器	削器	R剥片	U剥片	石核	剥片	砕片	原石	合計	数量比%
安山岩 38				1			8	2		11	47.83
安山岩 42							1			1	4.35
安山岩 43						1	2			3	13.04
安山岩 44									1	1	4.35
小計				1		1	11	2	1	16	69.56
珪質頁岩 21	1	1	1		2		1	1		7	30.43
計	1	1	1	1	2	1	12	3	1	23	100.00
組成比%	4.35	4.35	4.35	4.35	8.69	4.35	52.17	13.04	4.35	100.00	

第63表 第24ブロック石器属性表1

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿廻 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩		
											I	II	III	IV	C						
1	02D950001	台形石器	32.7	28.5	10.2	7.4	6											安山岩	45		
2	02D960002	剥片	27.8	28.2	11.6	6.6		H	1					1	○			安山岩	38		
3	02D960012	剥片	34.3	29.6	9.5	9.8		H		○				2	○			安山岩	38		
4	02D960015	剥片	32.3	19.9	8.4	5.4		H					1	○				安山岩	38		
5	03D060004	R 剥片	33.0	22.5	7.3	3.6	16	H					2	2		100		安山岩	38		
6	03D060005	ナイフ形石器	22.7	17.8	6.6	2.0	2											安山岩	38		
7	03D060006	剥片	16.9	13.6	3.7	1.0		H					1	1	○			安山岩	38		
8	03D060007	剥片	14.4	25.8	3.6	1.0		H						2				安山岩	38		
9	03D060008	剥片	20.0	12.3	6.2	1.6	9b	H							1	○		安山岩	38		
10	03D060010	剥片	10.9	18.5	3.7	0.9		H		○			1	1				安山岩	38		
11	03D060011	剥片	20.7	20.1	4.9	1.5		P					2	1	○			安山岩	38		
12	03D060012	剥片	20.6	32.0	4.9	2.4												安山岩	38		
13	03D060013	蔽石核	62.4	54.8	37.0	161.9	8											砂岩	6		
14	03D060014	石核	35.9	27.8	17.6	17.4	11a											安山岩	46		
15	03D060016	剥片	20.2	17.0	4.7	3.2	9h	H					1				126	F	安山岩	46	
16	03D060020	剥片	17.3	20.4	5.3	2.1		H					1	1				M	安山岩	38	
17	03D060021	剥片	15.1	16.6	3.0	0.8		L					1		○			F	安山岩	38	
18	03D060022	剥片	7.4	9.6	1.7	0.1													安山岩	38	
19	03D060023	剥片	37.2	22.2	10.0	9.4	9i	H					3					O	安山岩	46	
20	03D060024	剥片	16.4	23.7	6.2	1.6		L					2					F	安山岩	38	
21	03D060026	剥片	22.2	38.2	9.0	5.1		P					1	1	○			F	安山岩	45	
22	03D060027	剥片	13.8	20.6	4.3	1.0		H					1	2				F	安山岩	43	
23	03D060028	剥片	20.6	39.2	10.5	8.2	11c	H					2	1				O	安山岩	46	
24	03D060029	剥片	30.5	29.9	8.3	19.0													安山岩	43	
25	03D060030	台形石器	25.0	18.1	7.7	3.4	5												安山岩	45	
26	03D060031	石核	46.4	41.0	20.2	39.1	10a												安山岩	45	
27	03D060032	石核	40.5	36.2	15.6	25.9	10b												安山岩	45	
28	03D060033	剥片	12.8	13.1	3.8	0.4													安山岩	38	
29	03D060036	角錐状石器	39.5	16.8	11.7	6.5	1												安山岩	45	
30	03D060037	剥片	28.3	36.3	11.0	10.6		H					1		○			F	安山岩	45	
31	03D060038	剥片	12.4	19.3	4.0	1.0		H						1					安山岩	38	
32	03D060039	ナイフ形石器	29.8	15.6	6.8	2.4	3a												安山岩	46	
33	03D060040	剥片	20.5	14.9	3.5	1.1		C							1	○			安山岩	38	
34	03D060043	剥片	15.5	13.4	2.7	0.5		P					1	1				F	安山岩	38	
35	03D060044	台形石器	37.0	19.1	12.1	7.0	4												安山岩	45	
36	03D060049	剥片	10.5	20.9	3.6	0.6		H					2						安山岩	38	
37	03D060051	剥片	20.7	23.0	6.1	2.7	9c	H					1	1				M	安山岩	46	
38	03D060052	剥片	15.7	6.0	5.0	1.8							2		○				安山岩	43	
39	03D060053	剥片	20.1	26.8	6.6	4.4		H		○			3		○				安山岩	43	
40	03D060054	剥片	42.1	9.3	10.5	12.0	9f	H					2		○				安山岩	46	
41	03D060056	剥片	14.3	29.7	2.8	1.6		H					3	1	○				安山岩	43	
42	03D060061	剥片	21.0	19.2	10.5	2.7							1	1	○				安山岩	43	
43	03D060063	台形石器	17.3	15.5	5.0	1.1	7												安山岩	38	
44	03D060064	R 剥片	39.8	29.5	12.6	11.2	15						2		1	1	○		安山岩	43	
45	03D060067	剥片	15.3	26.6	4.5	1.9		H					1		○				安山岩	38	
46	03D060077	剥片	28.3	40.8	6.4	5.5		L					3						安山岩	38	
47	03D060083	剥片	13.8	22.0	3.2	1.1		H							○				安山岩	43	
48	03D060086	石核	25.8	28.5	15.3	13.9	12												安山岩	46	
49	03D060087	剥片	25.1	29.7	17.0	11.3	11b	H						1	○				安山岩	46	
50	03D060088	石核	29.7	40.6	20.9	24.2	13a												安山岩	45	
51	03D060089	剥片	25.0	27.2	6.2	5.1		H					3	1	1	○			R	安山岩	38
52	03D060090	剥片	13.0	21.7	4.6	1.2		C					1		○				安山岩	38	
53	03D060093	剥片	20.9	17.4	5.2	1.2		H					1		○				安山岩	38	
54	03D060096	ナイフ形石器	24.5	18.9	8.4	4.2	3b												安山岩	46	
55	03D060097	剥片	13.5	17.0	3.5	0.9		H		○			1	1					安山岩	43	
56	03D060098	剥片	13.7	20.0	3.1	0.8		H		○			2		○				安山岩	43	
57	03D060102	剥片	14.3	27.8	6.1	2.2		H					3	1					安山岩	38	
58	03D060105	剥片	10.1	7.0	2.8	0.6													安山岩	38	
59	03D060110	剥片	11.6	26.8	4.9	1.2		H		○			2		○				安山岩	38	
60	03D060117	剥片	6.6	12.9	1.2	0.1													安山岩	38	
61	03D060122	剥片	17.9	20.0	3.0	0.4		L					1		○				安山岩	38	
62	03D060126	剥片	26.2	31.1	12.7	7.5		C							2	○			安山岩	38	
63	03D060128	剥片	16.2	16.3	5.4	1.7		H					1		○				安山岩	38	
64	03D060132	剥片	23.9	6.1	2.5	7.5	13b	C							1	○			安山岩	45	
65	03D060134	剥片	5.4	16.1	2.5	0.3													安山岩	38	
66	03D060135	剥片	6.1	11.1	2.4	0.1													安山岩	38	
67	03D060141	剥片	14.8	27.5	6.5	2.5		H		○			4		○				安山岩	38	
68	03D060147	剥片	13.9	19.3	3.5	0.8		H							○				安山岩	38	
69	03D060150	R 剥片	16.7	23.6	8.9	4.5	17								1			H,B	安山岩	38	
70	03D060151	剥片	25.0	22.0	7.0	2.7		P					1		○				安山岩	43	

第64表 第24ブロック石器属性表2

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩			
											I	II	III	IV	C				安	山	岩	
71	03D060152	碎 片	8.3	9.0	4.5	0.2												安	山	岩	43	
72	03D060153	碎 片	12.9	13.4	4.1	0.5		P				1	1		1			F	安	山	岩	43
73	03D060155	碎 片	11.2	8.5	3.0	0.3													安	山	岩	43
74	03D060157	剝 片	25.7	18.5	4.5	1.8		H		○								F	安	山	岩	43
75	03D060158	碎 片	10.1	14.6	4.4	0.6													安	山	岩	38
76	03D060159	石 核	36.1	51.2	19.0	38.8	14												安	山	岩	43
77	03D060160	剝 片	8.9	18.0	2.5	0.4		H				1						F	安	山	岩	38
78	03D060161	剝 片	13.4	17.9	3.2	0.9		P				1						O	安	山	岩	43
79	03D060162	碎 片	10.8	13.3	3.0	0.5													安	山	岩	43
80	03D060163	碎 片	9.6	10.1	2.2	0.3													安	山	岩	43
81	03D060164	碎 片	13.0	9.5	7.4	1.2													安	山	岩	43
82	03D060165	碎 片	7.2	7.0	4.4	0.2													安	山	岩	43
83	03D060166	剝 片	9.3	18.6	4.0	0.8		H				2	1					F	安	山	岩	38
84	03D060167	剝 片	45.4	56.2	10.8	21.6		H		○		4	1		1	○		H	安	山	岩	43
85	03D060168	ナイフ形石器	17.5	19.4	9.0	3.3	3c												安	山	岩	46
86	03D060169	剝 片	13.5	20.5	5.3	1.3		C						1	○			F	安	山	岩	43
87	03D060170	剝 片	21.4	19.3	4.6	2.5	9e	H				2	2		○			F	安	山	岩	38
88	03D060171	剝 片	16.8	15.7	5.2	1.2		-		-					○			F	安	山	岩	38
89	03D060172	剝 片	45.3	21.2	10.3	7.7	9g	H		○		5		1	○			F	安	山	岩	46
90	03D060173	剝 片	16.3	24.0	4.2	1.4		H				2		2				F	安	山	岩	43
91	03D060174	石 核	35.1	40.0	14.5	19.3	9a								○				安	山	岩	45
92	03D060175	剝 片	28.0	20.9	10.0	4.9	9a	-		-		1		2	○			F	安	山	岩	45
93	03D060180	剝 片	36.7	37.2	9.2	7.8		C				2			○			F	安	山	岩	43
94	03D070001	剝 片	15.6	14.5	3.1	0.7		C					1	2	○			F	安	山	岩	38
95	03D070002	剝 片	22.8	15.5	4.2	2.1									○				安	山	岩	38

第65表 第24ブロック組成表

	ナイフ	台形石器	角錐状石器	敲 石	R剝片	石 核	剝 片	碎 片	合 計	数量比%
安 山 岩 38	1	1			2		35	6	45	47.37
安 山 岩 43					1	1	16	7	25	26.31
安 山 岩 45		3	1			4	4		12	12.63
安 山 岩 46	1				1	2	8		12	12.63
小 計	1	4	1		4	7	63	13	94	98.95
砂 岩 6				1					1	1.05
計	2	4	1	1	4	7	63	13	95	100.00
組 成 比 %	2.10	4.21	1.05	1.05	4.21	7.37	66.31	13.68	100.00	

第66表 第25ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩				
											I	II	III	IV	C				安	山	岩		
1	03C330004	U 剝 片	40.6	35.4	10.5	14.8	4b	2							○			F	安	山	岩	47	
2	03C330006	剝 片	29.4	42.7	8.8	11.9		L				2	1					F	安	山	岩	48	
3	03C430004	剝 片	12.1	16.0	3.3	0.5	5b	H				2						-	M	黒	曜	石	7
4	03C430005	U 剝 片	15.0	20.1	6.7	1.6	8	S				4	1	1	1			F	黒	曜	曜	石	6
5	03C430006	剝 片	19.6	9.2	6.4	0.9		-		-		1	1	1	2			F	黒	曜	曜	石	7
6	03C430007	剝 片	28.0	34.4	8.3	10.5	9a	H				1			○			F	安	山	岩	47	
7	03C430012	石 核	28.6	34.4	15.9	19.0	2												安	山	岩	47	
8	03C430033	原 石	42.6	48.6	35.0	98.6	1												安	山	岩	48	
9	03C430041	剝 片	39.8	32.2	14.0	19.0	7	H				2	1		○			F	安	山	岩	47	
10	03C430045	R 剝 片	24.3	23.6	9.6	3.9	6	H		○		3						F	安	メ	ノ	ウ	9
11	03C430050	R 剝 片	33.5	25.8	18.9	10.8	5a	P				1	7	2				F	黒	曜	曜	石	7
12	03C430066	剝 片	29.4	20.9	7.6	7.2	9b	H				1			○			F	安	山	岩	47	
13	03C430068	剝 片	14.2	18.7	4.7	1.6		H				2						F	珪	質	頁	岩	22
14	03C430069	碎 片	8.2	13.2	2.6	0.3														安	山	岩	47
15	03C430071	剝 片	33.2	35.0	9.0	7.7		H				2	2		○			S	安	山	岩	47	
16	03C430073	石 核	50.4	49.0	26.0	63.0	4a												安	山	岩	47	
17	03C430075	石 核	35.8	43.4	20.5	26.6	3a													安	山	岩	47
18	03C430082	剝 片	21.4	15.0	6.8	2.3		H				1			○			-	安	山	岩	47	
19	03C430094	剝 片	33.2	16.2	2.2	5.5		C							○			F	安	山	岩	48	
20	03C430103	碎 片	14.3	11.8	6.5	1.4													安	山	岩	48	
21	03C440004	剝 片	37.7	18.4	11.2	5.5		H				1			○				安	山	岩	47	
22	03C440018	剝 片	63.5	28.7	15.5	26.8	3b	2				1	2		○			F	安	山	岩	47	
23	03C440019	剝 片	23.7	17.2	5.6	1.9	10	H		○		4	2		S			F	安	黒	曜	石	6
24	03C440021	剝 片	21.6	35.7	21.2	34.4		H							○			F	安	山	岩	47	
25	03C440022	剝 片	60.3	33.7	19.7	29.3	3C	H				3			○			F	安	山	岩	47	

第67表 第25ブロック組成表

	R剝片	U剝片	石核	剝片	砕片	原石	合計	数量比%
黒曜石 6		1		1			2	8.00
黒曜石 7	1			2			3	12.00
小計	1	1		3			5	20.00
安山岩 47	1	1	3	8	1		14	56.00
安山岩 48				2	1	1	4	16.00
小計	1	1	3	10	2	1	18	72.00
珪質頁岩 22				1			1	4.00
メノウ 9	1						1	4.00
計	3	2	3	14	2	1	25	100.00
組成比%	12.00	8.00	12.00	56.00	8.00	4.00	100.00	

第68表 第26ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角°	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03C290001	剝片	24.1	30.7	12.2	7.4	3	H		○	1	1	1			109	F S -	M	珪質頁岩 23
2	03C290016	剝片	52.0	34.5	18.2	32.9	1	H		○	4			3	○	91			安山岩 49
3	03D200015	剝片	36.7	22.2	7.1	7.1		H		○	1				○				安山岩 50
4	03D200019	剝片	17.9	23.2	7.5	4.4		H		○	2				○				安山岩 50
5	03D200020	原石	58.7	45.0	39.0	148.9	2												安山岩 51
6	03D200022	石核	36.4	55.3	30.6	74.6	4b												安山岩 52
7	03D200023	石核	33.0	60.8	26.2	66.5	4a												安山岩 52
8	03D200035	砕片	14.1	7.3	3.9	0.5													安山岩 53
9	03D210003	石核	43.4	45.4	28.6	62.8													安山岩 50
10	03D300044	石核	37.1	41.5	15.4	24.8													安山岩 50

第69表 第26ブロック組成表

	削器	石核	剝片	砕片	原石	合計	数量比%
安山岩 49	1					1	10.00
安山岩 50		2	2			4	40.00
安山岩 51					1	1	10.00
安山岩 52		2				2	20.00
安山岩 53				1		1	10.00
小計	1	4	2	1	1	9	90.00
珪質頁岩 23			1			1	10.00
計	1	4	3	1	1	10	100.00
組成比%	10.00	40.00	30.00	10.00	10.00	100.00	

第70表 第27ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角°	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03C380001	剝片	37.7	22.2	7.8	6.6	5a	H							○	107	F F -	M	安山岩 50
2	03C380002	R剝片	36.5	35.6	13.0	18.9	4	C		○				3	○	100			安山岩 53
3	03C380003	剝片	30.2	40.7	9.4	16.5	7a	2			1			2	○				安山岩 50
4	03C380005	石核	41.7	43.8	28.2	45.3	3												安山岩 54
5	03C380006	剝片	27.0	20.7	4.0	2.9		H			2								安山岩 53
6	03C380007	剝片	30.7	29.0	8.4	7.1		H											安山岩 54
7	03C380008	剝片	26.2	38.1	15.9	16.5		H			1		1	3	○	112			安山岩 53
8	03C380010	剝片	49.4	48.8	20.4	37.1	5c	H	○		1				○	103			安山岩 50
9	03C380013	剝片	42.2	39.3	11.4	19.2	7b	-	-	-	2	2			○				安山岩 50
10	03C380015	剝片	16.3	23.6	4.8	1.6		L			1			1					安山岩 54
11	03C380019	剝片	37.0	36.4	13.4	15.8	5b	-	-	-	1	1	1		○		安山岩 50		
12	03C380022	剝片	14.5	23.0	4.0	1.9		L			3		1				安山岩 53		
13	03C380037	砕片	12.1	6.7	2.6	0.3												安山岩 54	
14	03C380038	剝片	38.6	43.3	7.3	10.4		C			1			1	○		安山岩 53		
15	03C380040	剝片	23.5	30.8	9.8	5.9		H						1			安山岩 53		
16	03C380042	剝片	32.1	11.5	9.0	3.2		H		○	1	1					安山岩 53		
17	03C380056	剝片	37.3	37.6	16.3	22.0	6b	2			1	4			○	119	F	ホルンフェルス 3	
18	03C390014	台形石器	23.8	22.1	8.7	3.9	1											安山岩 53	
19	03C390018	剝片	31.9	27.5	6.9	6.3		C							○		-	B	安山岩 53
20	03C390039	剝片	30.1	42.5	8.5	11.6		2							○		F	-	安山岩 53
21	03C390040	剝片	27.5	38.9	5.8	6.7		H			1		1				-	B	安山岩 53
22	03C390041	砕片	8.0	10.8	3.3	0.2													安山岩 53
23	03C390043	台形石器	41.0	30.5	12.7	13.2	2												安山岩 53
24	03C390044	剝片	10.8	17.8	3.7	0.6					1	2					F		安山岩 53
25	03C390049	剝片	29.6	30.6	14.2	13.4		2	1		2	1		1			H		安山岩 53
26	03C390100	剝片	22.5	24.2	9.1	4.0		C			1				○		F		安山岩 53

第71表 第27ブロック組成表

	台形石器	R剝片	石核	剝片	碎片	合計	数量比%
安山岩 50				5		5	19.23
安山岩 53	2	1		12	1	16	61.54
安山岩 54			1	2	1	4	15.38
小計	2	1	1	19	2	25	96.15
ホルンフェルス 3				1		1	3.85
計	2	1	1	20	2	26	100.00
組成比%	7.69	3.85	3.85	76.92	7.69	100.00	

第72表 第28ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背面構成					打角	末端 形状	折面 部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03C390059	剝片	40.6	21.9	10.1	7.6		H		○	1	1					F		安山岩 54
2	03C390063	剝片	35.5	29.0	9.0	11.7		H		○	1				2	○	O		安山岩 54
3	03C390064	剝片	26.4	18.7	8.8	4.0		P		○	2					○	S		安山岩 54
4	03C390065	台形石器	42.4	33.2	14.6	16.0	2												安山岩 54
5	03C390066	石核	29.7	40.4	15.5	15.4	10												ホルンフェルス 3
6	03C390067	剝片	11.9	15.7	3.1	0.5		H			2	1					F		ホルンフェルス 3
7	03C390068	剝片	28.2	17.5	6.7	2.7		H			2			1			F		ホルンフェルス 3
8	03C390069	剝片	28.1	12.7	4.7	1.9		P			2	1		1			F		ホルンフェルス 3
9	03C390070	剝片	20.7	32.1	5.1	3.1		P			1		1				F		ホルンフェルス 3
10	03C390071	剝片	25.7	24.8	8.0	3.7		2			2	1					F		ホルンフェルス 3
11	03C390114	剝片	12.7	15.9	2.8	0.6		H			1		1				F		ホルンフェルス 3
12	03C390115	剝片	22.1	20.6	4.8	2.9		H				1					H		ホルンフェルス 3
13	03C390116	剝片	33.4	24.3	10.4	7.0													ホルンフェルス 3
14	03C390117	剝片	18.5	13.7	4.7	1.2		L		○	2				○		F		安山岩 55
15	03D300006	剝片	21.5	19.1	5.0	2.9		L			2	1		2			F		ホルンフェルス 3
16	03D300008	剝片	20.1	33.8	9.0	5.5	5b	3					1			92	F		ホルンフェルス 3
17	03D300009	石核	34.8	31.0	21.3	29.5	6												安山岩 54
18	03D300010	剝片	31.5	24.2	6.8	6.1		C							○		F		安山岩 55
19	03D300013	剝片	23.3	31.2	13.6	10.0		H		○	1	1			○		O		安山岩 55
20	03D300014	石核	37.5	47.6	42.5	77.6	11												ホルンフェルス 3
21	03D300015	剝片	32.0	27.0	11.0	8.8		-	-	-	1		1		○		F	H	安山岩 55
22	03D300016	剝片	34.0	35.0	15.2	17.4		H							○		S		安山岩 50
23	03D300017	石核	40.9	28.2	29.0	35.4	7												安山岩 50
24	03D300020	剝片	42.7	28.5	11.2	12.3		H			2	1			○		F		安山岩 50
25	03D300027	剝片	35.5	35.0	11.7	12.8		H			2				○		F		ホルンフェルス 3
26	03D300029	剝片	24.0	25.1	7.8	4.0		H			1				○		F		安山岩 55
27	03D300030	剝片	33.4	32.0	9.0	10.7		H			1				○		F		安山岩 50
28	03D300034	石核	21.3	35.6	3.9	15.2	3b												安山岩 54
29	03D300036	剝片	42.0	19.7	4.5	5.6		H			1				○		F		安山岩 55
30	03D300037	石核	41.7	36.8	23.0	26.7	4a												安山岩 54
31	03D300038	剝片	43.2	31.9	15.5	18.7		H		○	4		1		○		S		安山岩 54
32	03D300039	石核	27.3	38.3	13.3	15.5	3a												安山岩 55
23	03D300040	剝片	31.5	28.8	15.2	9.1	4b	H			3	1		1		106	F		安山岩 54
34	03D300041	石核	48.0	41.8	22.4	52.0	5a												ホルンフェルス 3
35	03D300042	剝片	11.0	20.8	7.5	2.4		H			1	2		1			O		ホルンフェルス 3
36	03D300043	剝片	30.9	32.1	12.6	11.2		H			1	1			○		F		安山岩 55
37	03D300045	剝片	56.8	46.8	4.6	46.2		H		○	1			1	○		F		安山岩 55
38	03D300046	剝片	49.0	31.9	11.1	19.4		H			1				○		F		安山岩 54
39	03D300047	剝片	30.5	28.4	11.8	11.8		H			1	1			○		H		安山岩 54
40	03D300048	剝片	25.1	35.0	5.2	5.0		L			1	1			○		F		安山岩 55
41	03D300049	剝片	28.3	41.6	11.7	14.1		2	○						○		F		安山岩 54
42	03D300050	剝片	31.4	22.9	7.7	4.0		2	○		2			1	○		F		安山岩 54
43	03D300051	剝片	24.7	19.5	3.7	5.3		C			1	1		1			F		安山岩 54
44	03D300052	石核	42.4	38.9	24.8	41.5	8												安山岩 55
45	03D300053	剝片	28.0	24.3	7.8	4.1	13b	H			2	1			○	132	-	R	安山岩 54
46	03D300054	剝片	28.2	29.8	7.9	4.6		H		○	4			1	○		-	B	安山岩 54
47	03D300055	剝片	18.1	26.9	10.5	4.1		H			2						F		ホルンフェルス 3
48	03D300057	剝片	25.2	40.4	8.0	7.6		C				2		2	○		F		安山岩 54
49	03D300058	剝片	32.8	29.6	10.6	9.6		H		○	2	1			○		F		安山岩 54
50	03D300059	剝片	29.2	33.9	9.1	9.0	13a	H			3		1		○	136	F	L	安山岩 54
51	03D300075	剝片	24.9	25.0	4.3	2.1		H			1	1					H		ホルンフェルス 3
52	03D300088	ナイフ形石器	42.0	14.8	10.7	5.5	1												安山岩 50
53	03D300089	R剝片	39.4	42.4	12.8	20.5	12	L							○		F		安山岩 55
54	03D300090	剝片	23.2	22.3	10.5	5.4		H			1	2			○				安山岩 55
55	03D300091	剝片	27.8	37.3	15.5	14.0	4c	H			1				○		F		安山岩 54
56	03D300099	剝片	13.8	23.1	5.7	1.6		H			4	1			○				安山岩 55

第73表 第28ブロック組成表

	ナイフ	台形石器	R剝片	石核	剝片	合計	数量比%
安山岩 50	1			1	3	5	8.93
安山岩 54		1		3	17	21	37.50
安山岩 55			1	2	10	13	23.21
小計	1	1	1	6	30	39	69.64
ホルンフェルス 3				3	14	17	30.36
計	1	1	1	9	44	56	100.00
組成比%	1.78	1.78	1.78	16.07	78.57	100.00	

第74表 第29ブロック石器属性表

分布番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図番号	打面種類	打面調整	頭部調整	背面構成					打角	末端形状	折面部位	母岩
											I	II	III	IV	C				
1	03C480001	石核	29.0	45.3	33.0	50.6	8												安山岩 55
2	03C490002	剝片	24.0	18.0	11.7	4.8		C							○		F		安山岩 50
3	03C490003	剝片	25.4	20.3	5.8	3.5		H							○		F		安山岩 50
4	03C490004	石核	32.7	39.8	15.0	21.4	7												安山岩 56
5	03C490005	剝片	17.0	40.0	11.5	6.0		2						1	○		F		安山岩 50
6	03C490006	剝片	18.8	19.3	5.3	1.4		H					1				F		安山岩 50
7	03C490007	剝片	33.8	32.6	12.2	11.1	3b	H					1		○		F		安山岩 56
8	03C490008	石核	41.3	35.8	15.4	19.6	3a												安山岩 56
9	03C490009	剝片	23.0	45.2	9.8	10.1		H					1		○		F	R	安山岩 55
10	03C490010	剝片	22.5	34.0	6.5	5.2		C					4		1		F		安山岩 56
11	03C490011	剝片	35.2	27.6	11.4	10.6		-					3		○		F	R	安山岩 55
12	03C490012	剝片	49.1	45.5	19.2	32.3		H					1		1		S		安山岩 55
13	03C490013	剝片	34.7	39.7	11.6	15.6		H					2		○		H		安山岩 57
14	03C490014	剝片	36.2	34.5	13.7	14.7		H					2		○		F		安山岩 55
15	03C490015	ナイフ形石器	35.3	25.1	8.8	6.8	1							2					安山岩 55
16	03C490016	石核	56.4	42.7	20.0	29.6	6												安山岩 55
17	03C490017	剝片	20.6	18.8	7.1	2.5		H					1		○		F		安山岩 55
18	03C490019	剝片	18.0	16.6	7.0	1.8		H					3				F		安山岩 56
19	03C490025	剝片	39.5	26.6	9.3	8.8		H		○			2	1	1		H		安山岩 55
20	03C490027	剝片	23.7	32.7	5.8	4.5		H							○		F		安山岩 55
21	03C490028	剝片	30.4	28.8	7.8	5.3		H					2		1		○		安山岩 55
22	03C490029	石核	26.3	54.8	15.5	21.0	5												安山岩 55
23	03C490032	剝片	18.0	15.6	7.1	2.2		H					2	1			H		安山岩 55
24	03C490036	剝片	39.4	32.1	6.0	9.7		C							○		F		安山岩 55
25	03C490037	台形石器	50.3	20.2	11.8	9.7	2												安山岩 50
26	03C490038	剝片	24.0	20.2	16.5	1.9		H					2	1			○		安山岩 50
27	03C490042	剝片	25.0	29.0	9.6	7.1		H					1		1				安山岩 55
28	03C490061	剝片	31.0	24.5	9.1	5.7		C					1	2	1		○		安山岩 50
29	03C490062	剝片	48.1	27.8	10.3	18.1		H					1		2		○		安山岩 55
30	03C490063	剝片	31.7	52.2	12.1	21.0		H						2			○		安山岩 55
31	03C490066	剝片	31.8	21.2	15.5	2.8		-					2		1		○		安山岩 55
32	03C490071	剝片	13.4	25.4	7.7	2.3		H					2				○		安山岩 55
33	03C490079	剝片	41.3	13.8	7.0	5.6		P									○		安山岩 55
34	03D400003	剝片	26.1	30.8	7.4	7.6		H					1				○		安山岩 50
35	03D400004	剝片	49.4	43.8	20.2	28.1		2					5				○		ホルンフェルス 3
36	03D400005	R 剝片	51.4	42.5	17.3	28.2	9b	2					1						ホルンフェルス 3
37	03D400006	石核	37.7	38.5	14.3	19.7	4b												安山岩 50
38	03D400007	剝片	30.8	31.7	11.2	10.1		H		○			3	2			○		安山岩 50
39	03D400008	剝片	35.8	39.7	7.8	12.6		H						1			F		安山岩 57
40	03D400010	R 剝片	45.8	55.6	25.0	42.6	9a	H					4				F		ホルンフェルス 3
41	03D400011	剝片	47.3	26.6	11.8	13.5		H					1				F		安山岩 57

第75表 第29ブロック組成表

	ナイフ	台形石器	R剝片	石核	剝片	合計	数量比%
安山岩 50		1		1	8	10	24.39
安山岩 55	1			3	16	20	48.78
安山岩 56				2	3	5	12.19
安山岩 57					3	3	7.32
小計	1	1		6	30	38	92.68
ホルンフェルス 3			2		1	3	7.31
計	1	1	2	6	31	41	100.00
組成比%	2.44	2.44	4.88	14.63	75.61	100.00	

第76表 第30ブロック石器属性表

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	揮 削 番 号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	03D210004	剥 片	56.2	37.0	18.8	30.0		H							○		F	安 山 岩 55	
2	03D210005	剥 片	27.5	20.4	17.8	3.7		C							○		F	安 山 岩 55	
3	03D210006	剥 片	36.2	25.4	14.0	12.4		C									F	安 山 岩 55	
4	03D210008	剥 片	13.5	29.2	2.6	1.3		L									F	安 山 岩 55	
5	03D210010	ナイフ形石器	57.4	21.2	11.8	12.2	1											安 山 岩 55	
6	03D210011	R 剥 片	39.0	20.4	12.0	16.5	12	H							○	137	F	安 山 岩 55	
7	03D210014	剥 片	54.7	37.9	6.9	18.5		C							○		F	安 山 岩 55	
8	03D210016	剥 片	41.9	30.7	10.2	15.6	6b	2							○	127	F	安 山 岩 50	
9	03D210017	剥 片	37.3	20.9	6.7	8.9		H		O					○		F	安 山 岩 55	
10	03D210018	ナイフ形石器	38.0	20.4	11.0	6.9	2											安 山 岩 55	
11	03D210019	搔 器	35.5	21.2	13.8	10.2	3											安 山 岩 58	
12	03D210020	剥 片	48.1	25.8	13.3	14.7		H		O					○		F	安 山 岩 55	
13	03D210021	剥 片	25.5	30.2	6.3	5.6		H		O							F	安 山 岩 55	
14	03D210022	剥 片	29.0	24.3	8.9	4.4	13	H							○	94	F	安 山 岩 55	
15	03D210023	剥 片	23.3	24.2	5.0	2.9		L							○		F	珪 質 頁 岩 24	
16	03D210029	R 剥 片	35.9	39.3	12.7	15.0	6c	H	○						○	124	S	安 山 岩 50	
17	03D210030	剥 片	54.8	38.2	17.0	43.4		H							○		F	安 山 岩 55	
18	03D210031	剥 片	14.0	25.2	3.2	1.7		H							○		F	安 山 岩 58	
19	03D210032	剥 片	24.1	25.9	9.8	6.0		C							○		F	安 山 岩 55	
20	03D210033	剥 片	27.0	28.9	8.7	8.1		2							○		F	安 山 岩 58	
21	03D210034	剥 片	24.7	26.5	4.5	4.1		H							○		F	安 山 岩 55	
22	03D210037	石 核	26.2	46.3	18.6	23.2	9											安 山 岩 50	
23	03D210039	石 核	24.3	32.2	9.0	6.3		H							○		F	安 山 岩 55	
24	03D210040	石 核	47.8	38.3	24.7	38.6	17											安 山 岩 55	
25	03D210041	剥 片	42.2	47.7	11.7	20.5		L							○		H	安 山 岩 55	
26	03D210042	礫 器	49.5	29.3	23.8	45.1	4											チ ャ ー ト 10	
27	03D210043	原 石	58.7	45.5	34.0	129.9	5											安 山 岩 59	
28	03D210044	石 核	32.3	39.4	28.4	38.2	8											安 山 岩 50	
29	03D210045	石 核	26.2	42.5	26.3	31.7	10											安 山 岩 50	
30	03D210046	剥 片	32.6	27.6	8.0	8.4		H							○		F	安 山 岩 55	
31	03D210048	R 剥 片	39.8	26.4	12.3	12.3	11	C							○	95	F	安 山 岩 55	
32	03D210049	剥 片	22.0	15.3	6.0	2.0		H		O					○		F	安 山 岩 55	
33	03D210050	剥 片	19.4	15.2	4.3	1.8		P							○		H	安 山 岩 55	
34	03D210051	剥 片	10.5	15.4	2.1	0.4		H							○		F	安 山 岩 55	
35	03D210052	剥 片	16.4	16.3	5.1	1.8		H							○		-	安 山 岩 55	
36	03D210053	剥 片	45.2	27.8	6.8	6.1		H		PL							F	安 山 岩 55	
37	03D210056	剥 片	41.0	40.6	17.1	26.4		L							○		H	安 山 岩 55	
38	03D310003	剥 片	18.1	20.0	6.4	2.9		H							○		F	安 山 岩 55	

第77表 第30ブロック組成表

	ナイフ	搔 器	礫 器	R剥片	石 核	剥 片	原 石	合 計	数量比%
安 山 岩 50				1	3	1		5	13.16
安 山 岩 55	2			2	1	22		27	71.05
安 山 岩 58		1				2		3	7.89
安 山 岩 59							1	1	2.63
小 計	2	1		3	4	25	1	36	94.74
珪 質 頁 岩 24						1		1	2.63
チ ャ ー ト 10			1					1	2.63
計	2	1	1	3	4	26	1	38	100.00
組 成 比 %	5.26	2.63	2.63	7.89	10.53	68.42	2.63	100.00	

第78表 第31ブロック石器属性表1

分布 番号	遺物番号	器 種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重 量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角 °	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	04D630005	剥片	17.0	19.0	4.4	0.9		P			3	1					F		安山岩 60
2	04D630006	剥片	27.1	29.6	10.7	7.4		H				1		1			F		安山岩 60
3	04D630007	剥片	35.8	15.5	8.2	3.4		H			2						F		安山岩 60
4	04D630008	剥片	13.3	9.3	3.4	0.4													安山岩 60
5	04D630009	剥片	8.4	4.9	6.6	0.5													安山岩 60
6	04D630010	剥片	27.5	21.1	5.8	3.1		H				2					F		安山岩 60
7	04D630011	剥片	27.8	24.4	4.5	2.6		H									F		安山岩 60
8	04D630012	剥片	31.0	27.4	7.0	7.8		H			2	2		1			F		安山岩 61
9	04D630013	剥片	48.9	24.2	60.9	11.3		P			1						F		安山岩 60
10	04D630014	剥片	14.7	16.5	2.5	0.6		H			2	1			○		F		安山岩 61
11	04D630015	剥片	11.5	18.4	5.2	0.9		H			1	1			○		F		安山岩 61
12	04D630016	剥片	18.9	16.1	3.5	0.7		H			1			2			F		安山岩 61
13	04D630017	剥片	9.9	18.9	3.4	0.5		C		○	2						F		安山岩 61
14	04D630018	剥片	15.9	20.6	5.9	2.5		-	-	-	1				○		F	M	安山岩 61
15	04D630019	剥片	27.4	16.2	9.9	3.5		H			1	1			○		F		安山岩 61
16	04D630020	剥片	15.3	16.3	15.6	1.0		H			1		1		○		F	L	安山岩 61
17	04D630022	剥片	40.5	21.1	6.2	4.9		L		○	2		1				F		安山岩 60
18	04D630023	剥片	10.5	8.1	3.2	0.2													安山岩 60
19	04D630024	剥片	20.1	34.5	10.3	7.7		H			1		1	1			-	M	安山岩 60
20	04D630025	剥片	30.5	17.7	5.9	2.5		L			1	3		2			F		安山岩 60
21	04D630027	剥片	21.8	17.7	5.3	1.6		H			2						F		安山岩 60
22	04D630028	剥片	23.4	19.4	5.9	1.7		-	-	-	1	2					F	M	安山岩 60
23	04D640005	剥片	29.0	30.7	10.6	8.6		H			1				○		F		安山岩 60
24	04D640006	剥片	31.3	13.1	12.2	3.3		-	-	-	1	1		1			F	H	安山岩 60
25	04D640007	石核	58.0	52.8	40.8	147.4	11												安山岩 60
26	04D640008	剥片	33.6	26.6	10.1	9.2		H			1	2					F		安山岩 60
27	04D640009	剥片	30.1	18.2	4.9	2.8		H			1						F		安山岩 60
28	04D640010	剥片	37.5	17.3	4.3	2.2		H			1				○		F		安山岩 60
29	04D640011	剥片	22.1	12.6	4.2	0.9		H					1		○		F		安山岩 60
30	04D640012	剥片	36.4	30.6	14.0	9.8		L			2	2	1	1			S		安山岩 60
31	04D640013	剥片	16.2	15.1	4.0	0.8		H			1				○		F		安山岩 61
32	04D640015	剥片	43.1	15.8	5.0	3.2		P			2	1					F		安山岩 60
33	04D640017	剥片	35.4	23.2	8.1	7.0		H			2				○		F		安山岩 61
34	04D640020	剥片	30.1	24.5	6.1	5.2	8b	H			2		1	1	○	106	F		安山岩 66
35	04D640021	ナイフ形石器	28.7	20.3	10.0	5.0	1												安山岩 61
36	04D640022	原石	58.3	53.9	30.8	136.1	7												安山岩 62
37	04D640023	剥片	35.3	25.9	8.8	8.4		H			1	1			○		-	B	安山岩 61
38	04D640024	剥片	21.5	24.3	4.5	1.9		C			1	1		1			F		安山岩 61
39	04D640025	剥片	14.3	12.0	2.5	0.4													安山岩 61
40	04D640026	剥片	30.4	41.4	23.4	23.5		C				1			○		F		安山岩 61
41	04D640028	剥片	22.9	14.8	6.6	2.0		H			1			1	○		F		安山岩 61
42	04D640029	剥片	17.8	4.5	3.5	0.2		P			2	2					F		安山岩 61
43	04D640030	剥片	21.9	25.4	11.9	4.1		H			1				○		S		安山岩 61
44	04D640031	剥片	21.3	20.0	7.1	2.7		H			1				○		F		安山岩 61
45	04D640032	剥片	23.0	24.1	7.2	3.5	15a	H				3			○	122	F		安山岩 61
46	04D640033	ナイフ形石器	25.7	22.0	9.3	4.5	2												安山岩 61
47	04D640034	剥片	23.5	22.6	12.2	5.2		C				1		1	○		F		安山岩 61
48	04D640035	R 剥片	18.6	17.5	8.0	2.7	14	H					1		○	108	-	L	安山岩 61
49	04D640036	剥片	43.5	33.2	13.7	18.2		H			1	1			○		F		安山岩 63
50	04D640037	剥片	22.6	19.6	5.8	1.6		H							○		F		安山岩 61
51	04D640038	剥片	29.1	15.7	8.3	4.1		H		○	1	2			○		S		安山岩 61
52	04D640039	剥片	33.2	29.7	8.3	9.7		H	○		2	1			○		S		安山岩 64
53	04D640040	剥片	29.8	16.5	6.6	3.3		P		○	1			1	○		F		安山岩 61
54	04D640041	剥片	7.2	3.7	3.5	0.3													安山岩 61
55	04D640042	剥片	8.6	4.2	2.1	0.1													安山岩 61
56	04D640043	剥片	8.1	32.6	7.2	2.4		2				1			○		S		安山岩 61
57	04D640044	剥片	12.6	19.9	3.8	0.8		-	-	-	1			1			F	M	安山岩 61
58	04D640045	R 剥片	16.0	28.8	7.5	4.2	13	-	-	-	2				○		F	M	安山岩 61
59	04D640046	剥片	23.8	24.8	6.1	4.3		H	○			1			○		F		安山岩 61
60	04D640047	剥片	19.9	15.8	2.7	1.1		C							○		F		安山岩 61
61	04D640048	剥片	38.1	30.6	7.9	12.0		H							○		F		安山岩 61
62	04D640049	剥片	26.1	24.0	7.4	4.2		P			4	1			○		H		安山岩 61
63	04D640050	剥片	36.4	20.3	6.0	11.8		H			1	2			○		-	B	安山岩 61
64	04D640051	剥片	18.5	20.5	9.0	3.3	9b	C			1				○	102	F		安山岩 61
65	04D640052	剥片	17.7	22.1	6.2	2.3		C			2	1					S		安山岩 61
66	04D640053	剥片	25.2	27.2	7.4	5.0	15b	H							○	123	F		安山岩 61
67	04D640054	石核	35.2	50.9	30.0	48.3	9a	H				1			○		H		安山岩 61
68	04D640055	剥片	28.8	36.7	13.1	15.2		H							○		F		安山岩 61
69	04D640056	剥片	29.4	38.7	13.2	12.7		H							○		H		安山岩 61
70	04D640057	剥片	26.2	33.0	10.9	7.2		C							○		-	M	安山岩 60

第79表 第31ブロック石器属性表2

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
71	04D640058	敲石片	58.3	45.0	40.3	134.7	4											安山岩 65	
72	04D640059	剝片	42.3	30.0	24.1	32.8		H									F	安山岩 61	
73	04D640060	剝片	35.1	15.3	8.8	5.4		H				1					F	安山岩 61	
74	04D640063	台形石器	20.2	19.6	10.5	4.1	3											安山岩 61	
75	04D640064	剝片	27.6	10.8	7.3	1.9		H		○			1				F	安山岩 61	
76	04D640065	石核	45.1	37.8	21.0	32.9	8a											安山岩 66	
77	04D640066	剝片	26.9	31.8	7.5	6.0		H			1			2			F	安山岩 66	
78	04D640067	剝片	29.3	31.7	12.1	8.5		H			1	2		1			F	安山岩 66	
79	04D640068	剝片	15.8	13.7	2.2	0.6		C			2	1					F	安山岩 64	
80	04D640069	原石片	69.4	44.0	40.4	193.5	5											安山岩 67	
81	04D640070	剝片	30.2	23.0	8.9	4.8		H				1					F	安山岩 64	
82	04D640071	剝片	25.0	31.7	14.0	8.3		C					1				H	安山岩 64	
83	04D640072	剝片	26.3	34.0	9.8	4.8		-			1	2	1				F	安山岩 61	
84	04D640073	原石片	66.5	44.8	9.5	113.1	6											安山岩 68	
85	04D640074	剝片	18.0	14.7	3.7	21.0		L			1	1					F	安山岩 61	
86	04D640075	砕片	11.5	8.5	1.9	0.2												安山岩 64	
87	04D640076	剝片	21.0	10.6	7.5	1.6		H			1						F	安山岩 64	
88	04D640077	剝片	33.5	29.5	9.9	8.2		H			1						S	安山岩 64	
89	04D640078	剝片	16.7	28.0	8.0	4.5		H			2						F	安山岩 61	
90	04D640079	剝片	22.9	27.9	8.1	3.5		H			1		1				S	安山岩 61	
91	04D640080	剝片	20.0	16.8	6.7	2.4		H			2	1					S	安山岩 64	
92	04D640081	剝片	40.8	45.0	2.6	25.2		H					1				-	B	安山岩 63
93	04D640085	剝片	27.9	18.4	0.8	2.2		P			1			3			F	安山岩 66	
94	04D640086	剝片	25.7	34.6	9.5	6.6		H			2	1		1			F	安山岩 66	
95	04D640087	石核	42.9	39.2	18.7	33.1	10											安山岩 66	
96	04D730004	R剝片	21.3	29.0	8.1	5.0	12				1						F	M	安山岩 61
97	04D730005	剝片	26.3	23.5	5.4	2.5		H			2						F	安山岩 61	
98	04D740017	剝片	35.0	31.4	13.9	8.0		H			1	1					F	安山岩 64	
99	04D740018	剝片	25.5	14.3	7.3	2.3		L		PL	1			1			F	安山岩 61	

第80表 第31ブロック組成表

	ナイフ	台形石器	敲石	R剝片	石核	剝片	砕片	原石	計	数量比%
安山岩 60					1	20	3		24	24.24
安山岩 61	2	1		3	1	43	3		53	53.53
安山岩 62								1	1	1.01
安山岩 63						2			2	2.02
安山岩 64						8	1		9	9.09
安山岩 65			1						1	1.01
安山岩 66					2	5			7	7.07
安山岩 67								1	1	1.01
安山岩 68								1	1	1.01
計	2	1	1	3	4	78	7	3	99	100.00
組成比%	2.02	1.01	1.01	3.03	4.04	78.79	7.07	3.03	100.00	

第81表 ブロック外・表採石器属性表

分布 番号	遺物番号	器種	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	挿図 番号	打面 種類	打面 調整	頭部 調整	背 面 構 成					打角	末端 形状	折面 部位	母 岩
											I	II	III	IV	C				
1	00G200001	尖頭器	43.9	17.7	6.2	4.3	1											安山岩 56	
2	01F990002	礫	24.3	12.2	9.6	3.9												砂岩 7	
3	03D310002	尖頭器	31.7	23.8	9.0	5.7	1											黒曜石 8	
4	03D310004	尖頭器	41.4	31.5	13.6	10.4	2											安山岩 55	
5	03D790004	剝片	27.9	30.4	16.1	8.9	1	H				1	1		119	O	珪質凝灰岩 2		
6	04B060004	ナイフ形石器	69.8	13.0	4.6	3.5	1											黒曜石 9	
7	04B060005	石刃	58.3	19.2	7.8	4.9	2	H	PL		6			S	104	F	黒曜石 9		
8	04D490003	ナイフ形石器	35.7	16.2	12.4	4.5	2											黒曜石 10	
9	05E930004	礫	58.2	46.1	33.0	107.3	1											石英斑岩 2	

第82表 第1号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	0G60-002	B	石 英 斑 岩 3	39.6	20.4	7.7	14.6	d		3	3	S	4
2	0G60-003	B	砂 岩 8	30.9	25.1	24.3	34.9	d	d	3	2	T	
3	0G60-004	B	砂 岩 9	20.5	17.8	17.6	5.9	d		3	2		
4	0G60-0014	B	砂 岩 8	24.5	22.8	19.5	11.8	d	d	3	2		

第83表 第1 礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	そ の 他	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	4		1	3	0	0	0	0	0	4	4	0	0	1	1
%	100.00		25.00	75.00	0	0	0	0	0	100.00	100.00	0	0	25.00	25.00
重量	67.2	16.8	14.6	52.6	0	0	0	0	0	67.2	67.2	0	0	14.6	5.9
%	100.00		21.73	78.27	0	0	0	0	0	100.00	100.00	0	0	21.73	8.78

第84表 第2号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	1F69-002	B	流 紋 岩 2	41.3	32.0	26.0	36.5	d		2	1	-	4
2	1F69-003	B	流 紋 岩 2	10.8	8.2	5.8	0.5	d		-	1	-	
3	1F69-004	B	流 紋 岩 3	18.7	17.9	12.9	4.9	d	d	3	3	-	
4	1F69-005	B	流 紋 岩 3	31.8	20.7	18.8	10.4	d	d	3	3	-	
5	1F69-007	B	流 紋 岩 2	31.9	16.7	8.9	7.7	d		2	1	-	3
6	1F69-009	B	砂 岩 10	37.8	27.9	17.2	21.4	d		1	1	S	
7	1F69-010	B	砂 岩 10	55.4	35.3	25.5	52.9	d		3	1	S	
8	1F69-011	B	流 紋 岩 2	38.9	27.0	20.4	16.5	d		2	1	-	
9	1F69-013	B	流 紋 岩 2	27.4	23.7	12.2	10.0	d		2	1	-	10
10	1F69-021	B	流 紋 岩 2	32.5	30.2	29.7	29.0	d		2	1	-	
11	1F79-002	B	チ ヤ - ト 12	28.7	20.6	13.7	6.8	d	-	3	-	-	
12	1F79-005	B	チ ヤ - ト 13	9.4	7.4	3.4	0.3	a	-	-	-	-	
13	1F79-008	B	チ ヤ - ト 11	29.3	23.0	15.7	8.6	d		2	1	-	8
14	1F79-010	B	流 紋 岩 2	43.7	12.7	16.9	10.6	d				-	
15	1F79-014	B	流 紋 岩 4	33.5	31.0	23.6	22.0	d		2	1	-	
16	1F79-015	B	流 紋 岩 4	32.2	31.9	30.3	29.3	d		2	1	-	
17	1F79-016	B	チ ヤ - ト 12	12.6	12.5	10.2	0.7	d		3	-	-	10
18	1F79-017	B	流 紋 岩 2	53.0	38.1	21.4	30.6	d		1	1	-	
19	1F79-018	B	流 紋 岩 2	28.8	21.3	16.4	7.1	d		2	1	-	
20	1F79-019	B	流 紋 岩 2	30.4	18.4	21.5	10.9	d		2	2	-	
21	1F79-020	B	チ ヤ - ト 11	18.4	17.1	9.3	2.8	d		1	1	-	

第85表 第2 礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	チャート	そ の 他	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	21		14	2	5	0	1	0	0	20	5	10	3	2	0
%	100.00		66.77	9.52	23.81	0	4.76	0	0	95.24	23.81	47.62	14.28	9.52	0
重量	319.5	15.2	226.0	74.3	19.2	0	0.3	0	0	319.2	75.7	177.6	54.8	74.3	0
%	100.00		70.73	23.25	6.01	0	0.09	0	0	99.91	23.69	55.59	17.15	23.25	0

第86表 第3号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	2D85-002	B	ホルンフェルス 4	20.4	15.6	15.5	4.3	d	d	1	-	-	2,5
2	2D85-003	B	ホルンフェルス 4	30.2	28.8	15.3	9.4	d	d	1	-	-	1,5
3	2D85-004	B	流紋岩 5	51.8	28.4	21.5	27.2	d		3	3	-	
4	2D85-005	B	砂岩 11	59.2	55.0	45.2	94.6	d		2	1	S	
5	2D85-006	B	ホルンフェルス 4	46.0	38.5	17.5	29.1	d		1	-	-	1,2
6	2D85-012	B	ホルンフェルス 5	35.4	26.9	15.7	12.0	d		1	-	-	7,11,5-52,
7	2D85-013	B	ホルンフェルス 5	31.1	28.0	20.8	14.4	d		1	-	T	6,11,5-52,
8	2D86-001	B	安山岩 69	31.8	22.4	22.2	17.3	d		3	3	-	
9	2D86-006	B	流紋岩 5	24.0	19.0	11.8	4.6	d		2	1	-	
10	2D86-008	B	ホルンフェルス 4	41.9	27.0	10.3	9.6	d		2	-	-	
11	2D86-025	B	ホルンフェルス 4	34.0	30.6	25.7	15.3	d		1	-	-	6,7,11,5-52,
12	2D96-018	B	ホルンフェルス 4	49.7	29.7	23.9	35.5	d		2	1	-	
13	2D96-025	B	ホルンフェルス 5	38.8	25.9	17.7	15.3	d		2	1	-	

第87表 第3号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	安山岩	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	13		2	1	9	1	0	0	0	13	2	5	6	1	1
%	100.00		15.38	7.69	69.23	7.69	0	0	0	100.00	15.38	38.46	46.15	7.69	7.69
重量	288.6	22.2	31.8	94.6	144.9	17.3	0	0	0	288.6	44.5	159.6	84.5	94.6	14.4
%	100.00		11.02	32.78	50.21	5.99	0	0	0	100.00	15.42	55.30	29.28	32.78	4.99

第88表 第4号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	2D86-015	B	流紋岩 5	61.2	44.0	16.8	39.2	d		3	2	S	
2	2D86-016	B	砂岩 12	28.7	26.4	19.5	11.2	d		2	-	-	
3	2D86-018	B	ホルンフェルス 6	47.6	42.3	17.7	35.5	d		2	-	-	
4	2D86-020	B	砂岩 12	13.5	11.7	6.3	0.8	d		-	-	-	
5	2D86-021	B	砂岩 12	41.3	33.1	26.5	19.8	d		2	-	-	
6	2D86-022	B	砂岩 12	34.2	30.2	22.5	16.2	d		1	-	-	
7	2D86-023	B	砂岩 12	29.5	26.8	23.7	11.9	d		2	-	-	
8	2D86-027	B	砂岩 12	30.0	24.2	24.0	10.6	d		1	-	-	
9	2D86-028	B	砂岩 12	32.7	30.4	21.1	11.2	d		1	-	-	

第89表 第4号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	その他	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	9		1	7	1	0	0	0	0	9	1	4	3	1	0
%	100.00		11.11	77.78	11.11	0	0	0	0	100.00	11.11	44.44	33.33	11.11	0
重量	156.4	17.4	39.2	81.7	35.5	0	0	0	0	156.4	39.2	78.4	38.0	39.2	0
%	100.00		25.06	52.24	22.70	0	0	0	0	100.00	25.06	50.13	24.30	25.06	0

第90表 第5号礫群属性表1

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	附着	接 合
1	2D96-003	B	ホルンフェルス 4	86.5	39.4	34.4	152.0	d		1	1	S	2,5,46,73
2	2D96-004	B	ホルンフェルス 4	97.0	62.1	31.4	31.4	d		1	1	S	1,5,46,73
3	2D96-005	B	ホルンフェルス 4	22.9	19.8	12.5	4.8	d		1	1		
4	2D96-006	B	ホルンフェルス 4	48.8	26.4	19.0	23.7	d		1	1		10
5	2D96-007	B	ホルンフェルス 4	38.6	22.3	19.0	19.2	d		—	1		
6	2D96-008	B	安 山 岩 70	43.3	34.3	30.2	62.8	d		3	1	S	
7	2D96-009	B	ホルンフェルス 4	46.2	22.6	18.0	18.1	d		1	1		
8	2D96-010	B	ホルンフェルス 4	22.6	18.1	8.7	3.9	d		—	1		
9	2D96-011	B	ホルンフェルス 4	44.9	26.2	12.3	15.4	d		1	1		
10	2D96-013	B	ホルンフェルス 4	40.0	24.7	21.7	30.9	d		1	1		4
11	2D96-014	B	ホルンフェルス 4	23.4	12.3	12.6	4.7	d		1	1	S	
12	2D96-029	B	ホルンフェルス 4	27.1	23.5	13.4	6.3	d		1	1		
13	2D96-030	B	ホルンフェルス 4	50.6	20.0	20.0	26.0	d		1	1		
14	2D96-032	B	流 紋 岩 6	48.5	34.2	32.0	30.5	d		2	1		
15	3D06-009	B	ホルンフェルス 4	31.0	26.5	22.0	13.6	d		1	1		
16	3D06-015	B	ホルンフェルス 4	40.2	22.2	12.3	8.9	d		1	1		
17	3D06-017	B	ホルンフェルス 4	34.5	31.4	15.5	14.9	d		1	1		
18	3D06-018	B	砂 岩 11	82.7	56.2	35.8	148.5	d		3	2	S	
19	3D06-019	B	安 山 岩 70	41.5	33.7	27.5	42.5	d		2	1	T	
20	3D06-025	B	砂 岩 13	26.5	21.5	6.5	3.1	d		3	1		
21	3D06-034	B	ホルンフェルス 4	47.2	27.0	24.9	33.8	d		1	1		32,35
22	3D06-035	B	ホルンフェルス 4	44.2	33.1	16.9	25.0	d		1	1	S	
23	3D06-041	B	ホルンフェルス 4	35.1	27.3	26.8	28.6	d		1	1		
24	3D06-042	B	流 紋 岩 7	57.7	32.5	24.2	53.8	d		2	1		26,64,84
25	3D06-045	B	ホルンフェルス 4	48.5	35.9	19.8	28.6	d		1	1		72
26	3D06-046	B	流 紋 岩 7	71.2	50.2	33.0	133.8	d		2	3		24,64,84
27	3D06-047	B	流 紋 岩 7	33.3	13.4	5.7	2.0	d		2	2		
28	3D06-048	B	砂 岩 13	19.5	16.5	7.7	2.3	d		3	1		
29	3D06-050	B	ホルンフェルス 4	74.2	49.1	33.7	97.3	d		1	1		
30	3D06-055	B	流 紋 岩 5	49.5	40.4	14.5	26.7	d		3	1	S	
31	3D06-057	B	ホルンフェルス 4	30.7	27.0	12.0	10.6	d		1	1		
32	3D06-058	B	ホルンフェルス 4	43.9	30.8	20.7	37.6	d		1	1		21,35
33	3D06-059	B	流 紋 岩 5	73.5	43.7	31.8	129.8	d		3	1		
34	3D06-060	B	砂 岩 13	31.9	27.4	23.0	21.7	d		3	1		
35	3D06-062	B	ホルンフェルス 4	29.2	24.5	13.3	7.5	d		1	1		21,32
36	3D06-065	B	ホルンフェルス 4	5.6	5.2	2.2	0.1	d		—	1		
37	3D06-066	B	ホルンフェルス 4	15.9	14.8	7.7	1.3	d		1	1		
38	3D06-068	B	砂 岩 13	39.3	30.4	23.8	20.2	d		—	1		
39	3D06-069	B	砂 岩 13	31.5	25.2	15.9	8.2	d		2	1		
40	3D06-070	B	砂 岩 13	45.6	24.5	14.6	10.3	d		3	1		
41	3D06-071	B	ホルンフェルス 4	27.3	25.8	10.0	6.0	d		—	1		
42	3D06-072	B	砂 岩 13	59.1	48.3	44.9	138.3	d		—	1		
43	3D06-073	B	砂 岩 13	58.8	49.5	37.5	100.3	d		3	1		
44	3D06-074	B	ホルンフェルス 4	26.4	26.2	15.3	9.9	d		1	1		
45	3D06-075	B	ホルンフェルス 4	46.2	29.4	21.5	28.4	d		1	1		
46	3D06-076	B	ホルンフェルス 4	70.4	47.1	20.7	63.1	d		1	1		1,2,5,73
47	3D06-078	B	砂 岩 13	41.9	26.6	12.2	13.0	d		3	1		
48	3D06-079	B	安 山 岩 70	52.7	38.4	31.0	79.4	d		2	1		
49	3D06-080	B	砂 岩 13	44.3	20.5	17.3	13.8	d		2	3		
50	3D06-081	B	砂 岩 14	57.7	44.2	21.2	116.1	d		2	1		97
51	3D06-082	B	砂 岩 14	34.5	23.2	7.8	7.5	d		3	—		98
52	3D06-084	B	ホルンフェルス 5	18.2	20.1	16.2	5.5	d		1	—		53,54,56,62,
53	3D06-085	B	ホルンフェルス 5	28.1	26.5	18.6	12.8	d		1	—		52,54,56,62,
54	3D06-091	B	ホルンフェルス 5	42.3	29.0	20.5	26.8	d		1	—		52,53,56,62,
55	3D06-092	B	ホルンフェルス 4	49.5	22.5	19.3	25.5	d		1	1		
56	3D06-094	B	ホルンフェルス 5	40.8	36.2	16.0	23.3	d		1	—		52,53,54,62,
57	3D06-095	B	砂 岩 15	69.9	44.9	16.0	53.0	d		3	1	S	
58	3D06-099	B	珪 化 木 1	51.6	39.8	35.6	39.6	c		2	1		
59	3D06-100	B	珪 化 木 1	10.0	8.7	3.8	0.2	d		2	1		
60	3D06-101	B	珪 化 木 1	25.2	21.2	18.0	3.5	d		2	1		
61	3D06-103	B	流 紋 岩 8	74.6	63.3	38.3	256.0	d		2	—	S	
62	3D06-104	B	ホルンフェルス 5	37.0	26.7	23.4	17.2	d		1	1		52,53,54,56,
63	3D06-106	B	流 紋 岩 7	41.5	21.4	17.3	15.8	d		3	1		
64	3D06-107	B	流 紋 岩 7	58.8	30.5	22.0	33.5	d		1	1		24,26,84
65	3D06-108	B	ホルンフェルス 5	22.3	14.0	10.2	2.9	d		1	—		
66	3D06-109	B	ホルンフェルス 5	29.5	22.2	19.3	10.5	d		1	—		52,53,54,56,
67	3D06-111	B	安 山 岩 71	64.4	36.0	28.9	58.2	d		2	1		
68	3D06-112	B	ホルンフェルス 6	38.3	22.2	17.9	15.6	d		1	1		69,70,71
69	3D06-113	B	ホルンフェルス 6	63.0	43.3	34.3	107.0	d		1	1		68,70,71
70	3D06-114	B	ホルンフェルス 6	32.9	25.4	17.3	13.5	d		1	1		68,69,71

第91表 第5号礫群属性表2

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	断面 赤化	付着	接 合
71	3D06-115	B	ホルンフェルス 6	28.1	26.1	16.5	12.2	d		1	1		68,69,70
72	3D06-116	B	ホルンフェルス 4	31.8	27.2	22.2	15.8	d		1	1		25
73	3D06-118	B	ホルンフェルス 4	75.5	39.6	22.3	77.6	d		1	1		1,2,5,46
74	3D06-119	B	流 紋 岩 5	42.2	29.0	19.2	24.0	d		3	1		
75	3D06-120	B	流 紋 岩 5	45.2	30.5	21.2	34.3	d		3	1	S	
76	3D06-121	B	ホルンフェルス 4	35.8	24.8	12.4	10.1	d		1	1		
77	3D06-123	B	流 紋 岩 5	13.5	12.1	8.9	1.7	d		3	1	S	
78	3D06-124	B	砂 岩 15	15.9	12.7	9.9	1.7	d		1	1		
79	3D06-125	B	流 紋 岩 5	63.3	48.6	24.0	77.2	d		3	1	S	
80	3D06-127	B	流 紋 岩 9	58.1	31.0	29.9	59.2	d		3	1	S	81,87,88,91,
81	3D06-129	B	流 紋 岩 9	49.4	24.0	11.0	11.0	d		3	1		80,87,88,91,
82	3D06-130	B	ホルンフェルス 4	18.6	13.7	9.6	2.4	d		1	1		
83	3D06-131	B	流 紋 岩 9	10.0	6.5	4.2	0.3	d		2	1		
84	3D06-133	B	流 紋 岩 7	31.5	12.9	11.9	5.4	d		2	1		24,26,64
85	3D06-136	B	砂 岩 15	51.8	31.9	10.3	17.7	d		2	1		
86	3D06-137	B	流 紋 岩 9	29.8	21.8	7.5	4.3	d		3	1		
87	3D06-138	B	流 紋 岩 9	45.3	21.8	15.5	11.4	d		3	1		80,81,88,91,
88	3D06-139	B	流 紋 岩 9	13.6	11.7	11.1	1.0	d		3	1		80,81,87,91,
89	3D06-140	B	ホルンフェルス 4	48.1	35.0	16.3	27.1	d		1	1		
90	3D06-142	B	砂 岩 14	47.9	44.9	9.9	23.7	d		1	1		
91	3D06-143	B	流 紋 岩 9	53.7	25.3	21.8	21.8	d		3	1		80,81,87,88,
92	3D06-144	B	流 紋 岩 9	31.2	12.9	17.2	4.9	d		3	1		80,81,87,88,
93	3D06-145	B	チ ャ ー ト 14	34.4	19.1	3.9	2.2	d		1	2		
94	3D06-146	B	チ ャ ー ト 14	24.5	14.6	3.2	1.1	d		1	1	T	
95	3D06-148	B	ホルンフェルス 5	52.0	43.5	41.3	94.8	d		1	—		52,53,54,56,
96	3D06-149	B	チ ャ ー ト 14	11.8	6.8	1.5	0.2	d		2	1		
97	3D06-154	B	砂 岩 14	54.0	23.2	12.0	9.5	d		2	1		50
98	3D06-156	B	砂 岩 14	2.5	9.0	5.8	0.9	d		2	1		51
99	3D06-176	B	安 山 岩 70	40.2	30.5	26.4	33.8	d		2	1		
100	3D06-177	B	流 紋 岩 5	52.6	37.1	27.7	51.4	d		3	2	S	
101	3D06-178	B	ホルンフェルス 6	38.1	29.2	19.6	28.0	d		1	—		
102	3D06-179	B	ホルンフェルス 5	44.4	41.8	26.7	46.8	d		1	—		52,53,54,56,
103	3D06-181	B	砂 岩 14	92.6	35.5	23.0	80.9	d		2	1		

第92表 第5号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	そ の 他	a	b	c	d	A	B	C	スス状	ケール状
点数	103		23	20	49	11	0	0	1	102	25	22	50	15	2
%	100.00		22.33	19.42	47.57	10.68	0	0	0.97	99.03	24.27	21.36	48.54	14.56	1.94
重量	3,431.2	33.3	989.8	790.7	1327.0	323.5	0	0	39.6	3391.4	897.0	986.3	1360.0	998.8	43.6
%	100.00		28.85	23.04	38.68	9.43	0	0	1.15	98.84	26.14	28.75	39.64	29.11	1.27

第93表 第6号礫群属性表1

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	3C33-005	B	石 英 斑 岩 4	56.5	40.3	31.9	51.7	d		1	1	S	
2	3C33-007	B	流 紋 岩 10	28.3	26.4	17.0	10.2	d		1	1	S	
3	3C34-004	B	砂 岩 16	47.2	29.8	19.8	36.0	d		1	1		
4	3C34-005	B	ホ ル ン フ ェ ル ス 7	32.0	27.4	22.4	21.9	d		1	1		
5	3C34-006	B	石 英 斑 岩 4	37.8	26.8	21.7	22.5	d		1	1		
6	3C43-008	B	流 紋 岩 11	18.0	10.0	8.6	1.7	d		1	1		
7	3C43-009	B	流 紋 岩 11	24.5	22.8	16.0	10.3	d		—	1	S	
8	3C43-010	B	砂 岩 17	15.1	12.7	8.7	2.3	d		—	1		
9	3C43-011	B	流 紋 岩 12	78.6	44.5	37.1	174.5	c		2	1	S	
10	3C43-013	B	砂 岩 16	21.2	17.0	16.6	5.2	d		1	1		
11	3C43-014	B	砂 岩 16	21.2	19.0	14.9	7.5	d		—	1		
12	3C43-015	B	流 紋 岩 12	23.6	21.5	9.2	4.6	d		1	1		
13	3C43-016	B	流 紋 岩 12	26.9	29.9	18.3	13.1	d		1	1	S	
14	3C43-017	B	砂 岩 17	18.4	17.2	11.6	4.2	d		1	1		26
15	3C43-018	B	ホ ル ン フ ェ ル ス 7	16.8	11.0	10.1	2.7	d		2	1		
16	3C43-019	B	流 紋 岩 13	44.0	38.9	29.7	42.7	d		1	1		32,75,79,89,
17	3C43-020	B	流 紋 岩 14	52.5	41.0	38.6	103.1	d		2	2		
18	3C43-021	B	流 紋 岩 15	44.1	42.1	40.6	70.2	d		2	1	S	
19	3C43-022	B	砂 岩 17	25.0	16.6	16.5	8.5	d		1	1		
20	3C43-023	B	砂 岩 17	36.4	24.3	17.2	17.8	d		1	1		
21	3C43-024	B	流 紋 岩 16	53.9	34.1	28.1	62.6	d		2	1	S	
22	3C43-025	B	砂 岩 17	22.2	18.9	12.2	5.9	d		1	1		
23	3C43-026	B	砂 岩 16	31.9	25.7	21.8	14.8	d		1	1		
24	3C43-027	B	砂 岩 16	22.5	21.6	15.6	12.1	d		1	1		
25	3C43-028	B	石 英 斑 岩 4	30.1	29.5	26.9	27.7	d		—	1		
26	3C43-029	B	砂 岩 17	27.2	18.8	14.5	6.4	d		1	1		14
27	3C43-030	B	流 紋 岩 11	15.8	13.9	6.3	1.3	d		1	1		
28	3C43-031	B	流 紋 岩 14	38.0	29.2	22.8	28.1	d		2	1		
29	3C43-032	B	流 紋 岩 15	28.5	24.1	14.7	10.1	d		2	1		
30	3C43-034	B	流 紋 岩 17	44.4	36.8	35.6	54.8	d		3	2		
31	3C43-035	B	流 紋 岩 17	33.5	26.6	20.2	16.1	d		3	1		
32	3C43-036	B	流 紋 岩 13	67.4	65.5	43.8	218.1	c		2	1		16,75,79,89
33	3C43-037	B	砂 岩 16	26.8	23.5	19.6	16.9	d		1	1		
34	3C43-038	B	砂 岩 18	69.9	39.4	33.5	77.9	d		2	1		
35	3C43-039	B	流 紋 岩 18	34.5	28.0	26.8	20.8	d		2	1		
36	3C43-040	B	砂 岩 18	25.4	24.5	6.5	5.3	d		2	1		
37	3C43-042	B	砂 岩 17	22.0	19.7	12.6	6.1	d		1	1		
38	3C43-043	B	流 紋 岩 18	30.2	28.9	16.3	11.2	d		—	1		
39	3C43-044	B	流 紋 岩 10	18.8	15.9	12.6	3.8	d		—	2		
40	3C43-046	B	流 紋 岩 13	34.9	27.3	17.2	17.1	d		2	1		
41	3C43-047	B	砂 岩 18	37.2	20.2	17.1	14.2	d		2	1		
42	3C43-048	B	流 紋 岩 10	21.1	18.5	12.6	4.2	d		—	2		
43	3C43-049	B	砂 岩 17	42.1	24.2	16.1	12.9	d		—	1		
44	3C43-051	B	流 紋 岩 11	33.0	18.3	8.7	5.2	d		1	1		
45	3C43-052	B	流 紋 岩 11	27.4	22.9	15.4	9.5	d		1	1		
46	3C43-053	B	流 紋 岩 16	35.1	26.0	21.3	25.9	d		2	1	S	
47	3C43-054	B	砂 岩 17	36.1	35.0	19.8	25.8	d		1	1		
48	3C43-055	B	流 紋 岩 13	37.4	37.1	28.4	42.5	d		1	1	S	
49	3C43-056	B	砂 岩 17	12.3	10.8	6.9	0.8	d		1	1		
50	3C43-057	B	砂 岩 16	27.7	23.6	19.6	10.1	d		1	1		
51	3C43-058	B	砂 岩 16	20.1	14.5	14.2	3.8	d		1	1		
52	3C43-059	B	ホ ル ン フ ェ ル ス 7	26.7	21.0	18.7	13.9	d		1	1		
53	3C43-060	B	ホ ル ン フ ェ ル ス 7	38.3	27.9	22.7	19.5	d		1	1		
54	3C43-061	B	流 紋 岩 18	22.0	16.8	16.5	3.0	d		1	1	S	
55	3C43-062	B	流 紋 岩 17	50.5	40.4	39.1	91.5	d		3	2	S	
56	3C43-063	B	流 紋 岩 16	60.6	50.4	22.9	66.9	d		2	2	S	
57	3C43-064	B	安 山 岩 72	50.2	43.4	36.0	81.6	d		2	1	S	
58	3C43-065	B	流 紋 岩 11	15.9	13.3	7.2	1.6	d		1	1		
59	3C43-067	B	流 紋 岩 11	36.2	28.1	19.0	16.4	d		1	1	S	
60	3C43-070	B	流 紋 岩 11	10.7	9.9	7.6	0.7	d		1	1	S	
61	3C43-072	B	ホ ル ン フ ェ ル ス 7	50.3	22.1	17.5	23.6	d		1	1		
62	3C43-074	B	流 紋 岩 18	48.4	38.5	21.5	35.1	d		1	1		
63	3C43-076	B	流 紋 岩 13	57.6	26.7	20.8	32.1	d		1	1		85
64	3C43-077	B	流 紋 岩 18	34.9	23.6	20.9	15.1	d		1	1		
65	3C43-078	B	砂 岩 17	20.2	17.0	10.9	4.9	d		1	1		
66	3C43-079	B	砂 岩 16	31.2	24.2	23.8	23.7	d		1	1		
67	3C43-080	B	砂 岩 16	39.5	36.4	23.6	40.0	d		1	1		
68	3C43-081	B	砂 岩 17	26.0	21.5	9.5	4.7	d		2	1		
69	3C43-083	B	流 紋 岩 17	35.4	21.0	23.9	17.4	d		2	1	S	
70	3C43-084	B	砂 岩 17	11.9	10.4	8.5	1.4	d		1	1		

第94表 第6号礫群属性表2

No	遺物番号	分類	母岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	断面 赤化	付着	接合
71	3C43-085	B	流紋岩 12	27.3	23.2	12.0	6.4	d		2	1		
72	3C43-086	B	流紋岩 11	21.4	23.9	22.0	10.8	d		1	1		
73	3C43-087	B	流紋岩 11	26.2	19.0	15.3	8.1	d		2	1		
74	3C43-088	B	ホルンフェルス 7	32.1	27.6	19.9	19.7	d		1	1		
75	3C43-089	B	流紋岩 13	42.9	22.0	19.1	18.3	d		1	1		16, 32, 79, 89,
76	3C43-090	B	流紋岩 12	38.6	38.6	19.7	31.7	d		2	1		
77	3C43-091	B	流紋岩 15	33.0	28.3	17.3	12.7	d		2	1		
78	3C43-092	B	流紋岩 13	34.9	20.5	19.4	12.2	d		2	1		
79	3C43-093	B	流紋岩 13	31.8	17.4	12.5	5.3	d		2	1		16, 32, 75, 89,
80	3C43-095	B	安山岩 72	33.9	26.8	21.0	20.1	d		2	1		
81	3C43-096	B	砂岩 18	39.7	27.6	20.0	18.0	d		2	1		
82	3C43-097	B	石英斑岩 4	41.5	22.1	18.0	18.6	d		-	2		
83	3C43-098	B	砂岩 17	24.2	14.4	9.4	2.6	d		1	1		
84	3C43-098	B	砂岩 17	16.4	14.7	13.0	4.0	d		1	1		
85	3C43-100	B	流紋岩 13	57.0	55.7	20.0	53.7	d		2	1		63
86	3C43-101	B	流紋岩 17	33.3	30.9	23.8	26.8	d		3	2	S	
87	3C43-102	B	流紋岩 11	18.5	18.2	15.4	5.3	d		2	1		
88	3C43-104	B	砂岩 18	27.2	19.4	20.7	9.6	d		1	1		
89	3C43-105	B	流紋岩 13	59.1	32.6	19.4	32.0	d		2	1		16, 32, 75, 79,
90	3C43-106	B	ホルンフェルス 7	12.6	6.2	3.7	0.5	d		1	1		
91	3C43-107	B	流紋岩 11	12.9	8.5	4.9	0.4	d		1	1		
92	3C43-108	B	砂岩 18	35.3	30.6	19.3	13.4	d		-	1		
93	3C43-109	B	砂岩 17	9.1	7.9	5.9	0.4	d		-	1		
94	3C43-110	B	砂岩 17	10.8	12.6	8.9	1.2	d		1	1		
95	3C44-005	B	流紋岩 13	25.6	18.7	14.6	6.5	d		2	1		
96	3C44-006	B	流紋岩 13	16.9	11.9	9.8	1.7	d		1	1		
97	3C44-007	B	流紋岩 13	32.5	23.3	14.9	9.6	d		1	1		16, 32, 75, 79,
98	3C44-008	B	流紋岩 13	21.3	18.0	16.5	6.4	d		1	1		
99	3C44-009	B	流紋岩 13	26.4	22.2	18.3	11.7	d		1	1		
100	3C44-010	B	砂岩 17	22.6	15.1	10.0	3.6	d		1	1		
101	3C44-011	B	流紋岩 13	39.3	26.0	19.5	14.5	d		1	1		16, 32, 75, 79,
102	3C44-012	B	砂岩 16	26.4	20.9	28.0	9.1	d		1	1		
103	3C44-013	B	流紋岩 13	26.7	23.1	20.2	13.9	d		-	1		
104	3C44-014	B	流紋岩 10	21.1	15.0	14.5	4.9	d		-	1		
105	3C44-015	B	安山岩 72	36.6	32.0	21.9	23.7	d		1	1		
106	3C44-016	B	安山岩 72	16.8	14.3	9.1	2.6	d		2	1		
107	3C44-017	B	流紋岩 11	27.7	27.2	16.9	11.4	d		2	1		
108	3C44-020	B	流紋岩 11	21.8	19.9	12.4	5.8	d		2	1		
109	3C44-023	B	砂岩 17	26.8	16.4	16.0	8.5	d		1	1		
110	3C44-024	B	砂岩 17	17.5	15.2	15.0	4.6	d		1	1		
111	3C44-025	B	流紋岩 19	80.6	61.8	55.4	404.5	c		2	2		
112	3C44-026	B	流紋岩 18	38.5	31.7	18.4	17.2	d		2	1		

第95表 第6号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	安山岩	a	b	c	d	A	B	C	スス状	ケール状
点数	112		64	37	7	4	0	0	3	109	4	35	60	17	0
%	100.00		57.14	33.03	6.25	4	0	0	2.68	97.32	3.57	31.25	53.57	15.18	0
重量	2,767.8	24.7	2,093.8	444.2	101.8	128.0	0	0	797.1	1,970.0	189.2	1,654.7	792.8	765.3	0
%	100.00		75.65	16.05	3.68	4.62	0	0	28.80	71.20	6.83	59.78	28.64	27.65	0

第97表 第7号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	チャート	安山岩	a	b	c	d	A	B	C	スス状	ケール状
点数	71		30	28	10	3	0	0	0	71	2	19	47	16	0
%	100.00		42.25	39.44	14.08	4.22	0	0	0	100.00	2.82	26.76	66.20	22.53	0
重量	1,649.9	23.2	843.7	569.4	180.6	56.5	0	0	0	1,650.2	3.2	647.1	981.0	607.5	0
%	100.00		51.13	34.50	10.94	3.42	0	0	0	100.00	0.19	39.21	59.45	36.81	0

第96表 第7号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母	岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接合	
1	3C29-002	B	チ	ヤ	ト	15	42.6	30.1	29.5	26.9	d	1	1		
2	3C29-003	B	砂		岩	19	16.1	15.4	10.4	2.6	d	1	1	S	
3	3C29-004	B	砂		岩	19	25.1	19.2	16.7	6.6	d	1	1		
4	3C29-005	B	チ	ヤ	ト	15	34.6	26.6	20.2	15.7	d	1	1		
5	3C29-006	B	砂		岩	19	36.0	30.5	26.7	34.9	d	1	1	13,33	
6	3C29-007	B	砂		岩	19	51.5	43.8	18.4	36.6	d	1	2		
7	3C29-008	B	チ	ヤ	ト	15	25.5	23.8	17.5	10.0	d	1	1		
8	3C29-009	B	砂		岩	19	33.3	32.0	24.5	22.4	d	1	1		
9	3C29-010	B		紋	岩	20	26.4	21.7	19.8	9.7	d	—	2		
10	3C29-012	B	チ	ヤ	ト	15	35.0	31.1	23.8	25.5	d	1	2		
11	3C29-013	B	砂		岩	19	29.8	20.8	15.0	8.2	d	1	1		
12	3C29-014	B	流		紋	岩	20	15.6	15.0	11.1	1.7	d	3	1	
13	3C29-015	B	砂		岩	19	32.2	30.0	24.5	27.7	d	1	1	S	
14	3C29-017	B	チ	ヤ	ト	15	11.7	8.9	6.2	0.9	d	1	1	5,33	
15	3C39-037	B	砂		岩	19	14.9	8.6	2.2	0.2	d	1	1		
16	3C39-072	B	流		紋	岩	22	43.5	33.3	15.0	13.6	d	1	2	S
17	3C39-073	B	流		紋	岩	21	27.2	22.8	14.7	10.3	d	1	1	
18	3C39-074	B	流		紋	岩	21	25.8	24.3	14.4	7.4	d	1	1	
19	3C39-075	B	砂		岩	19	18.2	15.0	9.9	2.6	d	—	1		
20	3C39-076	B	砂		岩	19	16.0	13.3	7.7	1.5	d	3	1		
21	3C39-077	B	チ	ヤ	ト	15	18.8	12.8	10.0	2.2	d	1	1		
22	3C39-105	B	砂		岩	19	52.5	38.7	16.9	36.4	d	2	2		
23	3C39-106	B	チ	ヤ	ト	15	27.7	26.9	15.7	16.4	d	1	1		
24	3C39-107	B	流		紋	岩	21	49.0	44.0	35.2	58.4	d	1	1	S
25	3C39-108	B	砂		岩	19	37.5	23.8	12.7	11.8	d	1	1	S	
26	3C39-109	B	砂		岩	19	39.9	39.5	24.5	23.5	d	1	1		
27	3C39-110	B	砂		岩	19	10.4	8.5	6.6	0.5	d	1	1	S	
28	3C39-111	B	砂		岩	19	16.6	12.7	9.0	2.1	d	1	1		
29	3C39-112	B	流		紋	岩	22	32.6	27.9	7.0	5.1	d	1	2	S
30	3C39-113	B	流		紋	岩	22	30.9	33.0	17.2	11.9	d	1	1	
31	3C39-140	B	砂		岩	19	33.3	33.3	24.4	24.6	d	1	1	36,65,8-3	
32	3C39-142	B	流		紋	岩	21	27.2	23.5	18.3	9.7	d	1	1	
33	3C39-143	B	砂		岩	19	47.9	43.2	35.5	57.7	d	1	1	5,13	
34	3C39-148	B	チ	ヤ	ト	15	53.5	28.8	26.5	45.8	d	1	1		
35	3D20-001	B	チ	ヤ	ト	15	32.5	28.0	22.4	18.6	d	1	1		
36	3D20-002	B	砂		岩	19	48.8	43.5	27.4	68.7	d	2	1	31,65	
37	3D20-003	B	砂		岩	19	44.4	28.1	25.9	39.9	d	2	1	9-40	
38	3D20-004	B	流		紋	岩	22	36.5	34.0	17.0	19.1	d	2	1	
39	3D20-005	B	砂		岩	19	32.6	29.5	27.8	21.7	d	1	1		
40	3D20-006	B	砂		岩	19	37.2	35.3	26.2	36.5	d	1	1	S	
41	3D20-007	B	流		紋	岩	21	20.6	24.5	18.6	7.8	d	1	1	
42	3D20-008	B	流		紋	岩	21	33.2	28.7	23.8	27.8	d	1	3	
43	3D20-009	B	流		紋	岩	21	44.5	36.3	17.0	29.3	d	1	3	
44	3D20-010	B	砂		岩	19	22.5	21.9	17.3	10.3	d	1	1		
45	3D20-011	B	チ	ヤ	ト	16	37.7	25.1	20.2	18.6	d	2	1		
46	3D20-012	B	安	山	岩	73	58.3	33.3	20.4	45.9	d	2	1		
47	3D20-013	B	安	山	岩	74	18.8	13.3	9.2	2.4	d	2	1		
48	3D20-014	B	流		紋	岩	21	22.0	21.2	16.7	6.2	d	1	1	
49	3D20-016	B	流		紋	岩	22	34.1	27.5	6.8	7.0	d	2	2	
50	3D20-017	B	流		紋	岩	21	36.3	28.6	21.7	17.5	d	1	1	67
51	3D20-018	B	流		紋	岩	22	63.2	34.7	107.6	d	2	2		
52	3D20-021	B	安	山	岩	74	25.2	23.2	16.0	8.2	d	2	2		
53	3D20-024	B	流		紋	岩	20	22.8	14.9	9.9	2.9	d	2	1	
54	3D20-025	B	流		紋	岩	22	64.0	44.5	33.5	112.9	d	2	2	S
55	3D20-026	B	流		紋	岩	23	77.6	47.7	20.0	73.8	d	2	2	S
56	3D20-027	B	砂		岩	19	27.7	17.3	11.0	6.6	d	—	1		
57	3D20-028	B	流		紋	岩	22	43.1	32.2	19.3	23.9	d	2	1	59,60,62
58	3D20-029	B	流		紋	岩	21	20.0	18.4	15.8	6.4	d	1	1	
59	3D20-030	B	流		紋	岩	22	36.8	24.9	19.9	17.4	d	2	1	57,59,62
60	3D20-031	B	流		紋	岩	22	33.4	24.2	18.4	13.2	d	2	1	57,59,62
61	3D20-032	B	流		紋	岩	21	50.7	26.5	17.9	26.2	d	2	3	
62	3D20-033	B	流		紋	岩	22	30.8	24.4	16.3	14.2	d	2	1	57,59,60
63	3D20-034	B	流		紋	岩	22	66.7	43.8	37.0	113.2	d	1	3	S
64	3D20-036	B	砂		岩	19	33.1	26.0	24.9	26.2	d	1	2	S	
65	3D20-037	B	砂		岩	19	23.9	19.0	18.2	8.8	d	2	2		
66	3D30-001	B	砂		岩	19	24.6	22.0	17.1	9.6	d	1	1		
67	3D30-002	B	流		紋	岩	21	35.5	25.8	20.2	20.5	d	1	1	S
68	3D30-003	B	砂		岩	19	18.9	18.0	17.4	6.5	d	1	1		
69	3D30-004	B	流		紋	岩	22	35.8	32.9	19.2	12.2	d	1	2	
70	3D30-062	B	砂		岩	19	54.6	30.8	18.3	34.7	d	1	2	S	
71	3D30-063	B	流		紋	岩	22	62.0	43.4	26.6	56.8	d	1	2	S

第98表 第8号礫群属性表1

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	3C38-004	B	砂 岩 19	29.8	27.7	23.1	19.4	d		1	2		
2	3C38-009	B	砂 岩 19	24.0	23.6	16.7	10.7	d		1	1		
3	3C38-011	B	砂 岩 19	34.0	22.1	17.3	12.8	d		1	2		7-31,36,65
4	3C38-012	B	砂 岩 20	41.1	39.8	24.0	40.8	d		1	1		
5	3C38-014	B	流 紋 岩 24	42.8	29.5	27.2	31.7	d		1	1		
6	3C38-016	B	砂 岩 20	15.4	13.3	12.5	3.0	d		1	1		
7	3C38-017	B	流 紋 岩 25	39.4	27.2	13.2	9.4	d		-	1		
8	3C38-018	B	砂 岩 20	29.6	28.5	21.9	13.6	d		2	1		
9	3C38-020	B	流 紋 岩 23	32.8	19.8	12.2	6.9	d		2	2		
10	3C38-021	B	流 紋 岩 25	46.1	32.2	30.5	38.7	d		2	1		
11	3C38-023	B	砂 岩 19	36.5	34.5	23.2	31.1	d		1	1		
12	3C38-024	B	砂 岩 20	29.2	22.7	15.7	7.7	d		1	1		
13	3C38-025	B	砂 岩 19	34.1	33.5	31.1	32.4	d		2	1		
14	3C38-026	B	砂 岩 20	27.1	20.0	17.2	7.2	d		1	1		
15	3C38-027	B	流 紋 岩 20	42.7	36.9	23.9	36.8	d		2	2		20
16	3C38-028	B	流 紋 岩 24	20.7	20.3	16.5	6.2	d		-	1		
17	3C38-029	B	流 紋 岩 20	57.9	51.4	21.8	71.2	d		1	2		
18	3C38-030	B	砂 岩 21	67.1	42.5	34.0	102.7	d		1	1	S	
19	3C38-031	B	流 紋 岩 20	56.7	37.1	14.5	40.6	d		2	2		
20	3C38-032	B	流 紋 岩 20	55.2	45.5	31.6	105.2	d		2	1		15
21	3C38-033	B	流 紋 岩 24	39.8	30.6	26.8	28.2	d		1	1		
22	3C38-034	B	流 紋 岩 25	29.4	18.8	16.6	8.2	d		1	1		
23	3C38-035	B	砂 岩 20	25.6	28.6	16.8	9.5	d		-	1		
24	3C38-036	B	流 紋 岩 24	48.4	34.2	14.0	24.1	d		1	1		
25	3C38-039	B	流 紋 岩 24	29.5	25.6	19.0	13.2	d		1	1		
26	3C38-041	B	流 紋 岩 20	46.6	36.0	23.5	42.4	d		1	1		
27	3C38-043	B	砂 岩 21	40.8	33.9	24.0	28.3	d		2	1		
28	3C38-044	B	砂 岩 21	31.3	32.7	21.5	13.2	d		1	1	S	
29	3C38-045	B	流 紋 岩 20	28.6	20.5	17.9	12.9	d		2	2		
30	3C38-046	B	砂 岩 21	17.8	17.3	14.8	3.9	d		1	1	S	
31	3C38-047	B	砂 岩 20	15.1	13.6	7.2	1.2	d		1	1		
32	3C38-048	B	砂 岩 20	43.2	26.2	24.5	30.0	d		2	1		123
33	3C38-049	B	流 紋 岩 20	48.4	25.6	24.6	30.2	d		2	1		
34	3C38-050	B	石 英 斑 岩 5	55.7	34.7	27.7	66.0	d		2	1		
35	3C38-051	B	安 山 岩 75	32.8	27.2	18.5	12.9	d		1	1		
36	3C38-052	B	砂 岩 21	35.0	24.4	17.4	18.1	d		2	1	S	
37	3C38-053	B	流 紋 岩 27	35.6	32.5	32.4	39.5	d		2	3		59
38	3C38-054	B	砂 岩 20	25.6	19.5	19.2	8.3	d		1	1		
39	3C38-055	B	砂 岩 21	35.6	21.5	20.0	15.2	d		1	1		
40	3C38-057	B	砂 岩 20	31.2	29.8	19.9	14.9	d		1	1		
41	3C38-058	B	砂 岩 21	40.6	39.8	34.8	38.2	d		2	1	S	
42	3C38-059	B	砂 岩 20	41.4	23.4	11.6	8.3	d		-	1	S	
43	3C38-060	B	流 紋 岩 26	39.5	35.2	22.8	35.8	d		2	2		106
44	3C38-061	B	砂 岩 19	38.0	34.3	30.7	46.7	d		2	1		
45	3C38-062	B	砂 岩 20	30.8	26.7	21.3	12.3	d		1	1		
46	3C38-063	B	流 紋 岩 20	20.1	14.1	12.3	3.2	d		1	1		
47	3C39-001	B	流 紋 岩 28	54.5	29.2	28.3	44.5	d		3	1		
48	3C39-092	B	砂 岩 21	49.3	38.0	28.0	58.5	d		2	1		
49	3C39-003	B	流 紋 岩 20	54.0	40.5	19.7	41.3	d		1	1		
50	3C39-004	B	砂 岩 21	50.1	23.6	20.3	27.9	d		2	1		
51	3C39-005	B	流 紋 岩 24	39.6	27.2	20.6	21.8	d		1	1		
52	3C39-006	B	流 紋 岩 24	28.6	18.5	12.1	7.1	d		1	1	S	
53	3C39-007	B	砂 岩 19	26.5	23.9	16.8	11.0	d		1	1		
54	3C39-008	B	砂 岩 19	43.3	38.0	30.8	41.8	d		1	1		
55	3C39-009	B	砂 岩 20	31.8	27.9	20.0	20.9	d		-	2		
56	3C39-010	B	安 山 岩 75	48.0	26.3	26.0	20.2	d		1	1		
57	3C39-011	B	流 紋 岩 24	40.4	40.0	24.0	29.5	d		1	1	S	
58	3C39-012	B	砂 岩 21	28.3	28.1	23.6	19.5	d		1	1		
59	3C39-013	B	流 紋 岩 27	56.4	46.7	33.8	71.9	d		1	2		37
60	3C39-015	B	流 紋 岩 26	33.1	27.4	16.0	16.5	d		-	2		
61	3C39-016	B	砂 岩 21	34.3	24.0	18.5	16.9	d		1	1	S	
62	3C39-017	B	流 紋 岩 23	52.6	35.3	22.6	28.3	d		2	1		
63	3C39-019	B	流 紋 岩 20	26.8	21.5	8.1	4.4	d		2	1		
64	3C39-020	B	砂 岩 24	23.9	20.7	9.0	4.5	d		1	1	S	
65	3C39-021	B	砂 岩 21	19.8	18.8	14.7	4.2	d		1	1		
66	3C39-022	B	砂 岩 21	23.6	20.7	20.5	9.2	d		1	1	S	
67	3C39-023	B	砂 岩 21	40.0	23.3	23.3	20.2	d		1	1		
68	3C39-024	B	砂 岩 21	23.6	18.8	16.8	7.8	d		1	1		
69	3C39-025	B	砂 岩 21	37.4	30.3	24.3	25.5	d		1	1		
70	3C39-026	B	砂 岩 21	24.2	23.9	17.5	8.6	d		1	1		

第99表 第8礫群属性表2

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	附着	接 合
71	3C39-027	B	流 紋 岩 20	45.2	36.5	20.6	17.2	d		3	2		
72	3C39-028	B	ホルンフェルス 8	55.0	48.4	29.6	60.9	d		3	1	S	
73	3C39-029	B	砂 岩 21	31.2	22.2	16.4	8.0	d		1	1		
74	3C39-030	B	砂 岩 20	34.3	20.4	19.7	12.0	d		—	1		
75	3C39-031	B	砂 岩 19	49.4	33.9	24.5	47.3	d		1	1		
76	3C39-032	B	砂 岩 20	57.6	46.7	31.0	83.7	d		2	2	S	
77	3C39-033	B	流 紋 岩 30	47.5	24.6	17.3	25.2	d		3	3		
78	3C39-034	B	砂 岩 21	25.0	19.7	19.1	8.4	d		1	1		
79	3C39-035	B	砂 岩 21	27.3	24.9	19.7	10.0	d		1	1		
80	3C39-036	B	砂 岩 20	35.2	34.9	27.7	27.8	d		—	2		
81	3C39-038	B	砂 岩 21	36.0	32.8	25.9	27.1	d		1	1	S	
82	3C39-042	B	流 紋 岩 20	29.0	25.8	13.5	9.1	d		2	2		
83	3C39-045	B	砂 岩 20	17.0	15.2	13.1	2.8	d		—	1		
84	3C39-046	B	流 紋 岩 20	25.4	22.5	10.1	5.2	d		2	1		
85	3C39-047	B	砂 岩 20	19.2	19.9	12.1	3.3	d		1	1		
86	3C39-048	B	砂 岩 20	65.0	41.3	16.5	38.8	d		1	1		
87	3C39-050	B	流 紋 岩 29	57.7	44.5	27.5	68.9	d		2	1	S	
88	3C39-078	B	砂 岩 20	49.3	46.0	29.2	48.6	d		2	1		
89	3C39-079	B	砂 岩 20	24.9	18.2	16.7	5.7	d		1	1		
90	3C39-080	B	砂 岩 21	36.4	22.3	19.7	16.0	d		2	1		
91	3C39-081	B	流 紋 岩 26	61.0	47.9	28.6	64.4	d		2	2	S	92
92	3C39-082	B	流 紋 岩 26	56.1	27.9	23.0	30.9	d		2	2	S	91
93	3C39-083	B	砂 岩 20	59.3	43.3	16.4	35.4	d		2	1	T	
94	3C39-084	B	砂 岩 20	33.9	26.1	26.0	30.2	d		1	1		
95	3C39-085	B	砂 岩 21	36.0	32.8	28.1	31.7	d		1	1		
96	3C39-086	B	砂 岩 20	56.7	36.6	33.4	61.5	d		—	1		
97	3C39-087	B	砂 岩 21	35.2	34.9	27.5	25.6	d		1	2		
98	3C39-088	B	砂 岩 21	17.7	13.3	12.3	2.5	d		1	1		
99	3C39-089	B	砂 岩 21	49.2	37.5	24.1	34.9	d		1	2		
100	3C39-090	B	砂 岩 21	35.3	17.5	21.5	13.7	d		1	2		
101	3C39-091	B	砂 岩 21	18.0	14.0	12.5	3.4	d		1	1		
102	3C39-092	B	砂 岩 20	42.3	26.6	26.3	21.9	d		1	1		
103	3C39-093	B	ホルンフェルス 8	46.0	32.3	15.1	20.4	d		3	1		
104	3C39-094	B	砂 岩 21	21.5	19.1	18.3	6.7	d		1	1		
105	3C39-095	B	砂 岩 21	22.0	19.5	13.8	7.1	d		1	1		
106	3C39-096	B	流 紋 岩 26	44.6	35.8	17.0	31.3	d		2	2		43
107	3C39-097	B	砂 岩 21	19.5	13.1	11.7	2.9	d		1	1		
108	3C39-098	B	砂 岩 21	33.7	28.7	21.0	18.8	d		2	1		
109	3C39-099	B	砂 岩 21	44.8	35.7	20.5	28.0	d		1	1	S	
110	3C39-101	B	砂 岩 20	26.1	21.8	17.2	11.0	d		1	1		
111	3C39-102	B	砂 岩 21	26.9	21.5	15.4	9.9	d		1	1		
112	3C39-103	B	砂 岩 21	30.9	26.8	22.9	14.2	d		1	1		
113	3C39-104	B	砂 岩 21	35.5	30.1	26.1	26.8	d		1	1		
114	3C39-128	B	流 紋 岩 26	42.8	28.4	25.2	27.3	d		3	2	S	
115	3C39-129	B	流 紋 岩 24	22.3	14.8	15.1	3.5	d		2	1		
116	3C39-130	B	砂 岩 21	33.8	30.8	20.4	14.6	d		1	1		
117	3C39-131	B	流 紋 岩 23	45.5	27.7	18.3	21.1	d		2	2	S	
118	3C39-132	B	流 紋 岩 24	17.6	11.6	3.4	0.7	d		1	1		
119	3C39-133	B	砂 岩 21	38.3	32.7	25.3	21.8	d		1	2		
120	3C39-134	B	流 紋 岩 23	60.1	40.8	19.5	45.2	d		2	3	T	
121	3C39-135	B	砂 岩 20	28.3	23.9	13.7	8.3	d		1	1		
122	3C39-136	B	砂 岩 21	35.5	22.3	17.4	12.3	d		—	1		
123	3C39-137	B	砂 岩 20	63.5	45.0	20.8	66.8	d		2	2		32
124	3C39-138	B	砂 岩 21	34.9	26.6	19.9	16.4	d		1	1		
125	3C39-139	B	砂 岩 21	27.0	18.9	17.1	6.4	d		1	1		
126	3C39-144	B	流 紋 岩 20	27.3	20.0	12.2	6.2	d		1	1		
127	3C39-145	B	流 紋 岩 20	42.7	30.3	17.5	25.0	d		1	1		
128	3C39-146	B	砂 岩 19	28.5	22.8	17.8	8.7	d		1	1		
129	3C39-147	B	流 紋 岩 23	30.1	25.5	16.8	11.4	d		2	2		
130	3C49-001	B	流 紋 岩 24	47.7	24.4	18.2	20.0	d		2	2		

第100表 第8礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	安山岩	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	130		47	79	2	3	0	0	0	130	6	38	75	20	2
%	100.00		36.15	60.77	1.54	1.54	0	0	0	100.00	4.61	29.23	57.69	15.38	1.54
重量	3,129.7	24.1	1,332.8	1,682.5	81.3	33.1	0	0	0	3,129.7	195.5	1,319.3	1,427.7	663.9	80.6
%	100.00		42.58	53.76	2.60	1.06	0	0	0	100.0	6.25	42.15	45.62	21.21	2.57

第101表 第9礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	断面 赤化	付着	接 合
1	3D30-005	B	チ ヤ ー ト 15	34.5	33.7	24.5	20.2	d		1	1		
2	3D30-007	B	砂 岩 20	27.9	25.4	18.5	11.9	d		1	1		
3	3D30-011	B	流 紋 岩 28	29.7	25.0	22.6	22.1	d		3	1	S	8,10,11
4	3D30-012	B	流 紋 岩 23	30.3	21.0	19.4	15.0	d		2	1		
5	3D30-018	B	チ ヤ ー ト 15	23.5	19.2	18.0	6.5	d		1	1		
6	3D30-019	B	流 紋 岩 20	13.2	7.9	4.7	0.5	d		1	1		
7	3D30-021	B	流 紋 岩 20	36.3	20.9	18.8	13.9	d		2	1		
8	3D30-022	B	流 紋 岩 28	50.8	36.6	26.8	54.1	d		1	1		3,10,11
9	3D30-023	B	流 紋 岩 29	50.8	37.5	14.9	34.8	d		2	2	S	12
10	3D30-024	B	流 紋 岩 28	65.9	47.2	26.1	76.0	d		2	1		3,8,11
11	3D30-025	B	流 紋 岩 28	51.4	35.1	18.8	44.1	d		3	2		3,8,10
12	3D30-026	B	流 紋 岩 29	43.3	28.7	13.2	17.6	d		3	2	S	9
13	3D30-028	B	砂 岩 19	53.3	36.2	24.5	49.6	d		1	2	S	
14	3D30-031	B	流 紋 岩 20	43.8	27.1	22.8	21.6	d		2	2	S	
15	3D30-032	B	流 紋 岩 31	21.8	13.6	8.8	2.3	d		1	1		
16	3D30-033	B	チ ヤ ー ト 15	30.4	33.3	20.9	19.1	d		1	1		
17	3D30-035	B	ホルンフェルス 8	25.5	21.7	18.1	8.4	d		1	1		
18	3D30-056	B	流 紋 岩 31	20.0	14.2	13.6	5.7	d		1	1		
19	3D30-060	B	流 紋 岩 32	85.6	59.0	43.7	238.2	b		3	2	S	20
20	3D30-061	B	流 紋 岩 32	24.2	22.2	9.3	4.6	d		3	2		19
21	3D30-064	B	流 紋 岩 23	40.1	34.2	27.8	42.3	d		2	2		
22	3D30-066	B	砂 岩 20	40.2	39.3	19.0	26.1	d		2	1		
23	3D30-067	B	流 紋 岩 23	37.5	36.3	15.5	20.7	d		2	2		
24	3D30-068	B	チ ヤ ー ト 15	22.9	18.2	15.5	7.6	d		2	2		
25	3D30-069	B	チ ヤ ー ト 15	30.4	26.0	22.1	20.9	d		2	2		
26	3D30-071	B	流 紋 岩 33	52.8	44.3	22.3	63.6	d		2	2		
27	3D30-072	B	流 紋 岩 31	42.5	38.4	23.6	50.9	d		3	1		
28	3D30-073	B	流 紋 岩 20	50.4	38.1	31.4	51.4	d		1	2		
29	3D30-074	B	流 紋 岩 31	24.9	16.3	16.1	4.0	d		2	2		
30	3D30-076	B	流 紋 岩 34	55.5	42.5	28.8	60.3	d		2	2		
31	3D30-077	B	砂 岩 20	15.8	12.4	10.1	1.9	d		1	1		
32	3D30-078	B	ホルンフェルス 8	49.9	38.7	22.7	49.2	d		2	1		
33	3D30-079	B	流 紋 岩 31	46.0	43.8	29.0	52.8	d		2	1		
34	3D30-080	B	ホルンフェルス 8	35.8	35.5	19.7	28.7	d		2	1		
35	3D30-081	B	流 紋 岩 31	30.3	22.3	17.5	12.4	d		1	1		
36	3D30-082	B	砂 岩 19	44.4	36.2	26.5	49.1	d		3	1		
37	3D30-083	B	流 紋 岩 35	60.0	52.5	39.0	118.0	d		3	2		
38	3D30-084	B	流 紋 岩 20	40.0	22.3	14.7	14.0	d		2	1		
39	3D30-085	B	流 紋 岩 20	59.4	43.0	15.6	31.9	d		2	1		
40	3D30-086	B	砂 岩 19	51.4	41.0	27.3	53.1	d		1	1		7-37
41	3D30-087	B	流 紋 岩 20	17.5	14.1	7.6	1.2	d		2	2		
42	3D30-092	B	流 紋 岩 35	38.3	26.5	10.4	9.4	d		3	1		52,47
43	3D30-093	B	石 英 斑 岩 5	44.6	43.6	34.4	64.3	d		3	2		55
44	3D30-094	B	砂 岩 20	33.0	23.0	16.2	10.6	d		2	1		45
45	3D30-095	B	砂 岩 20	41.5	32.1	18.3	25.5	d		2	1		44
46	3D30-096	B	砂 岩 20	20.2	13.3	9.1	2.1	d		2	1		
47	3D30-097	B	流 紋 岩 35	62.2	36.6	28.2	56.4	d		3	2		42,52
48	3D30-098	B	安 山 岩 74	28.3	22.4	22.5	11.0	d		2	1		
49	3D30-100	B	砂 岩 20	41.0	39.2	29.8	46.6	d		2	1		
50	3D30-101	B	砂 岩 20	12.1	9.3	7.6	0.8	d		1	1		
51	3D30-102	B	流 紋 岩 31	42.5	25.4	19.8	27.8	d		1	1		
52	3D30-103	B	流 紋 岩 35	52.7	41.4	30.0	70.9	d		3	2		42,47
53	3D30-104	B	流 紋 岩 31	36.4	29.2	26.0	30.6	d		1	2		
54	3D31-001	B	流 紋 岩 29	60.2	57.0	34.1	122.8	d		3	1	S	
55	3D40-009	B	石 英 斑 岩 5	29.0	28.5	13.0	10.1	d		2	2		43

第102表 第9礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	チャート	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	55		35	11	3	5	0	1	0	54	13	25	17	7	0
%	100.00		63.64	20.00	5.45	9.09	0	1.82	0	98.18	23.64	45.45	30.91	12.73	0
重量	1,915.2	34.8	1,466.3	277.3	86.3	74.3	0	238.2	0	1,677.0	868.4	690.5	356.3	506.7	0
%	100.00		76.56	14.48	4.51	3.88	0	12.44	0	87.56	45.34	36.05	18.60	26.46	0

第103表 第10礫群属性表 1

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	3C39-051	B	流 紋 岩 27	39.5	28.2	17.6	17.8	d		2	1		
2	3C39-052	B	流 紋 岩 36	59.2	43.5	36.3	36.3	d		2	1		
3	3C39-053	B	流 紋 岩 27	18.0	16.5	15.6	15.6	d		2	1		
4	3C39-054	B	流 紋 岩 27	34.4	21.1	17.9	10.5	d		—	1		
5	3C39-055	B	砂 岩 21	33.5	33.4	21.1	19.3	d		2	1		
6	3C39-056	B	流 紋 岩 22	29.8	17.1	18.1	8.0	d		2	1		
7	3C39-057	B	安 山 岩 76	40.0	35.8	24.2	40.2	d		2	1		8
8	3C39-058	B	安 山 岩 76	25.9	22.2	20.9	14.2	d		1	1		7
9	3C39-060	B	砂 岩 20	24.2	23.1	16.1	8.0	d		2	1		
10	3C39-061	B	流 紋 岩 22	51.5	37.4	16.0	34.8	d		3	2		65
11	3C39-062	B	砂 岩 20	12.5	9.7	8.6	1.2	d		—	1		
12	3C39-118	B	砂 岩 21	35.3	29.2	22.2	17.7	d		1	1		
13	3C39-119	B	砂 岩 20	36.9	32.8	22.0	25.9	d		1	1		
14	3C39-120	B	砂 岩 20	35.5	30.2	27.7	29.1	d		1	1		
15	3C39-121	B	砂 岩 20	28.5	24.0	11.4	5.3	d		—	1		
16	3C39-122	B	砂 岩 20	20.0	16.4	10.5	2.3	d		—	1		
17	3C39-123	B	流 紋 岩 31	79.5	50.7	20.1	96.2	d		3	3	S	89
18	3C39-124	B	流 紋 岩 29	57.8	38.1	28.3	54.2	d		3	1	S	
19	3C39-125	B	流 紋 岩 29	66.2	38.7	35.3	84.1	d		2	2	S	
20	3C39-126	B	砂 岩 20	37.5	26.7	17.8	17.2	d		2	1		
21	3C39-127	B	砂 岩 21	44.1	31.3	31.0	43.5	d		2	1		
22	3C49-018	B	砂 岩 20	27.5	21.2	20.4	10.1	d		—	1		
23	3C49-020	B	流 紋 岩 38	22.2	19.0	16.0	4.8	d		2	1		
24	3C49-021	B	流 紋 岩 38	35.4	25.0	17.2	12.8	d		2	1		
25	3C49-022	B	流 紋 岩 38	25.0	14.9	14.2	4.8	d		2	1		
26	3C49-023	B	流 紋 岩 38	30.8	28.5	23.3	15.2	d		3	1		
27	3C49-024	B	流 紋 岩 38	39.0	27.3	23.8	24.1	d		2	1		
28	3C49-026	B	流 紋 岩 38	39.3	38.5	16.7	22.6	d		2	1		
29	3C49-030	B	砂 岩 21	33.3	34.7	27.3	25.7	d		2	1		
30	3C49-031	B	砂 岩 21	32.3	31.8	25.2	16.4	d		2	1		
31	3C49-033	B	砂 岩 21	29.4	21.2	18.1	13.1	d		1	1		
32	3C49-034	B	砂 岩 20	48.0	35.4	28.2	33.2	d		—	2		
33	3C49-035	B	砂 岩 21	25.2	24.1	17.2	14.0	d		2	1		
34	3C49-039	B	砂 岩 20	27.6	17.4	14.0	5.1	d		—	1		
35	3C49-040	B	砂 岩 21	19.6	14.3	11.4	4.2	d		1	1		
36	3C49-041	B	流 紋 岩 27	35.9	25.5	18.2	12.1	d		2	1		
37	3C49-043	B	ホルンフェルス 9	28.8	23.9	18.8	13.6	d		—	1		
38	3C49-044	B	ホルンフェルス 9	37.3	35.3	30.6	35.0	d		2	1		
39	3C49-045	B	ホルンフェルス 9	40.1	36.6	29.0	37.6	d		2	1		
40	3C49-046	B	砂 岩 21	31.7	28.9	27.3	20.0	d		1	1		
41	3C49-047	B	砂 岩 21	36.0	27.2	22.7	16.4	d		2	1		
42	3C49-048	B	砂 岩 21	44.7	42.2	27.1	55.4	d		2	2		
43	3C49-049	B	砂 岩 20	25.9	24.9	17.2	9.0	d		2	1		
44	3C49-050	B	流 紋 岩 38	45.7	45.2	39.4	71.1	d		2	1	S	
45	3C49-051	B	砂 岩 21	21.8	14.2	9.4	3.0	d		—	1		
46	3C49-052	B	砂 岩 21	26.7	16.6	6.0	2.8	d		2	1		
47	3C49-053	B	砂 岩 22	62.2	41.7	39.5	101.3	d		1	1	S	49
48	3C49-054	B	砂 岩 20	20.6	18.3	14.9	4.6	d		2	1		
49	3C49-055	B	砂 岩 22	33.4	23.5	19.1	11.8	d		1	1		47
50	3C49-056	B	砂 岩 21	36.2	16.9	9.1	5.2	d		2	1		
51	3C49-057	B	砂 岩 21	35.5	34.5	31.5	28.5	d		2	1		
52	3C49-058	B	砂 岩 21	20.0	18.0	12.4	3.7	d		2	1		
53	3C49-059	B	砂 岩 20	21.3	18.3	11.9	4.5	d		—	1		
54	3C49-060	B	砂 岩 21	34.7	23.5	11.7	9.2	d		2	1		
55	3C49-064	B	流 紋 岩 31	22.0	15.8	14.1	5.6	d		1	2		
56	3C49-065	B	流 紋 岩 27	23.2	22.7	13.3	7.4	d		—	1		
57	3C49-067	B	砂 岩 20	22.2	21.6	12.7	4.8	d		—	1		
58	3C49-068	B	砂 岩 20	21.0	19.2	13.4	4.7	d		2	1		
59	3C49-069	B	流 紋 岩 31	32.2	21.0	19.3	11.7	d		2	1		
60	3C49-070	B	流 紋 岩 31	24.5	19.1	15.7	6.1	d		1	1		
61	3C49-072	B	砂 岩 21	38.7	25.0	18.0	15.8	d		1	1		
62	3C49-073	B	砂 岩 20	30.3	25.0	21.7	13.2	d		2	1		
63	3C49-074	B	砂 岩 21	17.8	19.3	8.9	1.5	d		2	1		
64	3C49-075	B	砂 岩 20	48.5	37.8	8.9	14.5	d		1	2		
65	3C49-076	B	流 紋 岩 22	39.0	32.1	22.7	32.7	d		2	2		10
66	3C49-077	B	流 紋 岩 23	38.7	32.4	22.0	23.9	d		2	2		
67	3C49-078	B	砂 岩 20	37.2	24.2	13.0	12.6	d		2	1		
68	3C49-080	B	流 紋 岩 38	35.4	28.5	12.3	12.7	d		2	1		
69	3C49-081	B	砂 岩 20	23.2	14.3	12.7	4.2	d		1	2		
70	3C49-082	B	流 紋 岩 25	50.2	39.4	15.3	32.7	d		2	1		

第104表 第10号礫群属性表 2

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	附着	接 合
71	3C49-083	B	ホルンフェルス 9	32.0	27.5	21.8	16.0	d		—	1		
72	3C49-084	B	ホルンフェルス 9	27.3	26.4	23.1	17.9	d		2	1		
73	3C49-085	B	砂 岩 21	43.3	31.0	30.0	32.1	d		2	1		
74	3C49-086	B	流 紋 岩 38	38.9	30.9	29.4	36.9	d		3	2		
75	3C49-087	B	ホルンフェルス 9	29.8	22.2	19.5	11.2	d		2	1		
76	3C49-088	B	流 紋 岩 38	41.9	30.5	29.1	34.0	d		2	1		
77	3C49-089	B	流 紋 岩 25	66.6	43.6	25.0	71.3	d		2	1	T	
78	3C49-090	B	砂 岩 21	39.7	31.0	28.8	35.1	d		2	1		
79	3C49-091	B	砂 岩 21	28.1	36.1	25.5	18.5	d		2	1		
80	3C49-092	B	砂 岩 21	50.5	30.4	24.1	34.2	d		1	1		
81	3C49-093	B	流 紋 岩 38	47.6	40.9	19.2	41.6	d		2	1	S	
82	3C49-094	B	ホルンフェルス 9	43.5	35.1	21.6	32.1	d		2	1	S	
83	3C49-095	B	砂 岩 20	18.2	15.3	14.2	2.7	d		1	1		
84	3C49-096	B	砂 岩 21	48.9	31.0	30.5	45.8	d		3	1		
85	3C49-097	B	流 紋 岩 34	68.5	37.5	36.9	106.9	d		3	3		
86	3C49-098	B	砂 岩 21	29.6	27.5	16.1	15.5	d		—	1		
87	3C49-099	B	流 紋 岩 38	41.0	31.8	23.2	38.6	d		3	2		
88	3C49-100	B	砂 岩 21	38.0	19.4	16.3	10.4	d		1	1		
89	3C49-101	B	流 紋 岩 37	59.5	40.5	33.5	77.2	d		3	1		17
90	3C49-102	B	砂 岩 21	38.8	27.0	24.6	27.5	d		2	1		
91	3C49-103	B	砂 岩 20	32.7	20.4	18.1	10.2	d		1	1		
92	3C49-104	B	砂 岩 21	41.1	29.8	24.3	22.6	d		1	1		
93	3C49-105	B	砂 岩 21	42.3	30.5	25.8	24.3	d		1	2		
94	3C49-106	B	砂 岩 21	46.0	40.2	30.2	44.0	d		2	2		
95	3C49-107	B	流 紋 岩 29	52.1	46.5	35.0	72.4	d		1	1	S	
96	3C49-108	B	流 紋 岩 37	26.2	25.8	18.5	8.5	d		2	2		
97	3C49-109	B	流 紋 岩 37	18.5	14.7	10.8	2.3	d		2	1		
98	3C49-110	B	砂 岩 21	26.2	21.9	18.2	13.0	d		1	1		
99	3C49-111	B	砂 岩 20	40.8	39.3	19.7	31.9	d		2	1		
100	3C49-112	B	砂 岩 20	18.5	17.0	12.9	4.2	d		2	1		
101	3C49-113	B	流 紋 岩 37	41.2	27.4	23.8	24.3	d		3	1		
102	3C49-114	B	砂 岩 21	37.3	36.0	25.8	27.1	d		2	1	S	
103	3C49-115	B	砂 岩 20	20.1	16.8	10.9	2.8	d		2	1		
104	3C49-116	B	砂 岩 20	11.2	10.3	9.3	1.0	d		—	1		
105	3C49-117	B	砂 岩 21	40.1	31.7	27.8	21.3	d		1	1		
106	3C49-118	B	砂 岩 21	24.3	21.7	18.9	10.0	d		2	1		
107	3C49-119	B	砂 岩 20	25.2	21.0	18.2	9.2	d		1	1		
108	3C49-120	B	砂 岩 20	28.2	27.4	16.6	11.2	d		1	1		
109	3C49-121	B	砂 岩 21	46.2	30.5	26.0	39.3	d		2	1		
110	3C49-122	B	砂 岩 21	53.3	39.6	30.0	59.3	d		1	1		
111	3C49-123	B	砂 岩 20	39.0	33.5	26.1	33.9	d		1	1		
112	3C49-124	B	砂 岩 21	42.1	41.5	30.2	55.1	d		2	1		
113	3C49-125	B	砂 岩 21	20.9	15.2	12.7	4.4	d		1	1		
114	3C49-126	B	流 紋 岩 39	41.3	30.1	19.9	22.1	d		2	1		
115	3D40-001	B	流 紋 岩 31	29.1	22.3	13.5	9.5	d		3	1		116
116	3D40-002	B	流 紋 岩 31	32.0	25.1	15.6	13.3	d		3	1		115

第105表 第10号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	安山岩	a	b	c	d	A	B	C	スス状	タール状
点数	116		39	68	7	2	0	0	0	116	12	61	28	9	1
%	100.00		33.62	58.62	6.03	1.72	0	0	0	100.00	10.34	52.59	24.14	7.76	0.86
重量	2,719.1	23.4	1,276.7	1,284.6	163.4	54.4	0	0	0	2,719.1	552.9	1,420.1	612.6	580.1	71.3
%	100.00		44.75	47.24	6.01	2.00	0	0	0	100.00	20.33	52.23	22.53	21.33	2.62

第106表 第11号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	3D21-001	B	流 紋 岩 39	31.7	25.5	12.6	9.8	d		2	1		4
2	3D21-002	B	流 紋 岩 22	17.0	14.5	8.3	1.5	d		2	1		
3	3D21-007	B	流 紋 岩 39	55.8	42.0	23.0	47.0	d		1	1	S	
4	3D21-009	B	流 紋 岩 39	41.5	36.6	17.7	22.9	d		1	1		1
5	3D21-012	B	流 紋 岩 39	66.6	52.3	15.4	58.2	d		1	1	S	
6	3D21-013	B	流 紋 岩 39	19.5	13.7	10.1	2.1	d		-	1		
7	3D21-015	B	チ ヤ ー ト 16	54.9	49.4	34.5	87.8	c		3	1	T	
8	3D21-024	B	流 紋 岩 22	33.6	18.6	12.1	6.7	d		1	1		
9	3D21-025	B	安 山 岩 74	54.5	53.3	43.8	143.1	d		2	1		
10	3D21-026	A	安 山 岩 77	70.0	53.4	35.8	131.5	a		2	-		
11	3D21-027	B	流 紋 岩 22	18.5	17.0	15.5	4.6	d		1	2		
12	3D21-028	B	流 紋 岩 22	39.6	25.2	20.0	18.6	d		2	1		17,18
13	3D21-035	B	チ ヤ ー ト 16	22.7	15.7	7.4	2.6	d		3	1		
14	3D21-036	B	チ ヤ ー ト 16	29.4	19.7	16.1	19.1	d		3	1	S	
15	3D21-038	B	チ ヤ ー ト 16	19.4	18.6	9.0	3.2	d		3	1		
16	3D21-047	B	流 紋 岩 39	16.8	11.9	7.0	1.2	d		1	1		
17	3D21-054	B	流 紋 岩 22	47.8	41.2	32.2	55.9	d		2	1		12,18
18	3D21-055	B	流 紋 岩 22	53.6	41.6	36.3	94.9	d		2	1		12,17

第107表 第11号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	チャート	安山岩	その他	a	b	c	d	A	B	C	スス状	ケール状
点数	18		12	4	2	0	1	0	1	16	4	7	6	3	1
%	100.00		66.67	22.22	11.11	0	5.55	0	5.55	88.89	22.22	38.89	33.33	16.67	5.55
重量	710.7	39.5	323.4	112.7	274.6	0	131.5	0	87.8	491.4	112.7	455.3	140.6	124.3	87.8
%	100.00		45.50	15.86	38.68	0	18.50	0	12.35	69.14	15.86	64.06	19.78	17.49	12.35

第108表 第12号礫群属性表

No	遺物番号	分類	母 岩	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	遺存	復元	表面 赤化	剖面 赤化	付着	接 合
1	4D63-021	B	流 紋 岩 40	53.0	52.6	42.8	80.9	d		2	1	S	3
2	4D63-026	B	砂 岩 21	25.0	16.8	4.5	7.4	d		1	1		6
3	4D64-004	B	流 紋 岩 40	76.3	57.2	38.8	158.6	d		2	1		1
4	4D64-014	B	流 紋 岩 41	43.5	42.8	22.8	41.7	d		3	2	S	8,9
5	4D64-016	B	流 紋 岩 40	18.6	9.4	5.5	1.1	d		2	2		
6	4D64-018	B	砂 岩 21	33.5	27.4	23.2	17.6	d		1	1		2
7	4D64-019	B	砂 岩 21	16.9	10.4	8.8	1.4	d		1	1		
8	4D64-061	B	流 紋 岩 41	47.9	43.8	21.1	48.7	d		2	3	S	4,9
9	4D64-062	B	流 紋 岩 41	66.5	46.3	37.3	90.3	d		3	2	S	4,8

第109表 第12号礫群構成表

	資料数	平均重量 g	石 材				遺 存 度				赤 化 度			付 着 物	
			流紋岩類	砂 岩	ホルンフェルス	その他	a	b	c	d	A	B	C	スス状	ケール状
点数	9		6	3	0	0	0	0	0	9	2	4	3	4	0
%	100.00		66.67	33.33	0	0	0	0	0	100.00	22.22	44.44	33.33	44.44	0
重量	447.7	49.7	421.3	26.4	0	0	0	0	0	447.7	132.0	289.3	26.4	261.6	0
%	100.00		94.10	5.90	0	0	0	0	0	100.00	29.48	64.62	5.90	58.43	0

第110表 縄文時代石器属性表

番号	器 種	石 材	長×幅×厚 (mm)	重量 (g)	登録番号	番号	器 種	石 材	長×幅×厚 (mm)	重量 (g)	登録番号
1	石 鏃	チャート	(38.9)×17.5×3.5	2.2	5D64-6	6	石 鏃	黒曜石	(24.0)×(18.8)×4.9	1.7	5D12-5
2	石 鏃	チャート	28.6×16.1×4.1	1.7	5E83-34	7	石 鏃	珪質頁岩	33.6×(9.0)×4.4	0.9	5D53-8
3	石 鏃	チャート	27.1×16.6×3.7	1.6	4D64-27	8	石 鏃	チャート	27.3×(15.6)×3.4	0.8	3E49-4
4	石 鏃	チャート	(18.4)×(11.5)×3.3	0.7	5E83-35	9	石 鏃	安山岩	27.2×(19.9)×4.2	1.4	5D98-11
5	石 鏃	黒曜石	25.0×14.4×4.2	1.6	5D34-7						

第111表 遺跡出土鉄滓等組成表

(単位=g、数量:個数)

分 類	磁着度 合計		磁着度 1		磁着度 2		磁着度 3		磁着度 4		磁着度 5	
	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量
製 鍊 滓 1	116.5	2	76.2	1			40.3	1				
製 鍊 滓 2	737.1	36	456.2	23	179.8	8	101.1	5				
製 鍊 滓 3	455.1	112	285.5	63	145.0	40	24.6	9				
流 出 滓 1	1688.2	18	1553.3	17	134.9	1						
流 出 滓 2	578.8	28	564.5	27	14.3	1						
流 出 滓 3	208.3	30	205.9	29	2.4	1						
含鉄碗形滓 1	456.6	3					101.1	1	183.3	1	172.2	1
含鉄鉄滓 1	42.5	1					42.5	1				
含鉄鉄滓 2	167.5	23					27.9	4	118.5	18	21.1	1
含鉄鉄滓 3	173.2	36			95.2	24	78.0	12				
鉄塊系遺物 1	64.4	1			64.4	1						
鉄塊系遺物 2	137.4	4	18.7	1	32.6	1			86.1	2		
鉄塊系遺物 3	54.3	5			34.3	3	7.0	1	13.0	1		
流出孔滓 2	151.5	4	151.5	4								
流出孔滓 3	42.1	3	42.1	3								
総 量	5073.5	306	3353.9	168	702.9	80	422.5	34	400.9	22	193.3	2
重 量 比			66.1%		13.9%		8.3%		7.9%		3.8%	
数 量 比				54.9%		26.1%		11.1%		7.2%		0.7%
平 均	16.6 g		20.0 g		8.8 g		12.4 g		18.2 g		96.7 g	

炉壁 合計1254.7g 14個

第112表 1号竪穴住居跡出土鉄滓等組成表

(単位=g、数量:個数)

分 類	磁着度 合計		磁着度 1		磁着度 2		磁着度 3		磁着度 4		磁着度 5	
	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量
製 鍊 滓 3	3.5	1	3.5	1								
含鉄鉄滓 1	42.5	1					42.5	1				
含鉄鉄滓 2	33.8	4					14.5	2	19.3	2		
含鉄鉄滓 3	5.6	1			5.6	1						
総 量	85.4	7	3.5	1	5.6	1	57.0	3	19.3	2		
重 量 比			4.1%		6.3%		66.7%		22.6%			
数 量 比				14.2%		14.2%		42.9%		28.6%		
平 均	12.2 g		3.5 g		5.6 g		19.0 g		9.7 g			

第113表 1号竪穴住居跡及び周辺グリッド出土鉄滓等組成表

(単位 = g、数量 : 個数)

分 類	磁着度 合計		磁着度 1		磁着度 2		磁着度 3		磁着度 4		磁着度 5	
	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量
製 錬 滓 1	76.2	1	76.2	1								
製 錬 滓 2	696.2	33	433.5	21	179.8	8	92.9	4				
製 錬 滓 3	442.5	109	272.9	60	145.0	40	24.6	9				
流 出 滓 1	327.3	3	327.3	3								
流 出 滓 2	43.6	4	29.3	3	14.3	1						
流 出 滓 3	93.6	15	91.2	14	2.4	1						
含 鉄 鉄 滓 1	42.5	1					42.5	1				
含 鉄 鉄 滓 2	167.5	23					27.9	4	118.5	18	21.1	1
含 鉄 鉄 滓 3	173.2	36			95.2	24	78.0	12				
鉄塊系遺物 1	64.4	1			64.4	1						
鉄塊系遺物 2	137.4	4	18.7	1	32.6	1			86.1	2		
鉄塊系遺物 3	54.3	5			34.3	3	7.0	1	13.0	1		
流 出 孔 滓 2	52.2	1	52.2	1								
総 量	2370.9	236	1301.3	104	568.0	79	262.9	31	217.6	21	21.1	1
重 量 比			54.9%		23.9%		11.1%		9.2%		0.9%	
数 量 比				44.1%		33.5%		13.1%		8.9%		0.4%
平 均	10.0 g		12.5 g		7.2 g		8.5 g		10.4 g		21.1 g	

第114表 鉄滓等遺物観察表

挿図No.	出土位置 遺物名称・推定位置 長さ×幅×厚さ(cm)；重量(g)	遺存度 磁着度 メタル度	破面数 色調(表：地)	表面観察 表面状況・破面位置・気孔・木炭 痕・付着物等	生成状態・特記事項
1	3E49グリッド 流出滓 7.3×4.5×3.9 187.3	破片 1 なし	4面 暗灰色：灰色	滑らかな滓。底面は平坦であり、 地面に接地していたことがわかる。 上面には大きな気孔がみられる。	炉から流れ出た滓。 緻密で重量感がある。
2	3F64グリッド 流出滓 5.4×5.1×3.3 83.4	破片 1 なし	4面 黒灰色：暗灰色	滑らかな滓。底面は平坦で、細か な砂粒が多く付着する。破面には 大きな気孔がみられる。	炉から流れ出た滓。 緻密で重量感がある。
3	4C82グリッド 製錬炉内滓 5.6×3.0×2.3 40.3	破片 3 なし	3面 黒灰色：暗灰色	自然面は黒灰色で、部分的に黒色 のガラス質滓がみられる。下面に は気孔が多くみられる。	炉壁に近い部分の炉内 生成物。
4	3F51グリッド 鉄塊系遺物 4.0×2.8×1.9 21.3	破片 3 なし	2面 灰色：暗青灰色	表面には炉内滓が付着している。 部分的に黒錆が存在し、錆化によ る亀裂がみられる。	比較的大型の鉄塊系遺 物が錆化により割れて 分離したもの。
5	3E59グリッド 流出孔滓 4.9×3.5×2.4 52.2	破片 1 なし	4面 灰色：灰色	緻密な滓であり、気泡が少量みら れる。側面部には細かい砂粒が付 着し、木炭痕が2か所にみられる。	流出孔を塞ぐ状態で固 まった流出滓。ほぼ半 截状態。孔の直径は5 cm前後である。
6	3F62グリッド 製錬炉内滓 4.6×3.8×2.9 57.1	破片 2 なし	9面 暗灰色：灰色	緻密で重量感がある。上面にあっ たと考えられる鉄部分を回収する ために人為的に滓部分が割られて いる。	剝離痕が明瞭に認めら れる。
7	1号竪穴住居跡 含鉄鉄滓 4.7×5.0×2.5 42.2	破片 3 なし	2面 暗褐色：暗褐色	表面には酸化土砂が部分的に付 着。中心部分に木炭があり、周囲 は赤錆による錆化が著しい。	木炭の周囲に金属部分 が形成される。
8	1号竪穴住居跡 含鉄鉄滓 4.2×2.1×1.5 9.5	破片 3 なし	2面 暗褐色：暗褐色	表面には酸化土砂が部分的に付 着。中心部分に木炭があり、周囲 は赤錆がみられる。	木炭の周囲に金属部分 が形成される。
9	3F61グリッド 製錬炉内滓(炉壁溶解物主体) 4.9×4.3×3.9 76.2	破片 1 なし	6面 暗褐色：黒色	一部に炉壁を残す黒色のガラス質 滓を主体とした炉内滓である。	炉壁残存部には白色粒 が多くみられ、スサの 痕跡が認められる。
10	3F63グリッド 炉壁(炉壁溶解物主体) 5.9×5.2×2.8 85.3	破片 1 なし	4面 暗灰色：明褐色	溶解が進んだ炉壁の一部である。 溶解部分は流動垂下が認められる。	炉壁部分には多方向の スサの痕跡が顕著に残 る。白色粒子を多く含 む。
11	3D39グリッド 含鉄椀形鍛冶滓 中核部 8.9×.1×3.2 183.3	破片 4 なし	2面 暗褐色：暗褐色	破面は側面にある。上面には木炭 痕がみられ、表面に赤錆が認めら れる。底面は炉床と接地していた と考えられる。	薄手ではあるが、緻密 で重量感がある滓。底 面には炉床粘土・砂粒 が付着する。
12	4E22グリッド 含鉄椀形鍛冶滓 周縁部 5.4×4.9×2.6 101.1	破片 3 なし	2面 暗灰色：暗灰色	破面は側面にあり、上面に木炭痕 と赤錆が認められる。底面は炉床 と接地していたと考えられる。	気孔が少なく、非常に 緻密な滓。底面に炉床 粘土が付着する。
13	3D05グリッド 炉壁 13.2×15.4×6.8 845.5	破片 2 なし	4面 暗灰色：暗灰色	長方形箱形炉の炉底に近い部分の 側壁である。通風口の一部が幅8.8 cm以上の間隔で2個並んでみられ る。溶解部分の厚さは約5cmであ る。	炉壁部分には、底部付 近にはスサが横方向、 他の部分はスサが多 方向に認められる。白色 砂粒が多く存在する。

写真図版



遺跡近景 (空港予定地内)



遺跡近景 (防音堤内)



1ブロック (南から)



2~4ブロック (南から)



6ブロック (東から)



7ブロック (南西から)



8ブロック (東から)



9ブロック (東から)



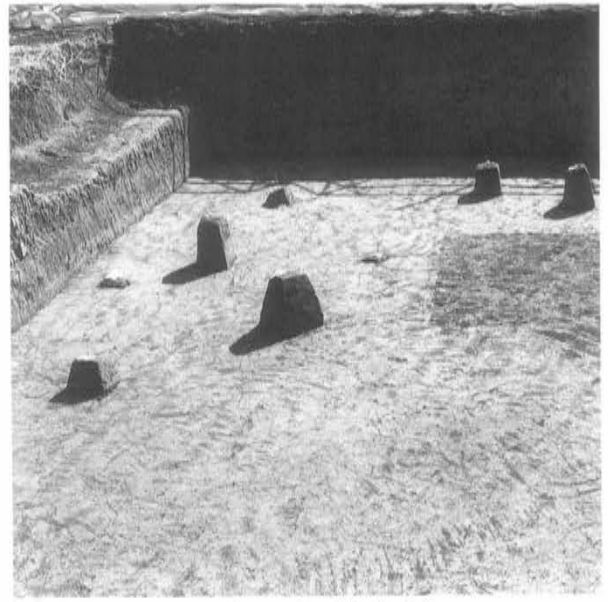
10ブロック (南西から)



11ブロック (北から)



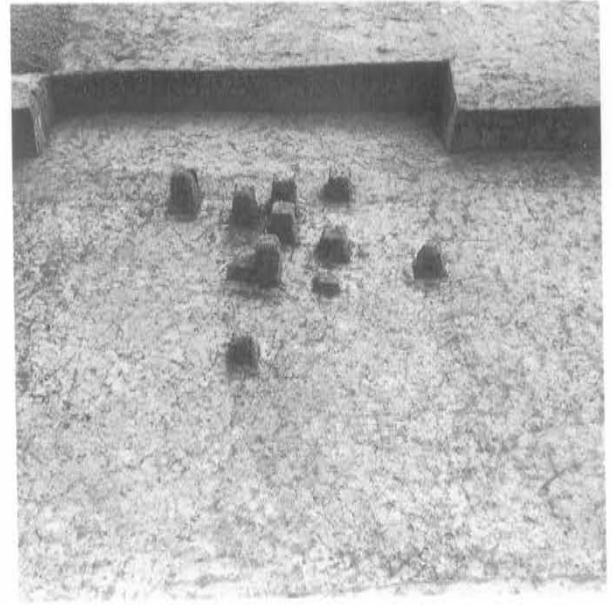
12ブロック (南西から)



13ブロック (北から)



14~15ブロック (北東から)



16ブロック (北から)



17ブロック (南東から)



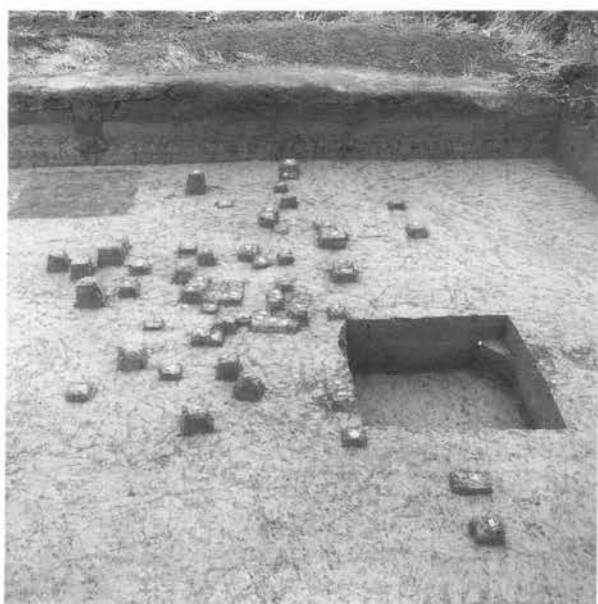
18ブロック (西から)



19ブロック (西から)



20ブロック (北から)



21~23ブロック (東から)



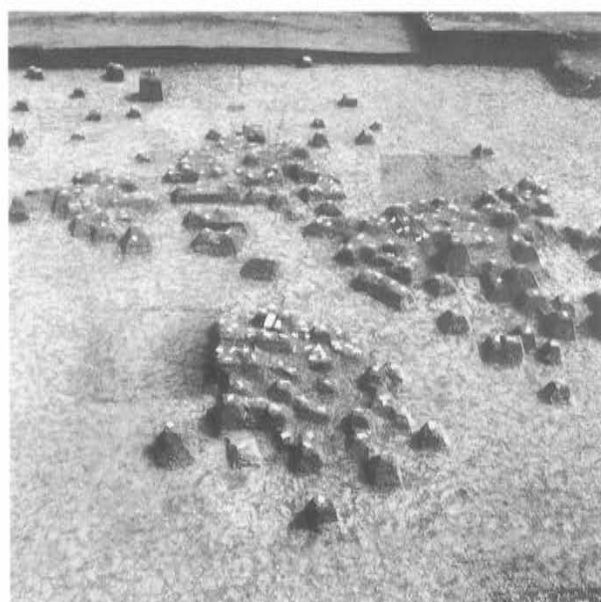
21~23ブロック (東から)



24ブロック (東から)



25ブロック (西から)



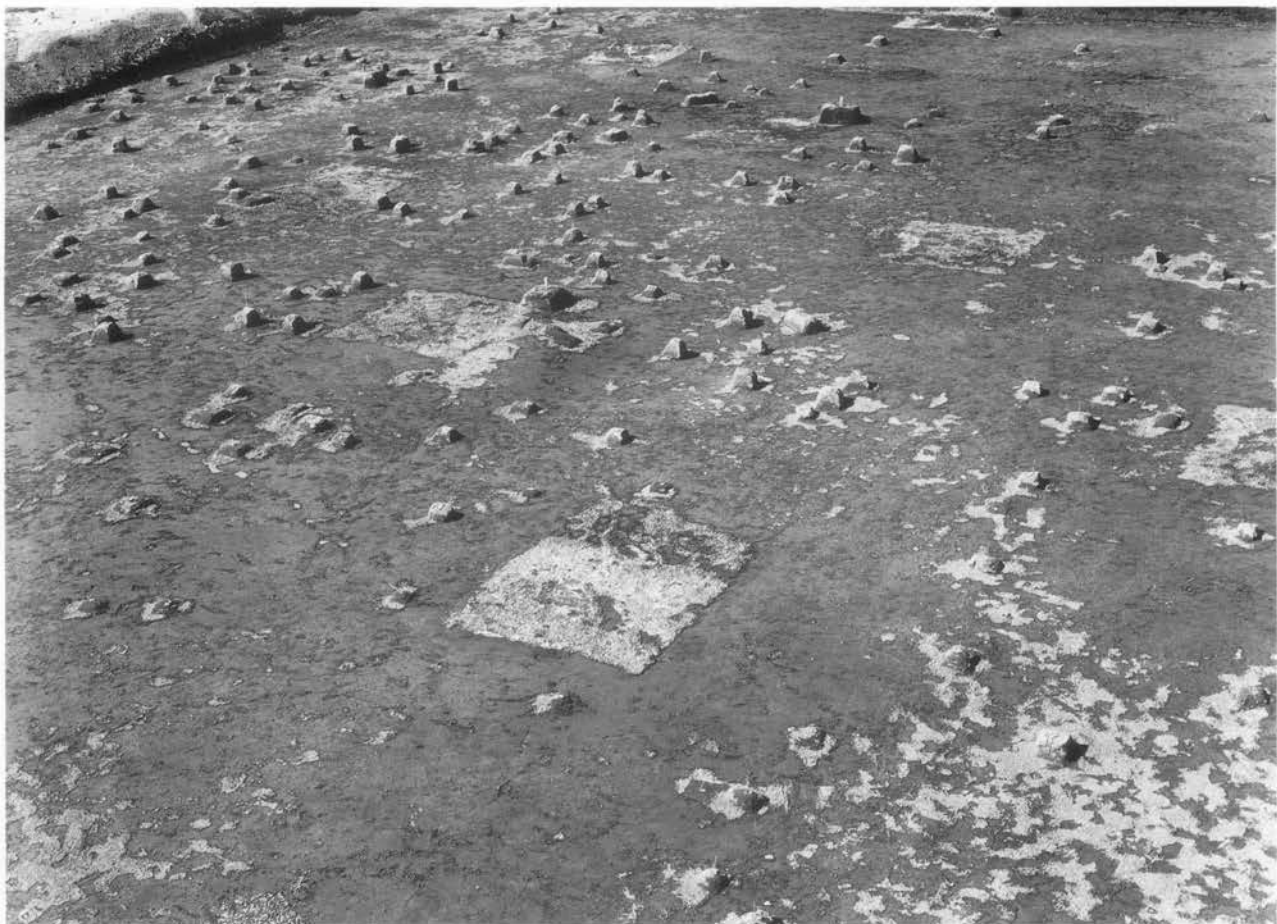
26~29ブロック (西から)



30ブロック (南西から)



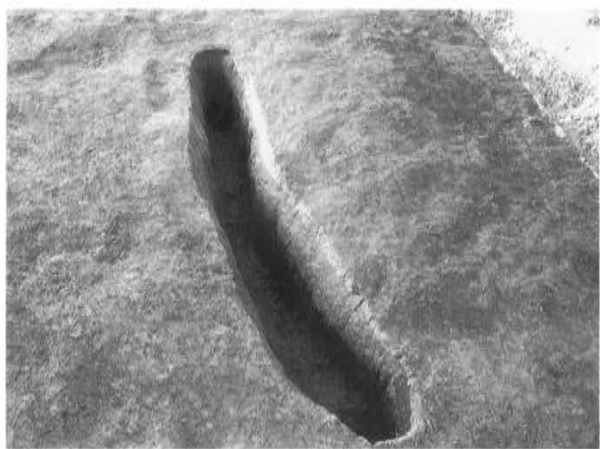
31ブロック (南から)



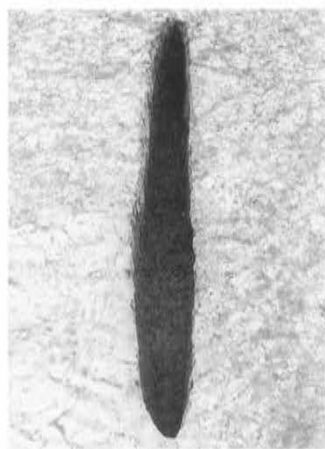
包含層遺物出土状況（5 D区）



鉄滓等出土状況（3 F63区）



1·2号陷穴



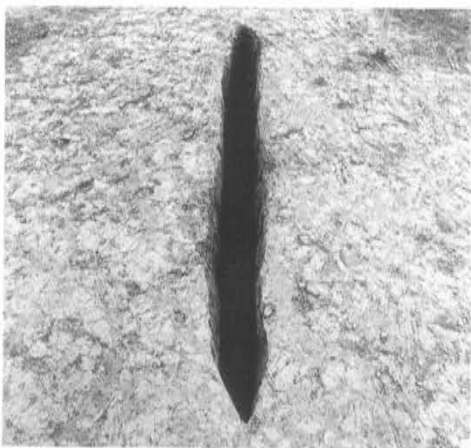
3号陷穴



4号陷穴



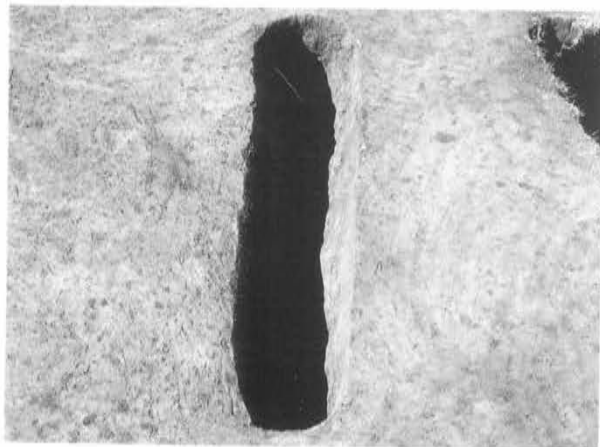
5号陷穴



6号陷穴



7号陷穴



8号陷穴



1号土坑



1号竪穴住居跡全景



1号竪穴住居跡遺物出土状況



1号竪穴住居跡カマド



1号溝 (南から)



2号溝 (西北西から)



1



2

3

第1ブロック
出土石器



3



2



4



5



1



6



7



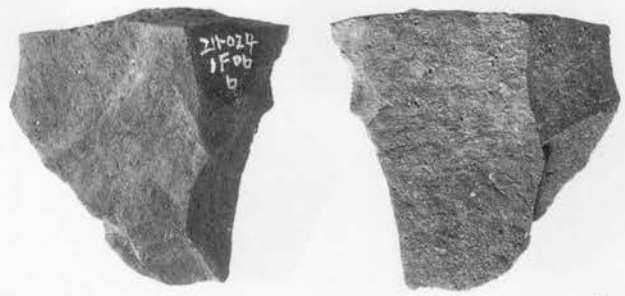
8

第2ブロック
出土石器



1

2



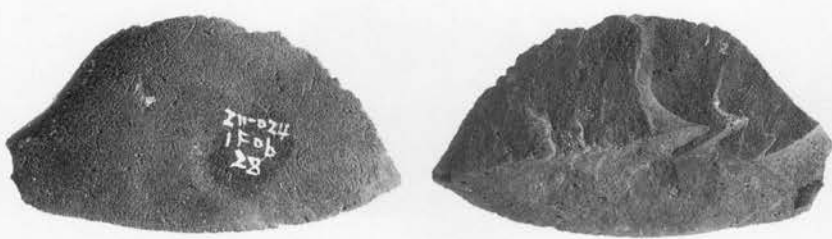
3



4



3



4

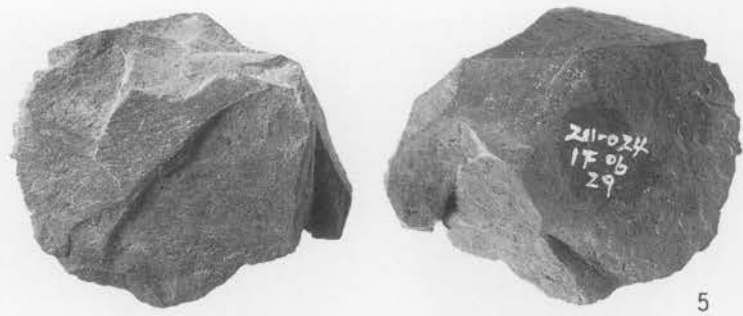


2

3

第3ブロック
出土石器

第4ブロック
出土石器1



5

第4ブロック
出土石器2



1



2



4



3



7



5



8



6



9



10a



11

第5ブロック
出土石器1



12

14

13



15

16



1a+b+c+d



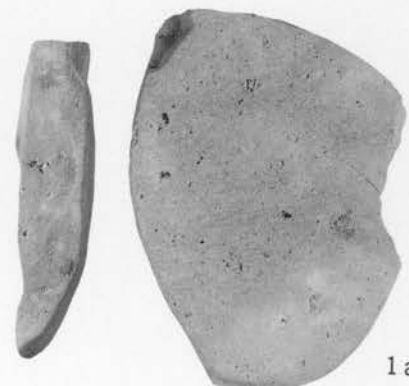
1c



1b



1d



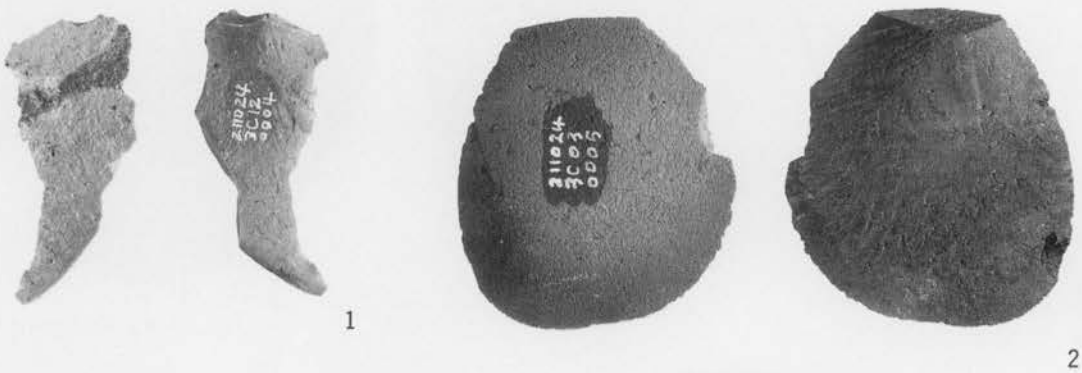
1a

第5ブロック
出土石器2

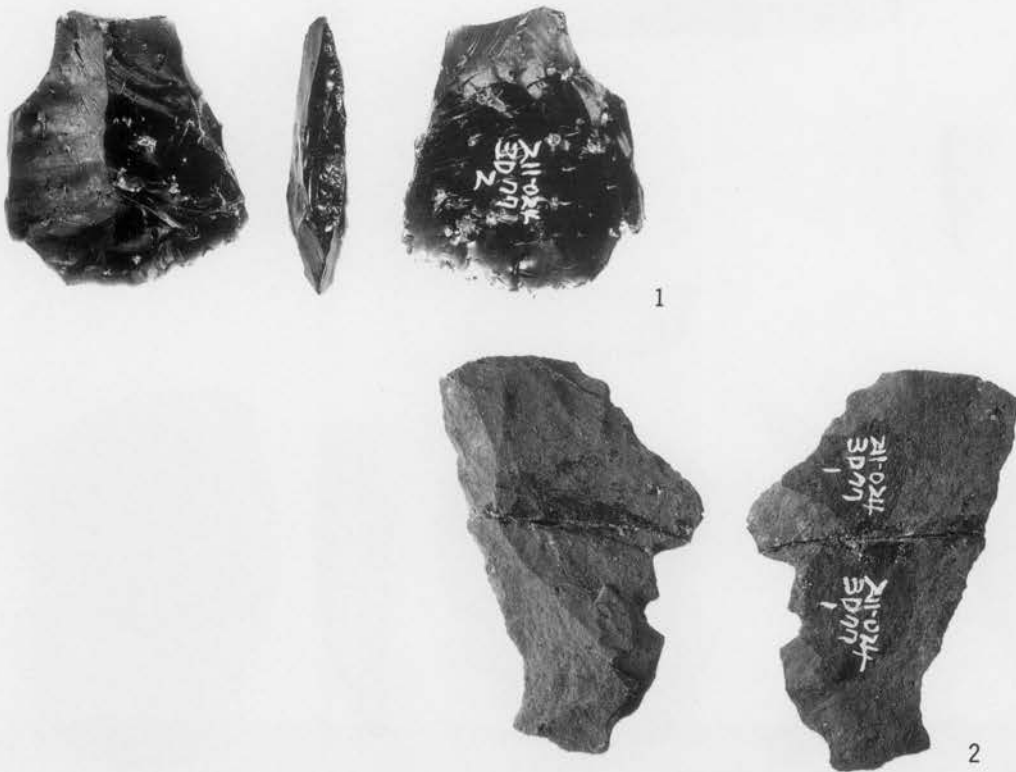
第6ブロック
出土石器1



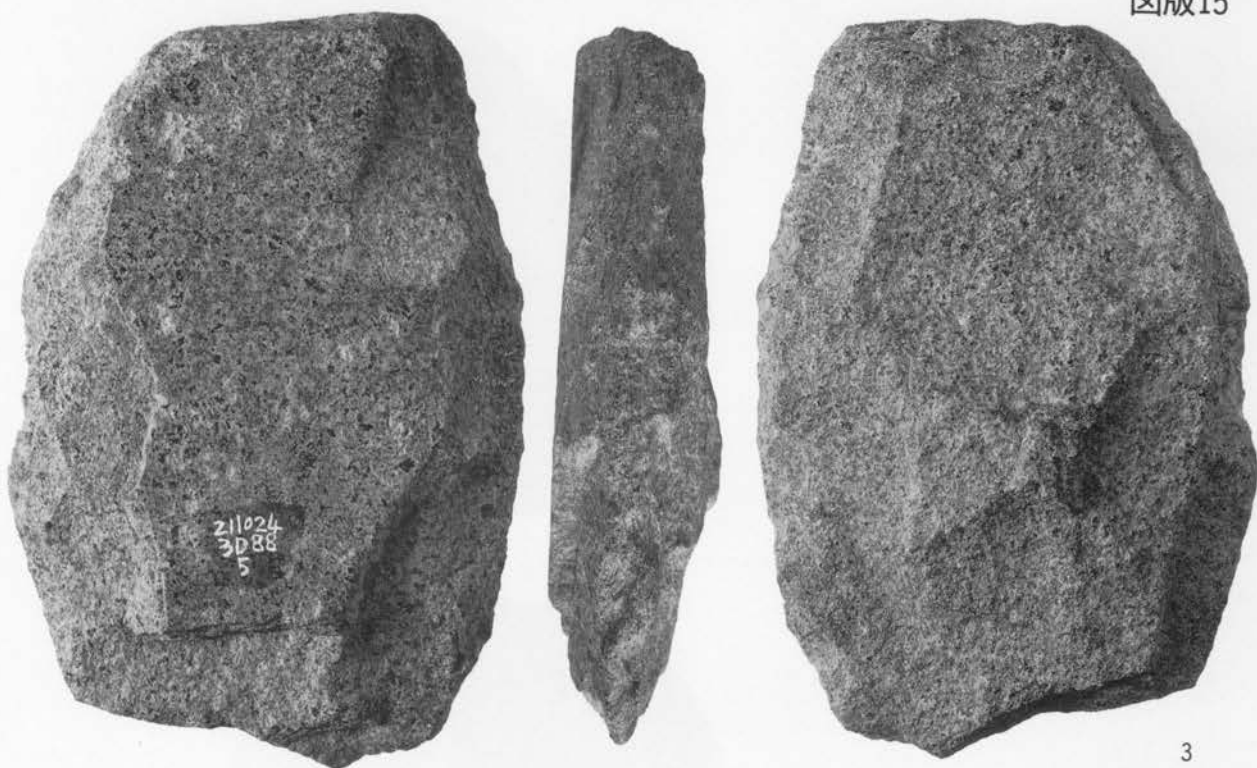
第6ブロック
出土石器2



第7ブロック
出土石器



第8ブロック
出土石器1



3



第8ブロック
出土石器2



2



3



1c



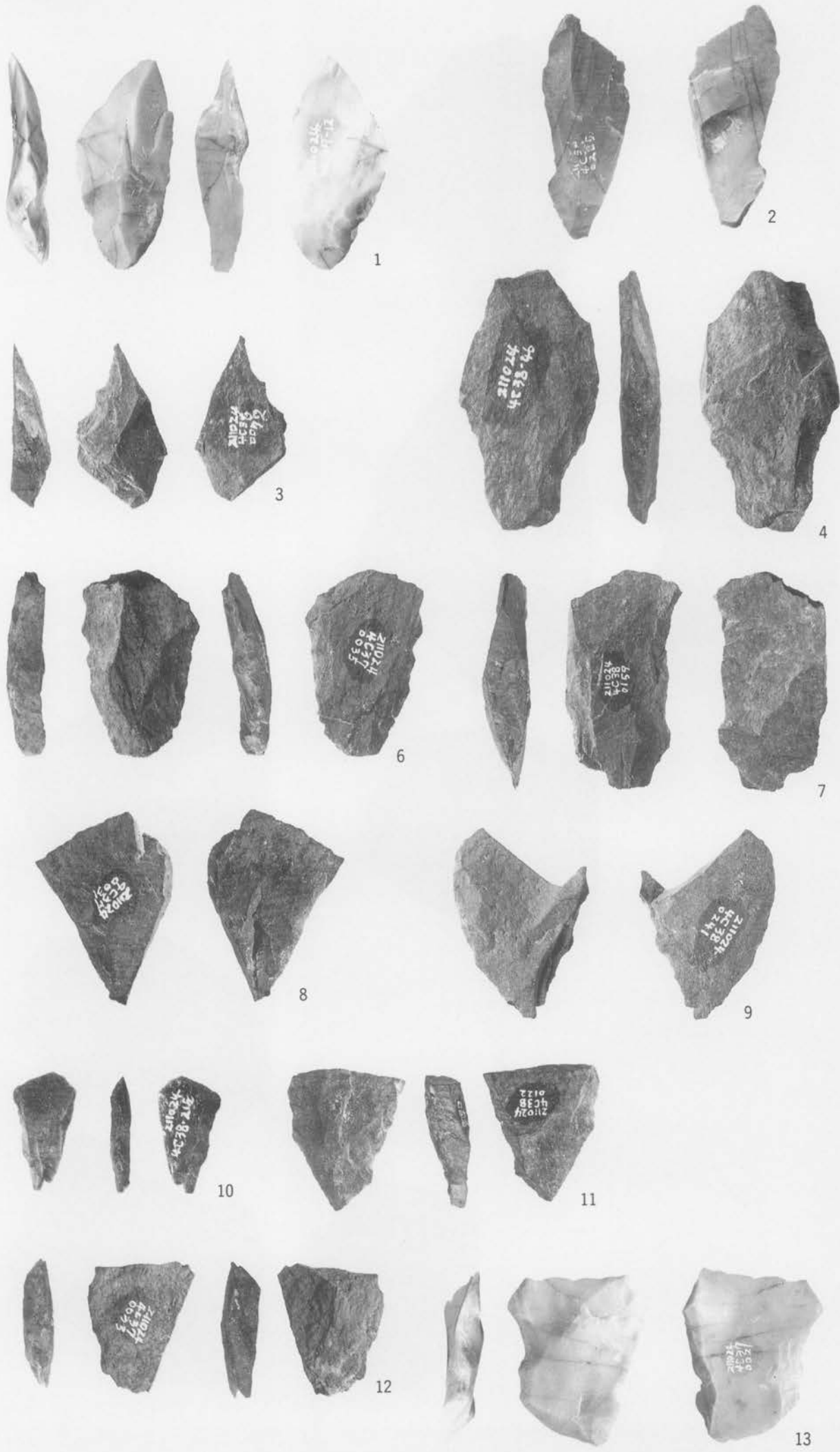
1d

第9ブロック
出土石器1



1a+b+c+d







第10ブロック
出土石器 2





24



25

26

27



28a+b

28b



28a



29



30



31



32



33



37



38



39



34



40



35a+b+c



36



42



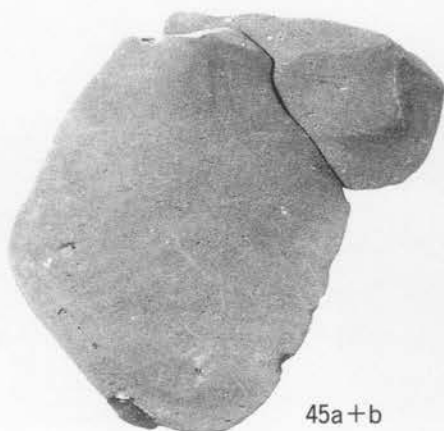
44



41



43a+b



45a+b



2



6



3



4



5



1

4a+b



2



3



第12ブロック
出土石器



1



2

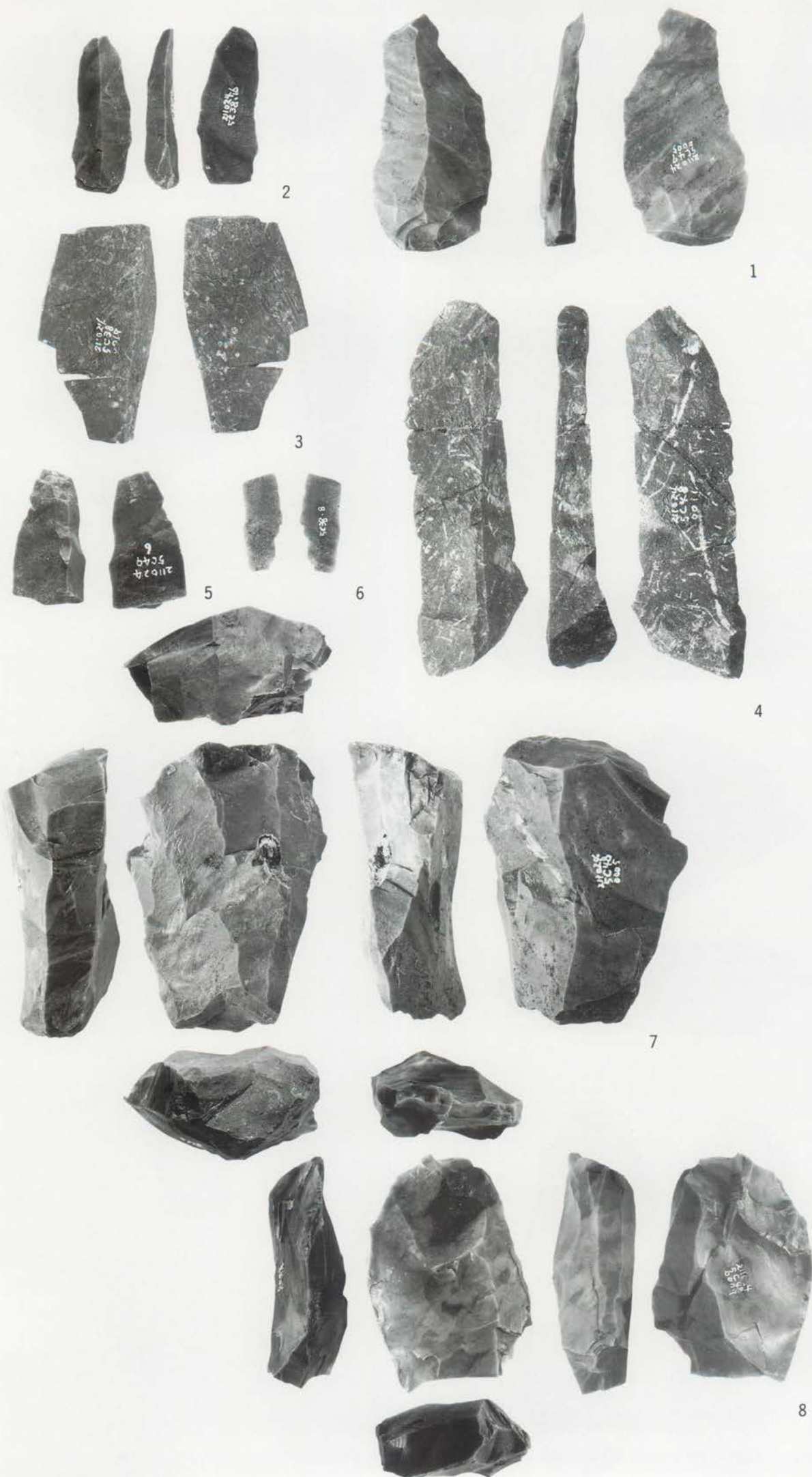


3



4

第13ブロック
出土石器





9

10

11



12

13



14

15

第14ブロック
出土石器 2



1

2

4



3

5



8

6

7

第15ブロック
出土石器 1



9 a+b



10a+b



10a



10b



11



12



13

第15ブロック
出土石器 3



2a+b+c+d

第16ブロック
出土石器



1



2



3



4



5a+b

6

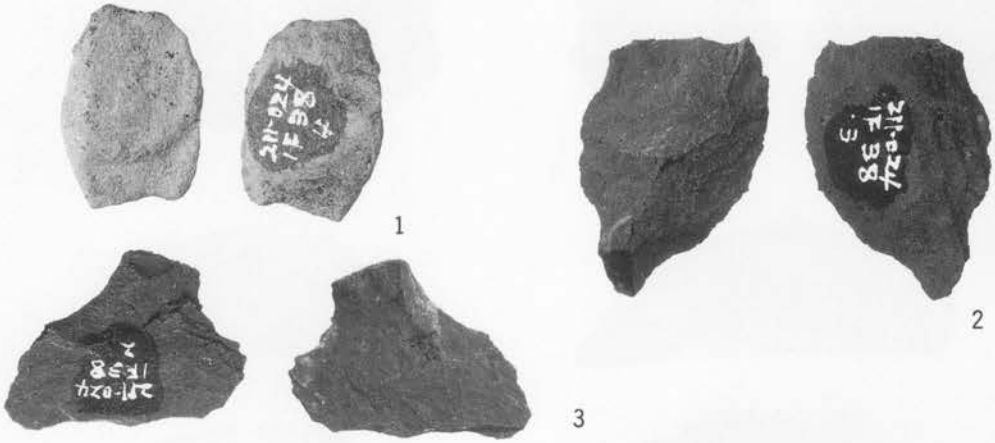
第17ブロック
出土石器 2



7

8

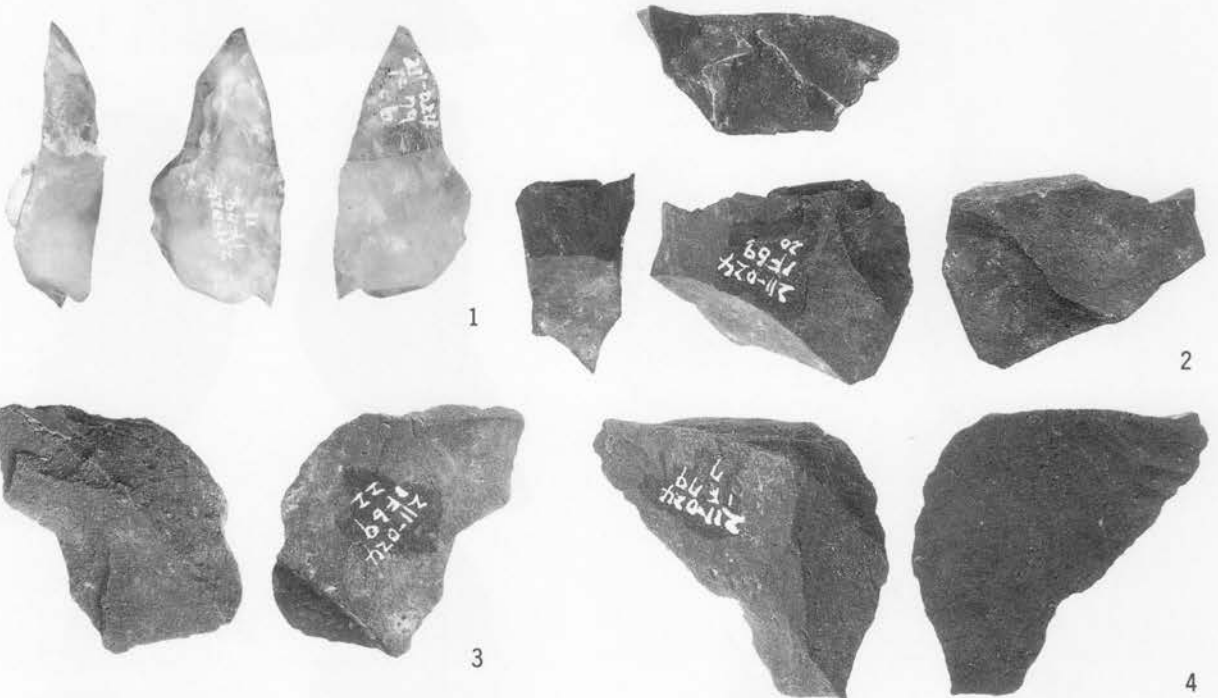
第18ブロック
出土石器



1

2

3



1

2

3

4

第19ブロック
出土石器 1



5



6



7



1



2b



2a+b



2a



1



2



3



4



5

第19ブロック
出土石器 2

第20ブロック
出土石器

第21ブロック
出土石器 1



9 a



9 a+b+c



9 c



9 b



6



8



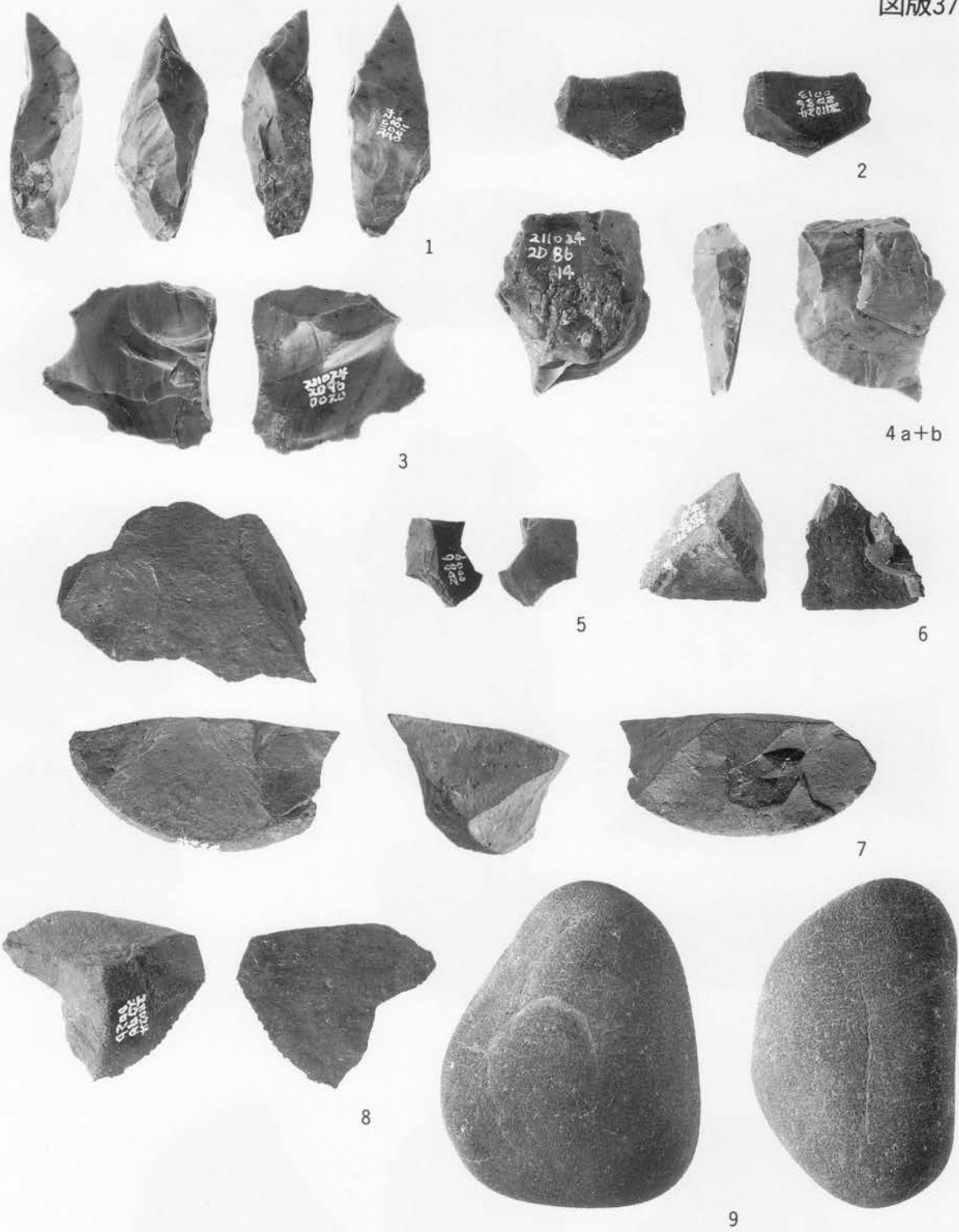
7

第21ブロック
出土石器 3

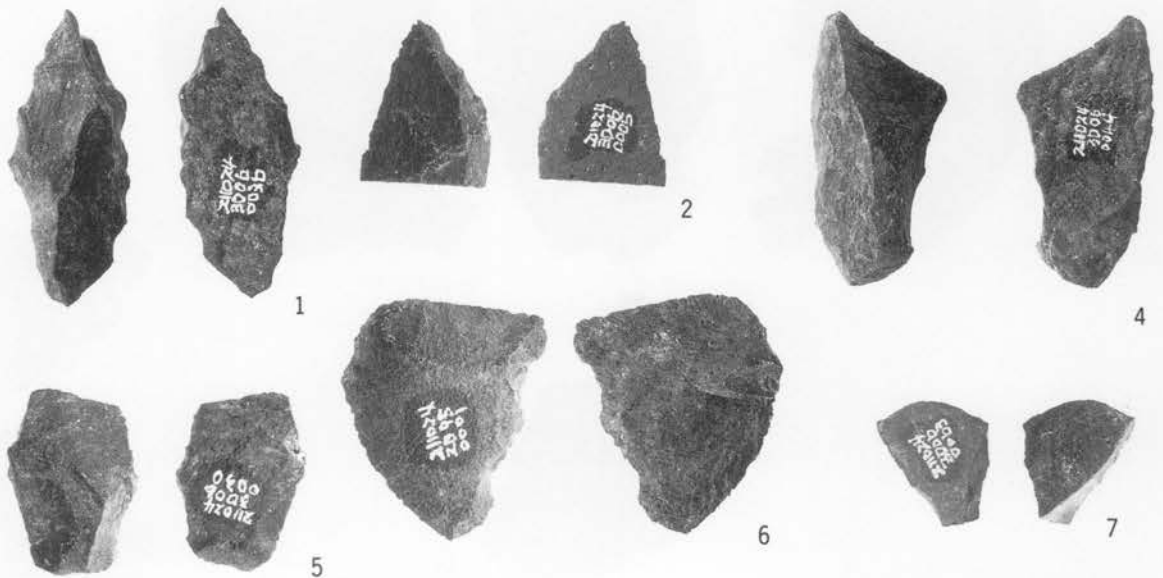


1

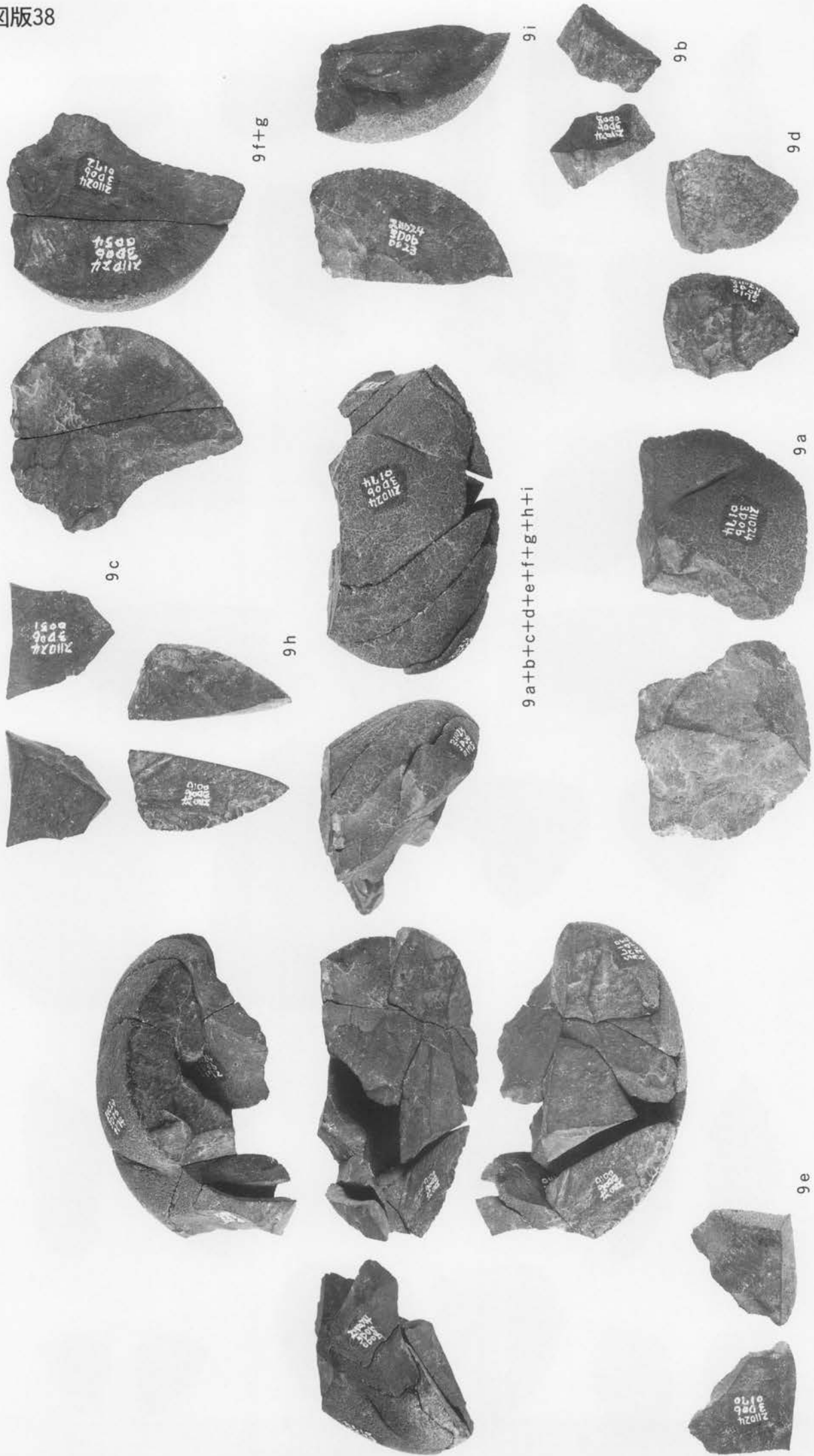
第22ブロック
出土石器



第23ブロック
出土石器



第24ブロック
出土石器 1





3



8



10a+b



10a



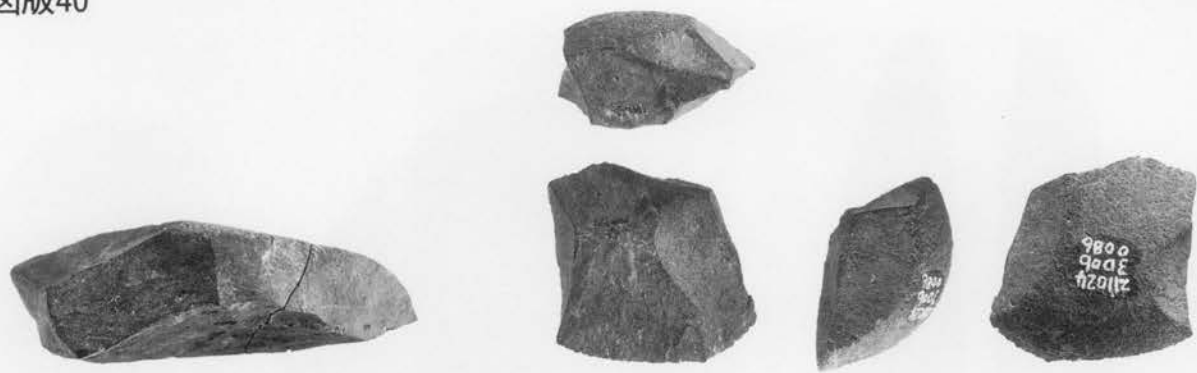
10b



11a+b+c



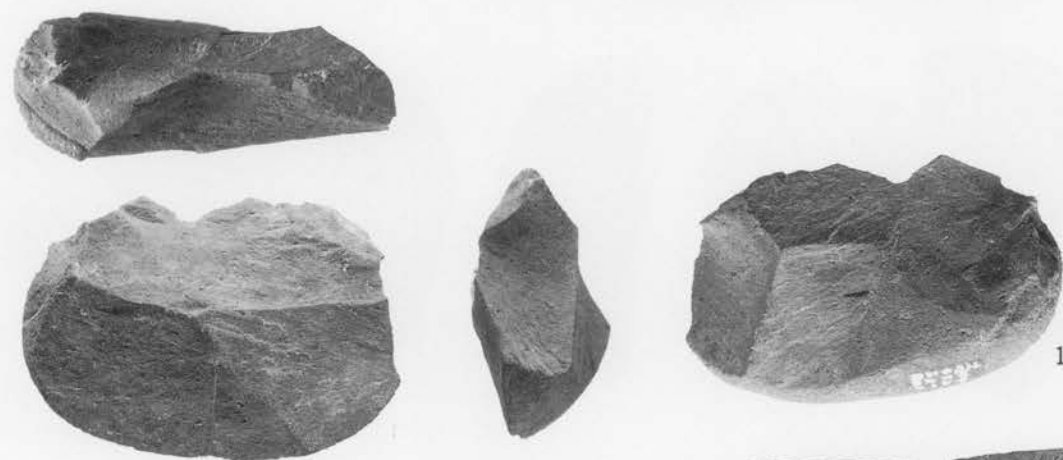
11a+b



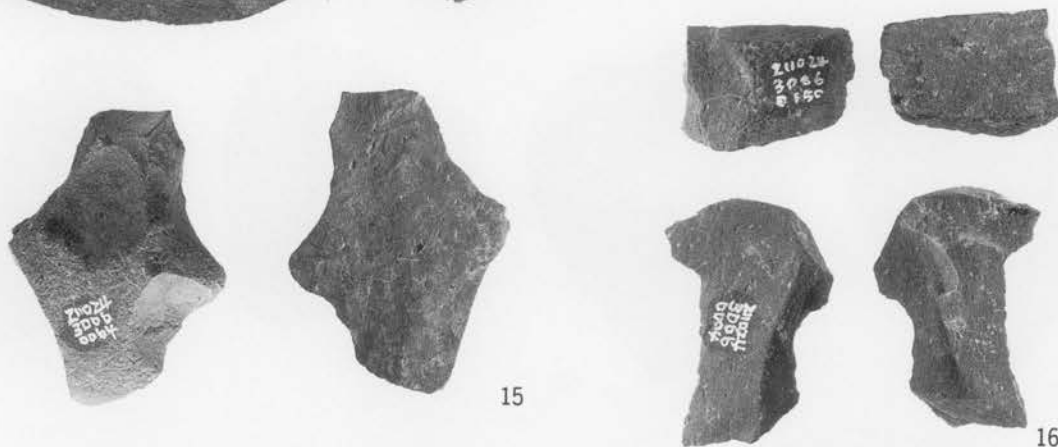
12



13a+b



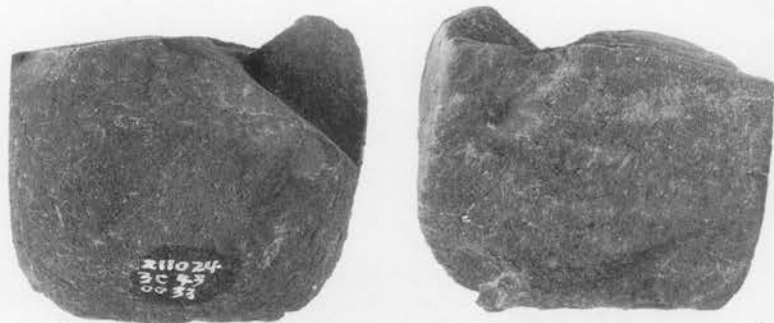
14



15

17

16



1



2

第24ブロック
出土石器 4

第25ブロック
出土石器 1



3a+b+c



3b



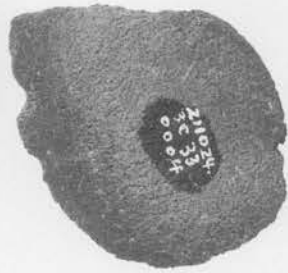
3c



3a



4 a+b



4 b



4 a



5 a+b



7



6



8



9 a+b



10



1



3



4 a+b

第26ブロック
出土石器



1



2



3

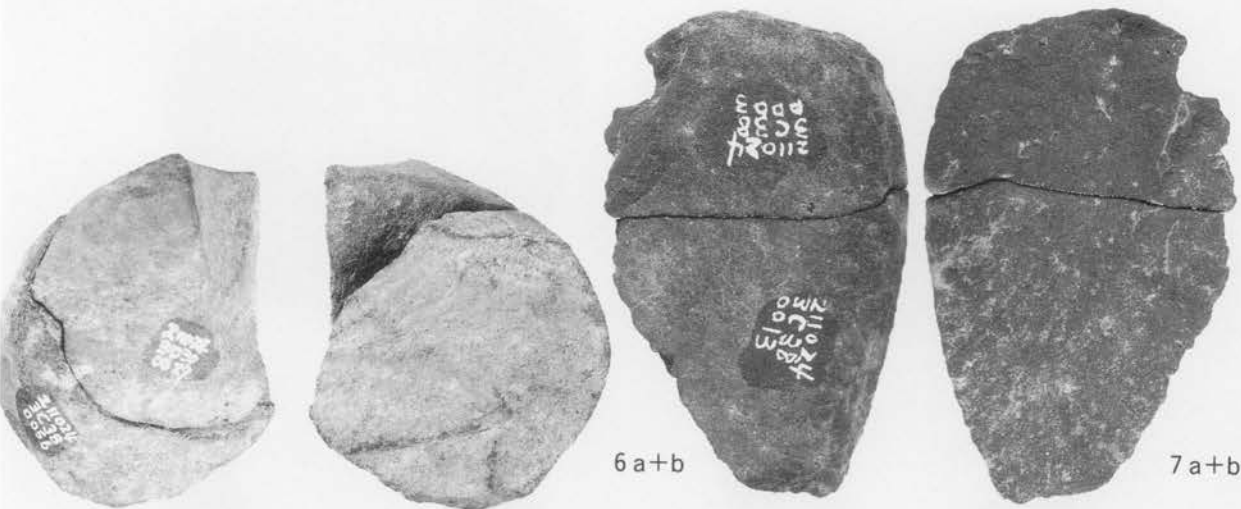


4

第27ブロック
出土石器 1



5a+b+c



6a+b

7a+b

第27ブロック
出土石器 2



1

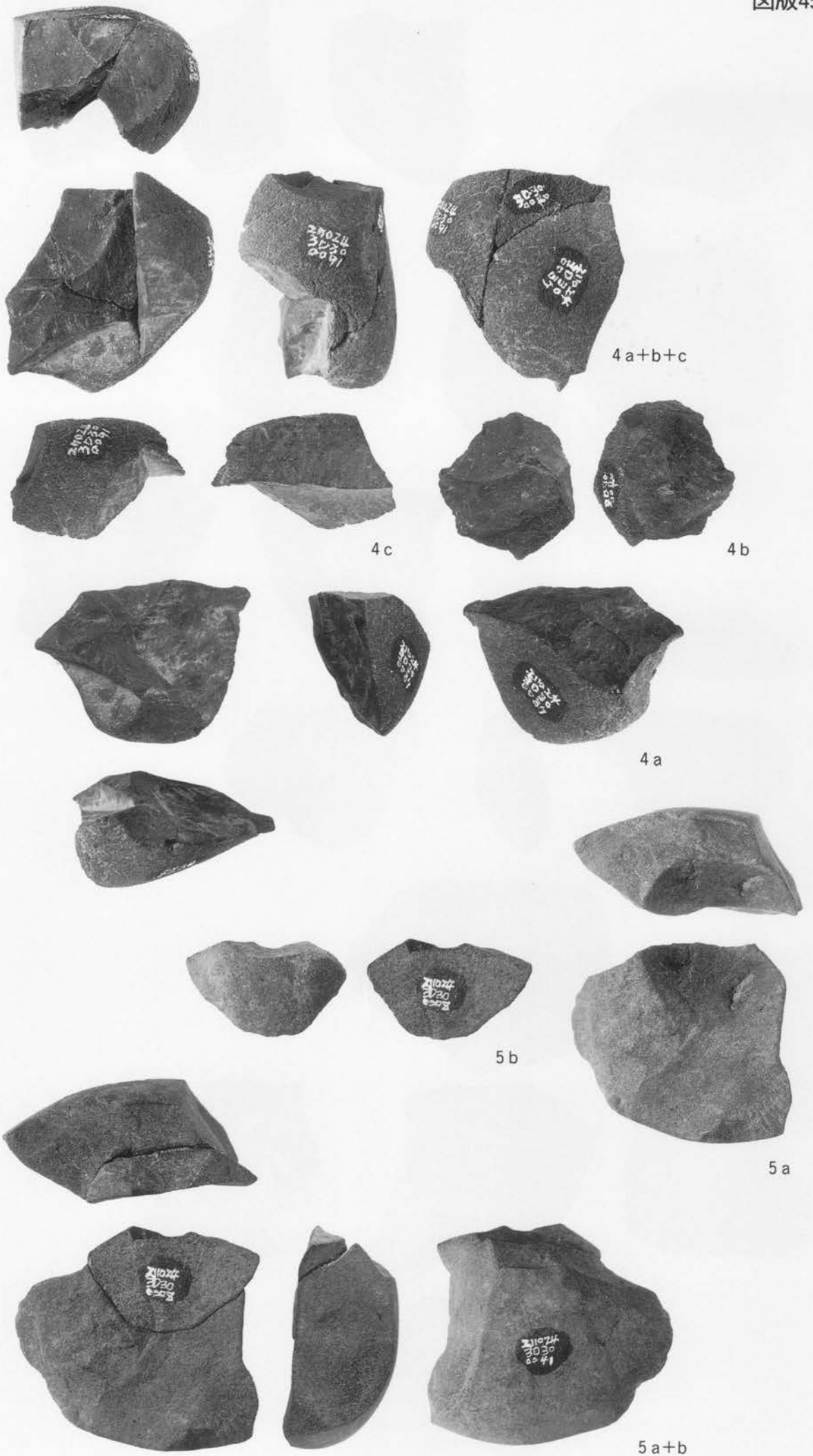


2



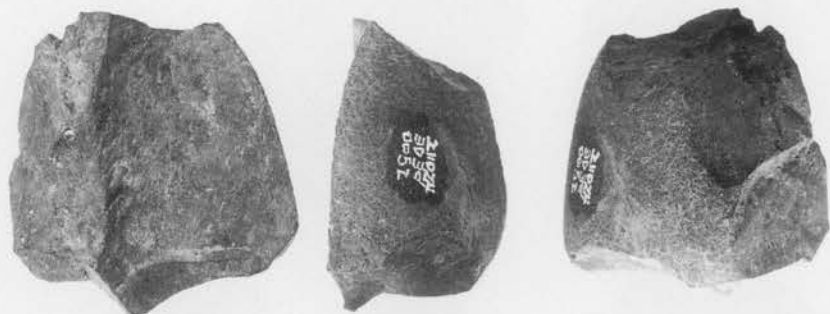
3a+b+c

第28ブロック
出土石器 1





6



8



9



10



11





第28ブロック
出土石器 4



第29ブロック
出土石器 1



5



6



7



8

9 a + b





1



2



3



4



6a+b+c



6c



6b



6a



第30ブロック
出土石器 2

第31ブロック
出土石器 1



4



8b

8a+b



9b



9a+b



10



11



12



13



14



15a+b

第31ブロック
出土石器 3



1



2

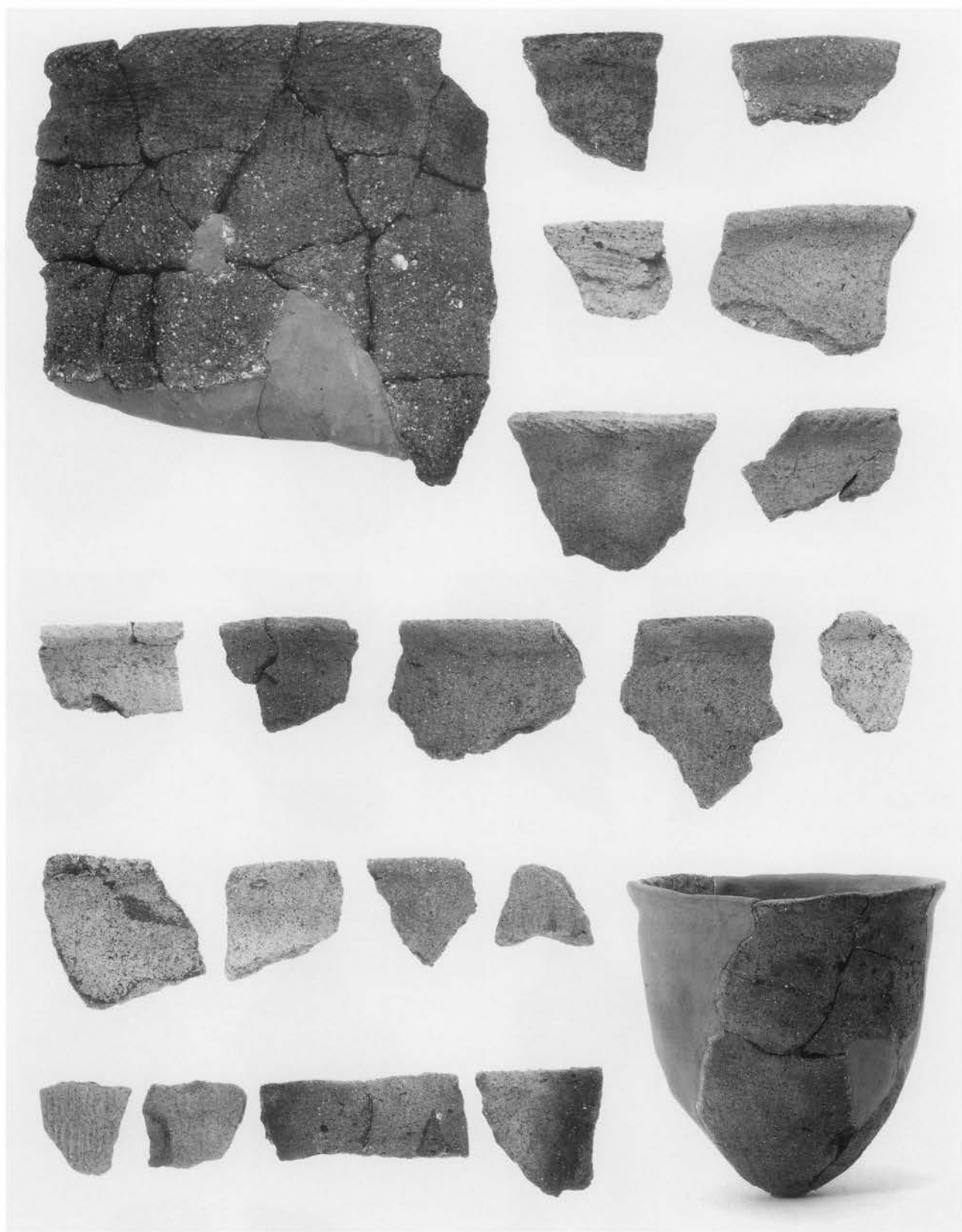


1

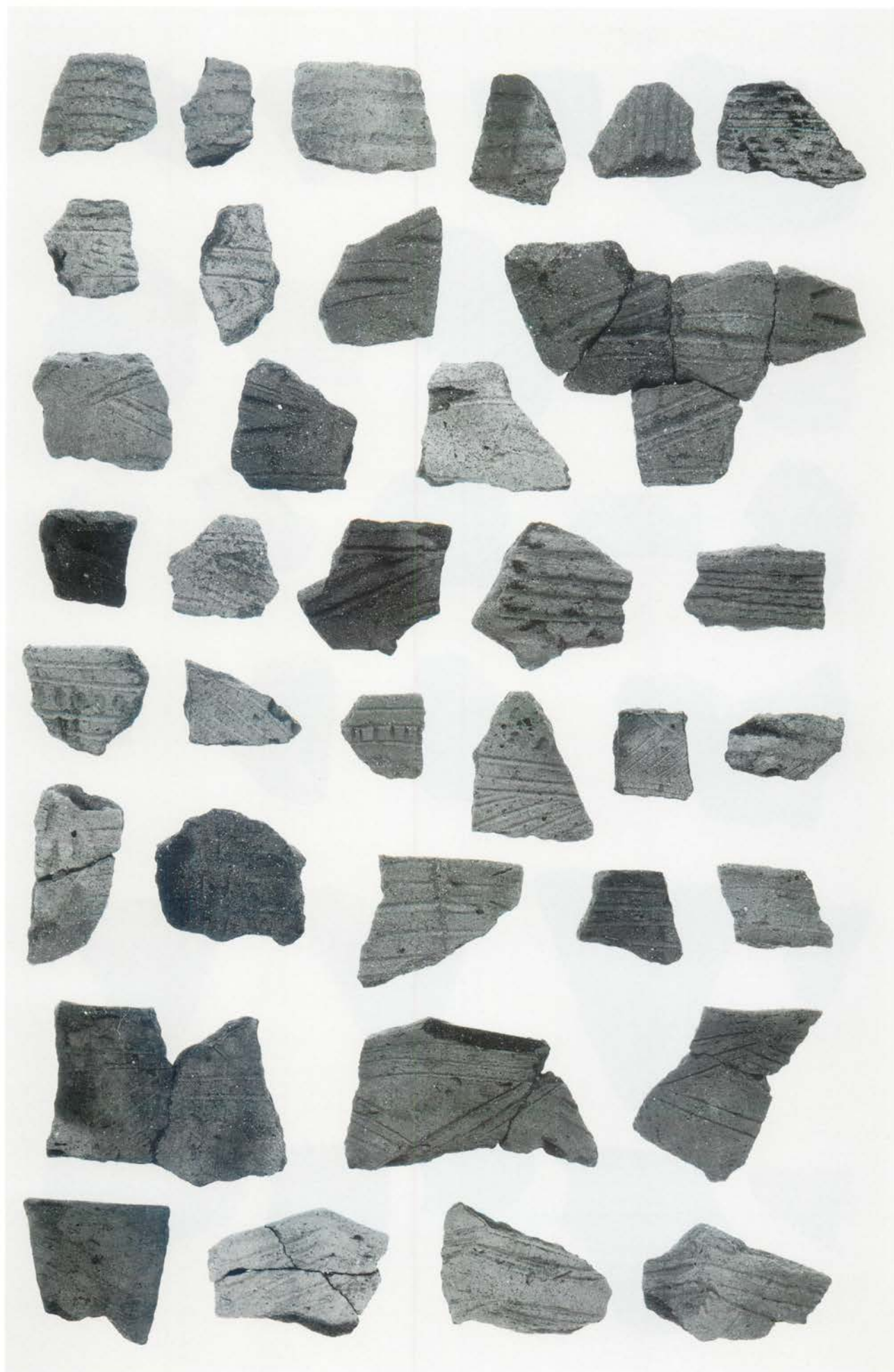


2

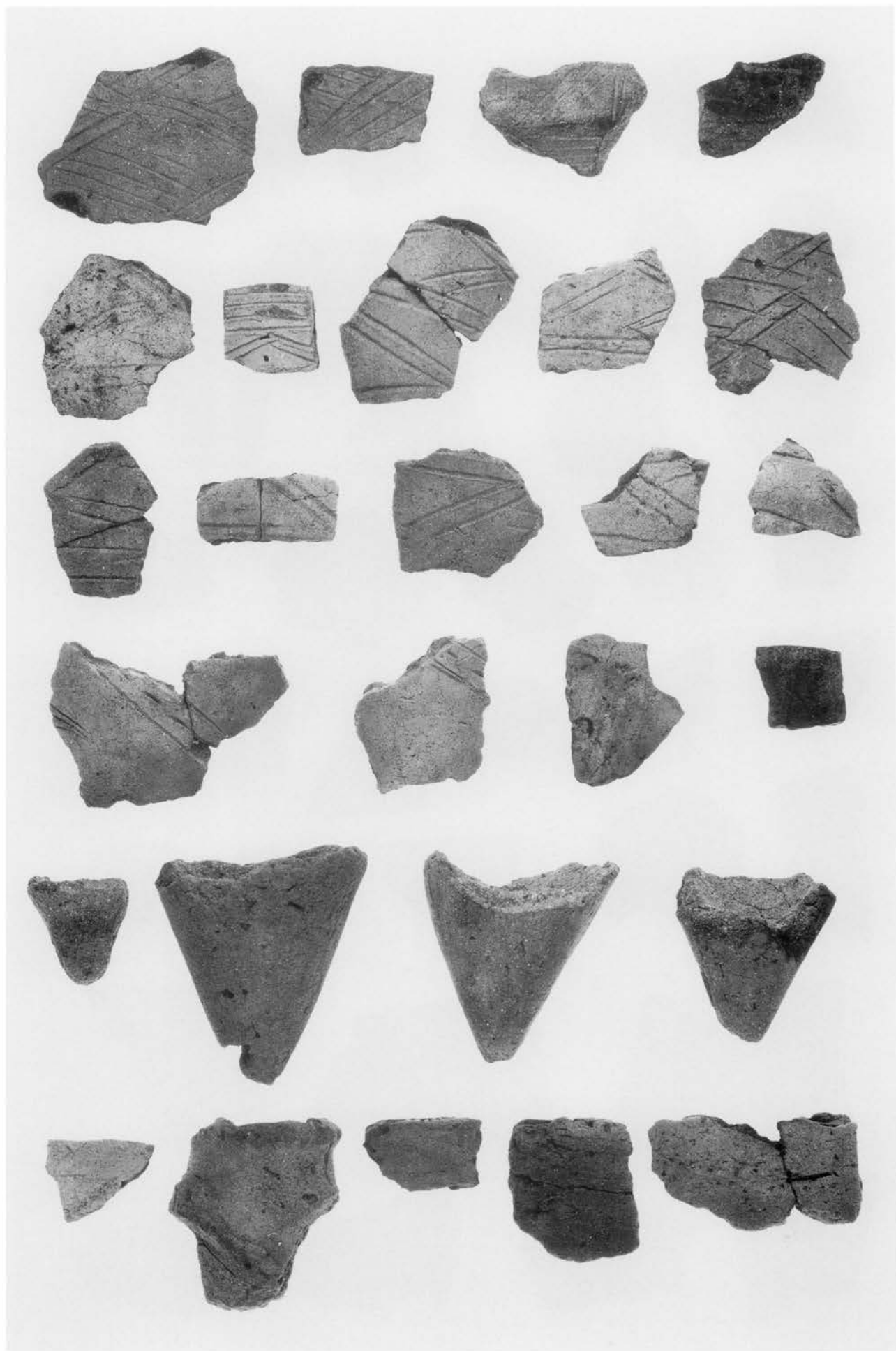
ブロック外
出土石器



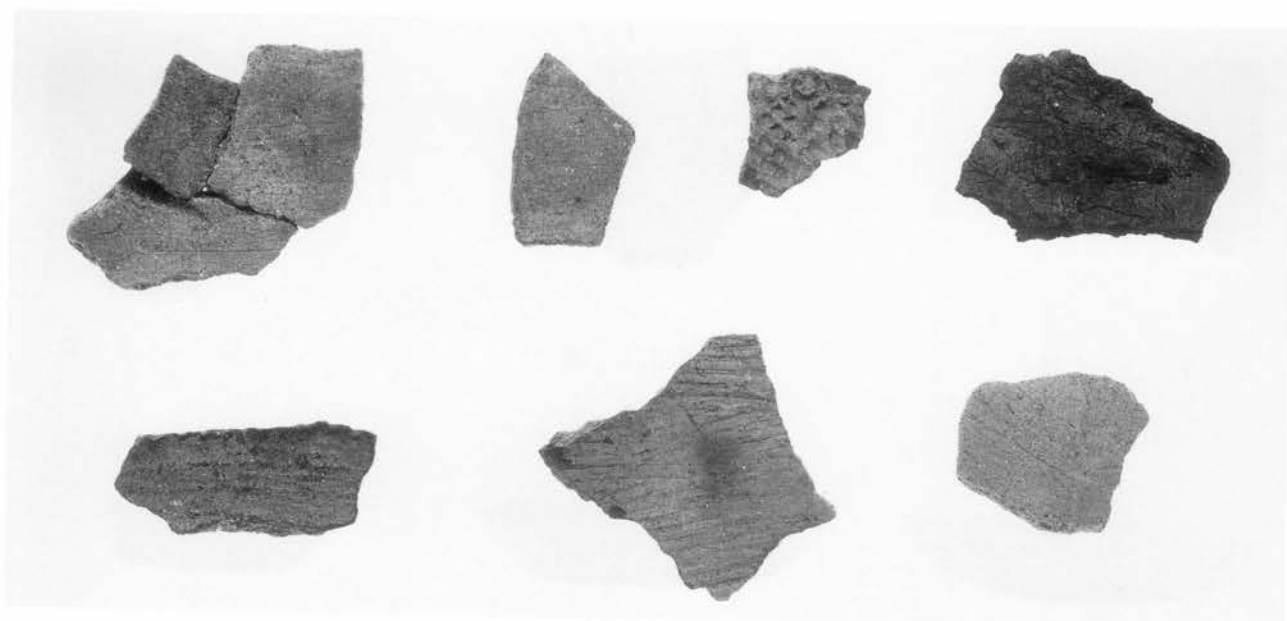
第1群土器



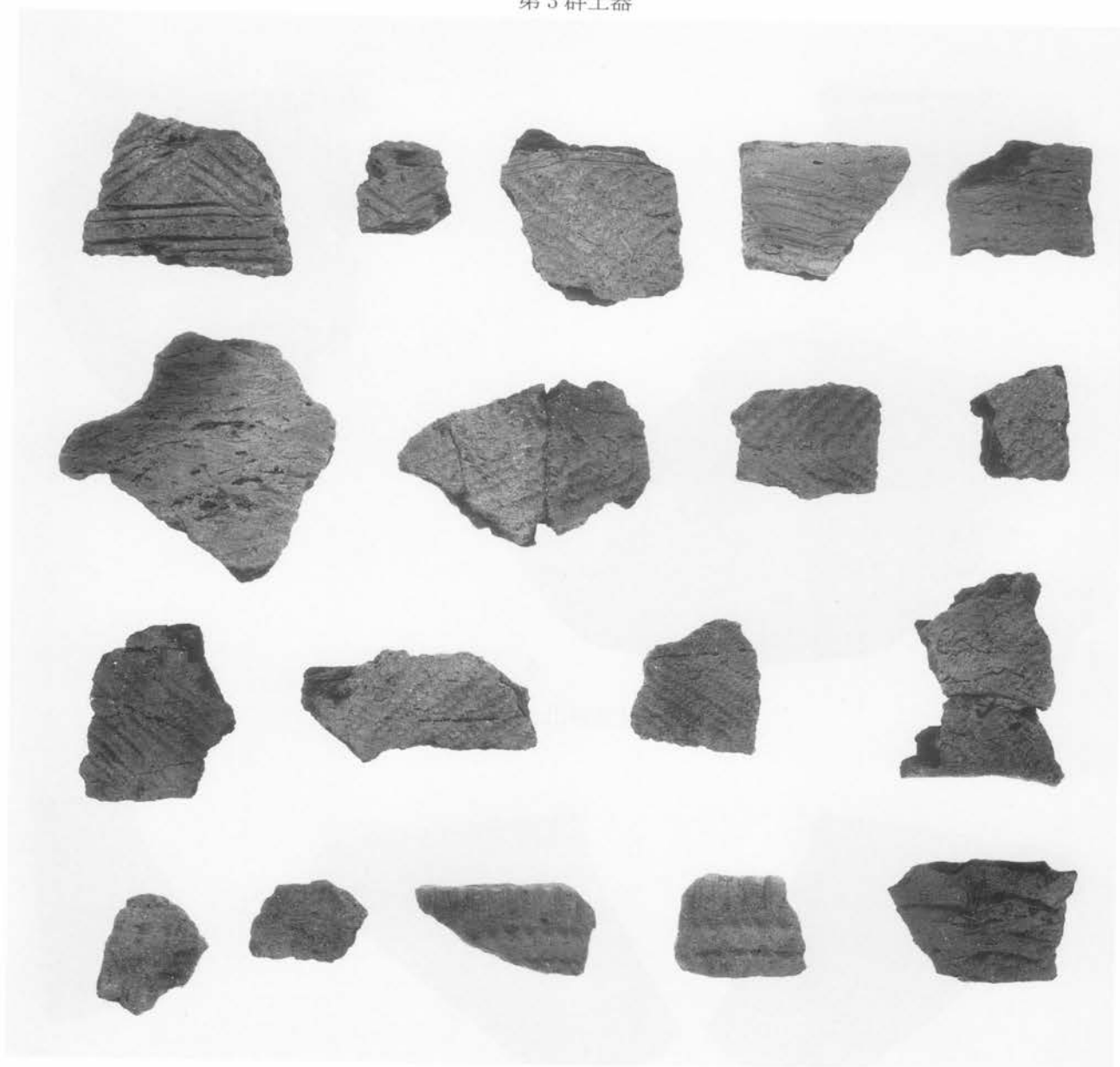
第2群土器(1)



第2群土器(2)



第3群土器



第4群土器



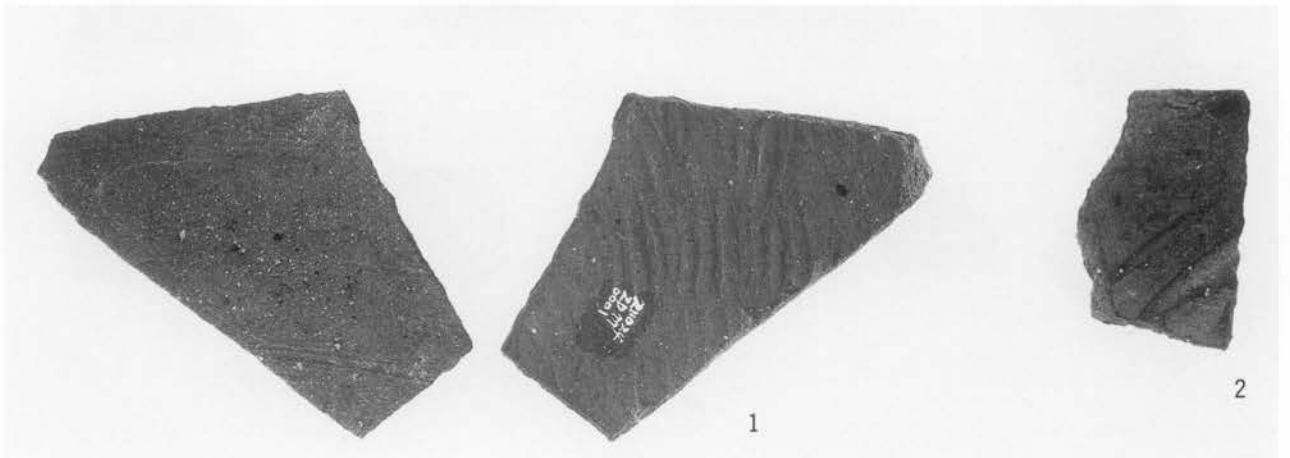
2号陥穴出土土器

5号陥穴出土土器

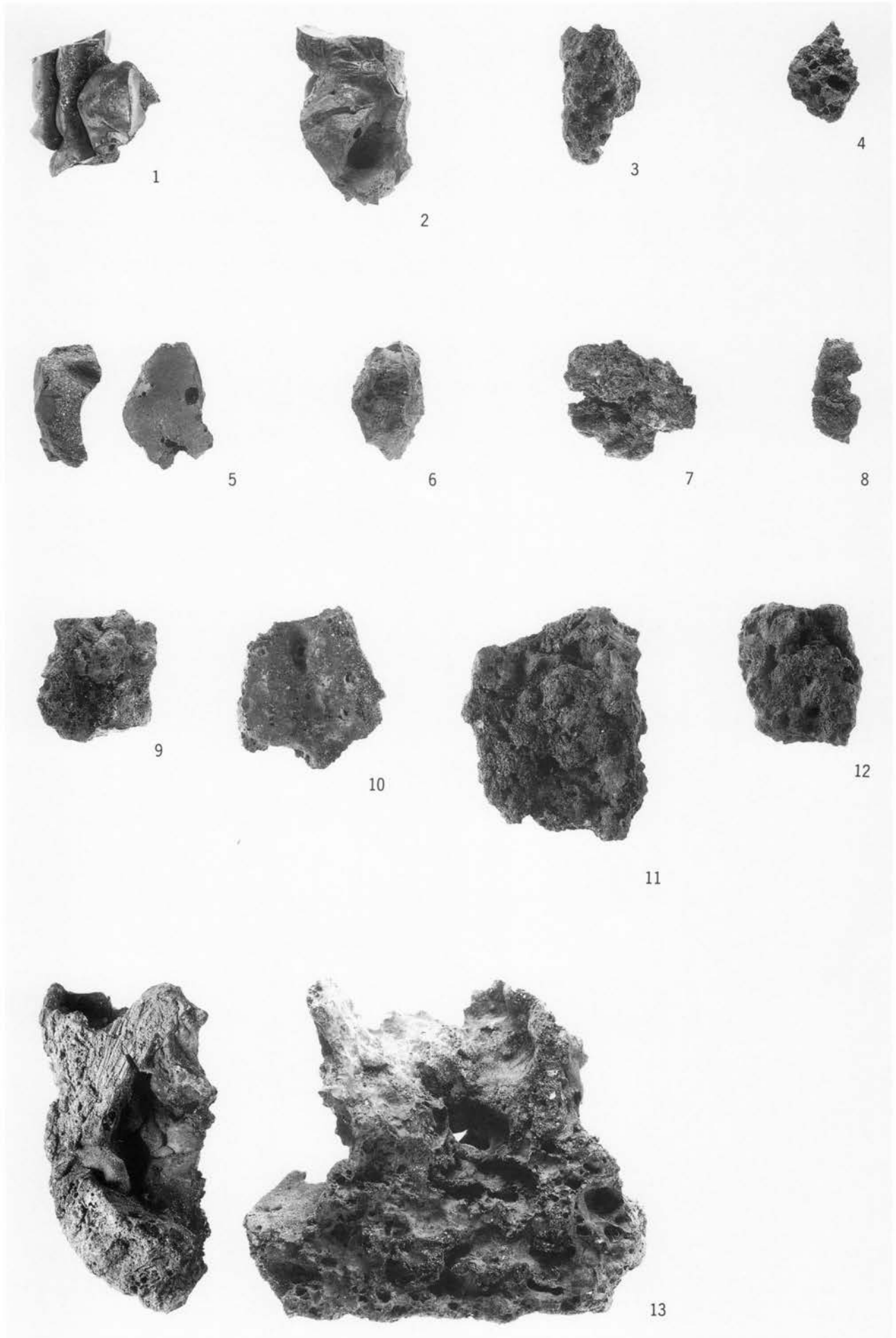
1号土坑出土土器



1号竪穴住居跡出土土器



グリッド出土土器



製鉄関連遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	しんとうきょうこくさいくうこうまいぞうぶんかぎいはつつつちょうさほうこくしょ10							
書名	新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書X							
副書名	天神峰奥之台遺跡（空港No.65遺跡）							
巻次	X							
シリーズ名	財団法人千葉県文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第304集							
編著者名	横山仁・矢本節朗							
編集機関	財団法人 千葉県文化財センター							
所在地	〒284 千葉県四街道市鹿渡809-2					TEL 043-422-8811		
発行年月日	西暦 1997年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
てんじんみねおくのだい 天神峰奥之台 (空港 No.65)	ちばけんなりたしてんじんみね 千葉県成田市天神峰 あぎおくのだい 字奥之台	12211	024	35度 47分 30秒	140度 23分 30秒	19820824~ 19821204 19830119~ 19830323 19880803~ 19881031 19891101~ 19900228	空港分 26,000 防音堤分 18,000	新東京国際 空港建設及 び防音堤 (BR/W) 建設に伴う 事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
天神峰奥之台 (空港No.65)	包蔵地 集落跡	旧石器	石器集中地点 31地点		磨製石斧、ナイフ形石器、 台形石器、角錐状石器、石 核、礫		12地点の礫群を 検出	
		縄文	陥穴 土坑	8基 1基	撚糸文系土器、沈線文系土 器、条痕文系土器、黒浜式 土器、浮島式土器、石鏃			
		奈良	竪穴住居跡	1軒	土師器、鉄滓		鉄塊選別場の可 可能性	
		近世	溝	2条				野馬堀の可能性

千葉県文化財センター調査報告第304集

新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書X

天神峰奥之台遺跡（空港No65遺跡）

平成9年3月31日発行

編 集
発 行

財団法人 千葉県文化財センター
新東京国際空港公団
成田市新東京国際空港内
(成田市木の根字神台24)

印 刷

財団法人 千葉県文化財センター
四街道市鹿渡809-2
株式会社 弘 文 社
市川市市川南2丁目7番2号
